

### 第3章 検出された遺構と遺物

番号	位置	形状	規模(長径・短径・深さ)	主軸方位	出土遺物	時期	備考	図・PLNo.
511	G-10	楕円形	42×32×29	N-15°-E				第120図：P.L.26
512	G-10	長円形	73×52×25	N-15°-E				第120図：P.L.26
513	E-9・10	不整形	57×40×30.5	N-20°-E			44住柱穴	第120図：P.L.26
514	E-9・10	不整形	62×30×54.5	N-50°-E				第120図：P.L.26
515	D-10	不整形	35×22×20				5-44住と重複	第120図：P.L.26・27
516	D-10	不整形	60×-×53				44住柱穴	第120図：P.L.26・27
517	E-10	円形	45×40×59	N-45°-E			45住柱穴	第120図：P.L.27
518	F-10・11							
519	D-10	不整形	121×(56)					P.L.27
520	D-10	円形	85×85×28	N-0°				第121図：P.L.27
521	D・E-9・10	不整形	-×-×39					第121図：P.L.27
522	C-10	円形	83×80×92				上層に礫	第121図：P.L.27
523	B-10	長円形	(46)×67×30					第121図：P.L.27
524	D-10	円形	50×48×27	N-0°				第121図：P.L.27
525	E-11	楕円形	(71)×79×64	N-80°-W	壺型土器	堀之内1	覆土上層に大型礫	第121図：P.L.28
526	D-11・12	長円形	96×61×60	N-85°-E				第121図：P.L.28
527	E-11	長円形	141×72×73	N-50°-E				第122図：P.L.28
528	E-11	楕円形	60×51×32	N-50°-W				第122図：P.L.28
529	E-13	円形	120×(113)×23					第122図：P.L.28
530	G-11	楕円形	70×(55)×40	N-60°-E				第122図：P.L.28
531	G-10・11	円形	64×(50)×40	N-60°-E				第122図：P.L.28
532	G-10	楕円形	50×44×30	N-90°				第122図：P.L.28
533	G-10	不整形	85×70×36	N-0°	鉢形土器	堀之内2	上層に大型礫	第122図：P.L.28・29
534	G-12	円形	140×130×46					第122図：P.L.29
535	C・D-11	不整形	95×60×33	N-0°				第122図：P.L.29
536	C-11	不整形	40×(35)×18	N-0°				第122図：P.L.29
537	C・D-10	円形	45×45×12	N-0°				第122図：P.L.29
538	G-11	楕円形	44×34×55	N-0°				第122図：P.L.29
539	B・C-12	長円形	214×137×149	N-28°-W			陥し穴	第122図：P.L.29
540	H-11	円形	80×78×15	N-90°				第123図：P.L.29
541	H-11	楕円形	70×65×14					第123図：P.L.29
542	G・H-14	楕円形	112×94×108				柱穴(1号柱穴列)	第123図：P.L.30
543	G-13	不整形	126×93×60					第123図：P.L.30
544	H-10	楕円形	75×65×30	N-15°-W				第123図：P.L.30
545	H-10・11	円形	75×62×10	N-0°				第123図：P.L.30
546	G-10	不整形	-×75×25					第123図：P.L.30
547	H-12	不整形	75×87×25	N-50°-E				第123図：P.L.30
548	H-12	不整形	85×83×35	-				第123図：P.L.30
549	G-12	円形	101×101	-			上層に大型礫	第123図：P.L.30
550	G-11	円形	(30)×70×30	-			574土と重複	第124図：P.L.30
551	G-12	不整形	85×80					第124図：P.L.31
552	H-12・13	円形	74×77				上層に礫	第124図：P.L.31
553	G-11・12	楕円形	25×30×17	-				第124図：P.L.31
554	G-11	不整形	110×50×35				上層に礫	第124図：P.L.31
555	H-13	不整形	100×98×100	-			柱穴(1号柱穴列)	第124図：P.L.31
556	G・H-12	不整形	130×80					第124図：P.L.31
557	G-12	不整形	35×78×18	N-50°-W			上層に礫	第124図：P.L.31
558	G-11	不整形	47×75×50					第124図：P.L.31
559	F-12	円形	123×102×47	N-10°-E	鉢形土器	堀之内2	南に接して大型礫(川原石)、土坑墓	第124図：P.L.32
560	H-12	楕円形	96×73×52	N-10°-W				第125図：P.L.32
561	G-12	円形	74×70	-			上層に大型礫	第125図：P.L.33
562	G-14	円形	95×90×89	-			柱穴(1号柱穴列)	第125図：P.L.33
563	H-12・13	楕円形	82×57					第125図：P.L.33
564	H-14	円形	47×45×63					第125図：P.L.33
565	H-12	不整形	110×80×12					第125図：P.L.33
566	H-12	不整形	-×85×11					第125図：P.L.33
567	G・H-13	楕円形	75×57	N-65°-W			上層に大型礫	第125図：P.L.33
568	G-12	不整形円形	105×90×35	-			東側上層に礫	第126図：P.L.33
569	F-13	円形	107×90×24	-				第126図：P.L.33
570	G・H-13	楕円形	(103)×90					第126図：P.L.33
571	G-11・12	楕円形	(43)×53×33					第126図：P.L.34
572	F・G-12	楕円形	96×80					第126図：P.L.34
573	H-10	不整形	65×45					第126図：P.L.34
574	G-11	不整形	(85)×74×7				上層に礫	第124図：P.L.30
575	B-12	円形	55×50×8	N-0°		中世以降		第126図：P.L.34
576	F-12	不整形	84×76×23					第126図：P.L.34
577	G-12	不整形	(36)×77×20					第126図：P.L.34
578	H-12	円形	53×56×14				大形礫	第127図：P.L.34
579	H-12	楕円形	84×65×15	N-0°				第127図：P.L.34
580	E-12	不整形	110×60×40	N-89°-W				第127図：P.L.35
581	欠番							
582	E-10	楕円形	105×43					第127図：P.L.35
583	G-12	円形	50×44×12	N-30°-W				第127図：P.L.35
584	H-13	不整形	-×68×41	N-25°-W				第127図：P.L.35
585	H-13	円形	73×73×32					第127図：P.L.35
586	位置不明		54×25					P.L.35
587	H-13	不整形	60×58×36	N-40°-E				第127図：P.L.35
588	E-12	長円形	80×55×15					第127図：P.L.35
589	G・H-11	不整形	52×11					第127図：P.L.35
590	G-12	不整形	82×36					第127図：P.L.35
591	H-13	不整形	75×-×60	N-35°-E				第127図：P.L.36
592	H-13	不整形	70×60×64	N-40°-W				第128図：P.L.36
593	H-13	楕円形	74×60×19				多孔石	第128図：P.L.36
594	5Y・6A-5・6	楕円形	107×96					第128図：P.L.36
595	H-13 I-12・13	楕円形	119×93×25					第128図：P.L.36
596	D・E-11・12	不整形	138×90×33					第128図：P.L.36
597	E-10		35×35					第128図：P.L.36
598	D-11		(95)×58×69					第128図：P.L.36
599	D-11		64×70					第128図：P.L.36
600	F・G-11	長円形	80×48×46	N-35°-E				第128図：P.L.37
601	D-11	長円形	69×41×47	N-65°-E				第128図：P.L.37

### 第3節 縄文時代

#### 6区土坑

番号	位置	形状	規模(長径・短径・深さ)	主軸方位	出土遺物	時期	備考	図・PLNo.
131	A-2	円形	89×80×58	-			覆土中に埋	第129図：P L 37
132	I-5・6	長円(底部長方形)	167×125×95	N-16°-E			陥し穴	第129図：P L 37
133	H-I-5	長円(底部長方形)	145×130×105	N-43°-E			陥し穴	第129図：P L 37
134	H-4	長円(底部長方形)	172×110×75	N-15°-E			陥し穴	第129図：P L 37
135	F・G-4	長円(底部長方形)	165×115×90	N-19°-E			陥し穴	第129図：P L 37
136	I-6・7	円形	120×110×25	-				第130図：P L 37
137	E・F-4	長円(底部長方形)	170×118×105	N-2°-W			陥し穴	第130図：P L 38
138	E-4	長方形	200×90×100	N-23°-W			陥し穴	第130図：P L 38
139	E-5	長方形	141×80×60	N-59°-W			陥し穴	第130図：P L 38
140	D・E-6	長円形	215×135×167	N-0°			陥し穴	第130図：P L 38
141	E-4	長円形	95×77×27	N-43°-E			埋出土	第130図：P L 38
142	D-6・7	円形	65×60×20	-				第131図：P L 38
143	D・E-7	円形	71×65×27	-				第131図：P L 38
144	A-6	長円形	190×130×165	N-4°-W			陥し穴。155号土坑の西側に重複	第131図：P L 38
145	A-5	不正円形	60×55×22	-				第131図：P L 39
146	A-5	円形	72×70×42	-				第131図：P L 39
147	A-5	円形	70×65×18	-				第131図：P L 39
148	5Y-5	円形	70×62×33	-				第131図：P L 39
149	C-8	円形	60×50×20	-				第131図：P L 39
150	B-7	不正円形	150×130×25	-			埋出土	第131図：P L 39
151	A-8	隅丸長方形	75×65×55	-			埋出土	第131図：P L 39
152	A-9	不正長円形	115×78×65	N-3°-E				第131図：P L 39
153	A・B-8	不正円形	120×100×60	-			埋出土	第132図：P L 40
154	A-6	隅丸長方形	100×90×24	-			5-25号住の南に重複し切る	第132図：P L 40
155	A-6	長円形	193×160×30	-	土器、打製石斧		上層に扁平な礫	第132図：P L 40
156	C-8	不正円形	67×60×20	-				第132図：P L 40
157	C-8	円形	90×90×20	-	土器片	堀之内2		第132図：P L 40
158	B-9	円形	50×48×20	-				第132図：P L 40
159	D-8	隅丸長円形	180×85×100	N-62°-E			陥し穴	第132図：P L 40
160	B-7	長円形	150×120×25	-				第133図：P L 40
161	A-8	長円形	90×70×50	-			6-9号住の北に重複	第133図：P L 41
162	A-6・7	長円形	145×90×35	N-9°-E			5-25号住の西に接する	第133図：P L 41
163	B-9	円形	46×43×25	-				第133図：P L 41
164	B-8	円形	43×(43)×20	-			南側を攪乱により壊されている	第133図：P L 41
165	B-9	円形	46×40×20	-				第133図：P L 41
166	A-8	長円形	(80)×70×30	-			6-9号住居の北に接する	第133図：P L 41
167	A-7	円形	105×95×80	-	土器片、礫集中		6-9号住居の南側を切る	第133図：P L 41
168	A-7	長円形	115×60×15	N-11°-E			5-25号住居の炉と重複	第133図：P L 41
169	A-5	長円形	50×40×28	-				P L 42
170	A-5	円形	50×45×20	-				P L 42
171	A-5	長円形	(40)×30×12	-			西側を146号土坑に切られる	P L 42
172	A-5	円形	40×40×15	-				P L 42
173	A-5	円形	45×45×15	-				P L 42
174	B-6	長円形	48×35×30	-				P L 42
175	B-6	円形	40×35×15	-			174号土坑と重複	P L 42
176	B-5	長円形	45×38×20	-				P L 42
177	B-6	長円形	40×35×25	-				P L 42

#### 95区土坑

番号	位置	形状	規模(長径・短径・深さ)	主軸方位	出土遺物	時期	備考	図・PLNo.
1	Y-21	長方形	155×105×82	N-5°-W	土器片・石器		遺物は流れ込みと思われる。	第134図：P L 43
2	Y-20	長方形	(150)×90×40	N-5°-E	土器片・石器		遺物は流れ込みと思われる。	第134図：P L 43
3	Y-22・23	隅丸長方形	223×162×105	N-50°-W	土器・石器		遺物は流れ込み。半完形土器2	第134図
4	X-25	長円形	165×135×80	N-54°-W	無し	縄文		第135図
5	A-23	隅丸長方形	168×96×78	N-27°-E	無し	陥し穴	報告済み	

#### 96区土坑

番号	位置	形状	規模(長径・短径・深さ)	主軸方位	出土遺物	時期	備考	図・PLNo.
2	Y-25	不整形	246×134×35	-			風倒木	
3	Y-25	楕円形	207×131×35	-			風倒木	平9年度
4	I-18	長方形	165×85×90	N-82°-W		平安以降	陥し穴	平10年度
5	H-18	長円形(底部長方形)	190×120×127	N-86°-W		平安以降	陥し穴	第136図：P L 43
6	H-19	長方形	170×88×105	N-87°-W		平安以降	陥し穴	第136図：P L 43
7	G-19	隅丸長方形	(180)×(100)×-	-		平安以降	陥し穴、崩落のため全容不明	
8	F-19	隅丸長方形	160×80×90	N-24°-W		平安以降	陥し穴	第137図：P L 43
9	D-19	隅丸長方形	175×95×100	N-39°-W		平安以降	陥し穴	第137図：P L 43
10	E-17	長円形	200×120×150	N-26°-W		平安以降	陥し穴	第137図：P L 43
11	A-23	長円形	90×75×40	N-43°-W				第137図

#### 3区ビット

番号	区	形状	規模	主軸方位	出土遺物	時期	備考	図・PLNo.
1	Y-13	円形	70×57×21					第138図
2	X-13	円形	58×56×13					第138図
3	X-13	円形	63×50×19					第138図

#### 4区ビット

番号	区	形状	規模	主軸方位	出土遺物	時期	備考	図・PLNo.
1	C-11	長円形	55×25×22					第138図

#### 5区ビット

番号	区	形状	規模	主軸方位	出土遺物	時期	備考	図・PLNo.
1	E-10	円形	35×34×43					第138図
2	E-10	円形	33×40×54					第138図
3	E-10	円形	30×23×19					第138図
4	D-10	円形	24×23×15					第138図
5	D-9	円形	36×32×-					第138図
6	D-9	円形	33×30×-					第138図
7	D-9	円形	25×22×-					第138図
8	D-11	円形	31×26×36					第138図
9	C-11	円形	31×24×17					第138図
10	欠番							
11	F-11・12	円形	37×30×53					第138図
12	F-11	円形	33×29×50					第138図
13	F-11	円形	28×27×42					第138図
14	G-12	円形	28×25×27					第138図
15	F-11	円形	20×19×20					第138図
16	F-11	円形	32×25×17					第138図
17	F-11	長円形	35×21×47					第138図
18	F-11	長円形	38×26×16					第138図
19	H-12	円形	43×40×55					第138図
20	G-12	長円形	42×30×19					第139図
21	欠番							
22	H-12	円形	43×43×10					第139図
23	F-12	円形	34×31×19					第139図
24	H-13	長円形	29×20×17					第139図
25	H-13	長円形	39×29×54					第139図
26	I・H-14	円形	45×45×55					第139図
27	I-14	円形	32×30×20					第139図
28	I-14	円形	30×23×45					第139図
29	H-14	円形	26×21×20					第139図
30	H-14	円形	37×36×40					第139図



## 7. 遺構外出土遺物

### (1) 土器・土製品

平成9・10・11年度における遺構外出土の土器点数は6万点を数える。本項では各区毎に分け、細別、記載を行う。今回の調査では遺構の重複が顕著で出土遺物についても、遺構外出土として扱わざるを得ない状況が多く見られた。また各区の比較では出土点数に時期的な差異が見られた。

図示した遺物は各時期の比較的特徴を備えたものを取り上げた、また他地域からの搬入品と考えられるものなどでもできる限り図示すよう努めた。しかしながら紙面的にも量的にも全体の遺物量に比較すればごく一部に過ぎない。今後残った調査部分の整理を進めてゆく中でより詳細な検討を行って行きたいと考えている。本書では下記の分類に従って概述したい。

遺構外より出土した土器は前期から後期後半に涉っているが、中期後半から後期前半がそのほとんどを占めている。当然のことながら遺構に関しても、この時期と判断されるものが中心である。検出した住居の時期は、中期後半加曽利E3（曾利Ⅲ・Ⅳ）式期に集中し、後期初頭から前半の称名寺式期から堀之内2式期に比定されるものがわずかに見られる。

前期の土器は極めて少なく、中期前半から中葉に比定される土器も少数である。加曽利E3式期の土器は急増し各調査区において見られる、中期末の加曽利E4式期の土器も比較的出土しているものの、前代に比べると減少している。後期では初頭の称名寺式期の遺構も散見され、次第にその出土量を増しているように見える、前半の堀之内式期の土器は増加傾向がさらに強くなっているようである、特に5区東側調査区では極めて多く見られる。縄文時代以降に構築された陥し穴等の覆土中からも、該期の土器片が多く出土している。本調査区内では西端に、堀之内2式期の敷石住居跡が位置しており、その東に連続して検出された中期後半台の住居群跡を切って、多くの土坑が掘り込まれている。こうした土坑の中には副葬品と考えられる完形の土器を出土するものもあり、土坑墓と考えられ、土器の出土状態などから、ある種墓域的な性格があった場所と想定される。

95・96区は南西に向かって傾斜する谷部分の傾斜変換点から谷に向かう場所で、今回の調査区で住居の検出が無かった区である。調査を行った部分は黒色土が厚く、表土下の比較的上層より土器や石器の出土が見られた。土器については数千点の出土があり、かなりの数の復原可能な土器が見られた。土器の時期はほとんど中期後半加曽利E3式期（曾利Ⅲ・Ⅳ式期）である。

谷部分は土器捨て場の様相を呈しており、かなり大型の土器がややまとまった形で出土している。

中期後半の土器に関しては、いわゆる曾利式土器が多く含まれ、地理的に近接する甲信地域との関連を強く窺わせている、さらに新潟、北陸系の土器も見ることができ、極めて活発な交流があったものと考えられる。

## 第Ⅰ群 前期後半

### 1類 縄文施文

### 2類 竹管文施文による文様をもつもの

## 第Ⅱ群 中期初頭～中期前半

- |          |         |
|----------|---------|
| 1類 五領カ台式 | 2類 勝坂式  |
| 3類 阿玉台式  | 4類 無文土器 |

## 第Ⅲ群 中期後半

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1類 加曾利E 1式（曾利Ⅰ式）   | 2類 加曾利E 2式（曾利Ⅱ式） |
| 3類 加曾利E 3式（曾利Ⅲ・Ⅳ式） | 4類 加曾利E 4式（曾利Ⅴ式） |
| 5類 無文              | 6類 底部            |
| 7類 土製円盤・その他        |                  |

## 第Ⅳ群 後期初頭～中葉

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1類 称名寺1式    | 2類 称名寺2式 |
| 3類 堀之内1式    | 4類 堀之内2式 |
| 5類 無文       | 6類 底部    |
| 7類 注口       | 8類 把手    |
| 9類 土製円盤・その他 |          |

## 第Ⅴ群 後期中葉～後半

- |            |            |
|------------|------------|
| 1類 加曾利B 1式 | 2類 加曾利B 2式 |
| 3類 高井東式    | 4類 無文      |

### 3区遺構外出土土器（第160図・PL80）

第Ⅱ群 2類（160図1）

縦位に2列の刺突文。U-19-2、1は縦位に併行する2列の状刺突文、胎土中に白色微砂粒目立つ。

第Ⅲ群 3類（160図2～5）

2は口縁部で無文帶有す。3・4は縦位の磨り消し垂下文。5は横位平行隆帯、地文縄文。

第Ⅴ群 1類（160図6）

薄手黒色土器で沈線による平行線、渦巻き文。加曾利B 1式。

### 4区遺構外出土土器（第160～163図・PL80～82）

第Ⅰ群 2類（160図1）

1は竹管による横位矢羽根状文。諸磯b式。

第Ⅱ群 2類（160図2・3）

2は平行沈線による格子文、3は平行沈線間に連続の爪形文。4・5は隆帯および沈線による平行線、連続爪形文有す曲線文。

第Ⅲ群 2類（161図57・59）

57は口縁部内屈し斜めの集合沈線、頸部にいわゆるソーメン状文による波状文。58は格子状の文様。59は波状の垂下文様。曾利Ⅱ式

### 第3章 検出された遺構と遺物

#### 第Ⅲ群3類 (160図10～12・160図13～161図48・162図60～84・163図119・163図121～123)

加曽利E3式または曽利IV式土器である。14～20は口縁部沈線による楕円渦巻き文、21～31は縦位の磨り消し帯、32・33は縄文地文に沈線による蕨手、蛇行懸垂文。34～45は隆帯による弧状文、楕円渦巻き文有し縦位の沈線を充填。48は口縁部に無文帯隆帯をT状に配し、縦位の集合条線文。47は口縁部に狭い無文帯、一部つまみ上げたように肥厚し、下位に沈線による∩状の磨り消し文様。62～80は曽利ⅢまたはⅣ式、平行隆帯による垂下文を持ち地文は縦位、斜位の平行線文。119・121～123は底部片。

#### 第Ⅲ群4類 (161図49～56)

49～53は口縁部に無文帯を有す以下縄文施文。49・50は横位沈線により口縁無文帯を画す。いずれも口縁部が内湾あるいは弱く内屈する。55・56は沈線によるU・∩状文を描き縄文を充填施文する。

#### 第Ⅳ群1類 (162図90～92) 2類 (162図93～96)

1類は称名寺1式に比定される一群である。90・91は磨り消し縄文による曲線文様、92は文様上に連続刺突文有す。93～96は称名寺2式に比定される一群。93～95は無文地に微隆起線文。

96は口縁下に横位連続刺突文。線によるU・∩状文様を描く。

#### 第Ⅳ群3類 (163図97～111)

縄文地文に平行沈線による矩形、曲線文様描く。104は細い垂下隆帯上に連続押圧文。106は刺突文を有す、三十稲葉式。

107～111は無文。107は横位沈線。

#### 第Ⅳ群4類 (163図120・163図124)

底部片、124は網代底。

#### 第Ⅳ群5類 (163図115～117)

口縁部の把手である。

### 5区遺構外出土土器 (第164～190図・PL82～97)

#### 第Ⅰ群2類 (164図1)

1は口縁部に連続押捺刻み、以下横位集合条線を施し、円形添付文を有す。諸磯c式。

#### 第Ⅱ群第1類 (164図2)

横位隆線間に交互刺突文。

#### 第Ⅱ群3類 (164図3～15)

隆帯上に刻みを有すもの、隆帯による楕円パネル文、曲線文様。

#### 第Ⅲ群1類 (164図16～30)

地文に縄文、撚糸文施文後、沈線による平行垂下文、曲線文様を描く。25～30は縄文、撚糸文。

#### 第Ⅲ群2類 (170図176～185)

176～181は口縁部に斜位の集合沈線、口唇部内屈する。182～184は粘土紐による格子文を有す一群。185は粘土紐による平行線文間に横波状文。

## 第Ⅲ群3類 (164図32～169図175・170図186～173図287)

本区内では多く出土している一群である。加曽利E3とされるもの、曾利Ⅲ・Ⅳとに大きく分けられる。37～92は口縁部、隆帯または沈線による楕円文、渦巻き文で口縁部文様帯を画す。93～97は口縁部に沿って横位太沈線、93は2段施文、95・96は隆帯を持つ。98～115は縄文地文、沈線で垂下無文帯。116～120は蛇行垂下沈線。121～123は垂下隆帯上に押圧文。124～142は口縁部に縦位の集合沈線を有すもので、隆線による楕円124・125・128・134・135・137・140。連弧状文を持つもの126・136が見られる。口縁部文様が横位の隆帯で画された127・129～133や沈線で画された幅狭の無文帯有すもの138・141・142などがある。143は細かい集合沈線。126は深鉢口縁部片、口径(25.2)cm。口縁部に2本隆帯による連弧文、弧状文内には縦の沈線文。胴部には斜沈線を粗く施文。2本単位の沈線および蛇行沈線が垂下。127はほぼ完形の小形深鉢、口縁部内側は隆帯状に肥厚する。口縁部に3カ所の拗り隆帯文が付き、口縁部に廻る隆帯と繋がる。口縁部は縦位の集合沈線と所々に交互刺突が見られる。各拗り隆帯を繋ぐようにW状の連弧状文が3単位垂下し、弧状文内には横位矢羽根状の沈線を充填。また隆帯下位には蛇行沈線が垂下。以下胴部下位は無文。口径13.8cm、器高17.7cm、底径5.7cm。曾利Ⅲ式。口縁部に無文帯を持つ一群144～147は口縁部に刺突文を持つものである。147は沈線上に並ぶ刺突文で他とは趣を異にする。162・163・165～174は沈線で画す幅狭無文帯を有す。口縁がやや内傾するもの165・167・169・171・172と外傾するもの170・173・174がある。160・161は曲線文、174は2本の沈線。299～301は口縁部に沿って刺突文。

曾利Ⅳ式と見られる一群。186～200・214～246は隆帯による渦巻き垂下文、平行垂下文を持つ一群、地文には斜めの集合沈線をもつものが多い。218・222は渦巻き隆帯上に刺突文列。201～213・263は口縁部片、沈線による楕円区画文を描き縦位集合沈線を充填する。247～261は沈線による平行垂下文、曲線文を描き地文には縦又は斜め方向の粗い集合沈線を施文する。264は屈曲の強い器形を呈す肩部に隆帯による楕円、渦巻き文。265～267は無文の口縁部片、横位の隆帯、沈線を持つ。267～273は縦位の垂下併行沈線を持つが地文は細条線文で描かれる。267は緩やかな波状を示す。274～277は無文に縦位の併行垂下文。278～287は細密の縦位集合沈線を地文に持つもの、283～285は口縁部片。286・287は縦の沈線文が見られる。

## 第Ⅲ群4類 (169図146～157・174図307～175図333)

加曽利E4式に比定される一群。148～159は横位の隆線で画すやや幅広の無文帯を持つ。148・156・157はT状垂下隆帯が見られる。307～312は口縁部片、無文帯有し、小波状を呈す。沈線による紡錘状文を描く。314・315は沈線による垂下文、313・317・318・320は縄文地文で隆帯による曲線文。323～328は垂下する紡錘、舌状文。

## 第Ⅲ群5類 (186図724～734)

無文または口縁部に沈線が廻る一群である。

## 第Ⅲ群6類 (188図773～781)

底部をまとめた。773・777は垂下隆帯、773は斜位の沈線文有す。774は磨り消し縄文。

## 第Ⅳ群1類 (175図334～178図439)

称名寺式とされる一群である。334～363・367は口縁部分で磨り消し縄文による渦巻き、曲線文を描くものである。334～363は口縁部に隆帯が廻る。364～366・368は無文地に曲線文様を描く。369～373は口縁把手部分である、373は無文、他は縄文施文。374は無文の口縁部片。375～405は胴部片。407～442は文様に沿っ

### 第3章 検出された遺構と遺物

て刺突文を持つ一群である。548～560は新潟県にその分布域の中心を持つ三十稲葉式である。548は外反する無文の口縁部に橋状把手が付き、胴部に刺突文が充填施文される。他は胴部片でやはり刺突文が施文される。

#### 第Ⅳ群 2類 (178図440～446)

440～442は列点文が施文される一群。443～445は沈線または微隆起線による平行曲線文。446は底部片、沈線によるU状文が見られる。

#### 第Ⅳ群 3類 (178図447～181図・182図561～596)

堀之内 1式に比定される一群である。447～484は口縁部、屈曲し、横位沈線、弧状短沈線を付す。445・469・478・479・481～483は円孔を持つ。485～472はほぼ直線に立ち上がった口縁部に横位沈線を有し以下平行沈線による垂下磨り消し文。493～499・501～505は8字文を有す頸部片。509～524は沈線による矩形、曲線文を描き間には縄文が施文。525～532は地は無文である。533・534は沈線による横位、縦位の波状文見られる。535は隆線による曲線文536～538は隆線による突起状文。539・540は沈線による重櫓円文。541～547は凹圧文を有す隆帯が見られる。561～596は無文の口縁部に沈線を持つ一群。くの字に内屈、583・584・589は口縁部にそって連続の凹圧文、592～596は凹圧刻みを持った隆線が横位、縦位に付される。548～560は三十稲葉式を一括した。548は口縁部片である。外反する口縁部は無文で、橋状の把手が付され、以下胴部には細かな刺突文が施文される。549～560は刺突文を持つ胴部片である。549～551などのような細かい紡錘状を呈す刺突文と552以下に見られるような丸みを持った、やや大きめの刺突文とに大別される。558はやや趣が異なり他時期の可能性はある。

#### 第Ⅳ群 4類 (183図597～185図722)

堀之内 2式に比定される一群である。597～624・648は口縁部に刺突文を持つ隆線が廻り、8字文が付されるもの599～601・608・625～629や複数本施文されるもの607・608・613～615などが見られる。以下胴部には幾何学文様の磨り消し縄文。631～653は隆線を持たない。643～647は沈線のみ文様である。

654～660は鉢形土器の口縁部、内面に沈線による同心円文、刺突文を持つ。661～708は胴部片である沈線による重四角文662～666、磨り消し矩形文、曲線文様を描くものである。697・698は細沈線による横位矢羽根文、709・710は微隆線により文様を描く。711は注口土器か。713・714は渦巻き文。715は4単位の小波状口縁。716～722は強く内傾し口縁部が短く立つ一群である。沈線による平行磨り消し文様を持つ、716・721は隆線上に刺突文。722は無文で貼付瘤。

#### 第Ⅳ群 5類 (186図731～187図771)

無文の口縁部である。端部に丸みを持つもの、角頭状を呈すものがある。754～766は隆帯が廻る。

#### 第Ⅳ群 6類 (188図785～189図797)

底部片をまとめた、大きく開くもの785～787、底部が張り直立するもの788～795が見られる、後者は網代底が多く見られる。

796・797は両端が強く張り、外に大きく開く器形。

#### 第Ⅳ群 7類 (189図800～189図805)

注口土器である。いずれも注口部分片である。

#### 第Ⅳ群 8類 (189図808～189図820)

把手片である。

第Ⅳ群 9類 (190図822～850)

土製円盤である。側縁部丁寧に研磨されている。大きさにバラエティーが見られる。827・835は底部片を利用、時期は中期後半から後期に渉る。いずれも側縁部丁寧に研磨成形される。

第Ⅴ群 3類 (189図821)

後期後半、高井東式の口縁部把手である。頭頂部は円形を呈しやや凹み、下部にタガ状の隆帯が廻る、表面が剥落する。

**6区遺構外出土土器** (第191～193図・PL97～98)

22は円筒状を呈す胴下部片。地文は縄文を全面施文、3本単位の沈線と蛇行沈線を交互に垂下させる。底径(10.0)cm

第Ⅱ群 2類 (191図1～4)

刻みを持つ隆帯円形文、4は沈線文内に刺突文、焼町式。

第Ⅱ群 3類 (193図46・193図49・193図50)

無文土器

第Ⅲ群 2類 (191図14～22・192図25・192図26)

14～16は口縁部、14は隆帯による渦巻き文。16は隆帯で横位の区画帯、中は縦位の集合沈線。

17・18は垂下隆帯、19～22・25・26・29は縄文地文に沈線文。

第Ⅲ群 3類 (191図8～13・192図27～193図48)

加曽利E3式8～13と曾利Ⅳ式27～43に大別される。前者は口縁部隆帯による楕円、渦巻き文で文様帯を画す。後者は隆帯による渦巻き文、垂下文を配し、地文には横位、縦位の集合沈線。42は沈線による平行垂下文、綾杉文。43は撚糸文か。44は縦位の集合条線文を全面施文。47・48は肩部に橋状把手を持つ。

第Ⅳ群 2類 (193図51・193図53)

沈線による横位斜位の平行線文描き刺突文を付す。

第Ⅳ群 3類 (193図52・193図54・193図55)

口縁部に沈線を廻らす無文口縁部。

第Ⅳ群 6類 (193図56・193図57)

底部片である。57は網代痕。

第Ⅳ群 9類 (193図58～60)

土製円盤3点出土している。

**95区遺構外出土土器** (第194～209図・PL99～108)

第Ⅰ群 2類 (197図38)

横位の沈線文。諸磯b式。

第Ⅱ群 1類 (197図39・197図40～43・193図46・198図73・198図74)



40は隆線による渦巻き文、41～43は口縁部隆帯により区画帯を作り中には交互刺突文施文する。

第Ⅱ群2類 (198図75～78・83・84)

中期中葉の土器群である。隆帯または沈線に沿って刻みまたは刺突文を付す。76～78は隆帯上に刻みを有す。83・84は平行沈線、連続刺突文。

第Ⅲ群1類 (197図44～45・198図63～72・79～82・86～98・107・108)

44・45は口縁部に隆帯で横位区画し、縄文を施文。64～72・79～81は曾利Ⅰ式。86～98・107・108は縄文地に沈線で垂下文様を描出する。加曾利EⅠ式期か。

第Ⅲ群2類 (194図1・194図2・194図5・194図8・195図15・196図16・198図48～62)

1は大形の深鉢である、口径(34.5)cm。やや長胴で頸部やや括れ、口縁部はわずかに内湾し内側に肥厚。口縁部は縦、横の集合沈線で分割区画し、頸部に凹圧痕を持つ隆帯が一周、この隆帯から垂下したH字状の2本の隆帯で縦位区画を作る。区画内には蛇行垂下隆線と垂下隆帯から延びた鉤状文が交互に配される。地文は縦位の綾杉沈線文が充填される。

2は口縁に環状、橋状それぞれ1対の把手を持つ、各把手部分には沈線による渦巻文様を基調とした沈線文を付す。口縁下には把手部分から繋がる隆帯が廻り、中央部分で肥厚し沈線による渦巻き文が見られる。口縁と隆帯の間には横位矢羽根状の集合沈線が充填されている。胴部には下向きコ状に隆帯を4本垂下、隆帯上には2本の沈線が付され垂下文の交点部は渦巻きとなる。また垂下文は中位で切れ、2段の蕨手状となる。また一部鉤状に延びる部分が見られる。地文には縦位綾杉状沈線文。

5は口縁部を欠く深鉢である。胴上部でやや括れ口縁部が開く。口縁部は無文で頸部に間を置いて2本の隆線が廻り、間には横位矢羽根状沈線文が付される。隆帯を繋ぐ2本の拗り隆帯が5カ所に付きそこから上端が渦巻きとなる蛇行隆線文が垂下しさらに、その間にも垂下隆線が付されT状となる。胴部地文にはT状部から始まる重弧状の沈線文が鱗状に下に向かって施文される。

15・16は円筒状を呈す胴部である。頸部から胴部にかけて3本の隆帯T字状に4単位付される。交点部分は渦巻きとなる。垂下する隆帯の中位にも渦巻き文が見られる。また区画された部分の中央にも1本の垂下隆帯が見られる。区画内の地文は縦位綾杉文を充填。

48～62はソーメン状の貼り付け文で格子文、波状文を付す。曾利Ⅱ式。

第Ⅲ群3類 (194図3・195図6・195図7・195図9・195図10～13・196図17・196図18・196図20～197図37・199図99～106・199図109～206図293)

6は底部を欠く深鉢、口径21.2cm。口縁部に隆帯による楕弧状渦巻き文による文様帯を構成、区画内は縦位沈線文。胴部は沈線による平行線文でU・〇文様を上下に繋げ、間には渦巻き蛇行文が垂下し、地文には横位の集合沈線文を重層させる。

7は口径(32.2)cm。隆帯による楕円渦巻き文による口縁部文様帯、文様帯内には縦位集合沈線。胴部には平行垂下隆帯を付し、地文には斜位の集合沈線。

8は口径(25.0)cm。口縁部に立ち上がる把手が付く、円窓と橋状把手が付される。口縁に廻る隆帯は把手上端で渦巻き文を作り、橋状把手となり下に下がり、左右に分かれて口縁下に弱い連結弧状文を描く。弧状区画内は縦位の集合沈線が見られる。

9は4単位の小波状を呈し、一対の把手を有すが欠損する、口径(18.5)cm。把手および波頂下には隆帯による縦S状文が見られ、間には横楕円文が描かれ、縦位沈線が充填される。胴部にはS状文下に隆帯による蕨

手垂下文が描かれる。地文には斜位の沈線文。

10は口径29.3cm、口縁部に2本の隆帯による連弧文を描き中央部には渦巻き文。頸部に隆帯が廻り、胴部には上端が渦巻き文となる平行隆帯がやや斜めに配される。地文は口縁部、胴部ともに縦を基本とする集合沈線であるが、胴部隆帯文間は横方向である。口唇は平らに成形され2本の沈線が廻る。

11は口径(37.5)cm。大形の深鉢胴上半部である。隆帯により9ないしは10単位の連弧文を配す交点部は瘤状に肥厚する。各弧文内には沈線による楕円文を描き斜位の沈線が充填されている。胴部は3本単位の垂下沈線、蛇行沈線が見られ地文には縄文が充填施文される。

12は口縁部に隆帯により連結部が瘤状に肥厚する連弧文。弧文内には沈線による楕円文を描き縦位の沈線が施文される。胴部には上下に沈線によるU、∩文が垂下、地文には垂下蛇行櫛歯文様。口径(19.0)cm

17は垂下隆帯、蛇行隆帯文が見られ、地には斜行集合沈線。口径21.0cm

18はやや小形の深鉢胴部、4単位の平行垂下隆線の中央部が肥厚し渦巻きとなる。隆線間は垂下する平行線、蛇行文が見られる。地文には縦位の綾杉沈線文。

19は大形土器の口縁部片。口縁部幅広の無文でほぼ直立、口唇端部内側に肥厚する。無文下に円形文と繋がる2本の隆帯が廻る。隆帯下は縄文か。胎土中に金雲母片含む。20はほぼ一周する胴部、口縁、底部を欠く。隆帯による蛇行、渦巻き垂下文を持つ。地文には斜位の集合沈線。

23は胴部片、2本隆帯による垂下文が見られ、隆帯を繋ぐ横位の平行沈線が多段に描かれる。隆帯と沈線で画された区画内には縦位の集合沈線が充填されている。

24は2本の隆帯による垂下U状文が4単位、地文には横位の集合沈線文。

25は口縁部に沈線による重連弧文が6単位施文され、頸部には円形文を持つ隆帯が廻る。以下胴部には縄文が全面施文される。口径(14.5)cm

26は口縁部、2本の隆帯で画された間に楕円文、渦巻き文の組合せによる文様帯を構成、胴部は3本ないしは2本単位の沈線を垂下、間には粗く縄文が施文。口径15.5cm

27は隆帯による打楕円渦巻き文を構成、楕円文内には縄文を充填する。胴部は垂下平行沈線、地文には縄文を縦位施文。(口径21.5)cm

28は小形土器、口径18.8cm。口唇部に沈線が廻る。併行沈線による垂下渦巻き文が横に描かれ、縄文が施文される。以下縦位の沈線文が全面に見られる。

29は小形土器、口径13.5cm。口縁部はほぼ直立し、口縁部に1条、やや間を持って下位に2条の隆帯が廻る。隆帯間を繋ぐようにおそらく4単位の渦巻き文が配される。以下胴部は無文。

30は口縁部、口径29.3cm。折り返され口縁部肥厚する。沈線により横位山形文を描き、これに沿って連続列点文が施される。

31は大形土器の口縁部、口径37.2cm。口唇部内側に肥厚。口縁部無文で頸部に刻み有す隆帯が廻る。また隆帯上位にはハの字状の列点文が連続する。

32は隆帯により広、狭2種類のH状垂下文、幅広のH文には向かい合うように渦巻き文が見られる。各垂下文の間には縦位の縄文L Rが施文される。

34は大形土器の胴部片。縄文地文とし、中位に渦巻きを有す3本の隆線による垂下文、また間には下が2本、上が1本の隆線による垂下文を配す。いずれの垂下文も弱く屈曲する。

35は口縁部に上部に渦巻き文となる橋状把手を有す、口径17.7cm。隆帯により楕円、渦巻き文様を持つ。楕円文内には縄文が施文される。

### 第3章 検出された遺構と遺物

36はやや小形の土器、口縁部に沈線が廻り無文帯を持つ、沈線以下全面に縄文RLが縦位施文される。口径(135)cm。37は有孔鐳付き土器である、口径(120)cm。口縁は直立し鐳はほぼ水平に短く張り出す。穴は径約2mmで胴部から口縁部に向かって2cm程の間隔で見られる。胴部文様は沈線で大きい渦巻き文を描き、その上肩には小さい渦巻き文が描かれる。器面は研磨され平滑である。また口縁から鐳部分には赤彩痕が見られる。111～115は隆帯による口縁部区画、縦位の沈線を充填。119～128は隆帯による楕円渦巻き文、楕円内には縄文充填。129～145は口縁部に隆帯の貼り付け文、斜位、縦位の集合沈線文。曾利3式。146～156は口縁部分、隆線による区画文、渦巻き文縦位沈線、交互刺突文が見られる。159～236・238～280は曾利3式、隆帯による渦巻き文垂下文を有し、地文は縦位、斜位、矢羽根状の集合沈線文。285は口縁に沈線を廻らし隆帯によるJ字縄文を垂らす。288・289は沈線による文様。

#### 第Ⅲ群4類(194図4・195図14・206図291～298)

加曾利E4または曾利V式に比定される。

4は口縁部わずかに内傾、口縁に沿って隆帯が廻りそこからS状文が垂下する。地文には縦位の綾杉沈線文。口径(164)cm。14は隆帯による蛇行垂下文、地には細沈線によるやや乱雑な縦位の綾杉文。

#### 第Ⅲ群5類(207図319～334・207図336～344)

無文土器を一括した。319～327は端部肥厚し浅い沈線が廻る、鉢形を呈すと思われる。

#### 第Ⅳ群1類(206図299・304・305)

称名寺1式に比定される。曲線文による磨り消し縄文。

#### 第Ⅳ群2類(206図300～303)

称名寺2式に比定される。沈線による曲線文様を描き、文様内に列点文を付す。

#### 第Ⅳ群3類(206図307～318)

307～313は口縁部、沈線を廻らし、円形文、刺突文が見られる。314～317は沈線による曲線文用を描き縄文を施文、318は平行沈線による垂下文、地文は見られない。

#### 第Ⅳ群5類(207図335・208図345～348)

無文口縁部。

#### 第Ⅳ群6類(208図350～359)

底部片を一括した。358は条線文。359は沈線による曲線文が見られる。

#### 第Ⅳ群7類(209図360～375)

口縁部把手類を一括した。360～362は表面、側面に刺突文が見られる。363～367・369・372～375は沈線、または隆線による渦巻き文が見られる。

### 96区遺構外出土土器(第210～229図・PL109～121)

#### 第Ⅱ群2類(214図31～37)

31は刺突文による曲線文を描く。32・34・37は刺突文、他は横位隆帯、沈線文で交互刺突列又は刻みを有す。

#### 第Ⅲ群1類(214図40～215図69)

40～57は胴部片で縄文地文に沈線による平行線文、垂下文、蛇行垂下文を描く。58～69は縄文施文。

第Ⅲ群2類 (213図16・213図19・213図20・213図22・214図38・39・215図70・71)

16・19・20・22は曾利Ⅱ式に、38・39・70・71は加曾利E2式に比定されよう。

16は口径37.0cm。長胴で頸部の括れは無く、口縁部はやや開き口唇部は内側に肥厚する。口縁部は無文、頸部には間隔を置いて三角文が隆帯によって描かれる。隆帯に沿って連続刺突文、沈線が施文されている。

19は口径(16.4)cm、波状口縁で一对の大きく伸びるH状把手を持つ。把手部分には蕨手沈線文が付され、円窓、橋状の把手が付く。把手部分から繋がる隆帯は口縁に沿って横に延び、小波状部でS状文を作る。口縁間に作られた区画内には交互刺突文、縦位の沈線が2段構成をとる。胴部は隆帯によるU状文、その中に下端部が渦巻きとなる蛇行垂下文が見られる。地文には縦位綾杉沈線文。

20是一对の大きく立ち上がる橋状把手を持つ。把手から繋がる2本単位の隆帯が左右に分かれ連続する渦巻き文を作り横に延びる。口縁部は縦位の沈線。胴部には把手および、小波状部下位に平行垂下隆帯が見られる。その間にも平行隆帯による渦巻き文。地文は斜位の集合沈線文。

三角文下には、上端および中位に渦巻き文を有す2本と3本の平行隆帯文が交互に垂下し、胴部縦位区画を構成する。区画内には縦位の集合沈線を施文後横に4本単位の平行沈線を3段付す。垂下隆帯内には斜沈線を充填する。

22は胴部片、幅広の隆帯による横S字文を描く、S字文の所々から平行隆線が上下左右に延びる。地文には縦位の集合沈線が付される。

第Ⅲ群3類 (210図1～212図15・213図17・213図18・213図21・214図23・215図72～222図250)

1～11は加曾利E3式に、12～14・17・18・21・23は曾利Ⅲ・Ⅳ式に比定される一群である。

1は大形の深鉢、口径40.2cm、器高48.8cm、底径9.0cm。口縁は4単位の小波状を呈す。口縁部には隆帯による楕円、渦巻き文の2段構成の口縁部文様帯。楕円文内には縄文が充填される。以下胴部には縦位の垂下沈線で無文帯と縄文帯を画くし、縄文帯には蛇行垂下文。縄文帯の下位は縦の条線文となる。

2は異質な文様構成をとる、4単位の波状口縁と思われ、口唇部は内屈。全面に縄文施文し、波頂部から2本の隆帯で大きくS字文を4単位、底部に向かって描く。隆帯間を撫で、磨消帯の効果を表出している。

3はほぼ完形の深鉢、口径32.4cm、器高40.0cm、底径5.8cm。4単位の波状口縁を呈し、一对は耳状に肥厚。口縁部は沈線による楕円、渦巻き文による文様帯を構成、楕円文内には縄文を施文する。頸部に無文帯を有し、2本の沈線を廻らす。胴部には、沈線による連続U状、∩状文を上下に組合せ、文様を描く。文様内は縄文で充填、さらにU状文内には縦S字文を描き、下段の無文部には蕨手文を沈線で描いている。

4は4単位の波状口縁か、口縁部は隆帯による楕円文、渦巻き文を組み合わせ文様帯を構成。楕円文内には縄文が充填される。胴部は沈線による縦位磨り消し帯、縄文は無節Lを縦位施文する。

5は大形の深鉢。4単位の小波状口縁、口縁に沿って円形凹圧文を有す沈線が一周する。以下胴部には8単位の沈線による∩状の区画文が垂下する。区画文内は縄文が充填されているが、下部については集合沈線による波状文が施文されている。

6は胴下部を欠く、口径23.8cm。4単位の波状口縁を呈す、一对は耳状に突起する。口縁部は隆帯による楕円渦巻き文による口縁部文様帯を2段構成、以下無文帯を有し横位沈線を廻らす。胴部文様は沈線により∩状文、蕨手文を交互に垂下させ、∩状文内は縦位縄文RLが充填される。

7はほぼ完形のキャリパー形深鉢、口径25.0cm、器高35.0cm、底径6.0cm。底部は小さく胴中位でやや括れ口縁に向かって開き、口縁部は内湾する。施文は口縁部に沈線による波状垂下文様を描き、縄文を充填、波状

### 第3章 検出された遺構と遺物

垂下部には縦長逆C状文を描く。波頂部下位には沈線による〇状文を描き縄文を充填する。〇状文間は磨り消し無文で蕨手沈線文が垂下する。

8は大形の深鉢。口縁部に沈線による楕円文区画文を描き中には縄文を充填させる。胴部は2本の垂下沈線で縄文帯、無文帯を縦位区画する。無文帯には蕨手垂下文。

9は口径22.2cm。沈線による縦の楕円文とS状文を交互に描く、上下2段の文様構成をとる。楕円文内には縄文を充填する。

10は大きく沈線により上下に舌状文様を描く。

11は底部を欠く深鉢、口径30.7cm。4単位の小波状、口縁部に隆帯による楕円区画文、区画内は縄文が施文されている。胴部は隆帯および沈線で下位が繋がる蕨手文様の垂下文様を描き、下段にも隆帯による蕨手文、〇状文が垂下する。地文に縄文が施文されるがまばらである。

12は底部を欠く深鉢、口径8.6cm。隆帯による楕円渦巻き文、胴部には垂下沈線文蛇行、渦巻き文を描き、口縁部楕円区画内および地文は斜位の集合弧状沈線。

13は口縁上部を欠く。口縁下部には平行沈線による連弧状文か、頸部に2本の隆帯を平行に廻らし所々を縦の隆帯で繋ぐ。そこから胴部に細いH状の垂下隆帯が見られる。隆帯間には上端が渦巻き文となる垂下蛇行文。地文には起点のずれる縦位綾杉沈線文が施文される。

15は隆帯による楕円、渦巻き文で口縁部文様を構成。楕円文内は縦位の沈線文。胴部には平行沈線による〇状文、蛇行文を垂下させる。文様間には縦位の集合沈線。口径23.6cm。

17は口径15.9cm、口縁部に隆帯による5単位の連弧文、接点部分は渦巻きとなる。連弧文の中には縦位の沈線文。弧文の接点部からは平行沈線が垂下し、胴中位にこれらを横に繋ぐ弧状文が見られる。さらに弧状沈線上下に蛇行垂下沈線を描く。

18は小波状を呈す。口縁下位に隆帯を廻らし区画帯を設け、縦位沈線を充填する。小波頂下には隆帯による区画文、さらに胴部には隆帯による垂下文が4単位見られる。垂下文を繋ぐ重弧状の横位沈線が上下2段に見られる。その間は縦位の集合沈線文。

21は底部片、隆帯による渦巻き文、地文には多方向からの集合細沈線。

23は頸部がややくびれる深鉢である、口径23.9cm。口縁部には接点部分に渦巻き文を持つ、2本の隆帯による連弧状文で口縁部区画文様を構成する。弧状区画内は斜位の集合沈線文を付す。文様帯下には平行沈線によるU状文が垂下、その下には横S字文を描き、平行沈線で繋ぐ。地文には縦位の密接集合条線文を充填。

第217図117～125は縦位、斜位の集合沈線を持つ口縁部である。126～128は蕨手状文を沈線、隆線で描く、126は刺突文が見られる。131は重渦巻き文、132、133は縦位の結節文。135～138は横位、縦位の集合沈線文、139～143は粘土紐による斜格子目文様を描出する一群である。古段階に位置付けられよう。144～191は口縁部を一括した。184～188は口縁部分に肥厚した隆帯文を持つ。胴部片は縦位集合沈線、201～202と縦位の綾杉文、210～227とに大別される。

#### 第Ⅲ群4類 (214図24・222図251～223図266)

加曽利E4式に比定される一群である。

24は口径8.7cm、器高11.5cm、底径5.5cm。肩部に4カ所の把手を有し、内一對は穴もやや大きく、下には横方向の把手も付く。口はやや締め口縁部は短く立ち上がる。胴部正面および背面には縦のS字文を描き、間には縦楕円文を描く。胴部の一部に赤彩痕。

251は幅広の無文帯を隆線で画し、 $\cap$ 状文。252～266は沈線、微隆線によるU状文を描く。266は橋状把手片。260～262は櫛状の工具による条線文。266は橋状取っ手である。

#### 第Ⅳ群 1 類 (223図268～296・299・301～309)

称名寺 1 式に比定される一群である。沈線による曲線文様を描き縄文を充填する。269～277は口縁部に連続する刺突文を持つ。

#### 第Ⅳ群 2 類 (223図267・224図297・298・300・310～318)

283～312は沈線による曲線文。297・298・は沈線のみ、307・309～312・317は刺突文が見られる。314～316は微隆線による曲線文様。

318は口縁部環状把手である。

#### 第Ⅳ群 3 類 (225図319～226図387・227図392～430)

319～387は堀之内 1 式に比定される一群である。319～341は沈線又は円形文を有す口縁部。344～357は橋状又は円孔を持つ把手部分。358～387は沈線による垂下文、曲線文等を描く。366・367は刺突列、368は隆帯に刻みを有す。381～383は粗い施文384から387は櫛状の施文具による条線文。

392～421は三十稲葉式である。392・393は橋状把手を持ち、胴部には刺突文を充填する。

422～430は隆帯を持つ口縁部片。422～426は隆帯上に肥厚した円形押圧文を持つ。

#### 第Ⅳ群 4 類 (226図388～391)

堀之内 2 式に比定される。外面に刺突を持つ隆線を多段に廻らす、また内面にも複数の沈線文。388は隆線が渦巻きとなり刺突文が付される。新潟系か。

#### 第Ⅳ群 5 類 (228図431～444)

やや肥厚するものが多く、角頭状、内削ぎ状となるものが見られる。

#### 第Ⅳ群 6 類 (228図445～229図462)

445～454は中期後半に比定される。455・456・460は網代痕。462は高台状を呈す。後期に比定されよう。

#### 第Ⅳ群 7 類 (229図463～473)

把手類を一括した。463は刺突文を有す、464～470のように、頭頂部、側面に渦巻きを基調とした文様構成を持つものが多い。473は円形で板状を呈す、両面に渦巻き文が見られる。

#### 第Ⅳ群 9 類 (229図474～482)

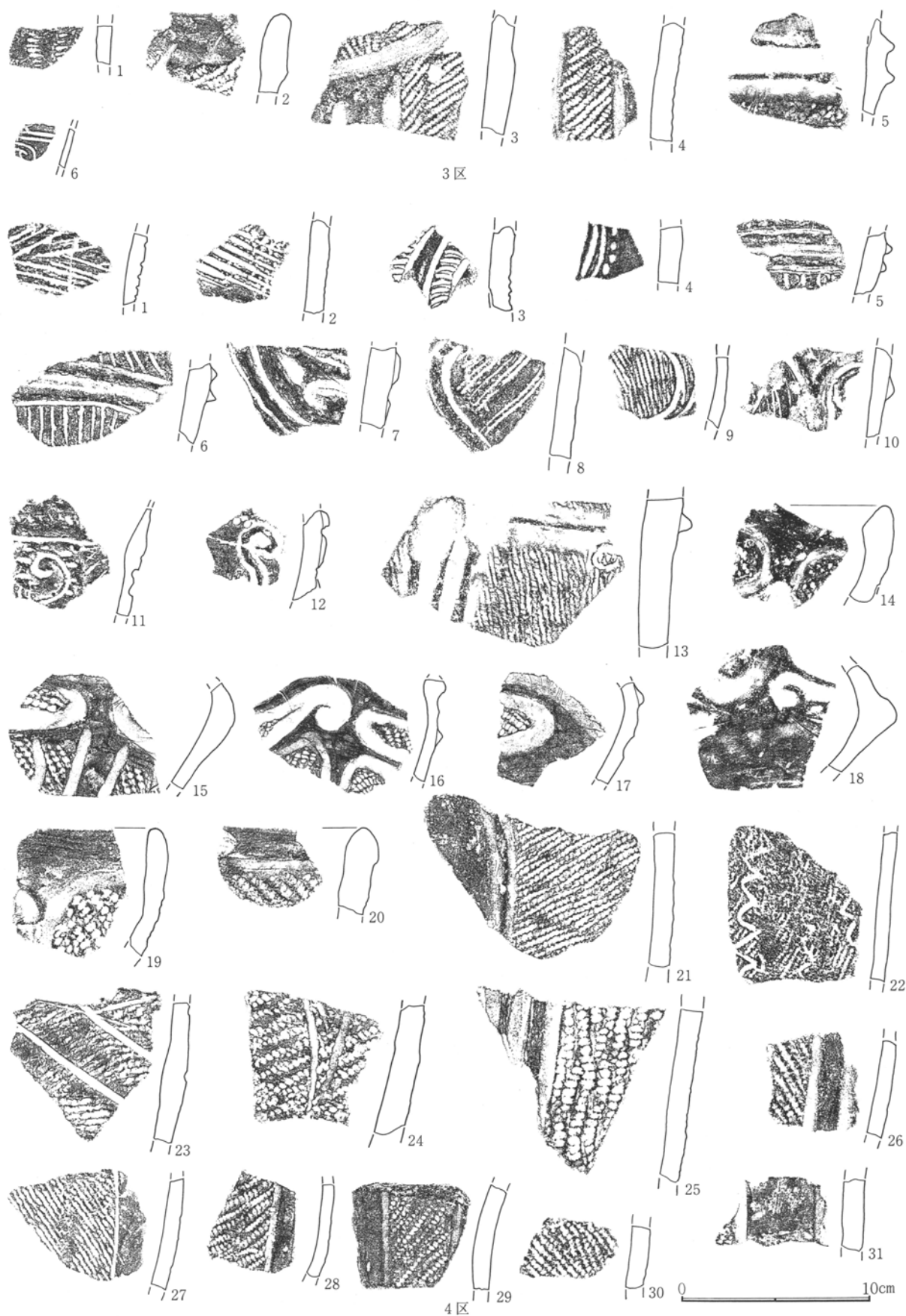
その他土製品等を一括した。474は下ぶくれの器形を呈し、肩部に鐙状の隆帯を廻らす。時期は不明である。

475～480は土製円盤である。

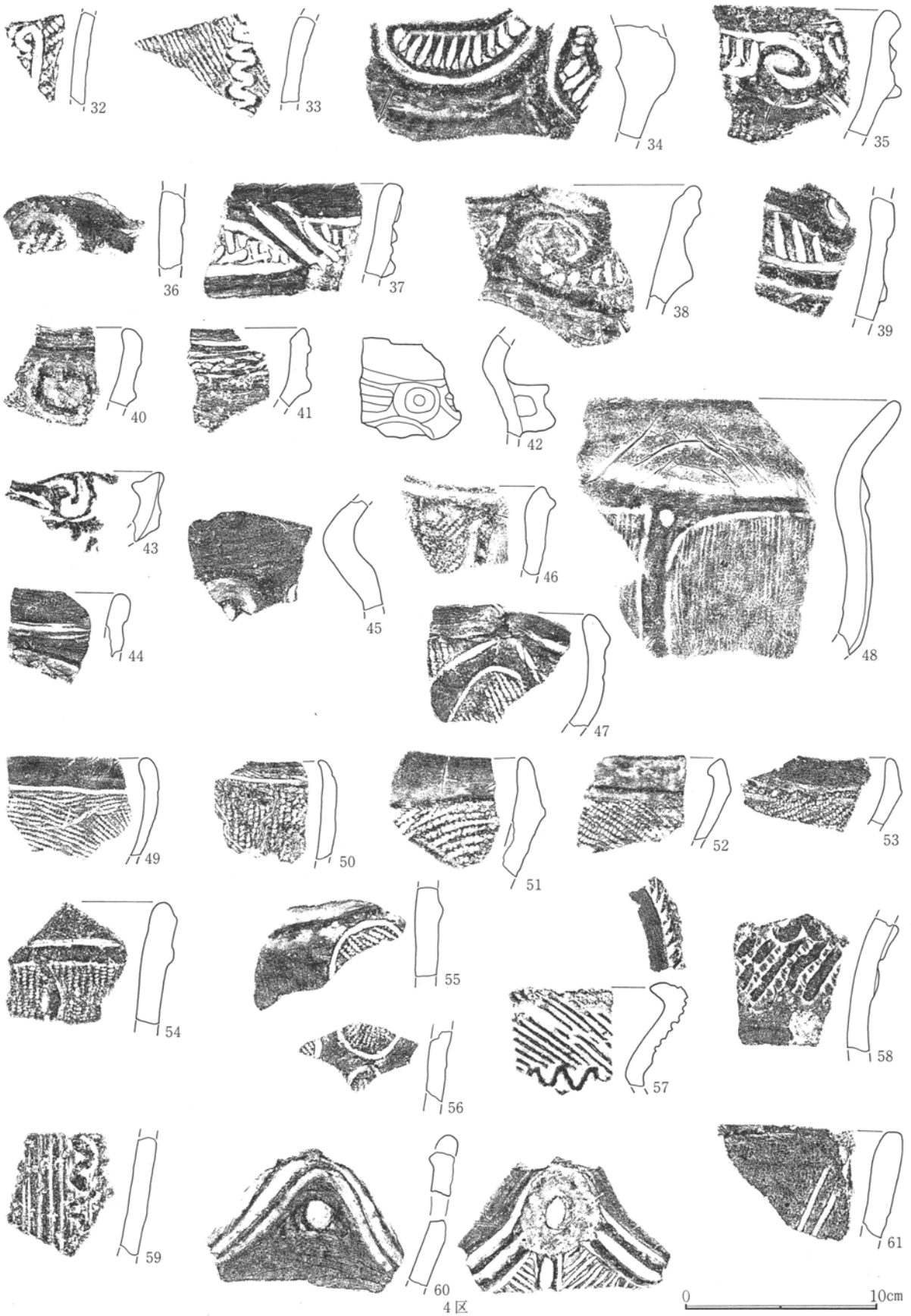
481・482は貝輪状土製品である。481は推定長径12.2cm推定短径11.6cm、内長径6.5cm、内短径4.8cm外面に細縄文。外側がやや薄くなる、断面紡錘状を呈す。

482は推定長径12.2cm、推定短径11.6cm、内長径6.5cm、内短径4.8cm外面に細条痕。

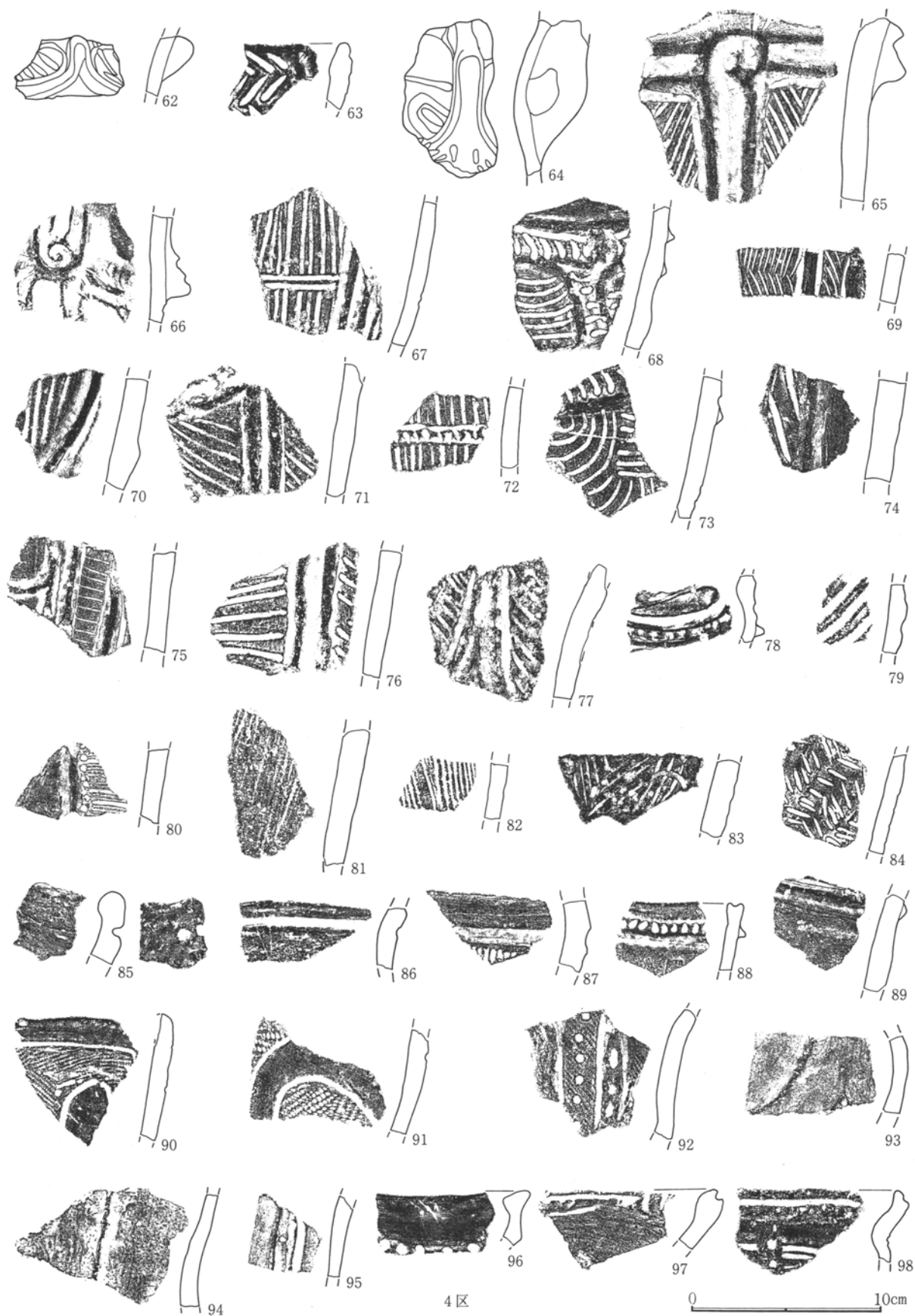




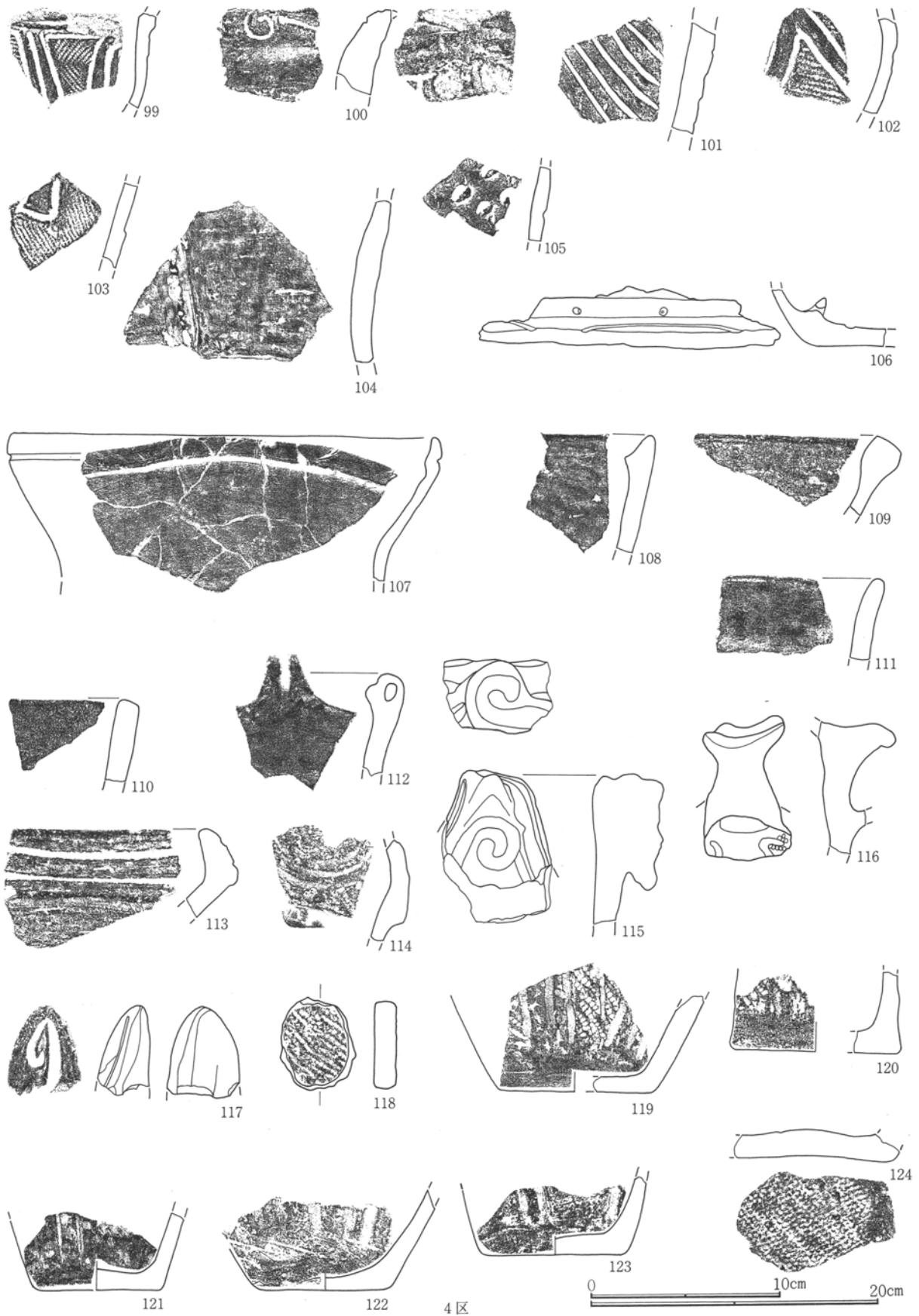
第160図 遺構外出土器 (1)



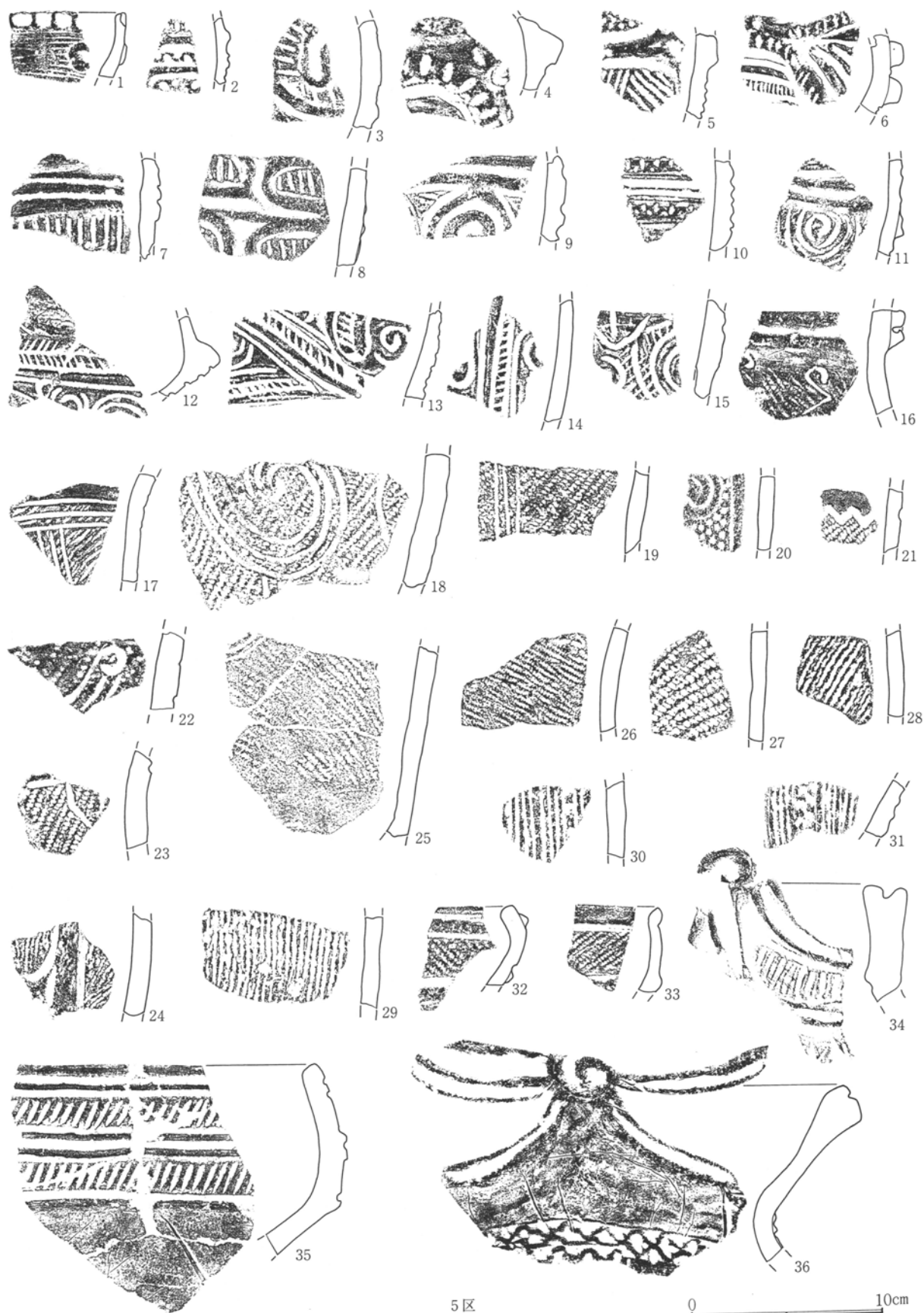
第161図 遺構外出土土器 (2)



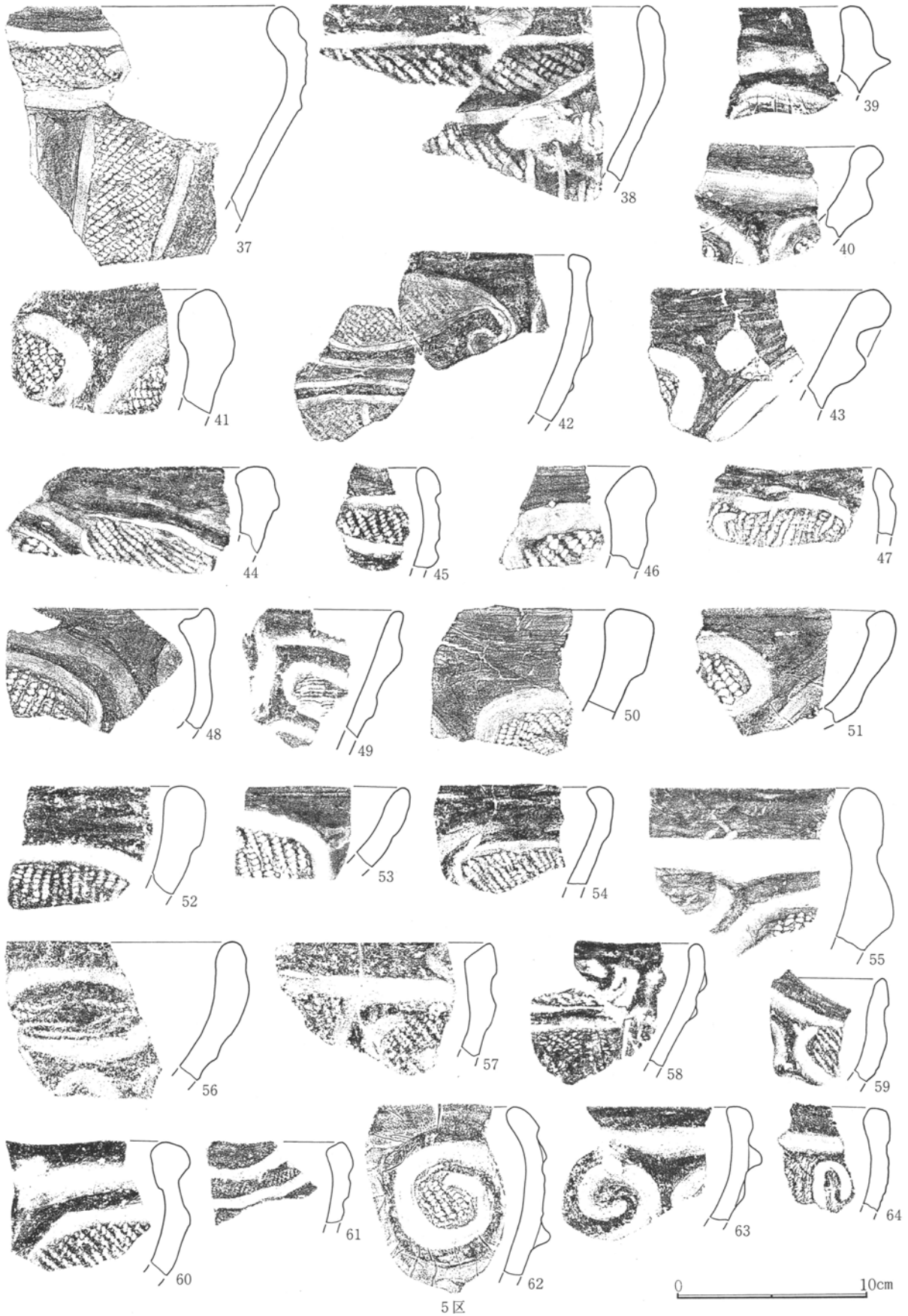
第162図 遺構外出土土器 (3)



第163図 遺構外出土器 (4)



第164図 遺構外出土器 (5)



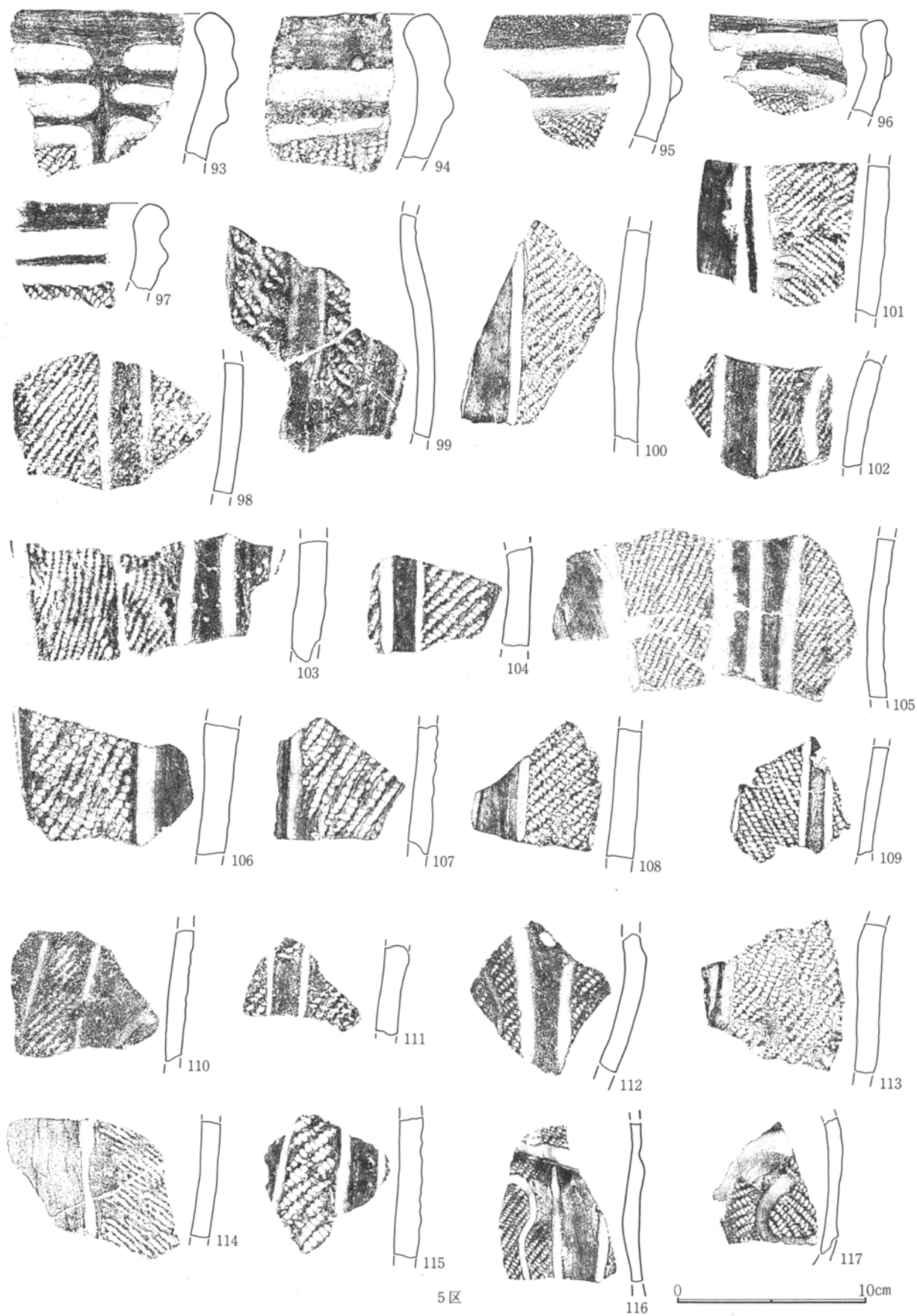
第165図 遺構外出土器 (6)



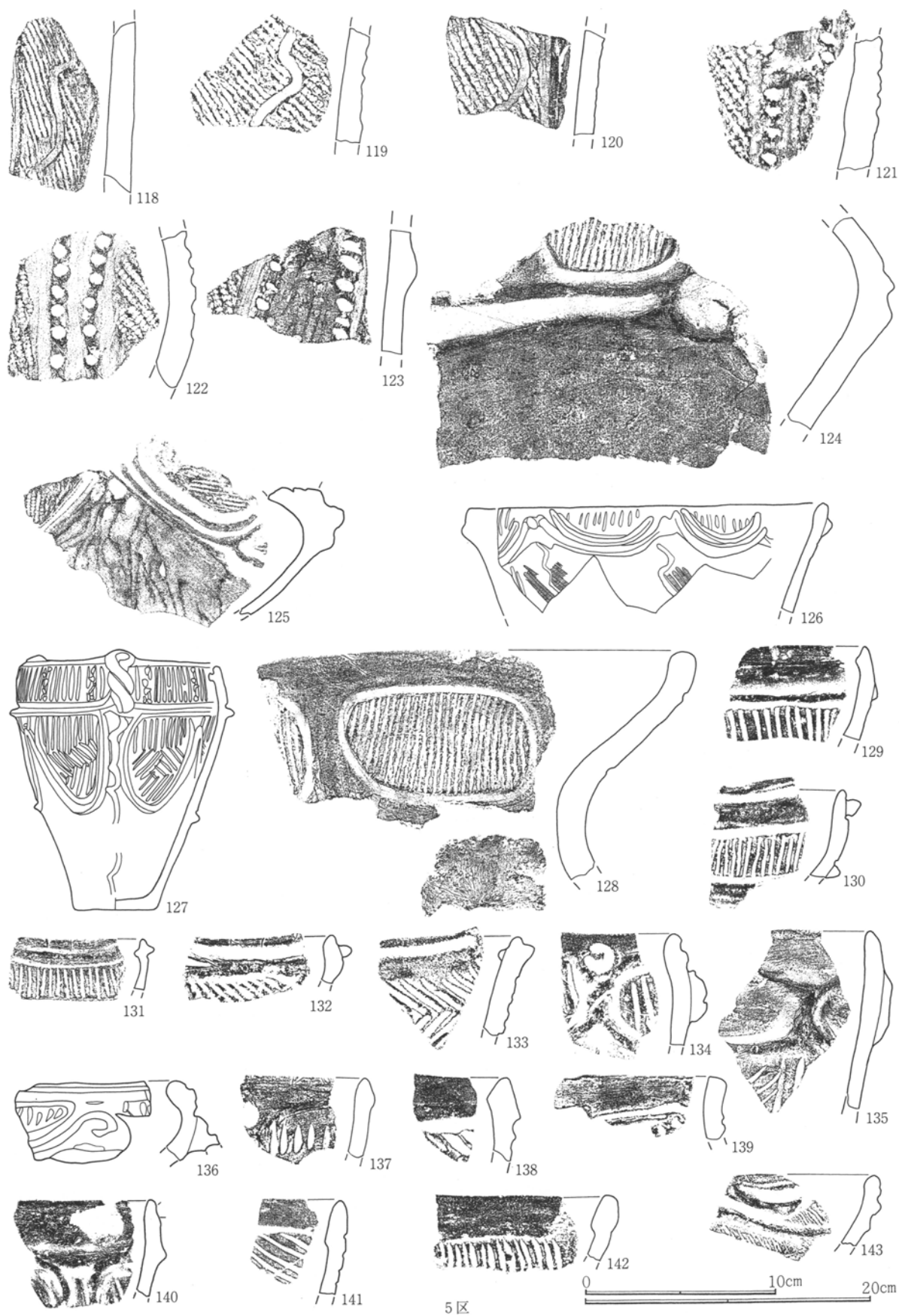


5区

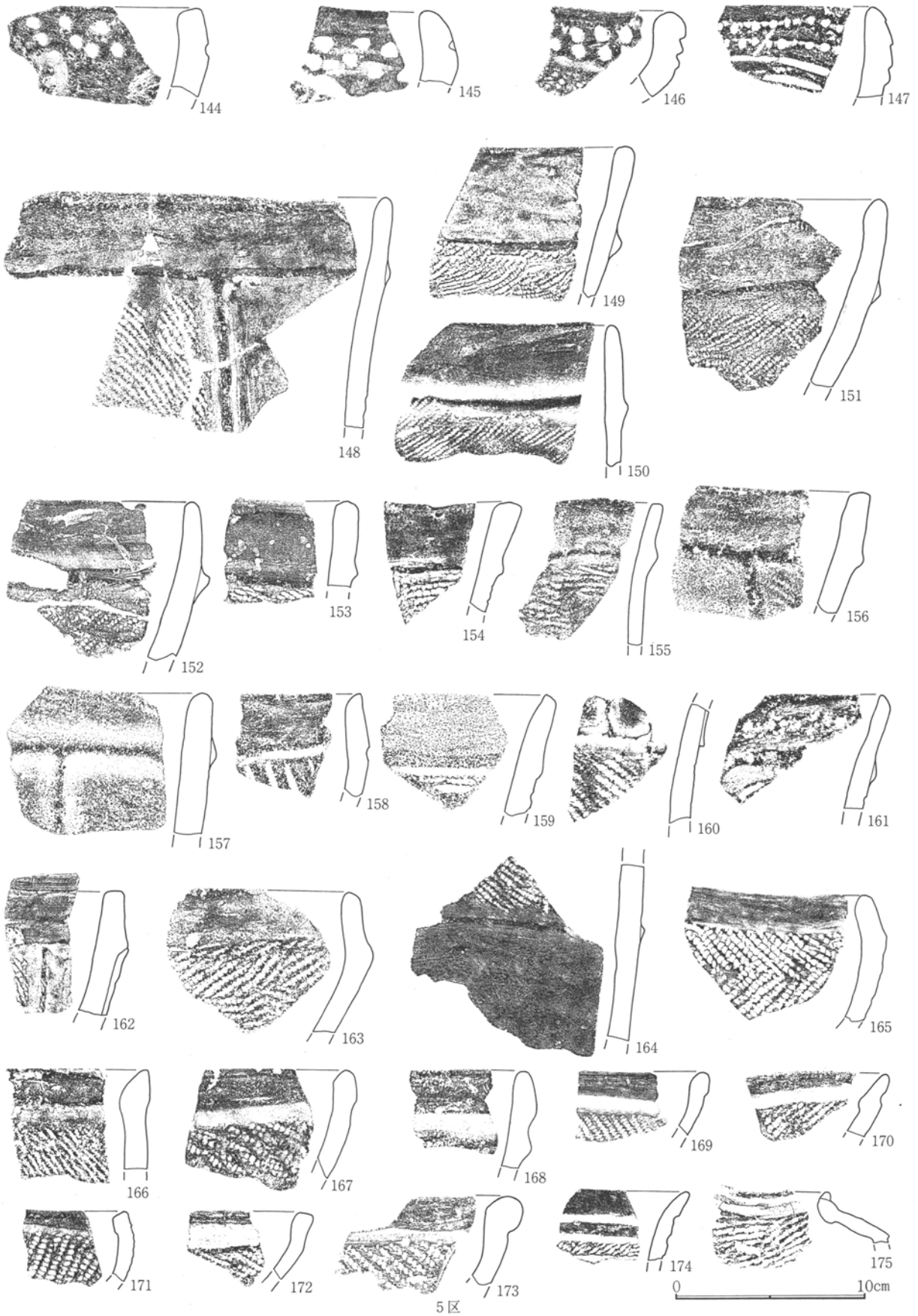
第166図 遺構外出土土器 (7)



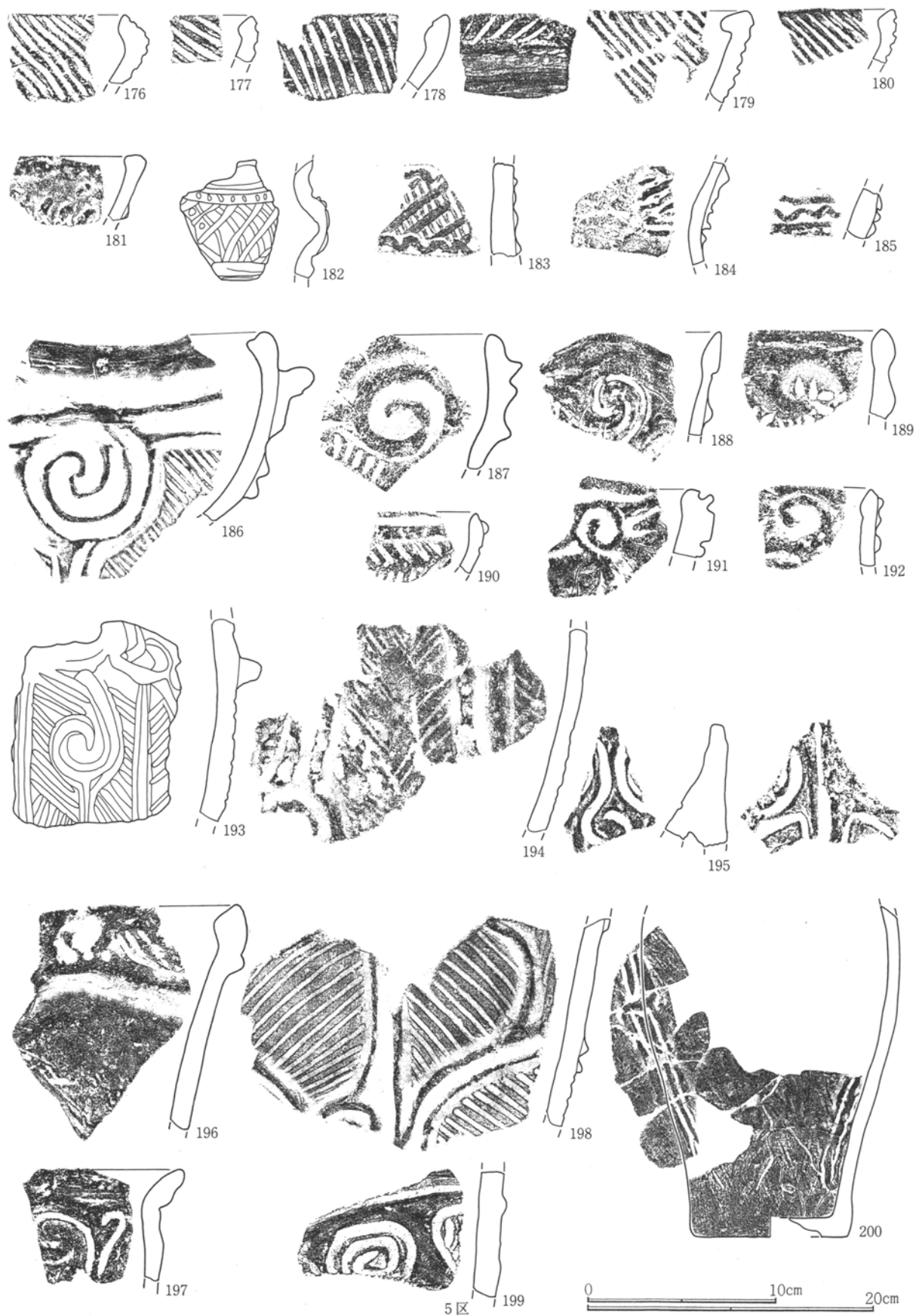
第167図 遺構外出土土器 (8)



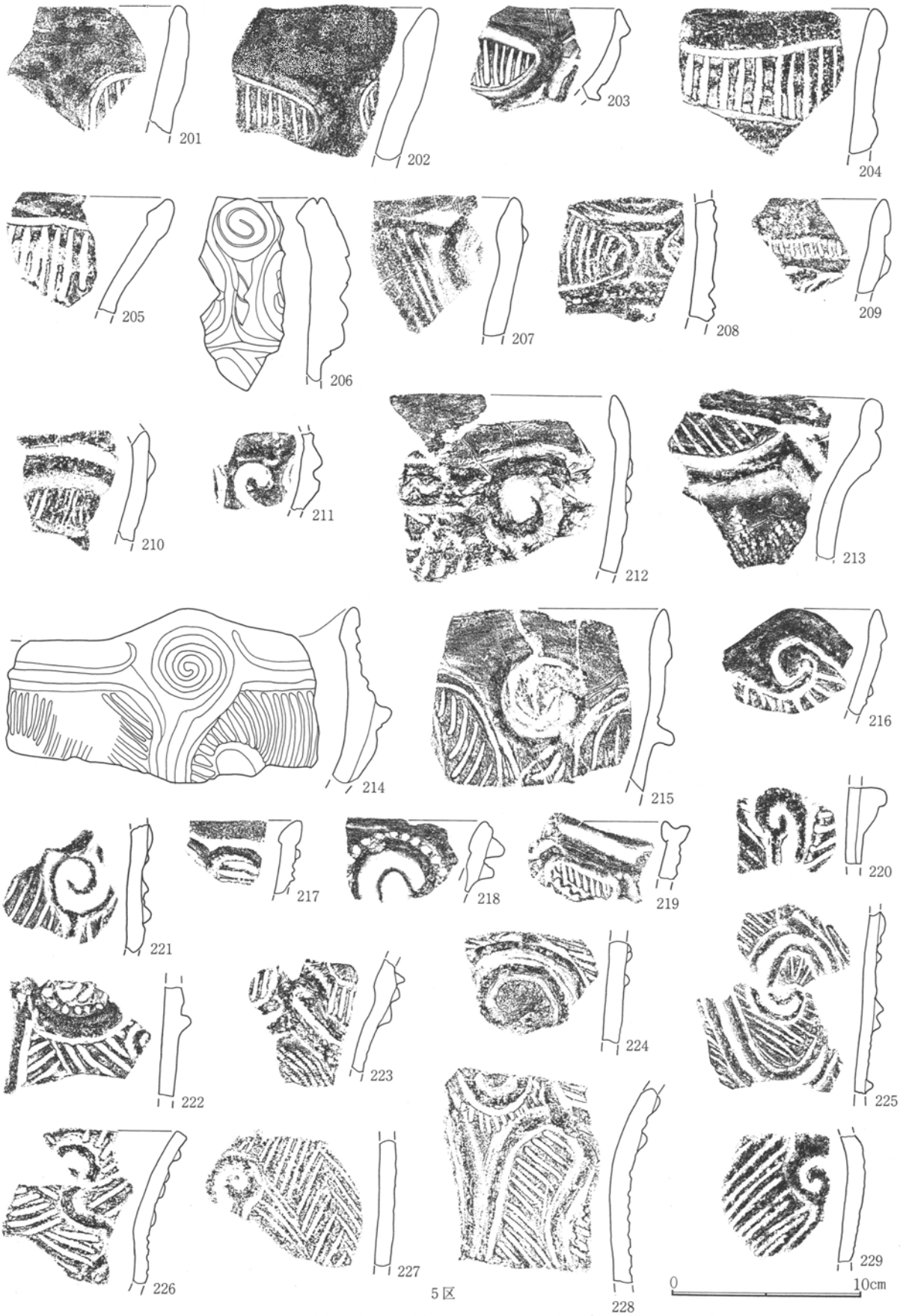
第168図 遺構外出土土器 (9)



第169図 遺構外出土土器 (10)

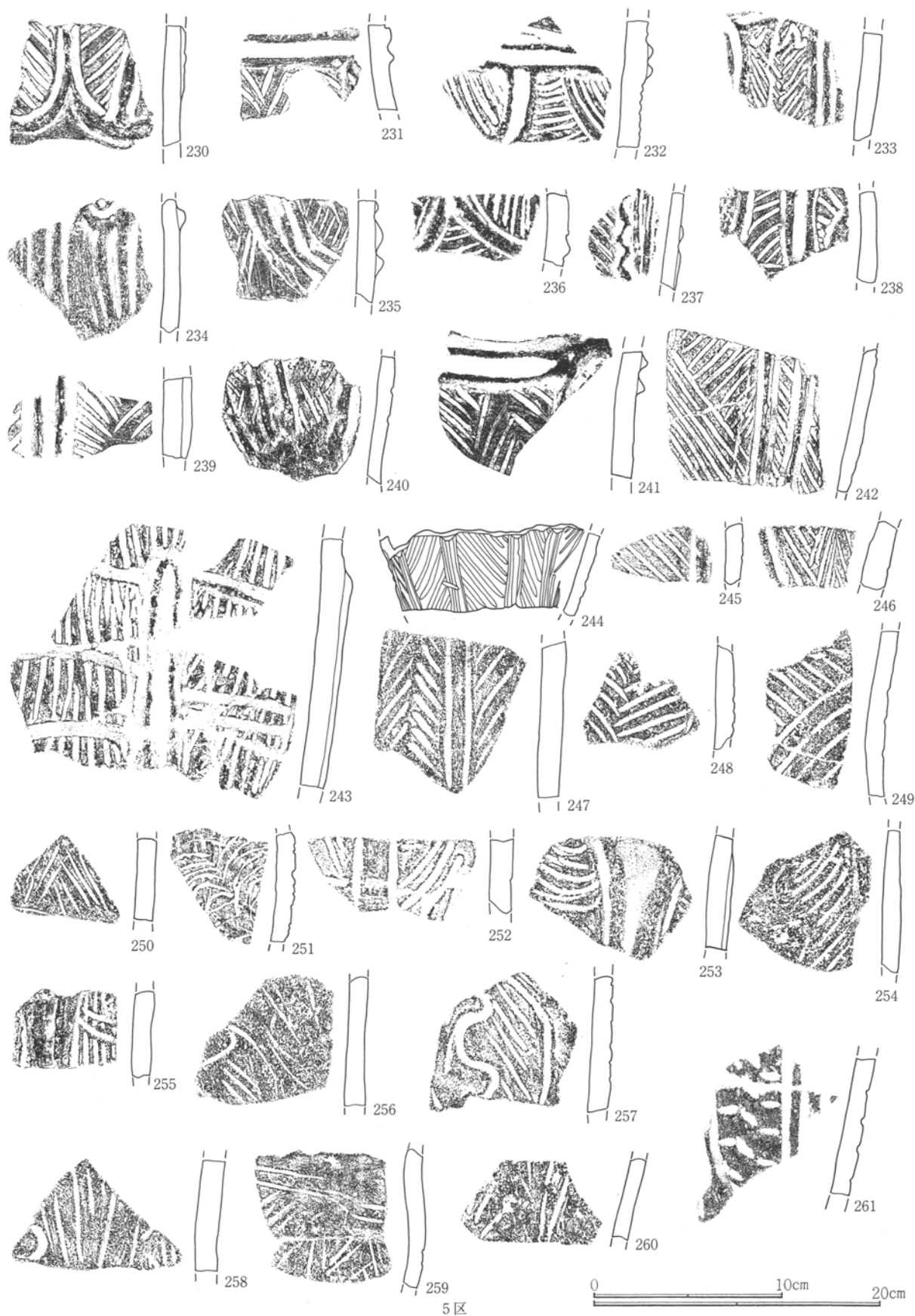


第170図 遺構外出土土器 (11)

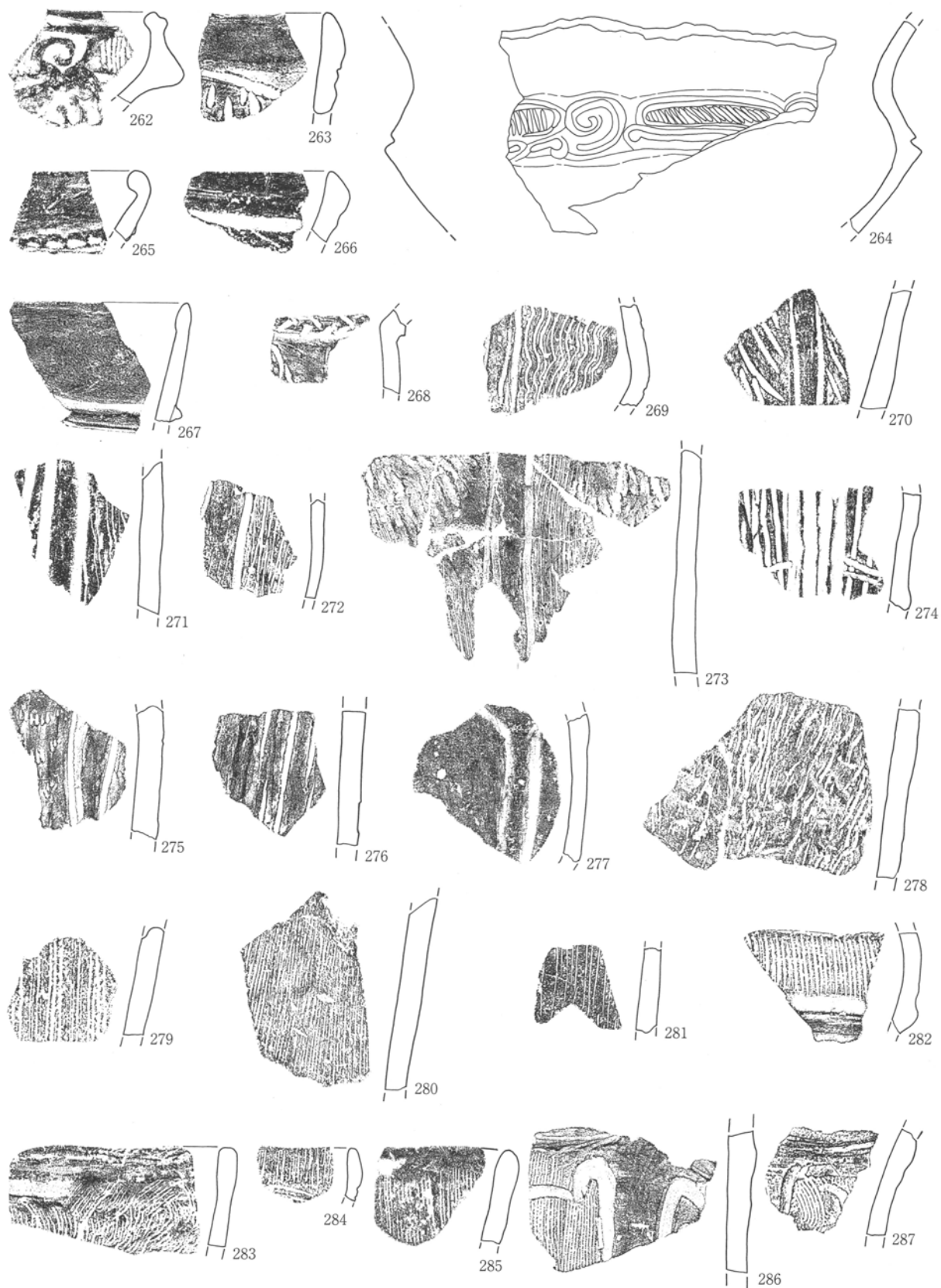


第171図 遺構外出土土器 (12)

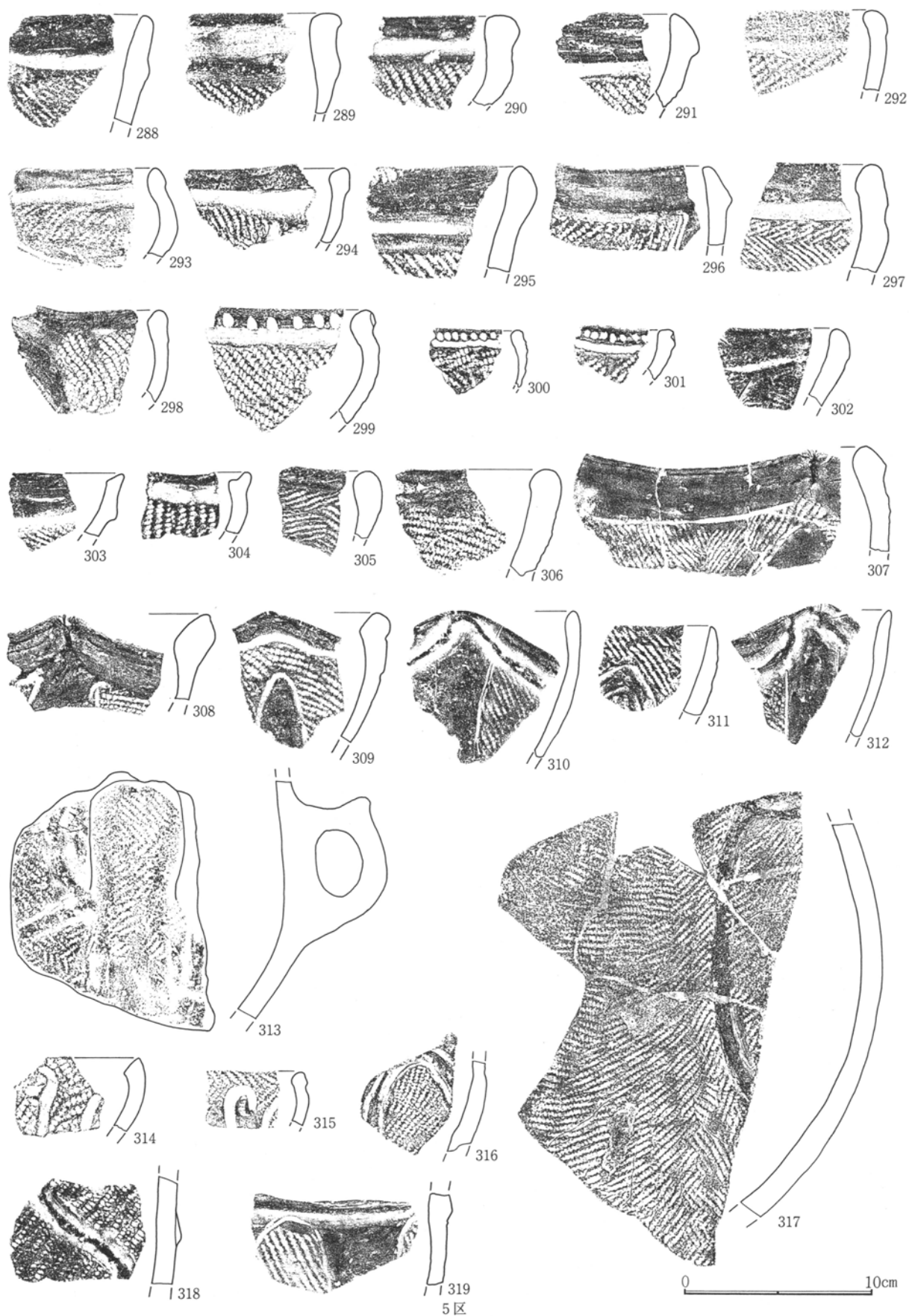




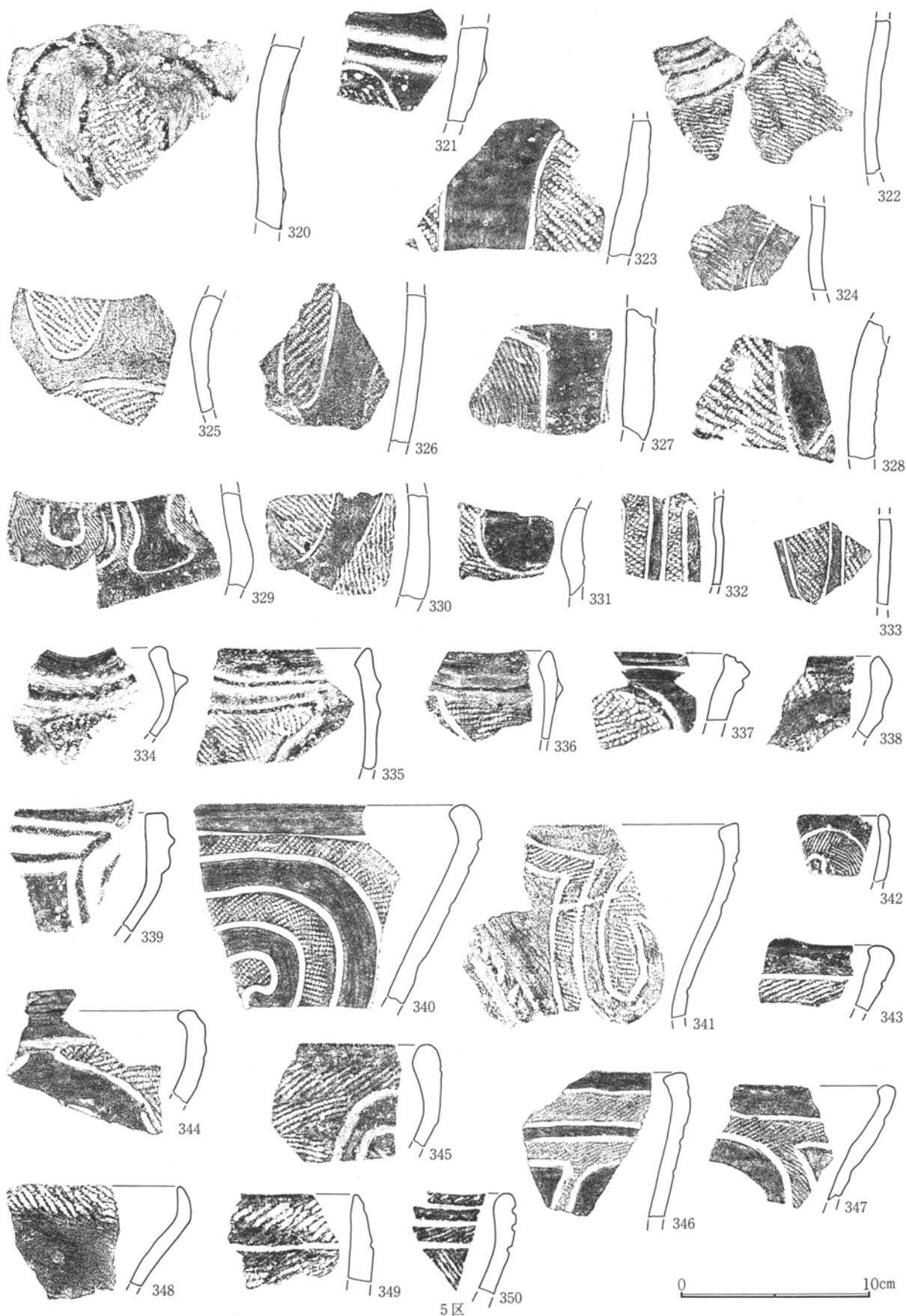
第172図 遺構外出土土器 (13)



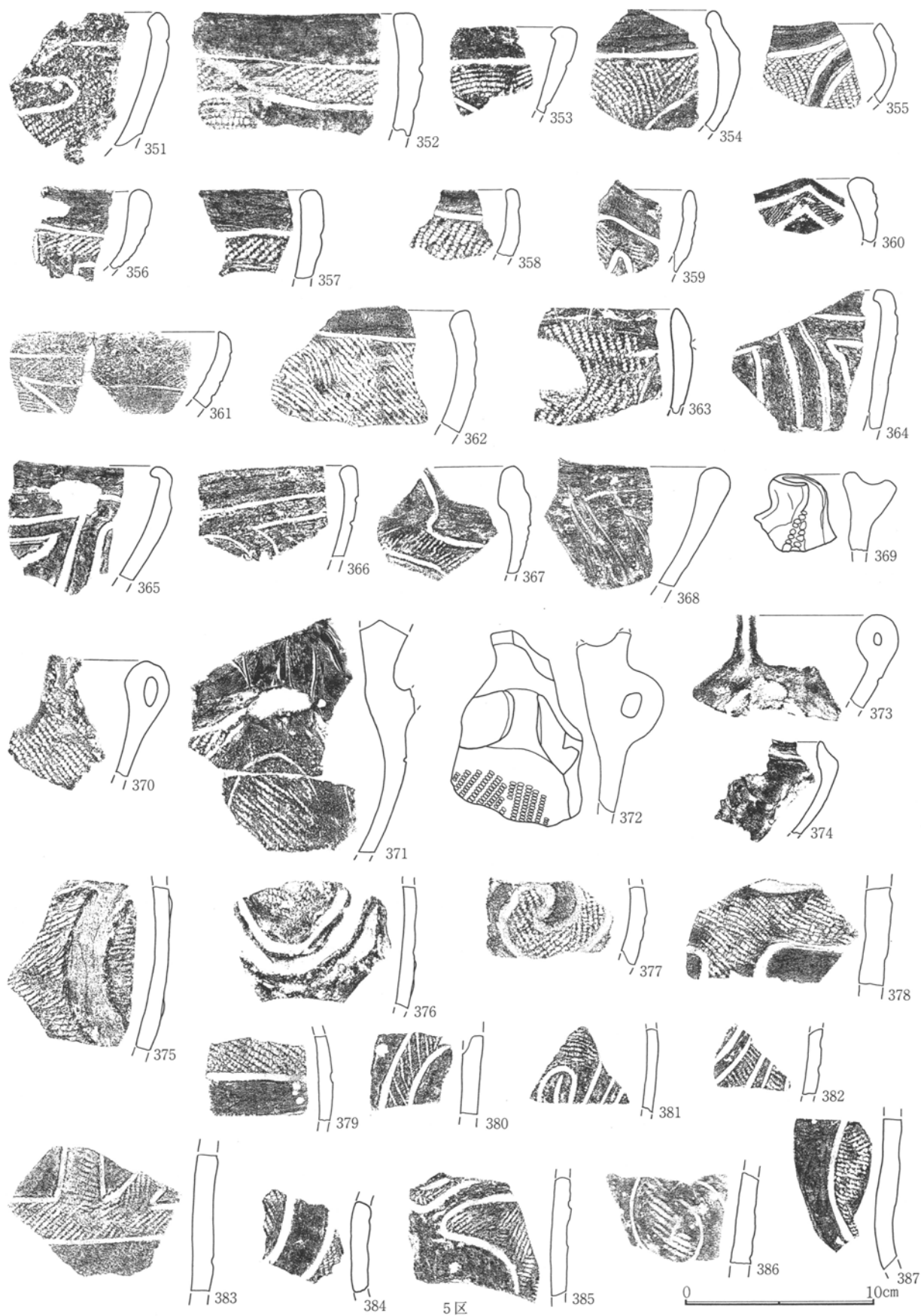
第173図 遺構外出土土器 (14)



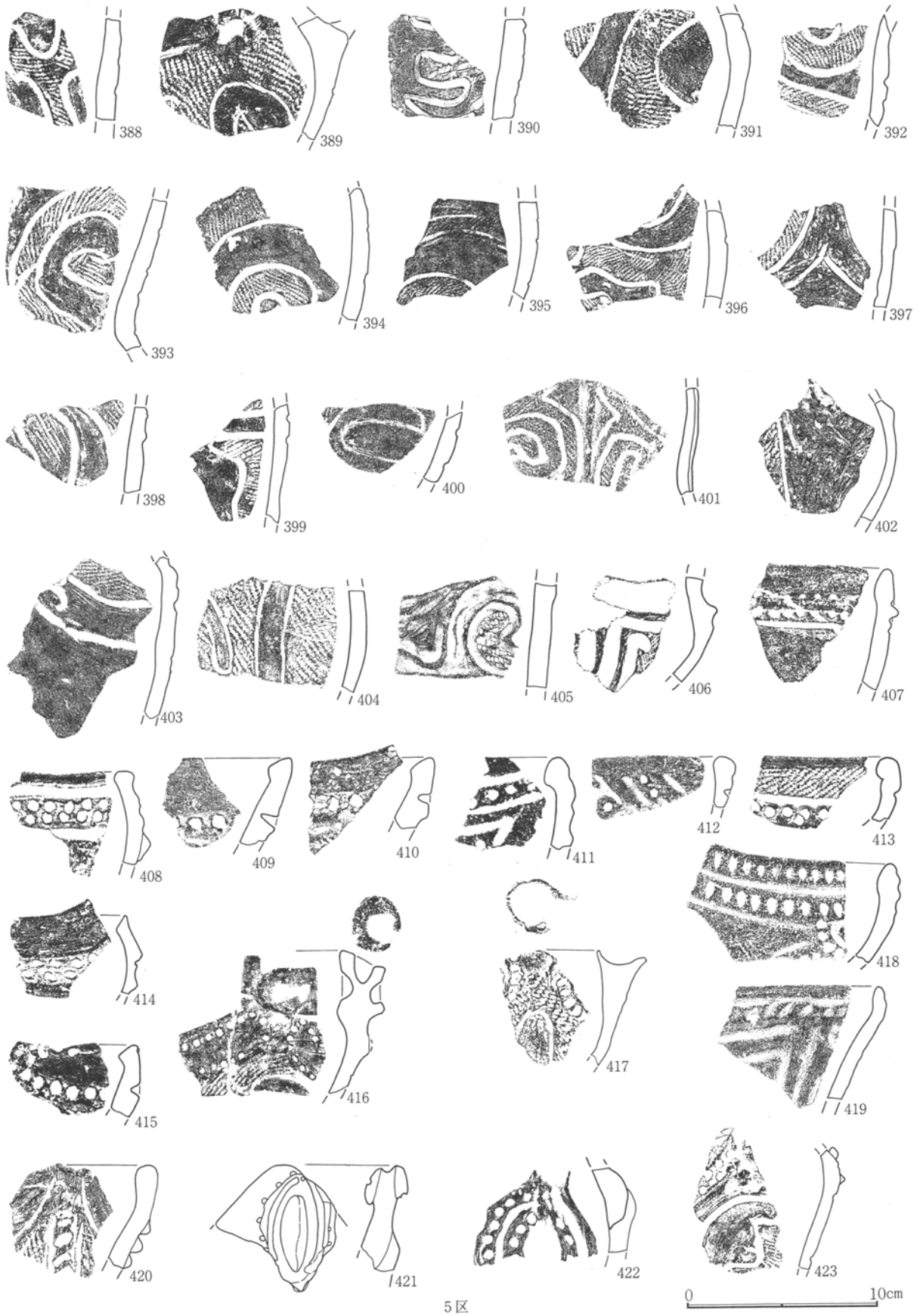
第174図 遺構外出土器 (15)



第175図 遺構外出土土器 (16)

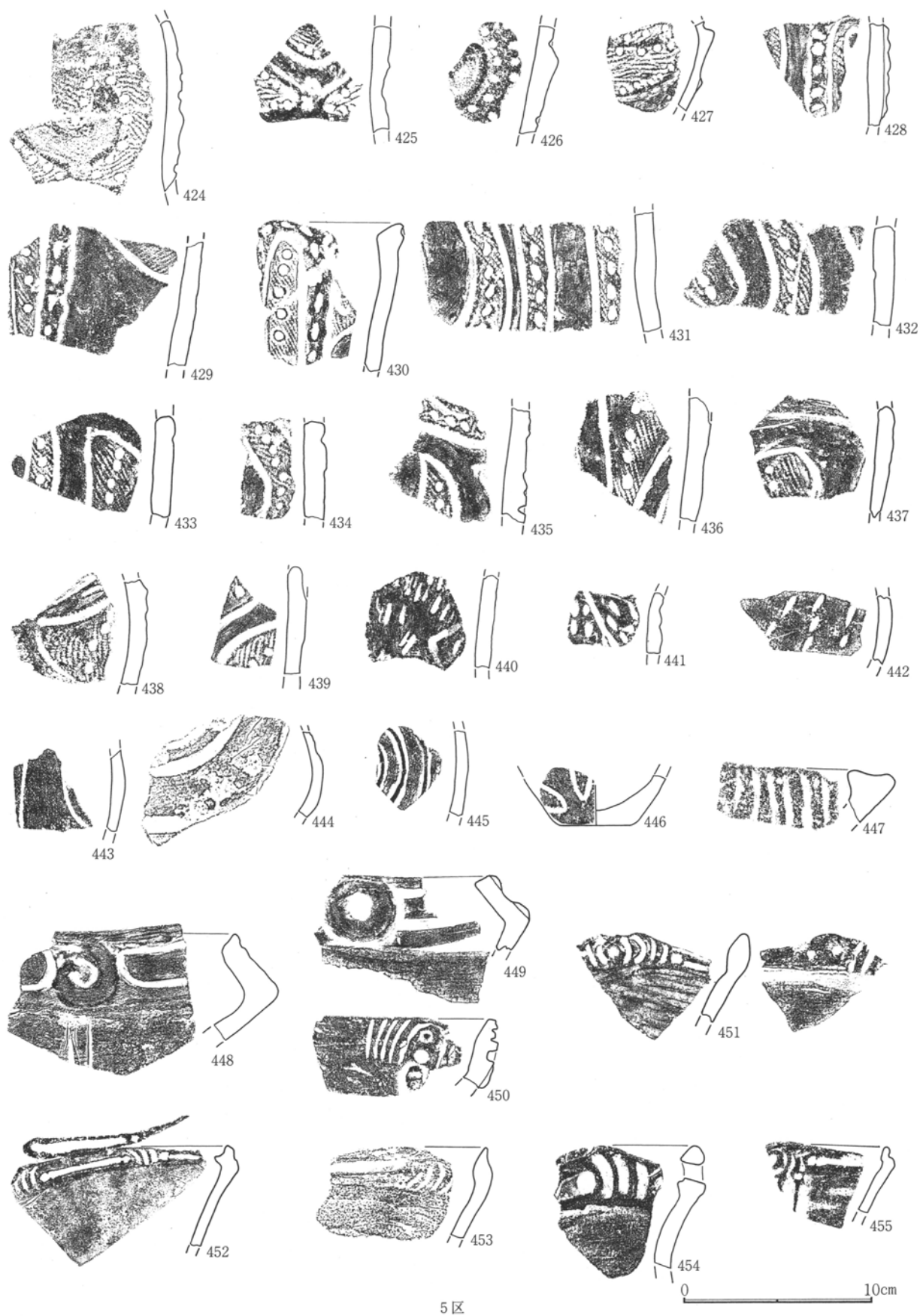


第176図 遺構外出土土器 (17)



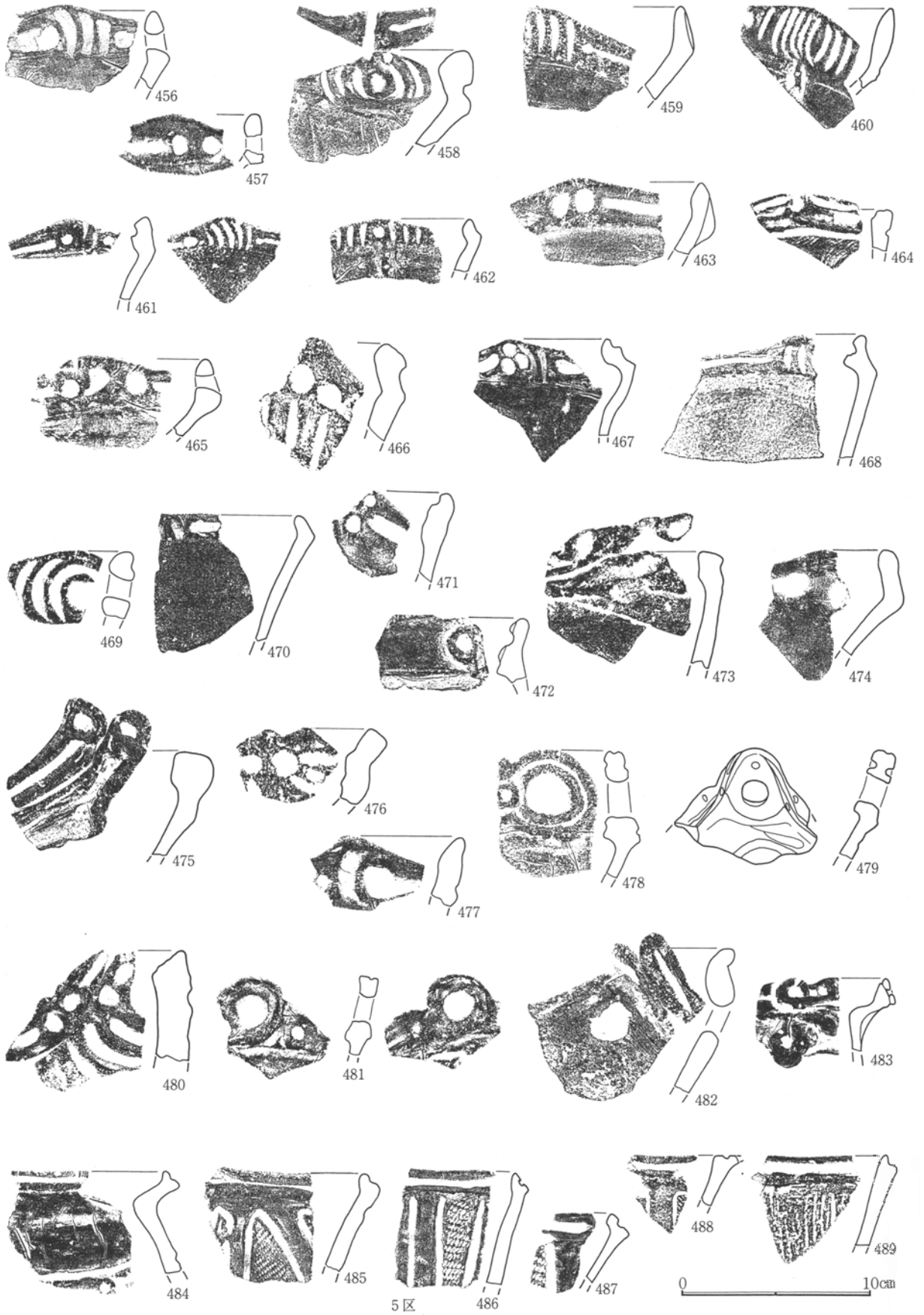
第177図 遺構外出土土器 (18)





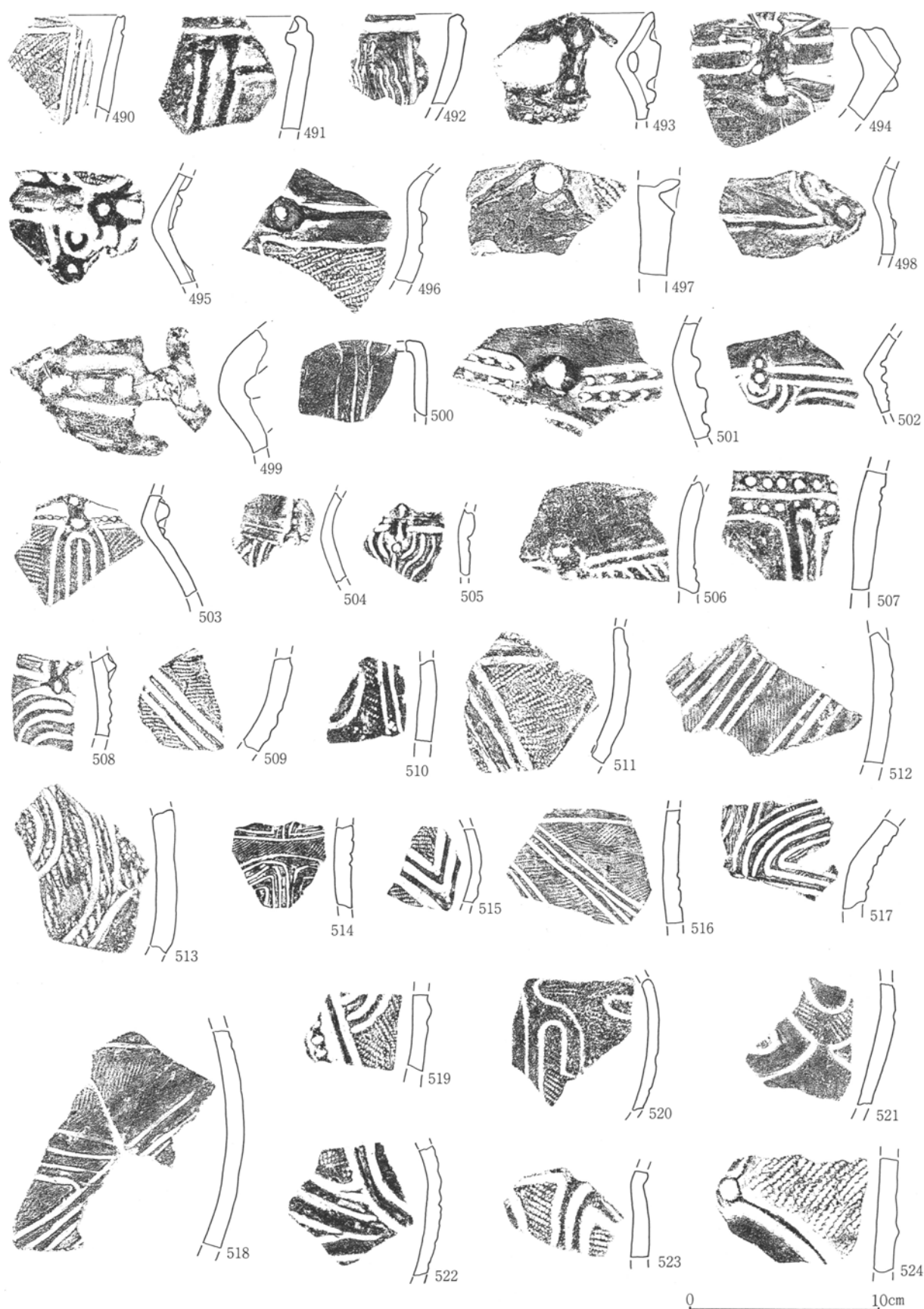
5区

第178図 遺構外出土土器 (19)

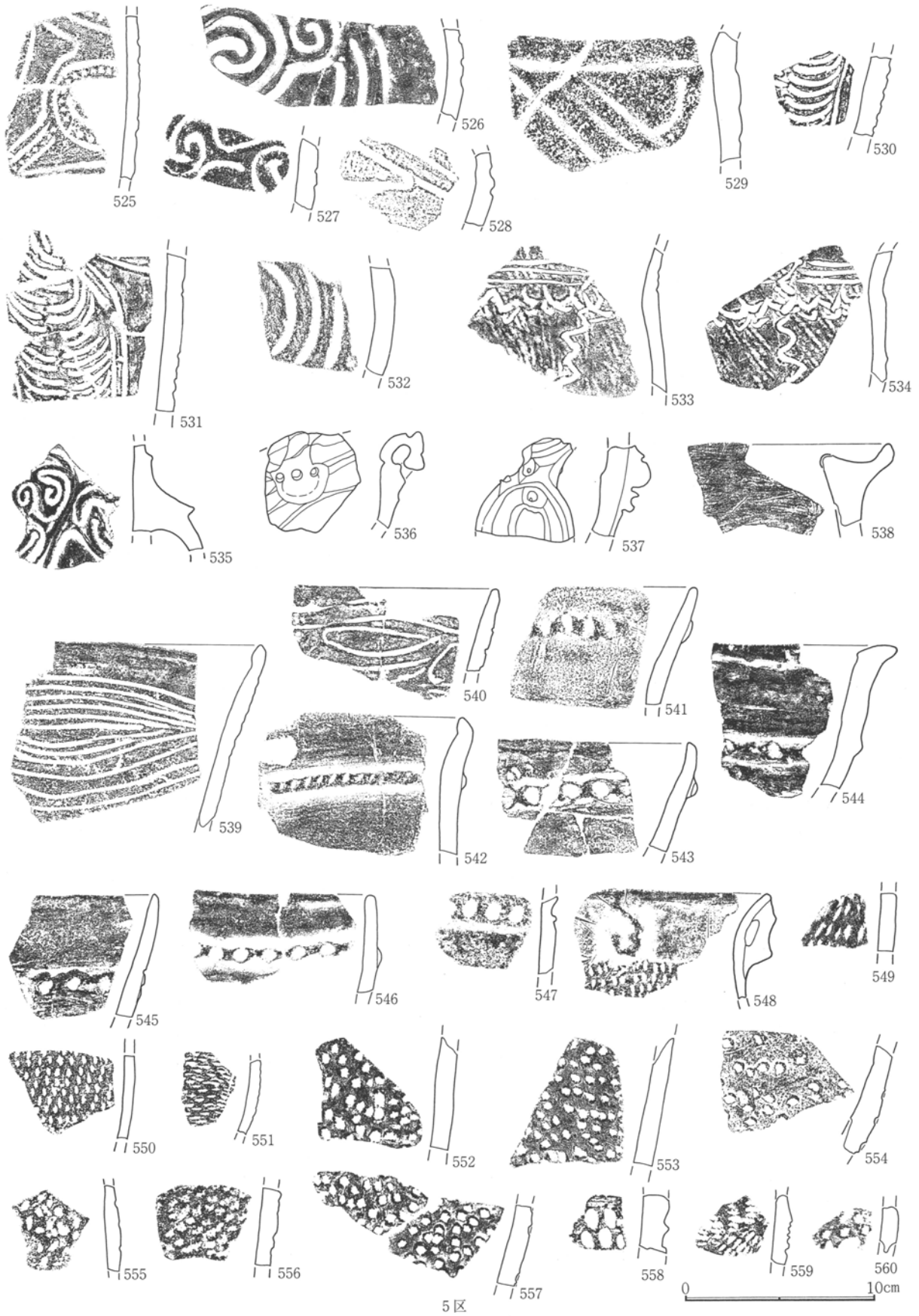


第179図 遺構外出土土器 (20)

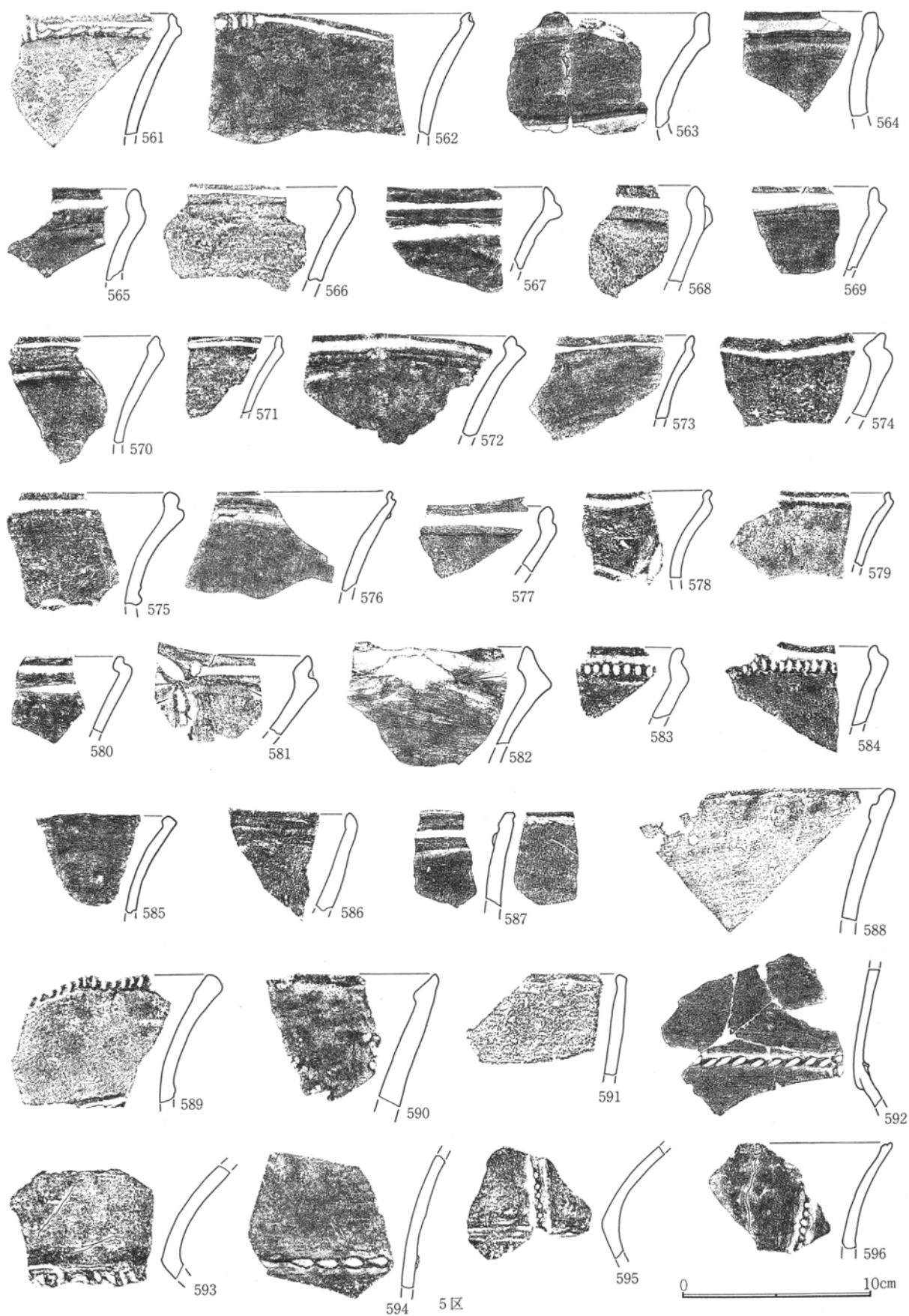




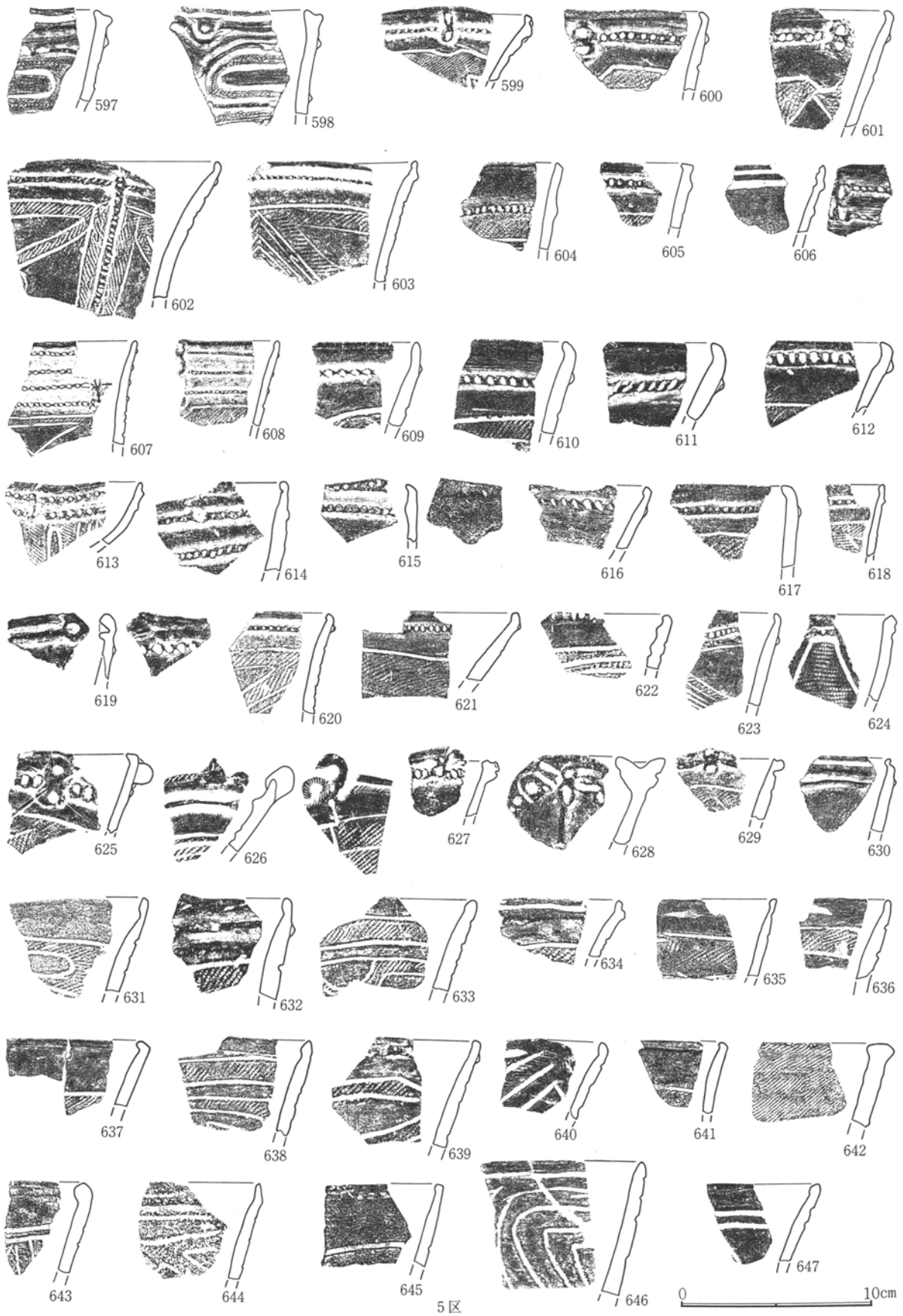
第180図 遺構外出土土器 (21)



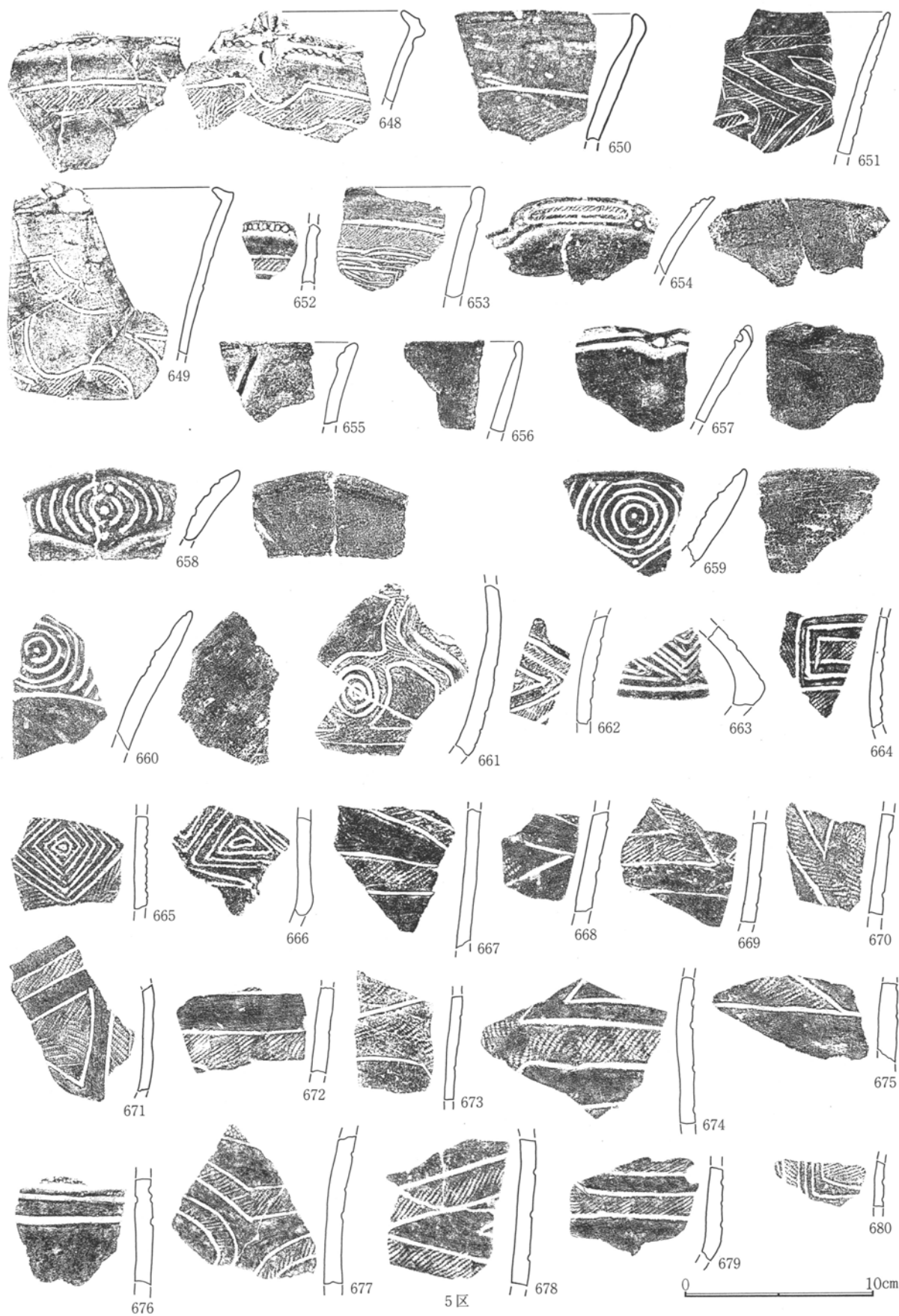
第181図 遺構外出土土器 (22)



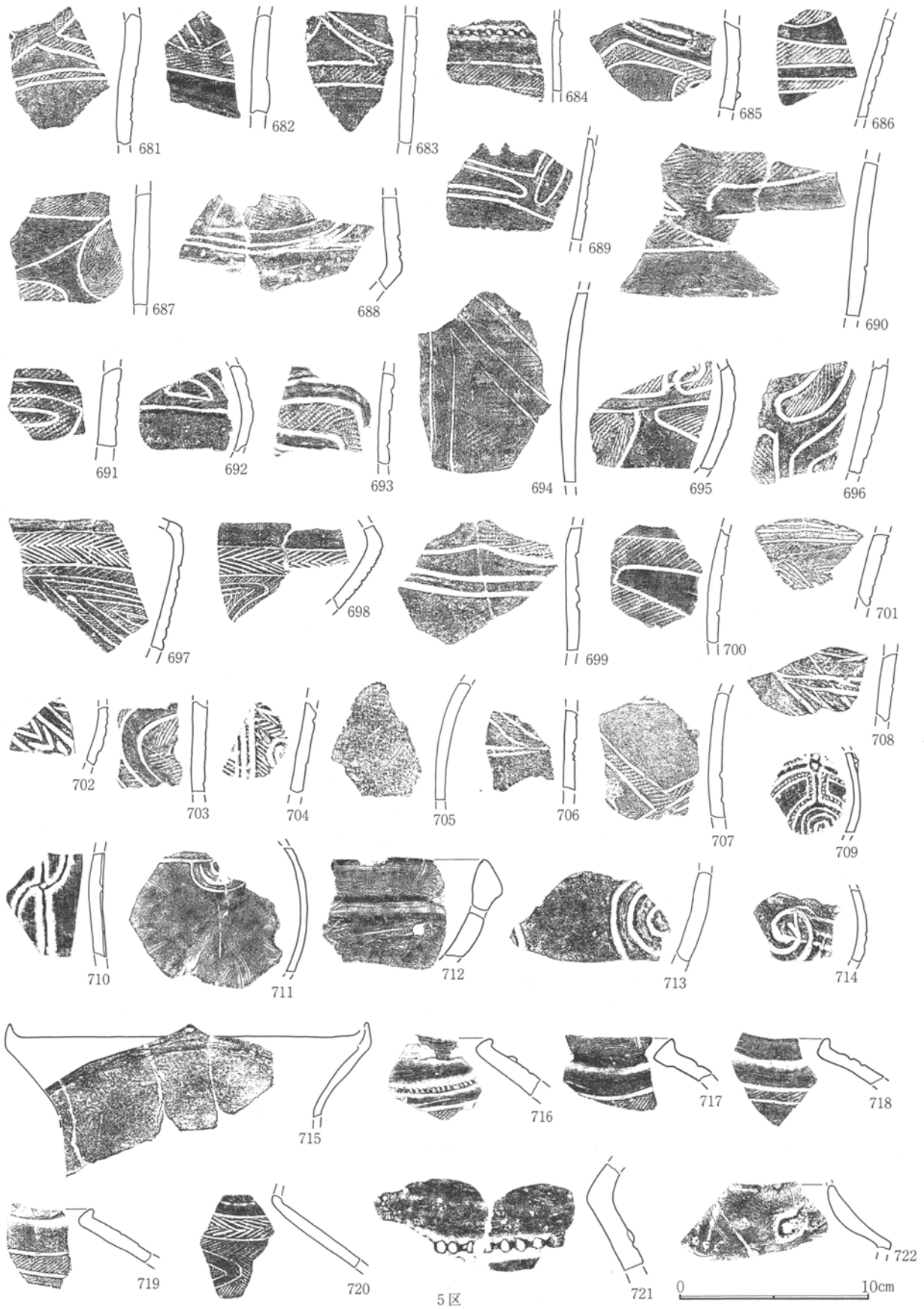
第182図 遺構外出土土器 (23)



第183図 遺構外出土土器 (24)

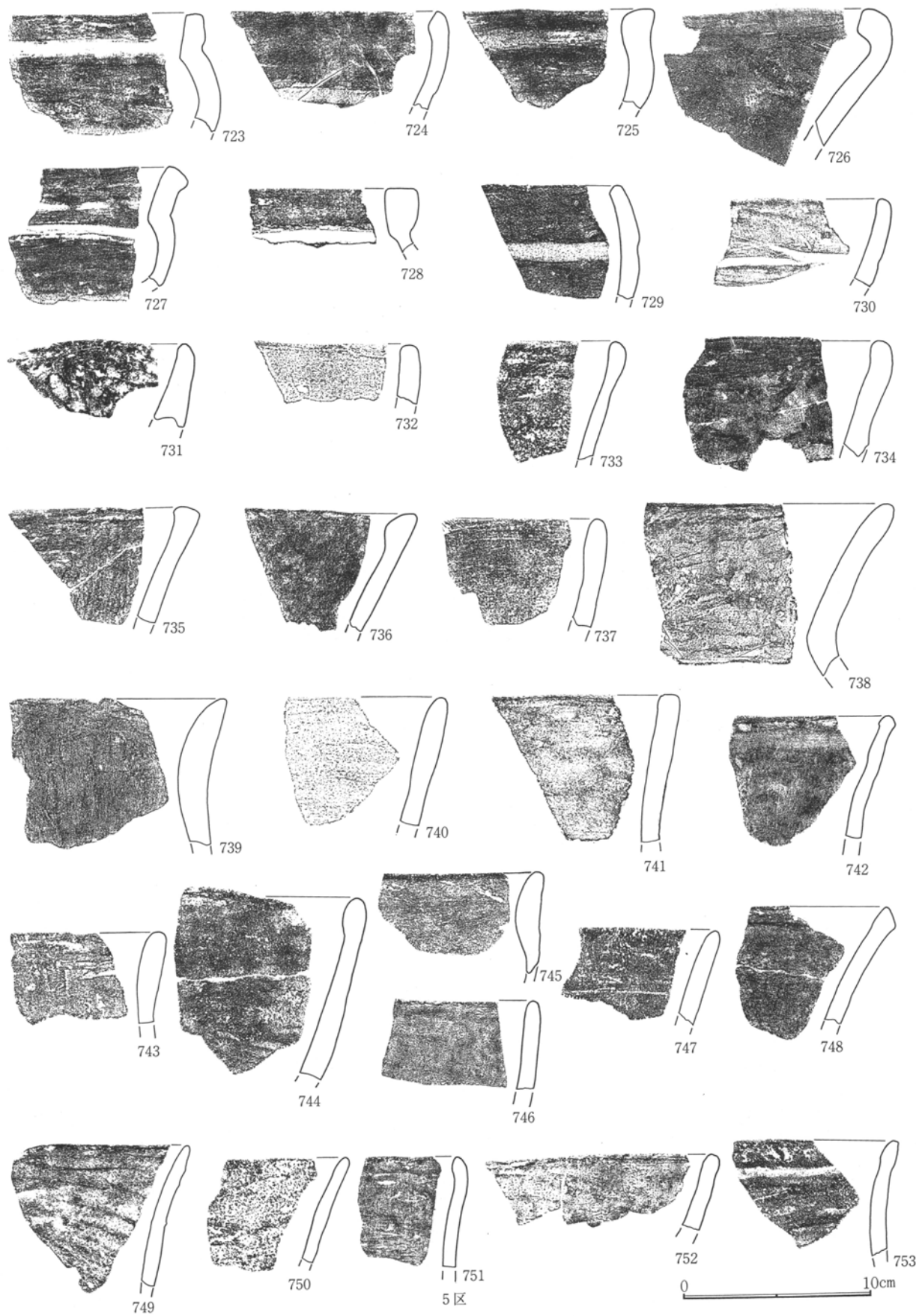


第184図 遺構外出土土器 (25)



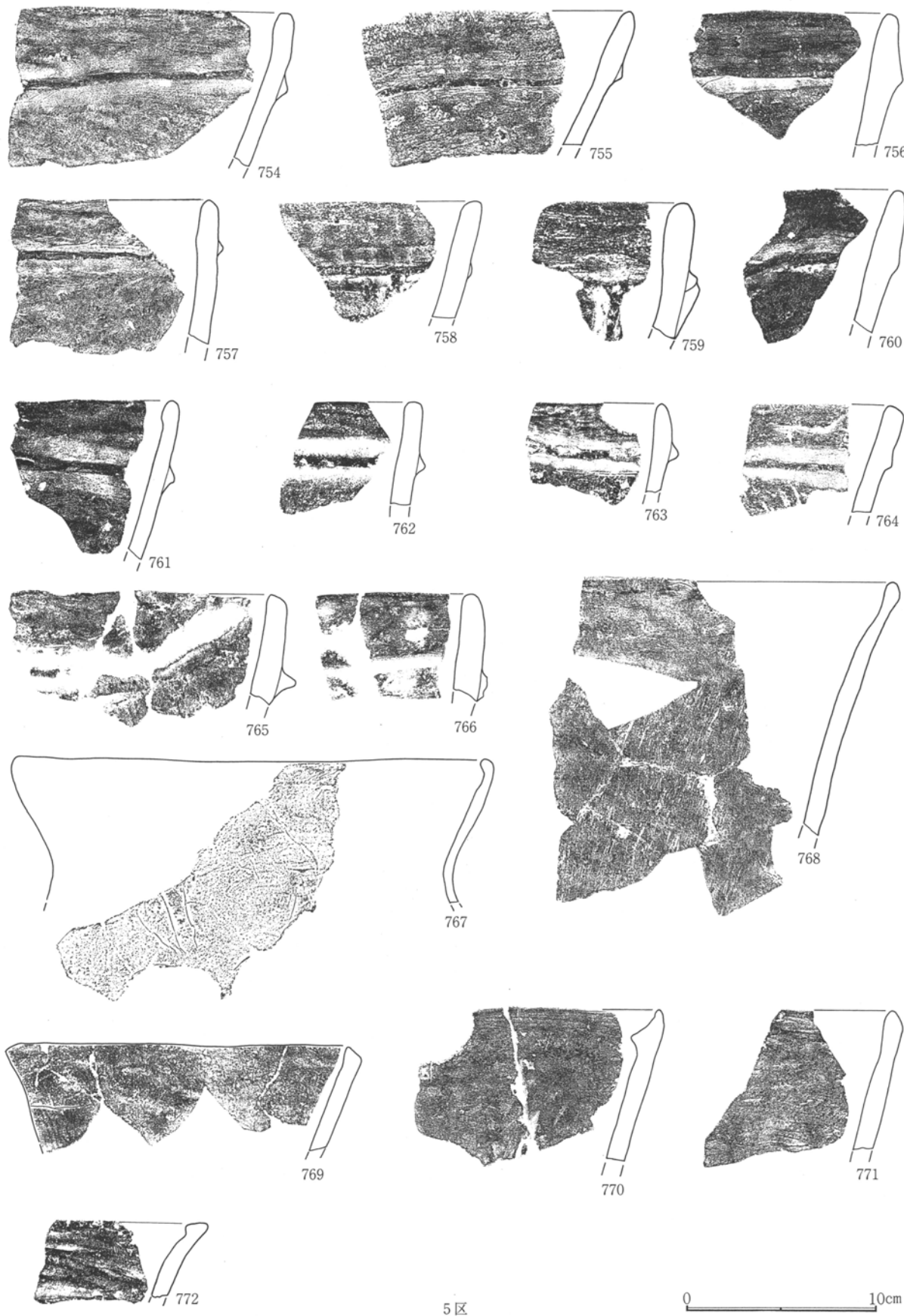
第185図 遺構外出土土器 (26)





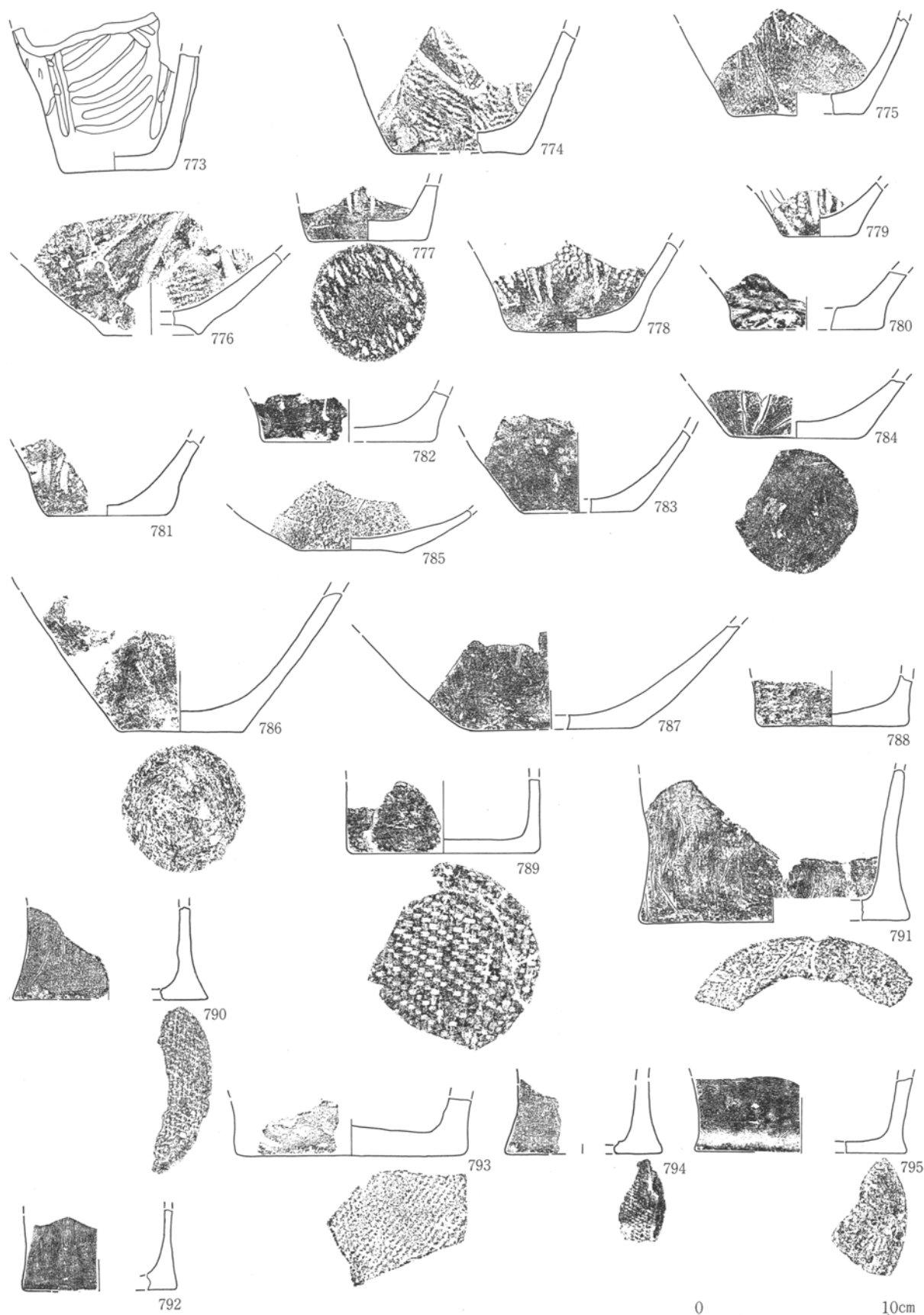
第186図 遺構外出土器 (27)





5区

第187図 遺構外出土土器 (28)

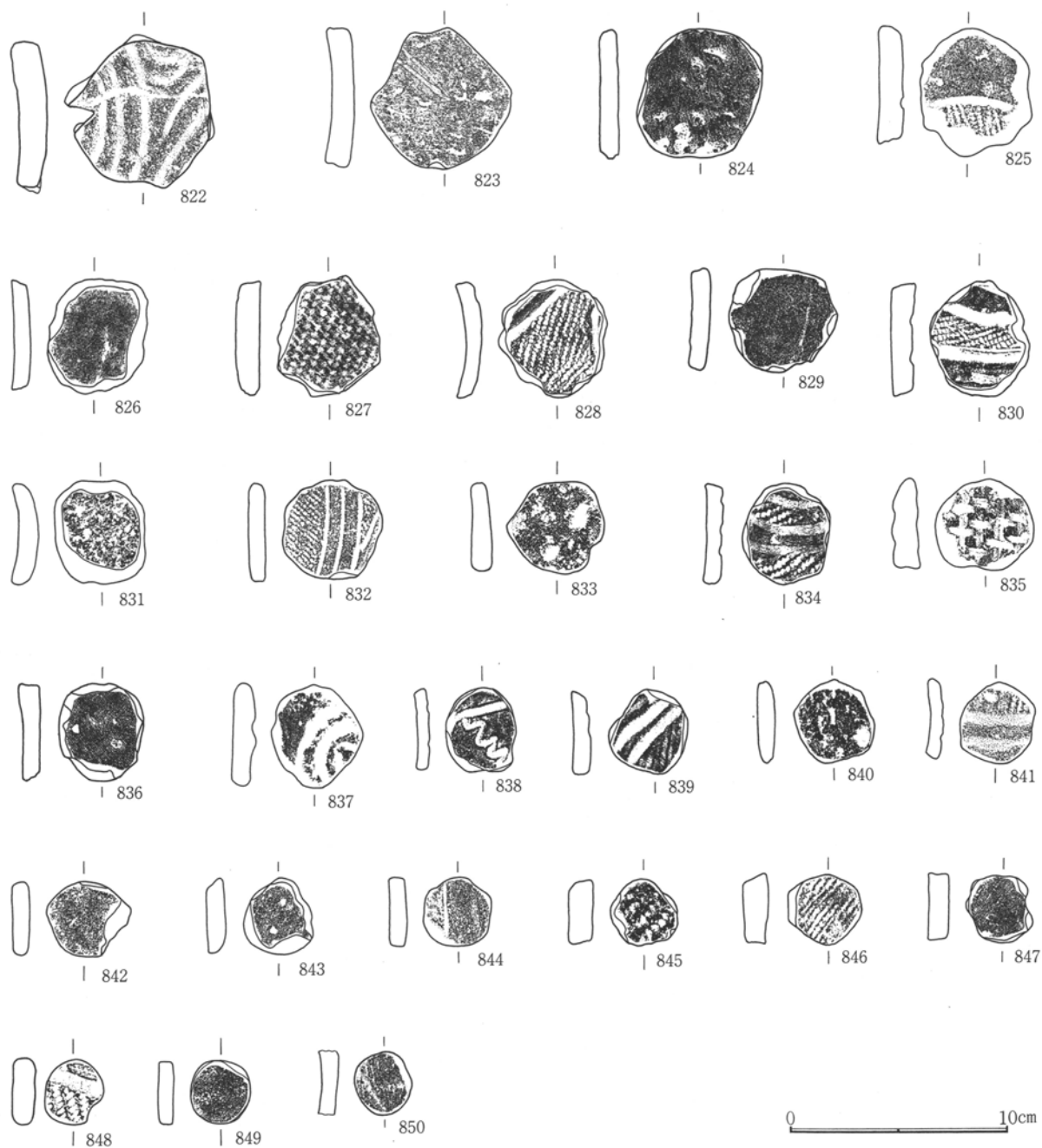


5区

第188図 遺構外出土土器 (29)

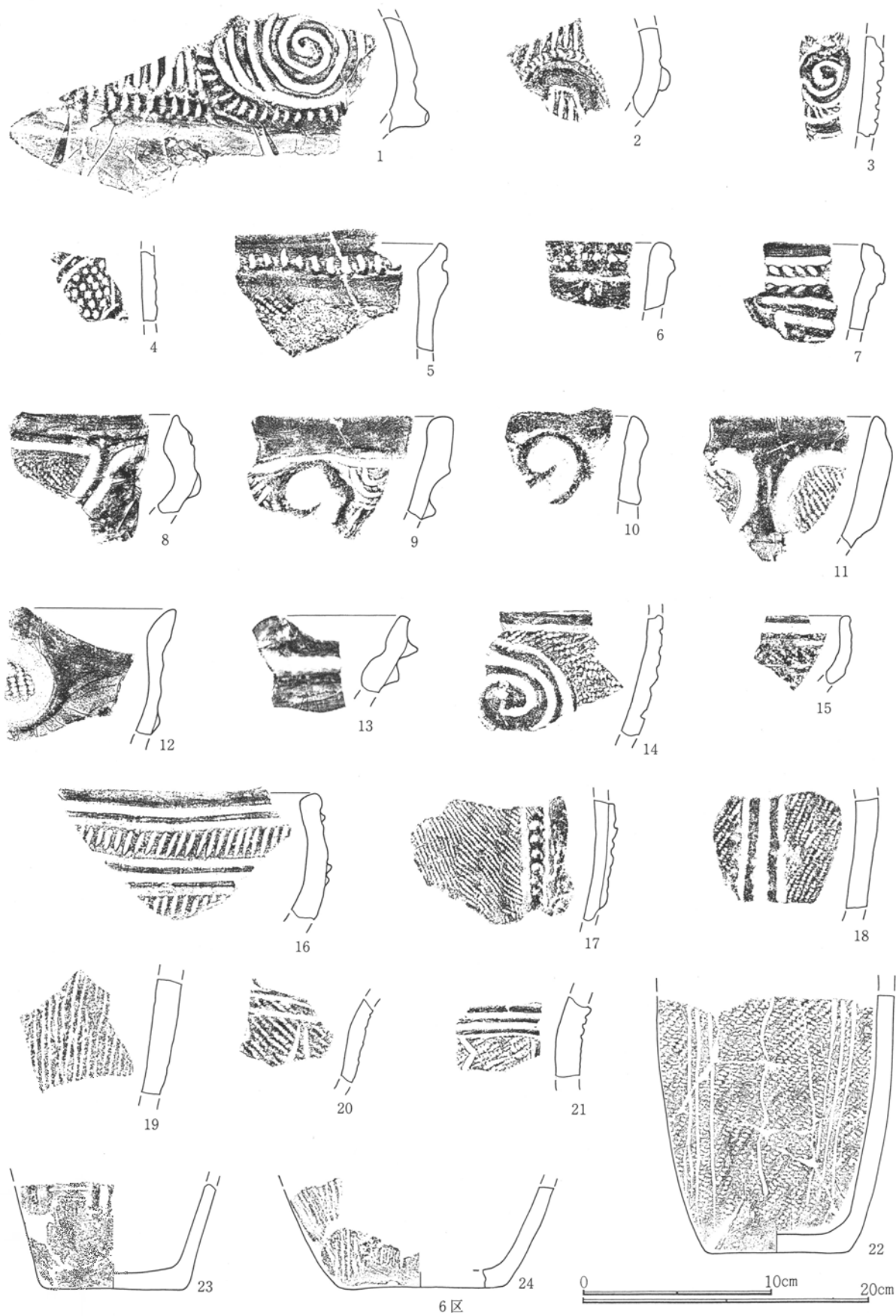


第189図 遺構外出土土器 (30)

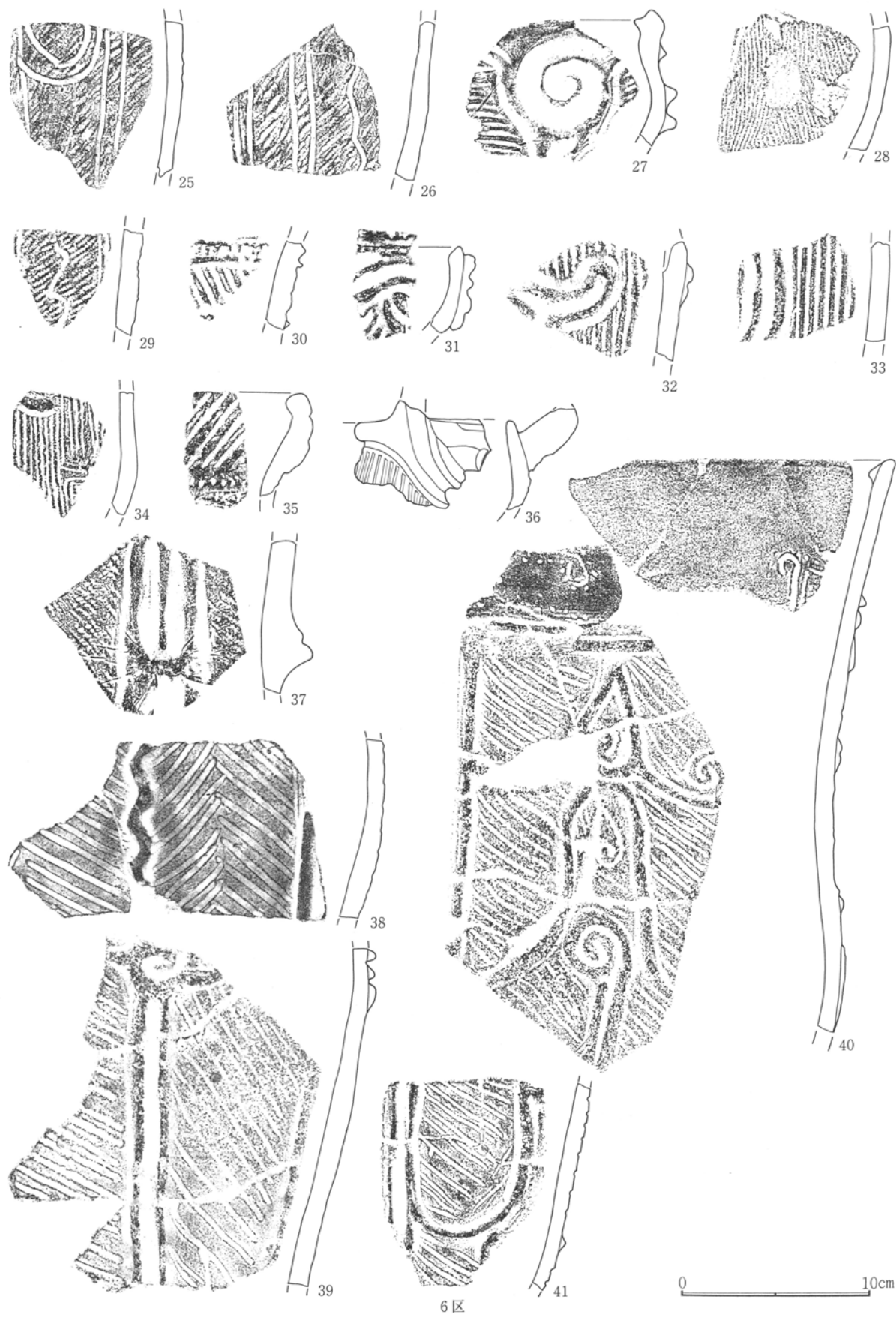


5区

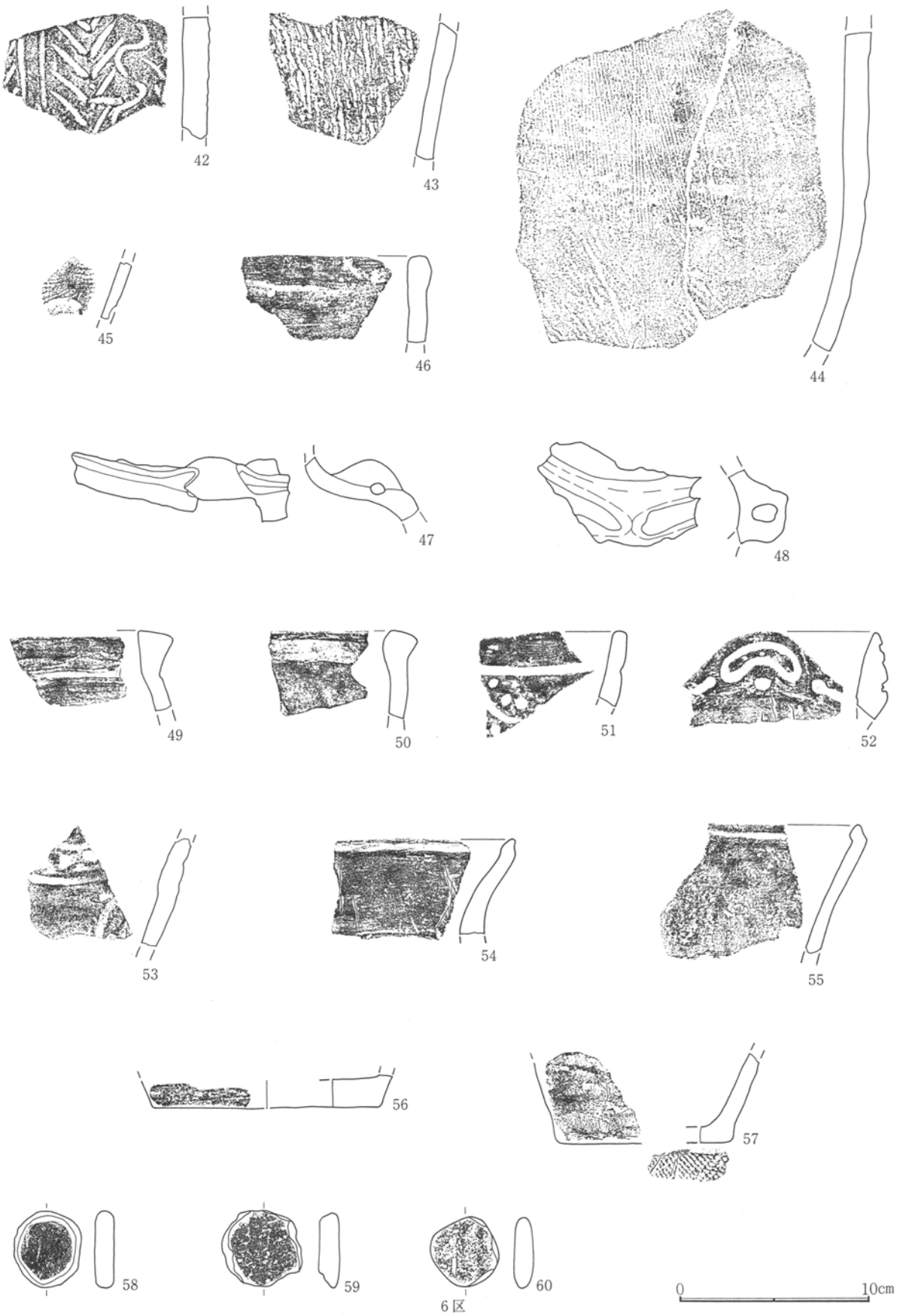
第190図 遺構外出土土器 (31)



第191図 遺構外出土土器 (32)

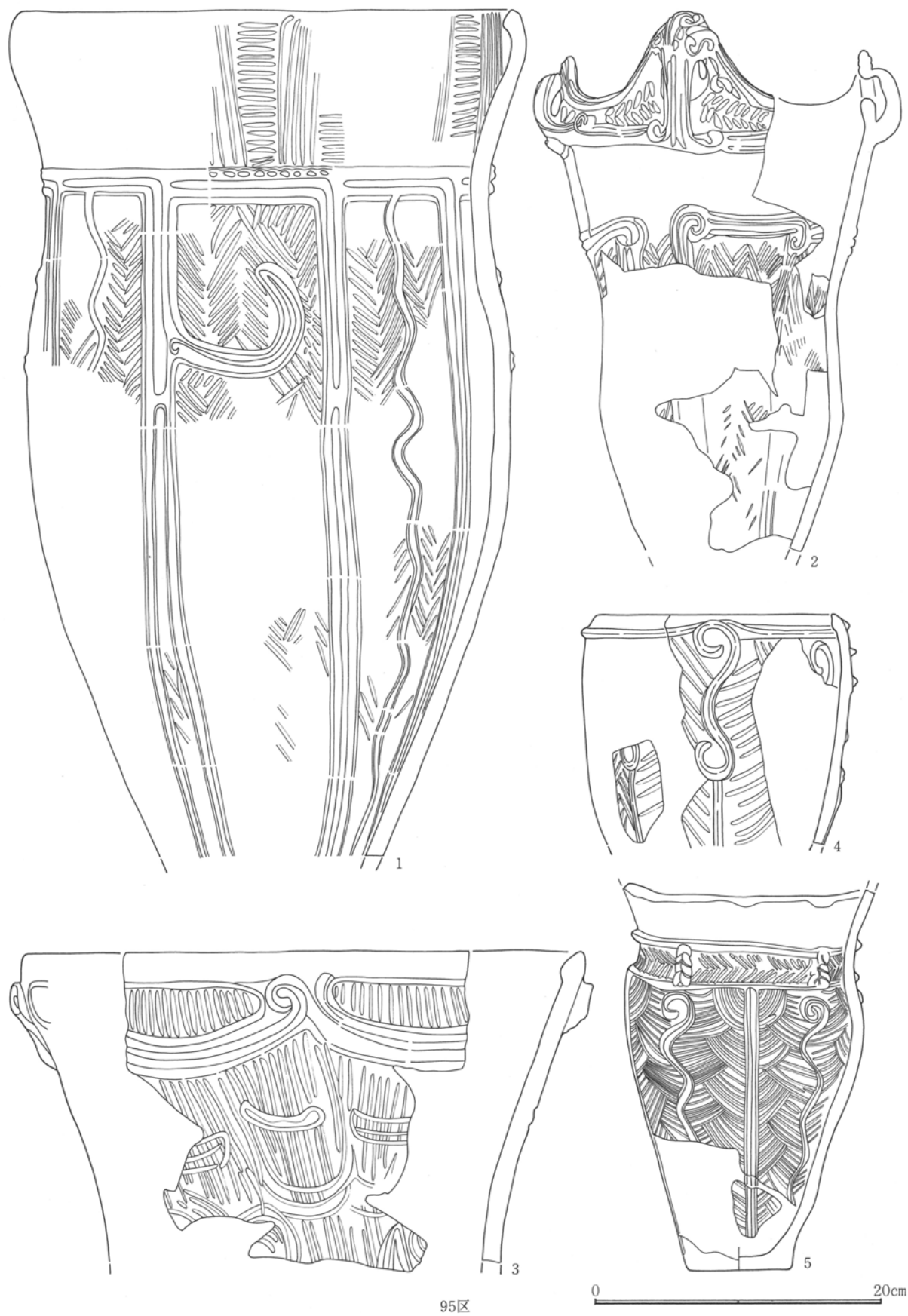


第192図 遺構外出土土器 (33)

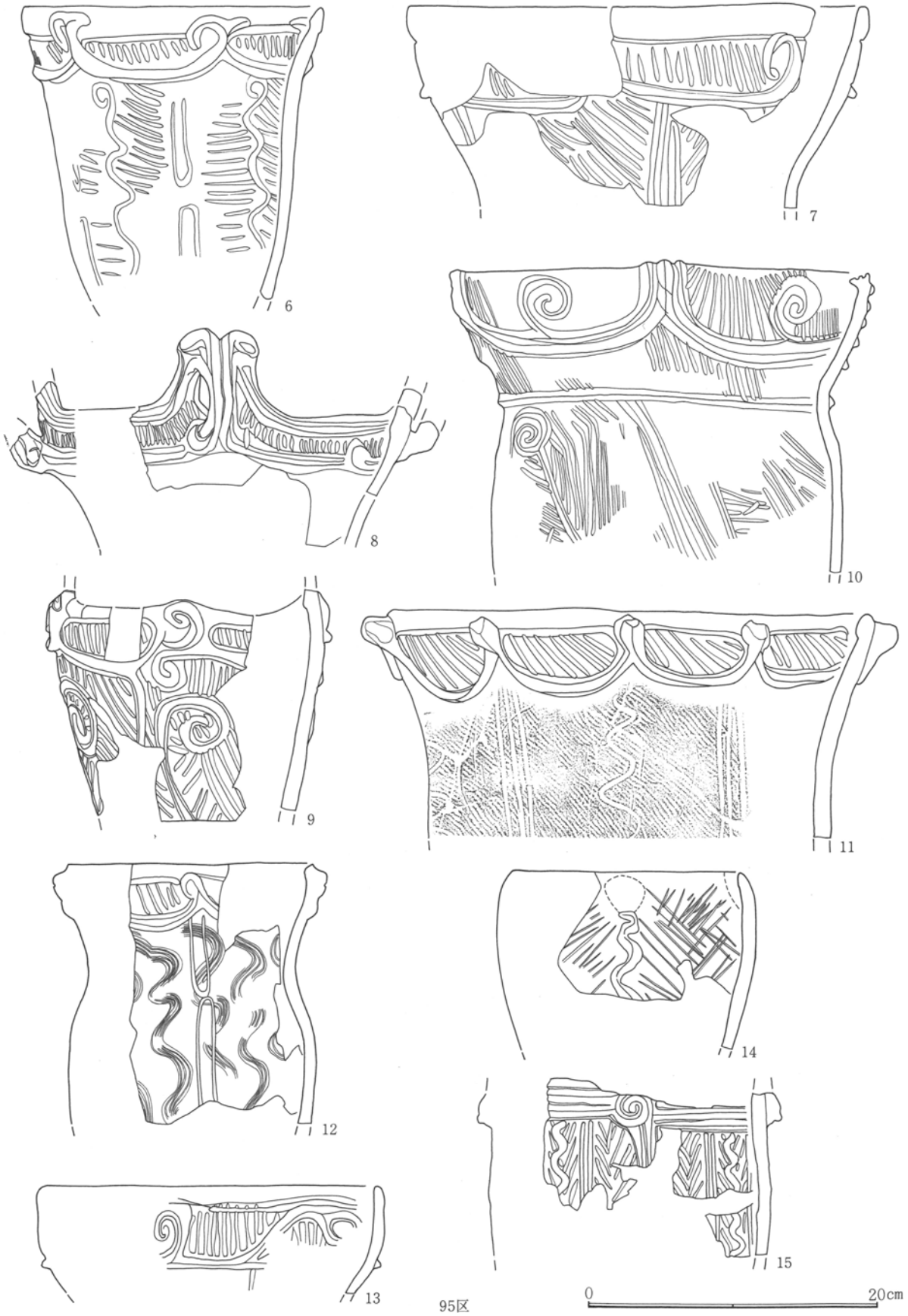


第193図 遺構外出土器 (34)

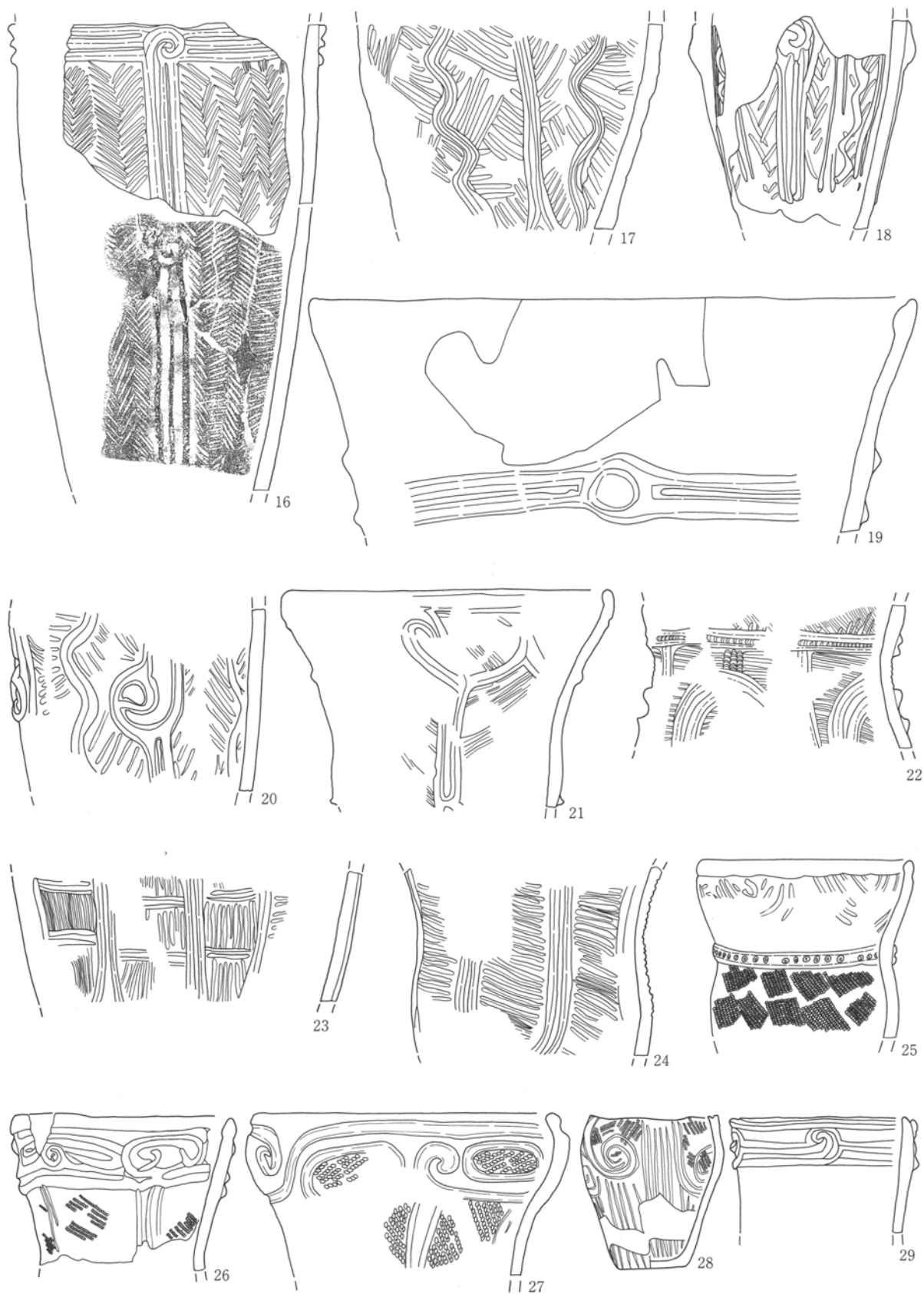




第194図 遺構外出土土器 (35)



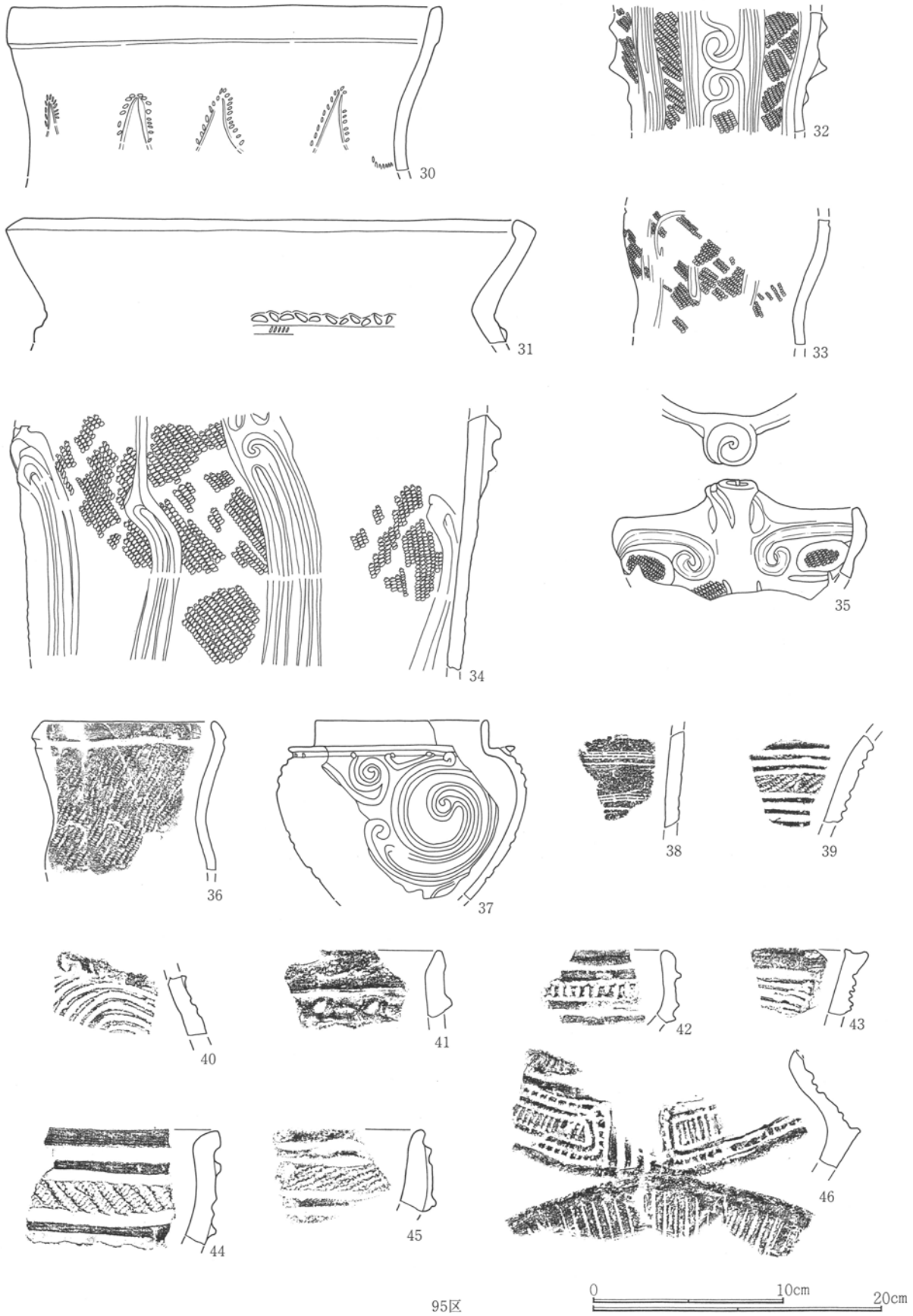
第195図 遺構外出土土器 (36)



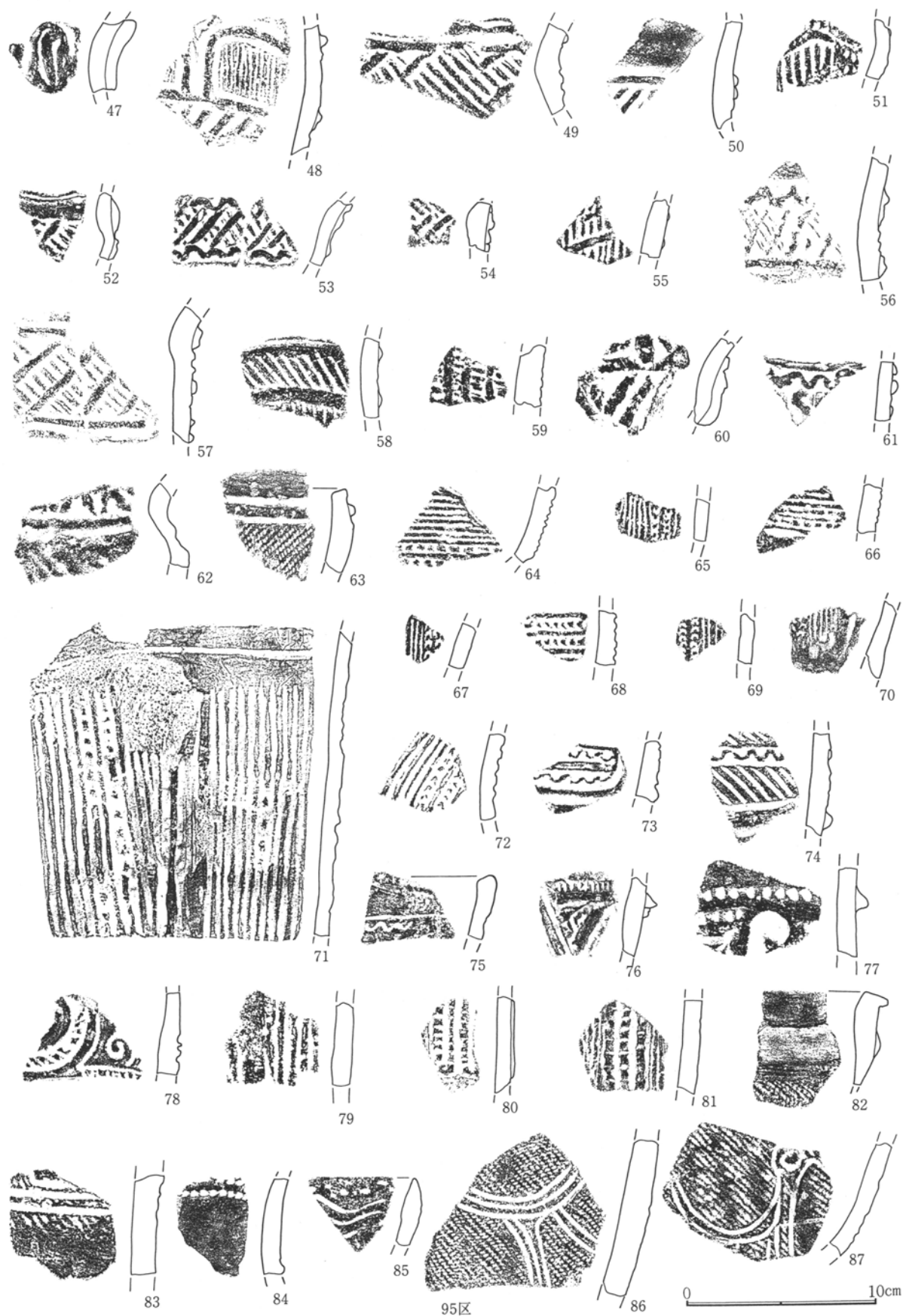
95区

0 20cm

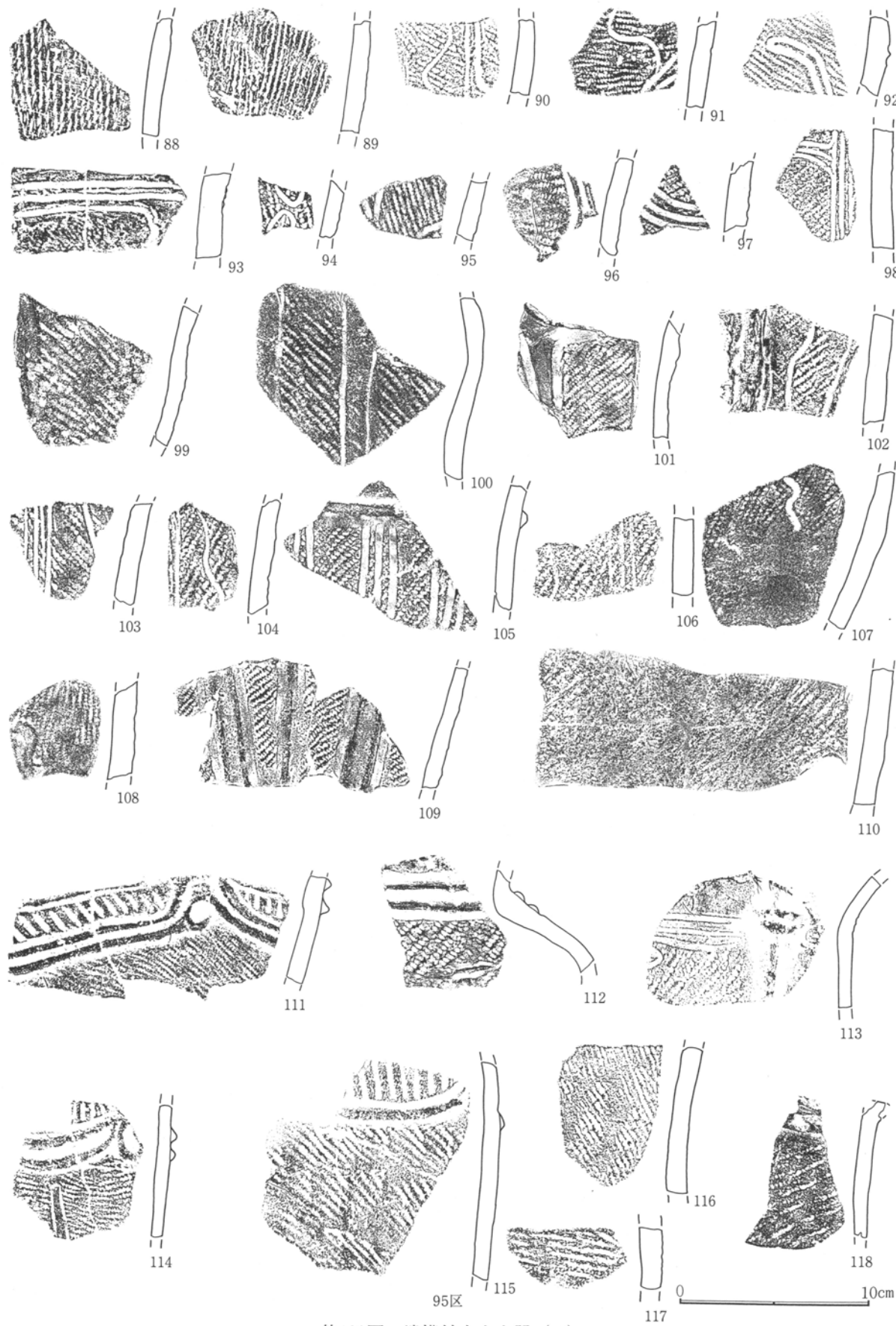
第196図 遺構外出土土器 (37)



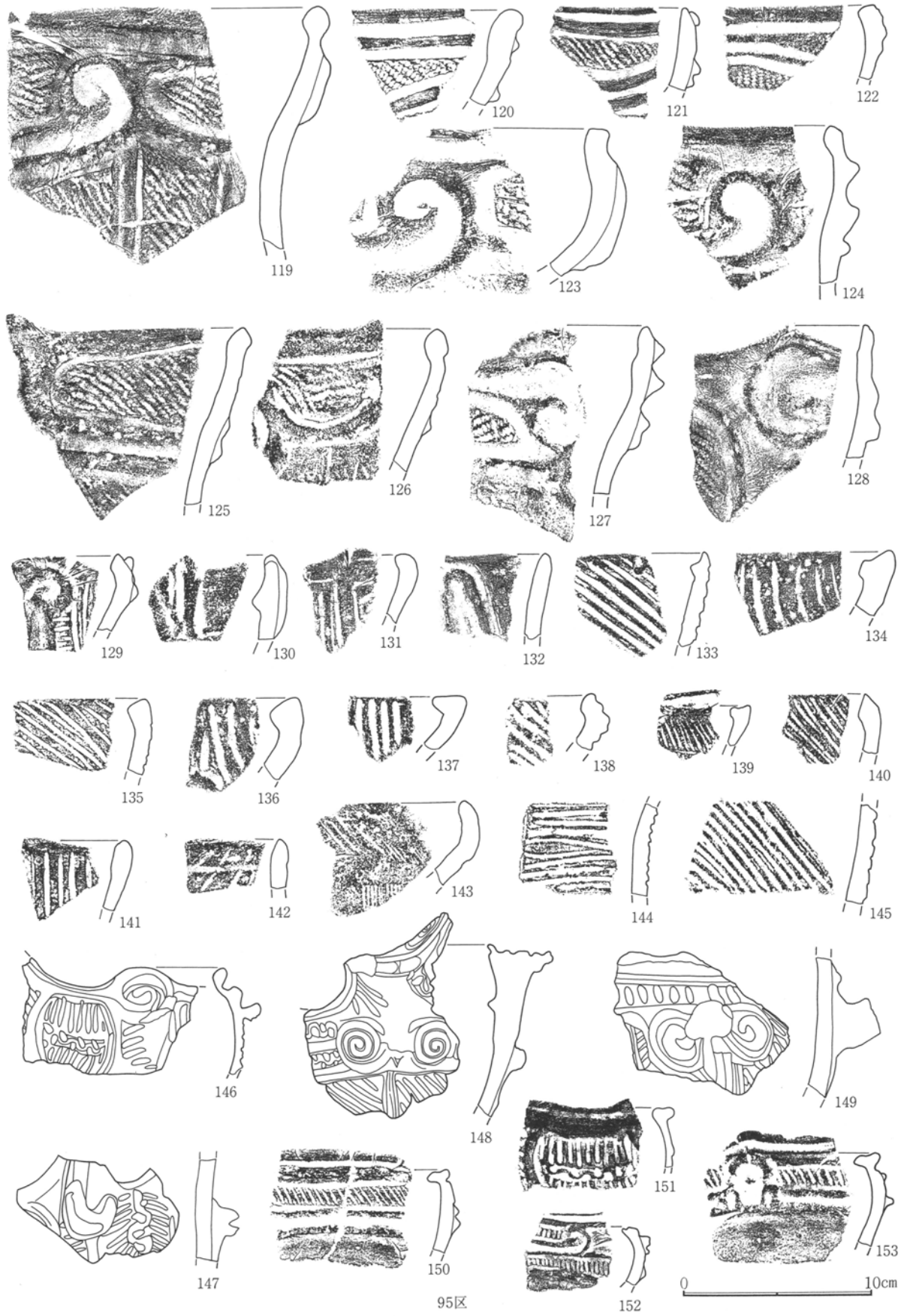
第197図 遺構外出土器 (38)



第198図 遺構外出土土器 (39)



第199図 遺構外出土土器 (40)



第200図 遺構外出土土器 (41)

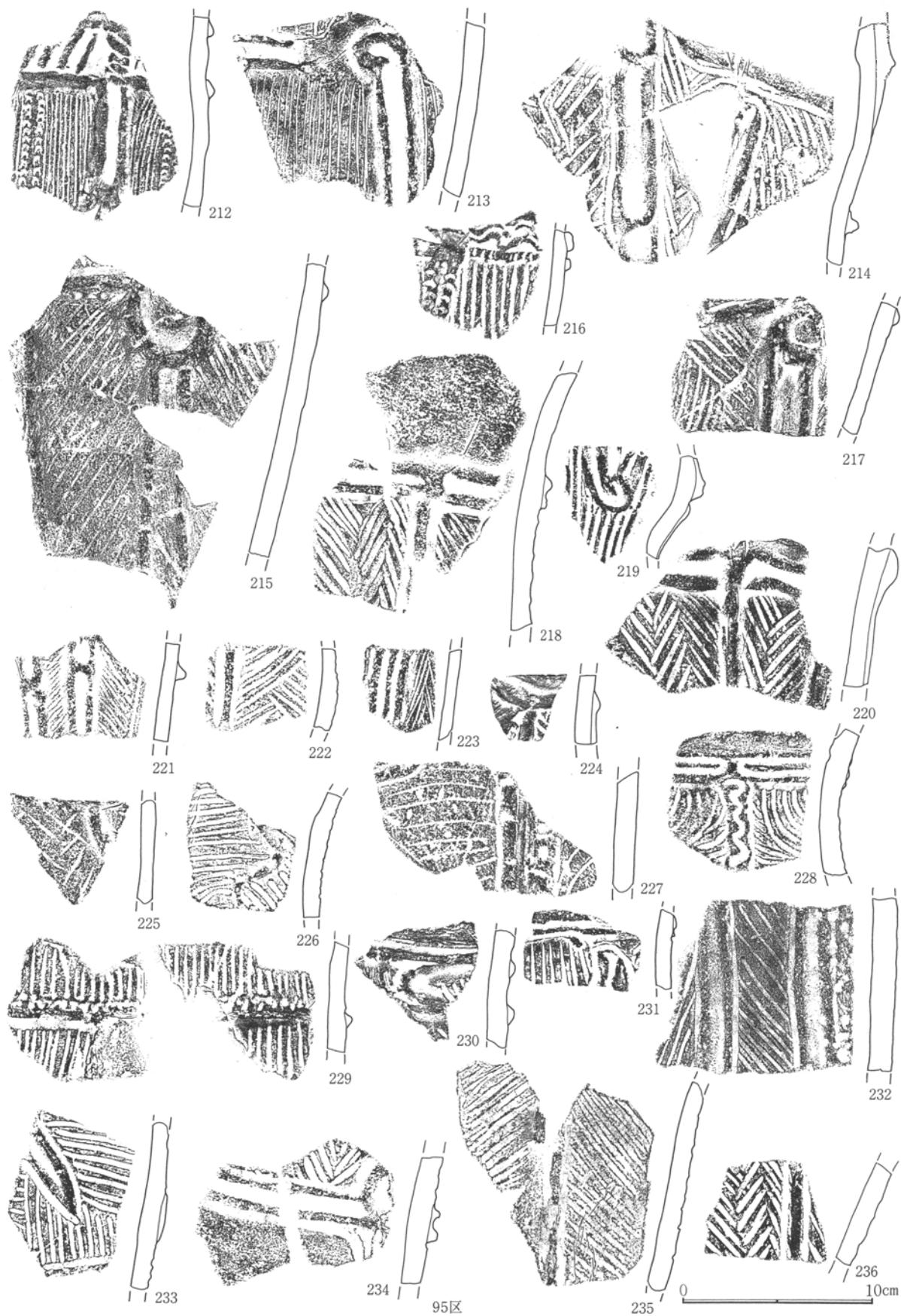




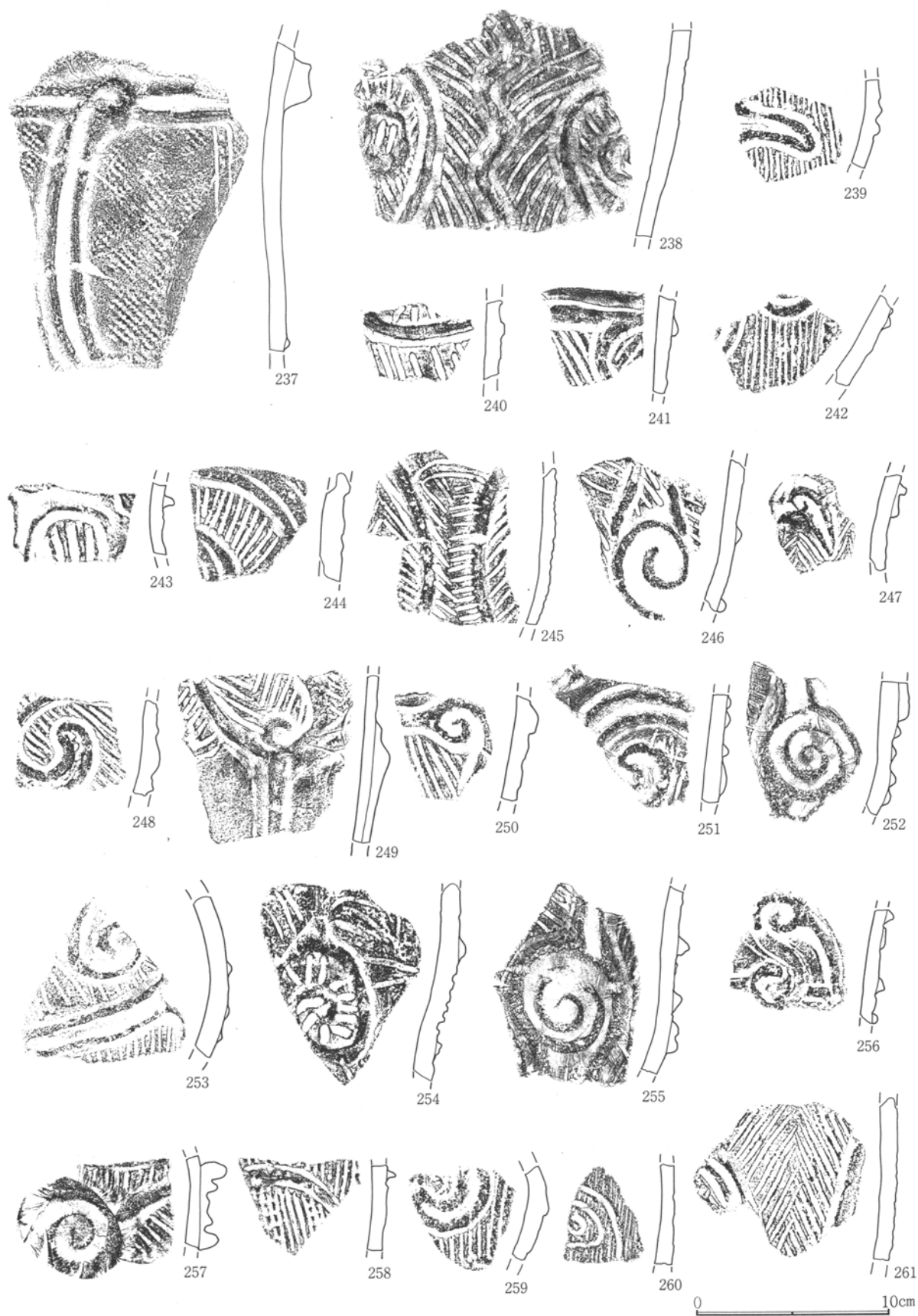
第201図 遺構外出土土器 (42)



第202図 遺構外出土土器 (43)

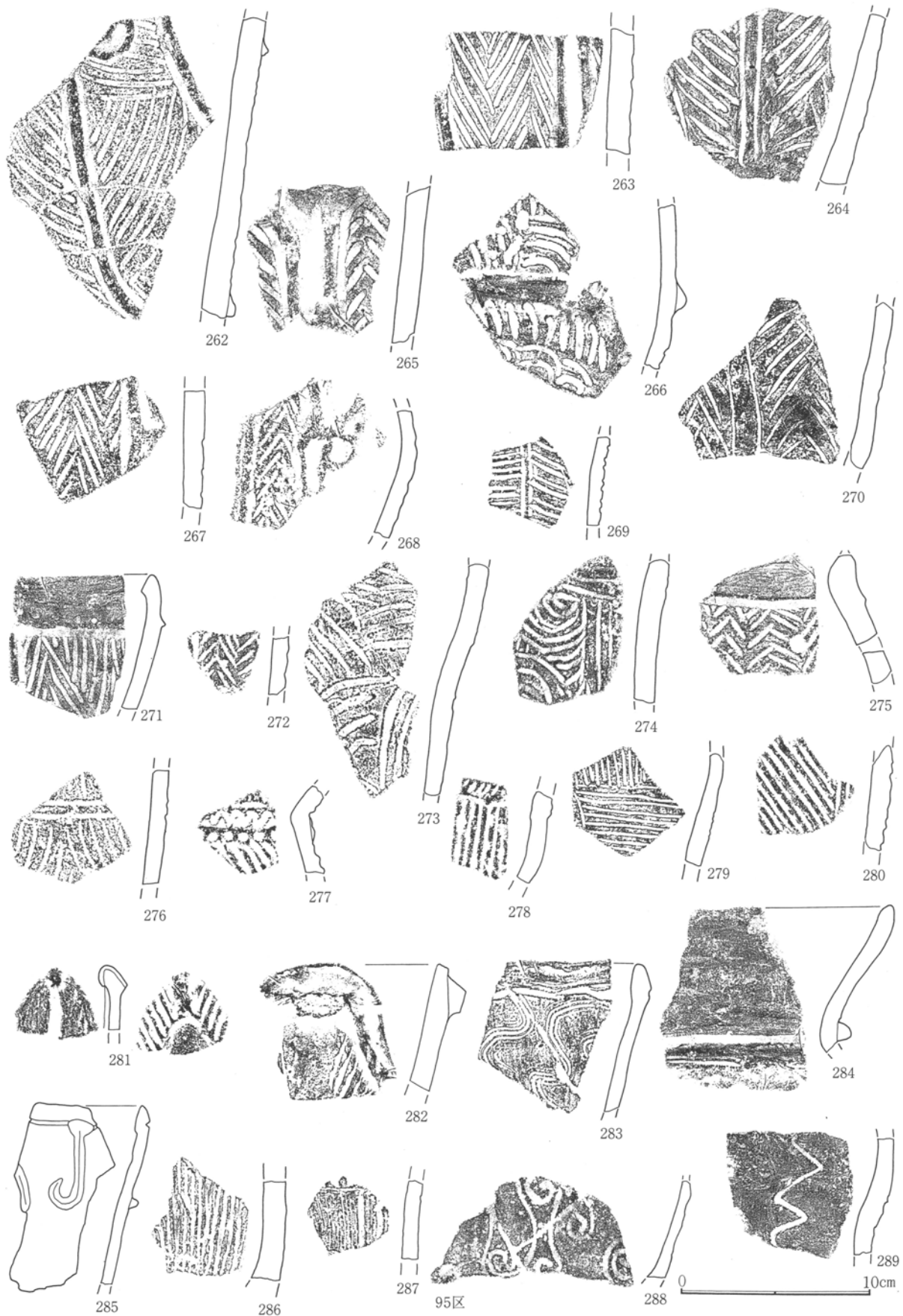


第203図 遺構外出土器 (44)



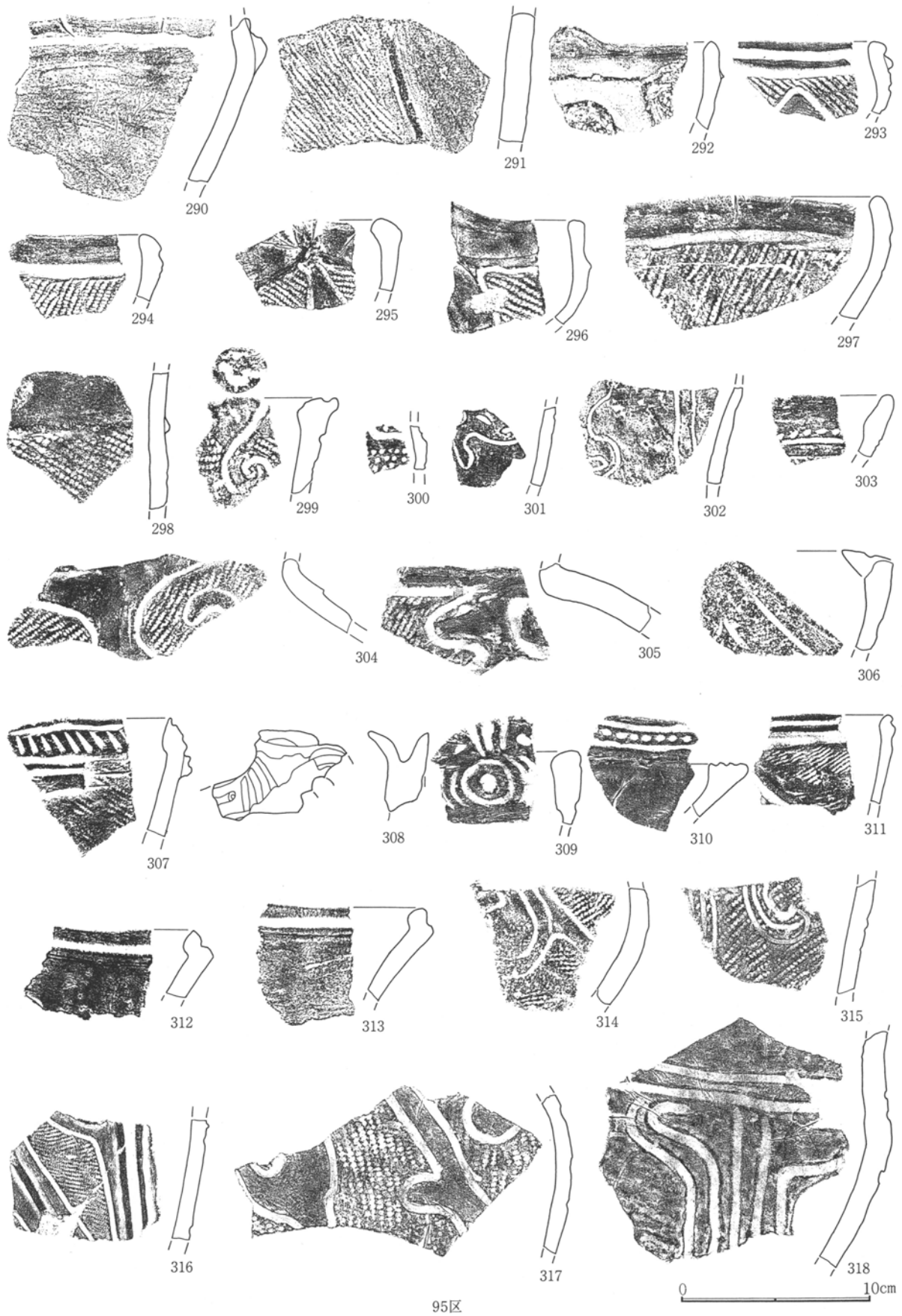
95区

第204図 遺構外出土土器 (45)

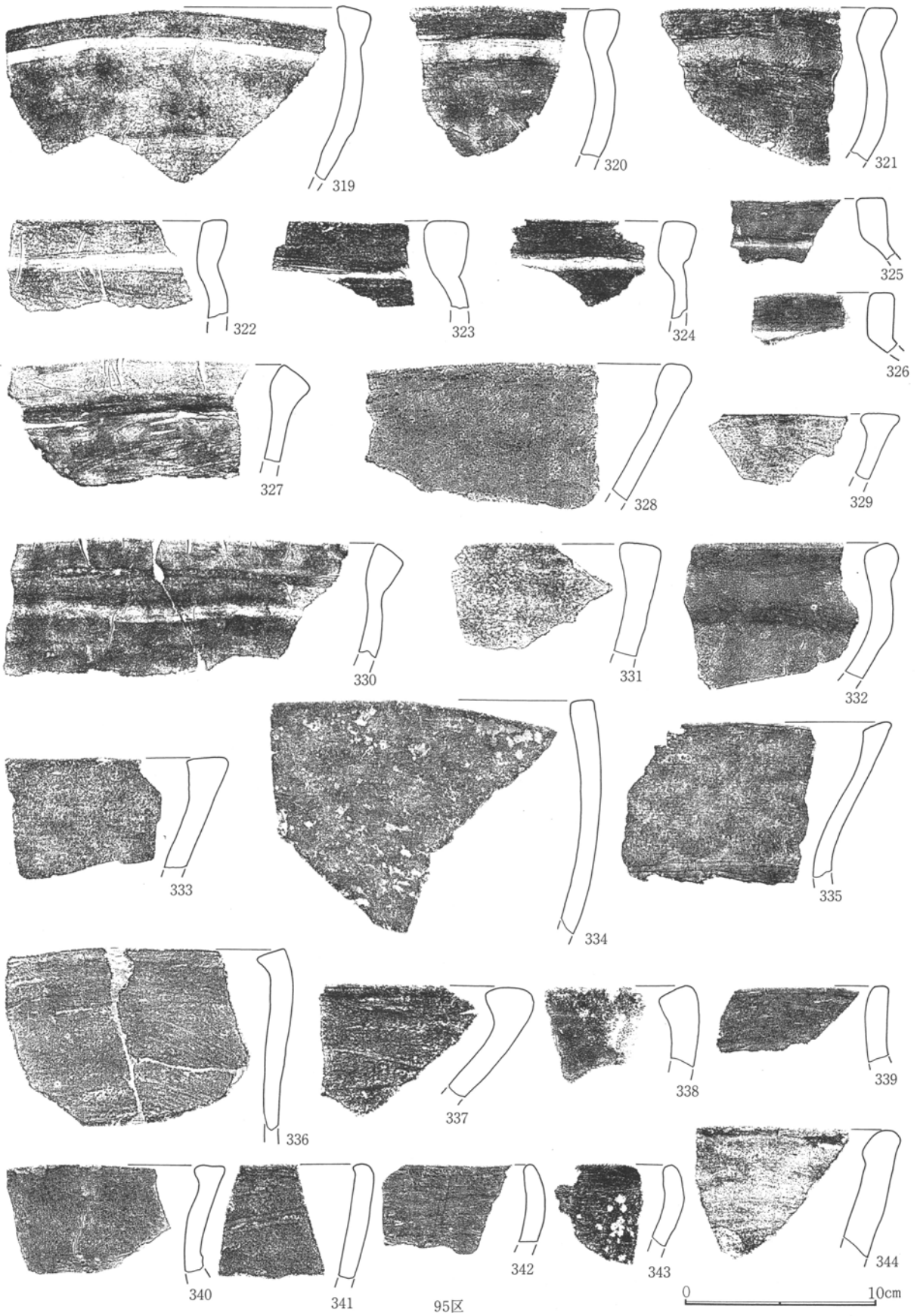


第205図 遺構外出土土器 (46)





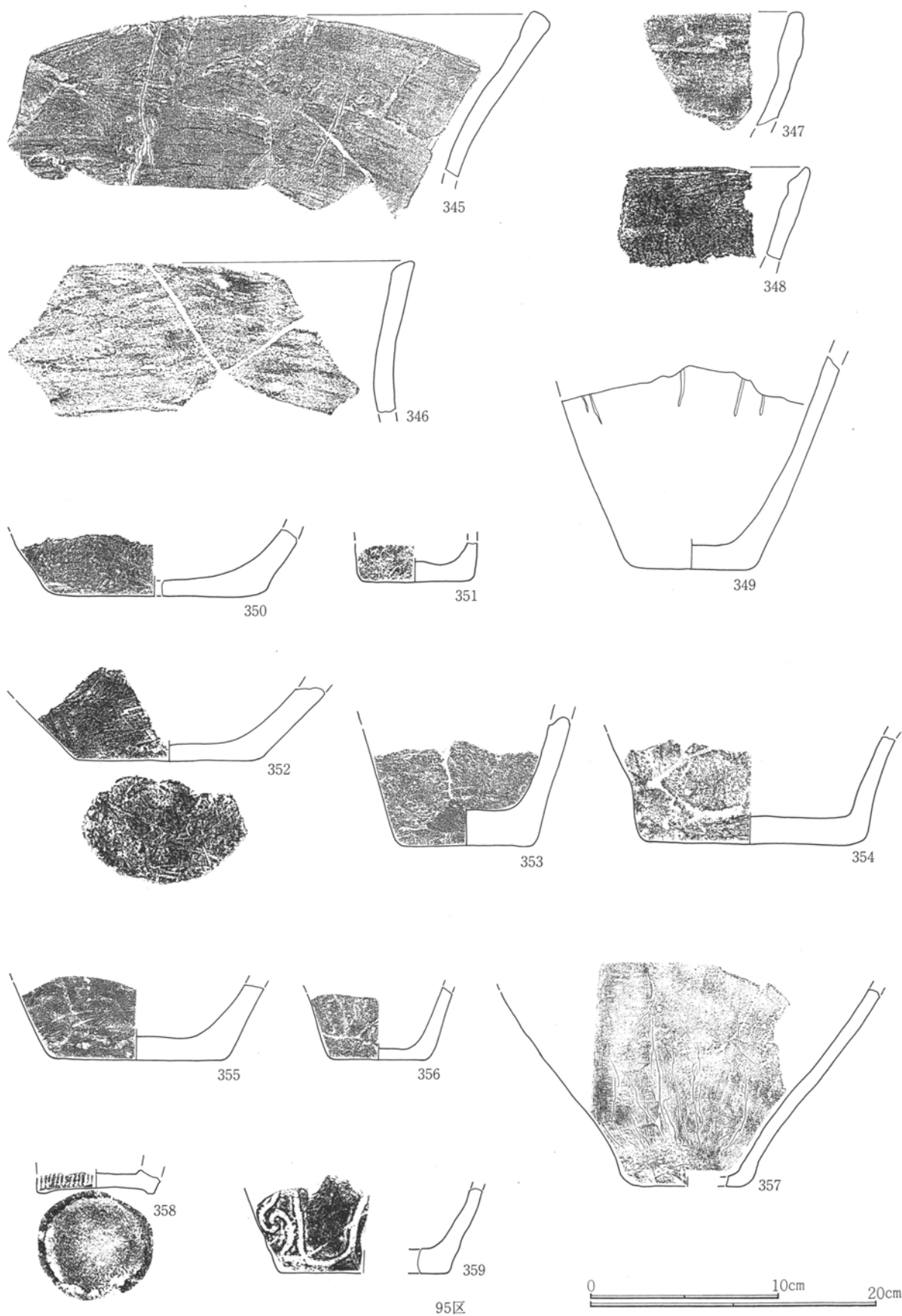
第206図 遺構外出土土器 (47)



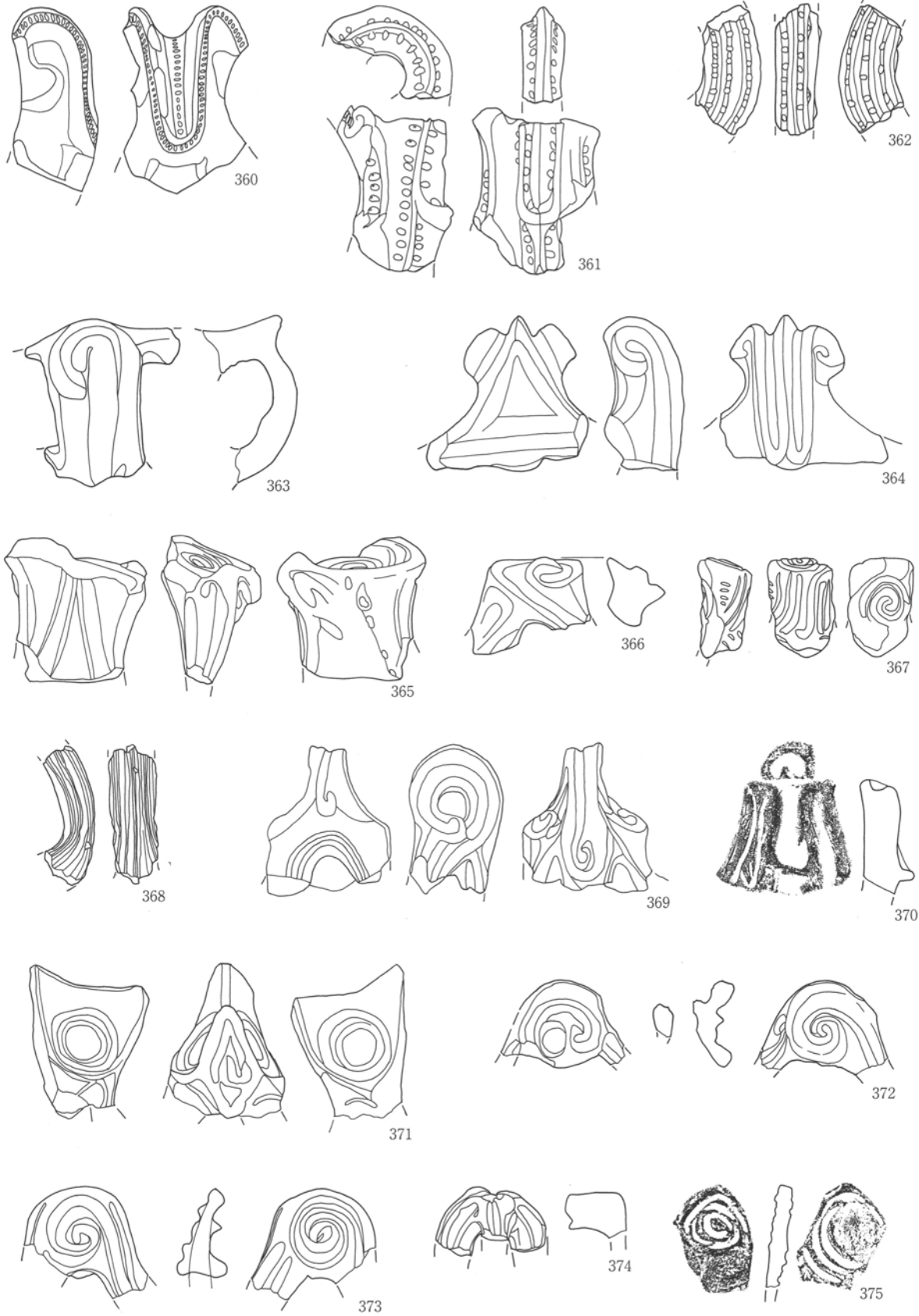
95区

第207図 遺構外出土土器 (48)





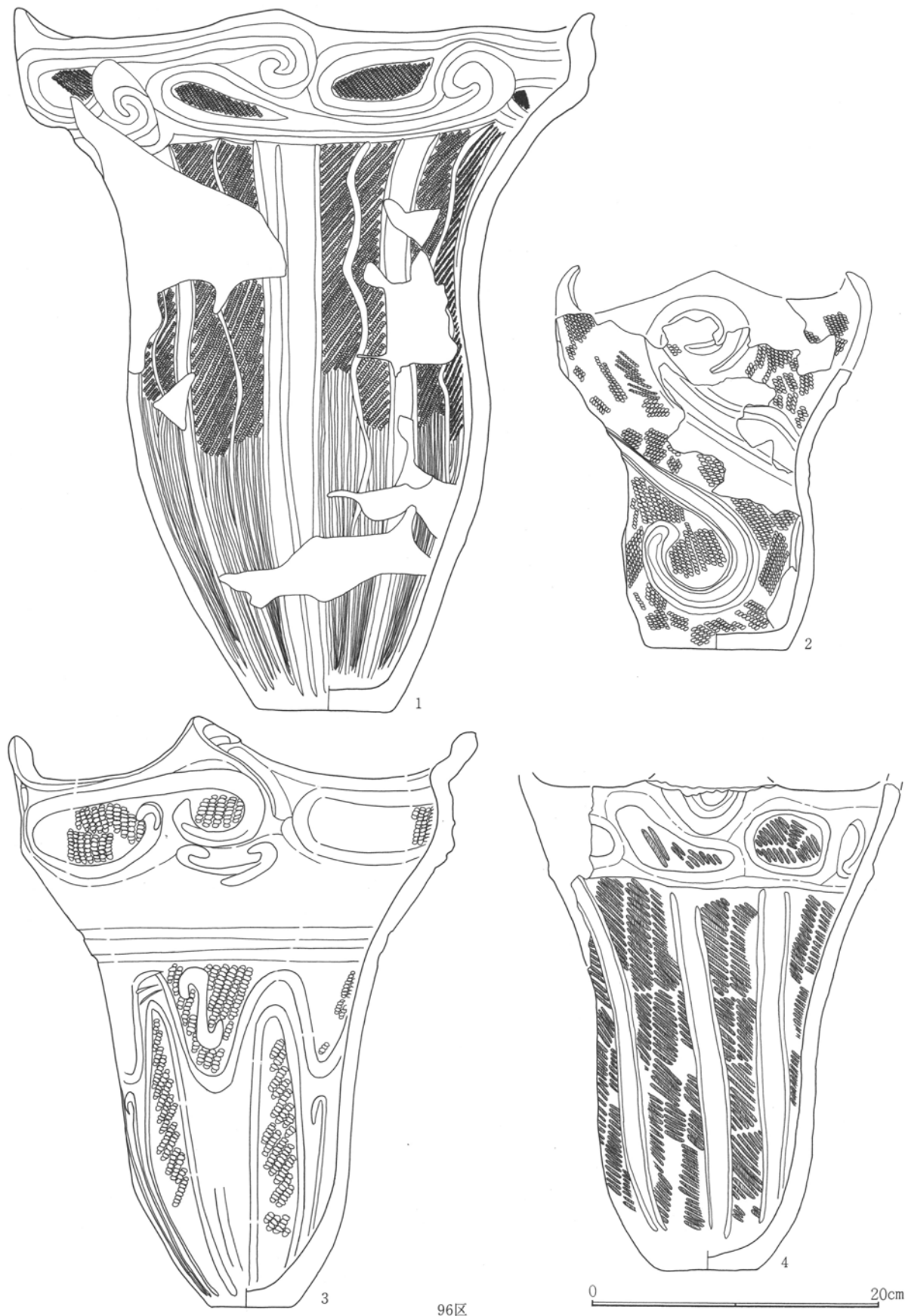
第208図 遺構外出土土器 (49)



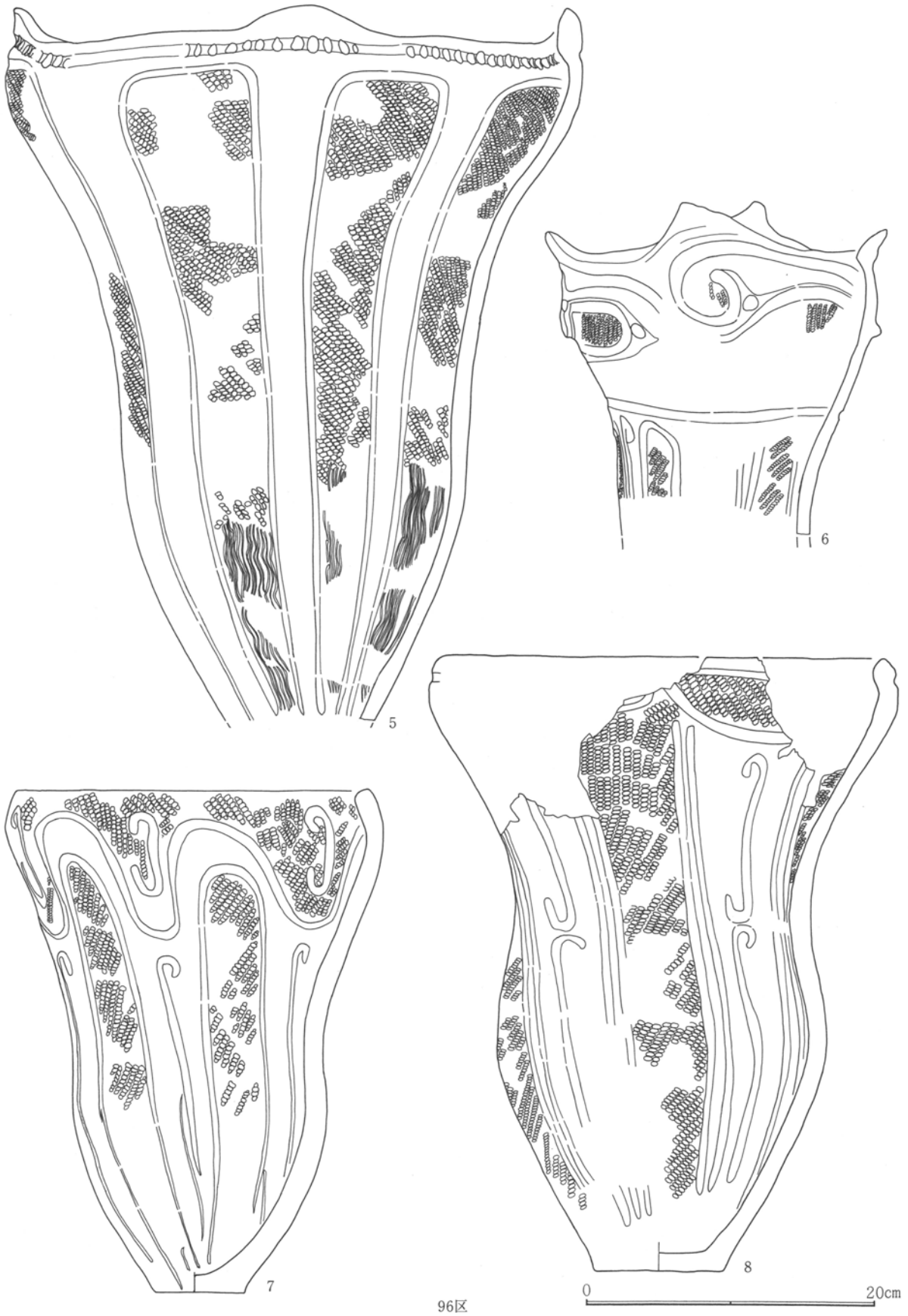
95区

0 10cm

第209図 遺構外出土土器 (50)

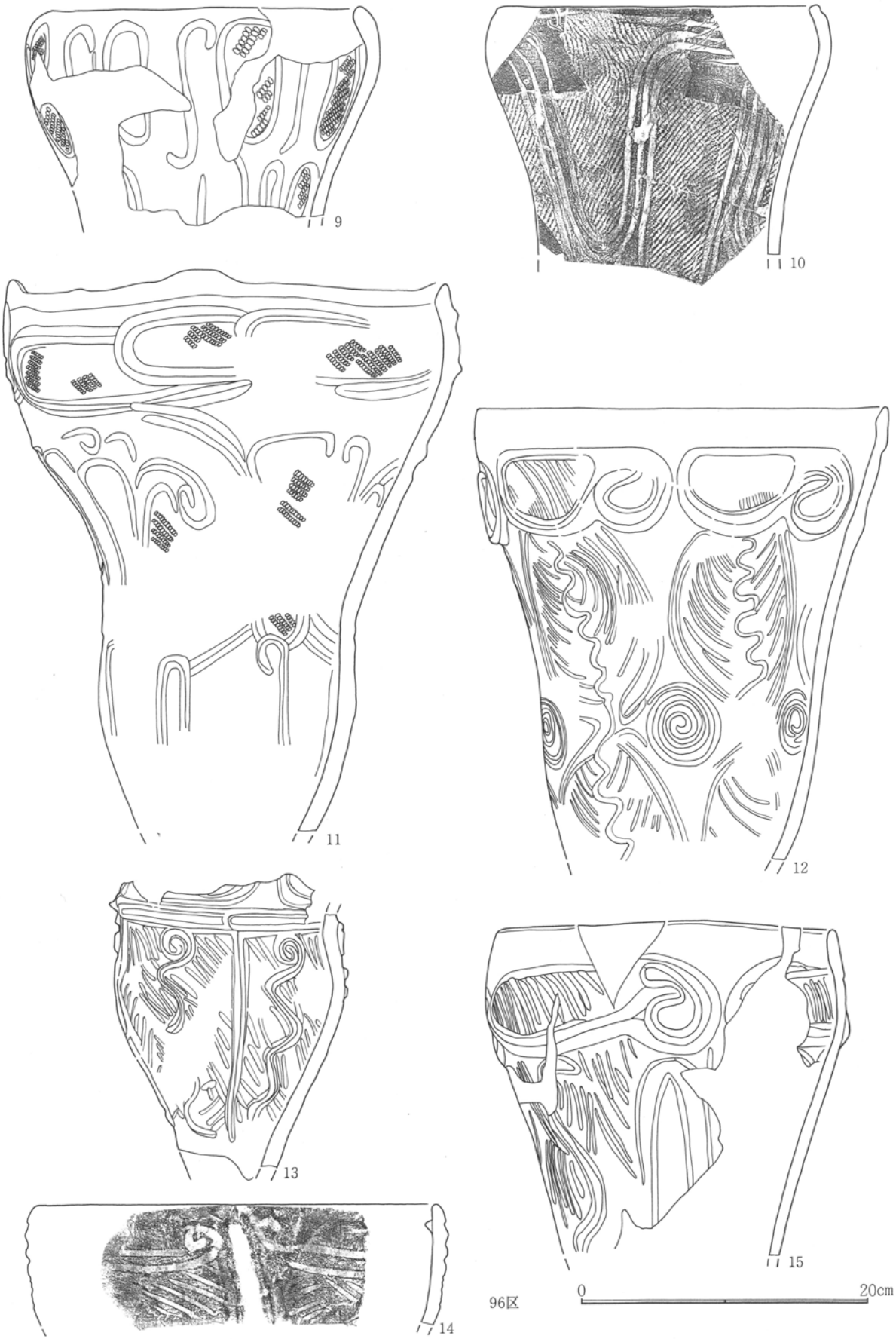


96区  
第210図 遺構外出土土器 (51)

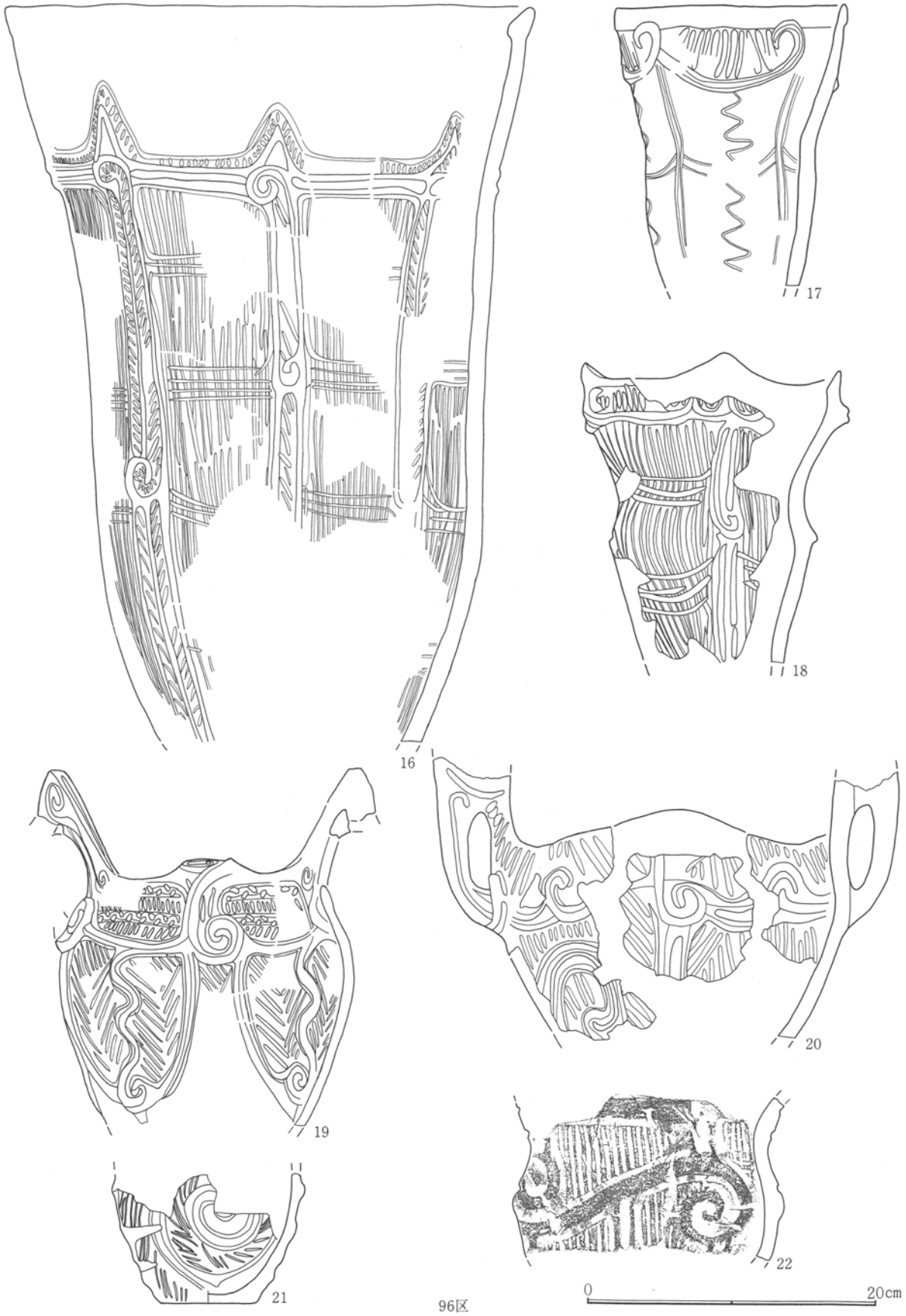


96区

第211図 遺構外出土土器 (52)

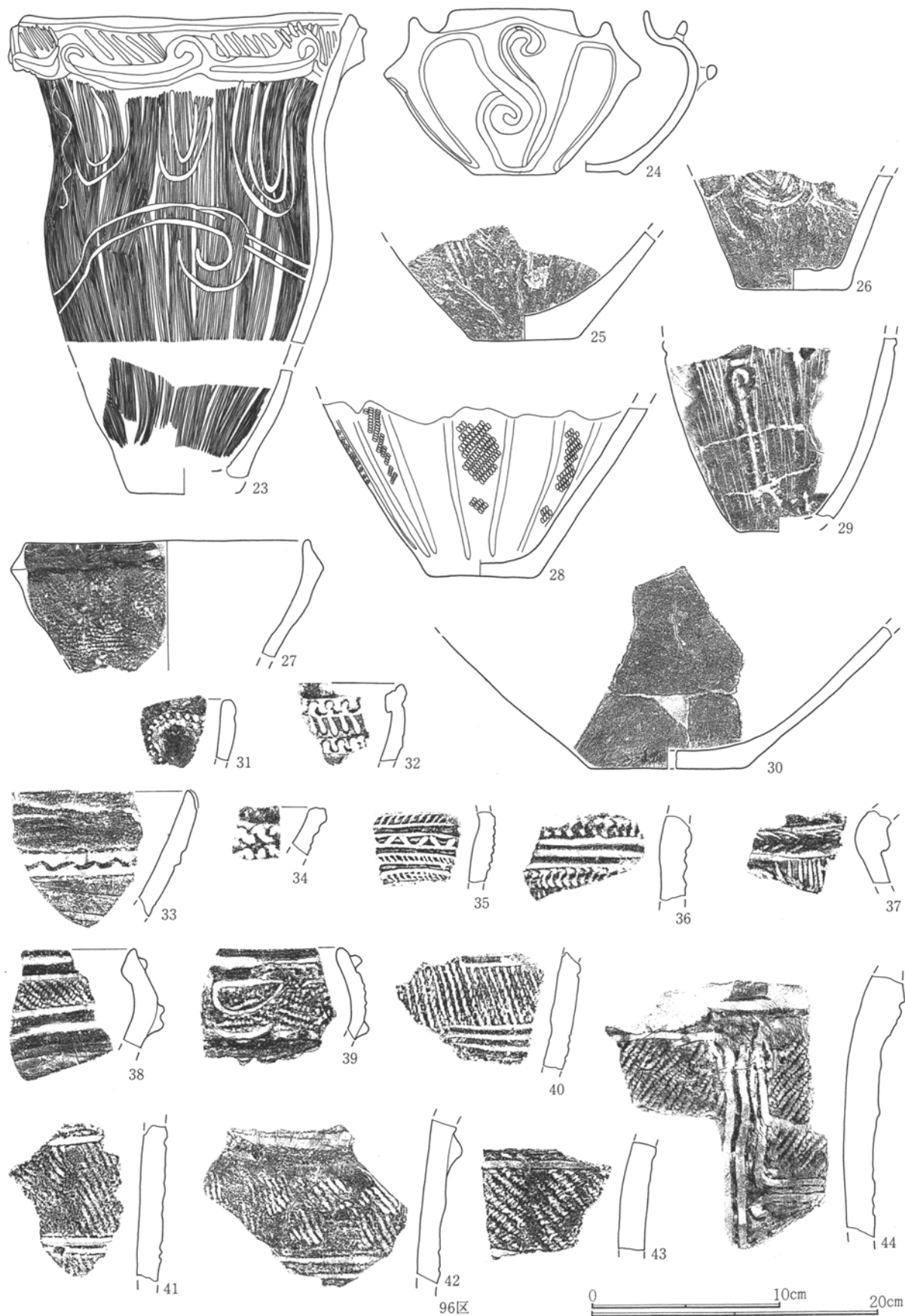


第212図 遺構外出土土器 (53)



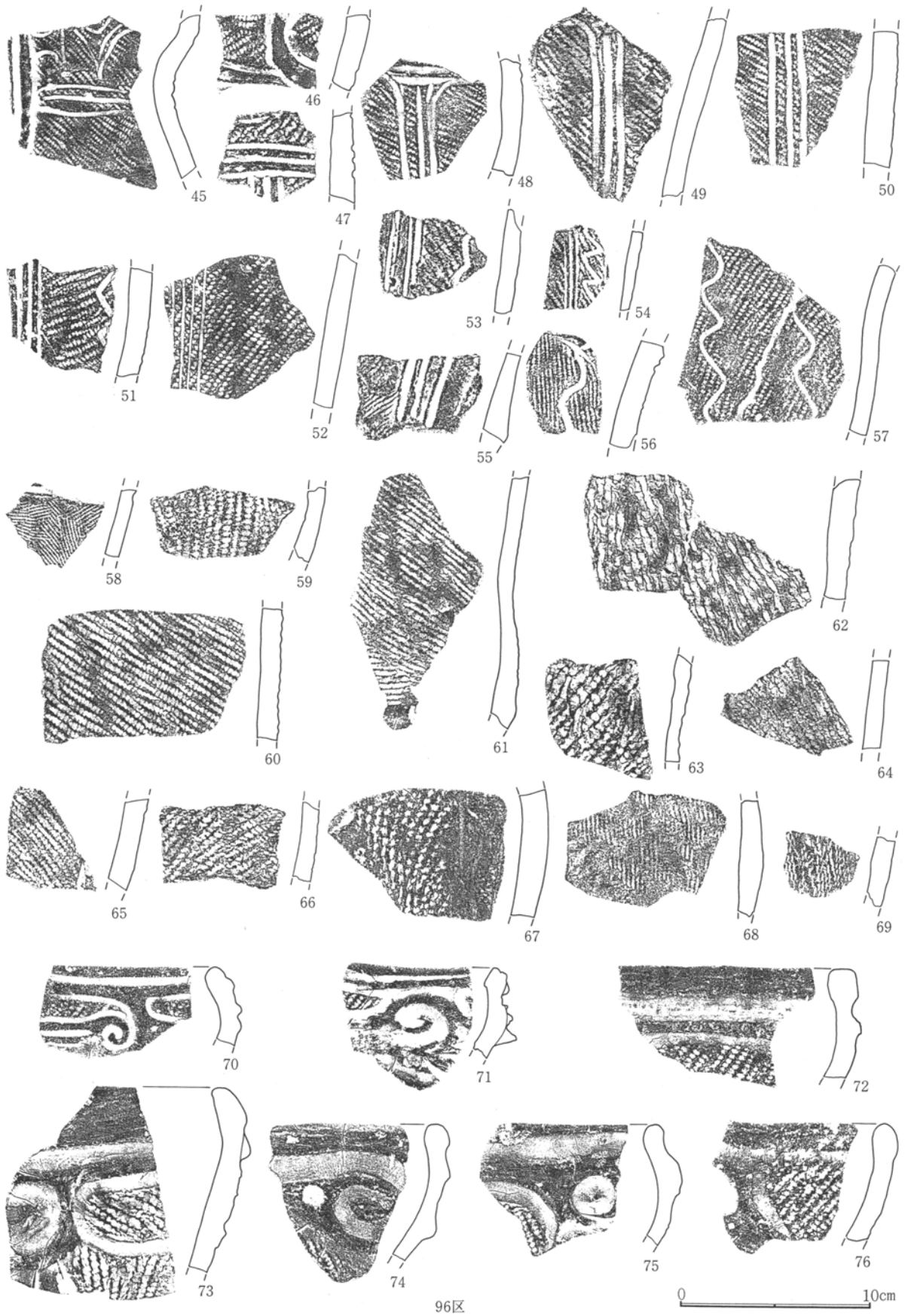
96区

第213図 遺構外出土土器 (54)



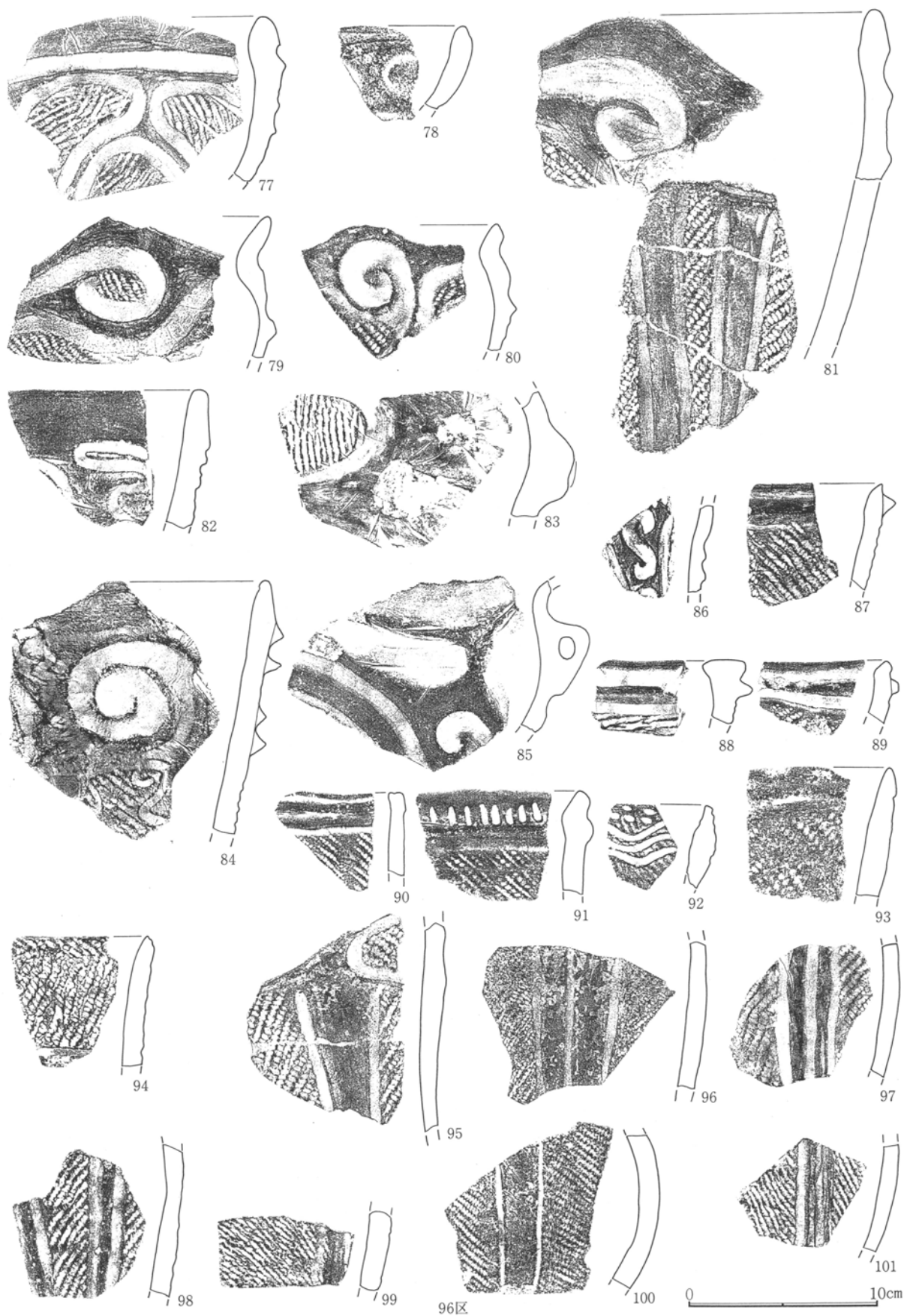
第214図 遺構外出土土器 (55)



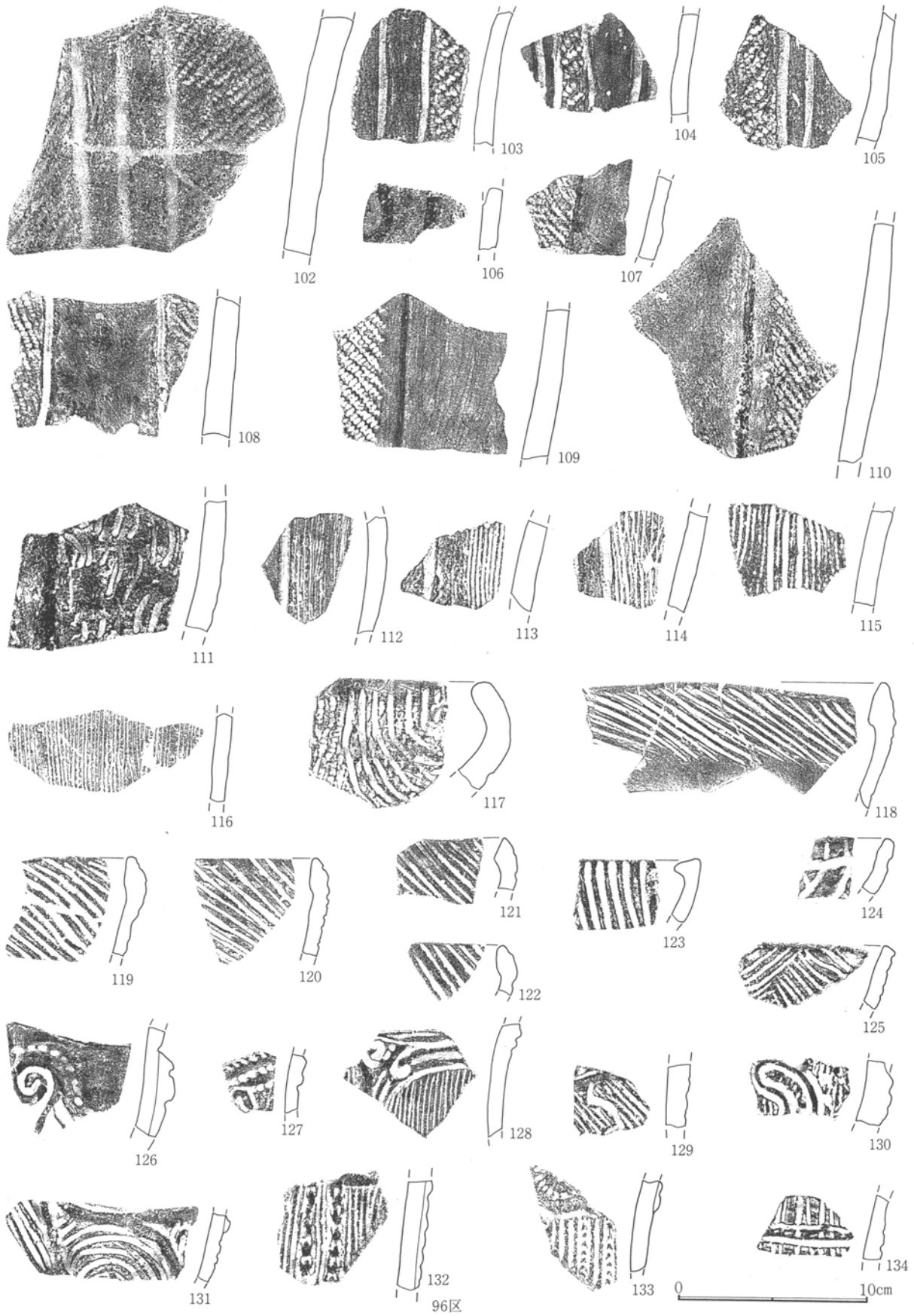


96区

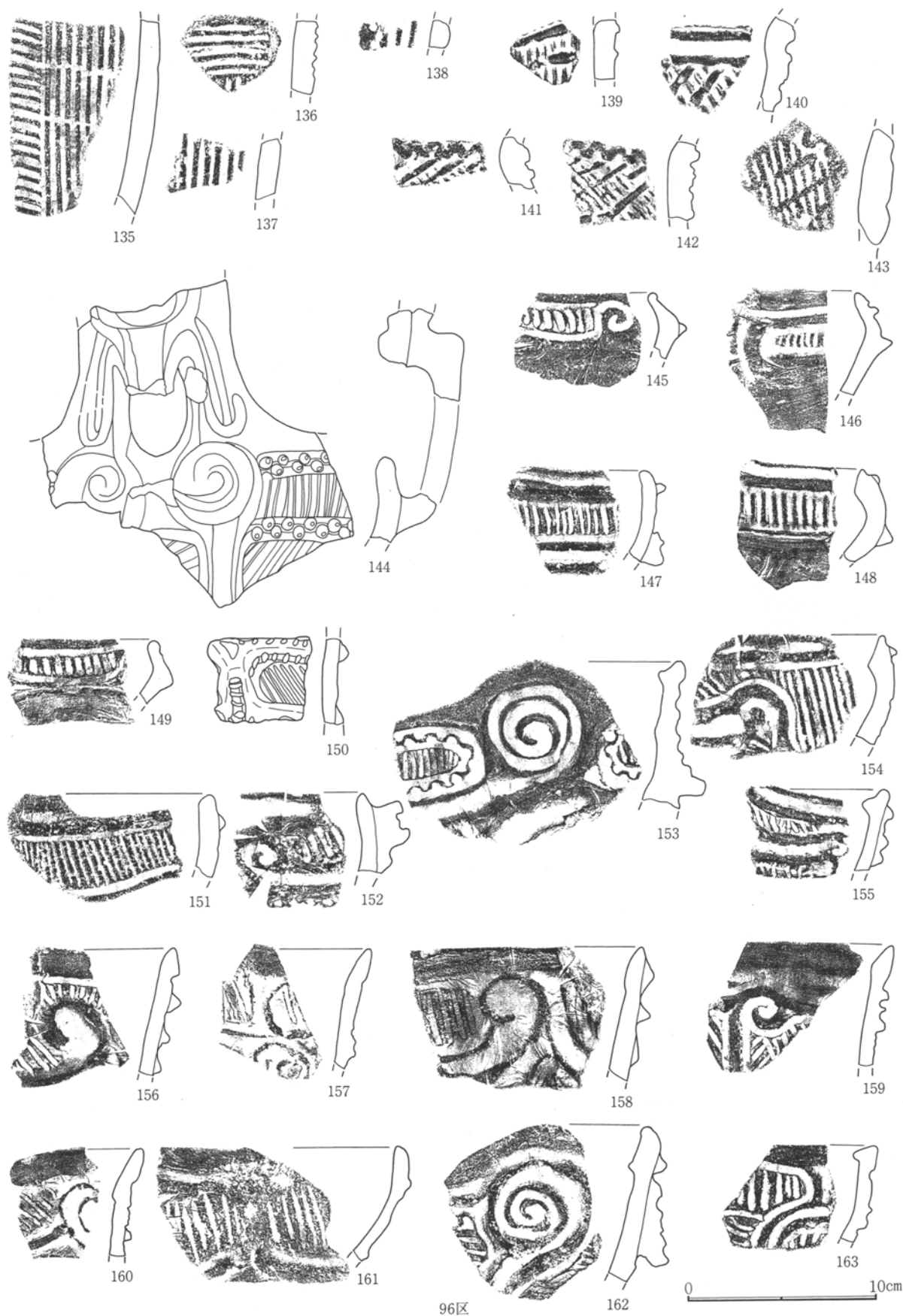
第215図 遺構外出土土器 (56)



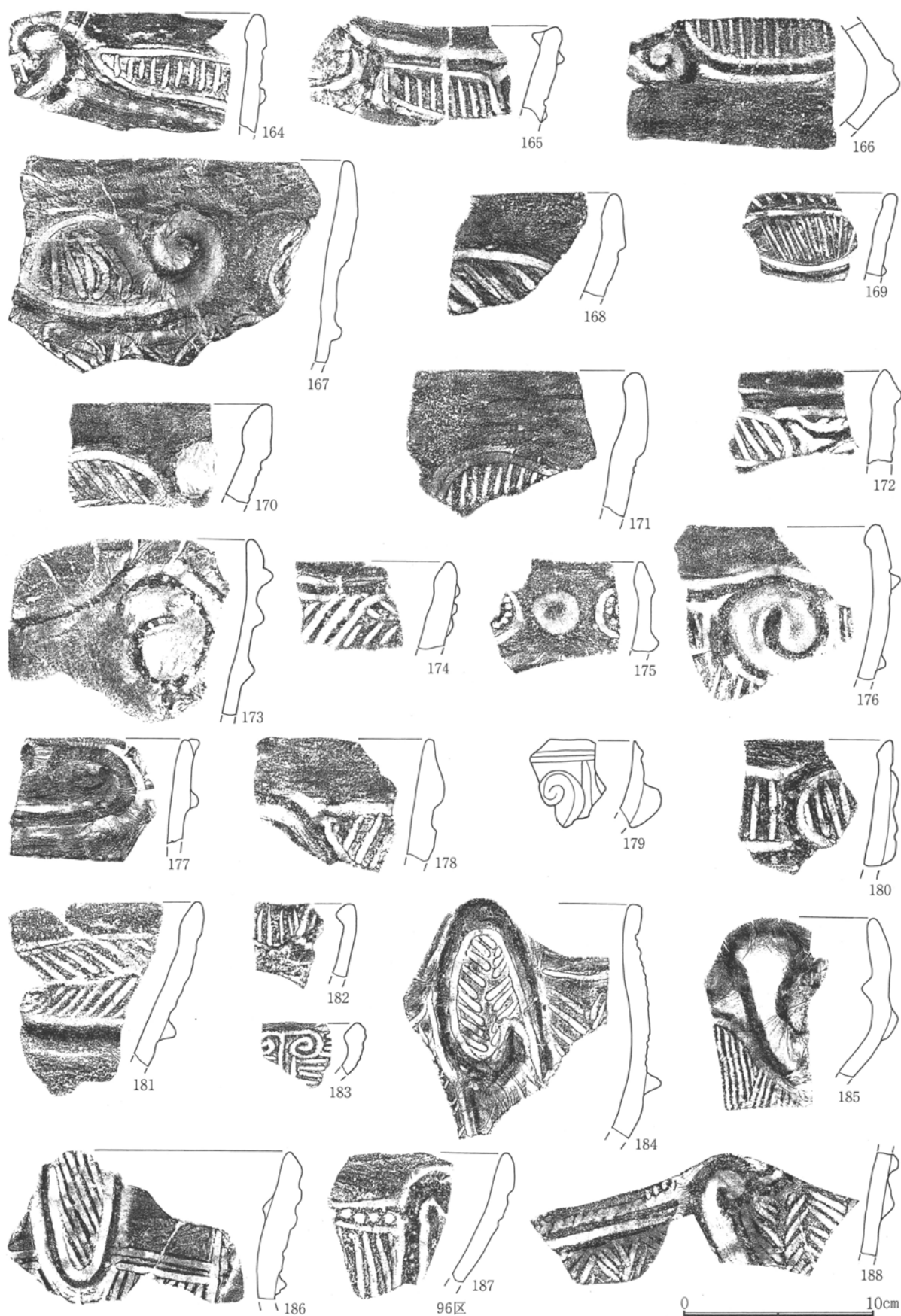
第216図 遺構外出土土器 (57)



第217図 遺構外出土土器 (58)

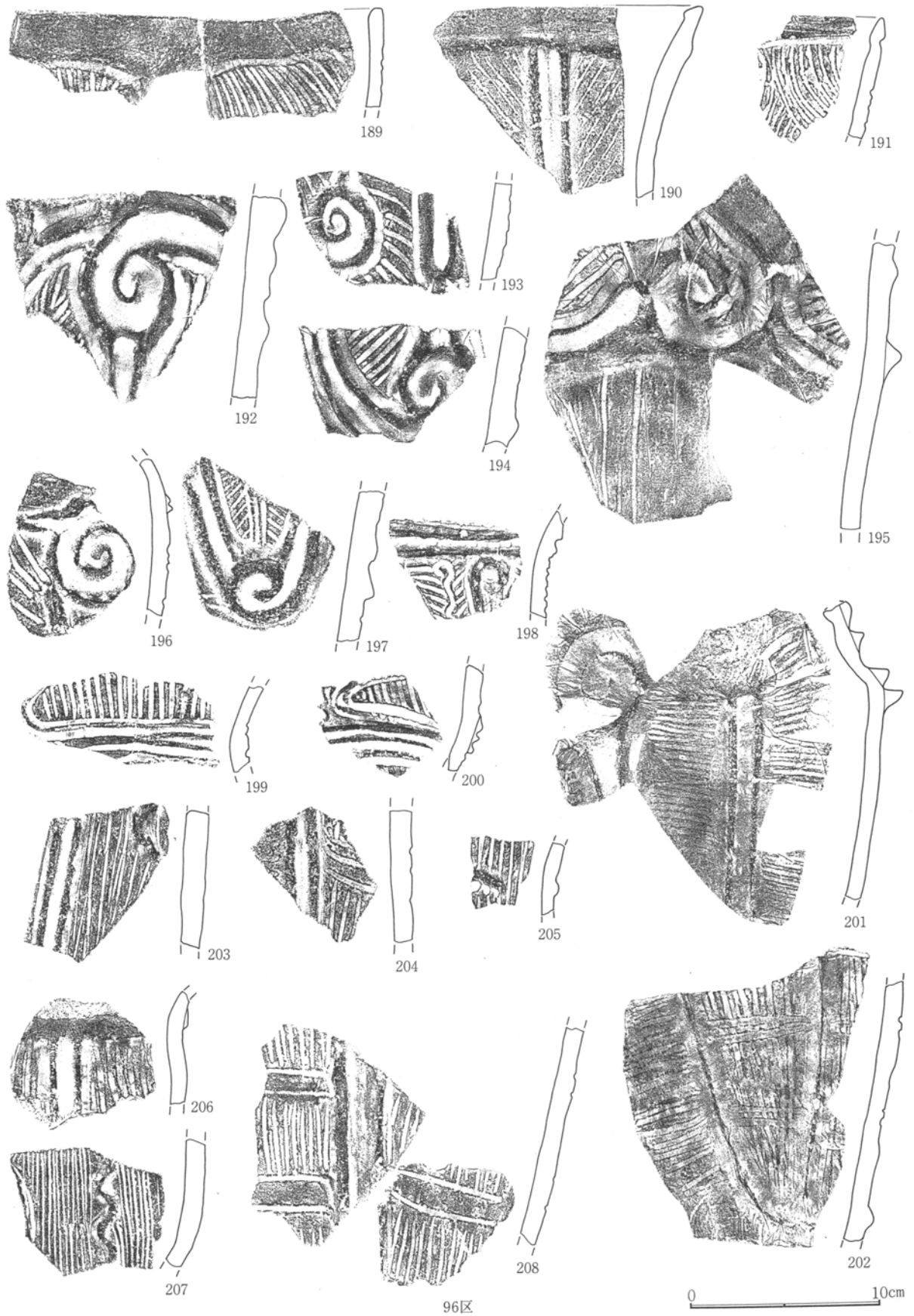


第218図 遺構外出土土器 (59)

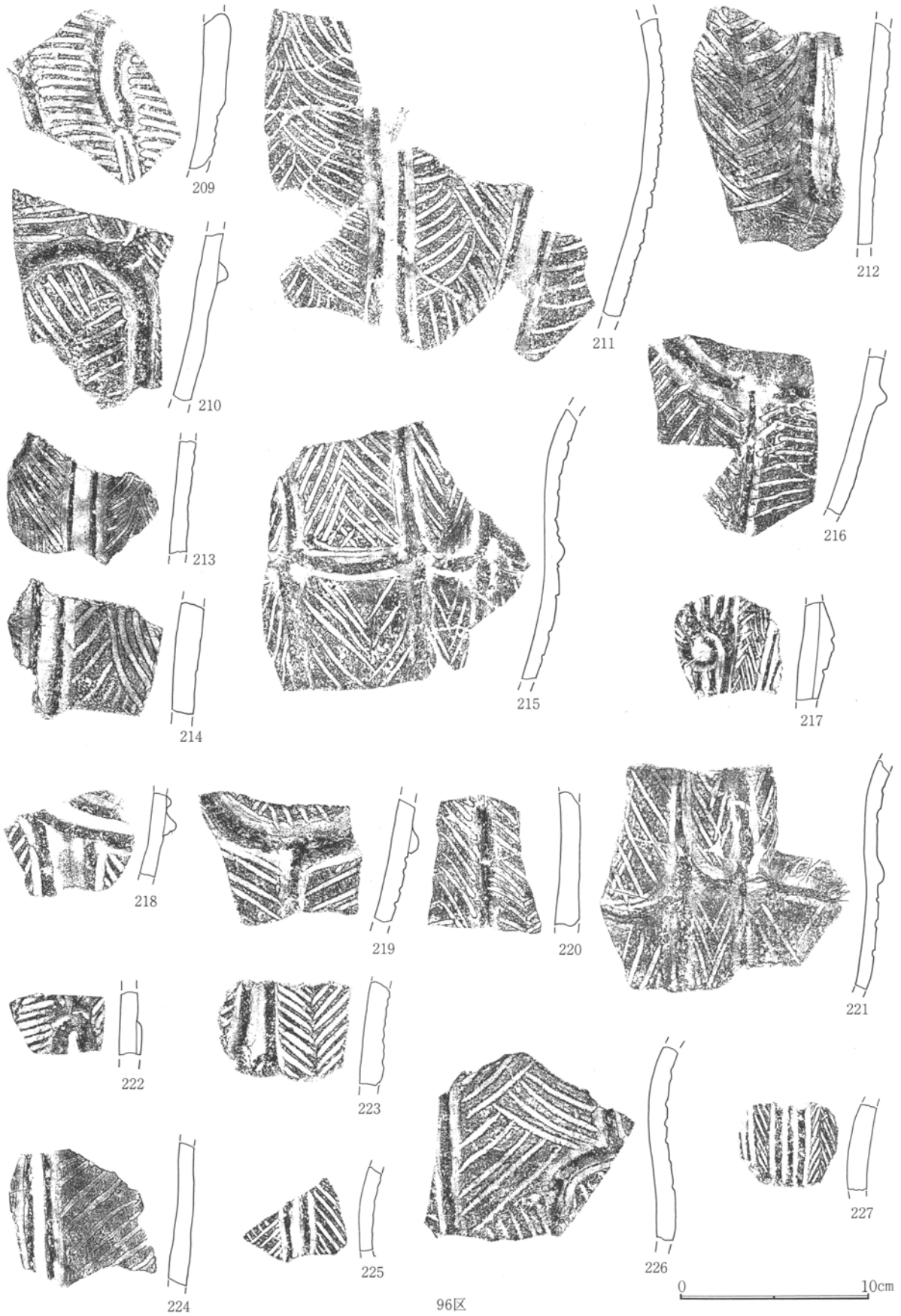


第219図 遺構外出土土器 (60)



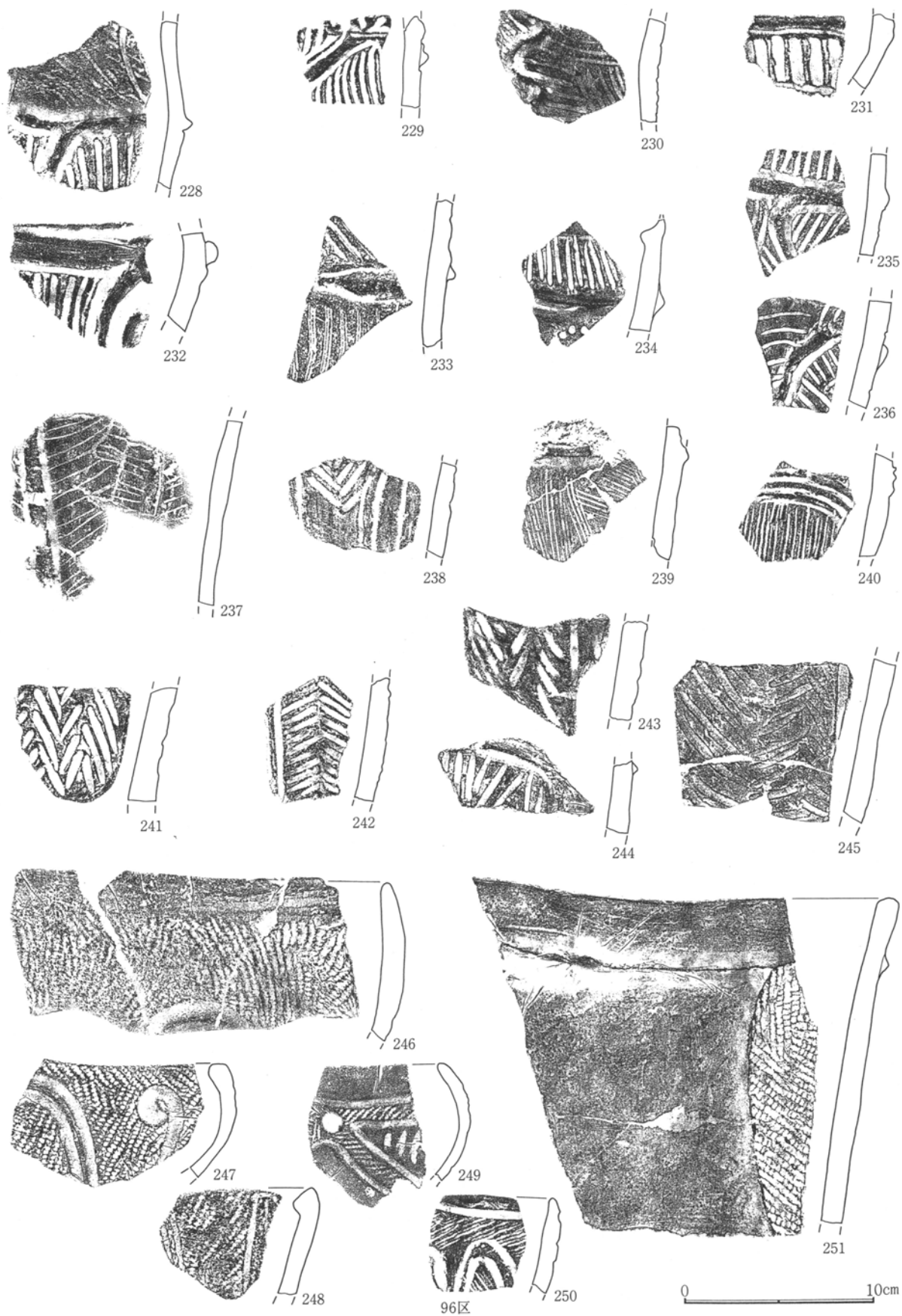


第220図 遺構外出土土器 (61)

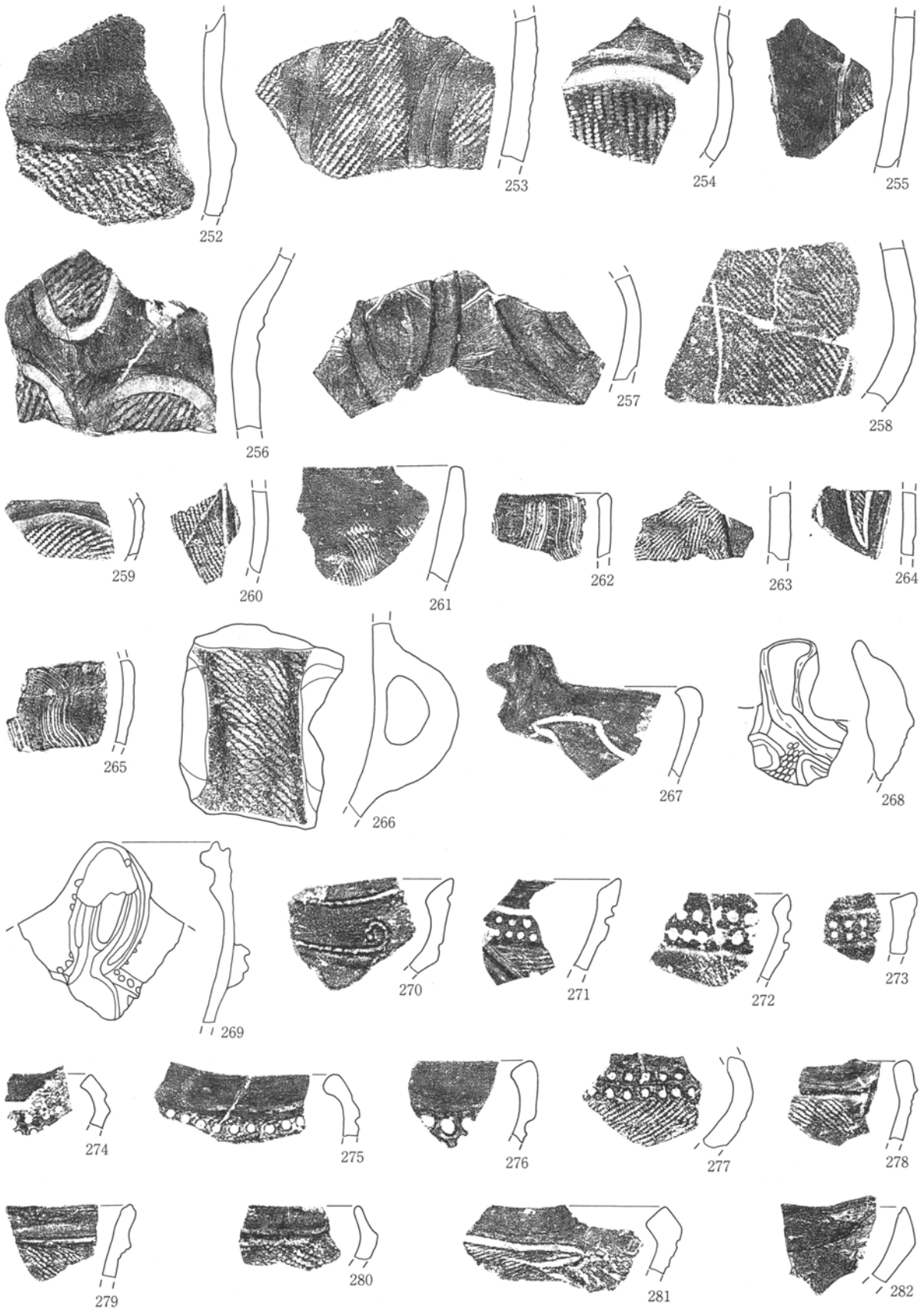


第221図 遺構外出土土器 (62)





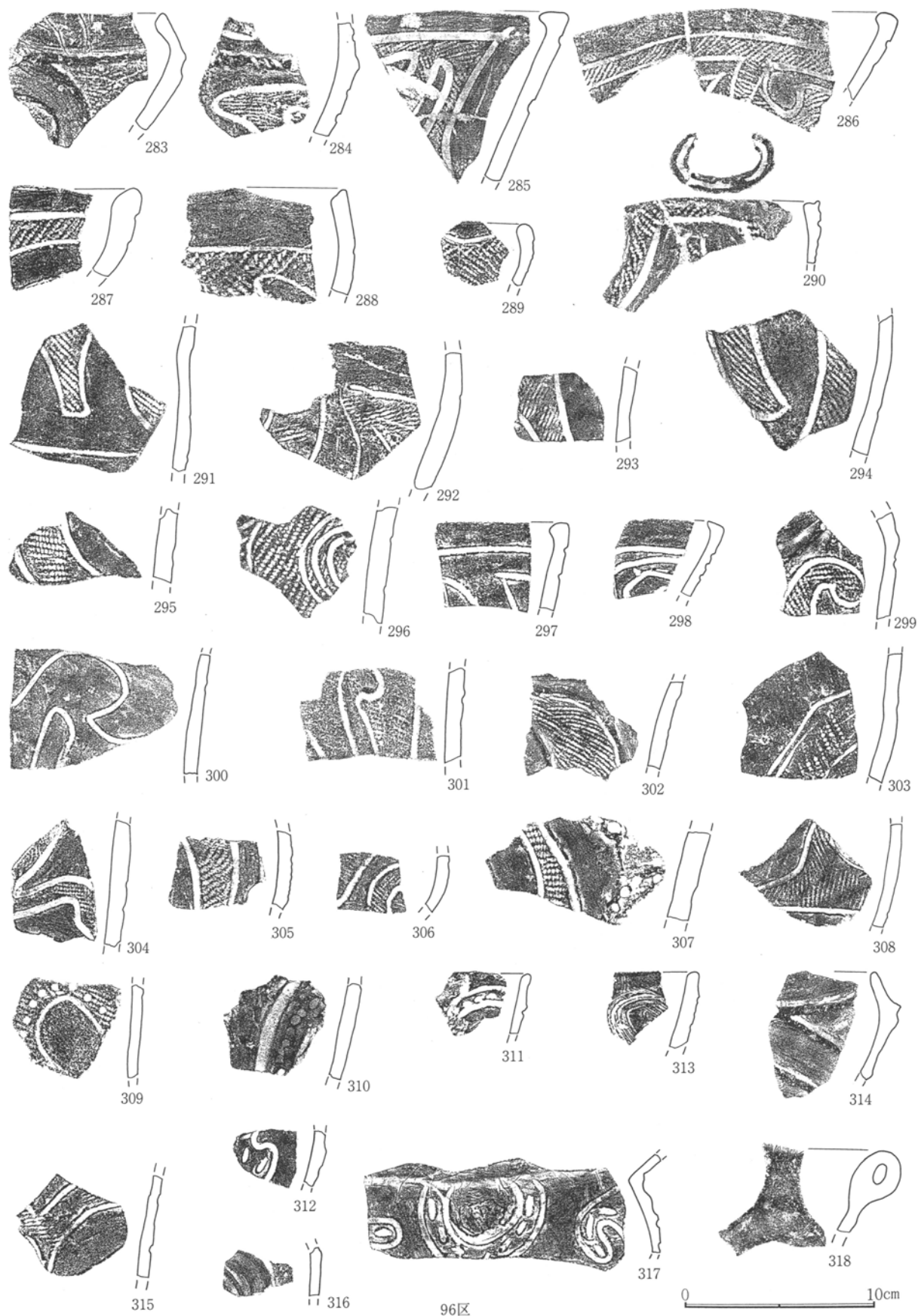
第222図 遺構外出土土器 (63)



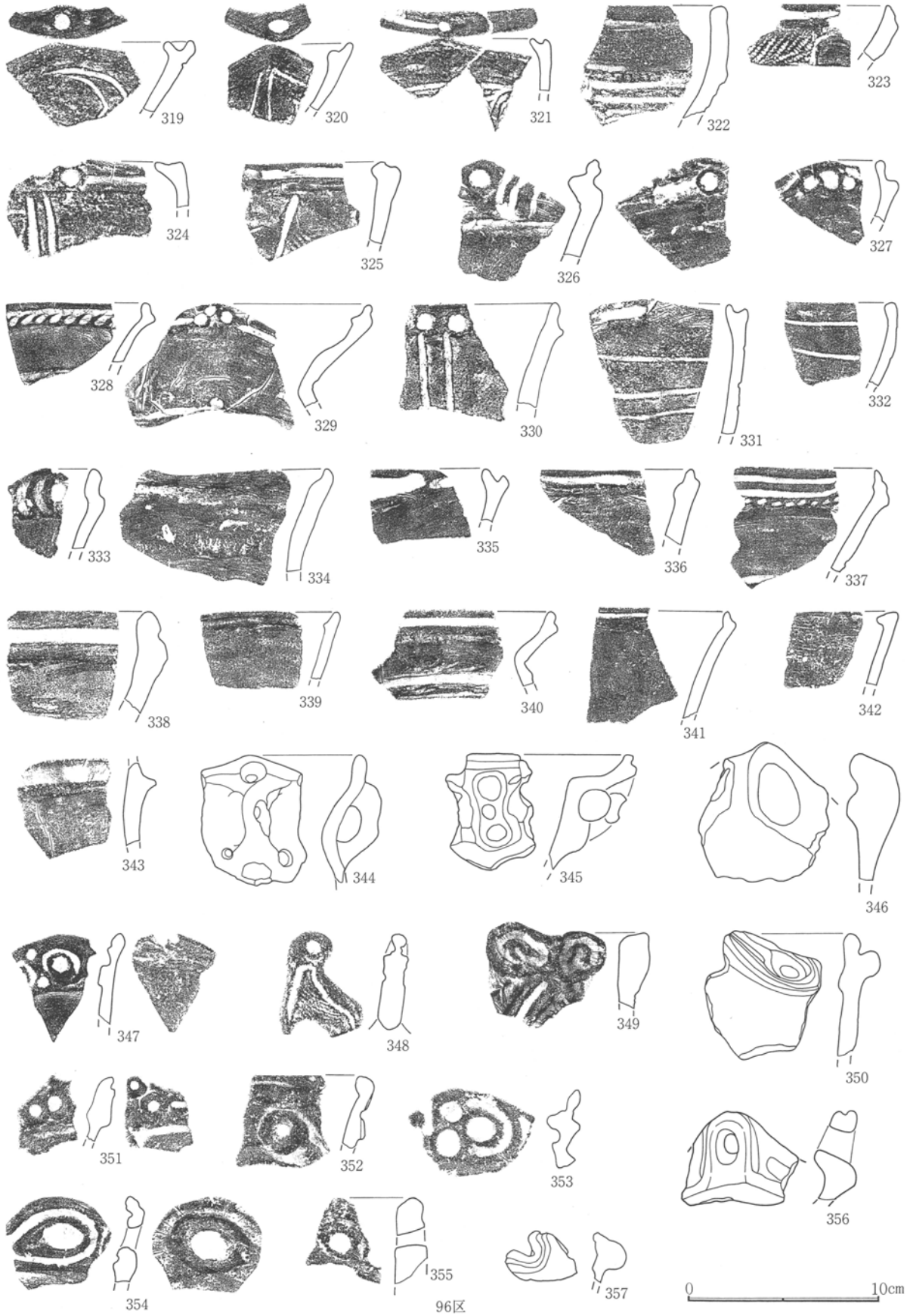
96区

0 10cm

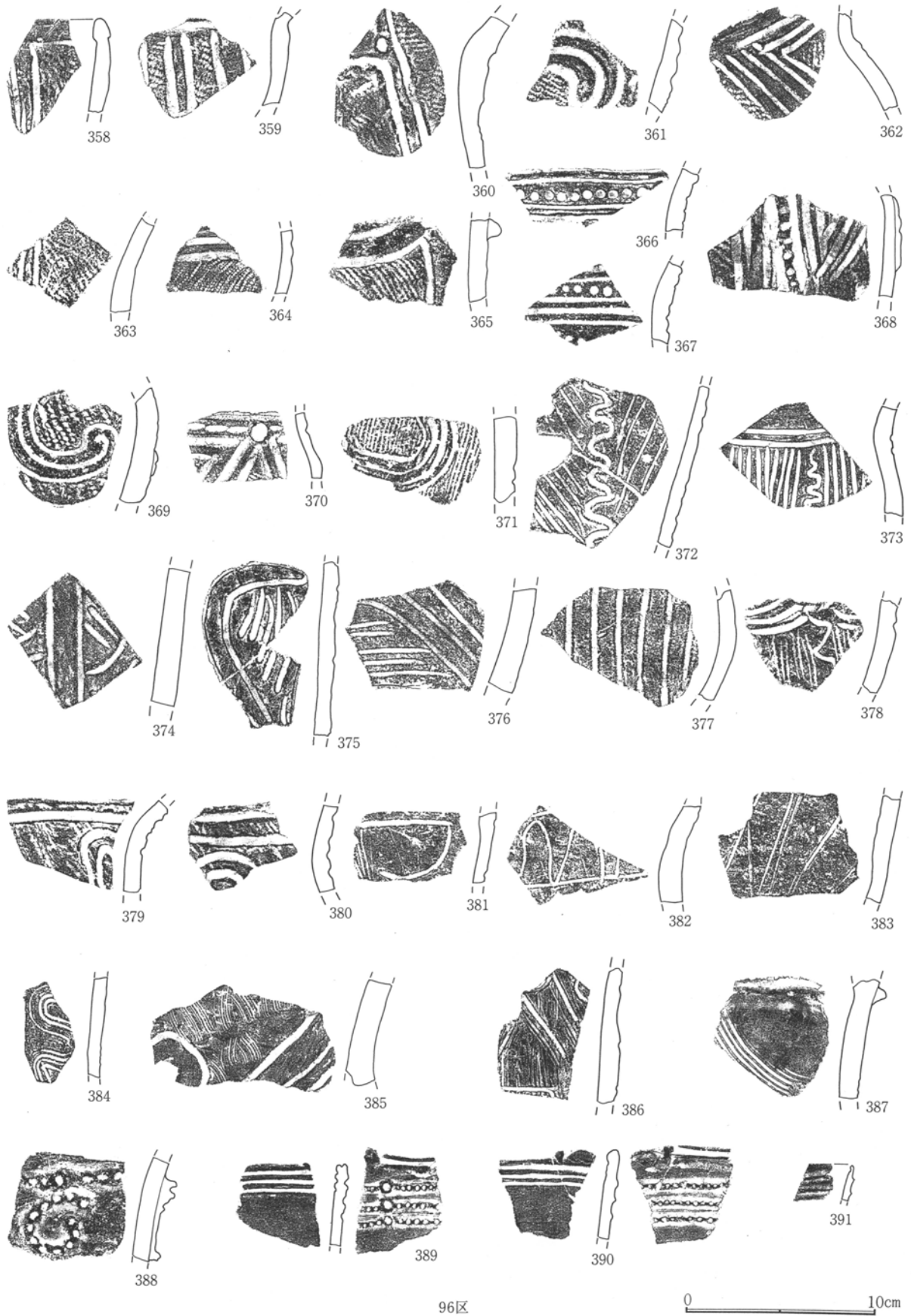
第223図 遺構外出土土器 (64)



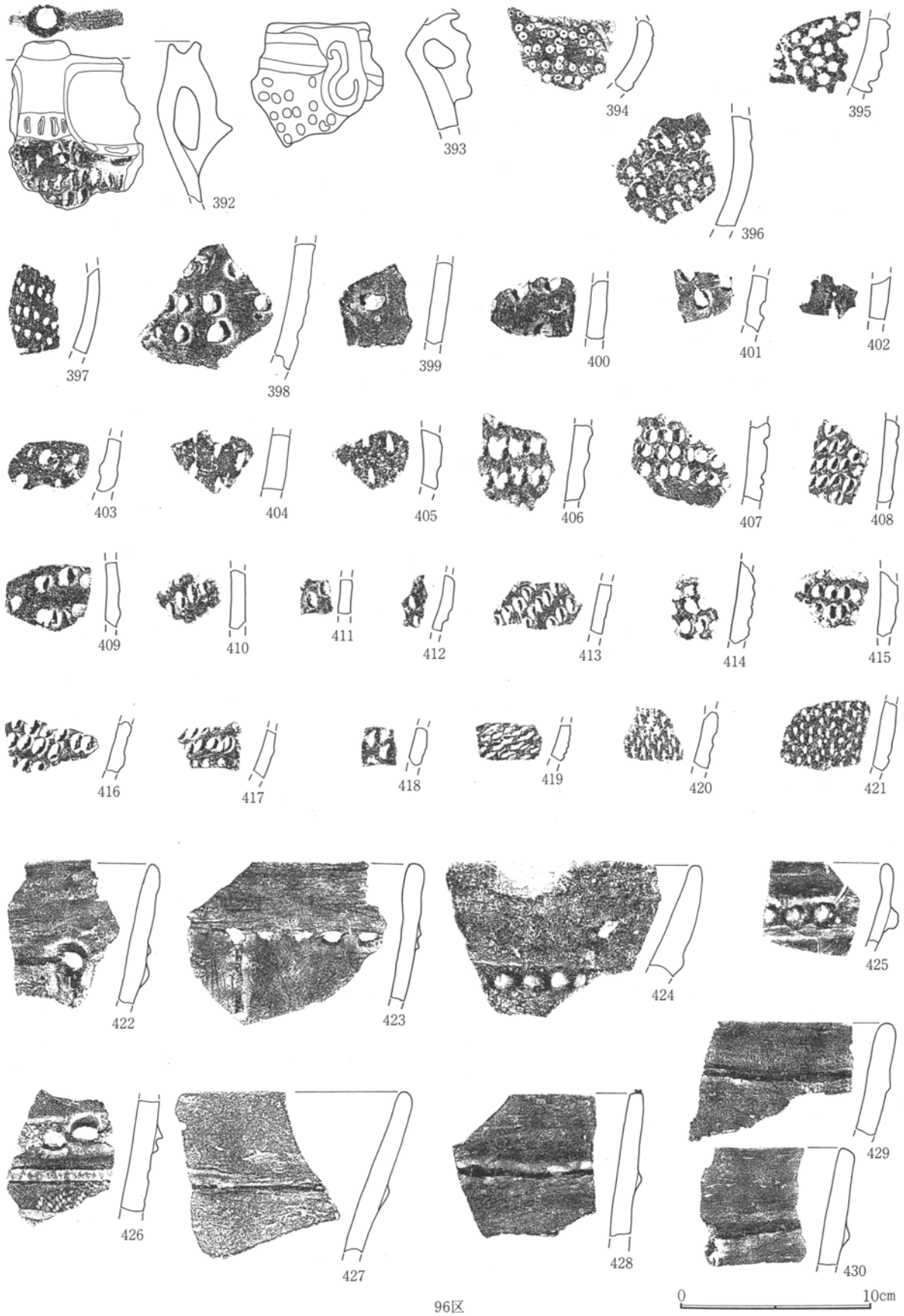
第224図 遺構外出土土器 (65)



第225図 遺構外出土土器 (66)

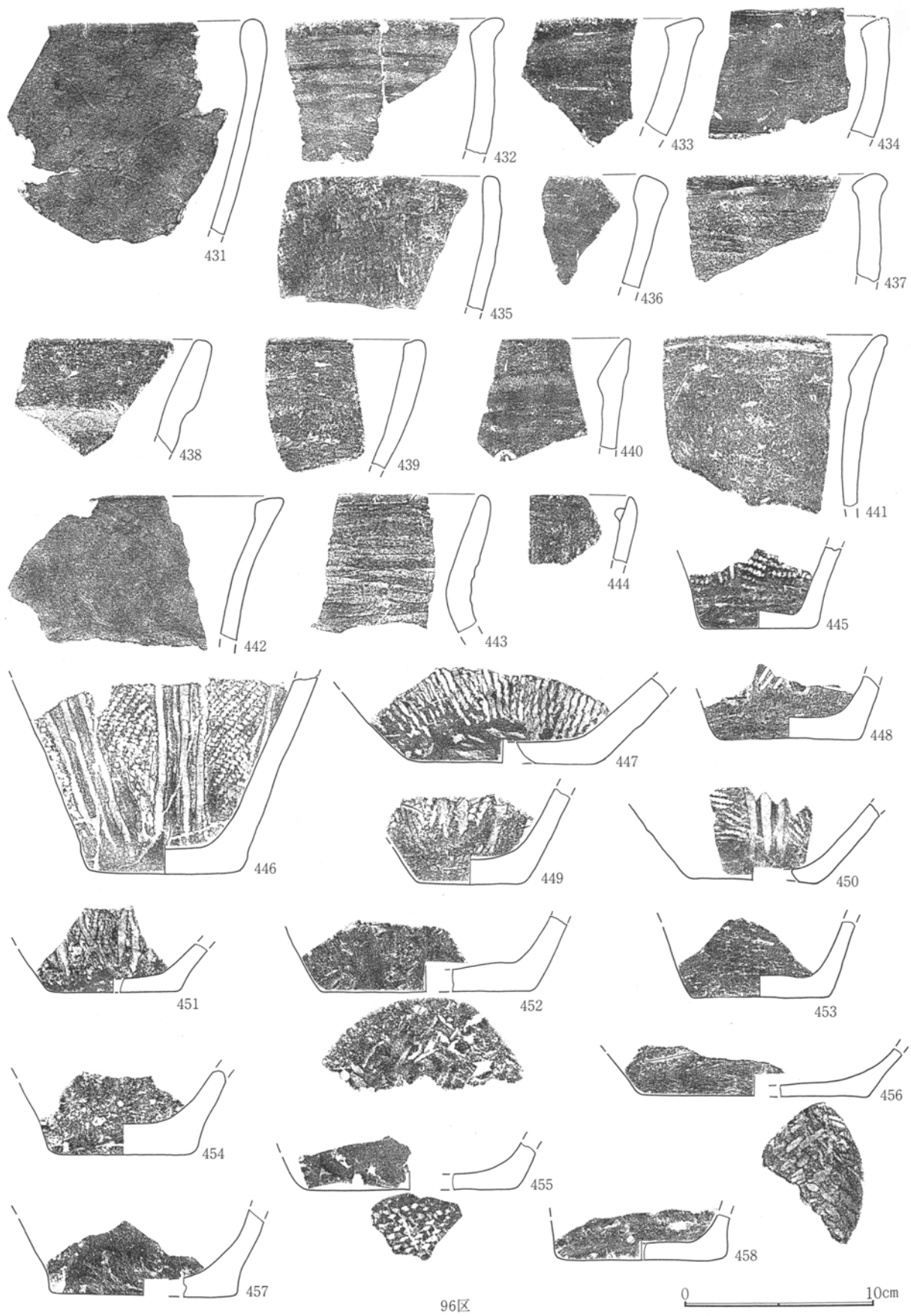


第226図 遺構外出土土器 (67)



第227図 遺構外出土土器 (68)





第228図 遺構外出土土器 (69)





第229図 遺構外出土土器 (70)

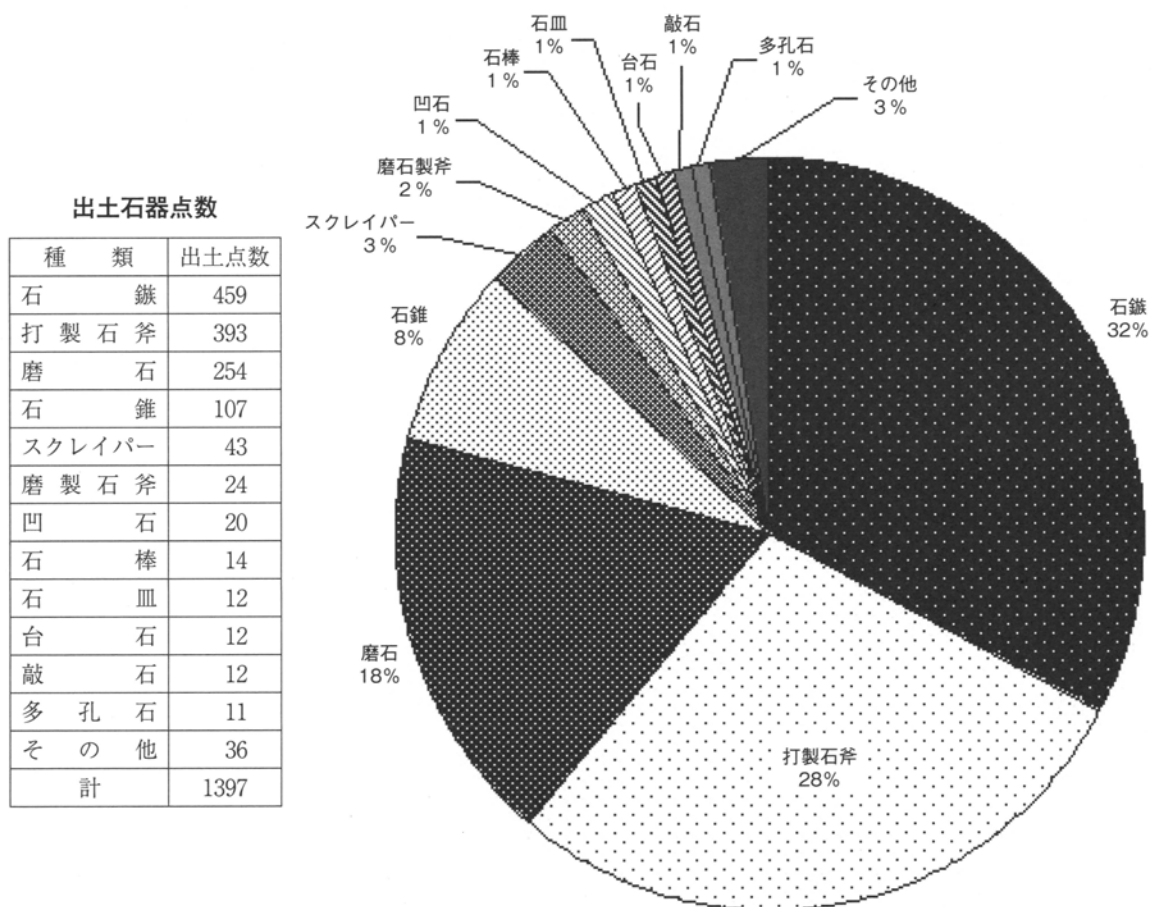
(2) 石器・石製品 (第231～235図・P L 122～144)

長野原一本松遺跡より出土した石器は総数1397点である。このうち住居、土坑等の遺構より出土したものは303点である。器種の内訳を見ると石鏃が最も多く、続いて打製石斧、磨石、石錐の順となる。

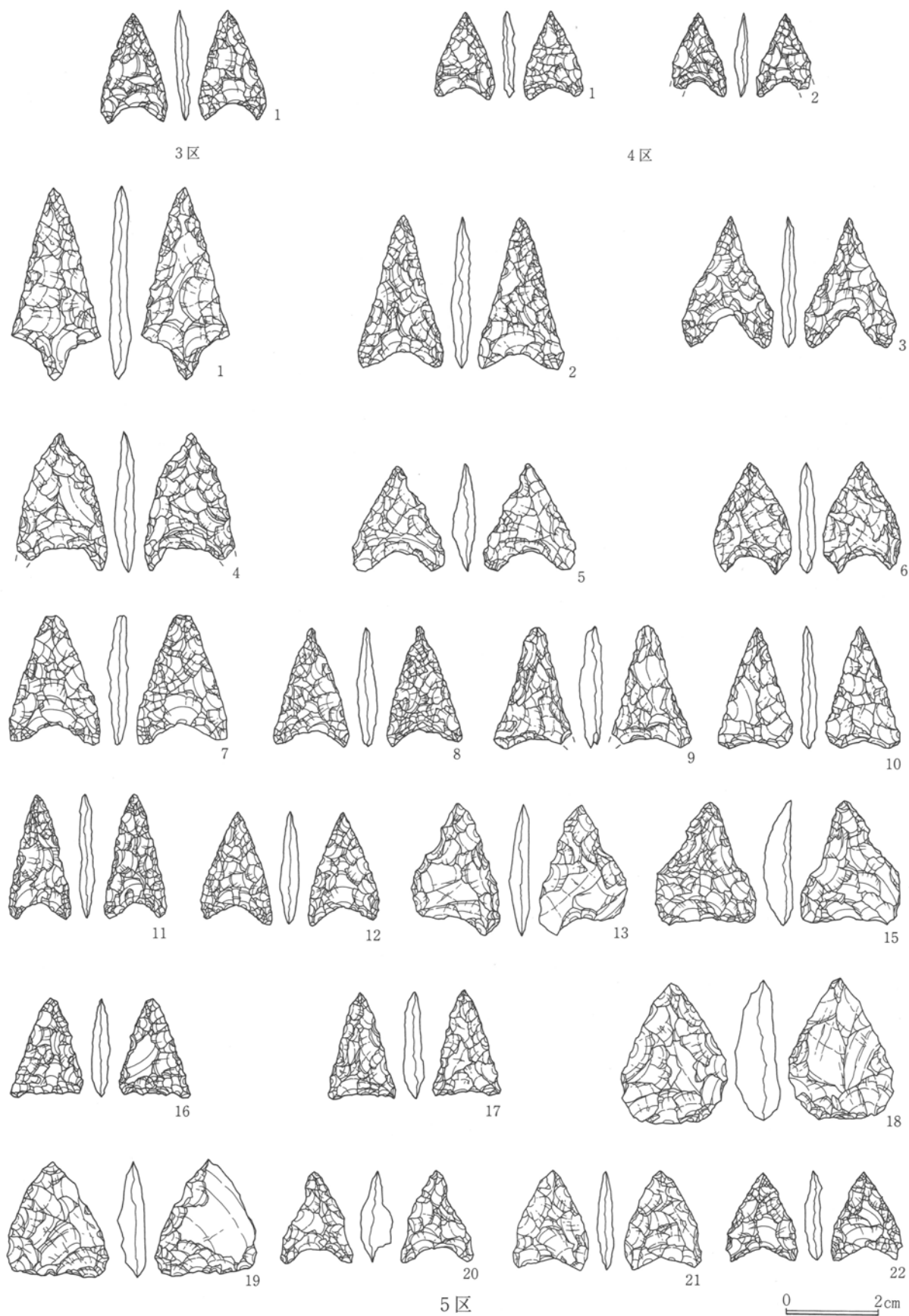
器種別の組成グラフを見ると石鏃および打製石斧で総数の半分以上を占めている。また、磨石も全体の5分の1を占めている点も注目される。さらに、特徴として石錐の多い点も注目される。

遺構外出土の石器については、第5章において主な器種の出土分布図を記載し若干の検討を加えている。

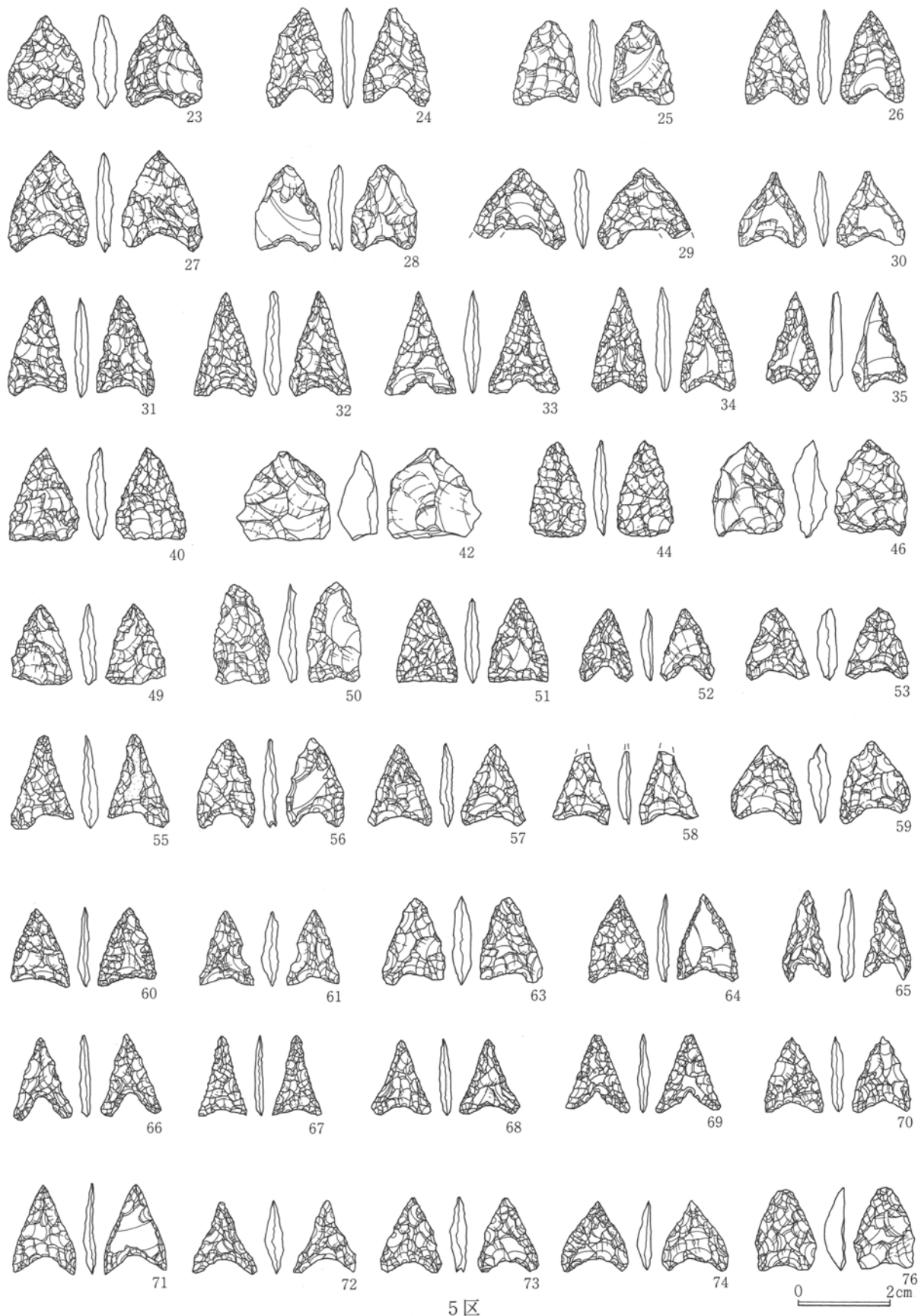
本項では、以下に実測図・一覧表を挙げるが、実測図については石鏃、石錐類のみ図示せざるを得なかったことを了承願いたい。他の石器については、一覧表(表3)および写真図版による記載となる。



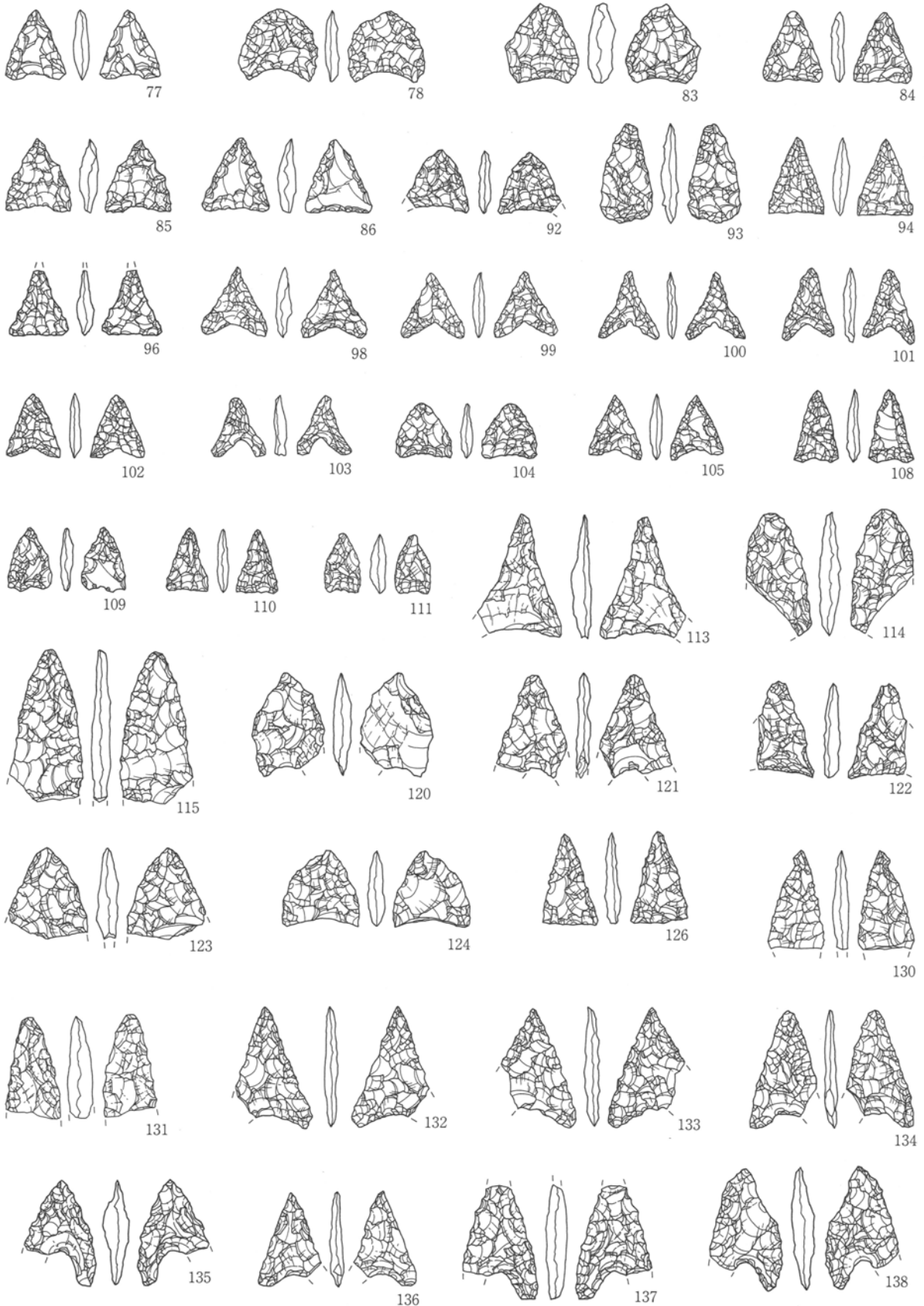
第230図 石器組成グラフ



第231図 遺構外出土石器 (1)



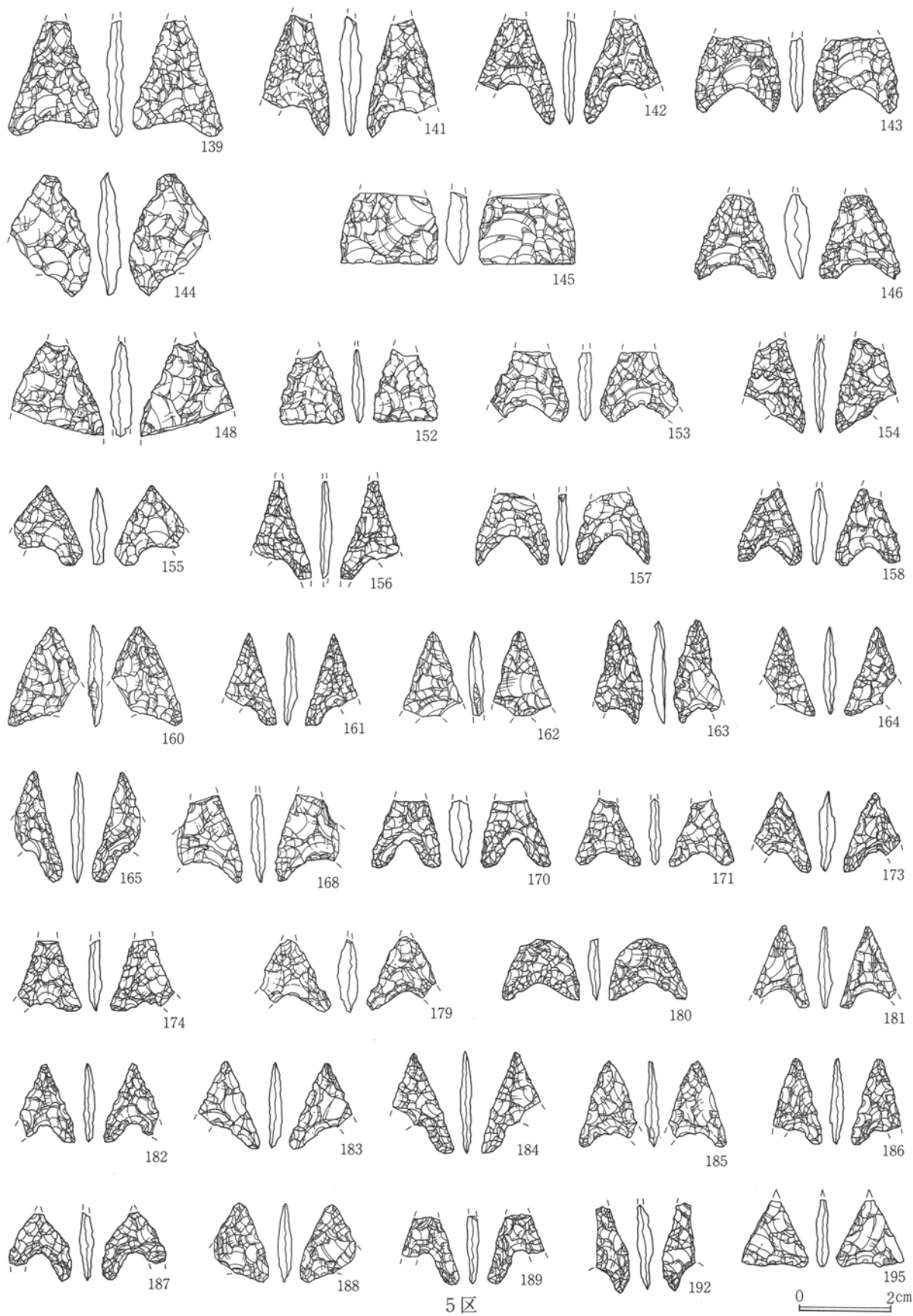
第232図 遺構外出土石器 (2)



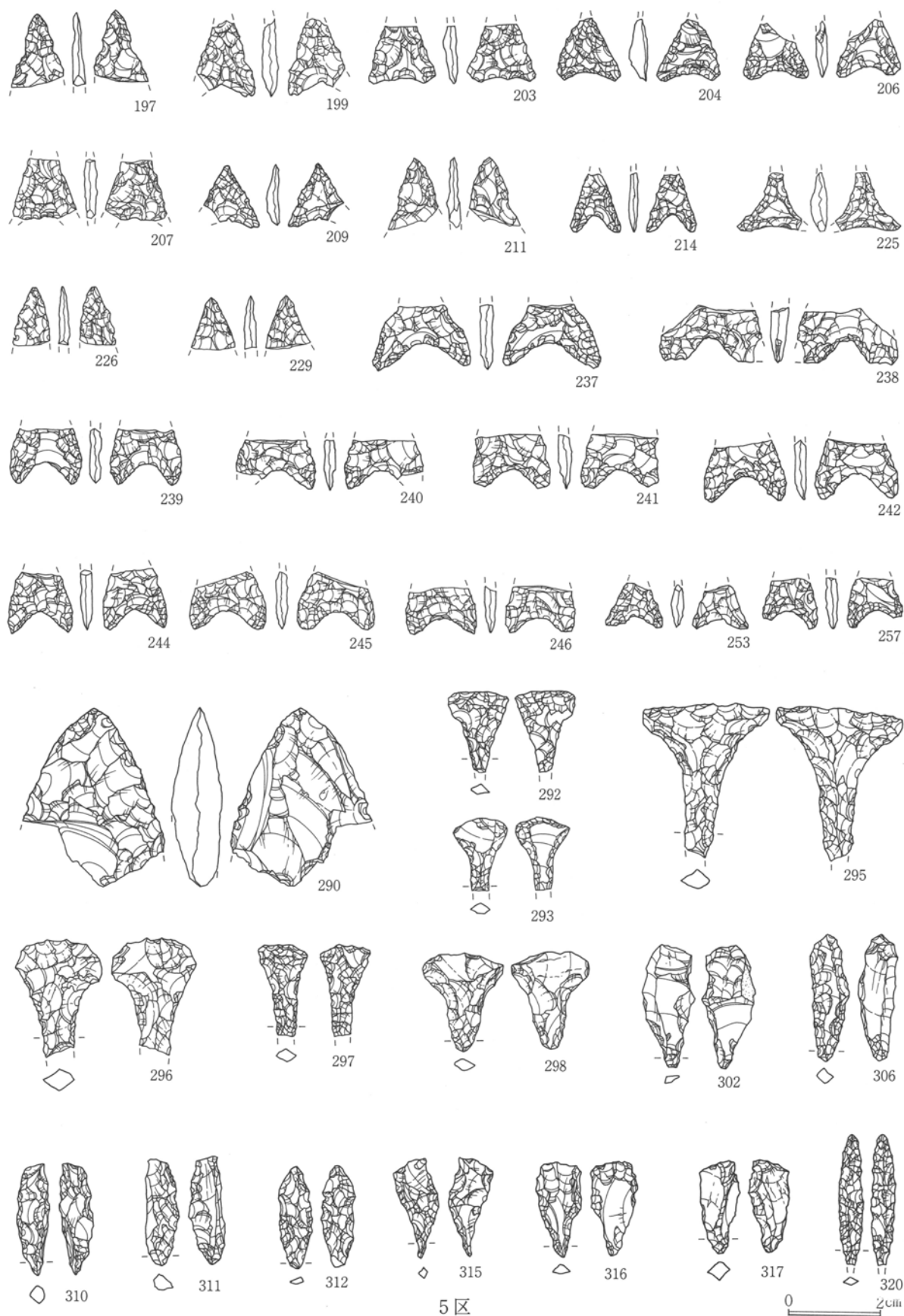
5区

0 2cm

第233図 遺構外出土石器 (3)

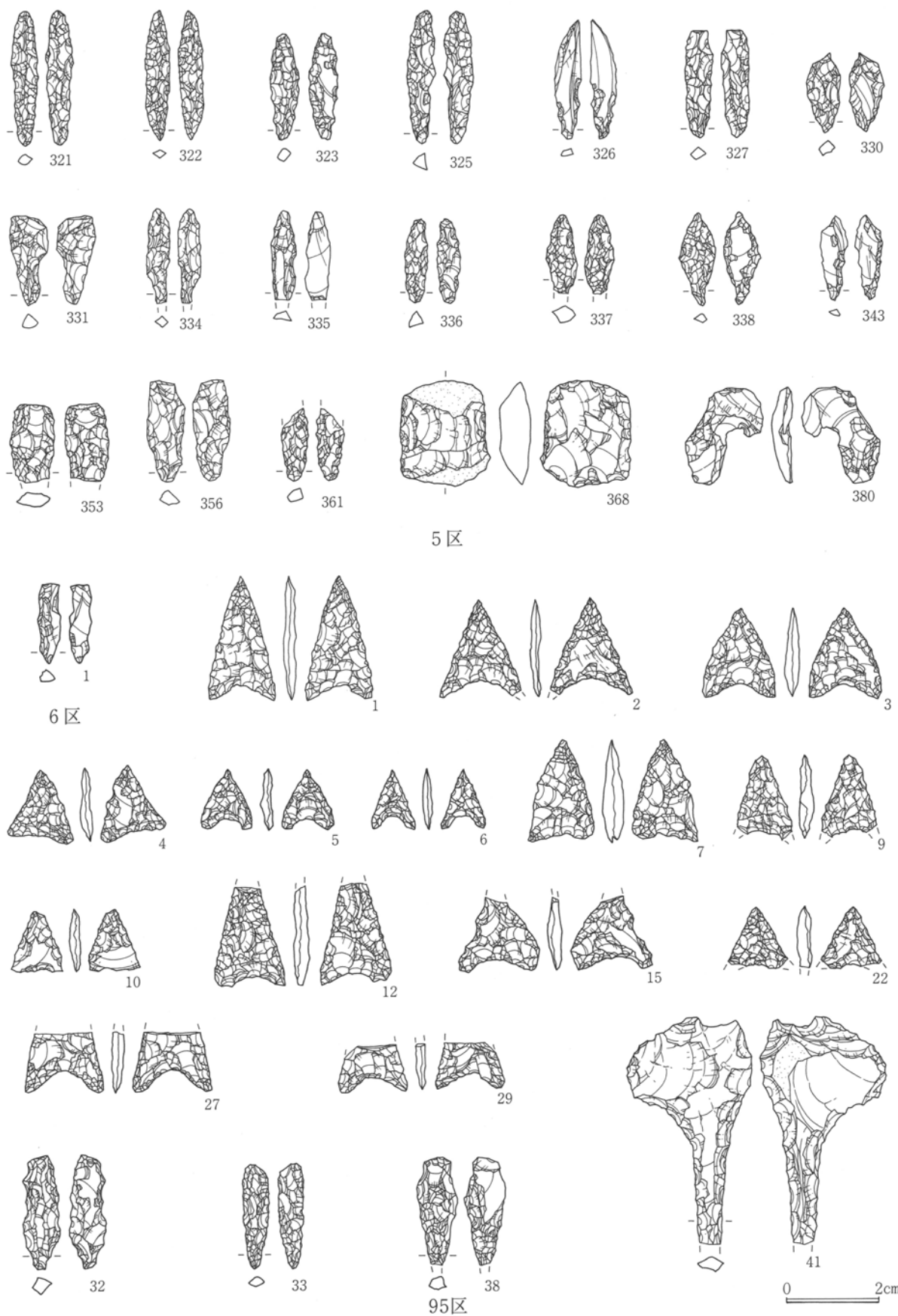


第234図 遺構外出土石器 (4)

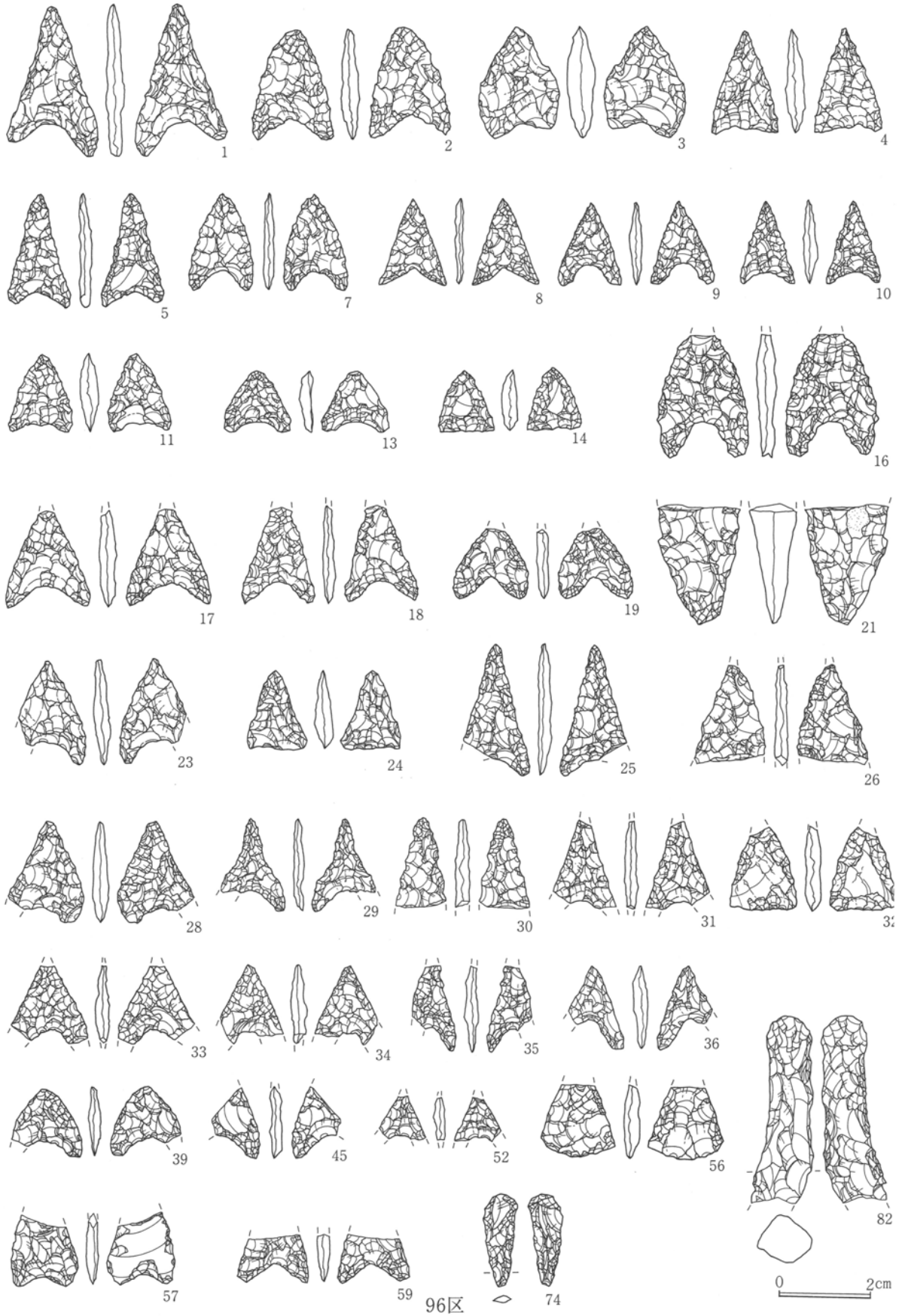


第235図 遺構外出土石器 (5)





第236図 遺構外出土石器 (6)



第237図 遺構外出土石器 (7)

### 第3章 検出された遺構と遺物

表3 出土石器一覧表

図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.	
5-10号住居跡												
第10図-24	石鏃	5	10号住居跡	覆土	先端部欠	(1.9)	1.7	0.4	(0.9)	黒曜石	凹基無茎、両脚端部は尖る、小斑晶含む	PL45
	石鏃	5	10号住居跡	覆土	先端部片	(1.1)	0.8	0.2	(0.2)	黒曜石	石鏃の先端部片、表面に縦方向の稜が見られる	PL45
第11図-26	石錐	5	10号住居跡	床下土塊	錐先端部欠	(2.7)	2.1	0.7	(2.9)	頁岩	基部三角形を呈し、上端部自然面、錐部断面楕円形	PL45
	石錐	5	10号住居跡	覆土	先端部欠	(1.9)	1.5	0.5	(1.4)	黒曜石	基部菱形を呈す、錐部断面扁平で先端部欠	PL45
27	石錐	5	10号住居跡	覆土	基部欠	(1.8)	0.6	0.4	(0.4)	黒曜石	基部を欠く、錐部断面は三角	PL45
29	掻器	5	10号住居跡	覆土	完形	3.4	2.8	1.1	13	チャート	U字状の剥片縁部分に急角度の刃部作り出す	PL45
5-19号住居跡												
第13図-7	石鏃	5	19号住居跡	No.59	ほぼ完形	2.0	1.5	0.4	0.7	黒曜石	凹基無茎、先端部、片脚端部をわずかに欠く	PL45
	スクレイパー	5	19号住居跡	No.10	完形	8.9	5.8	2.4	100	黒色安山岩	三角形剥片利用、刃部やや弧状	PL45
9	磨製石斧	5	19号住居跡	No.33	刃部片	(6.2)	6.2	3.3	(204)	蛇紋岩	蛤刃状、刃部敲打痕、破損後再使用か	PL45
10	石皿	5	19号住居跡	No.71	完形	18.4	15.3	10.3	4040	細粒輝石安山岩	不定形礫利用、使用面やや凹む	PL45
11	石棒	5	19号住居跡	No.38	ほぼ完形	17.5	14.5	12.9	3890	粗粒輝石安山岩	先端部は段を持ち円形に突出、敲打痕	PL46
5-20号住居跡												
第16図-17	石鏃	5	20号住居跡	No.38	完形	2.0	1.3	0.5	0.8	黒曜石	凹基無茎、精緻な作り、厚みあり	PL46
	打製石斧	5	20号住居跡	No.52	ほぼ完形	8.7	5.1	1.4	80	細粒輝石安山岩	撥形、やや薄型で刃部摩耗	PL46
19	磨製石斧	5	20号住居跡	覆土	一部欠損	(7.6)	3.8	1.2	(63)	蛇紋岩	定角式、刃部広がる	PL46
20	磨石	5	20号住居跡	覆土	完形	6.2	4.6	3.5	143	粗粒輝石安山岩	小形円礫利用、被熱	PL46
21	磨石	5	20号住居跡	No.47	完形	13.0	6.4	4.6	489	粗粒輝石安山岩	長円礫利用	PL46
22	石棒	5	20号住居跡	No.29	欠損品	(9.0)	(9.1)	4.5	(503)	結晶片岩(緑泥片岩)	大形石棒、被熱	PL46
5-21号住居跡												
第18図-12	石鏃	5	21号住居跡	覆土	完形	1.5	1.5	0.2	0.4	黒曜石	凹基無茎、小形品	PL47
	石錐	5	21号住居跡	覆土	錐部欠	(2.1)	2.3	0.9	(3.9)	碧玉	基部三角で厚みあり、錐部断面菱形	PL47
14	凹石	5	21号住居跡	No.35	完形	13.1	7.9	3.3	476	粗粒輝石安山岩	小判形で両面に一対つづの凹み穴	PL47
第19図-15	凹石	5	21号住居跡	No.35	完形	10.0	8.8	5.0	610	粗粒輝石安山岩	両面使用、浅い凹みあり	PL47
	磨石	5	21号住居跡	No.80	完形	8.2	6.0	4.2	312	粗粒輝石安山岩	小振りの礫利用、両面使用	PL47
17	磨石	5	21号住居跡	No.75	欠損品	(9.2)	7.5	5.4	(467)	粗粒輝石安山岩	肉厚の礫、両面に使用面、敲打痕	PL47
18	敲石	5	21号住居跡	No.61	完形	14.1	6.3	4.4	616	粗粒輝石安山岩	棒状礫利用、端部に敲打痕	PL47
19	石皿	5	21号住居跡	No.67	完形	30.8	21.8	5.6	5080	粗粒輝石安山岩	使用面足形を呈す、裏面に凹み穴	PL47
20	石棒	5	21号住居跡	No.46	欠損品	(10.4)	(8.1)	3.2	(342)	緑色片岩	大形石棒、被熱	PL47
21	石棒	5	21号住居跡	No.30	欠損品	(9.2)	(7.5)	4.6	(390)	緑色片岩	大形石棒、被熱	PL47
5-22号住居跡												
第21図-19	石鏃	5	22号住居跡	覆土	完形	1.9	1.4	0.4	0.7	黒曜石	凹基無茎、やや縦長で表面滑らか	PL48
	石鏃	5	22号住居跡	覆土	完形	1.9	1.4	0.3	0.6	黒曜石	凹基無茎、精緻な作り	PL48
21	石鏃	5	22号住居跡	覆土	脚部欠損	(2.2)	1.3	0.3	0.7	黒色安山岩	凹基無茎、片脚欠損	PL48
22	石鏃	5	22号住居跡	覆土	欠損品	(1.5)	(1.0)	0.2	0.3	黒曜石	片側の半分を欠損	PL48
23	打製石斧	5	22号住居跡	No.136	完形	10.7	5.0	1.8	95	黒色頁岩	撥形で、刃部の一部を欠く	PL48
24	打製石斧	5	22号住居跡	No.85	基部欠損	(7.3)	5.1	1.8	(75)	細粒輝石安山岩	撥形、側縁がわずかに折れる	PL48
25	スクレイパー	5	22号住居跡	No.41	完形	6.8	5.4	1.0	46	黒色頁岩	半円状のスクレイパー、下縁部に弧状の刃部作出	PL48
第22図-26	磨石	5	22号住居跡	No.4	完形	10.9	8.3	4.1	542	粗粒輝石安山岩	扁平礫、両面摩耗顕著で敲打痕あり	PL48
	磨石	5	22号住居跡	No.92	完形	10.6	8.6	6.9	863	石英閃緑岩	円礫利用、使用痕あり	PL48
28	磨石	5	22号住居跡	No.86	欠損品	(5.3)	(7.3)	(2.2)	(113)	粗粒輝石安山岩	表面摩耗顕著、被熱	PL48
29	磨石	5	22号住居跡	No.87	欠損品	(9.3)	9.8	4.5	(373)	粗粒輝石安山岩	両面に浅い凹み、被熱著しい	PL48
30	丸石	5	22号住居跡	No.212	完形	12.3	11.5	11.1	1400	粗粒輝石安山岩	球に近い円礫、表面は平滑、火を受けている	PL48
31	台石	5	22号住居跡	炉No.5	ほぼ完形	25.8	29.9	6.1	(5700)	粗粒輝石安山岩	板状礫、両面使用、被熱	PL48
32	台石	5	22号住居跡	炉No.2	欠損品	30.0	15.0	8.1	(6850)	粗粒輝石安山岩	使用面平滑	PL48
5-23号住居跡												
第24図-10	磨石	5	23号住居跡	No.11	完形	12.8	9.4	7.3	1277	粗粒輝石安山岩	不定形な円礫、両面使用	PL49
	磨石	5	23号住居跡	No.156	完形	9.1	8.0	5.2	520	粗粒輝石安山岩	やや扁平な礫を利用	PL49
5-24号住居跡												
第26図-6	打製石斧	5	24号住居跡	炉	基部欠損	(11.2)	4.7	2.3	(173)	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部やや細く、先端部摩耗	PL49
	打製石斧	5	24号住居跡	覆土	完形	8.5	5.1	2.5	135	細粒輝石安山岩	撥形、小形でやや肉厚	PL49
8	磨石	5	24号住居跡	炉No.11	完形	14.5	7.3	4.5	794	粗粒輝石安山岩	片面使用、敲打痕あり	PL49
9	磨石	5	24号住居跡	炉No.5	完形	13.9	8.6	4.1	729	粗粒輝石安山岩	扁平な楕円礫、両面使用	PL49
5-25号住居跡												
第29図-15	石鏃	5	25号住居跡	覆土	完形	2.0	1.5	0.4	1.1	黒曜石	凹基無茎、挟りはやや浅い	PL50
	石錐	5	25号住居跡	炉	完形	2.0	0.5	0.2	0.3	黒曜石	小形棒状を呈す、錐部断面はやや扁平	PL50
第30図-17	打製石斧	5	25号住居跡	No.4	基部欠損	(5.8)	6.3	1.6	(74)	細粒輝石安山岩	撥形か、刃部厚く摩耗見られる	PL50
	打製石斧	5	25号住居跡	覆土	基・刃部欠損	(4.2)	4.4	1.2	(38)	細粒輝石安山岩	板状礫、側縁に刃部を作り出す	PL50
19	打製石斧	5	25号住居跡	覆土	基・刃部欠損	(5.0)	6.5	0.9	(46)	細粒輝石安山岩	板状礫、側縁に刃部を作り出す	PL50
20	スクレイパー	5	25号住居跡	覆土	ほぼ完形	6.9	5.3	1.3	55	黒色安山岩	打製石斧基部の可能性あり	PL50
21	スクレイパー	5	25号住居跡	No.13	完形	11.5	7.5	1.8	166	細粒輝石安山岩	縦長の剥片で、刃部調整少ない	PL50
5-26号住居跡												
第33図-13	石鏃	5	26号住居跡	覆土	先端部欠	(1.1)	1.6	0.4	(0.5)	黒曜石	平基無茎、三角形を呈す、先端部片脚を欠く	PL51
	スクレイパー	5	26号住居跡	周溝	破片	(3.2)	3.0	1.0	(9)	黒色安山岩	断面三角の破片、片縁に刃部	PL51
15	打製石斧	5	26号住居跡	覆土	完形	8.4	5.9	1.6	117	細粒輝石安山岩	撥形か、小形で片側縁に挟りあり	PL51
16	磨石	5	26号住居跡	No.15	完形	15.0	6.7	4.0	737	粗粒輝石安山岩	棒状で扁平な礫利用、使用面平滑	PL51
17	磨石	5	26号住居跡	No.4	完形	6.3	5.7	4.2	211	粗粒輝石安山岩	やや扁平な小形円礫、両面使用	PL51
18	磨石	5	19号住居跡	No.62	完形	12.8	10.4	5.2	993	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫利用、両面使用	PL51
19	台石	5	19号住居跡	No.54	欠損品	(12.5)	(12.4)	10.4	2530	細粒輝石安山岩	角部分の破損品で、両面使用、使用面平滑	PL51
5-30号住居跡												
第40図-52	石鏃	5	30号住居跡	覆土	完形	2.1	1.8	0.4	1.0	黒色安山岩	凹基無茎、脚の長さは非対称、表面やや風化	PL53
	石鏃	5	30号住居跡	覆土	欠損品	2.2	1.5	0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅く幅が広い、脚が短い	PL53
54	石鏃	5	30号住居跡	覆土	完形	1.8	1.6	0.3	0.7	黒曜石	平基無茎、三角形を呈す、表面片側に自然面	PL53
55	石鏃	5	30号住居跡	覆土	ほぼ完形	1.2	1.0	0.2	0.2	黒曜石	平基無茎、三角形を呈す小形品	PL53
56	石鏃	5	30号住居跡	覆土	欠損品	2.2	(1.3)	0.2	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く、挟りは深く作りは丁寧	PL53
57	石鏃	5	30号住居跡	覆土	欠損品	2.1	(1.3)	0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く挟り浅く、脚は短め	PL53
58	石匙	5	30号住居跡	覆土	完形	1.7	1.6	0.4	0.6	黒曜石	ミニチュアの石匙、三角形で小さなつまみ部を持つ	PL53
59	石鏃	5	30号住居跡	覆土	欠損品	(1.5)	(1.6)	0.3	(0.5)	黒曜石	先端部を大きく欠く、石鏃の可能性もあり	PL53
60	石鏃	5	30号住居跡	覆土	欠損品	1.8	(1.2)	0.2	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く、挟りは深い	PL53
61	石鏃	5	30号住居跡	覆土	欠損品	1.9	(1.2)	0.4	(0.7)	黒曜石	片脚を欠く、大きさの割に厚みあり	PL53
第40図-62	石鏃	5	30号住居跡	覆土	ほぼ完形	2.4	2.1	0.6	2.5	黒曜石	凸基無茎、基部に大きい斑晶あり	PL53
	石鏃	5	30号住居跡	ビット3	欠損品	2.0	(1.2)	0.3	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く	PL53
64	石鏃	5	30号住居跡	覆土	欠損品	(1.0)	1.9	0.2	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、薄手の作り	PL53
65	石錐	5	30号住居跡	覆土	完形	2.7	0.6	0.6	0.9	黒曜石	断面三角の棒状、錐部の調整は粗い	PL53
66	石錐	5	30号住居跡	覆土	欠損品	(2.5)	0.7	0.4	(0.6)	黒曜石	基部を欠いている	PL53
67	石錐	5	30号住居跡	覆土	完形	3.7	0.8	0.5	1.2	黒曜石	棒状、中央部がやや太く両端が細く作られる	PL53

### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・高さ(cm)	重量(g)	石材	特徴	PLNo.
第40図-68	打製石斧	5	30号住居跡	覆土	完形	11.4	6.0 2.4	211	細粒輝石安山岩	撥形、両側縁上部やや抉れ、刃部摩耗	PL53
69	打製石斧	5	30号住居跡	覆土	ほぼ完形	11.2	4.6 1.3	87	細粒輝石安山岩	撥形、刃部の摩耗顕著	PL53
70	打製石斧	5	30号住居跡	覆土	完形	8.8	4.9 1.4	97	黒色安山岩	短冊形、側縁、刃部は直線的	PL53
第41図-71	打製石斧	5	30号住居跡	覆土	完形	13.0	5.4 1.8	151	黒色頁岩	撥形、中央部やや細くなる、刃部摩耗	PL53
72	打製石斧	5	30号住居跡	覆土	刃部欠損	12.0	4.9 1.6	(79)	黒色頁岩	撥形、刃部半分を欠く、使用痕顕著	PL53
73	打製石斧	5	30号住居跡	覆土	刃部片	(4.4)	(4.4) 1.2	(29)	細粒輝石安山岩	表面の摩耗顕著	PL53
74	磨石	5	30号住居跡	覆土	完形	7.5	6.9 5.1	576	粗粒輝石安山岩	円礫利用、両面使用、側縁に打痕あり	PL53
75	磨石	5	30号住居跡	覆土	完形	7.3	6.8 6.0	414	粗粒輝石安山岩	円礫、両面使用、側縁に打痕あり、被熱	PL53
76	磨石	5	30号住居跡	覆土	完形	9.0	8.9 8.9	976	粗粒輝石安山岩	おむすび形、下面使用面、上端敲打痕	PL53
77	磨石	5	30号住居跡	埋藏1	完形	12.4	8.2 4.2	633	粗粒輝石安山岩	扁平礫利用、両面使用	PL53
78	磨石	5	30号住居跡	覆土	完形	9.2	6.4 5.0	358	凝灰岩	卵形の礫利用、表裏、側面に打痕	PL53
79	磨石	5	30号住居跡	覆土	完形	10.7	10.1 3.3	579	凝灰岩	扁平な礫利用、両面使用	PL53
80	磨石	5	30号住居跡	覆土	完形	7.3	5.6 3.4	192	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫、両面使用	PL54
81	磨石	5	30号住居跡	覆土	完形	4.6	3.9 3.4	81	粗粒輝石安山岩	小形の円礫	PL54
82	敲石	5	30号住居跡	覆土	完形	13.2	8.0 5.9	910	石英閃緑岩	楕円礫、両面に敲打痕	PL54
第42図-83	磨石	5	30号住居跡	覆土	欠損品	(11.0)	7.9 4.2	(542)	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、端部に敲打痕	PL54
84	石棒	5	30号住居跡	覆土	欠損品	(10.5)	(8.1) (6.5)	(869)	結晶片岩	大形石棒、被熱	PL54
85	軽石製品	5	30号住居跡	覆土	完形	8.8	4.6 1.6	39	軽石(安山質)	長方形に整形、上部に穴を持つ	PL54
<b>5-31号住居跡</b>											
第46図-48	石鏃	5	31号住居跡	覆土	欠損品	(1.7)	(1.3) 0.4	(0.7)	黒曜石	基部を欠く	PL55
49	石鏃	5	31号住居跡	覆土	欠損品	(1.8)	1.2 0.6	(1.3)	黒曜石	石鏃先端部と思われるが、石鏃基部の可能性も	PL55
50	磨製石斧	5	31号住居跡	覆土	欠損品	(4.0)	5.1 2.1	(65)	蛇紋岩	定角式、基部、刃部を欠く、被熱	PL55
51	磨石	5	31号住居跡	覆土	欠損品	(7.7)	8.5 4.4	(391)	粗粒輝石安山岩	両面使用、片面に2カ所以上の凹み穴	PL55
52	磨石	5	31号住居跡	覆土	完形	7.0	3.7 2.5	102	粗粒輝石安山岩	卵形の礫、表面平滑	PL55
第47図-53	丸石	5	31号住居跡	覆土	完形	19.5	17.6 14.3	7200	粗粒輝石安山岩	大形の円礫、表面平滑	PL55
54	磨石	5	31号住居跡	覆土	完形	11.0	5.8 3.0	348	粗粒輝石安山岩	扁平な礫、表面に打痕、被熱	PL55
55	磨石	5	31号住居跡	覆土	完形	11.5	7.6 6.3	745	粗粒輝石安山岩	卵形の礫、両面使用、中央に浅い打痕	PL55
<b>5-33号住居跡</b>											
第49図-11	石鏃	5	33号住居跡	覆土	欠損品	(1.1)	(0.6) 0.2	(0.1)	黒曜石	先端部片、縁辺に細かな剥離調整	PL56
12	打製石斧	5	33号住居跡	覆土	完形	14.0	5.4 1.8	172	細粒輝石安山岩	撥形、刃部徐々に広がる、両面に自然面	PL56
13	磨石	5	33号住居跡	覆土	欠損品	10.4	(6.2) 3.6	(285)	粗粒輝石安山岩	小判状礫利用、一面中央に打痕、被熱	PL56
14	磨石	5	33号住居跡	覆土	完形	8.8	6.5 6.2	523	粗粒輝石安山岩	不定形な小礫、両面に打撃による凹み	PL56
15	磨石	5	33号住居跡	覆土	完形	13.5	7.2 4.3	635	粗粒輝石安山岩	不定形な礫、両面使用、端部に打痕	PL56
16	磨石	5	33号住居跡	覆土	完形	10.9	8.0 6.3	849	粗粒輝石安山岩	卵形の礫利用、両面使用、被熱	PL56
17	磨石	5	33号住居跡	覆土	完形	7.7	7.0 6.5	454	粗粒輝石安山岩	円礫利用、部分的な打痕あり	PL56
第50図-18	敲石	5	33号住居跡	覆土	完形	12.5	6.2 2.7	281	粗粒輝石安山岩	なすび状の扁平礫、下端部に打痕	PL56
19	石皿	5	33号住居跡	覆土	欠損品	(14.8)	(11.2) 5.0	(936)	粗粒輝石安山岩	しっかりした縁を持ち、裏面に凹穴	PL56
20	石皿	5	33号住居跡	覆土	欠損品	(14.0)	(15.0) 8.5	(2710)	粗粒輝石安山岩	厚みあり、縁の断面三角、裏面に複数孔	PL56
<b>5-34号住居跡</b>											
第53図-30	石鏃	5	34号住居跡	覆土	完形	2.5	1.6 0.3	0.8	黒曜石	凹基無茎、挟りは深い、作りは丁寧	PL57
31	打製石斧	5	34号住居跡	覆土	欠損品	(4.7)	(4.5) 1.1	(27)	頁岩	刃部片、刃縁部に一部自然面残す	PL57
32	スクレイパー	5	34号住居跡	覆土	ほぼ完形	8.8	6.0 1.2	75	黒色安山岩	木の葉状を呈す、片側縁に刃部作り出し	PL57
33	凹石	5	34号住居跡	覆土	一部欠損	(9.6)	5.5 2.8	(177)	粗粒輝石安山岩	小判形礫、片面に凹穴、被熱による劣化顕著	PL57
第54図-34	凹石	5	34号住居跡	覆土	完形	9.5	8.4 5.3	532	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫、両面に凹み、使用面	PL57
35	磨石	5	34号住居跡	覆土	完形	11.9	9.9 5.1	729	粗粒輝石安山岩	不定形な礫を利用、中央がやや凹む	PL57
36	丸石	5	34号住居跡	覆土	完形	17.8	16.8 14.5	6200	粗粒輝石安山岩	大形円礫、表面平滑で一部摩耗	PL57
37	磨石	5	34号住居跡	覆土	完形	6.6	4.6 3.5	130	デイサイト	卵形の小形礫利用、表裏面使用	PL57
38	磨石	5	34号住居跡	覆土	完形	5.1	4.3 3.1	50	細粒輝石安山岩	小円礫、表面かなり風化	PL57
<b>5-35号住居跡</b>											
第56図-13	石鏃	5	35号住居跡	覆土	欠損品	(0.8)	1.3 0.2	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、小形品、先端部を欠く	PL58
14	石鏃	5	35号住居跡	覆土	欠損品	(1.1)	(0.8) 0.2	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL58
15	石鏃	5	35号住居跡	覆土	欠損品	(1.0)	(0.9) 0.2	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL58
16	石鏃	5	35号住居跡	覆土	欠損品	(1.6)	(1.2) 0.3	(0.5)	黒曜石	先端部、脚部を欠く	PL58
17	石鏃	5	35号住居跡	覆土	完形	2.4	0.6 0.4	0.7	黒曜石	棒状で踵部先端は細く尖る	PL58
第57図-18	打製石斧	5	35号住居跡	覆土	基部欠損	(10.6)	5.9 1.4	(108)	粗粒輝石安山岩	撥形か、板状礫利用、刃部摩耗	PL58
19	打製石斧	5	35号住居跡	覆土	基部欠損	(8.2)	5.5 1.7	(103)	粗粒輝石安山岩	一次剥片利用、表面に大きく自然面	PL58
20	打製石斧	5	35号住居跡	覆土	刃部欠損	7.5	4.9 1.6	(77)	粗粒輝石安山岩	撥形、小形で刃の一部欠損	PL58
21	打製石斧	5	35号住居跡	覆土	完形	10.1	5.5 1.9	133	粗粒輝石安山岩	不定形、表面に自然面残す	PL58
22	磨石	5	35号住居跡	覆土	完形	15.0	9.0 4.6	935	粗粒輝石安山岩	平坦面を磨く面としている	PL58
23	敲石	5	35号住居跡	覆土	完形	17.0	7.1 4.7	795	粗粒輝石安山岩	棒状礫利用、細い方の先端部に打面	PL58
24	磨石	5	35号住居跡	覆土	欠損品	12.5	(9.4) 5.0	(807)	粗粒輝石安山岩	小判状の円礫利用、両面使用、被熱	PL58
<b>5-36号住居跡</b>											
第64図-55	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(1.4)	1.3 0.5	(0.7)	黒曜石	石鏃先端部か	PL60
56	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(1.4)	1.6 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く、挟りは深い	PL60
57	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(0.9)	(0.8) 0.2	(0.1)	黒曜石	先端部片	PL60
58	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(1.7)	(1.1) 0.3	(0.5)	黒曜石	基部及び先端部を欠く	PL60
59	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(1.7)	1.4 0.3	(0.7)	黒曜石	凹基無茎、先端部欠損し、挟りは浅い	PL60
60	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	1.4	1.2 0.3	(0.4)	チャート	凹基無茎、片脚を欠く小形品	PL60
61	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(1.8)	2.0 0.4	(1.5)	黒曜石	凹基無茎、挟り浅く側縁薄く仕上げられる	PL60
62	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(1.6)	1.7 0.3	(0.8)	黒曜石	平基無茎、先端部欠き側縁部分薄く仕上げられる	PL60
63	石鏃	5	36号住居跡	覆土	欠損品	(1.7)	1.3 0.4	(1.3)	黒曜石	平基無茎、先端部欠き側縁は薄く仕上げられる	PL60
64	石鏃	5	36号住居跡	覆土	未製品	1.7	2.0 0.7	1.8	黒曜石	丸みを持った三角形を呈し、厚みあり	PL60
65	打製石斧	5	36号住居跡	覆土	刃部欠損	(13.4)	6.2 2.1	(206)	細粒輝石安山岩	撥形、板状の礫を利用、両面に自然面	PL61
66	打製石斧	5	36号住居跡	覆土	刃部欠損	(7.7)	5.5 1.6	(105)	粗粒輝石安山岩	撥形か、やや反りを持つ	PL61
67	打製石斧	5	36号住居跡	如	刃部欠損	(6.2)	3.8 1.1	(42)	粗粒輝石安山岩	撥形か、板状礫利用、側縁刃潰し	PL61
68	打製石斧	5	36号住居跡	覆土	刃部欠損	(8.4)	5.5 2.2	(140)	粗粒輝石安山岩	撥形か、両面縦方向に稜を残す	PL61
69	磨製石斧	5	36号住居跡	ピナ39	完形	13.4	5.3 2.5	313	蛇紋岩	定角式、側縁の渡は甘い、円刃	PL61
70	スクレイパー	5	36号住居跡	覆土	完形	6.6	5.1 1.2	51	頁岩	台形状剥片、直刃、両面からの調整	PL61
第64図-71	スクレイパー	5	36号住居跡	覆土	ほぼ完形	6.1	4.4 0.9	29	黒色頁岩	円形刃部、刃部の調整は粗い	PL61
72	磨石	5	36号住居跡	覆土	完形	7.2	5.2 3.1	156	石英閃緑岩	小判形の小礫利用	PL61
73	磨石	5	36号住居跡	覆土	完形	6.4	4.5 3.7	154	粗粒輝石安山岩	卵形の小礫利用、一面に顕著な使用面	PL61
第65図-74	台石	5	36号住居跡	覆土	完形	27.1	20.9 10.0	9000	石英閃緑岩	表面やや凹み平滑、石皿として使用か	PL61
75	石皿	5	36号住居跡	覆土	破損品	(15.5)	(17.9) 4.8	(1754)	粗粒輝石安山岩	使用面は中段を持ち中央部分大きく窪む	PL61
<b>5-37号住居跡</b>											
第68図-12	石鏃	5	37号住居跡	ビット4	完形	2.8	1.7 0.3	1.2	黒色安山岩	凹基無茎、側縁部ややふくらみ、丁寧な作り	PL61
13	打製石斧	5	37号住居跡	覆土	完形	11.3	4.1 1.5	96	黒色頁岩	撥形、基部が尖り、刃部を薄く仕上げる	PL61
14	スクレイパー	5	37号住居跡	覆土	完形	10.2	6.0 1.6	114	軽質頁岩	やや扁平なハート形石片を利用、上部肉厚	PL61
第69図-15	磨石	5	37号住居跡	覆土	完形	13.8	10.6 6.3	1502	粗粒輝石安山岩	両面および側縁、端部に使用痕	PL61

### 第3章 検出された遺構と遺物

図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
<b>5-38号住居跡</b>										
第73図-11	石鏃	5	38号住居跡	覆土	欠損品	2.4 (1.2) 0.5	(1.3)	黒曜石	凹基無形、片脚を欠くやや厚みを持つ	PL62
12	石鏃	5	38号住居跡	覆土	完形	1.6 1.4 0.3	0.5	黒曜石	凹基無形、小形品やや反りを持つ	PL62
13	石鏃	5	38号住居跡	覆土	ほぼ完形	2.4 1.5 0.6	1.7	黒曜石	凸基無茎、基部は丸みを持つ	PL62
14	打製石斧	5	38号住居跡	覆土	欠損品	(5.7) 5.5 2.0	(91)	細粒輝石安山岩	両面に自然残す板状礫、側縁刃潰し	PL62
15	打製石斧	5	38号住居跡	覆土	刃部欠損	(9.6) 5.7 1.4	(72)	細粒輝石安山岩	撥形、基部薄く細く尖る	PL62
16	磨石	5	38号住居跡	覆土	完形	11.0 8.0 6.5	982	粗粒輝石安山岩	卵形礫利用、一面の使用痕顕著、被熱	PL62
<b>5-39号住居跡</b>										
第79図-87	石鏃	5	39号住居跡	覆土	欠損品	(1.5) 1.9 0.3	(0.7)	黒曜石	凹基無形、先端部を欠く、作りは丁寧	PL66
88	石鏃	5	39号住居跡	覆土	欠損品	(1.7) 1.7 0.3	(0.9)	黒曜石	凹基無形、先端部を欠き扱いは浅い	PL66
89	石鏃	5	39号住居跡	覆土	欠損品	(1.7) (1.7) 0.4	(0.9)	黒曜石	基部を欠く	PL66
90	石鏃	5	39号住居跡	覆土	欠損品	(2.0) (1.1) 0.3	(0.6)	黒曜石	基部を欠く	PL66
91	石鏃	5	39号住居跡	覆土	欠損品	(2.1) 0.7 0.4	(0.6)	黒曜石	棒状、錐部先端を僅かに欠く	PL66
92	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	完形	12.2 4.3 1.8	104	細粒輝石安山岩	短冊形、細身で偏刃、刃部摩耗	PL66
93	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	完形	12.0 4.4 1.9	131	細粒輝石安山岩	短冊形、裏面中央に自然面、刃部摩耗	PL66
第80図-94	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	完形	10.3 3.9 0.9	49	細粒輝石安山岩	短冊形、薄手で表面刃部にかけて自然面	PL66
95	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	完形	10.3 4.6 1.7	113	細粒輝石安山岩	短冊形、両面に自然面、刃部摩耗	PL66
96	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	完形	10.3 4.8 2.0	148	粗粒輝石安山岩	短冊形、やや厚手で刃部摩耗	PL66
97	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	完形	10.8 4.3 1.6	100	細粒輝石安山岩	短冊形、両面に自然面、刃部摩耗	PL66
98	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	刃部欠損	(9.4) 4.7 1.7	(92)	細粒輝石安山岩	撥形、表面に自然面残る、片側縁に刃潰し	PL66
99	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	ほぼ完形	10.0 5.8 2.3	141	細粒輝石安山岩	短冊型、刃の一部を欠損、刃部の摩耗顕著	PL66
100	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	刃部欠損	(9.5) 5.0 2.0	(109)	黒色安山岩	撥形、表裏に自然面、両側縁に刃潰しあり	PL66
101	打製石斧	5	39号住居跡	ビット10	ほぼ完形	11.0 5.3 1.4	104	黒色安山岩	撥形、やや薄手の作り、刃部摩耗	PL66
102	打製石斧	5	39号住居跡	ビット5	ほぼ完形	10.5 6.5 1.6	152	黒色安山岩	撥形、板状で刃部幅あり、側縁に小さく抉り	PL66
103	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	刃部欠損	(8.7) 4.5 2.7	(127)	細粒輝石安山岩	撥形か、肉厚で側縁に柄の装着による摩滅	PL66
104	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	基部欠損	(7.3) (3.0) 1.2	(44)	黒色安山岩	表面から刃部にかけて自然面、刃部摩耗	PL66
105	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	基部片か	(4.8) 4.3 1.2	(26)	黒色安山岩	撥形の基部と思われる、薄手の作り	PL66
106	打製石斧	5	39号住居跡	覆土	刃部欠損	(6.9) 4.8 1.7	(82)	黒色安山岩	撥形か、刃部に向かって薄手となる	PL66
107	スクレイパー	5	39号住居跡	覆土	完形	12.3 5.1 1.3	106	細粒輝石安山岩	木葉形の一次剥片利用、片側縁に刃部	PL66
108	磨石	5	39号住居跡	覆土	完形	11.7 7.2 3.3	414	石英閃緑岩	扁平な礫利用、両面平滑	PL66
第81図-109	磨石	5	39号住居跡	覆土	完形	22.0 13.8 10.3	4580	粗粒輝石安山岩	大形長円礫、両面摩滅、両端に打痕あり	PL66
110	砥石	5	39号住居跡	覆土	完形	8.3 6.4 5.7	399	石英閃緑岩	半面は使用により自然面剥離、稜多数あり	PL66
111	軽石製品	5	39号住居跡	覆土	ほぼ完形	11.3 6.2 1.4	94	軽石	板状に成形、短辺の片方が開く長方形で上端に穴	PL66
<b>5-43号住居跡</b>										
第87図-9	石鏃	5	43号住居跡	覆土	欠損品	2.0 (1.5) 0.3	(0.6)	黒色頁岩	凹基無茎、片脚を欠く	PL67
<b>6-9号住居跡</b>										
第94図-23	石鏃	6	9号住居跡	覆土	欠損品	(2.5) 1.5 0.3	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、片側縁、脚を欠損	PL67
24	石鏃	6	9号住居跡	覆土	ほぼ完形	1.5 1.0 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品、先端に向かってやや細くなる	PL67
25	石鏃	6	9号住居跡	覆土	欠損品	2.0 (1.7) 0.6	(1.3)	黒曜石	厚みのある三角形の基部を持つ、錐部欠損	PL67
26	石鏃	6	9号住居跡	覆土	ほぼ完形	3.1 1.2 0.6	1.6	黒曜石	棒状で錐部先端を欠く	PL67
27	石鏃	6	9号住居跡	覆土	欠損品	(2.8) (2.6) 0.5	(2.4)	黒曜石	やや大形石鏃か	PL67
28	打製石斧	6	9号住居跡	覆土	完形	12.3 5.2 1.8	159	細粒輝石安山岩	撥形、板状礫利用、刃部摩耗	PL68
29	打製石斧	6	9号住居跡	覆土	基部欠損	(4.8) 4.5 1.2	(39)	細粒輝石安山岩	短冊形か	PL68
30	打製石斧	6	9号住居跡	覆土	基部欠損	(17.0) 6.3 1.1	(86)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、両面に自然面残る	PL68
31	打製石斧	6	9号住居跡	覆土	完形	6.3 4.2 1.5	64	黒色安山岩	横長剥片利用、下縁に刃部作り出す	PL68
32	磨石	6	9号住居跡	覆土	完形	14.0 6.9 4.1	628	デイサイト	両面、側縁を使用、側縁、端部に打痕	PL68
33	磨石	6	9号住居跡	覆土	完形	10.0 7.3 5.0	576	細粒輝石安山岩	卵形の礫利用、両面使用、側縁に打痕	PL68
34	磨石	6	9号住居跡	覆土	完形	13.0 9.6 5.1	1026	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、両面使用、端部に打痕	PL68
35	磨石	6	9号住居跡	覆土	完形	11.8 6.7 5.7	718	石英閃緑岩	長円形の礫利用、片面の使用顕著	PL68
第95図-36	凹石	6	9号住居跡	覆土	完形	16.1 5.5 3.1	404	粗粒輝石安山岩	棒状礫利用、両面に浅い凹み	PL68
37	磨石	6	9号住居跡	覆土	完形	6.5 4.8 4.1	148	流紋岩	卵形礫利用、表面平滑	PL68
38	磨石	6	9号住居跡	覆土	完形	13.0 6.3 3.6	474	粗粒輝石安山岩	扁平な長円礫利用、両面使用	PL68
39	磨石	6	9号住居跡	覆土	完形	26.4 11.1 10.9	5240	粗粒輝石安山岩	棒状の大形礫、表面平滑、端部に打痕	PL68
40	石棒	6	9号住居跡	覆土	破損品	(15.0) (10.0) 5.8	(1104)	結晶片岩(緑泥片岩)	大形品、一部に自然面残す、被熱	PL68
<b>96-1号埋嚢</b>										
第99図-3	磨石	96	1号埋嚢	覆土	ほぼ完形	12.6 5.7 3.2	272	粗粒輝石安山岩	棒状礫、被熱によるひび割れ顕著	PL69
<b>5-4号炉</b>										
第101図-2	凹石	5	4号炉	覆土	完形	16.7 9.5 3.3	579	溶結凝灰岩	扁平礫、両面に1対づつの凹み穴	PL69
<b>5-2号配石</b>										
第102図-1	磨石	5	2号配石	覆土	完形	14.1 9.0 5.8	1088	粗粒輝石安山岩	長円礫利用、平らな面を使用面、被熱	
2	凹石	5	2号配石	覆土	完形	13.5 7.4 3.3	458	粗粒輝石安山岩	小判形、両面、側縁磨面、凹み穴表裏複数	
3	磨石	5	2号配石	覆土	完形	11.9 7.4 4.6	627	石英閃緑岩	長円礫利用、平らな面を使用面、打痕あり	
4	磨石	5	2号配石	覆土	完形	8.5 7.7 4.3	409	粗粒輝石安山岩	円形礫、平坦面使用、煤付着	
<b>5区土坑</b>										
図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第140図-2	打製石斧	5	374号土坑	覆土	完形	10.7 4.9 2.1	151	細粒輝石安山岩	短冊形、やや反りを持つ、刃刃で刃部摩耗	PL69
10	打製石斧	5	381号土坑	覆土	完形	9.2 4.3 1.6	71	頁岩	撥形、やや小振りで、直刃、刃部摩耗	PL69
11	磨石	5	381号土坑	覆土	完形	12.8 8.7 3.9	673	粗粒輝石安山岩	小判形、平らな面を使用面とし、打痕あり	PL69
5	石棒	5	382号土坑	覆土	破片	(7.2) (3.3) (1.7)	(49)	緑色片岩	石棒の小破片、被熱	PL69
第141図-6	打製石斧	5	384号土坑	覆土	完形	4.6 4.0 1.0	19	細粒輝石安山岩	小形の銀杏形を呈す、刃部表面に自然面	PL69
13	礫器	5	387号土坑	覆土	完形	7.0 7.0 3.2	160	細粒輝石安山岩	片面に大きく自然面、刃部を粗く作り出す	PL70
14	磨石	5	387号土坑	覆土	完形	21.6 13.2 6.0	2700	流紋岩	大形礫利用、片面の使用、摩耗顕著	PL70
15	石棒	5	387号土坑	覆土	破損品	(16.6) (8.1) 7.0	(1367)	結晶片岩	大形石棒片、被熱	PL70
第142図-16	石皿	5	387号土坑	覆土	破損品	(17.6) 25.3 6.8	(5200)	粗粒輝石安山岩	下半を欠く、舟部は深く外縁も高く作られる	PL70
1	磨石	5	417号土坑	覆土	完形	7.6 6.6 4.9	340	粗粒輝石安山岩	円礫利用、一面使用、平滑	PL70
第143図-7	打製石斧	5	418号土坑	覆土	刃部欠損	(8.0) 3.9 2.3	(88)	細粒安山岩	短冊形か、器内厚く、刃部を欠く	PL71
8	磨石	5	418号土坑	覆土	ほぼ完形	12.8 9.3 8.6	1348	粗粒輝石安山岩	大振りの礫、火を受けており表面剥落見られる	PL71
第144図-2	石鏃	5	438号土坑	覆土	欠損品	(1.6) (1.6) 0.3	(0.7)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く、扱いは小さい	PL71
第145図-2	台石	5	449号土坑	覆土	欠損品	(14.1) 18.0 7.2	(2490)	粗粒輝石安山岩	大形の扁平礫、上半分を欠き、使用面平滑	PL72
3	打製石斧	5	461号土坑	覆土	刃部欠損	(12.6) 6.0 1.3	(110)	細粒輝石安山岩	撥形、両面に自然面、刃部欠き、基部先端が尖る	PL72
第146図-1	台石	5	490号土坑	覆土	完形	18.0 15.8 5.8	2640	石英閃緑岩	台形を呈す、使用面は平坦で平滑	PL72
2	磨石	5	491号土坑	覆土	完形	15.7 8.8 7.0	1408	粗粒輝石安山岩	棒状礫利用、側縁平滑、下端部に打痕	PL72
3	磨石	5	491号土坑	覆土	完形	13.9 8.0 4.2	700	粗粒輝石安山岩	足形を呈す、両面使用平滑、浅い凹みあり、被熱	PL72
1	大珠	5	493号土坑	覆土	完形	3.4 2.1 1.2	14	ヒスイ輝石	やや暗い青緑色、孔はやや端に両面より穿孔	PL72
1	石鏃	5	495号土坑	覆土	欠損品	(1.3) (1.2) 0.4	(0.5)	黒曜石	先端部、基部を欠損	PL72
2	スクレイパー	5	495号土坑	覆土	完形	7.6 6.1 3.0	126	細粒輝石安山岩	一面に自然面、肉厚で刃部の作出しは粗い	PL72
3	打製石斧	5	495号土坑	覆土	刃部欠損	(7.7) 4.3 1.6	(58)	細粒輝石安山岩	撥形か、薄手の作り	PL72
4	打製石斧	5	495号土坑	覆土	刃部欠損	(5.9) 4.2 0.8	(26)	頁岩	撥形か、極めて薄手の作り、スクレイパーか	PL72
5	磨製石斧	5	495号土坑	覆土	刃部欠損	(11.4) 5.4 2.8	(313)	蛇紋岩	定角式、表面平滑に仕上げられている	PL72
6	凹石	5	495号土坑	覆土	完形	12.4 7.3 3.1	426	粗粒輝石安山岩	小判形、表裏に1対の凹み穴、側面に打痕	PL72



### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第146図-4	打製石斧	5	496号土坑	覆土	完形	9.7	4.2 1.2	76	頁岩	短冊形、片面に自然面残す、刃部摩耗	PL72
第147図-1	石鏃	5	497号土坑	覆土	欠損品	(1.4)	(1.1) 0.3	(0.6)	黒曜石	脚部、先端部を欠く	PL72
2	石鏃	5	497号土坑	覆土	未製品	2.5	1.7 0.4	1.1	黒曜石	三角形の剥片側縁に刃部調整が見られる	PL72
3	打製石斧	5	497号土坑	覆土	刃部片	(3.8)	6.0 1.5	(43)	細粒輝石安山岩	両面に自然面、内刃で刃部の摩耗顕著	PL72
4	打製石斧	5	497号土坑	覆土	刃部欠損	(7.8)	4.6 0.9	(36)	頁岩	薄手の撥形か、内刃で広がる、刃部摩耗	PL72
14	石鏃	5	500号土坑	覆土	ほぼ完形	2.0	0.7 0.3	0.4	黒曜石	棒状を呈す	PL73
15	磨石	5	500号土坑	覆土	ほぼ完形	8.4	6.9 3.2	219	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫利用、表面平滑で側縁に打痕	PL73
第148図-24	磨石	5	501号土坑	覆土	完形	7.6	6.3 4.1	244	粗粒輝石安山岩	表面に打撃による使用痕が顕著	PL73
25	敲石	5	501号土坑	覆土	完形	17.5	6.1 4.5	665	細粒輝石安山岩	断面三角の棒状礫、両端に打痕	PL73
第149図-7	打製石斧	5	502号土坑	覆土	ほぼ完形	12.0	7.2 2.5	200	細粒輝石安山岩	分銅形、中央肉厚でやや内側に反る、刃部摩耗	PL74
8	打製石斧	5	502号土坑	覆土	基部欠損	(8.0)	6.0 1.9	(140)	細粒輝石安山岩	撥形、刃部は広く、ほぼ直刃	PL74
第150図-2	彫器	5	526号土坑	覆土	欠損品	(1.2)	2.2 0.6	(18)	黒曜石	厚みを持った弧状の刃部片	PL75
2	石鏃	5	529号土坑	覆土	完形	2.5	1.7 0.7	2.5	黒曜石	凸基無茎、基部丸みを持つ	PL75
3	石鏃	5	529号土坑	覆土	欠損品	1.7	(0.8) 0.3	(0.3)	黒曜石	先端部の破損品か	PL75
第151図-4	磨石	5	539号土坑	覆土	完形	9.4	7.4 4.5	424	粗粒輝石安山岩	小判形、磨り面平滑で、側縁に打痕	PL75
2	磨製石斧	5	542号土坑	覆土	完形	6.5	4.3 2.2	106	蛇紋岩	小形品、基部から側縁上部敲打痕、再利用品か	PL75
3	礫	5	542号土坑	覆土	完形	6.6	2.8 1.7	49	蛇紋岩	やや細長い形状の自然礫、表面平滑で光沢あり	PL75
4	礫	5	542号土坑	覆土	完形	5.0	2.4 1.5	27	蛇紋岩	紡錘状の礫、表面極めて平滑で光沢あり	PL75
5	磨石	5	542号土坑	覆土	完形	6.5	7.3 4.6	270	粗粒輝石安山岩	小振りの川原石利用、使用面平滑、側縁に打痕	PL75
6	磨石	5	542号土坑	覆土	完形	18.8	14.7 9.1	4050	粗粒輝石安山岩	大形の円礫利用、使用面平滑	PL75
7	磨石	5	542号土坑	覆土	完形	7.4	7.1 5.1	378	石英閃緑岩	円礫利用、使用面平滑	PL75
8	磨石	5	542号土坑	覆土	完形	10.0	6.9 4.7	512	粗粒輝石安山岩	不定形の礫利用、主に平らな一面使用、打痕あり	PL75
9	磨石	5	542号土坑	覆土	完形	6.4	4.4 2.3	95	滑石か	光沢有す黒色の礫、全面に微細な研磨痕あり	PL75
10	磨石	5	542号土坑	覆土	完形	23.0	9.2 4.9	1584	粗粒輝石安山岩	扁平な棒状礫利用、両面使用、端部に打痕	PL75
11	敲石	5	542号土坑	覆土	完形	19.0	6.7 4.3	934	粗粒輝石安山岩	断面方形の棒状礫、両端部に打痕あり	PL75
第152図-2	打製石斧	5	549号土坑	覆土	基部のみ	(3.6)	3.6 1.3	(19)	頁岩	短冊形か、基部端部から刃部に向かって肥厚	PL75
1	石鏃	5	550号土坑	覆土	欠損品	2.0	(1.1) 0.6	(1.1)	黒曜石	基部片か	PL75
3	垂飾品	5	562号土坑	覆土	完形	1.8	1.1 0.6	2	滑石	青緑色の小形玉、研磨成形で残す、両面穿孔	PL76
3	磨石	5	565号土坑	覆土	完形	11.3	8.5 3.9	588	粗粒輝石安山岩	小判形の礫、両面使用、平滑で片面・側縁に打痕	PL76
第153図-1	打製石斧	5	566号土坑	覆土	基・刃部欠損	(4.8)	5.4 1.3	(36)	細粒輝石安山岩	撥形か、比較的薄手の作り	PL76
2	打製石斧	5	567号土坑	覆土	刃部欠損	8.9	4.3 1.9	(67)	黒色頁岩	撥形、中央部が山状に肥厚、刃部半分ほど欠損	PL76
3	磨石	5	567号土坑	覆土	ほぼ完形	15.8	7.6 3.9	769	粗粒輝石安山岩	扁平礫利用、使用面平滑、側縁に欠けあり、被熱	PL76
1	凹石	5	578号土坑	覆土	完形	10.1	7.0 3.7	356	粗粒輝石安山岩	小判形の礫、凹み穴表裏に1つつ、側縁に打痕	PL76
1	石鏃	5	581号土坑	覆土	欠損品	(1.2)	(0.8) 0.3	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL76
2	磨石	5	581号土坑	覆土	完形	5.8	4.8 3.5	114	粗粒輝石安山岩	円礫利用	PL76
1	2次加工片	5	585号土坑	覆土	完形	2.4	2.6 0.8	5.5	チャート	円形で粗い剥離調整が見られる	PL76
2	搔器	5	585号土坑	覆土	完形	3.4	2.6 1.0	8.2	チャート	両面からの剥離調整が全周する	PL76
1	打製石斧	5	587号土坑	覆土	完形	14.2	6.0 2.4	259	細粒輝石安山岩	短冊形、基部に比して刃部やや薄く作られる	PL76
1	石鏃	5	589号土坑	覆土	完形	2.0	0.6 0.4	0.6	黒曜石	棒状、全体に丁寧な調整で仕上げられる	PL76
1	スクレイパー	5	591号土坑	覆土	完形	6.3	3.9 1.3	31	黒色安山岩	三角形を呈す、刃部わずかに弧状となる	PL76
1	台石	5	599号土坑	覆土	破損品	(23.8)	21.4 8.2	(6650)	石英閃緑岩	大形の扁平礫利用、使用面平らで平滑	PL76

#### 6区土坑

図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第154図-5	打製石斧	6	131号土坑	No.14	基部欠損	(7.8)	4.5 2.2	(101)	細粒輝石安山岩	短冊形、表に自然面、基部肉厚、刃部偏刃で摩耗	PL76
1	磨石	6	132号土坑	覆土	破損品	(8.2)	7.1 3.7	(309)	石英閃緑岩	長円形の扁平礫、端部に打痕	PL77
6	磨石	6	135号土坑	覆土	破損品	(9.6)	7.6 3.0	(461)	粗粒輝石安山岩	小判形扁平礫、使用面平滑、中央部分荒れ	PL77
4	磨石	6	137号土坑	覆土	完形	6.0	5.5 4.0	147	粗粒輝石安山岩	小円礫利用、表裏面使用	PL77
第155図-11	打製石斧	6	140号土坑	覆土	刃部欠損	9.1	5.1 1.5	(98)	細粒輝石安山岩	撥形、裏面に自然面、刃部欠き、全体的に風化	PL77
12	磨製石斧	6	140号土坑	覆土	破損品	(7.0)	5.3 2.4	(175)	蛇紋岩	定角式、基部・刃部を欠く	PL77
13	磨石	6	140号土坑	覆土	完形	7.4	6.5 5.0	360	粗粒輝石安山岩	円礫利用、表面極めて平滑	PL77
2	磨製石斧	6	144号土坑	覆土	完形	4.7	2.3 0.7	12	蛇紋岩	小形品、刃部は広がり部分的に自然面残る	PL77
1	打製石斧	6	150号土坑	覆土	ほぼ完形	8.8	4.7 1.7	82	黒色安山岩	短冊形、側縁上部潰し、刃部は薄手作り	PL77
2	台石	6	150号土坑	覆土	完形	19.4	17.5 5.5	2440	粗粒輝石安山岩	菱形を呈す扁平な石を利用、使用面平滑	PL77
第156図-3	台石	6	150号土坑	覆土	破損品	19.3	(17.8) 5.4	(2550)	粗粒輝石安山岩	丸い扁平な石を利用、両面を使用し平滑	PL77
3	打製石斧	6	155号土坑	覆土	基部欠損	(4.4)	3.4 0.7	(14)	黒色安山岩	小形で器用薄い、片面に自然面、刃部摩耗	PL78
4	スクレイパー	6	155号土坑	覆土	ほぼ完形	6.8	4.8 1.2	41	細粒輝石安山岩	やや縦長の剥片を利用、刃部の作り出しは粗い	PL78
5	打製石斧	6	155号土坑	覆土	刃部欠損	(9.9)	5.3 1.9	(96)	頁岩	片面が肥厚、刃部大きく欠損している	PL78
1	打製石斧	6	156号土坑	覆土	完形	10.7	4.8 1.7	111	細粒輝石安山岩	短冊形、全体に風化が著しい	PL78
第157図-1	磨石	6	159号土坑	覆土	完形	8.6	6.7 3.7	273	粗粒輝石安山岩	卵形の扁平礫利用	PL78
第157図-2	磨石	6	159号土坑	覆土	完形	11.5	7.3 3.3	420	粗粒輝石安山岩	不定形な自然礫利用	PL78
6	磨石	6	167号土坑	覆土	完形	9.2	7.4 4.5	444	流紋岩	表面の剥落著しい	PL78
7	多孔石	6	167号土坑	覆土	完形	14.5	13.6 10.9	2260	粗粒輝石安山岩	不定形な自然礫の表裏2面に複数の凹み穴	PL78

#### 95区土坑

図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第158図-9	打製石斧	95	1号土坑	覆土	ほぼ完形	11.8	5.5 1.8	160	粗粒輝石安山岩	撥形、両面に自然面残す、刃部摩耗	PL78
第159図-16	石鏃	95	3号土坑	覆土	完形	1.2	1.1 0.4	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品	PL79
17	打製石斧	95	3号土坑	覆土	基部欠損	(5.7)	5.2 1.3	(63)	細粒輝石安山岩	撥形、両面に自然面残す、刃部摩耗	PL79
18	石鏃	95	3号土坑	覆土	未製品	(2.5)	1.5 0.3	(0.9)	黒曜石	側縁に刃部調整、石鏃の可能性あり	PL79

#### 96区土坑

図版番号	器種	区	出土遺構	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第159図-9	2次加工片	96	9号土坑	覆土	完形	2.7	2.8 0.9	6.6	チャート	一部に剥離調整	PL79
10	磨石	96	9号土坑	覆土	完形	11.1	6.8 3.1	377	デイサイト	小判形の扁平礫、表面ざらつく	PL79
4	打製石斧	96	10号土坑	覆土	刃部欠損	7.4	4.8 1.8	84	細粒輝石安山岩	短冊形か、基部の一部、刃部大きく欠損	PL79

#### 3区遺構外

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第231図-1	石鏃	3	表土	-	完形	2.4	1.5 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、挟りは丸く作りは丁寧	PL122
2	石鏃	3	W-16	-	欠損品	(1.5)	1.5 0.3	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、先端部僅かに欠損、挟りは浅い	PL122
3	石鏃	3	Y-14	-	ほぼ完形	2.5	1.0 0.5	0.8	黒曜石	錐部の両側縁に刃部調整	PL122
4	打製石斧	3	X-13	-	基部欠損	(5.3)	5.1 1.2	(45)	細粒輝石安山岩	内刃片	PL122
5	磨石	3	表土	-	完形	8.7	7.5 4.6	410	粗粒輝石安山岩	表面、側縁に打痕	PL122
6	石核	3	T-16	-	完形	7.0	4.25 3.0	136	黒色頁岩	片縁部に打撃調整見られる	PL122

#### 4区遺構外

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第231図-1	石鏃	4	1トレ	-	完形	1.9	1.3 0.3	0.5	黒曜石	凹基無茎、挟り丸く、先端部細く尖る	PL122
第231図-2	石鏃	4	2トレ	-	ほぼ完形	1.8	1.2 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、小形品、片脚を僅かに欠く	PL122
3	石鏃	4	4トレ	-	欠損品	(1.5)	(1.7) (0.3)	(0.8)	チャート	剥片礫の先端部片、表面に自然面残る	PL122
4	石鏃	4	1トレ	-	欠損品	(2.4)	(1.5) (0.7)	(1.7)	黒曜石	石鏃の先端部片か、大形で厚みあり	PL122
5	石鏃	4	5トレ	-	ほぼ完形	4.7	4.5 0.9	13	黒色安山岩	T字形を呈す、やや大形の石鏃	PL122

### 第3章 検出された遺構と遺物

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
6	打製石斧	4	5トレ	—	完形	11.5	4.3 1.5	91	黒色頁岩	短冊形、やや細身の製品	PL122
7	打製石斧	4	1トレ	—	ほぼ完形	10.8	5.2 1.5	150	黒色頁岩	短冊形、板状礫利用表裏に自然面残す、刃部摩耗	PL122
8	打製石斧	4	4トレ	—	ほぼ完形	9.4	5.4 1.4	92	細粒輝石安山岩	撥形	PL122
9	打製石斧	4	5トレ	—	刃部欠損	(6.7)	3.7 1.7	(53)	黒色頁岩	やや粗い作り	PL122
10	打製石斧	4	B-11	—	刃部欠損	(4.3)	5.0 1.5	(36)	黒色頁岩	基部片と見られる	PL122
11	スクレイパー	4	5トレ	—	完形	5.4	3.8 0.5	18	黒色頁岩	やや楕円形で、下辺部に弧状刃部作出	PL122
12	礫器	4	5トレ	—	完形	11.1	6.1 2.7	201	黒色頁岩	横型の礫器、打製石斧の未製品か	PL122
5区遺構外											
図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第231図-1	石鏃	5	D-11	—	完形	4.2	1.9 0.5	2.5	黒色頁岩	凸基有茎、茎は短く付く作りは丁寧	PL122
第231図-2	石鏃	5	D-10	—	完形	3.3	1.9 0.4	1.0	珧質変質岩	凹基無茎、大型品、身はやや長い、表面やや風化	PL122
第231図-3	石鏃	5	X-6	—	完形	2.8	2.0 0.3	1.1	黒曜石	凹基無茎、挟り深く作られる、先端部細身となる	PL122
第231図-4	石鏃	5	W-3	—	ほぼ完形	3.0	2.0 0.5	2.3	黒色安山岩	凹基無茎、挟り幅広く先端部細く尖る	PL122
第231図-5	石鏃	5	Y-4	—	完形	2.3	2.0 0.5	1.5	黒色安山岩	凹基無茎、やや厚みあり	PL122
第231図-6	石鏃	5	表土	—	完形	2.4	1.7 0.4	1.5	黒色頁岩	凹基無茎、挟り丸く逆ハート形を呈す	PL122
第231図-7	石鏃	5	B-10	—	ほぼ完形	2.9	2.0 0.4	1.7	チャート	凹基無茎、先端部を僅かに欠く、作りは丁寧	PL122
第231図-8	石鏃	5	表土	—	完形	2.6	1.7 0.4	1.2	黒曜石	凹基無茎、挟り円形、先端が細く尖る	PL122
第231図-9	石鏃	5	X-3	—	ほぼ完形	2.6	1.7 0.5	1.5	黒色頁岩	凹基無茎、挟り浅く、基部薄くなる	PL122
第231図-10	石鏃	5	G-11	—	ほぼ完形	2.6	1.6 0.3	1.1	黒色頁岩	凹基無茎、挟りは浅い	PL122
第231図-11	石鏃	5	X-2	—	完形	2.7	1.4 0.3	0.8	黒曜石	凹基無茎、細身で作りは丁寧	PL122
第231図-12	石鏃	5	Y-1	—	完形	2.5	1.6 0.4	1.0	黒曜石	凹基無茎、脚の先端は細く全体の作りは丁寧	PL122
第231図-13	石鏃	5	E-11	—	ほぼ完形	2.8	1.9 0.5	1.9	黒色頁岩か	凹基無茎、作りはやや粗く、表面風化	PL122
14	石鏃	5	E-11	—	完形	2.3	1.6 0.5	1.3	黒曜石	凹基無茎の三角形を呈す	PL122
第231図-15	石鏃	5	Y-3	—	完形	2.7	2.2 1.6	2.7	黒曜石	凹基無茎、挟り極めて浅い、片面が肥厚する	PL122
第231図-16	石鏃	5	表土	—	ほぼ完形	2.1	1.6 0.4	0.9	黒曜石	平基無茎、丁寧な作り	PL122
第231図-17	石鏃	5	表土	—	完形	2.3	1.5 0.5	1.1	黒色頁岩	平基無茎	PL122
第231図-18	石鏃	5	E-11	—	完形	3.1	2.3 1.0	5.6	黒色安山岩	凹基無茎、身は肉厚	PL122
第231図-19	石鏃	5	E-12	—	完形	2.5	2.3 0.6	1.3	珧質変質岩	平基無茎の三角形を呈す	PL122
第231図-20	石鏃	5	表土	—	完形	2.0	1.6 0.7	1.1	チャート	凹基無茎、中央部分がこぶ状に高い、未製品か	PL122
第231図-21	石鏃	5	E-12	—	完形	2.2	1.7 0.4	1.1	黒色安山岩	凹基無茎、挟りは浅い	PL122
第231図-22	石鏃	5	D-11	—	完形	1.9	1.5 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、作りは丁寧	PL122
第232図-23	石鏃	5	H-12	—	完形	2.0	1.7 0.5	1.5	黒曜石	凹基無茎、側縁ふくらみを持つ逆ハート形を呈す	PL122
第232図-24	石鏃	5	E-10	—	完形	2.1	1.5 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、やや薄手の作り	PL122
第232図-25	石鏃	5	F-12	—	ほぼ完形	1.8	1.4 0.3	0.6	黒曜石	凹基無茎、作りは粗い	PL122
第232図-26	石鏃	5	E-13	—	完形	2.0	1.4 0.3	0.6	黒曜石	凹基無茎、挟りは小さく作りは丁寧	PL122
第232図-27	石鏃	5	F-13	—	完形	2.2	1.8 0.4	1.0	珧質変質岩	凹基無茎、側縁がややふくらむ逆ハート形	PL122
第232図-28	石鏃	5	E-10	—	完形	1.8	1.4 0.3	0.7	黒色頁岩	凹基無茎、作りは粗く、表面風化	PL122
第232図-29	石鏃	5	Y-3	—	ほぼ完形	1.7	2.0 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、両脚が大きく開く	PL122
第232図-30	石鏃	5	F-12	—	完形	1.6	1.5 0.3	0.5	チャート	凹基無茎、先端細く、逆ハート形呈す、局部磨製	PL122
第232図-31	石鏃	5	F-13	—	完形	2.2	1.3 0.3	0.6	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅い	PL122
第232図-32	石鏃	5	Y-2	—	完形	2.2	1.4 0.4	0.8	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅い、片面にやや影らみ有す	PL122
第232図-33	石鏃	5	H-12	—	完形	2.2	1.5 0.4	0.6	チャート	凹基無茎、挟りは小さく身は先端にかけて細くなる	PL122
第232図-34	石鏃	5	E-11	—	完形	2.3	1.2 0.3	0.6	チャート	凹基無茎、細身で丁寧な作り	PL122
第232図-35	石鏃	5	B-11	—	ほぼ完形	2.2	1.2 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、片縁に剥離面大きく残すやや粗い作り	PL122
36	石鏃	5	表土	カマド	完形	3.0	2.4 0.9	5.1	チャート	凸基無茎、基部丸く調整、彫りか	PL122
37	石鏃	5	D-11	—	ほぼ完形	2.2	1.8 0.5	1.8	黒曜石	平基無茎、やや不定型形状を呈す	PL123
38	石鏃	5	D-11	—	ほぼ完形	2.3	1.7 0.8	2.1	黒曜石	片面中央部が影らむ、未製品	PL123
39	石鏃	5	表土	—	ほぼ完形	2.1	1.6 0.5	1.6	黒曜石	側縁剥離調整、未製品	PL123
第232図-40	石鏃	5	表土	—	ほぼ完形	2.0	1.6 0.4	1.0	黒曜石	平基無茎	PL123
41	石鏃	5	G-10	—	完形	2.3	1.5 0.6	2.0	黒曜石	凹基無茎、片面中央部が肥厚、未製品か	PL123
第232図-42	石鏃	5	F-11	—	ほぼ完形	1.9	2.0 0.9	1.9	珧質変質岩	組成形された石片、石鏃の未製品と思われる	PL123
43	石鏃	5	H-11	—	ほぼ完形	2.3	1.7 0.5	1.4	黒曜石	凹基無茎、未製品か	PL123
第232図-44	石鏃	5	表土	—	完形	2.1	1.2 0.3	0.6	チャート	凹基無茎	PL123
45	石鏃	5	表土	—	ほぼ完形	2.5	1.4 0.7	1.9	チャート	突基無茎、菱形を呈し中央部が肥厚する	PL123
第232図-46	石鏃	5	H-12	—	完形	2.1	1.6 0.7	1.9	黒曜石	凹基無茎、厚みあり、基部の作りは雄である	PL123
47	石鏃	5	H-11	—	ほぼ完形	2.1	1.5 0.3	0.9	黒曜石	薄手で、先端部に丸みあり、やや不定形	PL123
48	石鏃	5	表土	—	完形	1.8	1.8 0.5	1.3	黒曜石	平基無茎、ほぼ正三角形を呈す	PL123
第232図-49	石鏃	5	E-11	—	ほぼ完形	1.7	1.3 0.4	0.6	珧質変質岩	平基無茎、表面やや風化	PL123
第232図-50	石鏃	5	F-10	—	ほぼ完形	2.2	1.2 0.4	0.8	黒曜石	凹基無茎、作りは粗い	PL123
第232図-51	石鏃	5	C-11	—	完形	1.8	1.3 0.3	0.6	珧質変質岩	平基無茎、小形品	PL123
第232図-52	石鏃	5	表土	—	完形	1.6	1.2 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品で裏面が平ら	PL123
第232図-53	石鏃	5	表土	—	ほぼ完形	1.5	1.4 0.4	0.7	黒曜石	凹基無茎、小形品、厚みあり	PL123
54	石鏃	5	A-12	—	完形	1.7	1.5 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、挟りは円弧状	PL123
第232図-55	石鏃	5	D-11	Aトレンチ	ほぼ完形	2.0	1.3 0.4	0.6	黒曜石	凹基無茎、脚は左右非対称	PL123
第232図-56	石鏃	5	C-11	—	完形	1.9	1.2 0.3	0.6	チャート	凹基無茎、鉾形鏃	PL123
第232図-57	石鏃	5	Y-4	—	完形	1.7	1.4 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、挟り浅い	PL123
第232図-58	石鏃	5	F-12	—	ほぼ完形	1.6	1.3 0.3	0.4	黒色安山岩	凹基無茎の小形品、先端部僅かに欠く	PL123
第232図-59	石鏃	5	X-2	—	ほぼ完形	1.7	1.5 0.5	0.7	珧質変質岩	凹基無茎、脚の形状が非対称	PL123
第232図-60	石鏃	5	G-14	—	完形	1.7	1.3 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、挟り浅く、脚の長さ非対称	PL123
第232図-61	石鏃	5	F-10	—	ほぼ完形	1.6	1.2 0.4	0.4	黒曜石	凹基無茎、ほぼ正三角形で挟りは浅い	PL123
62	石鏃	5	G-11	—	ほぼ完形	1.8	1.4 0.4	0.6	黒曜石	凹基無茎、未製品	PL123
第232図-63	石鏃	5	C-10	—	完形	1.9	1.4 0.4	0.8	黒曜石	凹基無茎、やや厚みあり	PL123
第232図-64	石鏃	5	H-10	—	完形	1.9	1.3 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、裏面に一次剥離面そのまま残す	PL123
第232図-65	石鏃	5	C-10	—	完形	2.0	1.0 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、片面やや高まりがある、身は長い	PL123
第232図-66	石鏃	5	E-11	—	完形	1.8	1.3 0.2	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りは深く作りは丁寧	PL123
第232図-67	石鏃	5	D-11	—	完形	1.7	1.1 0.2	0.2	チャート	凹基無茎、小形品、先端部はやや細く作られる	PL123
第232図-68	石鏃	5	G-11	—	完形	1.6	1.4 0.3	0.4	チャート	凹基無茎、小形品、挟りは浅く、脚はやや外に開く	PL123
第232図-69	石鏃	5	Y-1	—	完形	1.7	1.4 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りは三角を呈す	PL123
第232図-70	石鏃	5	G-12	—	完形	1.6	1.3 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎の小形品	PL123
第232図-71	石鏃	5	F-11	—	完形	2.0	1.4 0.2	0.4	黒曜石	凹基無茎、作りは丁寧	PL123
第232図-72	石鏃	5	D-12	—	完形	1.6	1.4 0.4	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品、三角形を呈し、脚は開く	PL123
第232図-73	石鏃	5	D-12	—	完形	1.6	1.3 0.4	0.5	黒曜石	凹基無茎、小形品	PL123
第232図-74	石鏃	5	E-10	—	完形	1.5	1.5 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、先端部が細く逆ハート形を呈す	PL123
75	石鏃	5	E-10	—	完形	1.6	1.4 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、未製品	PL123
第232図-76	石鏃	5	X・Y-3	—	完形	1.8	1.3 0.4	0.9	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅く片面に影らみ持つ	PL123
第233図-77	石鏃	5	C-10	—	完形	1.5	1.3 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、小形品、局部磨製	PL123
第233図-78	石鏃	5	E-10	—	完形	1.5	1.7 0.3	0.5	黒曜石	凹基無茎、身は丸みを呈す	PL123
79	石鏃	5	C-11	—	完形	2.0	1.2 0.5	1.2	黒曜石	石鏃の未製品、側縁に調整痕	PL123



### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
80	石鉢	5	表土	—	ほぼ完形	1.7	1.3 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、挟り小さく全体に作りは粗い	PL123
81	石鉢	5	A-11	—	完形	1.5	1.2 0.3	0.4	黒曜石	小形石鉢の未製品	PL123
82	石鉢	5	A-11	—	完形	1.7	1.5 0.4	0.7	黒曜石	平基無茎	PL123
第233図-83	石鉢	5	E-10	—	ほぼ完形	1.7	1.6 0.6	1.6	黒曜石	凹基無茎、挟り浅くやや厚手の製品	PL123
第233図-84	石鉢	5	B-10	—	完形	1.5	1.3 0.3	0.5	黒曜石	平基無茎、小形品、局部磨製	PL123
第233図-85	石鉢	5	G-12	—	ほぼ完形	1.6	1.4 0.4	0.6	黒曜石	凹基無形の小型品、挟りは浅い	PL123
第233図-86	石鉢	5	F-14	—	完形	1.6	1.4 0.4	0.7	黒曜石	平基無茎、小形品	PL123
87	石鉢	5	A-11	—	完形	1.6	1.6 0.4	0.9	チャート	平基無茎、三角形を呈す、片面平らで中央部肥厚	PL123
88	石鉢	5	E-10	—	完形	1.7	1.4 0.4	0.9	チャート	平基無茎、裏面平でやや不定形	PL123
89	石鉢	5	E-9	—	ほぼ完形	1.8	1.4 0.6	1.2	黒曜石	未製品か	PL123
90	石鉢	5	G-11	—	ほぼ完形	1.6	1.3 0.4	0.8	黒曜石	不定形片、未製品か	PL123
91	石鉢	5	W-3	—	完形	1.4	1.4 0.3	0.6	黒曜石	平基無茎、側縁やや丸みを有す	PL123
第233図-92	石鉢	5	表土	—	ほぼ完形	1.3	1.4 0.2	0.4	黒曜石	凹基無茎、挟り弱い小形品	PL123
第233図-93	石鉢	5	C-10	—	ほぼ完形	2.1	1.1 0.4	0.6	黒曜石	突基無茎、身幅やや狭い	PL123
第233図-94	石鉢	5	E-12	—	完形	1.7	1.2 0.3	0.5	チャート	平基無茎、二等辺三角形を呈す小形品	PL123
95	石鉢	5	H-12	—	完形	1.5	1.2 0.3	0.4	チャート	平基無茎、基部欠損品の再生品か	PL123
第233図-96	石鉢	5	表土	—	ほぼ完形	1.4	1.3 0.4	(0.4)	黒曜石	平基無茎、小形品、先端部やや細く僅かに欠く	PL123
97	石鉢	5	A-10	—	完形	1.6	1.3 0.4	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品	PL123
第233図-98	石鉢	5	G-11	—	完形	1.5	1.5 0.3	0.4	チャート	凹基無茎、小形品、挟りは浅く、脚は外に開く	PL123
第233図-99	石鉢	5	E-12	—	完形	1.4	1.4 0.2	0.2	黒曜石	凹基無茎、小形品	PL123
第233図-100	石鉢	5	表土	—	完形	1.4	1.3 0.2	0.2	黒曜石	凹基無茎、小形品、脚開き脚・身共に細い作り	PL123
第233図-101	石鉢	5	X-3	—	完形	1.6	1.1 0.3	0.2	黒曜石	凹基無茎、挟りは三角を呈す、小形品	PL123
第233図-102	石鉢	5	B-11	—	完形	1.4	1.2 0.2	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品、作りは丁寧	PL123
第233図-103	石鉢	5	E-12	—	完形	0.8	1.2 0.3	0.2	チャート	凹基無茎、脚は細く、ハの字に開く小形品	PL123
第233図-104	石鉢	5	F-14	—	完形	1.2	1.2 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅い小形品	PL123
第233図-105	石鉢	5	E-11	—	完形	1.4	1.1 0.3	0.2	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りは浅く作りは丁寧	PL123
106	石鉢	5	A-11	—	完形	1.3	0.9 0.2	0.1	黒曜石	凹基無茎、小形品	PL123
107	石鉢	5	表土	ビット8	完形	1.4	1.4 0.4	0.4	チャート	凹基無茎、小形品、脚は細く「ハ」の字に開く	PL123
第233図-108	石鉢	5	表土	—	ほぼ完形	1.5	1.0 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りは浅い	PL123
第233図-109	石鉢	5	G-12	—	完形	1.4	1.0 0.3	0.2	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りは浅い	PL123
第233図-110	石鉢	5	G-13	—	完形	1.4	0.9 0.3	0.3	黒曜石	平基無茎、小形品	PL123
第233図-111	石鉢	5	E-12	—	完形	1.2	0.8 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、極小品	PL123
112	石鉢	5	X・Y-3	—	完形	0.9	0.7 0.2	0.1	黒曜石	凹基無茎、極めて小形品	PL123
第233図-113	石鉢	5	表土	—	欠損品	2.6	(1.9) 0.4	(1.3)	黒色安山岩	凹基無茎、挟りは極めて浅く、片脚端部を欠く	PL123
第233図-114	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.6)	(1.4) 0.4	(1.2)	黒曜石	凹基無茎か、基部を欠く	PL123
第233図-115	石鉢	5	F-13	—	欠損品	(3.3)	1.6 0.4	(1.9)	黒曜石	基部を欠く、身は長くやや大型品	PL124
116	石鉢	5	F-12	—	欠損品	(2.3)	(1.9) (0.4)	(1.4)	黒曜石	大形鉢の先端部片か斑品抜けによる小孔あり	PL124
117	石鉢	5	F-13	—	ほぼ完形	2.3	1.6 0.7	2.0	黒曜石	未製品か	PL124
118	石鉢	5	表土	覆土	脚一部欠損	2.6	(1.9) 0.4	(1.6)	黒色安山岩	平基無茎、薄手で作りはやや粗い	PL124
119	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.2)	(1.3) (0.4)	(0.8)	黒曜石	脚を欠く	PL124
第233図-120	石鉢	5	X-1	—	欠損品	2.2	(1.6) 0.4	(1.2)	玉髄	凹基無茎、挟り浅く、両側縁に彫り込み、片脚を欠く	PL124
第233図-121	石鉢	5	W-5	—	欠損品	(2.2)	(1.5) 0.3	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、やや薄手の作り、両脚を欠く	PL124
第233図-122	石鉢	5	表土	—	欠損品	2.1	(1.2) 0.4	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、脚開き、片脚欠く、先端部細く尖る	PL124
第233図-123	石鉢	5	H-12	—	欠損品	(1.9)	(1.7) 0.5	(1.1)	黒曜石	先端部片、比較的大型品	PL124
第233図-124	石鉢	5	C-10	—	欠損品	1.6	1.6 0.4	0.9	黒曜石	先端部片、側縁にふくらみ	PL124
125	石鉢	5	E-11	—	欠損品	(1.6)	(1.6) (0.3)	(0.9)	黒曜石	先端部片	PL124
第233図-126	石鉢	5	D-10	—	欠損品	(1.9)	1.2 0.3	(0.5)	黒曜石	基部を欠く、両側縁からの剥離調整丁寧	PL124
127	石鉢	5	Y-3	—	欠損品	(1.6)	(1.1) (0.3)	(0.4)	黒曜石	先端部片か	PL124
128	石鉢	5	G-11	—	欠損品	(1.9)	(1.2) (0.3)	(0.5)	黒曜石	両脚部を欠く	PL124
129	石鉢	5	D-10	—	欠損品	(1.8)	(1.4) (0.3)	(0.6)	黒曜石	作りはやや雄で、基部僅かに欠く	PL124
第233図-130	石鉢	5	D-10	—	欠損品	(2.1)	1.2 0.3	(0.6)	黒曜石	基部を欠く、両側縁からの剥離調整丁寧	PL124
第233図-131	石鉢	5	F-12	—	欠損品	(2.2)	1.2 0.6	(1.2)	黒色安山岩	厚みを持つやや細身の先端部片	PL124
第233図-132	石鉢	5	C-11	—	欠損品	2.6	(1.7) 0.3	(0.7)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く、丁寧な作り	PL124
第233図-133	石鉢	5	H-11	—	欠損品	2.6	(1.6) 0.4	(0.9)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く、不純部小粒含む	PL124
第233図-134	石鉢	5	C-10	—	欠損品	2.5	(1.4) 0.3	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く、薄手作り	PL124
第233図-135	石鉢	5	表土	—	欠損品	2.3	(1.5) 0.6	(1.1)	黒色頁岩	凹基無茎、やや長脚、片脚を欠く、肉厚作り	PL124
第233図-136	石鉢	5	D-10	—	欠損品	2.0	(1.4) 0.3	(0.6)	黒色安山岩	凹基無茎、片脚を欠く	PL124
第233図-137	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.4)	1.7 0.5	(1.7)	チャート	凹基無茎、片脚・先端部を欠く	PL124
第233図-138	石鉢	5	表土	—	欠損品	2.6	(1.6) 0.5	(1.5)	チャート	凹基無茎、挟り深く、片脚、先端部片側を欠く	PL124
第234図-139	石鉢	5	B-11	—	欠損品	(2.5)	2.0 0.4	(1.2)	黒曜石	凹基無茎、先端部僅かに欠く	PL124
140	石鉢	5	表土	ビット8	脚一部欠損	2.4	(1.9) 0.3	(1.3)	黒色安山岩	凹基無茎、挟りは丸く浅い、薄手の作り	PL124
第234図-141	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.6)	(1.5) 0.4	(1.1)	黒色頁岩	凹基無茎、脚の先端尖る、片脚・先端部を欠く	PL124
第234図-142	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.3)	(1.7) 0.3	(0.8)	黒色頁岩	凹基無茎、挟り深く凹形、片脚・先端部を欠く	PL124
第234図-143	石鉢	5	G-13	—	欠損品	(1.2)	1.9 0.4	(0.9)	黒曜石	凹基無茎、先端部分を欠く	PL124
第234図-144	石鉢	5	H-11	—	欠損品	(2.7)	(1.8) 0.5	(1.8)	チャート	凹基無茎、片脚を欠く	PL124
第234図-145	石鉢	5	E-11	—	欠損品	(1.6)	2.1 0.5	(1.7)	黒曜石	平基無茎、大型品、先端部を欠く	PL124
第234図-146	石鉢	5	G-12	—	欠損品	(1.8)	1.8 0.6	(1.3)	黒曜石	凹基無茎、中央部の厚み顕著、先端部を欠く	PL124
147	石鉢	5	A-12	—	欠損品	(1.5)	1.8 0.5	1.5	黒曜石	未製品か、先端部を欠く	PL124
第234図-148	石鉢	5	B-11	—	欠損品	(2.1)	(2.0) 0.4	(1.3)	黒曜石	やや大形の石鉢、基部および先端部僅かに欠く	PL124
149	石鉢	5	D-11	—	欠損品	(1.6)	(1.7) (0.4)	(1.3)	黒曜石	凹基無茎で、挟りは浅く脚は短い、先端部を欠く	PL124
150	石鉢	5	Y-3	—	欠損品	(2.0)	(1.6) 0.4	1.5	黒曜石	凹基無茎、未製品か	PL124
151	石鉢	5	D-10	—	欠損品	(1.8)	(1.7) (0.3)	(1.2)	黒曜石	薄手の剥片、基部片か	PL124
第234図-152	石鉢	5	表土	—	欠損品	(1.6)	1.4 0.3	(0.6)	珪化木か	平基無茎、先端部欠く	PL124
第234図-153	石鉢	5	E-12	—	欠損品	(1.5)	(1.7) 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く、やや薄手の作り	PL124
第234図-154	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.1)	(1.3) 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、薄手で片脚・先端部を欠く	PL124
第234図-155	石鉢	5	G-11	—	欠損品	1.8	(1.5) 0.4	(0.4)	珪質変質岩	凹基無茎、挟りは丸く逆ハート状を呈す	PL124
第234図-156	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.1)	(1.3) 0.3	(0.5)	チャート	凹基無茎、片脚を欠く	PL124
第234図-157	石鉢	5	G-13	—	欠損品	(1.6)	1.6 0.2	(0.5)	チャート	凹基無茎、挟りは大きく、先端部を欠く	PL124
第234図-158	石鉢	5	H-13	—	欠損品	(1.7)	1.4 0.4	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL124
159	石鉢	5	表土	覆土	欠損品	(2.5)	(1.6) 0.3	(0.9)	黒曜石	基部を欠く	PL124
第234図-160	石鉢	5	E-13	—	欠損品	2.2	(1.6) 0.3	(0.7)	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅く、脚は薄手作り、片脚を欠く	PL124
第234図-161	石鉢	5	表土	—	欠損品	(2.0)	(1.2) 0.3	(0.4)	チャート	凹基無茎、片脚を欠く	PL124
第234図-162	石鉢	5	E-11	—	欠損品	(2.8)	(1.2) 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、両脚を欠く	PL124
第234図-163	石鉢	5	表土	—	欠損品	2.2	(1.1) 0.3	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、脚欠損、細身の作り	PL124
第234図-164	石鉢	5	G-12	—	欠損品	1.9	(1.2) 0.3	(0.3)	珪質変質岩	凹基無茎、片脚を欠く、作りは丁寧	PL124
第234図-165	石鉢	5	C-10	—	欠損品	2.4	(1.0) 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、挟り深く長脚、片方の脚を欠く	PL124
166	石鉢	5	Y-1	—	欠損品	(1.7)	(1.5) (0.2)	(0.5)	黒曜石	いわゆる剥片鉢、身に反りを有す	PL124
167	石鉢	5	表土	覆土	欠損品	2.1	(1.4) 0.4	(0.9)	黒曜石	凹基無茎、片側、先端部欠く、基部の挟りは浅い	PL124
第234図-168	石鉢	5	F-10	—	欠損品	(1.9)	(1.4) 0.3	0.7	チャート	凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL124

### 第3章 検出された遺構と遺物

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ (cm)	重量 (g)	石材	特徴	PLNo.
169	石鏡	5	B-11	—	欠損品	(1.8) (1.1) 0.3	0.5	黒曜石	凹基無茎、片側3分の1程を欠く	PL124
第234図-170	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.5) 1.6 0.5	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、長脚、先端部を欠く	PL124
第234図-171	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.4) 1.4 0.2	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、脚開き、先端部を欠く	PL124
172	石鏡	5	表土	覆土	欠損品	(1.5) 1.6 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、先端を欠く、表面風化	PL124
第234図-173	石鏡	5	表土	—	欠損品	1.7 (1.3) 0.4	(0.4)	黒色頁岩	凹基無茎、片脚を欠く、表面やや風化	PL124
第234図-174	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.6) (1.4) 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、挟り浅く脚は外に開く、片脚、先端欠く	PL124
175	石鏡	5	F-10	—	欠損品	(1.9) (1.4) (0.5)	(0.8)	黒曜石	片側半分を欠く	PL124
176	石鏡	5	X-3	—	欠損品	(1.3) (1.7) (0.4)	(0.9)	黒曜石	凹基無茎、挟りは極僅か、先端部を欠く斑晶含む	PL124
177	石鏡	5	G-12	—	欠損品	(1.5) (1.5) (0.3)	(0.7)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL124
178	石鏡	5	表土	覆土	欠損品	(2.0) 1.4 0.3	(0.7)	黒曜石	両脚を欠く	PL124
第234図-179	石鏡	5	E-12	—	欠損品	(1.6) (1.5) 0.4	(0.3)	珪質変質岩	凹基無茎、側縁部に丸みあり、片脚、先端部欠く	PL124
第234図-180	石鏡	5	B-10	—	欠損品	(1.3) 1.7 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、先端部欠く	PL124
第234図-181	石鏡	5	F-12	—	欠損品	1.8 (1.2) 0.3	(0.4)	チャート	凹基無茎、挟りが大きく脚が細い、片脚欠く	PL124
第234図-182	石鏡	5	G-11	—	欠損品	1.2 (1.2) 0.3	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りやや深いく、片脚を欠く	PL124
第234図-183	石鏡	5	F-13	—	欠損品	1.9 (1.2) 0.3	(0.4)	黒色安山岩	凹基無茎、脚はハの字に開く、片脚を欠く	PL124
第234図-184	石鏡	5	D-10	—	欠損品	2.2 1.3 0.3	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、挟り深く長脚、片脚を欠く	PL124
第234図-185	石鏡	5	D-10	—	欠損品	1.8 (1.3) 0.3	(0.4)	黒色安山岩	凹基無茎、片脚を欠く	PL124
第234図-186	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.8) (1.1) 0.3	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く	PL124
第234図-187	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.5) 1.4 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、挟り深い円脚鏡、片脚端部を欠く	PL124
第234図-188	石鏡	5	E-12	—	欠損品	1.7 (1.2) 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片脚、先端部分僅かに欠く	PL124
第234図-189	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.5) (1.3) 0.3	(0.3)	チャート	凹基無茎、長脚、片脚・先端部を欠く	PL124
190	石鏡	5	Y-3	—	欠損品	(2.3) (1.0) 0.4	(0.7)	黒曜石	凹基無茎、片側半分を欠く	PL124
191	石鏡	5	G-10	—	欠損品	(2.1) (0.7) 0.3	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、中央部に縦に欠損	PL125
第234図-192	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.8) (0.8) 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、半分を欠く	PL125
193	石鏡	5	表土	ピット8	半分欠損	(2.3) (1.0) 0.3	(0.5)	黒色安山岩	凹基無茎、脚は大きくハの字に開く、半分を欠く	PL125
194	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.5) (1.1) (0.5)	(0.7)	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅い半分を欠く	PL125
第234図-195	石鏡	5	B-11	—	欠損品	(1.5) 1.4 0.3	(0.4)	黒曜石	先端部片	PL125
196	石鏡	5	G-10	—	欠損品	(1.5) (0.8) (0.3)	(0.3)	黒曜石	先端部片、細身の作り	PL125
第235図-197	石鏡	5	B-10	—	欠損品	(1.6) (1.2) 0.3	(0.3)	黒曜石	先端部片	PL125
198	石鏡	5	C-10	—	欠損品	(1.6) (1.1) (0.3)	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、両脚を欠く	PL125
第235図-199	石鏡	5	F-10	—	欠損品	(1.6) (1.2) 0.4	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL125
200	石鏡	5	X-2	—	欠損品	(1.6) (1.0) (0.4)	(0.5)	玉髄	凹基無茎、片側を欠く	PL125
201	石鏡	5	表土	覆土	欠損品	(1.7) 1.4 0.3	(0.6)	黒曜石	表側中央に浅見られ、裏面は平ら、基部を欠く	PL125
202	石鏡	5	E-11	—	欠損品	(1.7) (0.9) (0.3)	(0.4)	黒曜石	片脚、先端部を欠く	PL125
第235図-203	石鏡	5	E-10	—	欠損品	(1.2) 1.4 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、挟りは極めて浅い、先端部を欠く	PL125
第235図-204	石鏡	5	H-11	—	欠損品	(1.3) 1.4 0.4	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、小形品、片側面肥厚、先端僅かに欠く	PL125
205	石鏡	5	D-10	—	欠損品	(1.7) (1.0) (0.4)	(0.4)	黒曜石	石鏡の先端部片か	PL125
第235図-206	石鏡	5	D-12	—	欠損品	(1.2) 1.4 0.2	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、小形品、先端部を欠く	PL125
第235図-207	石鏡	5	F-10	—	欠損品	(1.3) (1.4) 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、両脚、先端部を欠く	PL125
208	石鏡	5	A-11	—	欠損品	(1.7) (1.0) 0.3	0.5	黒曜石	凹基無茎、先端部、片脚を欠く	PL125
第235図-209	石鏡	5	G-11	—	欠損品	1.3 (1.2) 0.3	(0.3)	珪質変質岩	凹基無茎、小形品、脚は開き端部尖る	PL125
210	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.2) (0.9) (0.3)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL125
第235図-211	石鏡	5	E-12	—	欠損品	(1.6) (1.1) 0.3	(0.3)	黒曜石	基部を欠く	PL125
212	石鏡	5	D-11	—	欠損品	(1.3) (1.1) (0.3)	(0.4)	チャート	先端部片	PL125
213	石鏡	5	A-12	—	欠損品	1.4 1.3 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品、柄装着部に若干の研磨	PL125
第235図-214	石鏡	5	G-10	—	欠損品	(1.3) 1.1 0.2	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りは深く先端部僅かに欠く	PL125
215	石鏡	5	G-11	—	欠損品	(1.4) (1.4) (0.3)	(0.6)	黒曜石	平基無茎、先端部を欠く	PL125
216	石鏡	5	H-10	—	欠損品	(1.5) (1.4) (0.2)	(0.6)	チャート	円基無茎、薄手で表裏面研磨痕あり、先端部を欠く	PL125
217	石鏡	5	E-11	—	欠損品	(1.4) (1.3) (0.4)	(0.8)	珪質変質岩	円基無茎、先端部を欠く	PL125
218	石鏡	5	W-6	—	欠損品	(1.2) (1.0) (0.1)	(0.2)	黒曜石	極めて薄手の小形品、基部を欠く	PL125
219	石鏡	5	C-10	—	欠損品	(1.4) (0.9) (0.3)	(0.3)	黒曜石	先端部片	PL125
220	石鏡	5	A-11	—	欠損品	(1.3) (1.2) 0.3	0.4	黒曜石	脚の片側を欠く	PL125
221	石鏡	5	H-12	—	欠損品	(1.3) (1.0) (0.3)	(0.2)	黒曜石	小形品、両脚を欠く	PL125
222	石鏡	5	X・Y-3	—	欠損品	(1.2) (0.9) (0.3)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL125
223	石鏡	5	X・Y-3・4	—	欠損品	(1.1) (1.2) (0.3)	0.3	黒曜石	先端部片	PL125
224	石鏡	5	H-10	—	欠損品	(1.3) (0.8) (0.3)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL125
第235図-225	石鏡	5	E-12	—	欠損品	(1.3) (1.4) 0.4	(0.4)	黒曜石	小形三脚鏡	PL125
第235図-226	石鏡	5	F-12	—	欠損品	(1.3) 0.8 0.2	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL125
227	石鏡	5	B-12	—	欠損品	(1.0) (1.0) (0.3)	(0.3)	黒曜石	先端部片	PL125
228	石鏡	5	F-13	—	欠損品	(1.0) (0.9) (0.2)	(0.1)	黒曜石	先端部片	PL125
第235図-229	石鏡	5	E-12	—	欠損品	(1.2) (1.0) 0.3	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL125
230	石鏡	5	D-11	—	欠損品	(1.3) (0.8) (0.3)	(0.3)	黒曜石	先端部片	PL125
231	石鏡	5	E-13	—	欠損品	(0.9) (0.9) (0.3)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL125
232	石鏡	5	A-13	—	欠損品	(0.9) (0.9) (0.2)	(0.1)	黒曜石	先端部片	PL125
233	石鏡	5	F-11	—	欠損品	(1.1) (0.7) (0.2)	(0.3)	黒曜石	先端部片	PL125
234	石鏡	5	C-10	—	欠損品	(1.1) (1.0) (0.2)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL125
235	石鏡	5	G-11	—	欠損品	(1.0) (0.8) (0.3)	(0.2)	黒曜石	先端部または脚の欠損品	PL125
236	石鏡	5	X-3	—	欠損品	(1.2) (1.0) (0.2)	(0.2)	黒曜石	先端部を欠く	PL125
第235図-237	石鏡	5	D-10	—	欠損品	(1.4) 2.2 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、長脚、先端部を欠く	PL125
第235図-238	石鏡	5	H-12	—	欠損品	(1.2) (2.2) 0.4	(0.9)	黒曜石	凹基無茎、比較的大型品の脚部片	PL125
第235図-239	石鏡	5	D-11	—	欠損品	(1.2) 1.5 0.2	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、薄手の作り、先端部を欠く	PL125
第235図-240	石鏡	5	G-13	—	欠損品	(1.1) 1.8 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片脚および先端部分を欠く	PL125
第235図-241	石鏡	5	D-12	—	欠損品	(1.2) 1.7 0.3	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL125
第235図-242	石鏡	5	F-13	—	欠損品	(1.3) 1.8 0.2	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、挟りは丸く、先端部を欠く	PL125
243	石鏡	5	H-11	—	欠損品	(1.4) (1.7) (0.3)	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、挟りは丸く深い、片脚、先端部を欠く	PL125
第235図-244	石鏡	5	B-11	—	欠損品	(1.3) 1.4 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、先端部欠き、両脚は先端が尖る	PL125
第235図-245	石鏡	5	F-10	—	欠損品	(1.3) 1.7 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL125
第235図-246	石鏡	5	F-10	—	欠損品	(1.0) 1.6 0.2	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL125
247	石鏡	5	E-10	—	欠損品	(1.1) (2.2) (0.3)	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、挟り浅い、基部片	PL125
248	石鏡	5	B-11	—	欠損品	(2.2) (1.4) 0.5	(1.5)	黒曜石	平基無茎、基部片	PL125
249	石鏡	5	表土	—	欠損品	(0.9) (1.5) (0.2)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL125
250	石鏡	5	表土	—	欠損品	(1.0) 1.7 0.2	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、基部片	PL125
251	石鏡	5	D-10	—	欠損品	(0.8) (1.4) (0.2)	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、基部片	PL125
252	石鏡	5	E-11	—	欠損品	(0.8) 1.5 (0.2)	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、基部片	PL125
第235図-253	石鏡	5	D-10	—	欠損品	(0.9) 1.2 (0.3)	(0.2)	チャート	凹基無茎、小形品、先端部を欠く	PL125
254	石鏡	5	C-10	—	欠損品	(1.0) (1.4) (0.3)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、先端部欠く	PL125
255	石鏡	5	表土	覆土	欠損品	(0.9) 1.6 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、先端部欠く、挟りは浅い	PL125
256	石鏡	5	G-10	—	欠損品	(1.0) (1.2) (0.2)	(0.2)	黒曜石	小形凹基無茎、先端部を欠く	PL125
第235図-257	石鏡	5	B-11	—	欠損品	(1.1) 1.2 0.2	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、小形品、先端部欠く	PL125

### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重量(g)	石材	特徴	PLNo.
258	石鏃	5	C-10	-	欠損品	(0.9)	(1.1) (0.3)	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、小形品、先端部欠く	PL125
259	石鏃	5	C-9	-	欠損品	(1.7)	(0.9) (0.3)	(0.5)	黒曜石	基部片	PL125
260	石鏃	5	F-13	-	欠損品	(1.0)	(1.6) (0.3)	(0.5)	黒曜石	平基無茎、基部片	PL125
261	石鏃	5	E-9	-	欠損品	(0.7)	(1.5) (0.3)	(0.4)	黒曜石	基部片か	PL125
262	石鏃	5	表土	-	欠損品	(1.3)	(1.0) (0.3)	(0.4)	黒曜石	小形品凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL125
263	石鏃	5	F-11	-	欠損品	(1.8)	(1.7) (0.3)	(0.7)	黒曜石	脚部片か	PL125
264	石鏃	5	表土	-	欠損品	(1.2)	(1.5) (0.3)	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL125
265	石鏃	5	A-11	-	欠損品	(1.1)	(1.0) (0.3)	0.3	黒曜石	片側を欠く	PL125
266	石鏃	5	B-11	-	欠損品	(1.6)	(1.1) (0.3)	(0.6)	黒曜石	石鏃破片	PL125
267	石鏃	5	B-11	-	欠損品	(1.8)	(0.9) (0.4)	(0.5)	黒曜石	石鏃の破片か	PL125
268	石鏃	5	B-11	-	欠損品	(1.7)	(1.0) (0.4)	(0.6)	黒曜石	石鏃破片	PL125
269	石鏃	5	表土	覆土	欠損品	(1.4)	(1.2) (0.3)	(0.5)	黒曜石	片側および先端部を欠く、側縁は直線的	PL125
270	石鏃	5	F-11	-	欠損品	(1.6)	(1.0) (0.3)	(0.5)	黒曜石	片側を欠く	PL125
271	石鏃	5	F-9	-	欠損品	(0.8)	(1.3) (0.3)	(0.3)	黒曜石	先端、基部を欠く	PL125
272	石鏃	5	G-12	-	欠損品	(1.1)	(0.9) (0.3)	(0.3)	黒曜石	脚部片	PL125
273	石鏃	5	F-10	-	欠損品	(0.9)	(0.8) (0.2)	(0.1)	黒曜石	脚部片	PL125
274	石鏃	5	C-10	-	欠損品	(0.9)	(0.9) (0.2)	(0.1)	黒曜石	脚部片か	PL125
275	石鏃	5	表土	覆土	欠損品	(1.6)	(0.6) (0.2)	(0.2)	黒曜石	基部片か	PL125
276	石鏃	5	表土	-	欠損品	(1.5)	(1.0) (0.3)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、脚部片	PL125
277	石鏃	5	B-11	-	欠損品	(1.1)	(0.9) (0.3)	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、脚部片	PL125
278	石鏃	5	F-10	-	欠損品	(1.3)	(1.0) (0.2)	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、片脚片	PL125
279	石鏃	5	G-11	-	欠損品	(1.2)	(0.8) (0.3)	(0.2)	黒曜石	凹基無茎の脚部片か	PL125
280	石鏃	5	D-11	-	欠損品	(1.7)	(1.0) (0.6)	(0.7)	黒曜石	先端部片と思われるが厚みあり	PL126
281	石鏃	5	A-11	-	欠損品	(1.2)	(1.4) (0.4)	0.5	黒曜石	不整形、石鏃の未製品か	PL126
282	石鏃	5	E-12	-	欠損品	(1.2)	(1.4) (0.3)	(0.5)	黒曜石	先端部片と思われるが、やや丸みあり	PL126
283	石鏃	5	A-11	-	欠損品	(1.0)	(1.3) (0.3)	0.4	黒曜石	先端部片か	PL126
284	石鏃	5	E-12	-	欠損品	(0.8)	(0.8) (0.3)	(0.1)	黒曜石	先端部または脚部片	PL126
285	石鏃	5	G-14	-	欠損品	(1.3)	(1.3) (0.4)	(0.7)	黒曜石	破損品か	PL126
286	石鏃	5	E-10	-	欠損品	(1.2)	(0.8) (0.3)	(0.3)	黒曜石	石鏃破損品か	PL126
287	石鏃	5	A-11	-	欠損品	(1.7)	(1.5) (0.5)	1.1	黒曜石	石鏃の未製品か	PL126
288	石鏃	5	H-10	-	欠損品	(1.5)	(1.1) (0.3)	(0.6)	黒曜石	平基無形鏃か、側縁が丸みを持ち、先端部を欠く	PL126
289	石鏃	5	G-12	-	欠損品	(1.6)	(1.1) (0.3)	(0.5)	黒曜石	石鏃の破損品と思われる	PL126
第235図-290	尖頭器	5	F-13	-	欠損品	(3.9)	(3.1) (1.1)	(8.5)	黒曜石	尖頭器の端部片か	PL126
291	石槍か	5	C-10	-	欠損品	(3.1)	(1.6) (0.9)	(4)	細粒輝石安山岩	端部片、やや厚みあり	PL126
第235図-292	石鏃	5	G-13	-	欠損品	(1.8)	1.3 (0.3)	(0.6)	黒曜石	T字状を呈す小形品	PL126
第235図-293	石鏃	5	E-11	-	欠損品	(1.6)	1.2 (0.2)	(0.4)	チャート	つまみ部は銀杏葉状、小形品で鏃部先端を欠く	PL126
294	石鏃	5	X-3	-	ほぼ完形	(1.5)	(1.5) (0.5)	(0.7)	黒曜石	つまみ部は菱形で鏃部細く、短い作り	PL126
第235図-295	石鏃	5	C-10	-	欠損品	(3.4)	2.7 (0.7)	(3.3)	珪質変質岩	T字状を呈す、鏃部断面菱形、先端部を欠く	PL126
第235図-296	石鏃	5	D-11	-	欠損品	2.6	2.4 (0.6)	(2.2)	黒色頁岩	つまみ部は銀杏葉状、鏃部先端部を欠く	PL126
第235図-297	石鏃	5	C-12	-	欠損品	(2.0)	1.1 (0.4)	(0.6)	黒曜石	T字状を呈すが、つまみ部小さい、鏃部先端欠く	PL126
第235図-298	石鏃	5	F-12	-	ほぼ完形	2.1	1.7 (0.4)	1.1	黒色安山岩	T字状、短めの鏃部は、断面やや扁平で摩擦	PL126
299	石鏃	5	G-10	-	完形	3.4	1.2 (0.8)	2.5	黒曜石	縦長剥片利用、鏃部の作りは粗く片側縁部調整	PL126
300	石鏃	5	Y-3	-	ほぼ完形	3.1	1.3 (0.9)	2.6	黒曜石	つまみ部の稜を刃直し調整、鏃部先端僅かに欠く	PL126
301	石鏃	5	A-12	-	完形	3.1	1.2 (0.5)	1.4	珪質変質岩	基部厚みを持ち、鏃状を呈す	PL126
第235図-302	石鏃	5	F-13	-	完形	2.7	1.2 (0.6)	1.4	黒曜石	鏃部は板状で短く尖る	PL126
303	石鏃	5	F-13	-	完形	2.8	1.3 (0.5)	1.9	黒曜石	板状の縦長剥片利用、鏃部の作りは粗い	PL126
304	石鏃	5	D-12	-	完形	2.4	1.2 (0.4)	0.9	黒曜石	つまみ部から先端にかけて稜を持ち、やや曲がる	PL126
305	石鏃	5	Y-3	-	ほぼ完形	2.1	0.9 (0.5)	0.8	黒曜石	棒状で鏃部は一縁のみの調整で粗い	PL126
第235図-306	石鏃	5	E-11	-	完形	2.8	0.8 (0.3)	1.1	チャート	棒状、つまみ部やや曲がりを持つ、鏃先端部摩擦	PL126
307	石鏃	5	C-10	-	完形	2.1	1.0 (0.4)	0.9	黒曜石	三角形のつまみ部、鏃部の作り出しは粗い	PL126
308	石鏃	5	D-12	-	完形	2.3	1.2 (0.5)	0.9	黒曜石	鏃部断面三角形で、刃部調整は僅か	PL126
309	石鏃	5	表土	-	完形	2.4	0.8 (0.6)	1.0	黒曜石	棒状で、断面三角	PL126
第235図-310	石鏃	5	Y-1	-	完形	2.5	0.7 (0.6)	0.9	黒曜石	やや角張った紡錘状を呈す	PL126
第235図-311	石鏃	5	D-10	-	完形	2.3	0.8 (0.5)	0.9	黒曜石	棒状、鏃部は半面に剥離成形	PL126
第235図-312	石鏃	5	F-13	-	完形	2.2	0.7 (0.5)	0.7	黒曜石	紡錘状、両端部尖る、石鏃の可能性あり	PL126
313	石鏃	5	G-14	-	完形	1.8	1.4 (0.3)	0.9	黒曜石	板状で、つまみ部は四角形を呈す、鏃部は短い	PL126
314	石鏃	5	D-10	-	完形	2.1	1.0 (0.6)	1.3	黒曜石	不定型なつまみ部に細く短い鏃部を持つ	PL126
第235図-315	石鏃	5	F-13	-	ほぼ完形	2.2	1.0 (0.4)	0.6	黒曜石	つまみ部長方形で鏃部やや曲がり、先端は尖る	PL126
第235図-316	石鏃	5	C-10	-	ほぼ完形	2.0	1.0 (0.4)	0.7	黒曜石	長方形のつまみ部、鏃部は短く刃部調整は粗い	PL126
第235図-317	石鏃	5	C-11	-	ほぼ完形	2.0	0.9 (0.5)	0.8	チャート	棒状で、鏃部分は短い	PL126
318	石鏃	5	A-12	-	ほぼ完形	1.9	0.9 (0.5)	0.9	黒曜石	棒状で、鏃部断面三角、両側に調整痕	PL126
319	石鏃	5	D-11	-	ほぼ完形	2.0	0.8 (0.6)	0.9	黒曜石	棒状で、鏃部の断面三角形	PL126
第235図-320	石鏃	5	表土	-	完形	3.8	0.5 (0.2)	0.3	黒曜石	棒状鏃、断面扁平で両端が尖る、石鏃か	PL126
第236図-321	石鏃	5	Y-3	No.143	完形	3.0	0.6 (0.4)	0.6	黒曜石	棒状、細身で作りは丁寧	PL126
第236図-322	石鏃	5	E-13	-	完形	2.8	0.6 (0.2)	0.4	黒曜石	棒状、細身で両端部尖る	PL126
第236図-323	石鏃	5	H-12	-	完形	2.3	0.7 (0.5)	0.7	黒曜石	紡錘状を呈す、角を打ち欠き断面は丸みを持つ	PL126
324	石鏃	5	E-10	-	ほぼ完形	2.3	0.7 (0.6)	0.9	黒曜石	角棒状を呈す、鏃部は短く先端部は尖る	PL126
第236図-325	石鏃	5	C-11	-	ほぼ完形	2.9	0.6 (0.5)	0.8	黒曜石	棒状で、鏃部縦半分を欠損	PL126
第236図-326	石鏃	5	G-11	-	完形	2.6	0.6 (0.5)	0.6	黒曜石	縦長剥片の一方を調整し鏃部作り出す	PL126
第236図-327	石鏃	5	B-11	-	完形	2.4	0.6 (0.5)	0.7	黒曜石	棒状、全面に剥離整形	PL126
328	石鏃	5	A-10	-	完形	2.0	0.6 (0.3)	0.4	黒曜石	棒状の小形品、鏃部先端摩擦	PL126
329	石鏃	5	E-10	-	ほぼ完形	1.8	0.8 (0.4)	0.6	黒曜石	やや曲がりを持つ鏃部	PL126
第236図-330	石鏃	5	W-6	-	完形	1.7	0.7 (0.5)	0.6	黒曜石	紡錘状を呈す小形品	PL126
第236図-331	石鏃	5	F-12	-	ほぼ完形	1.9	0.8 (0.6)	0.8	黒曜石	棒状でつまみ部分がやや太くなる	PL126
332	石鏃	5	B-11	-	ほぼ完形	1.8	0.8 (0.4)	0.5	黒曜石	三角鏃状、鏃部の作出は粗い	PL126
333	石鏃	5	B-11	-	完形	1.7	0.8 (0.6)	0.7	黒曜石	小形紡錘状、鏃部摩擦	PL126
第236図-334	石鏃	5	F-11	-	ほぼ完形	(2.1)	0.5 (0.3)	(0.4)	黒曜石	細身棒状小形品、やや曲がりを持ち、鏃先端部欠	PL126
第236図-335	石鏃	5	G-14	-	ほぼ完形	1.9	0.5 (0.3)	0.3	黒曜石	棒状で、一端を鏃部として作り出す	PL126
第236図-336	石鏃	5	B-11	-	完形	1.8	0.5 (0.3)	0.3	黒曜石	小形の棒状で鏃部断面は三角形	PL126
第236図-337	石鏃	5	表土	-	完形	1.8	0.7 (0.3)	0.4	黒曜石	やや短い棒状で、鏃部剥離調整	PL126
第236図-338	石鏃	5	Y-3	-	完形	2.0	0.8 (0.4)	0.4	黒曜石	紡錘状で両端部が細く尖る、片面平らである	PL126
339	石鏃	5	A-12	-	完形	1.6	0.7 (0.5)	0.5	黒曜石	小形の紡錘状	PL126
340	石鏃	5	表土	-	完形	1.6	0.8 (0.5)	0.5	黒曜石	小形紡錘状を呈す	PL126
341	石鏃	5	A-11	-	ほぼ完形	1.6	0.6 (0.3)	0.3	黒曜石	棒状の小形品	PL126
342	石鏃	5	B-11	-	ほぼ完形	1.6	0.6 (0.3)	0.3	黒曜石	棒状、鏃部の作出は粗い	PL126
第236図-343	石鏃	5	G-14	-	完形	1.9	0.6 (0.2)	0.2	黒曜石	小形紡錘状を呈す、作りはやや雑である	PL126
344	石鏃	5	B-12	-	ほぼ完形	1.5	0.6 (0.3)	0.4	黒曜石	棒状に作出された鏃部片か	PL126
345	石鏃	5	表土	-	完形	1.5	0.5 (0.4)	0.4	黒曜石	小形紡錘状を呈す	PL126
346	石鏃	5	E-12	-	完形	1.5	0.7 (0.4)	0.3	黒曜石	小形紡錘状を呈す、粗い作出	PL126

### 第3章 検出された遺構と遺物

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・高さ(cm)	重量(g)	石材	特徴	PLNo.
347	石錐	5	C-10	-	ほぼ完形	(1.6)	(0.6) 0.3	(0.2)	黒曜石	細い棒状で、側縁に若干の突起部残る	PL126
348	石錐	5	表土	覆土	ほぼ完形	2.5	0.9 0.4	0.8	黒曜石	棒状の剥片を利用、錐部使用痕	PL126
349	石錐	5	表土	-	欠損品	(2.2)	(1.0) (0.6)	(1.2)	黒曜石	紡錘状を呈す、先端部を欠く、錐の可能性もあり	PL126
350	石錐	5	表土	-	欠損品	(2.2)	1.7 0.5	(1.9)	珪質変質岩	扁平な円形の基部、錐部を欠損	PL127
351	石錐	5	B-12	-	欠損品	(2.0)	(1.4) (0.5)	(1.1)	黒曜石	石錐のつまみ部か	PL127
352	石錐	5	G-12	-	欠損品	(1.9)	(1.1) (0.4)	(0.8)	黒曜石	紡錘状を呈す、錐部を欠く	PL127
第236図-353	石錐	5	D-9	-	欠損品	(1.7)	1.1 0.4	(0.9)	黒曜石	上端部に自然面残す、先端部を欠く	PL127
354	石錐	5	E-11	-	欠損品	(2.0)	(1.2) (0.4)	(0.8)	黒曜石	やや扁平で、錐部も薄手、石錐の可能性あり	PL127
355	石錐	5	G-11	-	欠損品	(2.3)	(0.9) (0.6)	(1.2)	黒曜石	錐部の欠損品	PL127
第236図-356	石錐	5	F-12	-	欠損品	(2.2)	0.8 0.4	(0.9)	黒曜石	錐部、基部、先端を僅かに欠く	PL127
357	石錐	5	G-14	-	欠損品	(2.0)	(0.7) (0.5)	(0.4)	黒曜石	錐部の破損品か、断面三角で作りは粗い	PL127
358	石錐	5	表土	-	欠損品	(2.0)	(0.6) (0.5)	(0.6)	黒曜石	錐部片、断面三角形	PL127
359	石錐	5	F-10	-	欠損品	(1.6)	(0.8) (0.7)	(0.4)	黒曜石	錐部片	PL127
360	石錐	5	F-12	-	欠損品	(1.3)	(0.6) (0.2)	(0.2)	黒曜石	錐部片、断面は扁平	PL127
第236図-361	石錐	5	F-13	-	欠損品	(1.6)	0.6 0.5	(0.4)	黒曜石	紡錘状、錐部片か	PL127
362	石錐	5	A-12	-	欠損品	(1.6)	0.6 0.3	(0.2)	黒曜石	錐部片、断面三角形	PL127
363	石錐	5	F-11	-	欠損品	(1.5)	(0.6) (0.3)	(0.2)	黒曜石	錐部片か	PL127
364	石錐	5	E-9	-	欠損品	(1.3)	(0.8) (0.5)	(0.4)	黒曜石	錐部片か	PL127
365	石錐	5	C-10	-	欠損品	(1.4)	(0.7) (0.5)	(0.5)	黒曜石	断面三角の錐部片	PL127
366	石錐	5	D-11	-	欠損品	(1.2)	(0.7) (0.8)	(0.3)	黒曜石	錐部片か	PL127
367	石匙	5	F-9	-	欠損品	(1.7)	(1.4) 0.6	(1.2)	黒曜石	小形品と思われるが、石錐未製品の可能性あり	PL127
第236図-368	楔形石器	5	H-13	-	完形	2.0	2.3 0.8	4.6	チャート	ほぼ四角形を呈し、両側縁に刃部を作出	PL127
369	楔形石器	5	G-14	-	完形	2.5	2.5 0.8	5.6	チャート	対となる二辺に刃部を作り出す	PL127
370	楔形石器	5	表土	-	完形	5.4	3.9 1.0	36	黒色頁岩	四角形を呈し、両側縁部に刃部作出	PL127
371	楔形石器か	5	A-12	-	完形	5.5	2.9 1.2	21	珪質変質岩	両側縁、先端部薄く刃部を作出	PL127
372	楔形石器	5	E-10	-	完形	2.0	1.7 0.7	3.0	黒曜石	ほぼ四角形を呈し下縁部に弧状の刃部を作出	PL127
373	削器	5	E-11	-	完形	3.6	1.6 0.6	3.6	チャート	扁平な縦長剥片、先端は突状の刃部削出	PL127
374	掻器	5	F-13	-	ほぼ完形	(3.4)	(2.7) 1.4	(7.9)	黒曜石	縁辺部に粗く急角度の刃部作出	PL127
375	掻器	5	X-3	-	完形	3.1	2.1 0.8	4.7	黒色安山岩	なすび形で縁辺部に刃部作出	PL127
376	掻器	5	G-14	-	完形	3.0	2.5 1.0	6.3	黒曜石	縁辺部に急角度の刃部作出	PL127
377	掻器	5	E-10	-	完形	2.3	2.1 0.8	3.7	黒曜石	ほぼ全周に刃部を作る	PL127
378	掻器	5	G-13	-	完形	2.5	2.1 1.1	4.8	黒曜石	中央部が厚く、縁辺部は急角度の刃部作出	PL127
379	彫器	5	F-12	-	完形	3.0	0.8 0.7	1.7	黒曜石	刀子状で先端部尖り、角部分は細かな調整	PL127
第236図-380	装身具か	5	G-12	-	欠損品	(2.1)	(1.7) 0.4	(1.0)	黒曜石	鉤状を呈す、中央部に穿孔、破損品と思われる	PL127
381	鉤状石器	5	E-11	-	ほぼ完形	6.7	1.7 0.7	10	黒色安山岩	丁字状を呈し、側縁部に刃部を作出	PL127
382	二次加工片	5	E-10	-	完形	2.4	1.8 0.7	3.2	黒曜石	やや短い対辺に刃部作り出す	PL127
383	二次加工片	5	B-10	-	欠損品	(2.1)	(1.9) 0.7	2.1	黒曜石	石錐の未製品か	PL127
384	二次加工片	5	A-10	-	完形	2.5	1.7 0.6	1.9	黒曜石	石錐の未製品か	PL127
385	二次加工片	5	C-10	-	ほぼ完形	2.1	1.8 0.5	1.7	黒曜石	三角形を呈す、石錐の未製品か	PL127
386	二次加工片	5	表土	-	ほぼ完形	2.3	1.7 0.8	3.4	黒曜石	不定形片、両側縁に僅かに加工痕見られる	PL127
387	二次加工片	5	C-10	-	完形	2.0	1.5 0.6	1.8	黒曜石	縁辺部に両面剥離調整	PL127
388	二次加工片	5	F-12	-	ほぼ完形	2.4	1.8 0.5	2.0	黒曜石	不定形で一部に調整剥離あり	PL127
389	二次加工片	5	D-11	-	ほぼ完形	2.2	1.6 0.6	2.0	黒曜石	若干の調整が観察される	PL127
390	二次加工片	5	E-11	-	欠損品	(2.5)	(1.2) (0.6)	(2.0)	チャート	部分的な刃部作出、錐状の突起部があるが未調整	PL127
391	二次加工片	5	G-13	-	欠損品	(2.0)	(1.4) (0.5)	(1.6)	黒曜石	側縁の一部に調整痕	PL127
392	二次加工片	5	F-12	-	ほぼ完形	2.3	1.8 0.6	1.9	黒曜石	弧状を呈し、下縁部に刃部作出	PL127
393	二次加工片	5	B-10	-	欠損品	(2.1)	(1.4) 0.4	1.2	黒曜石	半円状で下縁部に刃部作出	PL127
394	二次加工片	5	C-10	-	欠損品	(1.8)	(1.2) (0.6)	(1.4)	黒曜石	弧状の刃部有す、斑晶見られる	PL127
395	二次加工片	5	D-10	-	ほぼ完形	2.2	1.8 0.4	1.5	黒曜石	菱形を呈し、対の2辺に刃部調整、石錐未製品か	PL127
396	二次加工片	5	表土	-	ほぼ完形	2.0	1.6 0.7	1.6	黒曜石	不定形片、僅かに刃部加工見られる	PL127
397	二次加工片	5	D-11	-	欠損品	(1.7)	(1.4) (0.6)	(1.8)	黒曜石	石錐の未製品か	PL127
398	二次加工片	5	表土	覆土	完形	2.9	1.6 0.9	2.8	黒曜石	基部厚く、円形の刃部を作り出す	PL127
399	二次加工片	5	E-10	-	ほぼ完形	2.0	1.0 0.6	1.0	黒曜石	石錐のつまみ部か	PL127
400	二次加工片	5	D-9	-	欠損品	(1.8)	(1.6) (0.4)	(0.9)	黒曜石	石錐の未製品か	PL127
401	二次加工片	5	X-9	-	完形	1.6	1.6 0.4	0.8	チャート	ほぼ四角形を呈し両側縁に刃部作出	PL127
402	二次加工片	5	G-11	-	完形	1.7	1.6 0.8	2.2	黒曜石	石核状の石片、側縁半分ほどに剥離調整	PL127
403	二次加工片	5	B-11	-	ほぼ完形	1.7	1.5 0.5	1.1	黒曜石	明瞭な刃部剥離は認められず	PL127
404	二次加工片	5	表土	覆土	欠損品	(2.2)	(1.9) 0.5	(2.2)	黒曜石	縁辺に調整痕、石錐未製品か	PL127
405	二次加工片	5	F-13	-	欠損品	(1.1)	(1.7) (0.6)	1.2	黒曜石	一部に刃部作出	PL127
406	二次加工片	5	F-12	-	ほぼ完形	1.6	1.5 0.7	1.4	黒曜石	小塊片、剥離調整見られる	PL127
407	二次加工片	5	F-13	-	ほぼ完形	2.0	1.5 0.5	1.2	黒曜石	丸みを持った縁辺部に刃部作出	PL127
408	二次加工片	5	H-13	-	ほぼ完形	1.7	1.5 0.5	1.1	黒曜石	石錐未製品の可能性あり	PL128
409	二次加工片	5	F-10	-	完形	1.9	1.7 0.6	1.7	黒曜石	下縁辺に刃部調整	PL128
410	二次加工片	5	F-12	-	ほぼ完形	1.8	1.2 0.3	0.5	黒曜石	石錐様を呈し、炭化物付着	PL128
411	二次加工片	5	B-10	-	完形	1.7	1.5 0.3	0.8	黒曜石	石錐の未製品または石錐の基部片か	PL128
412	二次加工片	5	B-11	-	ほぼ完形	1.6	1.0 0.7	1.2	黒曜石	小石核	PL128
413	二次加工片	5	Y-5	-	ほぼ完形	1.6	1.2 0.5	0.9	黒曜石	弧状の縁辺部に僅かな調整痕	PL128
414	二次加工片	5	B-10	-	欠損品	(1.6)	(1.2) 0.4	0.9	黒曜石	弧状の刃部作出	PL128
415	二次加工片	5	E-12	-	完形	1.4	1.1 0.5	0.8	黒曜石	小形掻器か、縁辺部に刃部作出	PL128
416	二次加工片	5	A-12	-	欠損品	(1.1)	(1.3) 0.4	0.5	珪質変質岩	側縁に僅かに剥離見られる、石錐の破片か	PL128
417	二次加工片	5	X-1	-	ほぼ完形	1.3	1.1 0.3	0.4	黒曜石	両側縁に刃部調整	PL128
418	二次加工片	5	G-13	-	欠損品	(1.2)	(1.3) (0.4)	(0.7)	黒曜石	石錐未製品の一部か	PL128
419	二次加工片	5	B-10	-	欠損品	(1.4)	(0.7) (0.3)	(0.3)	黒曜石	石錐の錐部片か	PL128
420	二次加工片	5	D-11	-	欠損品	(1.2)	(0.9) (0.3)	(0.3)	黒曜石	剥離調整の見られる小剥片	PL128
421	二次加工片	5	D-12	-	完形	1.2	1.2 0.3	0.4	黒曜石	剥離調整の見られる小剥片	PL128
422	打製石斧	5	D-10	-	ほぼ完形	21.6	11.7 3.6	861	細粒輝石安山岩	大形で片縁に挟りを有す、円刃	PL128
423	打製石斧	5	G-12	-	ほぼ完形	13.6	5.7 1.4	183	粗粒輝石安山岩	短冊形、基部近くに弱い挟り、円刃で摩耗	PL128
424	打製石斧	5	A-13	-	完形	13.0	6.0 3.5	311	細粒輝石安山岩	撥形、厚みあり、刃部は鈍角	PL128
425	打製石斧	5	F-12	-	ほぼ完形	12.8	5.4 1.8	132	細粒輝石安山岩	撥形、刃部の開きは弱い、刃部は薄く作出	PL128
426	打製石斧	5	E-12	-	完形	12.8	6.9 1.7	169	細粒輝石安山岩	側縁の形やや非対象、刃部摩耗	PL128
427	打製石斧	5	表土	-	完形	12.9	5.2 1.8	167	細粒輝石安山岩	短冊形、片側縁部のみ調整、粗い作り	PL128
428	打製石斧	5	表土	-	完形	11.6	3.9 1.1	74	細粒輝石安山岩	細長い短冊形、円刃で摩耗見られる	PL128
429	打製石斧	5	A-11	-	完形	13.2	5.5 2.2	204	細粒輝石安山岩	撥形、刃部偏刃、側縁に自然面	PL128
430	打製石斧	5	表土	-	完形	12.7	6.9 2.2	233	細粒輝石安山岩	撥形、円刃で刃部摩耗	PL128
431	打製石斧	5	F-13	-	完形	12.2	5.5 2.7	222	粗粒輝石安山岩	短冊形、中央部が厚く、基部上端に自然面	PL128
432	打製石斧	5	H-12	-	完形	12.1	5.8 1.8	136	細粒輝石安山岩	撥形、刃部丸みを持ち摩耗	PL128
433	打製石斧	5	Y-1	-	完形	12.5	5.4 2.1	168	細粒輝石安山岩	撥形、片面に大きく丸みを持つ自然面残す	PL128
434	打製石斧	5	G-12	-	ほぼ完形	(10.8)	6.0 1.7	(135)	細粒輝石安山岩	撥形、薄手の作り	PL128
435	打製石斧	5	X-1	11	完形	11.0	6.3 1.9	154	細粒輝石安山岩	分銅形、両刃部丸みを持つ、片面に自然面	PL128



### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
436	打製石斧	5	表土	No.1	完形	11.7	5.7 2.3	209	細粒輝石安山岩	表面に母岩自然面残す、刃部摩耗	PL128
437	打製石斧	5	A-12	-	ほぼ完形	10.8	5.8 1.8	140	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に大きく自然面残る、刃部摩耗	PL128
438	打製石斧	5	Y-6	-	完形	11.3	4.6 1.5	101	粗粒輝石安山岩	短冊形、片面に自然面残す、刃部摩耗	PL128
439	打製石斧	5	F-10	-	完形	12.6	5.5 2.4	191	細粒輝石安山岩	撥形、刃部やや厚く、摩耗見られる	PL128
440	打製石斧	5	H-12	-	ほぼ完形	11.3	5.8 1.3	96	黒色安山岩	撥形、全体に薄で作り、刃部摩耗	PL128
441	打製石斧	5	F-13	-	完形	11.6	4.3 1.2	68	細粒輝石安山岩	撥形、刃部の開きは弱い、刃部摩耗	PL128
442	打製石斧	5	B-12	-	ほぼ完形	10.6	5.7 2.0	165	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に大きく自然面	PL128
443	打製石斧	5	表土	-	完形	12.5	6.1 2.3	200	細粒輝石安山岩	撥形、刃部摩耗	PL128
444	打製石斧	5	X-4	-	完形	11.0	4.9 2.3	157	砂粒輝石安山岩	撥形、鈍角な刃部で摩耗顕著	PL128
445	打製石斧	5	X-3	-	完形	10.3	6.0 1.7	135	細粒輝石安山岩	撥形、片側縁部に自然面残す、粗い作り	PL128
446	打製石斧	5	D-10	-	完形	9.6	6.5 1.9	186	粗粒輝石安山岩	長さはなく、刃部やや幅を持つ、両面に自然面	PL128
447	打製石斧	5	X-3	-	完形	9.1	4.9 2.4	103	細粒輝石安山岩	やや小振りの短冊形、中央部厚く刃部は薄手作り	PL128
448	打製石斧	5	表土	-	完形	7.5	5.8 2.2	144	細粒輝石安山岩	丈が短い	PL128
449	打製石斧	5	B-11	-	ほぼ完形	9.5	5.5 1.7	133	細粒輝石安山岩	短冊形、直刃	PL128
450	打製石斧	5	Y-1	-	ほぼ完形	9.8	4.7 2.2	137	細粒輝石安山岩	短冊形、基部、刃部は丸みを持つ、刃部摩耗	PL128
451	打製石斧	5	X-3	-	ほぼ完形	10.9	4.9 1.5	87	粗粒輝石安山岩	やや小形の撥形、刃部一部を欠損、刃部摩耗	PL128
452	打製石斧	5	表土	-	ほぼ完形	10.3	5.1 2.1	220	粗粒輝石安山岩	短冊形、側縁の刃潰し顕著、刃部摩耗	PL128
453	打製石斧	5	表土	-	完形	9.0	5.1 1.5	89	デイスait	撥形、両面に自然面残す	PL129
454	打製石斧	5	G-12	-	完形	9.9	4.4 1.5	88	細粒輝石安山岩	短冊形、基部上端に自然面	PL129
455	打製石斧	5	F-13	-	ほぼ完形	10.2	4.7 1.1	67	細粒輝石安山岩	片面に大きく自然面、薄手作り、粗い作り	PL129
456	打製石斧	5	E-11	-	ほぼ完形	9.9	4.4 1.9	106	デイスait	短冊形、刃部摩耗	PL129
457	打製石斧	5	表土	-	完形	10.4	4.3 1.6	79	黒色頁岩	短冊形、刃部円くなる	PL129
458	打製石斧	5	表土	-	完形	9.4	4.4 2.3	116	細粒輝石安山岩	短冊形、基部厚手で刃部は薄手、刃部摩耗	PL129
459	打製石斧	5	F-12	-	ほぼ完形	9.1	4.6 1.4	73	細粒輝石安山岩	やや短く幅広い短冊形	PL129
460	打製石斧	5	F-12	-	完形	10.2	3.8 1.3	55	黒色安山岩	細身の撥形	PL129
461	打製石斧	5	G-12	-	完形	9.9	4.1 0.9	55	細粒輝石安山岩	撥形、細身の作り、刃部摩耗	PL129
462	打製石斧	5	Y-2	-	完形	9.2	4.5 1.8	106	黒色安山岩	短冊形、片面に自然面、刃部摩耗顕著	PL129
463	打製石斧	5	E-11	-	完形	8.9	5.1 1.9	96	細粒輝石安山岩	短冊であるが側縁部に弱い傾きあり、刃部摩耗	PL129
464	打製石斧	5	表土	-	ほぼ完形	8.5	4.9 1.9	79	黒色安山岩	撥形、刃部大きく開く	PL129
465	打製石斧	5	C-12	-	完形	7.8	4.8 1.2	67	細粒輝石安山岩	薄手の作り、刃部丸み持つ	PL129
466	打製石斧	5	A-10	-	完形	9.0	4.0 1.5	57	凝灰岩	小形の短冊形、刃部薄く作られる	PL129
467	打製石斧	5	F-12	-	ほぼ完形	8.9	4.2 1.4	62	黒色安山岩	側縁に弱い傾きが見られる	PL129
468	打製石斧	5	D-12	-	ほぼ完形	8.3	3.8 1.4	57	粗粒輝石安山岩	小型の短冊形	PL129
469	打製石斧	5	表土	-	完形	11.8	6.9 1.4	166	粗粒輝石安山岩	板状一次剥片利用、刃部丸み持つ	PL129
470	打製石斧	5	D-11	-	ほぼ完形	7.5	5.7 1.8	87	細粒輝石安山岩	円形で側縁部に刃部作出、スクレイパーか	PL129
471	打製石斧	5	F-11	-	ほぼ完形	8.0	4.8 1.2	67	細粒輝石安山岩	撥形、刃部直刃で摩耗顕著	PL129
472	打製石斧	5	C-12	-	完形	8.1	3.3 1.4	31	黒色頁岩	スクレイパーか	PL129
473	打製石斧	5	表土	-	ほぼ完形	4.0	2.9 0.7	11	頁岩	小形品、楔型石器か	PL129
474	打製石斧	5	E-13	-	刃部欠損	(12.1)	5.4 2.6	(205)	細粒輝石安山岩	基部に自然面、厚みがあり縦に後を持つ	PL129
475	打製石斧	5	F-11	-	刃部欠損	(10.9)	4.5 2.0	(135)	細粒輝石安山岩	短冊形、片面に平らな自然面残る	PL129
476	打製石斧	5	E-12	-	刃部欠損	10.1	4.8 1.7	105	細粒輝石安山岩	撥形、刃部の開きは弱い	PL129
477	打製石斧	5	表土	-	基部欠損	(8.0)	6.3 1.0	(85)	細粒輝石安山岩	撥形か、薄手の刃部片、円刃で摩耗顕著	PL129
478	打製石斧	5	E-12	-	基部欠損	(8.5)	5.2 3.0	(176)	粗粒輝石安山岩	厚みがあるが、刃部は薄く作出される	PL129
479	打製石斧	5	D-11	-	基部欠損	(8.7)	6.2 1.5	(124)	細粒輝石安山岩	分銅形か、刃部丸みを持ち、摩耗	PL129
480	打製石斧	5	H-11	-	基部欠損	(7.4)	6.3 1.5	(93)	細粒輝石安山岩	薄手で刃部幅広い、摩耗見られる	PL129
481	打製石斧	5	表土	-	基部欠損	(7.7)	5.9 1.0	(72)	黒色頁岩	やや扁平な作り、基部片か	PL129
482	打製石斧	5	Y-1	-	基部欠損	(7.7)	5.3 1.8	(107)	細粒輝石安山岩	撥形、直刃	PL129
483	打製石斧	5	表土	-	基部欠損	(8.2)	5.4 1.8	(112)	凝灰岩	円刃、やや摩耗	PL129
484	打製石斧	5	A-10	-	基部欠損	(6.4)	6.1 1.8	(95)	細粒輝石安山岩	刃部片、若干の摩耗あり	PL129
485	打製石斧	5	D-12	-	基部欠損	(6.2)	6.8 0.9	(66)	細粒輝石安山岩	板状で薄手の作り、刃部摩耗	PL129
486	打製石斧	5	D-9	-	基部欠損	(6.6)	6.6 1.5	(92)	頁岩	片面に自然面	PL129
487	打製石斧	5	X-4	-	基部欠損	(7.0)	4.6 1.3	(55)	デイスait	短冊形、刃部摩耗	PL129
488	打製石斧	5	D-11	-	欠損品	7.1	(5.4) 1.4	(82)	細粒輝石安山岩	スクレイパーの可能性あり	PL129
489	打製石斧	5	Y-9	-	基部欠損	(6.7)	4.9 2.1	(92)	デイスait	刃部片、片面に自然面	PL129
490	打製石斧	5	表土	-	基部欠損	(6.1)	5.4 1.4	(57)	黒色頁岩	刃部若干摩耗	PL129
491	打製石斧	5	B-11	-	基部欠損	(5.1)	6.0 1.4	(69)	細粒輝石安山岩	やや幅広い刃部片、摩耗	PL129
492	打製石斧	5	C-11	-	基部欠損	5.0	6.4 1.8	74	細粒輝石安山岩	幅広い刃部片	PL129
493	打製石斧	5	表土	-	基部欠損	(8.5)	5.9 2.2	(166)	細粒輝石安山岩	幅広い短冊形か、表裏に自然面、円刃	PL129
494	打製石斧	5	表土	-	基部欠損	(6.3)	5.2 1.3	(58)	細粒輝石安山岩	撥形、刃部先端が薄くなる	PL129
495	打製石斧	5	G-10	-	刃部片	(5.0)	4.8 0.9	(31)	細粒輝石安山岩	薄手作りの刃部	PL129
496	打製石斧	5	Y-1	-	基部欠損	(6.0)	3.1 1.0	(31)	細粒輝石安山岩	短冊形、やや小形の製品	PL129
497	打製石斧	5	E-13	-	刃部片	(5.9)	4.5 1.4	(33)	細粒輝石安山岩	摩耗見られる	PL129
498	打製石斧	5	H-11	-	刃部片	(4.2)	4.6 1.3	(29)	流紋岩	スクレイパーの可能性あり、刃部作出細かい	PL129
499	打製石斧	5	F-11	-	刃部片	(9.6)	(4.7) 2.2	(141)	粗粒輝石安山岩	大形打製石斧の刃部片か、片面に自然面	PL129
500	打製石斧	5	B-10	-	刃部欠損	(7.0)	4.8 1.2	(56)	細粒輝石安山岩	撥形の刃部片、摩耗顕著	PL129
501	打製石斧	5	E-13	-	刃部欠損	(9.2)	5.7 1.9	(126)	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に自然面	PL129
502	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(8.5)	5.3 1.9	(91)	細粒輝石安山岩	刃部に向かってやや広がる	PL129
503	打製石斧	5	C-10	-	刃部欠損	(9.6)	5.5 2.3	(161)	細粒輝石安山岩	片面に自然面残す	PL129
504	打製石斧	5	H-12	-	刃部欠損	(8.8)	4.9 2.0	(126)	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に平らな自然面	PL129
505	打製石斧	5	G-13	-	刃部欠損	(9.4)	4.9 2.5	(146)	細粒輝石安山岩	片面に丸みを持つ自然面残る	PL129
506	打製石斧	5	H-12	-	刃部欠損	(9.3)	5.5 1.4	(101)	細粒輝石安山岩	短冊形、粗い作り、刃部摩耗	PL129
507	打製石斧	5	A-11	-	刃部欠損	(8.8)	5.2 1.2	(77)	細粒輝石安山岩	刃部・基部共に欠く、薄手の作り	PL129
508	打製石斧	5	B-12	-	刃部欠損	(9.5)	4.3 1.4	(80)	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部摩耗、一部を欠損	PL129
509	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(8.8)	4.5 1.6	(96)	細粒輝石安山岩	短冊形、基部端部に自然面	PL129
510	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(7.9)	5.0 1.4	(103)	粗粒輝石安山岩	多孔質の表面荒れた石材を使用	PL130
511	打製石斧	5	E-10	-	刃部欠損	(7.7)	6.1 1.4	(106)	粗粒輝石安山岩	板状の礫利用、両面に自然面残す	PL130
512	打製石斧	5	G-13	-	刃部欠損	(7.3)	4.8 1.7	(86)	細粒輝石安山岩	短冊形、基部も欠損か	PL130
513	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(7.1)	5.7 2.7	(167)	緑色凝灰岩	片面に丸みを有す自然面残す	PL130
514	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(7.5)	5.8 1.3	(82)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用の基部片	PL130
515	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(7.0)	4.6 1.1	(53)	細粒輝石安山岩	薄手の作り	PL130
516	打製石斧	5	A-12	-	刃部欠損	(9.4)	4.4 1.5	(81)	黒色頁岩	横に曲がった不定形	PL130
517	打製石斧	5	B-11	-	刃部欠損	(8.3)	4.3 1.2	(46)	細粒輝石安山岩	小型で作りは粗い	PL130
518	打製石斧	5	D-12	-	刃部欠損	(8.2)	4.4 2.0	(90)	細粒輝石安山岩	短冊形、粗い作り	PL130
519	打製石斧	5	F-13	-	刃部欠損	(8.4)	4.6 1.0	(44)	細粒輝石安山岩	撥形、薄手の作り	PL130
520	打製石斧	5	D-11	-	刃部欠損	(6.7)	4.9 1.9	(97)	デイスait質凝灰岩	短冊形か	PL130
521	打製石斧	5	F-12	-	刃部欠損	(9.1)	4.6 1.2	(58)	細粒輝石安山岩	やや薄手の作り、片面に自然面	PL130
522	打製石斧	5	Y-1	-	刃部欠損	(6.2)	4.0 1.9	(64)	細粒輝石安山岩	被熱した基部片	PL130
523	打製石斧	5	A-12	-	刃部欠損	(7.4)	3.8 2.0	(58)	黒色安山岩	細身でやや厚みあり	PL130
524	打製石斧	5	F-10	-	刃部欠損	(7.6)	4.8 2.0	(69)	デイスait質凝灰岩	やや反りを持つ	PL130
525	打製石斧	5	A-12	-	刃部欠損	(6.9)	4.1 1.5	(54)	黒色安山岩	短冊形、側縁部は薄く仕上げられる	PL130

### 第3章 検出された遺構と遺物

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ (cm)	重量 (g)	石材	特徴	PLNo.
526	打製石斧	5	F-13	-	刃部欠損	(6.6)	5.0 1.9	(85)	細粒輝石安山岩	全体に摩耗する、刃部の可能性あり	PL130
527	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(6.3)	5.5 2.0	(115)	細粒輝石安山岩	両側縁の刃潰し丁寧	PL130
528	打製石斧	5	A-11	-	刃部欠損	(9.1)	4.7 1.5	(92)	細粒輝石安山岩	やや細長い分銅形、全体に風化	PL130
529	打製石斧	5	E-12	-	刃部欠損	(7.1)	5.6 1.5	(90)	細粒輝石安山岩	基部も欠損	PL130
530	打製石斧	5	F-12	-	刃部欠損	(6.7)	4.9 1.3	(44)	細粒輝石安山岩	基部片か	PL130
531	打製石斧	5	B-11	-	刃部欠損	(5.7)	5.3 1.6	(63)	細粒輝石安山岩	刃部の可能性あり	PL130
532	打製石斧	5	E-11	-	刃部欠損	(5.4)	5.6 1.4	(54)	細粒輝石安山岩	打製石斧の基部片か、風化が著しい	PL130
533	打製石斧	5	G-13	-	刃部欠損	(6.5)	4.1 1.6	(48)	凝灰岩	撥形か	PL130
534	打製石斧	5	A-11	-	刃部欠損	(6.7)	4.3 1.2	(52)	細粒輝石安山岩	基部上端に自然面	PL130
535	打製石斧	5	F-12	-	刃部欠損	(6.6)	(5.1) 1.9	(62)	細粒輝石安山岩	分銅形の基部部分か	PL130
536	打製石斧	5	H-12	-	刃部欠損	(5.2)	4.8 1.7	(59)	緑色凝灰岩	基部片、側縁は平行	PL130
537	打製石斧	5	B-11	-	刃部欠損	(6.0)	4.8 1.5	(68)	粗粒輝石安山岩	短冊形か	PL130
538	打製石斧	5	E-11	-	刃部欠損	(6.2)	5.1 2.5	(91)	細粒輝石安山岩	粗い作りの基部片	PL130
539	打製石斧	5	A-12	-	刃部欠損	(6.2)	4.3 1.4	(56)	黒色安山岩	片面に自然面残す	PL130
540	打製石斧	5	C-11	-	刃部欠損	5.6	3.5 1.1	35	黒色安山岩	小型品、粗い作り	PL130
541	打製石斧	5	表土	-	刃部欠損	(5.5)	5.8 0.9	(56)	粗粒輝石安山岩	板状、刃部・基部共に欠く	PL130
542	打製石斧	5	E-10	-	刃部欠損	(4.3)	4.4 1.3	(37)	細粒輝石安山岩	基部・刃部を欠く、やや薄手の作り	PL130
543	打製石斧	5	E-11	-	刃部欠損	(4.5)	3.5 1.4	(34)	細粒輝石安山岩	基部片	PL130
544	打製石斧	5	G-10	-	刃部欠損	(5.4)	3.7 0.7	(17)	細粒輝石安山岩	薄手の小型品	PL130
545	打製石斧	5	C-11	-	刃部欠損	(4.8)	4.3 1.1	(32)	黒色安山岩	薄手の作り	PL130
546	打製石斧	5	X-1	-	刃部欠損	(3.7)	2.0 0.5	(5)	細粒輝石安山岩	小形打製石斧基部片か	PL130
547	磨製石斧	5	E-10	-	完形	9.5	6.5 3.0	360	蛇紋岩	刃部、基部とも摩耗著しい、基部欠損後再利用	PL130
548	磨製石斧	5	A-10	-	ほぼ完形	3.3	1.4 0.6	4.2	蛇紋岩	小形磨製石斧、基・刃部わずかに欠損、やや風化	PL130
549	磨製石斧	5	E-12	-	刃部欠損	14.5	6.5 3.0	442	細粒輝石安山岩	定角式で丁寧な作り、刃部わずかに欠損	PL130
550	磨製石斧	5	E-12	-	刃部欠損	11.3	4.0 2.2	191	蛇紋岩	細身の定角式、刃部を欠き、表面やや風化	PL130
551	磨製石斧	5	E-11	-	刃部欠損	(9.3)	4.7 2.0	(152)	蛇紋岩	定角式で丁寧な作り、刃部を大きく欠く	PL130
552	磨製石斧	5	F-12	-	刃部欠損	8.6	4.5 2.6	183	細粒輝石安山岩	側縁部やや丸みを持つ、刃部を欠く	PL130
553	磨製石斧	5	C-11	-	基部欠損	(2.2)	1.0 0.4	(19)	蛇紋岩	小形定角式、基部を欠損、丁寧な作り	PL130
554	磨製石斧	5	G-10	-	刃部欠損	(6.4)	3.8 1.5	(63)	蛇紋岩	側縁部はやや丸み、中型品	PL130
555	磨製石斧	5	G-12	-	刃部欠損	(1.5)	(1.5) 0.5	(1.6)	蛇紋岩	小形定角式、基部片	PL130
556	磨製石斧	5	D-11	-	破損品	(4.1)	5.1 2.8	(115)	蛇紋岩	基部・刃部共に欠く、風化著しい	PL130
557	磨製石斧	5	G-11	-	基部片	(2.9)	(2.9) (1.1)	(14)	蛇紋岩	基部の端部片	PL130
558	スクレイパー	5	W-6	-	完形	9.8	6.2 1.4	89	細粒輝石安山岩	台形を呈す、片面に自然面、下辺部に直刃部作出	PL130
559	スクレイパー	5	E-9	-	ほぼ完形	8.5	5.9 1.8	75	黒色安山岩	下辺に刃部作出	PL130
560	スクレイパー	5	D-10	-	完形	8.4	5.3 0.9	45	細粒輝石安山岩	横型、薄手で下辺を刃部とする	PL130
561	スクレイパー	5	A-12	-	ほぼ完形	7.5	3.7 1.2	33	黒色安山岩	横型、下辺部に直線的な刃部作出	PL130
562	スクレイパー	5	A-12	-	完形	2.1	1.7 0.5	1.7	黒曜石	5角形で全辺に刃部作出	PL130
563	スクレイパー	5	E-10	-	完形	2.0	1.2 0.4	0.9	黒曜石	半円形の剥片、弧状部に刃部作出	PL130
564	スクレイパー	5	A-10	-	ほぼ完形	2.9	1.3 0.4	1.8	黒曜石	刀状の小剥片の端部に刃部作出	PL130
565	スクレイパー	5	C-10	-	完形	5.2	4.4 1.0	35	黒色安山岩	円刃で上端に挟みあり	PL130
566	スクレイパー	5	B-12	-	完形	7.2	3.9 1.1	27	黒色安山岩	横型で、刀状の側縁に刃部作出	PL130
567	スクレイパー	5	Y-1	-	完形	5.6	3.6 0.6	11	細粒輝石安山岩	台形を呈し、薄手で下辺に刃部作出	PL130
568	スクレイパー	5	Y-1	-	完形	5.2	4.0 1.1	22	頁岩	台形を呈す	PL130
569	礫器	5	X-2	-	完形	12.5	7.5 4.5	538	細粒輝石安山岩	不定形な礫、一縁に荒削りで作出された刃部を持つ	PL131
570	磨石	5	B-12	-	ほぼ完形	14.0	13.1 4.2	1166	石英閃緑岩	扁平な礫利用、両面使用面とし平滑、側縁に打痕	PL131
571	磨石	5	B-11	-	完形	13.8	9.0 4.1	839	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、両面使用、打痕の浅い凹みあり	PL131
572	磨石	5	W-7	-	完形	13.8	10.7 3.9	971	石英閃緑岩	やや扁平な礫利用、両面使用、側縁に打痕	PL131
573	磨石	5	B-11	-	完形	20.0	7.8 6.4	1891	粗粒輝石安山岩	大形の棒状礫、両面使用、端部に若干の打痕	PL131
574	磨石	5	Y-7	-	完形	16.3	8.7 4.3	806	デイサイト	扁平な長円礫利用、両面使用	PL131
575	磨石	5	C-11	-	ほぼ完形	16.5	8.5 4.5	1021	粗粒輝石安山岩	扁平な長円礫利用、両面使用、平滑、端部に打痕	PL131
576	磨石	5	X-3	-	完形	14.9	9.0 6.6	1317	粗粒輝石安山岩	長円形の礫、端部に打痕あり	PL131
577	磨石	5	C-10	-	完形	15.4	6.6 4.3	737	石英閃緑岩	長円礫利用、両端部に打痕	PL131
578	磨石	5	Y-3	-	完形	14.8	8.3 4.9	1047	粗粒輝石安山岩	長円礫利用、使用面平滑	PL131
579	磨石	5	A-12	-	完形	13.9	8.0 4.1	667	細粒輝石安山岩	扁平な長円礫、両面使用し平滑	PL131
580	磨石	5	C-10	-	完形	13.9	8.0 5.3	804	粗粒輝石安山岩	長円礫利用	PL131
581	磨石	5	W-8	-	完形	13.0	8.1 3.5	599	粗粒輝石安山岩	やや扁平な礫利用、両面使用面とし平滑	PL131
582	磨石	5	H-11	-	完形	14.1	6.8 4.4	659	粗粒輝石安山岩	長円礫、両面に浅い凹み見られる	PL131
583	磨石	5	X-1	-	完形	12.7	8.3 4.3	637	粗粒輝石安山岩	扁平礫、両面に浅い凹み	PL131
584	磨石	5	X-3	-	完形	12.1	8.5 5.2	866	粗粒輝石安山岩	やや扁平な礫、表裏に凹み穴、両端部に打痕	PL131
585	磨石	5	X-2	-	完形	12.5	10.2 4.9	912	粗粒輝石安山岩	やや扁平な礫、両面使用平滑、浅い凹み一対	PL131
586	磨石	5	H-11	-	完形	12.1	8.1 4.1	734	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、表面に煤の付着顕著	PL131
587	磨石	5	X-3	-	完形	11.5	7.8 4.2	603	デイサイト	扁平な礫利用、両面使用で平滑表面に鉄分沈着	PL131
588	磨石	5	D-10	-	完形	11.9	9.9 7.0	1229	粗粒輝石安山岩	やや大きい円礫、使用面平滑	PL131
589	磨石	5	W-6	-	完形	12.0	10.6 5.7	1053	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫利用、両面使用、側縁部に打痕	PL131
590	磨石	5	B-11	-	完形	11.0	10.1 9.6	1556	粗粒輝石安山岩	やや大形の円礫、全面平滑	PL131
591	磨石	5	D-12	-	完形	11.6	9.0 6.1	1019	粗粒輝石安山岩	やや大きめの礫利用、使用面平滑	PL131
592	磨石	5	D-12	-	ほぼ完形	12.1	9.5 5.2	888	石英閃緑岩	使用面平滑、端部打痕あり、被熱	PL131
593	磨石	5	Y-4	-	完形	11.2	8.0 6.2	879	粗粒輝石安山岩	依形の礫利用、使用面平滑、端部に打痕	PL131
594	磨石	5	X-3	-	完形	11.1	9.4 3.8	657	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫、表裏に浅い凹みあり、被熱	PL132
595	磨石	5	E-10	-	ほぼ完形	10.8	9.5 7.4	1158	粗粒輝石安山岩	表面平滑、端部に打痕あり	PL132
596	磨石	5	X-4	-	完形	10.7	9.0 5.2	812	粗粒輝石安山岩	やや扁平な礫利用、両面使用	PL132
597	磨石	5	G-13	-	完形	10.9	9.5 5.9	866	石英閃緑岩	やや扁平な礫利用、熱を受け表面一部剥落	PL132
598	磨石	5	D-11	-	完形	9.6	9.0 7.2	886	粗粒輝石安山岩	円礫利用、使用面平滑	PL132
599	磨石	5	D-11	-	完形	10.0	8.3 7.0	760	粗粒輝石安山岩	円礫利用、使用面平滑	PL132
600	磨石	5	A-11	-	ほぼ完形	10.3	6.7 5.7	590	石英閃緑岩	卵形の礫利用、両端部打撃による欠損か	PL132
601	磨石	5	X-3	-	完形	9.3	8.5 8.1	879	粗粒輝石安山岩	円礫利用、やや平坦部を使用面とし平滑	PL132
602	磨石	5	H-12	-	完形	9.9	8.5 4.4	590	石英閃緑岩	やや扁平な円礫利用、両面使用で平滑、打痕あり	PL132
603	磨石	5	H-12	-	完形	10.3	8.2 4.6	613	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫利用、使用面平滑	PL132
604	磨石	5	X-3	-	完形	11.1	7.4 3.4	476	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、両面使用、端部に打痕	PL132
605	磨石	5	D-12	-	完形	10.3	7.5 5.5	631	粗粒輝石安山岩	やや不定形な礫利用、端部に打痕あり	PL132
606	磨石	5	D-12	-	完形	9.5	8.2 3.0	358	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫利用、使用面平滑	PL132
607	磨石	5	X-3	-	完形	10.8	7.4 3.6	411	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用	PL132
608	磨石	5	B-11	-	完形	11.2	5.4 5.5	430	粗粒輝石安山岩	三角棒状で平坦な1面に凹穴を持つ	PL132
609	磨石	5	X-2	-	完形	9.2	6.9 2.5	207	安山岩か	扁平な楕円礫、表面風化し被熱	PL132
610	磨石	5	X-3	-	完形	9.5	8.8 6.7	857	粗粒輝石安山岩	円礫、使用面平滑	PL132
611	磨石	5	D-12	-	ほぼ完形	9.7	7.4 5.3	589	石英閃緑岩	表面の打痕顕著	PL132
612	磨石	5	D-9	-	完形	9.5	6.5 3.2	321	粗粒輝石安山岩	扁平な長円礫利用、使用面平滑	PL132
613	磨石	5	表土	-	完形	8.8	8.0 3.5	388	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫利用、両面使用	PL132
614	磨石	5	X-3	-	完形	9.6	6.2 3.2	303	粗粒輝石安山岩	扁平な楕円礫、使用面平滑	PL132



### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
615	磨石	5	G-13	-	完形	8.6 7.9 6.4	614	緑色凝灰岩	円礫利用、全面平滑	PL132
616	磨石	5	D-12	-	完形	9.0 7.7 3.9	406	粗粒輝石安山岩	扁平礫利用、一面に浅い凹穴あり	PL132
617	磨石	5	X-3	-	完形	8.4 8.1 3.6	372	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫利用、表面平滑	PL132
618	磨石	5	B-11	-	完形	9.2 5.6 3.8	311	粗粒輝石安山岩	卵形の礫利用、平坦面を使用し平滑	PL132
619	磨石	5	X-3	-	完形	7.9 7.0 4.2	318	粗粒輝石安山岩	不定型な礫利用	PL132
620	磨石	5	E-13	-	完形	1.1 8.1 4.7	561	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫利用、両面に浅い凹穴	PL132
621	磨石	5	E-12	-	ほぼ完形	11.0 6.5 4.1	528	石英閃緑岩	長方形を呈す礫、表面に剥離顕著	PL132
622	磨石	5	B-11	-	完形	6.9 6.7 4.3	293	粗粒輝石安山岩	小円礫利用、使用面平滑	PL132
623	磨石	5	C-11	-	完形	6.3 5.5 4.4	205	粗粒輝石安山岩	小円礫利用	PL132
624	磨石	5	Y-2	-	完形	7.8 6.7 3.0	226	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、使用面平滑	PL132
625	磨石	5	D-11	-	完形	6.6 6.0 5.0	266	粗粒輝石安山岩	小円礫利用、使用面平滑	PL132
626	磨石	5	表土	-	完形	11.8 8.3 4.1	625	石英閃緑岩	扁平礫、両面使用、両面に浅い凹み	PL132
627	磨石	5	表土	-	完形	17.6 14.1 6.0	2130	粗粒輝石安山岩	両面利用、台石として使用か	PL133
628	磨石	5	E-11	-	完形	6.6 5.7 3.1	176	粗粒輝石安山岩	小礫利用、使用面平滑	PL133
629	磨石	5	Y-1	-	完形	7.7 6.2 3.4	235	粗粒輝石安山岩	扁平な楕円礫、使用面平滑	PL133
630	磨石	5	C-10	-	欠損品	(7.1) (4.6) 5.0	161	デイサイト質凝灰岩	卵形、被熱し、半分に割れている	PL133
631	磨石	5	X-4	-	欠損品	(6.2) 6.5 4.3	(233)	粗粒輝石安山岩	両面に浅い凹穴有す、被熱	PL133
632	磨石	5	A-11	-	完形	7.1 6.0 4.4	271	粗粒輝石安山岩	小円礫利用、使用面平滑	PL133
633	磨石	5	X-3	-	完形	6.3 5.2 5.0	221	粗粒輝石安山岩	卵形の円礫	PL133
634	磨石	5	A-12	-	欠損品	6.9 6.7 (4.2)	(261)	粗粒輝石安山岩	破損品、被熱	PL133
635	磨石	5	F-9	-	欠損品	(7.2) 9.3 4.3	(360)	緑色凝灰岩	凹石としても利用か、両面に凹穴、使用面平滑	PL133
636	磨石	5	B-11	-	欠損品	(14.1) (8.1) 4.2	(790)	粗粒輝石安山岩	やや大形で扁平な礫利用、両面平滑	PL133
637	磨石	5	Y-2	-	欠損品	(14.1) 10.1 8.6	(1632)	粗粒輝石安山岩	大形礫半分欠く、表裏面平滑で側縁に打痕、被熱	PL133
638	磨石	5	C-12	-	欠損品	(10.3) (8.3) 5.4	(640)	粗粒輝石安山岩	やや大形の扁平礫、使用面平滑、被熱	PL133
639	磨石	5	X-1	-	欠損品	(7.7) 8.8 6.4	(608)	粗粒輝石安山岩	やや大きい円礫利用、使用面平滑	PL133
640	磨石	5	X-3	-	欠損品	(7.3) 7.4 4.4	(394)	粗粒輝石安山岩	やや扁平な依形、表裏、側面に使用痕、凹み穴あり	PL133
641	磨石	5	D-11	-	欠損品	(8.3) 5.4 4.0	(211)	粗粒輝石安山岩	卵形の礫利用、表面に若干の打痕	PL133
642	磨石	5	C-11	-	欠損品	(9.9) 7.4 3.2	(363)	粗粒輝石安山岩	扁平礫、片面極めて平滑、表裏面浅い凹穴あり	PL133
643	磨石	5	B-10	-	欠損品	(8.7) 6.6 3.9	(402)	粗粒輝石安山岩	やや扁平な長円礫利用、両面使用	PL133
644	磨石	5	Y-3	-	欠損品	(11.3) 6.0 3.0	(310)	粗粒輝石安山岩	長円礫利用、片面に浅い凹穴を有す	PL133
645	磨石	5	C-11	-	欠損品	(8.0) 5.8 2.8	(185)	緑色凝灰岩	先端部細くなる、小さい凹穴有す	PL133
646	磨石	5	X-1	-	欠損品	(8.2) 5.4 2.0	(149)	粗粒輝石安山岩	扁平な長円礫、被熱	PL133
647	磨石	5	D-10	-	欠損品	(8.6) 7.5 4.5	(409)	粗粒輝石安山岩	カマボコ状を呈す、表裏、側縁共に使用され平滑	PL133
648	磨石	5	D-10	-	欠損品	(6.0) 8.2 3.5	(199)	粗粒輝石安山岩	やや扁平な礫利用	PL133
649	磨石	5	A-11	-	欠損品	(7.6) 6.2 2.6	(197)	粗粒輝石安山岩	扁平な長円礫、両面に浅く凹み穴有す	PL133
650	磨石	5	X-3	-	欠損品	(6.8) 6.9 4.3	(318)	石英閃緑岩	やや扁平な依形、打痕顕著で被熱	PL133
651	凹石	5	B-10	-	完形	10.1 9.0 5.3	347	多孔質安山岩	面の粗い礫利用、一面に大きな凹穴を持つ	PL133
652	凹石	5	Y-3	-	完形	10.1 6.1 4.5	387	粗粒輝石安山岩	依形の礫の表裏に一つずつの凹穴、被熱	PL133
653	凹石	5	C-10	-	欠損品	(11.8) 6.7 3.2	(356)	粗粒輝石安山岩	両面に2か所ずつの凹穴、被熱	PL133
654	凹石	5	D-11	-	欠損品	(5.9) 6.6 3.6	(182)	粗粒輝石安山岩	両面に複数の凹穴、端部に打痕あり	PL133
655	凹石	5	X-3	-	欠損品	(6.7) 7.3 3.0	(221)	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、中央部に浅く凹み穴	PL133
656	敲石	5	X-1	-	完形	13.0 4.2 3.8	335	粗粒輝石安山岩	棒状礫、端部に打痕	PL133
657	敲石	5	A-12	-	ほぼ完形	12.1 5.7 4.7	444	粗粒輝石安山岩	棒状礫、側縁、両端部に打痕	PL133
658	敲石	5	D-10	-	欠損品	(11.5) 6.5 5.5	(585)	細粒輝石安山岩	棒状礫利用、端部に打痕	PL133
659	石皿	5	Y-2	-	完形	22.5 22.0 7.3	5000	粗粒輝石安山岩	大形の扁平円礫利用、平坦面を使用し平滑	PL133
660	石皿	5	Y-3	-	完形	26.0 15.0 7.0	2700	緑色凝灰岩	やや大形長円礫の表面を浅く凹めて使用面とする	PL133
661	石皿	5	Y-3	-	欠損品	(12.1) 13.6 6.1	(1200)	粗粒輝石安山岩	両脇が高く手前は平ら、裏面に凹穴有す	PL134
662	石皿	5	表土	-	欠損品	(18.9) (15.5) 8.0	(3840)	粗粒輝石安山岩	不定形礫利用、使用面凹む	PL134
663	石皿	5	D-10	-	欠損品	(12.3) (9.5) 5.2	(826)	粗粒輝石安山岩	使用面平滑、被熱	PL134
664	台石	5	D-11	-	破損品	(17.5) (17.0) 4.9	(1988)	粗粒輝石安山岩	扁平な礫、片面に大きく凹み穴を有す、被熱	PL134
665	台石	5	表土	-	欠損品	(20.3) (13.7) 5.1	(2020)	細粒輝石安山岩	扁平な礫、両面使用、被熱	PL134
666	多孔石	5	X-3	-	完形	21.5 14.0 14.8	4400	粗粒輝石安山岩	不定型な自然礫利用、一部の面に複数の凹み穴	PL134
667	多孔石	5	Y-3	-	完形	24.5 23.0 17.0	6800	粗粒輝石安山岩	表面に10数個、裏面にも10個程の凹穴を持つ	PL134
668	多孔石	5	Y-4	-	完形	20.0 18.0 10.0	3400	粗粒輝石安山岩	扁平でやや丸みを持った自然礫、表に複数の凹穴	PL134
669	多孔石	5	表土	惣体ナマド	完形	27.0 17.2 11.5	6370	粗粒輝石安山岩	自然礫利用、両面に凹み穴	PL134
670	多孔石	5	E-11	-	ほぼ完形	20.0 13.2 8.7	2500	粗粒輝石安山岩	不定型な自然礫利用、表裏に複数の凹穴を持つ	PL134
671	多孔石	5	F-9	-	完形	16.5 15.5 10.7	2000	粗粒輝石安山岩	不定型な自然礫利用、表裏面に複数の凹穴	PL134
672	多孔石	5	H-13	-	完形	18.5 17.0 11.0	2900	粗粒輝石安山岩	不定型な自然礫利用、複数面に凹穴を持つ	PL134
673	石棒	5	F-12	-	欠損品	(10.2) (8.5) (7.0)	(636)	デイサイト	キノコ状の頭部を持つ破損品、被熱	PL134
674	石棒	5	Y-2	-	欠損品	(17.0) 6.6 6.1	(1152)	緑泥岩	丸棒状、端部がやや細くなり、欠損、火を受け変色	PL134
675	石棒	5	H-13	-	欠損品	(27.3) (10.5) (7.0)	(3100)	緑泥石片岩	片側先端部平滑に磨かれる、やや扁平	PL134
676	石棒	5	C-10	-	破損品	(15.5) (6.0) (4.8)	(439)	緑泥石片岩	大形石棒の破損品	PL134
677	丸石	5	D-12	-	完形	19.0 15.5 12.0	3900	粗粒輝石安山岩	大形で卵形を呈す	PL134
678	軽石製品	5	E-12	-	欠損品	5.5 3.6 1.8	11	軽石	三角形で中央がやや凹む、風化著しい	PL134
679	軽石製品	5	F-13	-	破損品	(4.5) (4.2) 1.2	(9)	軽石	板状で研磨による成形、側縁はやや丸みを持つ	PL134
680	玉	5	H-13	-	完形	1.6 1.6 1.2	3.9	瑪瑙	表面極めて平滑な瑪瑙小礫、加工痕は見られず	PL134
681	垂飾品	5	F-12	-	欠損品	(1.5) (1.1) 0.9	(2.1)	滑石	穴の部分で割れている、彫筋形を呈すと思われる	PL134

#### 6区遺構外

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第236図-1	石鏃	6	A-2	-	欠損品	(1.7) 0.5 0.4	(0.4)	黒曜石	棒状で基部を欠く	PL135
2	打製石斧	6	表土	-	完形	10.4 4.2 1.9	106	細粒輝石安山岩	やや厚手の撥形、刃部摩耗	PL135
3	打製石斧	6	表土	-	基部欠損	(7.3) 5.4 0.7	(39)	黒色頁岩	薄手刃部片で摩耗	PL135
4	スクレイパー	6	A-1	-	完形	7.9 4.4 1.9	81	黒色頁岩	やや厚手で下辺部に刃部作出	PL135
5	磨石	6	A-1	-	完形	18.8 7.9 4.8	1126	粗粒輝石安山岩	細長いなすび形、両面使用で平滑	PL135
6	磨石	6	A-2	-	完形	12.3 6.9 3.0	427	粗粒輝石安山岩	扁平な長円礫、両面使用、打痕あり	PL135
7	磨石	6	A-1	-	ほぼ完形	14.1 8.5 3.4	450	デイサイト	小判形の礫利用、表面風化	PL135
8	磨石	6	A-2	-	欠損品	(5.6) 9.5 5.4	(320)	粗粒輝石安山岩	円礫利用	PL135
9	磨石	6	表土	-	欠損品	(9.1) 8.0 2.8	(146)	粗粒輝石安山岩	発砲質の石を研磨により成形、砥石か	PL135
10	凹石	6	A-3	-	完形	10.8 10.2 3.9	493	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫、両面に不整形な凹穴が複数重複	PL135

#### 95区遺構外

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第236図-1	石鏃	95	Y-22・23	-	完形	2.7 1.5 0.3	0.8	黒曜石	凹基無茎、細身で作りは丁寧	PL135
第236図-2	石鏃	95	表土	-	ほぼ完形	2.1 1.8 0.3	0.5	黒曜石	凹基無茎、挟りは円形で、薄手で丁寧な作り	PL135
第236図-3	石鏃	95	Y-20	-	完形	2.0 1.6 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、挟り三角	PL135
第236図-4	石鏃	95	Y-22	-	完形	1.7 1.5 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、挟り浅い小形品	PL135
第236図-5	石鏃	95	表土	-	完形	1.3 1.1 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、小形品で作りは丁寧	PL135
第236図-6	石鏃	95	表土	-	完形	1.3 1.0 0.2	0.1	黒曜石	凹基無茎、小形品、挟りは円形、丁寧な作り	PL135
第236図-7	石鏃	95	Y-22	-	ほぼ完形	2.2 1.5 0.5	1.0	黒曜石	凹基無茎、挟り浅く、基部やや厚みあり	PL135

### 第3章 検出された遺構と遺物

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
8	石鏃	95	X-22	-	ほぼ完形	2.1	1.5 0.5	1.1	黒曜石	未製品	PL135
第236図-9	石鏃	95	X-22	-	ほぼ完形	1.8	1.2 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、挟り浅い小形品	PL135
第236図-10	石鏃	95	X-22	-	ほぼ完形	1.3	1.1 0.2	0.2	チャート	凹基無茎、小形品、挟り極めて浅く先端僅かに欠く	PL135
11	石鏃	95	表土	-	欠損品	(3.6)	(1.8) (0.5)	(1.7)	黒曜石	凹基無茎、大型品、側縁部から先端部僅かに欠く	PL135
第236図-12	石鏃	95	表土	-	欠損品	(2.2)	1.6 0.3	(1.0)	黒曜石	凹基無茎、挟り浅い、先端部を欠く	PL135
13	石鏃	95	X-24	-	欠損品	(2.5)	(2.1) 0.7	(2.1)	珪質変質岩	作りは粗く、厚みあり片脚を欠く	PL135
14	石鏃	95	表土	-	欠損品	(2.0)	(1.5) (0.3)	(0.9)	チャート	片脚部を欠く	PL135
第236図-15	石鏃	95	表土	-	欠損品	(1.6)	1.8 0.3	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、左右非対称のやや粗い作り	PL135
16	石鏃	95	表土	-	欠損品	(1.6)	(1.3) (0.3)	(0.6)	黒曜石	先端部片	PL135
17	石鏃	95	表土	-	欠損品	(1.7)	(1.4) (0.2)	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、極めて薄手の作り、片脚を欠く	PL135
18	石鏃	95	Y-25	-	欠損品	(1.8)	(0.8) (0.3)	0.4	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く	PL135
19	石鏃	95	X-22	-	欠損品	(1.3)	(1.7) 0.4	(0.7)	黒曜石	先端部片	PL135
20	石鏃	95	Y-23	-	欠損品	(1.7)	(1.2) (0.3)	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片側を欠く	PL135
21	石鏃	95	X-22	-	欠損品	(1.4)	(1.0) (0.3)	(0.3)	黒曜石	先端部片	PL135
第236図-22	石鏃	95	表土	-	欠損品	(1.3)	(1.3) 0.4	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、小形品、やや厚みあり、脚を欠く	PL135
23	石鏃	95	X-22	-	欠損品	(1.3)	(0.8) (0.3)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅い、片脚を欠く	PL135
24	石鏃	95	Y-22・23	-	欠損品	(1.2)	(0.8) (0.2)	(0.1)	黒曜石	先端部片	PL135
25	石鏃	95	表土	-	欠損品	(1.2)	(0.9) (0.3)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL135
26	石鏃	95	X-22	-	欠損品	(1.5)	(1.7) 0.3	(0.9)	黒曜石	凹基無茎、挟りは浅い、先端部を欠く	PL135
第236図-27	石鏃	95	表土	-	欠損品	(1.3)	1.8 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、薄手の作り、先端部を欠く	PL135
28	石鏃	95	X-22	-	欠損品	(0.7)	1.6 (0.2)	(0.2)	黒曜石	凹基無茎、薄手作りで挟りは浅い、先端部を欠く	PL135
第236図-29	石鏃	95	Y-24	-	欠損品	(1.0)	1.5 0.2	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL135
30	石鏃	95	Y-22	-	欠損品	(0.9)	(1.2) (0.2)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、先端部大きく欠く	PL135
31	石鏃	95	表土	-	欠損品	(1.0)	(0.9) (0.4)	(0.4)	黒曜石	脚部片か、斑品含む	PL135
第236図-32	石鏃	95	X-22	-	完形	2.5	0.8 0.6	1.1	黒曜石	紡錘状を呈す、鏃部の作りやや粗い	PL135
第236図-33	石鏃	95	X-22	-	完形	2.3	0.6 0.3	0.3	黒曜石	棒状で、先端部細く作出	PL135
34	石鏃	95	Y-23	-	完形	1.7	1.0 0.3	0.6	黒曜石	薄手、鏃部は側縁に沿って作り出され短い	PL135
35	石鏃	95	Y-22	-	ほぼ完形	3.6	1.6 0.5	2.1	黒曜石	やや扁平な縦長剥片利用、鏃部両側縁に調整	PL135
36	石鏃	95	X-22	-	ほぼ完形	2.3	1.5 0.5	1.3	黒曜石	石鏃の破損品にも見えるが、脚状の鏃部を持つ	PL135
37	石鏃	95	X-22	-	ほぼ完形	4.0	3.5 0.6	6	黒色安山岩	扁平でT字型を呈す、スクレイパーの可能性あり	PL135
第236図-38	石鏃	95	X-22	-	ほぼ完形	2.4	0.9 0.6	1.2	黒曜石	紡錘状を呈す、鏃部先端僅かに欠く	PL135
39	石鏃	95	表土	-	ほぼ完形	1.6	0.7 0.4	0.3	黒曜石	棒状を呈し先端部尖る小形品	PL135
40	石鏃	95	Y-25	-	欠損品	(2.7)	(1.9) 0.9	(1.2)	珪質変質岩	鏃状を呈す、つまみ部厚みあり	PL135
第236図-41	石鏃	95	X-22	-	ほぼ完形	5.0	2.8 0.9	7.1	黒色頁岩	不定型なつまみ部を持つ、鏃部は長く先端を欠く	PL135
42	鈎状石器	95	Y-22・23	-	欠損品	(3.9)	(2.6) 0.9	(8.3)	黒曜石	曲がりを持つ棒状で縁辺に調整痕、彫器か	PL136
43	二次加工片	95	X-22	-	完形	2.1	1.7 0.5	1.8	黒曜石	四角形で側縁に調整、やや反りを持つ	PL136
44	二次加工片	95	X-22	-	完形	2.4	1.8 0.3	1.1	黒曜石	薄い剥片で一縁部に簡単な刃部作出	PL136
45	二次加工片	95	X-22	-	ほぼ完形	2.3	1.8 0.5	1.7	黒曜石	不定形で部分的に剥離見られる	PL136
46	打製石斧	95	X-22	-	完形	14.3	5.5 1.9	212	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部薄く磨耗顕著	PL136
47	打製石斧	95	X-22	-	ほぼ完形	13.2	5.7 2.4	187	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に自然面、刃部片側を欠く	PL136
48	打製石斧	95	X-22	-	完形	13.0	5.4 2.6	190	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に大きく自然面残す	PL136
49	打製石斧	95	X-22	-	ほぼ完形	13.0	4.7 2.3	179	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部を含め全体に磨耗	PL136
50	打製石斧	95	X-22	-	完形	11.4	5.8 2.3	189	細粒輝石安山岩	撥形、側縁僅かにふくらみを持つ	PL136
51	打製石斧	95	X-23	-	完形	11.6	5.1 1.95	155	粗粒輝石安山岩	基・刃部丸みを持つ撥形、片面自然面	PL136
52	打製石斧	95	Y-22	-	完形	11.9	5.3 1.9	146	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に自然面残す	PL136
53	打製石斧	95	Y-23	-	完形	12.0	5.2 1.8	134	黒色頁岩	撥形、側縁ぶ刃潰しされやや挟りを有す	PL136
54	打製石斧	95	Y-23	-	完形	11.8	4.4 1.5	115	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部で磨耗している	PL136
55	打製石斧	95	Y-23	-	完形	11.4	5.3 2.0	142	粗粒輝石安山岩	撥形、なすび形を呈し刃部磨耗	PL136
56	打製石斧	95	Y-24	-	ほぼ完形	11.9	4.8 1.6	108	細粒輝石安山岩	片面に自然面、刃部磨耗	PL136
57	打製石斧	95	X-21	-	完形	11.4	5.0 1.8	106	デイサイト	撥形、やや反りを持ち背面に自然面残る	PL136
58	打製石斧	95	Y-23	-	完形	10.5	4.9 1.6	119	細粒輝石安山岩	撥形、刃部磨耗	PL136
59	打製石斧	95	X-23	-	完形	10.6	5.1 1.5	86	細粒輝石安山岩	撥形、薄手で刃部磨耗	PL136
60	打製石斧	95	Y-23	-	完形	10.4	4.6 1.2	76	細粒輝石安山岩	撥形、細身の作り、刃部磨耗	PL136
61	打製石斧	95	X-22	-	完形	11.0	4.0 1.6	91	黒色頁岩	短冊形、刃部磨耗	PL136
62	打製石斧	95	X-22	-	完形	10.1	4.9 1.5	76	細粒輝石安山岩	撥形、刃部磨耗	PL136
63	打製石斧	95	Y-23	-	完形	9.6	4.4 1.3	107	細粒輝石安山岩	短冊形、片面に自然面	PL136
64	打製石斧	95	Y-23	-	ほぼ完形	9.5	5.1 2.9	159	粗粒輝石安山岩	厚手で片面に自然面、刃部磨耗	PL136
65	打製石斧	95	Y-22	-	ほぼ完形	9.9	3.8 1.3	60	黒色頁岩	小型で細身、刃部磨耗	PL136
66	打製石斧	95	X-22	-	ほぼ完形	9.3	4.9 1.2	69	黒色頁岩	薄手の撥形、刃部磨耗	PL136
67	打製石斧	95	X-24	-	ほぼ完形	9.0	4.3 1.8	81	黒色頁岩	撥形、やや小形品、刃部わずかに欠く	PL136
68	打製石斧	95	X-23	-	完形	6.9	5.1 1.7	87	黒色頁岩	文の短い撥形、再生品か	PL136
69	打製石斧	95	X-22	-	完形	6.9	3.8 1.0	31	黒色頁岩	やや不定形な小型品、刃部磨耗	PL136
70	打製石斧	95	Y-23	-	ほぼ完形	11.5	6.6 1.5	134	粗粒輝石安山岩	撥形、やや反りを持つ、片面に自然面、刃部磨耗	PL136
71	打製石斧	95	Y-22	-	基部欠損	(11.2)	6.7 1.2	(141)	細粒輝石安山岩	板状剥片利用、両面に自然面、刃部磨耗、石鏃	PL136
72	打製石斧	95	Y-22	-	基部欠損	(10.9)	5.9 1.2	(111)	細粒輝石安山岩	側縁中央部分やや欠れる、薄手作り	PL136
73	打製石斧	95	Y-23	-	基部欠損	(8.9)	5.0 1.8	(108)	粗粒輝石安山岩	短冊形、刃部薄手の直刃	PL136
74	打製石斧	95	表土	-	ほぼ完形	10.0	4.7 2.1	124	黒色頁岩	撥形、刃部わずかに欠く	PL136
75	打製石斧	95	Y-23	-	基部欠損	(8.6)	5.9 1.5	(110)	細粒輝石安山岩	板状剥片利用、刃部磨耗	PL136
76	打製石斧	95	Y-23	-	基部欠損	(8.6)	6.5 2.2	(163)	粗粒輝石安山岩	形面に自然面、粗い作り	PL136
77	打製石斧	95	Y-22	-	基部欠損	(8.2)	5.2 1.9	(120)	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部磨耗	PL136
78	打製石斧	95	Y-23	-	基部欠損	(8.1)	4.9 1.5	(91)	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部磨耗	PL136
79	打製石斧	95	表土	-	基部欠損	(8.8)	4.9 0.7	(44)	細粒輝石安山岩	短冊形、極めて薄手	PL136
80	打製石斧	95	Y-25	-	基部欠損	(6.4)	6.2 2.7	(171)	細粒輝石安山岩	厚手の打製石斧刃部、礫器の可能性あり	PL136
81	打製石斧	95	Y-24	-	基部欠損	(6.1)	5.3 1.4	(57)	黒色頁岩	撥形か	PL136
82	打製石斧	95	X-22	-	基部欠損	(7.8)	4.2 1.6	(58)	黒色安山岩	小型品	PL136
83	打製石斧	95	Y-22	-	刃部片	(4.9)	7.1 0.8	(38)	細粒輝石安山岩	板状剥片利用、薄手の石鏃	PL136
84	打製石斧	95	X-22	-	基部欠損	(8.1)	4.7 1.6	(78)	黒色頁岩	短冊形、刃部磨耗	PL137
85	打製石斧	95	X-25	-	刃部片	(4.6)	8.3 2.4	(98)	細粒輝石安山岩	大形石斧の刃部片、磨耗見られる	PL137
86	打製石斧	95	X-25	-	刃部片	(7.5)	4.7 0.9	(33)	細粒輝石安山岩	薄手の刃部片、片面自然面	PL137
87	打製石斧	95	表土	-	基部欠損	(4.5)	4.2 1.5	(40)	細粒輝石安山岩	刃部片、作りは粗い	PL137
88	打製石斧	95	Y-25	-	欠損品	(4.7)	(3.7) 1.6	(29)	細粒輝石安山岩	刃部片、やや磨耗見られる	PL137
89	打製石斧	95	Y-21	-	刃部欠損	(10.8)	5.2 1.3	(90)	細粒輝石安山岩	撥形、やや薄手	PL137
90	打製石斧	95	X-21	-	刃部欠損	(12.6)	5.4 1.9	(182)	細粒輝石安山岩	撥形か、片面に大きく自然面残す	PL137
91	打製石斧	95	Y-23	-	刃部欠損	(9.3)	4.4 2.1	(121)	粗粒輝石安山岩	短冊形、両面部分的に自然面残す	PL137
92	打製石斧	95	X-24	-	刃部欠損	(10.2)	4.6 2.1	(104)	黒色頁岩	短冊形、刃部を欠く	PL137
93	打製石斧	95	X-22	-	刃部欠損	(8.5)	5.9 1.5	(102)	細粒輝石安山岩	幅広い短冊形	PL137
94	打製石斧	95	X-22	-	刃部欠損	(14.6)	5.1 2.4	(199)	黒色頁岩	短冊形、刃部片側を欠く	PL137
95	打製石斧	95	Y-22	-	欠損品	13.0	5.4 1.9	168	細粒輝石安山岩	板状の礫を用い、側縁部を打撃形成、刃部欠損	PL137
96	打製石斧	95	Y-23	-	刃部欠損	(8.5)	5.8 1.5	(113)	粗粒輝石安山岩	板状剥片利用、両面に自然面	PL137

### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
97	打製石斧	95	X-23	-	刃部欠損	(8.5) 5.7 1.3	(83)	細粒輝石安山岩	薄手の基部片、石鉄	PL137
98	打製石斧	95	Y-22	-	刃部欠損	(9.1) 5.6 3.3	(181)	黒色頁岩	極めて厚手	PL137
99	打製石斧	95	X-22	-	刃部欠損	(9.7) 4.4 2.0	(105)	細粒輝石安山岩	基部薄く、刃部に向かって厚み増す	PL137
100	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(8.6) 5.4 1.7	(87)	黒色頁岩	片面に自然面	PL137
101	打製石斧	95	X-24	-	刃部欠損	(8.6) 4.5 2.5	(128)	黒色安山岩	片面に自然面残す、厚手の作り	PL137
102	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(8.3) 4.6 1.6	(84)	細粒輝石安山岩	基部端部に自然面	PL137
103	打製石斧	95	Y-23	-	刃部欠損	(8.4) 5.1 1.9	(107)	細粒輝石安山岩	粗い作り	PL137
104	打製石斧	95	Y-23	-	刃部欠損	(8.1) 5.6 1.3	(77)	細粒輝石安山岩	板状礫利用、両面に自然面	PL137
105	打製石斧	95	X-25	-	刃部欠損	(8.4) 4.4 1.6	(73)	細粒輝石安山岩	短冊形、粗い作り	PL137
106	打製石斧	95	X-24	-	刃部欠損	(9.3) 4.5 1.9	(90)	黒色安山岩	撥型	PL137
107	打製石斧	95	X-21	-	刃部欠損	(7.5) 4.9 1.8	(82)	黒色安山岩	撥型、刃部を欠く	PL137
108	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(8.6) 5.6 2.1	(91)	黒色頁岩	基部から刃部に向かって厚み増す	PL137
109	打製石斧	95	X-24	-	刃部欠損	(7.9) 5.7 1.7	(90)	黒色頁岩	幅広い基部片	PL137
110	打製石斧	95	X-22	-	刃部欠損	(7.4) 5.8 1.5	(89)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用の基部片	PL137
111	打製石斧	95	X-23	-	刃部欠損	(8.0) 4.7 1.8	(76)	黒色頁岩	被熱によるヒビが見られる	PL137
112	打製石斧	95	X-21	-	刃部欠損	(7.5) 4.6 1.6	(77)	細粒輝石安山岩	短冊形、側縁に自然面残す	PL137
113	打製石斧	95	Y-24	-	刃部欠損	(7.3) 4.1 2.2	(79)	細粒輝石安山岩	刃片の可能性あり	PL137
114	打製石斧	95	Y-25	-	刃部欠損	(7.1) 4.8 2.3	(112)	細粒輝石安山岩	厚手の作り	PL137
115	打製石斧	95	X-24	-	刃部欠損	(6.4) 3.6 1.9	(39)	黒色頁岩	両端を欠く小型品	PL137
116	打製石斧	95	Y-25	-	刃部欠損	(6.6) 4.2 2.1	(77)	細粒輝石安山岩	細身ながらやや厚みを持つ	PL137
117	打製石斧	95	Y-22	-	刃部欠損	(7.8) 4.6 1.9	(88)	粗粒輝石安山岩	両側縁欠損	PL137
118	打製石斧	95	X-23	-	刃部欠損	(6.4) 4.8 2.2	(85)	黒色安山岩	厚手の基部片	PL137
119	打製石斧	95	X-22	-	刃部欠損	(6.3) 3.8 1.9	(54)	細粒輝石安山岩	細身の基部片	PL137
120	打製石斧	95	X-22	-	刃部欠損	(6.3) 4.1 1.5	(50)	黒色安山岩	基部片	PL137
121	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(6.0) 3.5 1.8	(52)	細粒輝石安山岩	厚手の基部片	PL137
122	打製石斧	95	Y-23	-	刃部欠損	(5.2) 5.4 0.8	(37)	粗粒輝石安山岩	板状礫、両面に自然面	PL137
123	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(5.8) 4.5 1.6	(53)	細粒輝石安山岩	基部片	PL137
124	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(6.1) 3.8 1.6	(50)	細粒輝石安山岩	片面に自然面	PL137
125	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(4.7) 4.4 1.5	(51)	細粒輝石安山岩	基部片	PL137
126	打製石斧	95	Y-22	-	刃部欠損	(5.9) 4.4 1.8	(58)	細粒輝石安山岩	基・刃部を欠く、作りは雑	PL137
127	打製石斧	95	X-23	-	刃部欠損	(6.0) 4.0 2.1	(57)	黒色頁岩	粗い作りの基部片	PL137
128	打製石斧	95	表土	-	刃部欠損	(5.1) 4.2 1.1	(32)	細粒輝石安山岩	基部片、両面に自然面	PL137
129	打製石斧	95	X-23	-	刃部欠損	(4.8) 3.5 1.1	(22)	細粒輝石安山岩	基部片	PL137
130	打製石斧	95	X-22	-	刃部片	(3.9) 6.3 1.4	(27)	黒色頁岩	刃部分は薄く丁寧に仕上げられ、未使用に近い	PL137
131	打製石斧	95	表土	-	刃部片	(4.6) 3.9 1.2	(25)	細粒輝石安山岩	撥形か、摩耗顯著	PL137
132	打製石斧	95	Y-24	-	欠損品	(4.2) (3.7) 1.2	(19)	黒色安山岩	基部片か	PL137
133	スクレイパー	95	X-23	-	完形	7.5 5.7 0.8	50	黒色安山岩	ほぼ直刃、刃部以外の側縁に自然面残る	PL137
134	スクレイパー	95	Y-23	-	完形	7.0 6.6 1.2	60	黒色頁岩	円刃、刃部の作り出しは粗い	PL137
135	スクレイパー	95	Y-25	-	完形	6.1 5.6 1.8	67	粗粒輝石安山岩	扇形を呈し、弧状の刃部作り出す	PL137
136	スクレイパー	95	Y-24	-	完形	8.1 4.7 2.1	76	粗粒輝石安山岩	横型、下縁を刃部とし厚みあり	PL137
137	磨石	95	Y-23	-	完形	13.1 8.4 4.5	730	粗粒輝石安山岩	扁平な長円礫利用、両面平滑	PL137
138	磨石	95	Y-25	-	完形	11.8 9.3 5.4	817	粗粒輝石安山岩	両面使用面、表裏に一つずつの浅い凹み穴	PL137
139	磨石	95	Y-22	-	完形	12.2 8.2 4.1	623	粗粒輝石安山岩	扁平礫、両面使用、片面に凹み穴あり	PL138
140	磨石	95	Y-24	-	完形	11.4 7.5 5.4	737	粗粒輝石安山岩	側縁使用面、両面に浅い凹み穴あり	PL138
141	磨石	95	Y-25	-	完形	11.8 7.6 4.6	699	石英閃緑岩	やや扁平な長円礫利用、両端部に打痕	PL138
142	磨石	95	X-24	-	完形	10.1 8.2 4.2	493	粗粒輝石安山岩	やや扁平な礫利用、両面使用	PL138
143	磨石	95	Y-23	-	完形	10.5 7.5 2.9	390	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用、両面使用面、平滑	PL138
144	磨石	95	X-25	-	完形	9.5 8.4 5.8	674	石英閃緑岩	円礫利用、両面使用	PL138
145	磨石	95	X-22	-	ほぼ完形	9.1 8.8 3.2	374	粗粒輝石安山岩	扁平な礫の表裏面使用、被熱	PL138
146	磨石	95	X-23	-	完形	9.2 7.1 4.1	415	粗粒輝石安山岩	やや扁平な長円礫、両面使用、側縁部に打痕	PL138
148	磨石	95	X-24	-	完形	11.1 6.4 4.6	490	粗粒輝石安山岩	長円礫利用	PL138
149	磨石	95	Y-25	-	完形	10.4 5.5 3.5	320	粗粒輝石安山岩	長円礫利用	PL138
150	磨石	95	Y-23	-	完形	8.0 7.1 4.9	445	粗粒輝石安山岩	やや平坦な面を持つ礫利用、側縁1面を使用面	PL138
151	磨石	95	Y-22	-	ほぼ完形	8.8 7.3 5.3	467	石英閃緑岩	片面使用面極めて平滑	PL138
152	磨石	95	Y-23	-	完形	7.5 7.2 4.1	332	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫利用、両面使用	PL138
153	磨石	95	X-22	-	完形	8.8 6.8 5.9	470	粗粒輝石安山岩	卵形の礫利用、凹み1か所あり	PL138
153	磨石	95	X-25	-	完形	10.6 7.2 5.2	632	粗粒輝石安山岩	両面および1側縁使用面	PL138
154	磨石	95	Y-24	-	完形	8.5 6.5 4.5	301	粗粒輝石安山岩	卵形の扁平礫利用	PL138
155	磨石	95	Y-24	-	完形	7.9 6.1 3.6	276	粗粒輝石安山岩	やや扁平な楕円礫利用	PL138
156	磨石	95	表土	-	完形	9.2 5.8 5.0	373	粗粒輝石安山岩	卵形礫利用、一部打痕あり	PL138
157	磨石	95	X-21	-	完形	7.1 6.3 4.0	272	石英閃緑岩	やや扁平な円礫利用	PL138
158	磨石	95	Y-24	-	完形	6.2 5.7 2.4	140	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫、使用面平滑	PL138
159	磨石	95	Y-24	-	完形	5.7 5.3 4.3	179	粗粒輝石安山岩	円形の礫利用	PL138
160	磨石	95	Y-24	-	完形	5.9 5.1 4.8	204	粗粒輝石安山岩	小円礫、被熱	PL138
161	磨石	95	Y-22	-	完形	5.2 4.3 3.3	93	粗粒輝石安山岩	小円礫利用	PL138
162	磨石	95	Y-22	-	完形	4.4 3.4 2.4	48	デイスait	卵形の小円礫、表面平滑	PL138
163	磨石	95	Y-22	-	完形	3.6 3.5 2.9	35	粗粒輝石安山岩	小円礫、被熱	PL138
164	磨石	95	Y-22	-	完形	14.7 7.9 3.1	575	粗粒輝石安山岩	なすび形の扁平礫、両面平滑	PL138
165	磨石	95	Y-25	-	完形	13.6 5.6 4.0	579	粗粒輝石安山岩	棒状の角礫利用、全面平滑	PL138
166	磨石	95	X-23	-	完形	12.3 6.3 4.2	521	粗粒輝石安山岩	やや細長い礫利用、全面平滑	PL138
167	磨石	95	Y-22	-	ほぼ完形	12.5 5.2 3.8	410	粗粒輝石安山岩	棒状礫、側縁、両端部に打痕	PL138
168	磨石	95	X-25	-	完形	11.2 5.7 4.6	497	粗粒輝石安山岩	4面が比較的平らな棒状礫利用、使用面平滑	PL138
169	磨石	95	X-24	-	完形	8.0 4.5 4.1	238	粗粒輝石安山岩	俵型の小礫利用	PL138
170	磨石	95	Y-22	-	一部欠損	15.1 10.2 5.7	1251	粗粒輝石安山岩	やや大形の礫、片面丸みを持つ、両面使用	PL138
171	磨石	95	Y-25	-	欠損品	(9.0) 7.0 4.8	(463)	粗粒輝石安山岩	側面に面を持つ、使用面極めて平滑、被熱	PL138
172	磨石	95	Y-23	-	欠損品	(6.9) 6.1 3.7	(185)	粗粒輝石安山岩	長円礫利用、破損品、熱を受け脆弱	PL138
173	磨石	95	X-23	-	欠損品	(5.2) 7.1 4.2	(183)	粗粒輝石安山岩	使用面平滑、被熱	PL138
174	凹石	95	X-23	-	完形	13.1 5.9 2.7	352	粗粒輝石安山岩	細長く扁平、両面に1対ずつの浅い凹み穴あり	PL138
175	凹石	95	X-23	-	完形	9.0 5.9 4.8	268	粗粒輝石安山岩	不定型な礫利用、表裏面に一つずつの凹み穴	PL138
176	磨石	95	表土	-	ほぼ完形	10.5 5.6 4.4	380	石英閃緑岩	棒状礫利用、全面敲打による剥離が顕著	PL139
177	石皿	95	X-24	-	破損品	(16.8) (13.5) 6.5	(1500)	粗粒輝石安山岩	使用面窪み平滑、煤付着	PL139
178	多孔石	95	Y-23	-	完形	17.5 14.0 13.0	1882	粗粒輝石安山岩	不定型な自然礫利用、ほぼ全面に凹み穴を持つ	PL139
179	石棒	95	Y-24	-	欠損品	(15.3) 13.4 13.2	(3490)	粗粒輝石安山岩	大形石棒の端部が頭部は丸みを持つ、被熱し脆弱	PL139
180	不明石製品	95	Y-22	No.224	欠損品	2.1 1.7 0.4	1.7	滑石	逆U字状で研磨成形、下部に横方向の円形溝	PL139
96区遺構外										
図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値 長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第237図-1	石鉄	96	D-20	-	完形	3.3 2.0 0.4	1.5	黒色安山岩	凹基無茎、脚は非対称	PL139
第237図-2	石鉄	96	F-21	-	ほぼ完形	2.4 1.8 0.4	1.2	黒曜石	凹基無茎、挟り深い	PL139
第237図-3	石鉄	96	A-23	-	ほぼ完形	2.4 1.8 0.6	2.2	チャート	凹基無茎、挟りは小さく浅い、側縁に影入り持つ	PL139

### 第3章 検出された遺構と遺物

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
第237図-4	石鏃	96	F-19	-	完形	2.3	1.5 0.4	1.0	黒色頁岩	凹基無茎、挟りは浅い	PL139
第237図-5	石鏃	96	F-19	-	ほぼ完形	2.5	1.4 0.3	0.7	黒曜石	凹基無茎、細身の作り	PL139
6	石鏃	96	表土	-	ほぼ完形	2.1	1.7 0.5	1.5	珪質頁岩	平基無茎、基端部に自然面、裏面に貝殻状の剥離	PL139
第237図-7	石鏃	96	F-19	-	ほぼ完形	2.1	1.4 0.2	0.6	黒曜石	凹基無茎、挟りは円形、作りは丁寧、薄手の作り	PL139
第237図-8	石鏃	96	G-20	-	完形	1.9	1.5 0.2	0.3	黒曜石	凹基無茎、三角の挟り、作り丁寧、局部磨製	PL139
第237図-9	石鏃	96	G-18	-	完形	1.8	1.4 0.3	0.3	黒曜石	凹基無茎、挟りは丸い小形品、作りは丁寧	PL139
第237図-10	石鏃	96	表土	-	完形	1.8	1.2 0.3	0.4	黒曜石	凹基無茎、小形品で作りは丁寧	PL139
第237図-11	石鏃	96	F-20	-	完形	1.7	1.4 0.4	0.7	チャート	凹基無茎、挟りは浅い	PL139
12	石鏃	96	C-21	-	ほぼ完形	1.8	1.6 0.4	0.9	珪質変質岩	凹基無茎、左右非対称の形状	PL139
第237図-13	石鏃	96	D-19	-	完形	1.4	1.5 0.3	0.5	チャート	凹基無茎、小形品で脚は大きく開く	PL139
第237図-14	石鏃	96	F-19	-	ほぼ完形	1.3	1.3 0.3	0.5	黒曜石	平基無茎、小形品	PL139
15	石鏃	96	表土	-	ほぼ完形	2.9	2.6 0.7	4.0	黒曜石	三角形を呈す大型品、未製品か	PL139
第237図-16	石鏃	96	表土	-	欠損品	(2.7)	2.0 0.5	(2.0)	黒曜石	凹基無茎、側縁部やや丸みを持つ、先端部欠く	PL139
第237図-17	石鏃	96	表土	-	ほぼ完形	2.1	1.9 0.4	1.1	黒色安山岩	凹基無茎、先端部僅かに欠く	PL139
第237図-18	石鏃	96	F-20	-	ほぼ完形	2.1	1.7 0.3	0.6	黒曜石	凹基無茎、挟り深い、先端部僅かに欠く	PL139
第237図-19	石鏃	96	E-21	-	ほぼ完形	1.5	1.7 0.3	0.6	黒曜石	凹基無茎、先端部を僅かに欠く	PL139
20	石鏃	96	E-20	-	ほぼ完形	1.8	1.7 0.4	1.2	黒曜石	凹基無茎、挟り浅く先端部を僅かに欠く	PL139
第237図-21	石鏃	96	A-23	-	欠損品	(2.7)	1.8 1.0	(3.2)	黒曜石	尖頭器の基部片か、斑点見られる	PL139
22	石鏃	96	表土	-	欠損品	(2.3)	(1.9) (0.8)	(2.3)	黒曜石	大形鏃の先端部か、厚みあり	PL139
第237図-23	石鏃	96	表土	-	欠損品	2.3	(1.5) 0.4	(0.9)	黒色安山岩	凹基無茎、挟りは円形、片脚を欠く	PL139
第237図-24	石鏃	96	A-23	-	完形	1.7	1.3 0.4	0.6	黒曜石	平基無茎、小形品	PL139
第237図-25	石鏃	96	表土	-	欠損品	2.9	(1.5) 0.3	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、丁寧な作り、片脚を欠く	PL139
第237図-26	石鏃	96	E-21	-	欠損品	(2.2)	1.6 0.3	(0.9)	黒曜石	基部欠損	PL139
27	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.9)	(1.9) (0.6)	(1.3)	黒曜石	大形鏃の先端部か	PL139
第237図-28	石鏃	96	E-21	-	欠損品	2.2	(1.7) 0.4	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、挟りやや浅い	PL139
第237図-29	石鏃	96	F-19	-	欠損品	2.0	(1.4) 0.2	(0.4)	チャート	凹基無茎、脚は大きく開き、先端部は細身の作り	PL139
第237図-30	石鏃	96	E-21	-	欠損品	(2.0)	1.1 0.4	(0.6)	黒曜石	細身の作り、基部を欠く	PL139
第237図-31	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.9)	(1.4) 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、両脚、先端部を欠く	PL139
第237図-32	石鏃	96	F-19	-	欠損品	(1.8)	1.5 0.4	(1.0)	チャート	平基無茎、先端部を欠く	PL139
第237図-33	石鏃	96	G-18	-	欠損品	(1.7)	(1.7) 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、挟りは丸い、先端部、脚端部を欠く	PL139
第237図-34	石鏃	96	G-19	-	欠損品	(1.7)	1.4 0.3	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、両脚を欠く	PL139
第237図-35	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.9)	1.0 0.3	(0.4)	チャート	凹基無茎、小形品でやや長脚、片脚・先端部欠く	PL139
第237図-36	石鏃	96	A-21・22	-	欠損品	1.8	(1.2) 0.3	(0.4)	珪質変質岩	凹基無茎、挟り深く脚は長い、片脚を欠く	PL139
37	石鏃	96	G-18	-	欠損品	(1.8)	(0.7) (0.3)	(0.3)	黒曜石	細身の先端部片	PL139
38	石鏃	96	D-22	-	ほぼ完形	1.6	1.5 0.3	0.8	黒曜石	三角形を呈す、未製品か	PL139
第237図-39	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.5)	1.6 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、脚が丸みを持って開く逆ハート形	PL139
40	石鏃	96	D-21	-	欠損品	(1.6)	(1.3) 0.3	(0.5)	黒曜石	基部、先端部を欠く	PL139
41	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.3)	(1.7) (0.5)	(1.0)	黒曜石	先端部片か	PL139
42	石鏃	96	H-18	-	欠損品	(1.7)	(1.3) (0.2)	(0.5)	黒曜石	脚部欠損、先端部が細く尖る	PL139
43	石鏃	96	D-21	-	欠損品	(1.6)	(1.0) (0.3)	(0.5)	黒曜石	基部を欠く	PL139
44	石鏃	96	F-20	-	欠損品	(1.2)	(1.2) 0.3	(0.4)	黒曜石	先端部片	PL139
第237図-45	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.6)	(1.1) 0.3	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、脚は大きく開き、片側縁部欠く	PL139
46	石鏃	96	F-20	-	欠損品	(1.2)	(1.2) (0.2)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、側縁丸みを有す小形品、両脚欠損か	PL139
47	石鏃	96	E-21	-	欠損品	(1.6)	(0.9) (0.3)	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片脚を欠く	PL139
48	石鏃	96	旧トレ	-	欠損品	(1.6)	(1.0) 0.4	(0.5)	黒曜石	先端部片	PL139
49	石鏃	96	E-21	-	欠損品	(1.5)	(1.1) 0.3	(0.5)	黒曜石	凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL139
50	石鏃	96	G-18	-	欠損品	(1.2)	(0.7) (0.3)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL139
51	石鏃	96	F-19	-	欠損品	(1.1)	(0.9) (0.2)	(0.2)	黒曜石	先端部片	PL139
第237図-52	石鏃	96	表土	-	欠損品	(0.9)	(1.0) 0.2	(0.2)	チャート	凹基無茎、小形品、脚、先端部を欠く	PL139
53	石鏃	96	F-19	-	欠損品	(1.1)	(0.7) (0.2)	(0.1)	黒曜石	先端部片	PL139
54	石鏃	96	表土	-	欠損品	(0.9)	(0.6) (0.2)	(0.1)	黒曜石	先端部片	PL139
55	石鏃	96	A-23	-	欠損品	(1.9)	(2.3) 0.4	(1.5)	黒曜石	凹器無茎、大形品片脚および先端部を欠く	PL139
第237図-56	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.6)	1.6 0.4	(1.0)	チャート	凹基無茎、先端部を欠く	PL139
第237図-57	石鏃	96	A-23	-	欠損品	(1.6)	1.5 0.3	(0.6)	黒曜石	凹基無茎、裏面一次剥離面大きく残り先端部欠く	PL139
58	石鏃	96	F-19	-	欠損品	(1.4)	(1.5) 0.3	(0.7)	黒曜石	平基無茎、先端を欠く、石鏃の可能性もあり	PL139
第237図-59	石鏃	96	E-19・20	-	欠損品	(1.1)	1.6 0.3	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL139
60	石鏃	96	A-23	-	欠損品	(1.0)	(1.4) (0.3)	(0.4)	黒曜石	凹器無茎、先端部を欠く	PL139
61	石鏃	96	F-21	-	欠損品	(1.3)	(1.3) (0.2)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎、先端部を欠く	PL139
62	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.2)	(1.6) 0.4	(0.8)	黒曜石	凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL139
63	石鏃	96	F-21	-	欠損品	(1.0)	(1.6) (0.3)	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片脚および先端部を欠く	PL139
64	石鏃	96	E-19・20	-	欠損品	(1.3)	(1.5) (0.3)	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL139
65	石鏃	96	E-20	-	欠損品	(1.5)	(1.2) (0.3)	(0.6)	黒曜石	先端部を欠く	PL140
66	石鏃	96	F-19	-	欠損品	(1.2)	(1.2) (0.3)	(0.3)	黒曜石	凹基無茎の小形品、先端部を僅かに欠く	PL140
67	石鏃	96	表土	-	欠損品	(1.3)	(1.1) 0.3	(0.4)	黒曜石	脚部、先端部を欠く	PL140
68	石鏃	96	F-19	-	欠損品	(1.3)	(1.3) (0.3)	(0.4)	黒曜石	凹基無茎、片脚、先端部を欠く	PL140
69	石鏃	96	E-21	-	欠損品	(0.8)	(0.9) (0.2)	(0.2)	黒曜石	小形品、先端部を欠く	PL140
70	石鏃	96	E-21	-	完形	2.3	1.3 0.3	0.8	黒曜石	薄手の作りで鏃部は三角形に尖る	PL140
71	石鏃	96	A-24・25	-	ほぼ完形	2.5	2.1 1.0	4.5	碧玉	つまみ部三角形で厚みあり、鏃部先端僅かに欠く	PL140
72	石鏃	96	A-22	-	欠損品	(1.4)	(0.5) (0.3)	(0.2)	黒曜石	鏃部片	PL140
73	石鏃	96	G-18	-	完形	1.6	0.5 0.3	0.3	黒曜石	棒状を呈す小形品	PL140
第237図-74	石鏃	96	表土	-	ほぼ完形	2.0	0.8 0.4	0.5	黒曜石	棒状、鏃部は両面からの剥離調整	PL140
75	石鏃	96	E-20	-	欠損品	(1.9)	(0.8) (0.6)	(0.8)	黒曜石	鏃部片	PL140
76	石鏃	96	F-21	-	欠損品	(1.3)	(0.8) (0.3)	(0.2)	黒曜石	鏃部片か、石鏃先端部片の可能性もあり	PL140
77	削器	96	E-21	-	ほぼ完形	3.7	1.6 1.1	4.5	黒曜石	先端部U字状、片側縁から端部にかけ刃部作出	PL140
78	削器	96	E-19	-	ほぼ完形	3.7	1.4 0.9	2.8	黒曜石	縦長剥片の側縁に刃部作出	PL140
79	掻器	96	F-20	-	完形	2.3	2.0 0.7	3.4	チャート	ほぼ円形を呈し縁辺部に刃部作出	PL140
80	掻器	96	F-21	-	ほぼ完形	2.3	1.9 0.8	3.4	黒曜石	ほぼ円形を呈し、縁辺弧状に刃部作出	PL140
81	彫器	96	表土	-	完形	3.2	1.7 0.8	3.6	黒曜石	縦長剥片、やや弧状の側縁に刃部作出	PL140
第237図-82	彫器	96	A-23	-	欠損品	(4.1)	(1.4) 1.2	(5.6)	黒曜石	棒状を呈し、先端部丸みを持った刃部状となる	PL140
83	石鏃	96	A-22	-	ほぼ完形	2.1	2.0 0.4	1.5	黒曜石	三角形を呈す、未製品か	PL140
84	石鏃	96	表土	-	ほぼ完形	1.9	1.5 0.5	1.2	黒曜石	未製品か	PL140
85	石鏃	96	旧トレ	-	ほぼ完形	1.9	1.7 0.5	1.2	黒曜石	未製品	PL140
86	二次加工片	96	G-18	-	ほぼ完形	3.2	2.0 1.1	6.0	黒曜石	厚みのある石片、下縁部に弧状の刃部作出	PL140
87	二次加工片	96	A-21・22	-	ほぼ完形	2.3	1.8 0.4	1.6	黒曜石	U字状の縁辺に刃部作出、石鏃の未製品か	PL140
88	二次加工片	96	表土	-	ほぼ完形	2.1	1.7 0.5	1.5	黒曜石	銀杏葉形で、下縁部に弧状の刃部	PL140
89	二次加工片	96	表土	-	ほぼ完形	1.7	1.6 0.9	2.4	黒曜石	石核状の小片、調整痕見られる	PL140
90	二次加工片	96	E-20・21	-	欠損品	(2.0)	(1.3) (0.2)	(0.6)	黒曜石	薄手片、三角形を呈し、一辺に刃部作出	PL140
91	打製石斧	96	F-21	-	完形	15.1	6.1 3.0	383	粗粒輝石安山岩	やや反りを持つ内側に自然面、粗い作り	PL140
92	打製石斧	96	A-23	-	完形	14.5	5.8 2.5	236	細粒輝石安山岩	短冊形、作りは粗い	PL140



### 第3節 縄文時代

図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重さ(g)	石材	特徴	PLNo.
93	打製石斧	96	F-20・21	-	完形	12.5	5.3 1.95	197	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に自然面、刃部摩耗	PL140
94	打製石斧	96	A-22	-	完形	12.3	4.8 1.5	113	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部摩耗	PL140
95	打製石斧	96	H-19	-	完形	12.0	4.7 1.65	125	粗粒輝石安山岩	短冊形、刃部摩耗	PL140
96	打製石斧	96	表土	-	完形	11.3	5.6 1.4	126	粗粒輝石安山岩	撥形、やや薄手、刃部摩耗	PL140
97	打製石斧	96	A-25	-	完形	11.4	5.4 1.7	130	細粒輝石安山岩	片面に自然面、刃部薄く作られ、摩耗顕著	PL140
98	打製石斧	96	表土	-	完形	11.8	5.4 2.1	184	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に大きく自然面	PL140
99	打製石斧	96	A-24	-	完形	11.65	4.25 1.9	132	細粒輝石安山岩	細身の短冊形、刃部摩耗	PL140
100	打製石斧	96	A-23	-	ほぼ完形	11.0	4.8 1.8	102	黒色頁岩	撥形、側縁の挟りは弱い、刃部摩耗	PL140
101	打製石斧	96	A-24	-	ほぼ完形	10.2	4.8 1.7	115	粗粒輝石安山岩	左右の側縁非対象形、刃部摩耗	PL140
102	打製石斧	96	A-22	-	完形	10.4	5.1 1.3	102	黒色頁岩	短冊形、基部上端に自然面、刃部摩耗	PL140
103	打製石斧	96	A-23	-	完形	9.9	4.2 1.2	81	細粒輝石安山岩	短冊形、片面に自然面、刃部摩耗	PL140
104	打製石斧	96	A-23	-	完形	10.3	3.6 1.6	73	黒色頁岩	細身の短冊形、幅に対して厚みあり	PL140
105	打製石斧	96	表土	-	完形	9.9	4.5 2.75	121	頁岩	片面に丸み有す自然面残す	PL140
106	打製石斧	96	E-20	-	完形	10.5	4.3 1.8	89	細粒輝石安山岩	側縁部、基部寄りに浅く挟りを有す	PL140
107	打製石斧	96	E-19	-	完形	8.9	4.3 2.1	90	粗粒輝石安山岩	短冊形、小形品で刃部摩耗	PL140
108	打製石斧	96	A-23	-	完形	9.7	4.8 1.5	88	黒色頁岩	撥形、刃部摩耗	PL140
109	打製石斧	96	G-18	-	ほぼ完形	8.5	4.75 1.4	77	細粒輝石安山岩	短い作り、刃部僅かに欠く	PL140
110	打製石斧	96	表土	-	ほぼ完形	8.2	4.35 1.35	79	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部摩耗	PL140
111	打製石斧	96	E-20	-	ほぼ完形	8.1	3.7 1.5	58	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部摩耗	PL140
112	打製石斧	96	E-20	-	ほぼ完形	8.9	4.6 1.5	72	粗粒輝石安山岩	片面に自然面、剥片斧	PL140
113	打製石斧	96	A-22	-	完形	8.8	4.6 1.6	74	細粒輝石安山岩	小形の撥形、基部に自然面残す	PL140
114	打製石斧	96	A-23	-	完形	8.7	4.1 1.2	56	黒色頁岩	やや小形の短冊形、両端丸みを持つ	PL140
115	打製石斧	96	表土	-	ほぼ完形	7.1	4.5 1.2	51	細粒輝石安山岩	短い作り、再生品か	PL140
116	打製石斧	96	D-20	-	基部欠損	(9.8)	5.2 2.8	(190)	細粒輝石安山岩	刃部の作出は粗い	PL140
117	打製石斧	96	A-22	-	基部欠損	(9.9)	5.1 1.5	(119)	細粒輝石安山岩	短冊形、刃部やや広がる、基部を僅かに欠く	PL140
118	打製石斧	96	D・E-20	-	基部欠損	(8.9)	4.9 1.5	(73)	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に自然面、被熱し脆い	PL140
119	打製石斧	96	F-20	-	基部欠損	(7.1)	5.8 1.8	(104)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、刃部の摩耗顕著	PL141
120	打製石斧	96	表土	-	基部欠損	(7.4)	5.4 3.2	(159)	粗粒輝石安山岩	厚手の作り	PL141
121	打製石斧	96	F-20	-	基部欠損	(7.8)	5.4 2.45	(117)	黒色安山岩	円刃、摩耗	PL141
122	打製石斧	96	F-20	-	基部欠損	(8.2)	5.15 2.0	(113)	細粒輝石安山岩	刃部やや広がる	PL141
123	打製石斧	96	A-23	-	基部欠損	(9.1)	4.4 2.1	(90)	黒色頁岩	片側縁に挟りを有す、石刀状	PL141
124	打製石斧	96	A-23	-	基部欠損	(7.1)	5.95 1.85	(80)	細粒輝石安山岩	円刃、やや摩耗	PL141
125	打製石斧	96	E-20	-	基部欠損	(7.6)	4.8 1.8	(58)	細粒輝石安山岩	摩耗した刃部片	PL141
126	打製石斧	96	A-24	-	基部欠損	(6.5)	4.8 1.55	(69)	細粒輝石安山岩	刃部片か、摩耗顕著	PL141
127	打製石斧	96	A-23	-	基部欠損	(6.7)	4.4 1.15	(48)	細粒輝石安山岩	やや扁平で刃部片面に自然面、刃部摩耗	PL141
128	打製石斧	96	A-23	-	基部欠損	(5.4)	5.1 1.45	(51)	黒色頁岩	楔形石器か	PL141
129	打製石斧	96	表土	-	基部欠損	(4.75)	5.1 1.3	(46)	粗粒輝石安山岩	刃部片、摩耗顕著	PL141
130	打製石斧	96	E-19	-	刃部片	(6.1)	6.1 1.3	(53)	紫黒輝石普通輝石安山岩	円刃部片か	PL141
131	打製石斧	96	A-23	-	基部欠損	(5.5)	4.9 1.4	(56)	黒色頁岩	撥形石斧の刃部片、摩耗見られる	PL141
132	打製石斧	96	表土	-	基部欠損	(5.75)	4.5 1.5	(54)	細粒輝石安山岩	基部片の可能性あり	PL141
133	打製石斧	96	F-19	-	刃部片	(4.6)	5.6 0.9	(36)	細粒輝石安山岩	薄手の刃部片	PL141
134	打製石斧	96	E-21	-	刃部片	(3.6)	5.7 1.4	(27)	黒色頁岩	刃部片と思われる	PL141
135	打製石斧	96	F-21	-	基部欠損	(4.9)	3.8 1.1	(29)	黒色頁岩	刃部片か	PL141
136	打製石斧	96	E-21・22	-	刃部片	(5.8)	3.1 0.6	(12)	細粒輝石安山岩	打製石斧の刃部小片か	PL141
137	打製石斧	96	D-21	-	基部欠損	(3.75)	4.4 1.35	(28)	細粒輝石安山岩	小形品、基部・刃部を欠く	PL141
138	打製石斧	96	F-20	-	欠損品	(4.4)	3.9 0.6	(11)	細粒輝石安山岩	刃部片と思われる	PL141
139	打製石斧	96	表土	-	欠損品	(4.9)	3.3 0.7	(12)	黒色安山岩	刃部の剥離片か	PL141
140	打製石斧	96	表土	-	刃部欠損	(13.9)	6.1 2.6	(260)	粗粒輝石安山岩	撥形、片面に大きく自然面残す	PL141
141	打製石斧	96	A-23	-	刃部欠損	(9.5)	5.9 2.0	(182)	細粒輝石安山岩	板状礫利用	PL141
142	打製石斧	96	A-24	-	刃部欠損	(10.3)	6.0 2.0	(207)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、両面に自然面	PL141
143	打製石斧	96	A-24	-	刃部欠損	(11.0)	5.3 1.15	(81)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、非熱による剥離顕著	PL141
144	打製石斧	96	E-20	-	刃部欠損	(10.2)	5.4 2.5	(147)	細粒輝石安山岩	撥形、やや厚みあり	PL141
145	打製石斧	96	E-18	-	刃部欠損	(8.2)	5.9 1.8	(127)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、側縁は平行し両面に自然面残す	PL141
146	打製石斧	96	E-21	-	刃部欠損	(9.6)	5.3 1.3	(84)	細粒輝石安山岩	板状礫利用	PL141
147	打製石斧	96	A-23	-	刃部欠損	(9.3)	5.2 1.4	(84)	細粒輝石安山岩	撥形、刃部僅かに欠く	PL141
148	打製石斧	96	D-22	-	刃部欠損	(8.2)	5.3 2.1	(98)	細粒輝石安山岩	片面に自然面残す	PL141
149	打製石斧	96	E-20	-	刃部欠損	(7.6)	5.2 1.6	(96)	粗粒輝石安山岩	撥形か、片面に自然面残す	PL141
150	打製石斧	96	A-22	-	刃部欠損	(6.9)	5.6 1.8	(79)	粗粒輝石安山岩	片面に自然面残す基部片	PL141
151	打製石斧	96	E-21	-	刃部欠損	(7.4)	5.7 1.1	(65)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、両面に自然面	PL141
152	打製石斧	96	F-19	-	刃部欠損	(7.5)	5.1 2.45	(134)	紫黒輝石普通輝石安山岩	やや厚みあり	PL141
153	打製石斧	96	G-19	-	刃部欠損	(5.6)	6.9 2.2	(135)	細粒輝石安山岩	大形打製石斧の基部片か	PL141
154	打製石斧	96	G-19	-	刃部欠損	(6.6)	6.3 0.8	(62)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、側縁部研磨調整	PL141
155	打製石斧	96	表土	-	刃部欠損	(7.25)	4.5 1.9	(80)	黒色頁岩	基部は薄く作られる	PL141
156	磨製石斧	96	F-21	-	刃部欠損	(7.8)	4.5 2.3	(149)	蛇紋岩	後縁は丸みを持つ、表面風化	PL141
157	打製石斧	96	F-19	-	刃部欠損	(7.8)	5.0 1.25	(58)	粗粒輝石安山岩	粗い作り	PL141
158	打製石斧	96	A-23	-	刃部欠損	(7.0)	4.8 1.9	(94)	細粒輝石安山岩	基部やや厚手	PL141
159	打製石斧	96	E-21	-	刃部欠損	(7.3)	4.6 1.15	(67)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、両面に自然面	PL141
160	打製石斧	96	D-20	-	刃部欠損	(8.1)	4.1 1.4	(56)	細粒輝石安山岩	短冊形か	PL141
161	打製石斧	96	F-19	-	刃部欠損	(7.4)	5.1 0.9	(57)	細粒輝石安山岩	板状礫を利用	PL141
162	磨製石斧	96	C-22	-	刃部欠損	(7.2)	5.1 2.8	(175)	緑泥石岩	後縁に丸みを持つ、成形時の研磨痕見られる	PL141
163	打製石斧	96	A-23	-	刃部欠損	(7.5)	4.4 1.45	(54)	細粒輝石安山岩	作り粗い	PL141
164	打製石斧	96	E-21	-	刃部欠損	(6.1)	4.2 1.4	(50)	細粒輝石安山岩	短冊形か	PL141
165	打製石斧	96	G-19	-	刃部欠損	(7.2)	3.6 2.95	(59)	黒色頁岩	やや細身の作り	PL141
166	打製石斧	96	E-20	-	刃部欠損	(6.8)	4.2 1.35	(54)	細粒輝石安山岩	やや反りを持つ	PL141
167	打製石斧	96	F-18	-	刃部欠損	(6.6)	5.3 1.25	(52)	細粒輝石安山岩	基部片と思われるがスクレイパーの可能性あり	PL141
168	打製石斧	96	A-23	-	刃部欠損	(5.3)	5.9 1.3	(52)	細粒輝石安山岩	打製石斧の基部片と見られる	PL141
169	打製石斧	96	A-22	-	刃部欠損	(5.1)	7.4 2.0	(72)	細粒輝石安山岩	粗い作りの基部片	PL141
170	打製石斧	96	F-21	-	刃部欠損	(6.7)	4.0 1.9	(59)	細粒輝石安山岩	撥形の基部片	PL141
171	打製石斧	96	G-18	-	刃部欠損	(6.2)	4.0 1.15	(38)	粗粒輝石安山岩	両側縁部僅かに挟り持つ	PL141
172	打製石斧	96	D-22	-	刃部欠損	(6.2)	4.4 1.6	(53)	黒色頁岩	基部片	PL141
173	打製石斧	96	E-20	-	基部片	(5.4)	(4.2) 0.8	(33)	細粒輝石安山岩	両面に自然面、基部片か	PL141
174	打製石斧	96	D-21	-	基部欠損	(5.6)	5.0 1.45	(67)	粗粒輝石安山岩	板状礫利用、基部・刃部を欠く	PL141
175	打製石斧	96	D・E-20	-	刃部欠損	(6.45)	4.6 1.15	(34)	細粒輝石安山岩	基部片か	PL141
176	打製石斧	96	E-19・20	-	欠損品	(5.3)	5.1 1.7	(47)	黒色頁岩	基部片か	PL141
177	打製石斧	96	表土	-	刃部欠損	(5.0)	3.9 1.1	(29)	細粒輝石安山岩	基部片と見られる	PL141
178	打製石斧	96	F-21	-	刃部欠損	(5.4)	4.1 1.1	(35)	細粒輝石安山岩	粗い作り	PL141
179	打製石斧	96	表土	-	刃部欠損	(4.25)	4.0 1.85	(51)	黒色頁岩	基部片	PL141
180	打製石斧	96	E-21	-	基部片	(4.7)	3.8 1.2	(23)	細粒輝石安山岩	挟りを有す基部片	PL141
181	打製石斧	96	G-20	-	基部片	(3.6)	4.3 1.35	(34)	細粒輝石安山岩	基部の端部片	PL142

### 第3章 検出された遺構と遺物

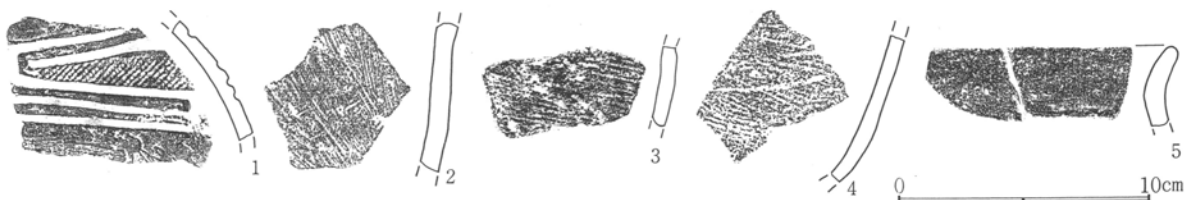
図版番号	器種	区	グリッド	出土位置	残存	計測値	長さ・幅・厚さ(cm)	重量(g)	石材	特徴	PLNo.
182	打製石斧	96	表土	-	刃部欠損	(3.4)	4.4 1.25	(32)	黒色頁岩	基部片か	PL142
183	打製石斧	96	表土	-	基部片	(3.3)	3.5 0.9	(12)	細粒輝石安山岩	基部の小片か	PL142
184	打製石斧	96	E-21	-	刃部欠損	(2.7)	3.6 0.6	(9)	細粒輝石安山岩	小形品の基部片	PL142
185	打製石斧	96	F-19	-	基部片	(2.5)	3.65 0.55	(6)	細粒輝石安山岩	薄手基部片か	PL142
186	磨製石斧	96	表土	-	刃部片	(2.7)	4.5 1.4	(29)	蛇紋岩	両刃の円形刃	PL142
187	磨製石斧	96	F-19	-	欠損品	3.5	3.1 1.1	14	蛇紋岩	刃部破片	PL142
188	磨製石斧	96	表土	-	欠損品	(6.7)	5.4 3.4	(200)	蛇紋岩	基部片摩滅見られる	PL142
189	スクレイパー	96	表土	-	完形	7.7	7.45 1.55	108	細粒輝石安山岩	円形で刃部は粗い作出、片面に自然面	PL142
190	スクレイパー	96	A-23	-	完形	8.4	5.5 1.0	47	黒色頁岩	三角形を呈す、下辺に刃部作出	PL142
191	スクレイパー	96	F-18	-	完形	8.6	3.5 1.7	69	頁岩	断面三角の棒状礫を用い、一側縁に刃部作出	PL142
192	スクレイパー	96	E-22	-	完形	6.1	5.3 1.0	44	細粒輝石安山岩	片面に大きく自然面、丸く刃部作出	PL142
193	スクレイパー	96	D・E-20	-	完形	5.5	4.6 0.85	31	細粒輝石安山岩	打製石斧刃部片の可能性あり	PL142
194	スクレイパー	96	D-21	-	ほぼ完形	6.0	5.2 1.0	39	細粒輝石安山岩	ほぼ円形で、刃部の作出は粗い	PL142
195	スクレイパー	96	F-19	-	完形	6.25	3.75 0.9	22	黒色安山岩	不定型な薄片の一辺に刃部作出	PL142
196	スクレイパー	96	G-20	-	完形	6.15	4.3 1.1	37	珪質頁岩	台形を呈し、下辺を刃部とする	PL142
197	スクレイパー	96	表土	-	完形	4.6	4.7 1.15	29	細粒輝石安山岩	ほぼ円形で粗く刃部作出	PL142
198	スクレイパー	96	E-20	-	完形	4.7	3.5 0.7	13	黒色頁岩	三角形を呈し、長辺部を刃部とする	PL142
199	スクレイパー	96	E-21	-	完形	5.2	1.7 0.8	10	細粒輝石安山岩	横長剥片の下辺部に刃部作出	PL142
200	スクレイパー	96	G-18	-	完形	3.8	3.4 1.0	14	頁岩か	小形のハート形を呈す、側縁に刃部作出	PL142
201	スクレイパー	96	E-19	-	ほぼ完形	4.7	3.6 0.8	15	細粒輝石安山岩	縦長の台形を呈す、下辺に刃部作出	PL142
202	礫器	96	G-17	-	完形	10.7	9.1 2.7	293	細粒輝石安山岩	三角形を呈し、1側縁に粗く刃部作出	PL142
203	礫器	96	A-21	-	完形	10.2	7.0 3.5	261	細粒輝石安山岩	弧状の刃部有す	PL142
204	磨石	96	F-21	-	完形	12.7	10.5 7.0	1375	粗粒輝石安山岩	やや大形の礫、使用面平滑	PL142
205	磨石	96	D-21	-	完形	14.0	4.7 9.0	1753	粗粒輝石安山岩	やや大形の礫	PL142
206	磨石	96	E-20	-	完形	14.2	8.0 4.6	775	安山岩	やや扁平な長円礫利用、使用面平滑、被熱	PL142
207	磨石	96	E-22	-	完形	14.0	7.4 4.5	853	石英閃緑岩	やや扁平な礫形、使用面平滑、側縁部に打痕	PL142
208	磨石	96	F-20	-	完形	16.0	11.0 4.5	1157	粗粒輝石安山岩	扁平礫、両面使用	PL142
209	磨石	96	F-19	-	完形	12.0	8.8 7.7	1122	粗粒輝石安山岩	やや大形の礫利用、使用面平滑	PL142
210	磨石	96	A-23	-	完形	12.0	8.5 6.1	943	粗粒輝石安山岩	やや大形の礫利用、使用面平滑	PL142
211	磨石	96	A-22	-	完形	15.0	10.4 11.6	2800	粗粒輝石安山岩	大形の礫、平坦面使用	PL142
212	磨石	96	A-25	-	ほぼ完形	10.2	9.0 4.6	534	粗粒輝石安山岩	やや扁平な円礫、両面使用	PL142
213	磨石	96	G-18	-	完形	9.7	8.8 6.5	724	粗粒輝石安山岩	円礫利用、使用面平滑	PL142
214	磨石	96	A-23	-	ほぼ完形	10.2	7.7 3.7	409	粗粒輝石安山岩	表面平滑、磨面に打痕あり	PL142
215	磨石	96	A-22	-	完形	13.3	10.9 8.5	1878	デイスait	やや大形の礫、使用面平滑	PL142
216	磨石	96	F-19	-	完形	9.0	8.4 5.8	512	粗粒輝石安山岩	おむすび形の礫、平坦な一面を使用面	PL142
217	磨石	96	F-21	-	ほぼ完形	10.3	7.3 6.0	699	粗粒輝石安山岩	使用面平滑、側縁部に打撃痕あり	PL142
218	磨石	96	F-22	-	欠損品	(8.1)	9.2 6.6	(766)	粗粒輝石安山岩	縁礫利用、使用面全面、平滑、被熱	PL142
219	磨石	96	F-19	-	完形	11.7	6.4 4.7	507	粗粒輝石安山岩	端部に打痕、また両面に浅い凹み穴	PL142
220	磨石	96	E-21	-	完形	10.8	6.1 4.5	493	粗粒輝石安山岩	断面三角の礫利用	PL142
221	磨石	96	F-19	-	完形	10.2	6.8 5.2	504	粗粒輝石安山岩	卵形礫、両面使用面、それぞれに一对の浅い凹穴	PL143
222	磨石	96	F-18	-	完形	8.4	7.4 5.2	455	粗粒輝石安山岩	円礫利用、両面使用	PL143
223	磨石	96	G-19	-	完形	7.9	7.6 6.6	525	粗粒輝石安山岩	円礫利用、表面平滑	PL143
224	磨石	96	F-22	-	完形	8.4	7.0 3.5	267	粗粒輝石安山岩	扁平な小円礫利用	PL143
225	磨石	96	E-21	-	完形	8.8	6.0 2.8	197	粗粒輝石安山岩	扁平な礫利用	PL143
226	磨石	96	G-17	-	完形	7.8	7.2 5.2	414	粗粒輝石安山岩	平坦面使用、使用面に浅い凹穴有す	PL143
227	磨石	96	D-20	-	完形	8.0	6.4 5.2	411	粗粒輝石安山岩	小礫利用、全面使用	PL143
228	磨石	96	表土	-	完形	7.8	6.2 5.4	313	粗粒輝石安山岩	多孔質の円礫利用	PL143
229	磨石	96	A-23	-	完形	7.8	5.8 3.7	248	石英閃緑岩	卵形の礫を利用、側面に若干の打痕	PL143
230	磨石	96	A-23	-	完形	7.2	5.8 4.7	239	粗粒輝石安山岩	小円礫利用	PL143
231	磨石	96	F-19	-	完形	6.5	5.9 4.0	161	粗粒輝石安山岩	小円礫利用、一面使用、極めて平滑	PL143
232	磨石	96	A-23	-	完形	6.2	5.7 3.5	186	粗粒輝石安山岩	小円礫利用、表面平滑	PL143
233	磨石	96	A-23	-	完形	5.8	5.6 4.4	118	粗粒輝石安山岩	小円礫利用	PL143
234	磨石	96	F-20	-	完形	6.4	5.5 3.3	173	粗粒輝石安山岩	小円礫利用、表面平滑	PL143
235	磨石	96	A-24	-	完形	6.4	4.7 4.1	131	粗粒輝石安山岩	卵形の小礫利用、全面平滑	PL143
236	磨石	96	A-23	-	完形	5.3	4.3 4.0	129	粗粒輝石安山岩	小形の卵形、全面平滑	PL143
237	磨石	96	A-23	-	完形	15.4	5.8 4.9	605	粗粒輝石安山岩	棒状の礫、表面全面平滑、被熱	PL143
238	磨石	96	A-25	-	欠損品	(20.0)	17.0 13.5	(5600)	粗粒輝石安山岩	大形で細長い礫、一面極めて平滑に凹む	PL143
239	磨石	96	G-19	-	欠損品	12.0	(6.8) 3.2	(386)	粗粒輝石安山岩	扁平な円礫、両面使用	PL143
240	磨石	96	F-19	-	欠損品	(10.3)	(8.1) 5.2	(455)	粗粒輝石安山岩	使用面平滑、表面に若干の敲き痕、被熱	PL143
241	磨石	96	G-18	-	欠損品	(10.7)	6.6 4.1	(483)	粗粒輝石安山岩	やや長方形の礫利用、両面使用、浅い打痕あり	PL143
242	磨石	96	F-20	-	欠損品	(8.8)	(8.0) (5.8)	(654)	石英閃緑岩	使用面平滑、被熱	PL143
243	磨石	96	G-19	-	欠損品	(9.0)	6.8 5.2	(392)	粗粒輝石安山岩	長円礫、非熱により劣化	PL143
244	磨石	96	G-19	-	欠損品	(8.9)	6.8 3.8	(400)	粗粒輝石安山岩	扁平で角形を呈す、両面使用面	PL143
245	磨石	96	A-23	-	欠損品	(9.8)	(4.3) 3.6	(185)	デイスait	片面に打撃による凹み有す	PL143
246	磨石	96	E-21	-	欠損品	(6.5)	6.6 3.8	(204)	粗粒輝石安山岩	やや扁平で使用面極めて平滑	PL143
247	磨石	96	旧トレ	-	欠損品	(8.9)	(6.0) 4.8	(296)	粗粒輝石安山岩	円形礫利用、使用面は平滑、半分以上を欠く	PL143
248	磨石	96	D-21	-	欠損品	(7.1)	5.8 3.9	(234)	粗粒輝石安山岩	長円礫、複数の剥落面あり、使用面は平滑	PL143
249	磨石	96	F-19	-	欠損品	(5.3)	5.5 4.3	(196)	粗粒輝石安山岩	卵形の礫利用、使用面平滑	PL143
250	磨石	96	A-24	-	欠損品	(4.8)	6.5 4.1	(163)	粗粒輝石安山岩	使用面極めて平滑	PL143
251	凹石	96	D-19	-	完形	10.4	9.9 5.5	627	粗粒輝石安山岩	表裏に1つずつの凹み穴有す	PL143
252	凹石	96	A-22	-	完形	10.0	7.6 4.8	360	粗粒輝石安山岩	両面凹穴、また側縁部にも凹みあり	PL143
253	凹石	96	D-21	-	完形	8.0	6.7 4.2	282	粗粒輝石安山岩	おむすび形を呈す、凹穴はやや浅い	PL143
254	台石	96	F-20	-	欠損品	(16.0)	(13.0) 5.4	(2000)	粗粒輝石安山岩	板状で平らな面を使用し平滑	PL143
255	多孔石	96	G-18	-	完形	24.5	20.0 14.5	6300	粗粒輝石安山岩	不定型な自然礫利用、表面に複数の凹穴有す	PL144
256	多孔石	96	E-20	-	完形	17.0	(16.0) 11.8	(3600)	粗粒輝石安山岩	不定型な自然礫、表面に複数の凹穴	PL144
257	石棒	96	E-20	-	欠損品	(6.4)	(7.3) (4.7)	(340)	緑泥片岩	大形品の破片	PL144
258	軽石製品	96	E-19	-	完形	4.0	3.3 1.2	7.2	軽石	方形の軽石、ほぼ中央に円形の凹み穴	PL144
259	軽石製品	96	E-21	-	欠損品	(5.1)	(3.5) 1.6	10.3	軽石	三角形で一辺がふくらむ、縁が高まり内側に沈線	PL144
260	石製品	96	F-20	-	欠損品	(5.8)	5.0 2.1	(76)	デイスait	研磨成形で四角形を呈す、片面に未貫通の小孔	PL144
261	玉製品	96	E-21	-	欠損品	(1.2)	(0.6) 0.7	(0.8)	滑石	円形の玉、研磨成形、破損品	PL144
262	石鉢	4	-	-	-	高さ14.2 底径(20.0)	(642)	多孔質安山岩	発砲質の石を用いる、底は薄く作られる。中世か	PL144	



## 第4節 弥生・古墳時代の遺構と遺物

弥生・古墳時代の遺構は確認されなかったが、96区において弥生時代前期の土器片および古墳時代と思われる甕の口縁部片1点が出土している。この時期の遺物は極めて少数ながら、平成6～8年度調査区においても出土しており、何らかの遺構の存在も考えられる。

1は弥生時代中期前半甕の肩部片、沈線で三角連繫文を描く。2～3は弥生前期の細密条痕文土器である。4は古墳時代の甕口縁部か、赤褐色を呈し、器面は風化している。



第238図 遺構外出土遺物

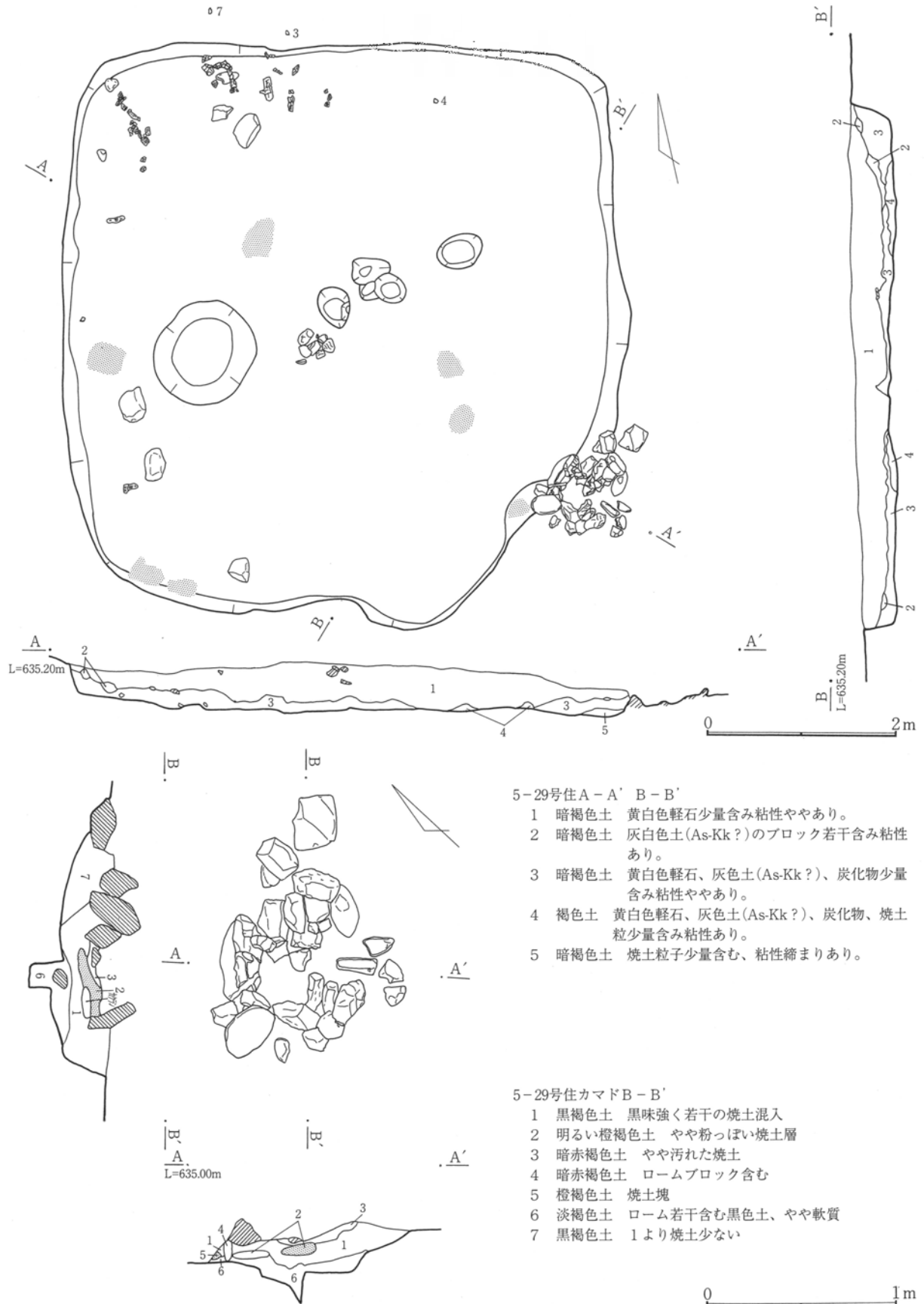
## 第5節 平安時代

5区において2軒の住居跡を検出した。いずれも依存状態が悪く、形状については明確に把握できなかった。5-29号住居跡は比較的大型で炭化材が出土している。5-32号住居跡は北側の一部のみの調査である。また、土坑等についても概期に属するものもあると思われるが、明確に比定されたものはなかった、陥し穴に關しても同様で平安時代と考えられるものも存在する可能性としてあるが、確証を得られたものは無かった。

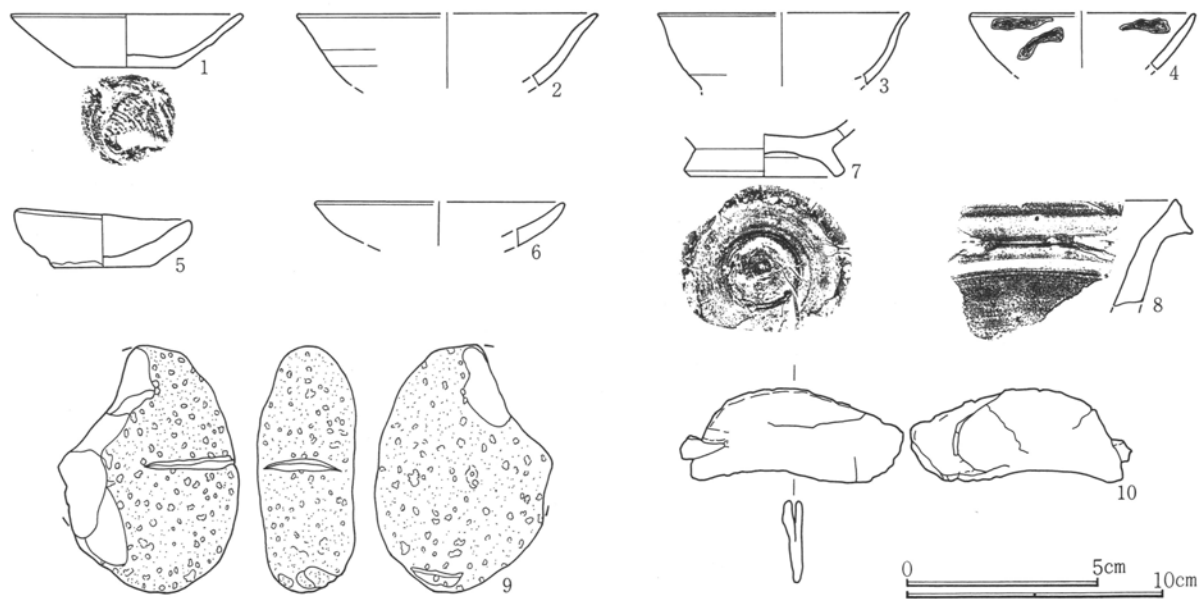
### 1. 住居跡

#### 5-29号住居跡（第239・240図：P L144）

**位置** 5F・G-10・11グリッドに位置する。**重複** 東側は5-31および33号住居に、カマド部分が5-33号住居に重複する。北壁中央部分に5-491号土坑（中世と思われる）が乗った状態で位置している。**形状** 隅丸方形を呈すかなり大型の住居と思われる。南東隅部分の立ち上がりは不明確である。**規模** 南北、東西辺ともに約6mである。掘り込みは北壁部分で約30cmを測る。北壁に本址よりも新しいと思われる集石が重複している。**方位** N-14°-E **床面** 硬化面は検出されず、極めて不明瞭であった。覆土中に炭化材、焼土が点在する。周溝、貯蔵穴についても検出されなかった。**カマド** 東壁の南東角寄りに作られていた。礫を組んで構築したものと思われるが、かなり崩れた状態であった。縄文時代の多孔石が構築材として転用されていた。内部に若干の焼土を認めているが、強く焼けた様子は見られない。**柱穴** いくつかの掘り込みを検出したが、攪乱坑も見られ確定できるものはなかった。また、本址によって削平された縄文時代の住居跡があり、その柱穴なども多く混在している。**掘方** 明確な床下土坑等は確認できなかった、床面下に縄文時代の住居が存在していたものと思われ、検出された土坑および焼土は、縄文の住居に関連するものと考えられる。**遺物出土状態** 少量の土師器皿、灰釉陶器碗の破片および鉄製品（鎌か）が1点出土している。また軽石製品9が1点見られ、金属器による切削痕が看取される。



第239図 5-29号住居跡



第240図 5－29号住居跡出土遺物

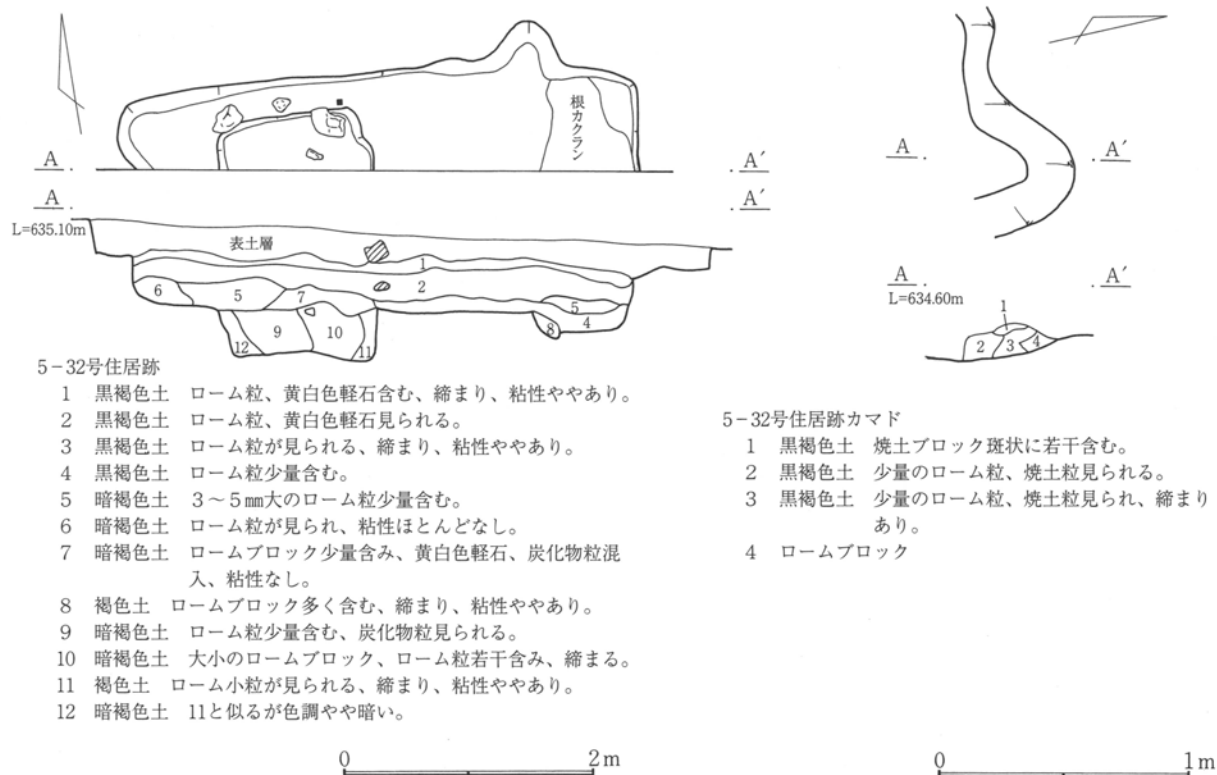
表4 5－29号住居跡出土遺物観察表

挿図番号 P L 番号	種 類	残 存	口径 ・ 器高 底径 (cm)	出土位置	胎土 焼成 色 調	成 ・ 整形の特徴	備 考
1	土師器皿	2分の1	口 (9.4) 高 2.0 底 4.0	覆土	微砂粒 良 灰褐色	体部は直線的に開く、底部回転糸 切り (右)	内面に若干の 煤付着
2	土師器皿	2分の1	口 6.8 高 2.3 底 3.8	覆土	砂粒 普通 黄褐色	手捏ね、器肉厚くゆがみ有り、外 面撫で成形。	作りは雑で器 肉厚不均一
3	須恵器碗	口縁部片	口(12.0) 高 - 底 -	覆土	精製 良 黄褐色	ロクロ成形、口唇部やや外反す る。	
4	灰釉皿	口縁部片	口(10.0) 高 - 底 -	覆土	精製 良 灰白色	やや厚手の作り、釉は浸け掛け	
5	土師器碗	口縁部片	口(10.0) 高 - 底 -	覆土	精製 良 茶褐色	ロクロ成形、体部やや丸みを持 ち、口唇部外反する。内面黒色。	内面黒色
6	土師器	口縁部片	口 (9.0) 高 - 底 -	覆土	精製 良 黒色	体部直線的に開く。	内外面にター ル状の付着物
7	須恵器高 台付き碗	底部片	口 - 高 - 底 6.4	覆土	砂粒 良 黒褐色	高台部、高台わずかに丸みを持っ て開き、端部は角頭状。	
8	須恵器甕	口縁部片	口 - 高 - 底 -	覆土	砂粒 良 灰黒色	口唇部断面三角の反り。	
9	軽石製品 砥石か	欠損品	長さ 9.3 幅 7.1 厚さ 3.9	覆土	特 徴 軽石を小判状に成形、削り痕・刃研ぎ溝あり。		切削痕は金属 器によるもの
10	鉄製品	完形品か	長さ 5.9 幅 2.2 厚さ 0.6 重さ 17.0	覆土	特 徴 半月状で一端に突起あり、端に割れが入る。		器種は不明

5－32号住居跡 (第241図：P L 144)

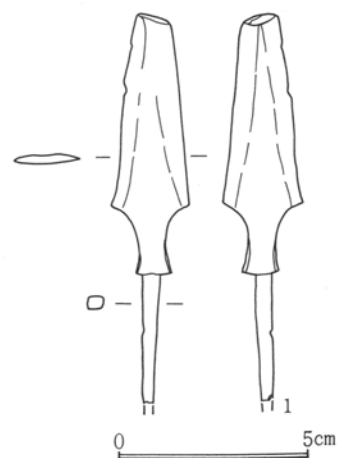
**位置** 5 E・F－9グリッドに位置する。 **重複** 南側の大部分は現道路下にあるため未調査である。また、住居内、東部分には攪乱坑がある。 **形状** 隅丸方形と考えられる。 **規模** 北壁長4.2mである。壁高は最大で40cmを測る。 **方位** N－5°－E **床面** 比較的平坦であるが、あまり硬化した状況は見られない。 **カマド** 北壁のやや東寄りに作られている。粘土や石などの構築材は見られず、焼土の検出もわずかである。焚き口幅50cm、奥行きは40cmと小さめである。 **柱穴** 検出されなかった。 **貯蔵穴** 明確なものは確認されなかったが、断面において床面の落ち込みを認めた。 **掘方** 床下土坑等は確認されなかったが本遺構よ

### 第3章 検出された遺構と遺物



第241図 5-32号住居跡

りも古いと考えられる落ち込みが検出されている。遺物出土状態 土器の出土はなかったが、覆土中よりほぼ完形の鉄鏃が1点出土している。時期・所見 検出された部分がわずかであったために、全容は不明である。鉄鏃以外に出土遺物は見られなかったが、形状、埋土の状況などから時期は平安時代末か。



第242図 5-32号住居跡出土遺物

表5 5-32号住居跡出土遺物観察表

挿図番号 PL番号	種類	残存	口径・器高 底径(cm) 高さ(g)	出土位置	特徴	備考
1	鉄鏃	ほぼ完形品	長さ 10.3 幅 2.1 厚さ 0.8 重さ 13.2	覆土	細身で反りは無く、胴部分に向かって弧状に作られている、茎は断面方形。	先端部折れ曲がり鋒は欠損

## 第6節 中・近世

5区において平安時代の住居を切って構築されている土坑2基、5-490・491号（集石を伴う）が検出されている他には明確なものは検出されなかった。なお、両土坑出土の遺物については第3節土坑の項にて、すでに記載を行っており、ここでは遺構についての記述を行う。

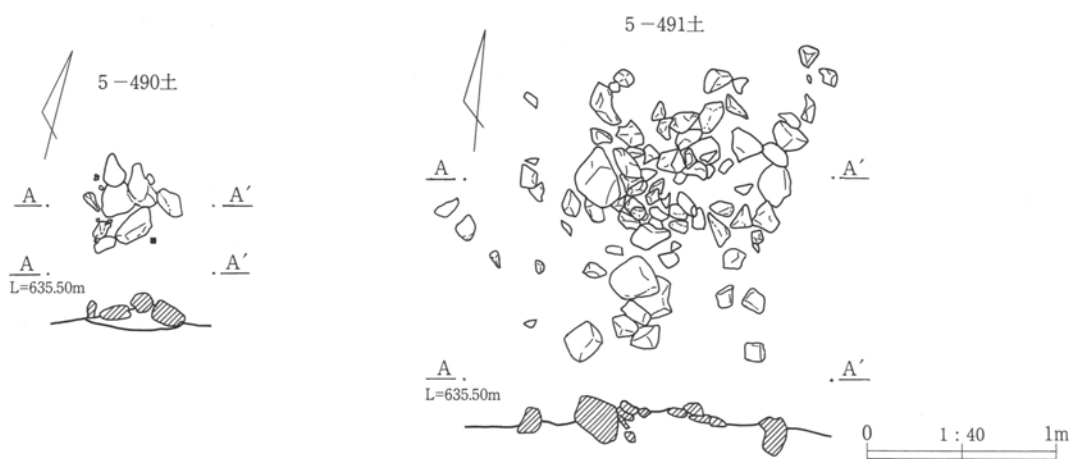
## 1. 土坑

## 5-490号土坑 (第243図)

5区F-11・12グリッドに位置する。集石土坑であるが、掘り込みは確認できなかった。数個の川原石が置かれた状態で検出され、土坑底面より開元通宝1点が出土している。

## 5-491号土坑 (第243図)

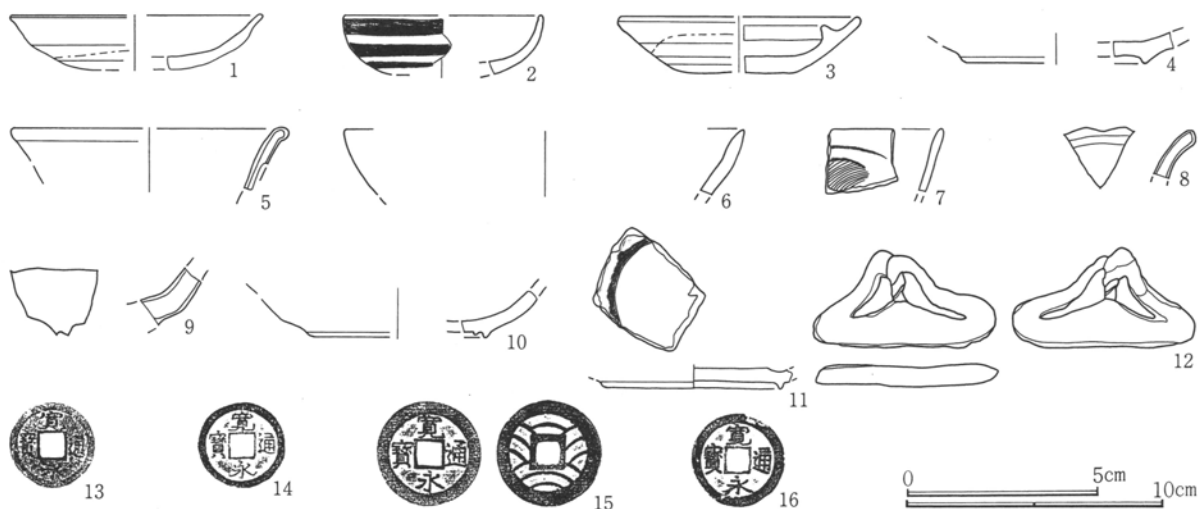
5区F-11グリッドに位置、平安時代5-29号住居跡の北壁に重複する。5-490号土坑の西に位置している。黒色土中であるために、掘り込みは確認できず、大小の礫がやや広がりを持って出土している。礫の出土状態は不規則で、火を受けた様子も観察されなかった。出土遺物も見られない。



第243図 5-490・491号土坑

## 2. 遺構外出土遺物 (第244図・P L144)

調査区内ほぼ全域において遺物が見られたが点数は少ない、青磁類は4区にまとまって見られる。鉄製品は火打ち金が1点見られた他寛永通宝が4点出土している、いずれも表土からの出土である。



第244図 中・近世遺構外出土遺物

### 第3章 検出された遺構と遺物

表6 中・近世遺構外出土遺物観察表（第244図・P L144）

番 号	種 類	残 存	口 径 ・ 器 高 底径 (cm) 重さ (g)	出土位置	特 徴	備 考
1	灯明皿	破片	口 (10.1) 高 2.2 底 (3.7)	3区 表土	志戸呂、鉄釉	18C中～後
2	仏飯器	口縁部片	口 (7.9) 高 - 底 -	3区 表土	肥前磁器	18～19C
3	灯明受皿	2分の1	口 (9.7) 高 2.2 底 (4.5)	4区 3トレンチ	瀬戸・美濃陶器、鉄釉、外面、口縁部以外釉をぬぐい取る	19C中
4	皿	底部片	口 - 高 - 底 (7.1)	4区 A-11	瀬戸・美濃、志野中皿	17C
5	青磁碗	口縁部片	口 (11.1) 高 - 底 -	4区 5トレンチ	中国産	中世
6	青磁碗	口縁部片	口 (16.0) 高 - 底 -	4区 W-11	大窯	16C
7	青磁碗	口縁部片	口 - 高 - 底 -	4区 X-12	龍泉窯系	13C 中世
8	青磁皿	口縁部片	口 - 高 - 底 -	4区 X-11	龍泉窯系	15C
9	青磁碗	破片	口 - 高 - 底 -	4区 F-12	龍泉窯系	13～14C 厚手
10	皿	底部片	口 - 高 - 底 (7.0)	4区 4トレンチ	瀬戸・美濃陶器、志野皿	17C
11	皿	底部片	口 - 高 - 底 7.0	5区 G-11	大窯、輪缶皿（底部）	16C
12	火打金	ほぼ完形	長さ 4.8 幅 2.5 厚さ 0.5 重さ 12.1	5区 H-13	特 徴 両端を中央で合わせねじる	江戸時代か
13	銭 寛永通宝	完形品	径 2.25 重さ 2.2	5区 X-12	特 徴 表面風化	江戸時代
14	銭 寛永通宝	完形品	径 2.3 重さ 2.1	5区 Y-9	特 徴	江戸時代
15	銭 寛永通宝	完形品	径 2.8 重さ 4.3	5区 表土	特 徴 裏面青海波文	江戸時代
16	銭 寛永通宝	完形品	径 2.5 重さ 3.4	96区 表土	特 徴	江戸時代



第4章 自然化学分析

長野原一本松遺跡5-10号住居跡から出土した炭化材の樹種

植田 弥生（パレオ・ラボ）

1. はじめに

当遺跡は群馬県吾妻郡長野原町大字長野原字一本松に所在し、吾妻川左岸の標高600～630mの段丘の縁に位置する。

ここでは、縄文時代後期前葉の5－10号住居跡から出土した3点の炭化材の樹種を報告する。これらの炭化材は大きさ・産状から住居の構築材と考えられるものである。

2. 方法

樹種同定は炭化材の3方向の破断面の組織を走査電子顕微鏡で観察し行った。横断面（木口）は炭化材を手で割り、新鮮な面を出し、接線断面（板目）と放射断面（柃目）は片刃の剃刀を方向に沿って軽くあてて弾くように割り、新鮮な面を出す。この3断面の試料を直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定し、その周囲に導電性ペーストを塗る。試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡（日本電子（株）製JSM T-100型）で観察・写真撮影を行った。

3. 結果

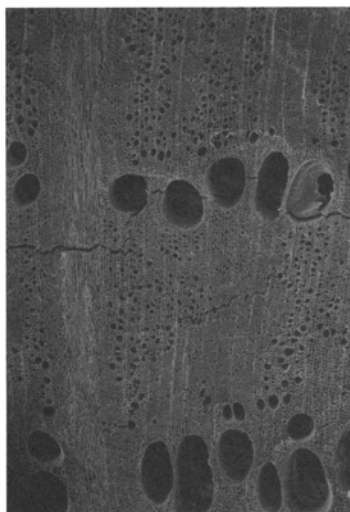
YD5・01 5－10号住居から出土した炭No.1とNo.2はニレ属、炭No.3はコナラ属コナラ節であった。この2分類群は当地域の住居構造材として今までにも報告例があるが、ニレ属の報告例はそれほど多いほうではない。

表 長野原一本松遺跡 YD5・01 5－10号住居出土炭化材の樹種				
遺構・試料			樹 種	時 期
YD5・01	5-10号住	炭No.1	ニレ属	縄文時代後期
YD5・01	5-10号住	炭No.2	ニレ属	縄文時代後期
YD5・01	5-10号住	炭No.3	コナラ節	縄文時代後期

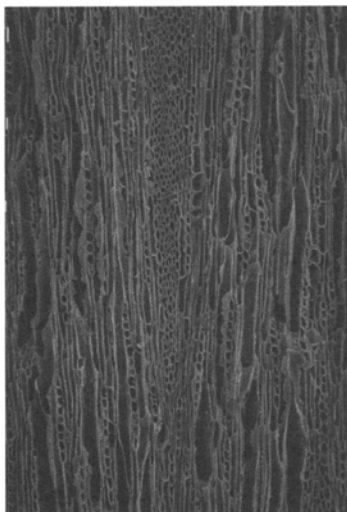
以下に同定の根拠とした材組織を記載する。

コナラ属コナラ亜属コナラ節 *Quercus*. subgen. *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版 1a-1c. (炭No.3)  
年輪の始めに中型の管孔が配列し徐々に径を減じ、晩材部では薄壁・角形で小型の管孔が火災状・放射状方向に配列する環孔材である。道管の壁孔は交互状、穿孔は単一、内腔にチロースがある。放射状組織は単列のものと広放射組織・複合状のものがある。

図版 長野原一本松遺跡出土炭化財の樹種



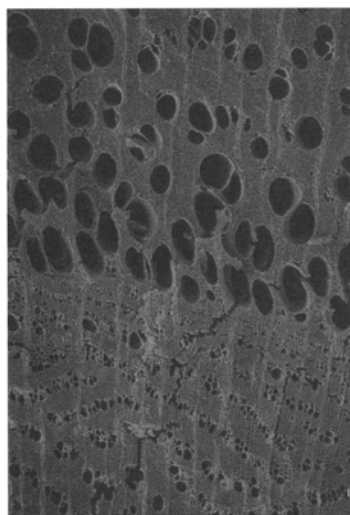
1a. コナラ属コナラ節（横断面）  
炭No.3 bar: 0.5mm



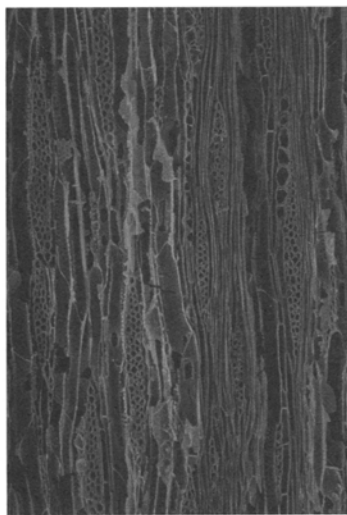
1b. 同（接線断面） bar. 0.1mm



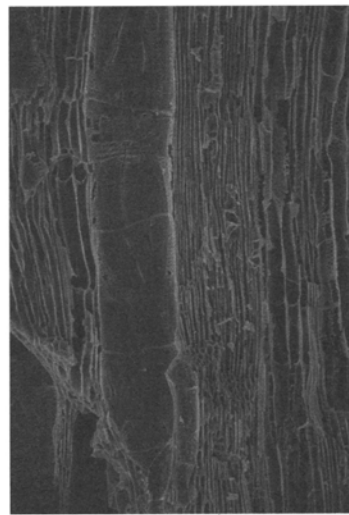
1c. 同（放射断面） bar. 0.1mm



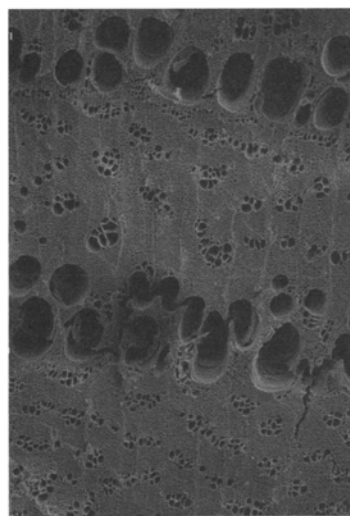
2a. ニレ属（横断面）  
炭No.1 bar: 0.5mm



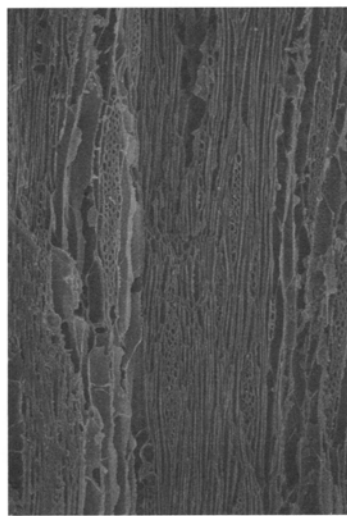
2b. 同（接線断面） bar. 0.1mm



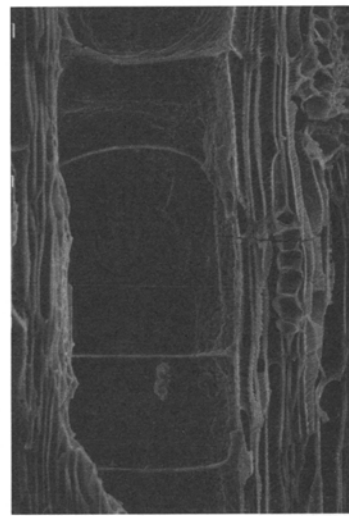
2c. 同（放射断面） bar. 0.1mm



3a. ニセ属（横断面）  
炭No.2 bar: 0.5mm



3b. 同（接線断面） bar. 0.1mm



3c. 同（放射断面） bar. 0.1mm

コナラ節は暖帯から温帯に生育する落葉高木で、カシワ・ミズナラ・コナラ・ナラガシワがある。材は加工がしにくく乾燥すると割れやくるいが出やすい欠点はあるが、人里近くに普通にある樹種であることもあり、用途は広い。堅果は食用となる。

ニレ属 *Ulmus* ニレ科 図版 2a-2c. (炭No,1) 3a-3c. (炭No,2)

年輪の始めに大型の管孔が2～4層配列し、その後小型の管孔が複合し、晩材では非常に小型の管孔が多数集合して塊状・斜状・接線状に配列する環孔材である。道管の壁孔は交互状、穿孔は単一、小道管の内腔にらせん肥厚がある。放射組織は同性、1～4細胞幅の紡錘形、道管との壁孔は小型である。ケヤキの組織に似るが、結晶細胞が放射組織の上下端や縁にあるケヤキとは異なり、軸方向に連なるストランドを形成していることからニレ属と同定した。

ニレ属は北地の温帯に多いハルニレ・オヒョウ、暖帯の荒地や川岸に普通に見られるアキニレがあり、いずれも落葉高木である。材の用途は多く、樹皮の繊維も縄や織物に利用される。

## 2. 長野原一本松遺跡5区2号配石出土獣骨(縄文時代後期)

植崎修一郎

近位端及び遠位端を欠く、骨幹部であり、恐らくニホンジカ (*Cervus nippon*) の中足骨であると推定される。長軸約85mmで、白色を呈しており、焼かれたものと推定される。この焼骨には、収縮は認められないため、焼成温度は約700℃以下か、約900℃以上であると推定されるが、通常のキャンプファイヤーでも、温度は900℃～1,000℃に達することが知られているので、恐らく約900℃以上であると推定される。また、この焼骨には、亀裂・捻れ・歪み等が認められないため、死体をそのまま焼成したのではなく、白骨化あるいは乾燥した状態のものを焼成したと推測される。もし、収縮していない状態であるとすれば、ニホンジカでも小型である。



## 第5章 まとめ

### 第1節 縄文時代

#### 1. 遺構

検出された遺構は長野原一本松遺跡における集落の一部であり、今後整理作業が進む過程で、解明をしてゆかねばならない課題も多く出現すると考えられる。本項では今回の整理を行う中で遺跡の性格の一部を示す点について概述することとしたい。

検出した住居の時期は中期後半から後期である。中期後半に比定される住居の分布および変遷について見ると、5区の西と東に分布している。報告を行った縄文時代の住居跡は25軒である。残存状況の極めて悪いものや、重複などいより部分的な検出にとどまったものなども多く、時期の確定に至らなかった住居もある。5区東側の調査区内で検出された5・30・36・37・38・39号住居跡は東西に重複し合って作られている。調査時の判断から西側の35号住が最も古く位置付けられ、次々と一部が重なった状態で、東側に作り替えが行われたものと判断される。さらに38・39号住居についてはそれぞれ、2重に周溝が廻るなど、拡張された痕跡を認めた。

また、5区西側調査区で検出された住居跡については、重複及び削平が著しく、遺構に帰属すると判断された土器は極めて少なかった。このため、時期の確定も難しく、重複関係も判断できなかったものもある。

出土した土器の時期については、炉体土器、埋甕など時期の認定要素となり得る遺物について、判断資料として用いた。なお、床面近くにおいて出土しているものについても、観察を行っているが、必ずしも判断資料として用いることができなかったものも少なからず存在する。

#### 2. 出土土器

住居跡出土の土器については器形をほぼ復元し得るものから、微細な破片までを含めるとおよそ1万点を数えるが、住居に重複した後世の土坑等に帰属するものもかなりの数で存在しており、純粋に住居廃棄時に残されたと考えられるものは、一部の住居跡を除き、かなり少なかったものと考えられる。

時期的には中期後半加曽利E3～4にかけてのものが主体を占めており、特に加曽利E3期と見られるものが中心をなしている。出土した個々の土器について見ると、東関東系の加曽利E系と中部地方の曾利系のものとが拮抗する状況を見せている。

以下、出土土器について遺構出土と遺構外出土とに分け、集成図を示し若干のまとめとしたい。なお、図示した土器については本遺跡において主体を占めている第Ⅲ群および第Ⅳ群（中期後半から後期中葉）に分類されるもので、大きく加曽利E系、曾利系とに分け、基本的には旧→新の順に並べたものであるが、先後関係に関しては必ずしも遺構の切り合い関係と整合性を持たないものもある。

##### 遺構出土土器（第245図）

加曽利E3式（曾利Ⅲ・Ⅳ式）に比定されるものが大半を占める。1・2・4のような口縁部文様帯が比較的しっかりした口縁部区画帯を有す。胴部に縄文を施文幅狭の垂下磨り消帯を持つものである。1は口縁部の区画文が矩形を呈す。5・6・9は4単位の波状口縁となる。沈線による楕円文、渦巻き文を2段に描き組み合わせる。10は平縁で大形品、同様の口縁部文様構成であるが胴部磨り消し帯はやや幅広である。26の口縁部文様は横S字状である。胴部文様も縄文地に浅い沈線による〇状文。28・27は加曽利E3末に比定される。28は〇状文と蕨手文を交互に配し、27は口縁部に無文帯を画し、上段に縦長波状文下段に〇状文様を描く。30・31は加曽利E4式。これら、加曽利E式の影響を受け胴部に縄文を施文する例も見られる。7・8など。これらは口縁部の文様帯は、しっかりとした隆帯による楕円渦巻き区画を持つが3については楕円の意識は感じられず、横に連続する渦巻き隆帯が強調されている。8

は口縁部文様帯内を横矢羽根状沈線で埋める、胴部には縄文施文後沈線による曲線文モチーフを描く。

11は唐草文系土器で、胴部に垂下する縦長のS字文、蛇行文が目を引く。18や15については口縁部の区画は隆帯による楕円、渦巻き文を有す点では上記の土器と同じではあるが、その描き方に不連続性が見られる。胴部文様も2本の垂下平行沈線と綾杉状の沈線文となる。14・19は、いわゆる渦巻きつなぎ弧文である。14は胴部に蛇行沈線を描き両側に重C状の沈線を描く。

13は肩部に丸みを持つ器形で把手を有す、口縁部から隆帯による渦巻き垂線文、〇状文を付し間を横位の平行集合沈線で埋めている。曾利3式である。16は肩部の丸みは失われ、渦巻き部分が三方からの蕨手文となっている。間を埋める沈線は起点をずらした矢羽根状の集合沈線である。20は胴部に隆帯を三角形に廻らし、端部が渦巻き文となっている。21～24は鉢形土器、ほぼ同様な器形で、口縁部が内湾し口縁下に沈線を廻らしている。無文で良く研磨されているものが多いが、23のように沈線下に縦の条線文を持つものも見られる。内外面に赤彩が施されているのも特徴である。

12は新潟系の土器である。馬高式に系譜を持つもので、新潟県栃倉遺跡等に類例を求めることができる。口縁部は平縁で沈線を廻らし、隆帯による蕨手文の垂下文を4単位付し、縦位の集合沈線で胴部を埋め、垂下隆帯下には〇状文を描き中には横位の集合沈線を充填する。25は無文地に渦巻き文を基調とした唐草文系の曲線文モチーフを沈線で描いている。

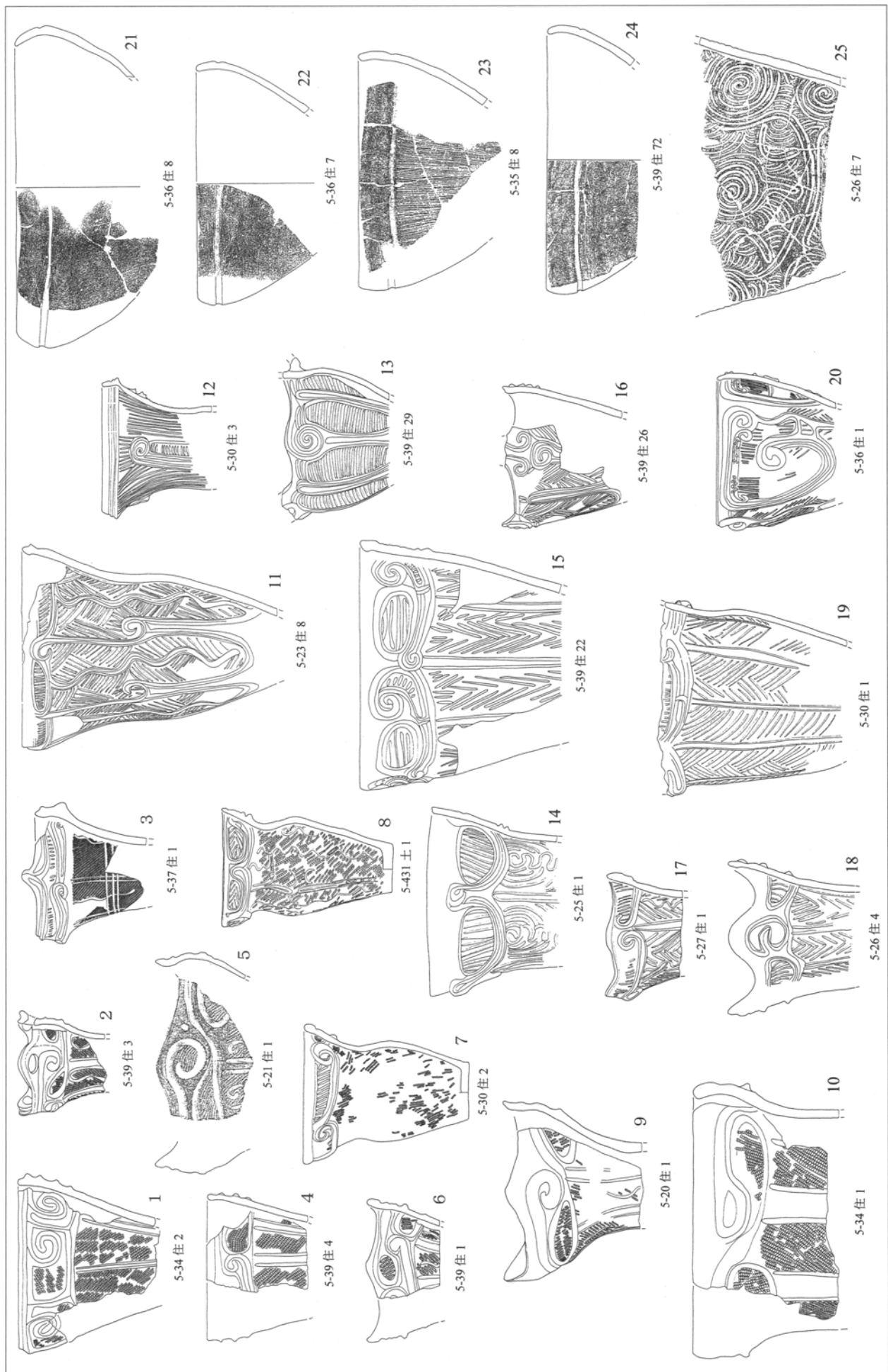
29は小形で口縁部に沈線廻らす、以下沈線によるU・〇状文を描く、加曾利E4式のモチーフ構成をとる。

32・33は口縁部隆帯で画した無文帯有し胴部は隆帯を垂下させる、34は2本の隆帯が繋がって4単位の橋状となる。胴部は縦位の重弧縄文。35は垂下隆帯で画された胴部に重弧状文を充填。いずれも曾利V式に比定される。41～45は堀之内1式期に比定される、42は沈線による曲線文様を描き、縄文を施文、43は頸部、胴部に押圧隆帯を配し胴部を4分割し、沈線による三角渦巻き文を組み合わせた文様構成をとる。48は堀之内2式期に比定される、あまり器高が無く口縁部が大きく開き内外面良く研磨された硬質な感じのする土器である。堀之内式期の土器は46の5-10号住居跡を除き土坑から出土しているものが多い。43・48については完形または半完形の土器が伴出しており、その出土状態から土坑墓と考えられる。41・45は口縁部無文、45は胴部に刺突文が見られ、新潟系か。40は胴部中位がやや括れる器形で列点状の刺突文が全面に見られる。49は口縁に沈線を廻らし以下縄文を全面に施文。50は薄手の注口土器である。堀之内2式。

#### 遺構外出土土器

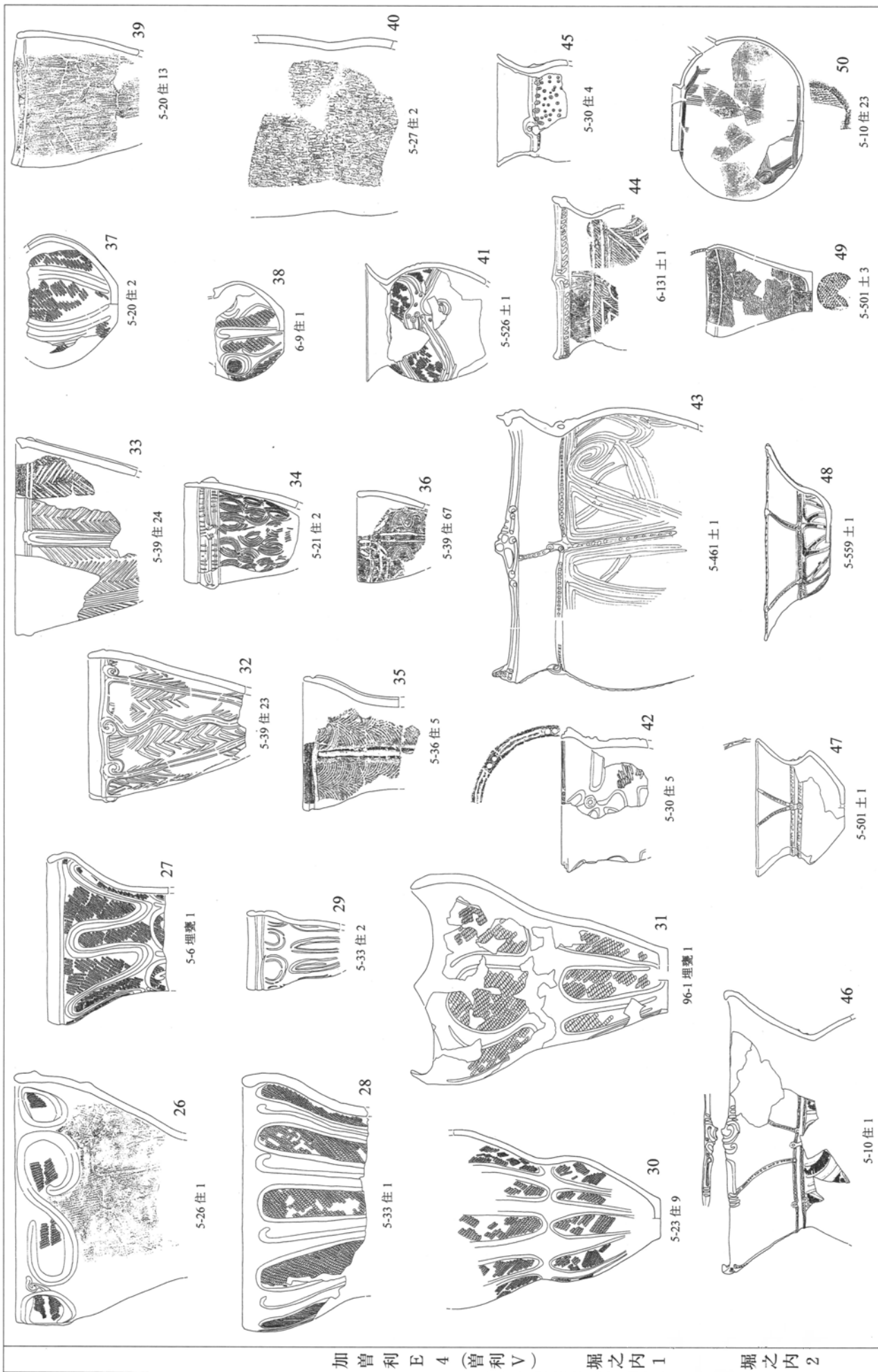
加曾利E式系（第246図）、曾利式系（第247図）に分け図示した。2・3は4単位の波状で口縁部文様帯下に無文帯を有している、加曾利E2式新に比定される。1・4～13は加曾利E3式に比定される。10は大形土器で口縁部にそって押圧文有す沈線が廻る。11の文様モチーフは2の胴部文様と極めて似る。12は4単位の波状を呈し、波頂下から大きく帯状の隆帯で縦のS字文様を斜めに描く。類例を見ないものである。13は頸部に隆帯が廻り口縁部に重弧状文。15は縦の楕円文S字文を交互に配す。2段構成。17・18は小形土器、24は両端に穿孔を持つ把手、18は有孔鐳付き土器、S字文、渦巻き文が描かれる。第247図、19・20は大形の土器である。21・22は曾利Ⅱ式に比定される。23～32は曾利Ⅲ式に比定されよう。27～30は渦巻きつなぎ弧状文、28は渦巻き部が瘤状となる。24は唐草文系土器、大きく延びた把手を有す。32は口縁部に横位隆帯で画し、口縁から下がる2本の粘土紐拗り合わせた隆帯、胴部に隆帯による連弧状文を垂下させる。弧状内は集合沈線を充填、外は無文である。曾利Ⅲ式。

35は円筒状の胴部、垂下隆帯で胴部を画し、縦位集合綾杉文。38・39は口縁部文様帯は無くなり、隆帯横位文、垂下文地文に粗いハ字状沈線文、40は小形で沈線による垂下渦巻き文、縦位の集合沈線を付す。口縁部に粗く縄文が施文される。曾利V式。



加普利 E 3 (普利 III · IV)



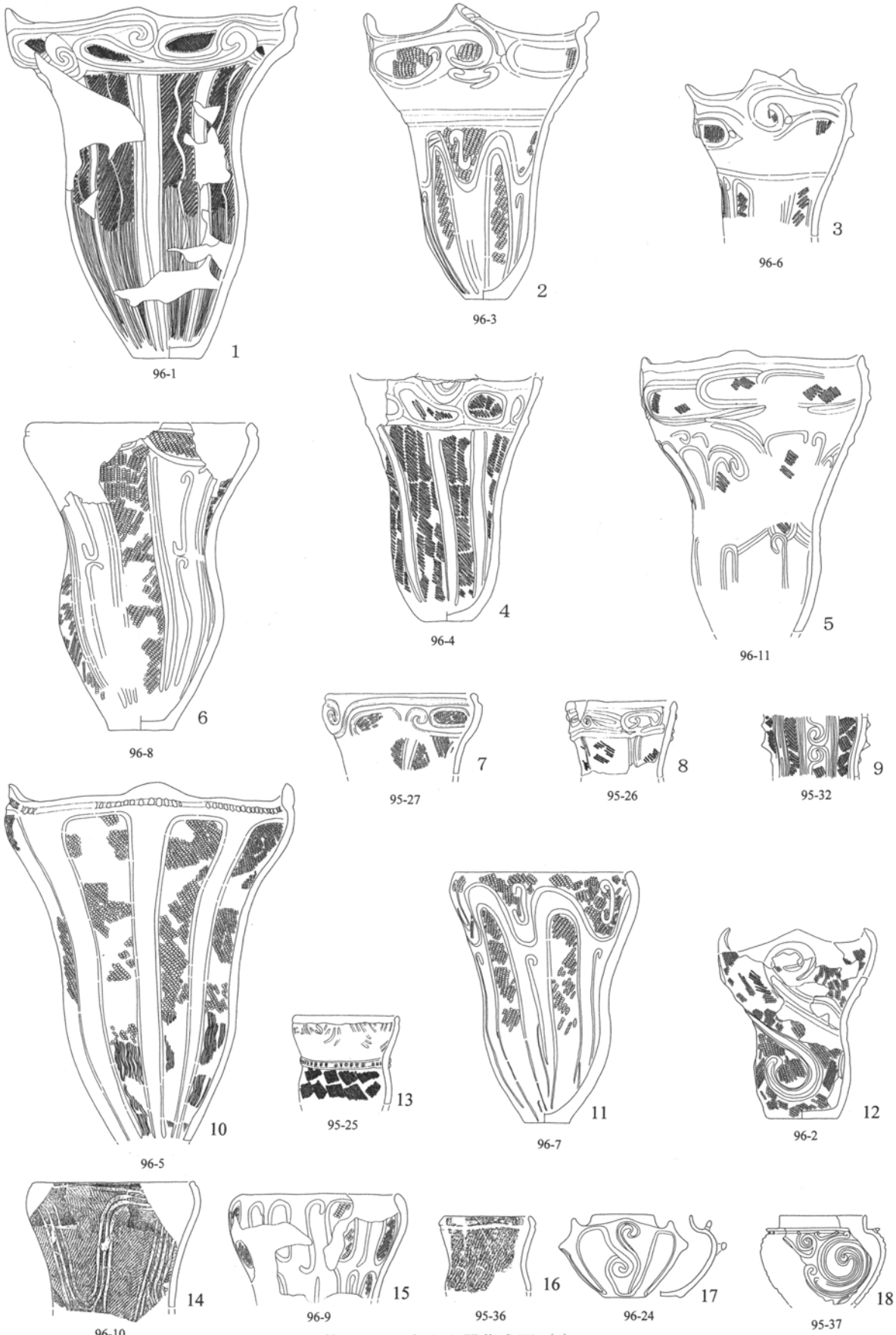


加曾利 E 4 (曾利 V)

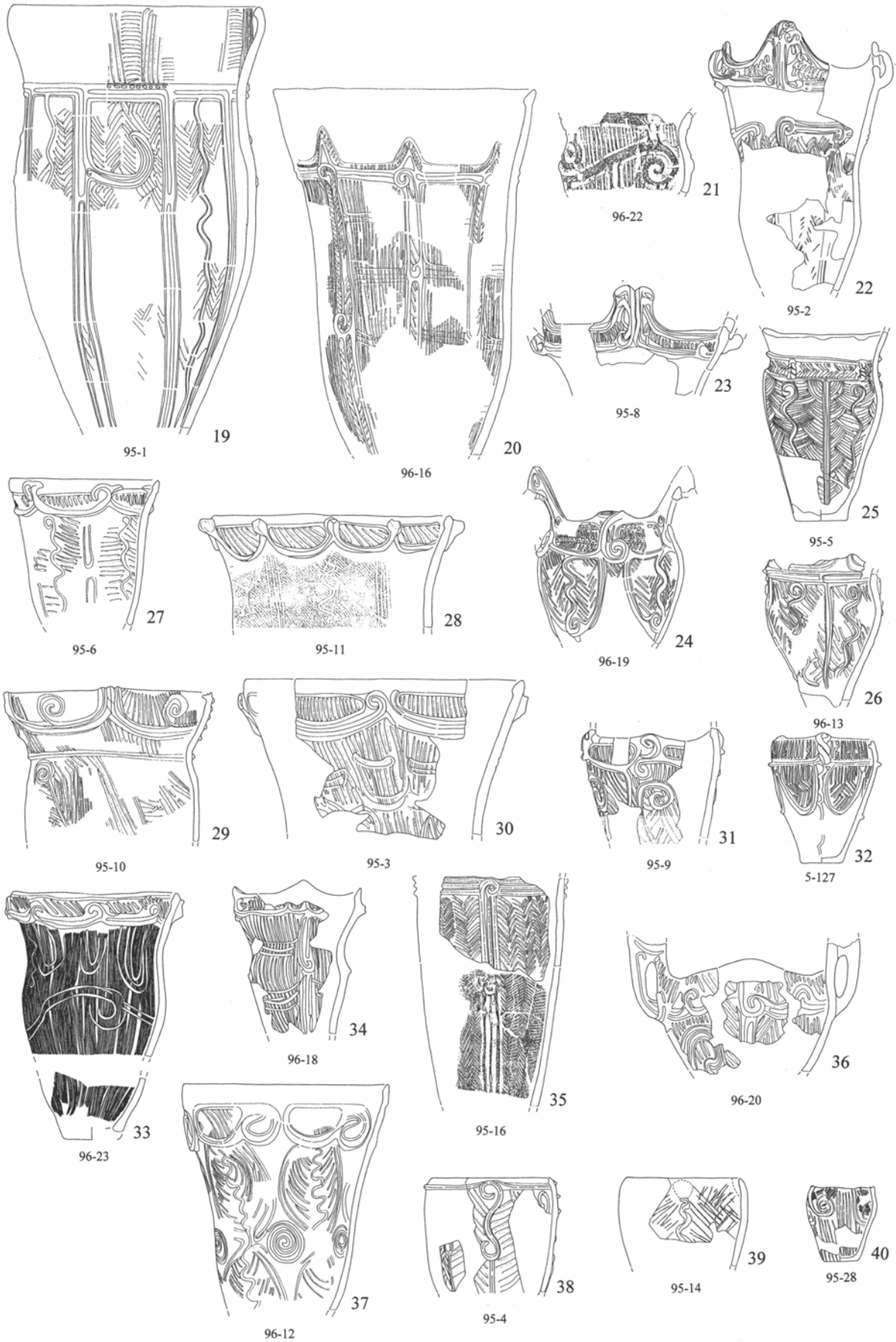
堀之内 1

堀之内 2

第245図 出土土器集成図 (1)



第246図 出土土器集成図 (2)



第247図 出土土器集成図 (3)

### 3. 出土石器について

出土した石器の総点数は1397点で種類毎の点数および組成比率は第230図の通りである。ここでは住居跡出土の石器についてと、各調査区毎の出土分布と傾向について若干のまとめを行いたい。

それぞれの住居跡より出土した石器は5-36・39号住居跡以外は点数的に少なく、必ずしも図示した組成比率が当てはまるものではないが、ほぼ総ての住居から石鏃と打製石斧および磨石の出土が見られる。

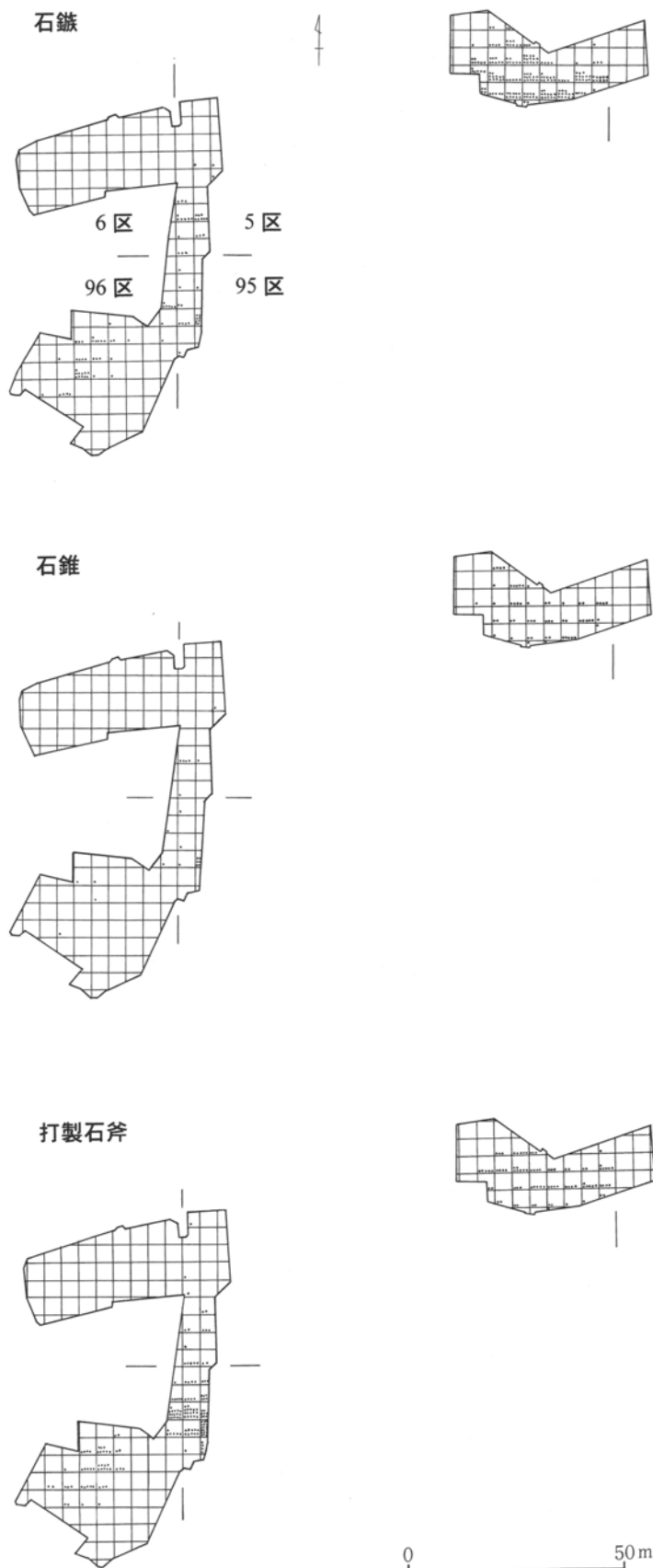
狩猟具としての石鏃や採集具、土掘り具としての打製石斧、食物の加工具としての磨石の在り方は当時の生産、生活形態を表しているものと言える。また、石鏃の存在も他の遺跡ではあまり見られない傾向である。住居出土石器の組成比率は、遺構外出土の石器とはほぼ同様の組成比率を示しており、長野原一本松遺跡における特徴を示すものと考えられる。但し、住居の時期は単一ではないので実際にはそれぞれの時期別についての検討も必要であると考えられるが今回は対象遺構が少ないため、比較検討は行っていない。なお、長野原一本松遺跡については、未整の遺物・遺構が70%以上も残されていることもあり、今後前記した組成比が修正されることもあると思われるが、基本的には大きな変化は無いものと推定される。

前述したように、本遺跡においては遺構外出土の石器が出土総数の約80%を占めている。以下、各調査区における器種別の分布図を示し若干のまとめを行いたい。

第248・249図は、器種別の出土分布図である。また、図中の・は各グリッド毎の出土石器点数を表している。

統計を行った器種は石鏃・石錐・打製石斧・磨石・石皿・石棒、多孔石である。

出土した数はそれぞれ多寡が見られ、最も



第248図 器種別出土分布図 (1)

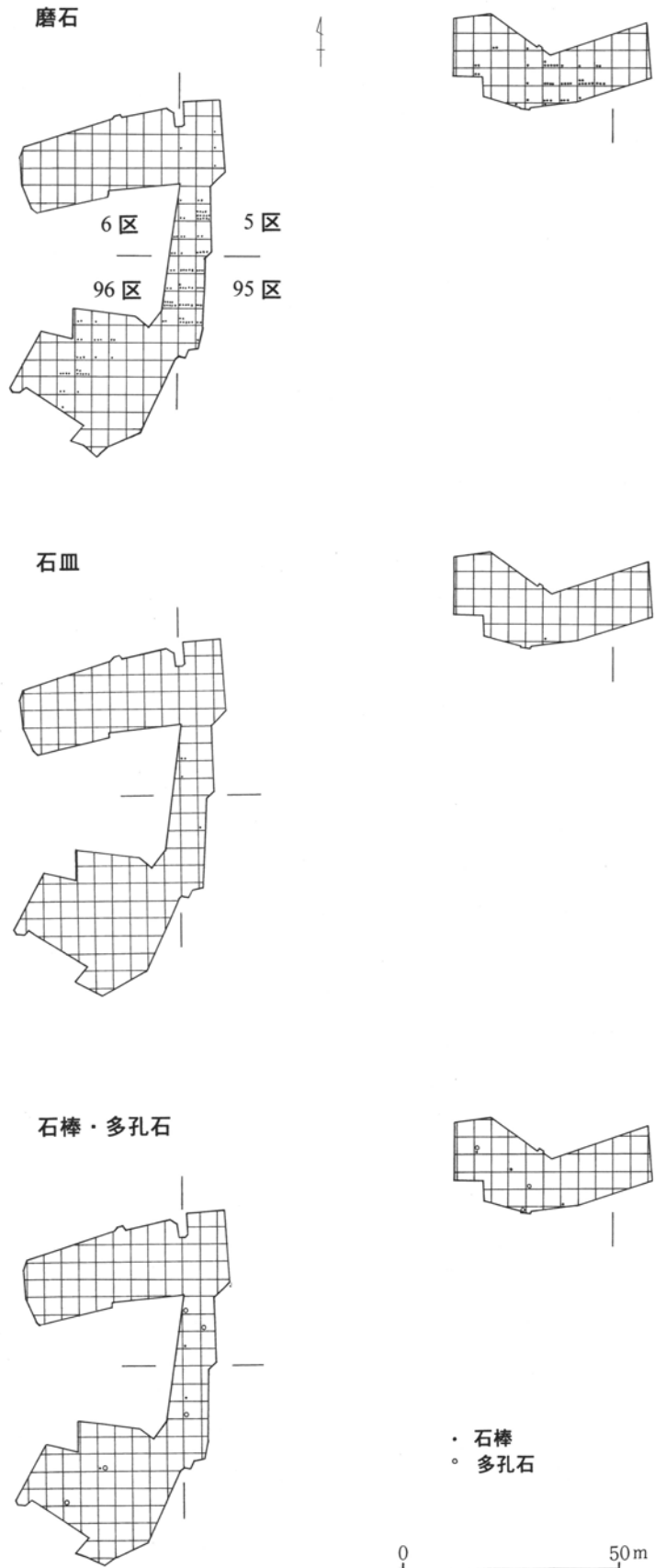
多い石鏃の400点に比し、石棒はわずか6点  
でいずれも欠損品である。石鏃の分布を見る  
と、住居や土坑の集中する場所で多く見られ、  
96区の谷部分にもやや集中して見られる。石  
鏃・打製石斧などについても同様な傾向が看  
取される。また、打製石斧については、95・  
96区に集中する点が注目される。

磨石は5区東側調査区の4区寄りにやや集  
中してみられる、この場所は遺構徐々に希薄  
となり、4区に向かって谷地へと移行してお  
り、生業域との関連も考えられようか。しか  
し、この調査区における遺構外出土の石皿は  
1点のみである。

石棒・多孔石については、点数的には多く  
はない、その分布を見ると2点以上を出土し  
たグリッドは無く、いずれも単一の出土であ  
る。その他の石器としては、鉤状を呈す黒曜  
石製の異形石器や垂飾品等も見られた。

図示した分布図を見て言えることは、いず  
れの器種についても遺構の多く存在する場所  
に集中している。これは、調査時に住居跡等、  
各遺構確認に至るまでに覆っている黒色土が  
厚く、ある程度の面にまで下げないとプラン  
の確認ができないという事実があるためであ  
る。但し96区の谷地部については、遺構は無  
いものの、石鏃・打製石斧・磨石などが多く  
出土しており、土器の出土量とも比例し、い  
わゆる廃棄の場であったと考えられるが、土  
器の時期を見ると比較的短期間の廃棄行為が  
想定される。

個々の石器についての検討は、時間的な制  
約や力量不足のため記載することができなか  
ったが、今後整理が進み、より多くのデー  
タ集積を待って、時期別の器種組成について、  
検討を行いたいと考えている。



第249図 器種別出土分布図 (2)

## 報 告 書 抄 録

書名ふりがな	ながのはらいっぼんまついせきかつこに
書名	長野原一本松遺跡（2）
副書名	ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第15集
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	第408集
編著者名	小野和之
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20070328
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町大字下箱田784-2
遺跡名ふりがな	ながのはらいっぼんまついせき
遺跡名	長野原一本松遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんあがつまぐんながのはらまちおおあざいっぼんまつ
遺跡所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字一本松
市町村コード	10424
遺跡番号	0063
北緯(日本測地系)	363241
東経(日本測地系)	1383914
北緯(世界測地系)	363252
東経(世界測地系)	1383902
調査期間	19970414-19971223/19981026-19981225/19990409-19991224
調査面積	4,378㎡
調査原因	ダム建設工事に伴う代替地造成工事
種別	集落
主な時代	縄文/平安/中・近世
遺跡概要	集落-縄文-住居26+柱穴列1+埋甕3+炉3+土坑+配石1-土器+石器/平安-住居2+土坑-土器+石器+鉄製品/中世-土坑2-陶磁器+銭/近世-土坑-陶磁器-鉄製品+銭
特記事項	縄文中期後半から後期の大規模集落



# 写 真 图 版





5・95区全景(上空より)



6区全景(東より)



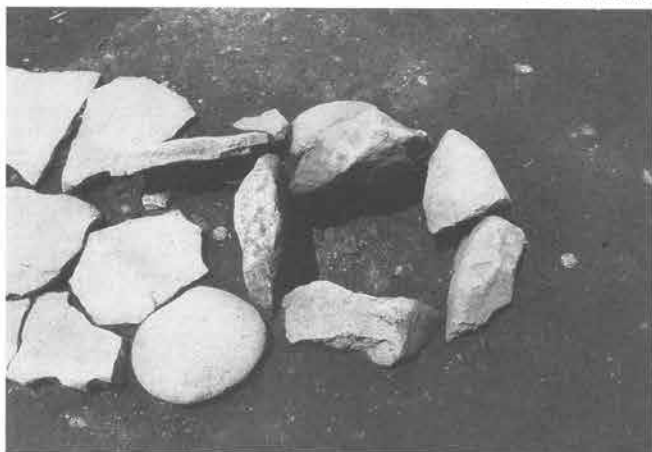
5区全景(西より)



5区全景(南より)



5-10号住居跡全景(南より)



5-10号住居跡炉(東より)



5-10号住居跡堀方全景(南より)



5-19号住居跡全景 南より



5-19号住居跡炉(西より)





5-20号住居跡全景(東より)



5-20号住居跡遺物出土状態(東より)



5-20号住居跡遺物出土状態(南より)



5-20号住居跡炉(北より)



5-20号住居跡炉掘方(南より)





5-21号住居跡全景(南より)



5-21号住居跡遺物出土状態(南東より)



5-21号住居跡遺物出土状態(南より)



5-22号住居跡全景(東より)



5-24号住居跡炉(東より)



5-20・25号住居跡全景(南より)



5-25号住居跡遺物出土状態(西より)



5-25号住居跡炉(東より)



5-25号住居跡埋甕出土状態(東より)



5-26号住居跡遺物出土状態(東より)



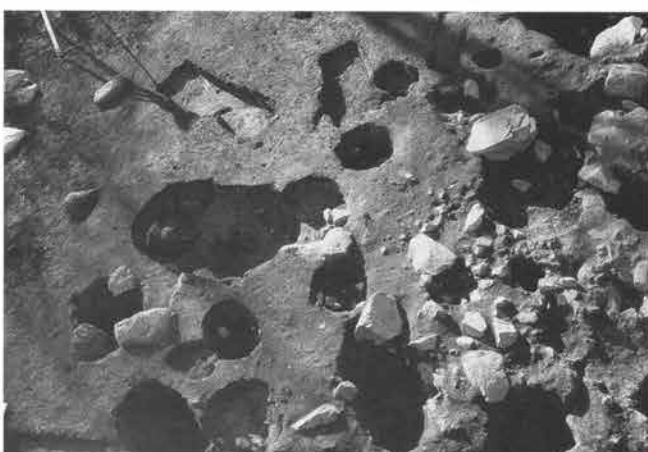
5-26号住居跡埋蔵検出状況(東より)



5-26号住居跡掘方全景(東より)



5-27号住居跡炉(南より)



5-27号住居跡掘方全景(東より)



5-20・25・6-9号住居跡全景(東より)





5-30号住居跡全景(南より)



5-30号住居跡遺物出土状態(南より)



5-30号住居跡遺物出土状態(南より)



5-30号住居跡炉遺物出土状態(西より)



5-30号住居跡炉(北より)



5-30号住居跡埋甕検出状況(南より)



5-30号住居跡埋甕セクション(南より)



5-31号住居跡全景(南より)



5-31号住居跡炉(北より)



5-31号住居跡炉埋設土器(南より)



5-33号住居跡全景(南より)



5-33号住居跡(南より)



5-33号住居跡(北より)



5-33号住居跡埋甕(西より)



5-33号住居跡遺物出土状態(北より)





5-34号住居跡遺物出土状態(南より)



5-34号住居跡全景(南より)



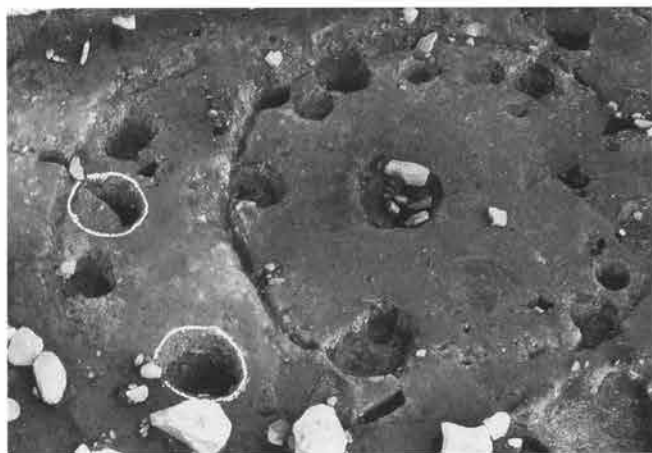
5-35号住居跡遺物出土状態(南より)



5-35号住居跡全景(南より)



5-36号住居跡遺物出土状態(南より)



5-36号住居跡全景(南より)



5-36号住居跡炉体土器(南より)



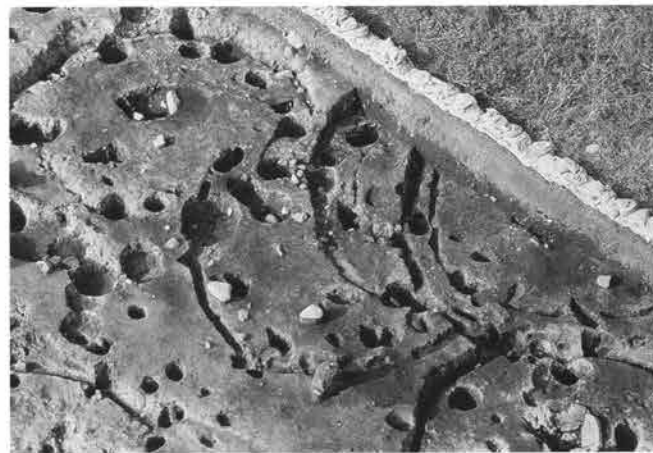
5-36号住居跡2号炉(東より)



5-36号住居跡2号炉埋設土器(南より)



5-36号住居跡2号炉堀方(南より)



5-37号住居跡全景(南より)



5-37号住居跡遺物出土状態(南より)



5-38号住居跡全景(南より)



5-38号住居跡ピット1 遺物出土状態(南より)



5-39号住居跡全景(南より)



5-39号住居跡遺物出土状態(南東より)



5-39号住居跡ピット2 遺物出土状態(東より)



5-39号住居跡炉検出状況(南東より)



5-40号住居跡全景(南より)



5-40号住居跡炉(南より)



5-41号住居跡全景(南より)





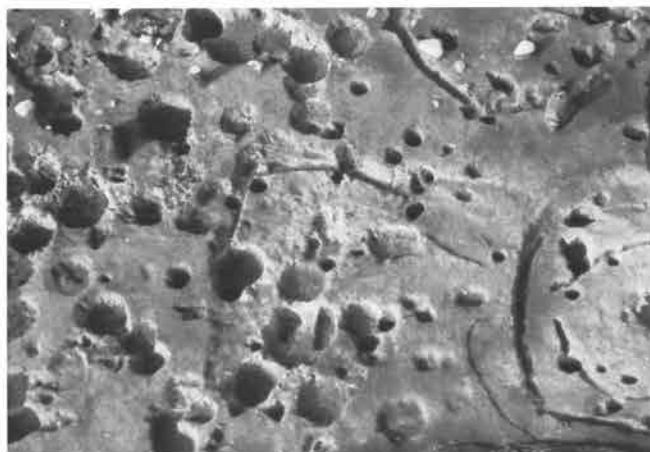
5-41号住居跡炉セクション(南より)



5-41号住居跡炉遺物出土状態(南より)



5-41号住居跡炉埋設土器(南より)



5-42号住居跡全景(南より)



5-43号住居跡遺物出土状態(東より)



5-43号住居跡全景(南西より)



5-43号住居跡炉(南より)



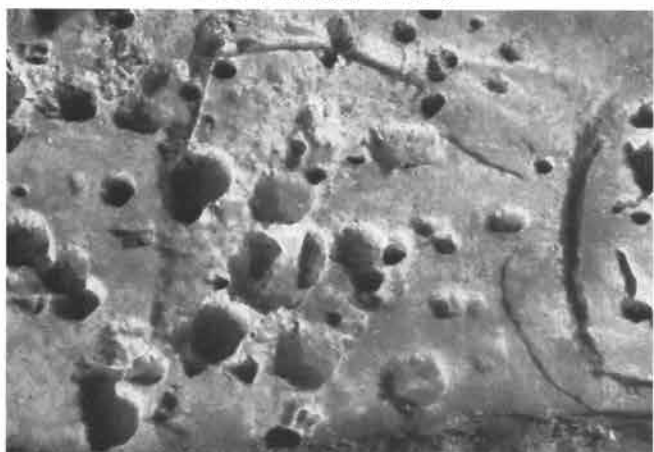
5-44号住居跡全景(南より)



5-44号住居跡炉(西より)



5-44号住居跡炉堀方(西より)



5-53号住居跡全景(南より)



5-53号住居跡炉(南より)



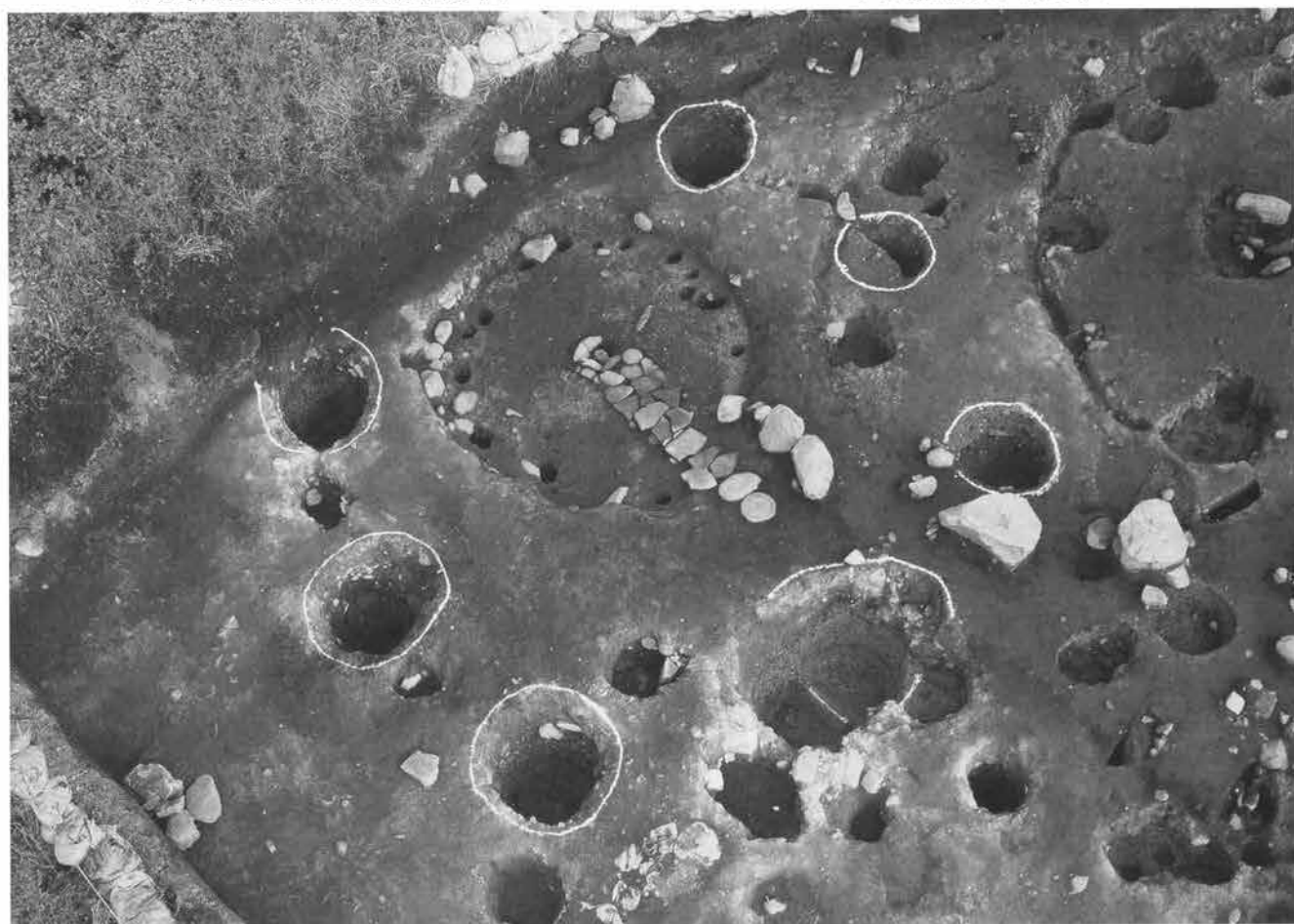
6-9号住居跡全景(南より)



6-9号住居跡遺物出土状態(西より)



6-9号住居跡炉(南より)



5-1号円形柱穴列全景(南より)



4-1号炉(南より)

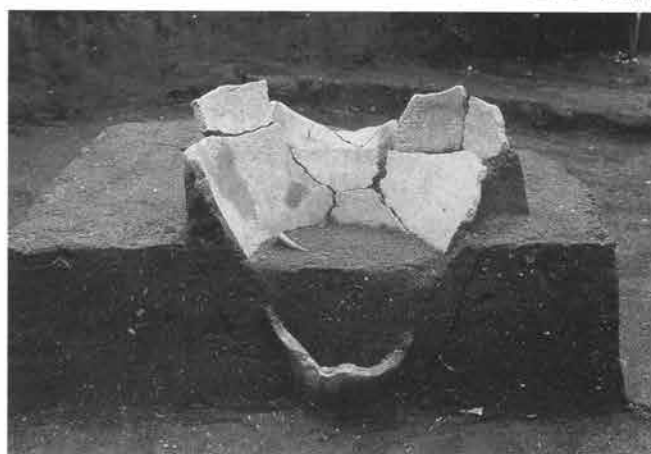


5-2号炉(東より)





5-4号炉(南より)



5-1号埋甕セクション(北より)



5-2号埋甕セクション(西より)



5-3号埋甕検出状況(北より)



5-5号埋甕セクション(南より)



5-6号埋甕セクション(東より)



96-1号埋甕セクション(南西より)



5-2号配石下土坑遺物出土状態(西より)



5-2号配石下土坑骨片出土状態(南より)



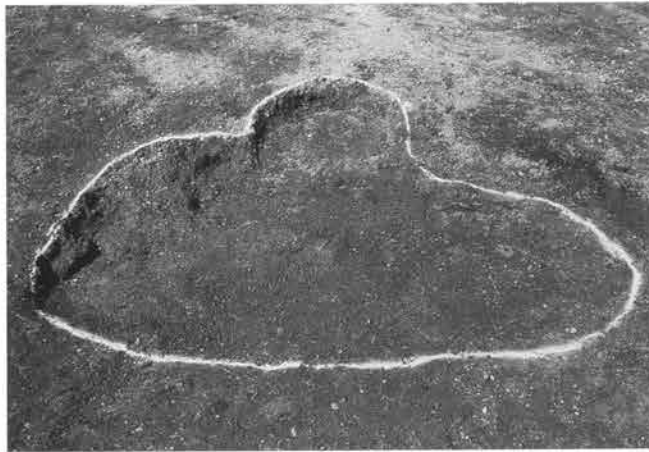
3区全景(南より)



3区全景(西より)



3-4号土坑全景(西より)



3-5号土坑全景(南西より)



3-6号土坑全景(南西より)



3-7号土坑全景(南より)



4区全景(東より)



4-32号土坑セクション(南より)



4-33号土坑全景(北より)





4-34号土坑全景(東より)



4-35号土坑全景(東より)



4-36号土坑全景(北より)



4-37号土坑全景(北より)



4-38号土坑全景(北より)



4-40号土坑全景(東より)



4-39号土坑全景(東より)



4-41号土坑全景(南より)



4-42号土坑全景(南より)



4-43号土坑全景(南より)



4-44号土坑全景(南より)



5-373号土坑全景(南より)



5-374号土坑全景(西より)



5-381号土坑全景(東より)



5-382号土坑全景(東より)



5-383号土坑全景(東より)



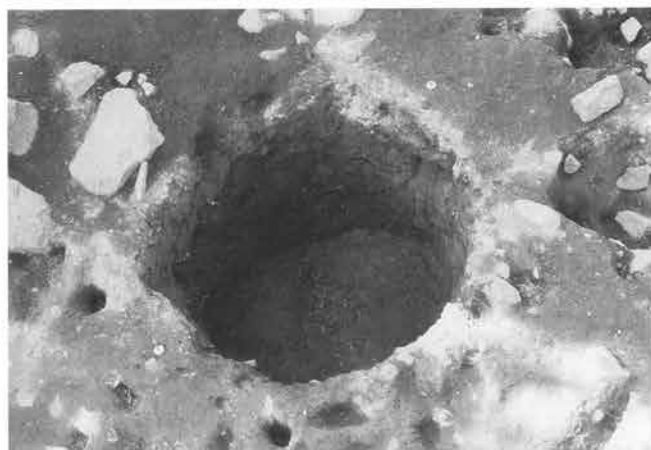
5-384号土坑全景(東より)



5-385号土坑全景(北東より)



5-386号土坑全景(東より)



5-393号土坑全景(南より)



5-394号土坑全景(南より)



5-395・396号土坑全景(東より)



5-418号土坑遺物出土状態(南より)





5-419号土坑遺物出土状態(南より)



5-461号土坑遺物出土状態(北より)



5-461号土坑全景(北より)



5-493号土坑全景(西より)



5-494号土坑遺物出土状態(西より)



5-495号土坑全景(西より)



5-496号土坑全景(南より)



5-497号土坑全景(北西より)



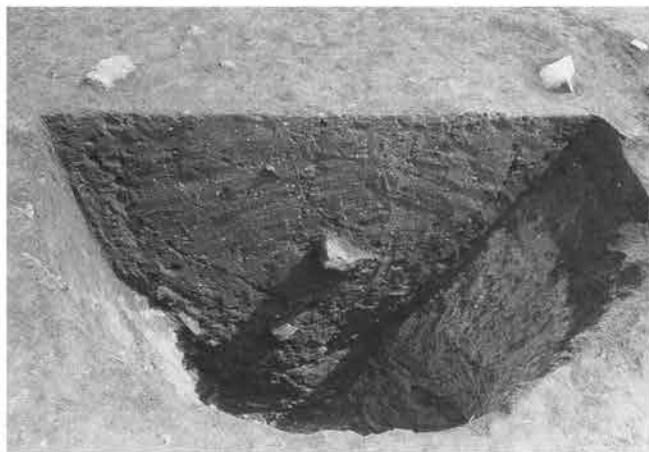
5-498号土坑セクション(北東より)



5-498号土坑全景(北東より)



5-499号土坑全景(東より)



5-500号土坑セクション(南より)



5-500号土坑全景(南より)



5-501号土坑セクション(西より)



5-501号土坑全景(西より)



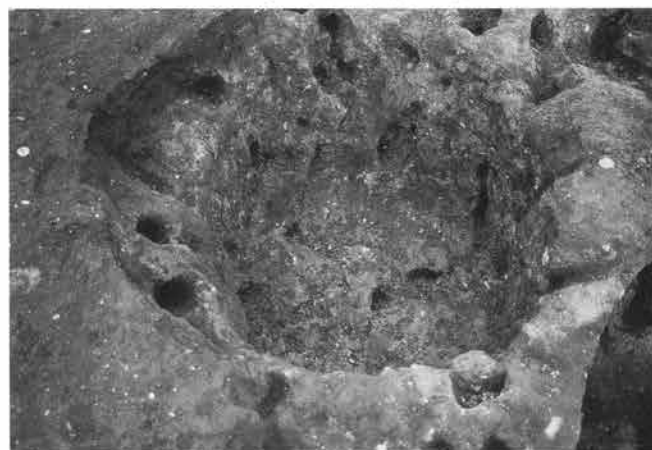
5-502号土坑セクション(南より)



5-502号土坑全景(南より)



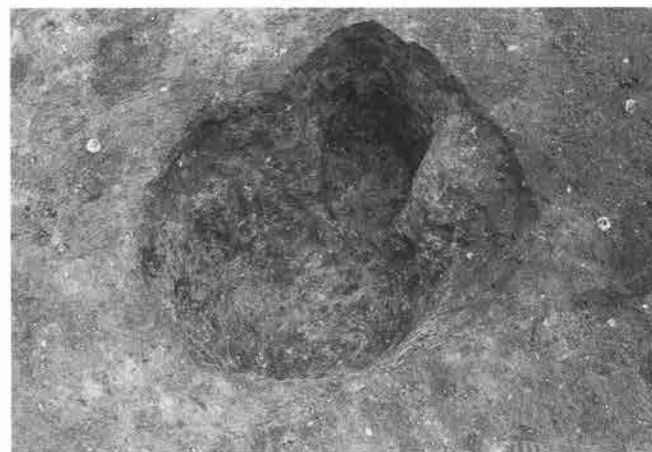
5-503号土坑全景(東より)



5-504号土坑全景(東より)



5-505号土坑全景(南より)



5-506号土坑全景(南より)

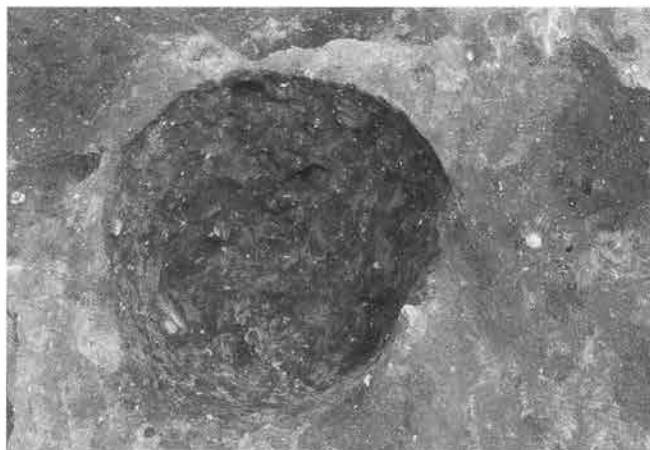


5-507号土坑全景(東より)



5-508号土坑大形礫出土状態(南より)





5-509号土坑全景(南より)



5-510号土坑全景(南より)



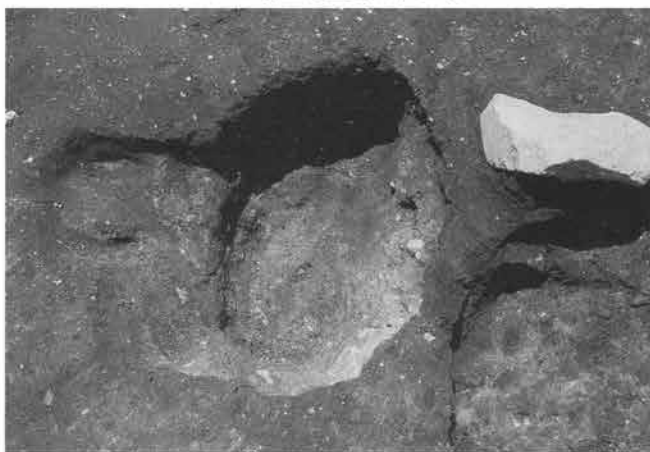
5-509号・510号土坑全景(西より)



5-511号土坑全景(東より)



5-512号土坑セクション(東より)



5-513号土坑全景(北より)



5-514号土坑全景(北より)



5-515(左)・516(右)号土坑セクション(東より)



5-515・516・519号土坑全景(南より)



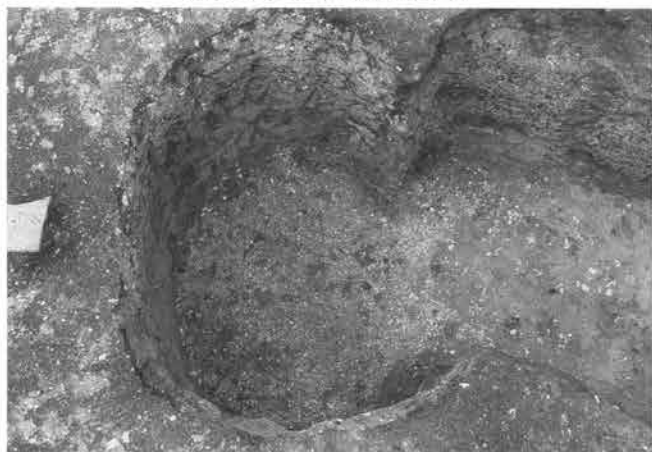
5-517号土坑全景(南より)



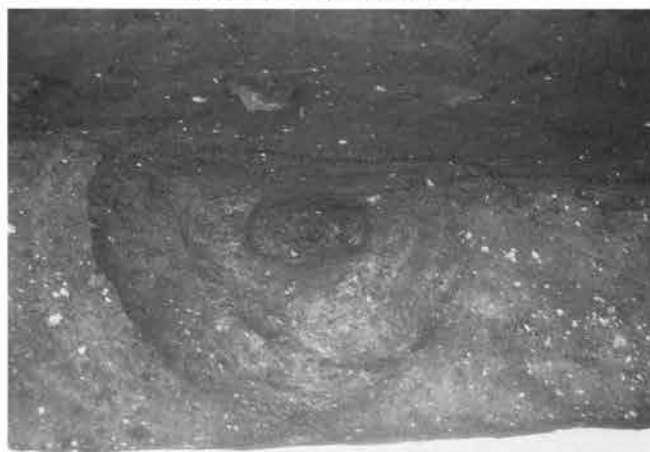
5-520号土坑全景(南より)



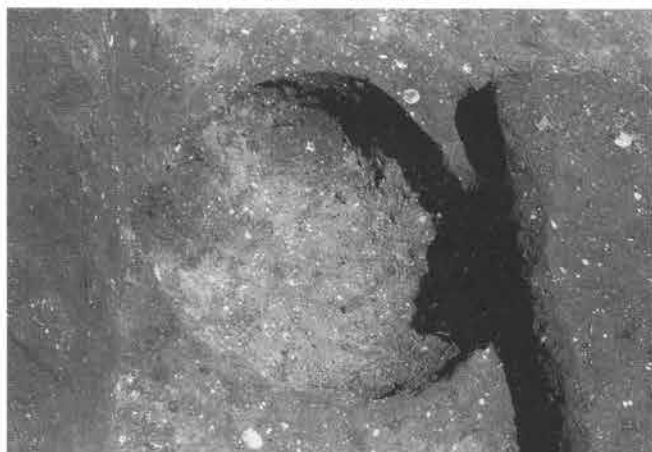
5-521号土坑全景(南より)



5-522号土坑全景(南より)



5-523号土坑全景(北より)



5-524号土坑全景(南より)



5-525号土坑全景(南より)





5-526号土坑大形礫出土状態(南より)



5-526号土坑全景(南より)



5-527号土坑全景(南より)



5-528号土坑全景(南より)



5-529号土坑全景(南より)



5-530(左)・531号土坑全景(南より)



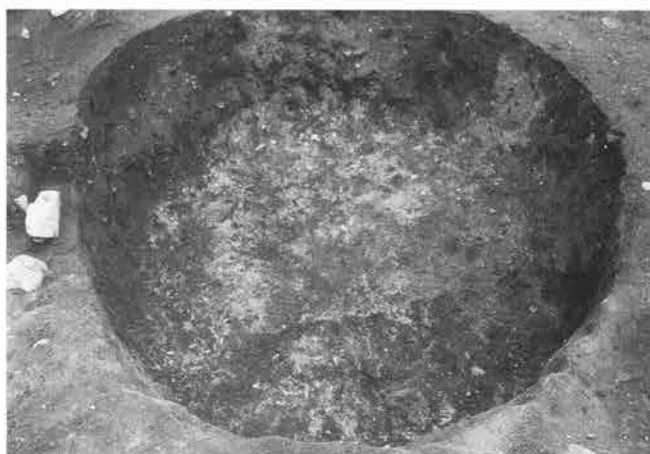
5-532号土坑全景(東より)



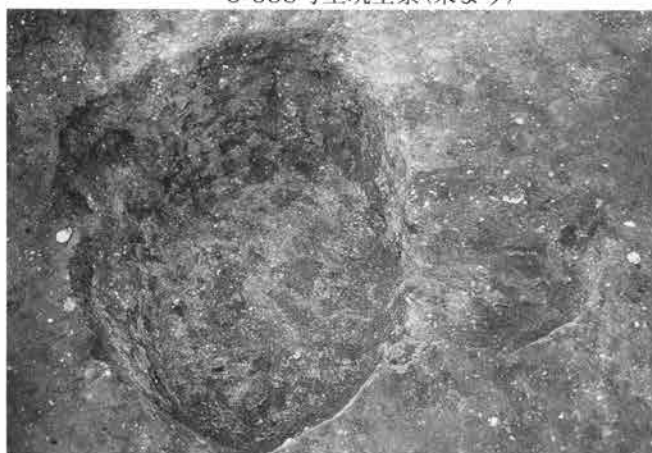
5-533号土坑遺物出土状態(東より)



5-533号土坑全景(東より)



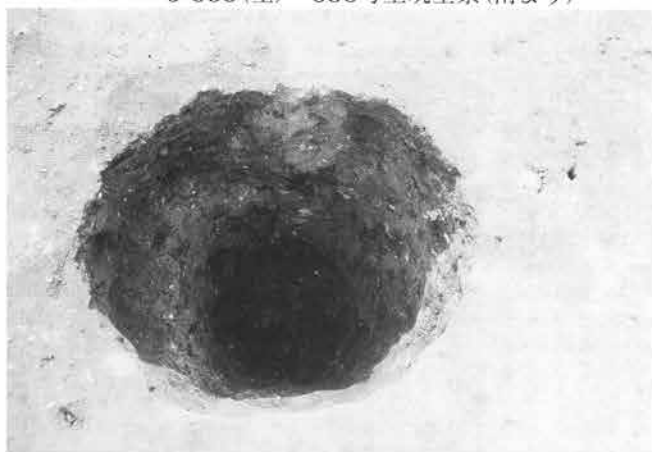
5-534号土坑全景(南より)



5-535(左)・536号土坑全景(南より)



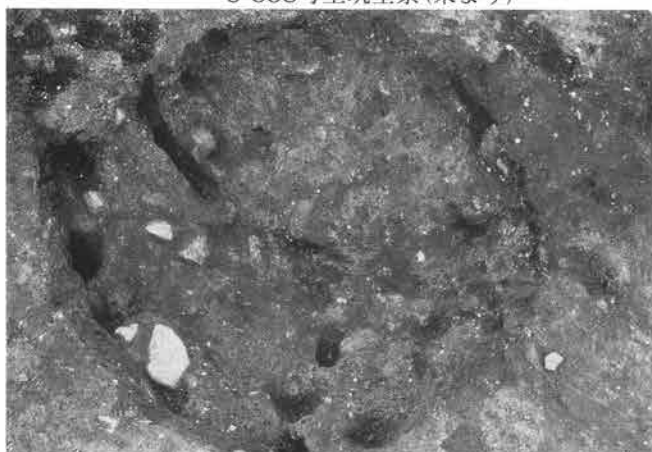
5-537号土坑全景(東より)



5-538号土坑全景(東より)



5-539号土坑全景(北より)



5-540号土坑全景(東より)



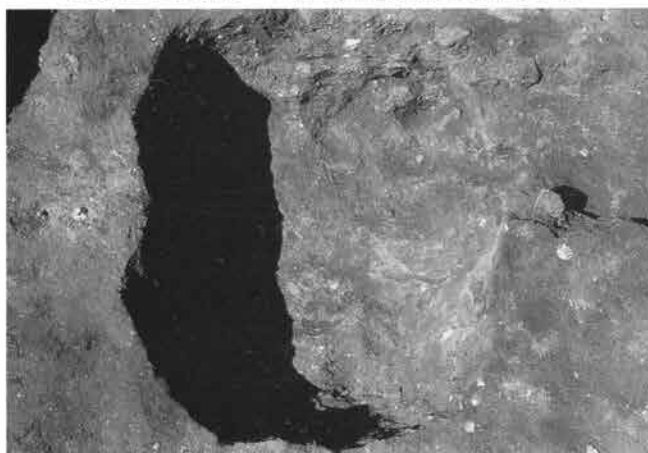
5-541号土坑全景(東より)



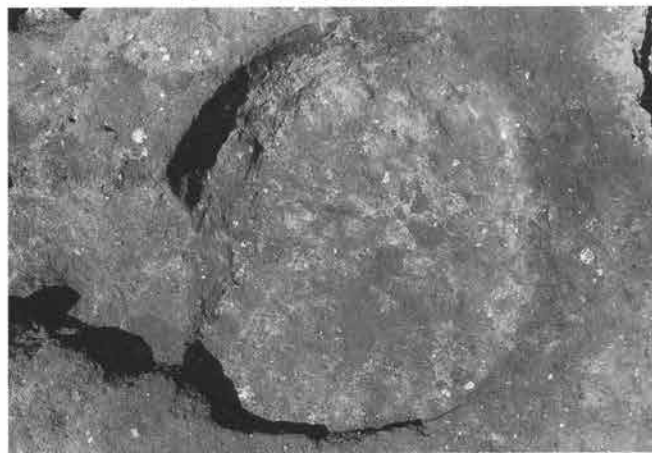
5-542号土坑(5-1号円形柱穴列)全景(東より)



5-543号土坑全景(南より)



5-544号土坑全景(南より)



5-545号土坑全景(南より)



5-546号土坑全景(西より)



5-547(奥)・548号土坑全景(東より)



5-549号土坑全景(南より)



5-550(右)・574(左)号土坑(東より)





5-551号土坑セクション(東より)



5-552号土坑全景(南より)



5-553号土坑全景(南より)



5-554号土坑全景(南より)



5-555号土坑(5-1号円形柱穴列) 全景(北より)



5-556号土坑全景(南西より)



5-557号土坑大形礫出土状態(東より)



5-558号土坑全景(南より)



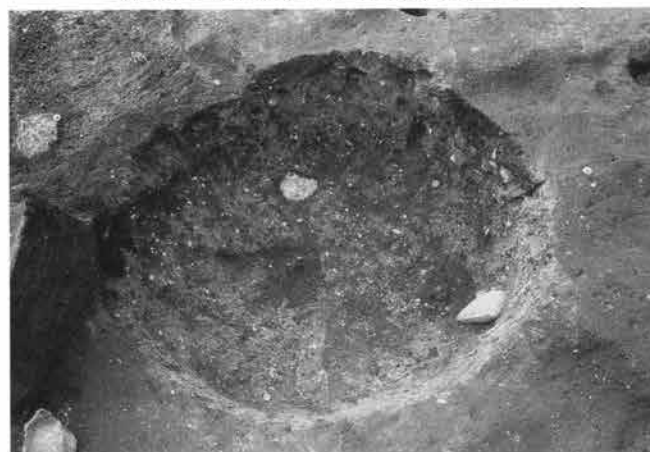
5-559号土坑セクション(南東より)



5-559号土坑遺物出土状態(南東より)



5-559号土坑遺物出土状態(東より)



5-559号土坑全景(東より)



5-560号土坑全景(西より)





5-561号土坑全景(南より)



5-562号土坑(5-1号円形柱穴列)全景(南より)



5-563号土坑全景(南より)



5-564号土坑全景(東より)



5-565号土坑全景(南東より)



5-567号(手前)・570号土坑全景(南より)



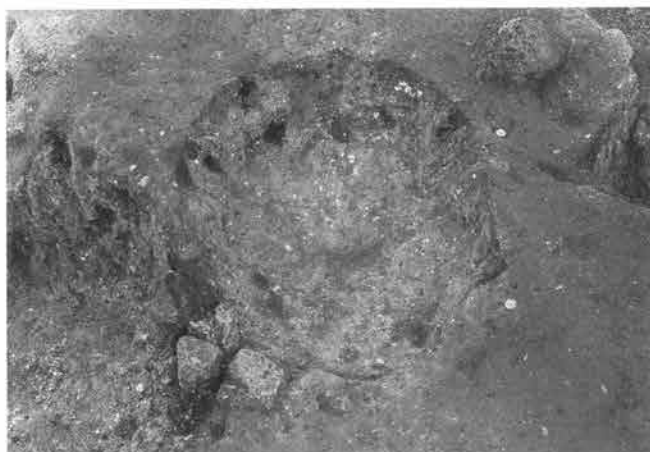
5-568号土坑全景(南より)



5-569号土坑全景(南より)



5-571号土坑全景(西より)



5-572号土坑全景(南より)



5-573号土坑全景(南より)



5-575号土坑遺物出土状態(南より)



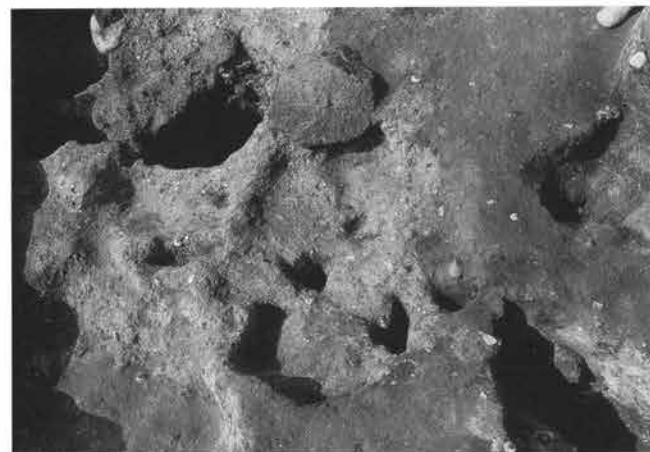
5-576号土坑全景(南より)



5-577号土坑全景(南より)



5-578号土坑セクション(南より)



5-579号土坑全景(南東より)



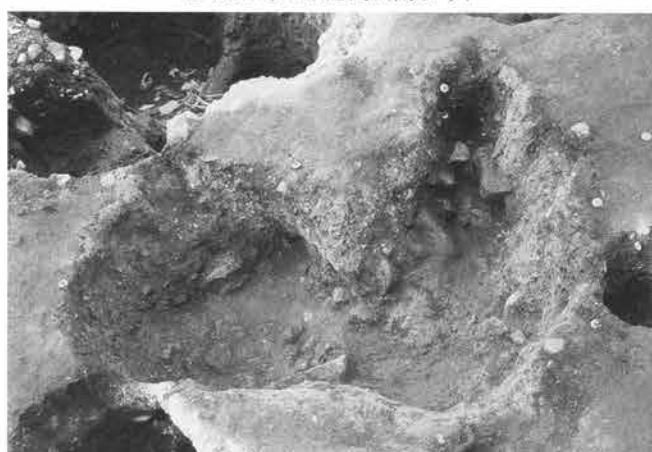
5-580号土坑全景(南より)



5-582号土坑全景(南より)



5-583号土坑全景(南より)



5-584(右)・585号土坑全景(南より)



5-586号土坑セクション(南より)



5-587号(手前)土坑全景(南より)



5-589号土坑全景(東より)



5-590号土坑全景(東より)





5-591号土坑セクション(南より)



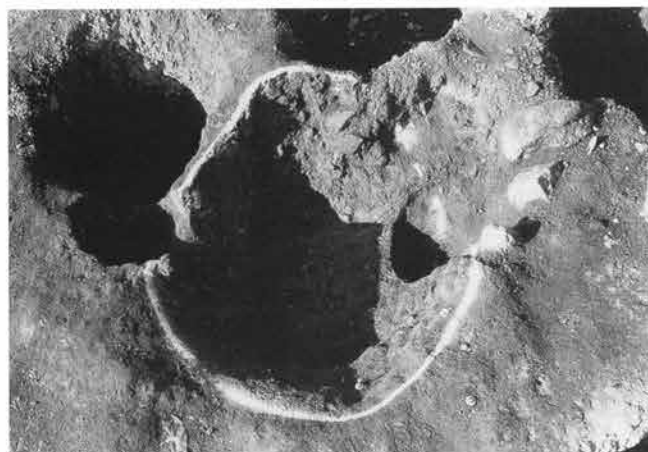
5-592号土坑セクション(南より)



5-593号土坑全景(西より)



5-594号土坑セクション(東より)



5-595号土坑全景(南より)



5-596号土坑全景(西より)



5-597号土坑全景(東より)



5-598(左)・599号土坑全景(西より)



5-600号土坑全景(南東より)



5-601号土坑全景(東より)



6-131号土坑全景(西より)



6-132号土坑全景(北より)



6-133号土坑全景(西より)



6-134号土坑セクション(南より)



6-135号土坑全景(南より)



6-136号土坑全景(北より)





6-137号土坑全景(南より)



6-138号土坑セクション(南より)



6-139号土坑全景(東より)



6-140号土坑全景(南より)



6-141号土坑全景(南より)



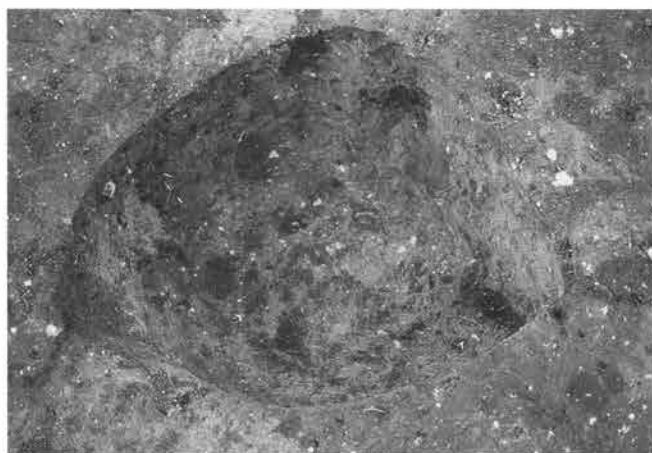
6-142号土坑セクション(南より)



6-143号土坑全景(北より)



6-144号土坑全景(南より)



6-145号土坑全景(南より)



6-146号土坑全景(南より)



6-147号土坑全景(南より)



6-148号土坑全景(南より)



6-149号土坑セクション(南より)



6-150号土坑遺物出土状態(西より)



6-151号土坑全景(南より)



6-152号土坑セクション(南より)





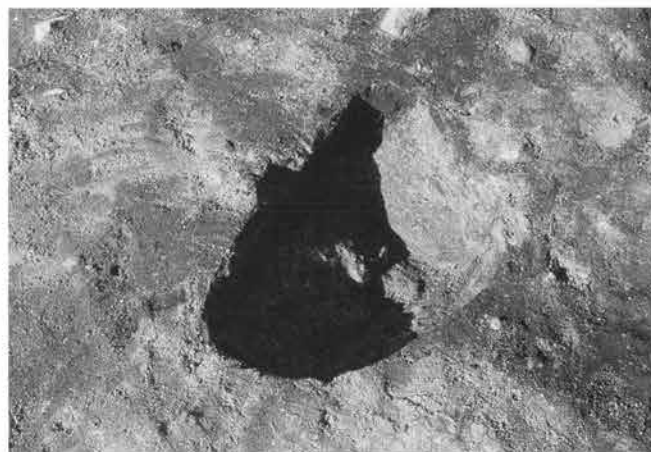
6-153号土坑全景(西より)



6-154号土坑全景(南東より)



6-155号土坑遺物出土状態(南より)



6-156号土坑全景(南東より)



6-157号土坑全景(南より)



6-158号土坑全景(東より)



6-159号土坑全景(北より)



6-160号土坑全景(南より)



6-161号土坑セクション(東より)



6-162号土坑遺物出土状態(東より)



6-163号土坑全景(南より)



6-164号土坑全景(東より)



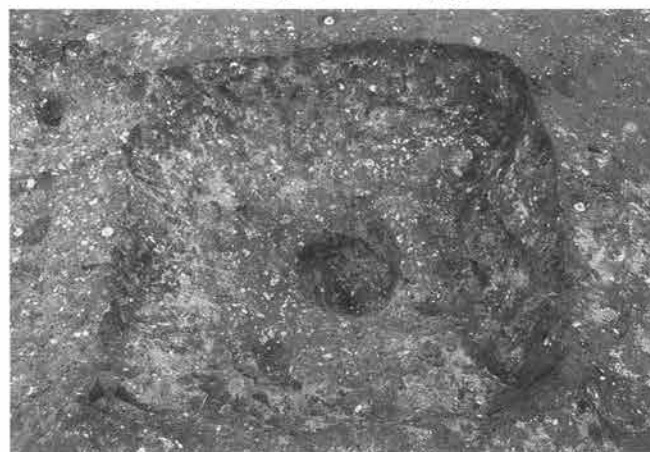
6-165号土坑セクション(南より)



6-166号土坑セクション(南より)



6-167号土坑全景(南より)



6-168号土坑全景(南より)

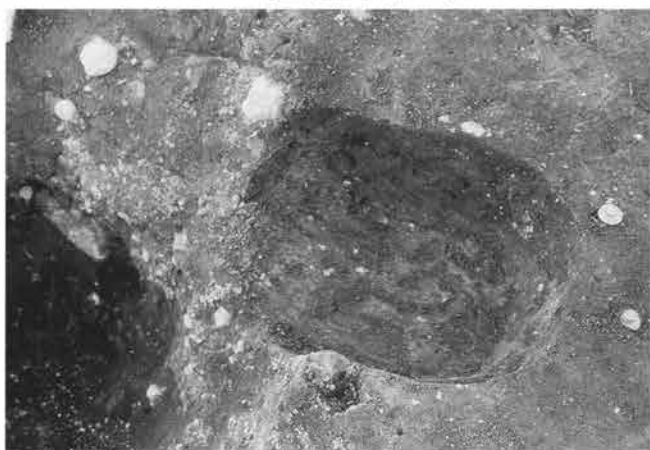




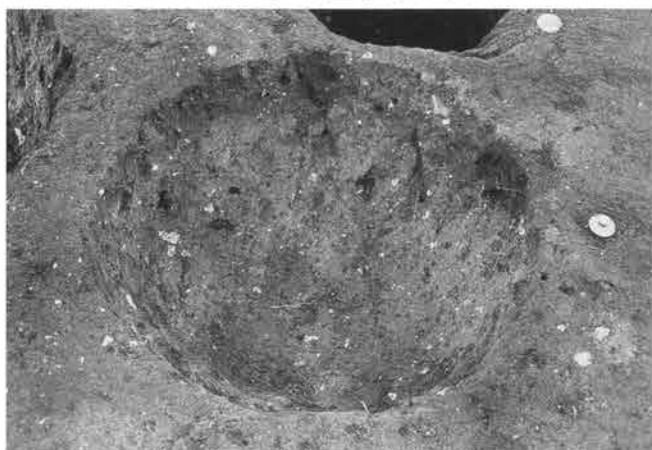
6-169号土坑全景(東より)



6-170号土坑全景(東より)



6-171号土坑全景(南より)



6-172号土坑全景(南より)



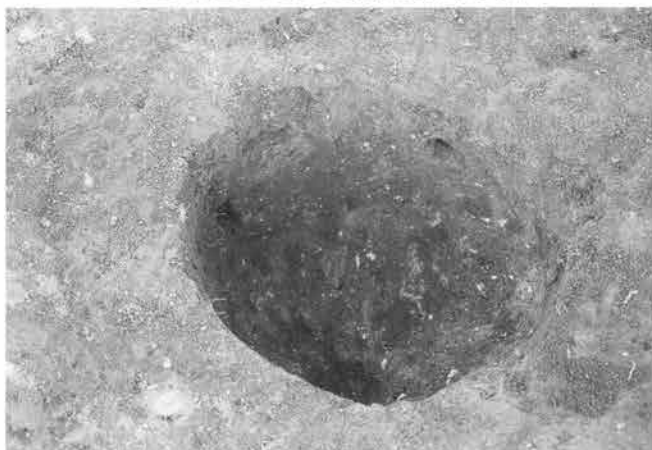
6-173号土坑全景(東より)



6-174(左)・175号土坑全景(東より)



6-176号土坑全景(南より)



6-177号土坑全景(南より)





95-1号土坑全景(北より)



95-2号土坑全景(東より)



96-4号土坑全景(南より)



96-5号土坑全景(南より)



96-6号土坑全景(南より)



96-8号土坑全景(南東より)



96-9号土坑全景(東より)



96-10号土坑全景(北より)



5区礎石? (南より)



5-29号住居跡全景 (西より)



5-29号住居跡かまど (北西より)



5-29号住居跡堀方全景 (南より)



5-32号住居跡全景 (南より)



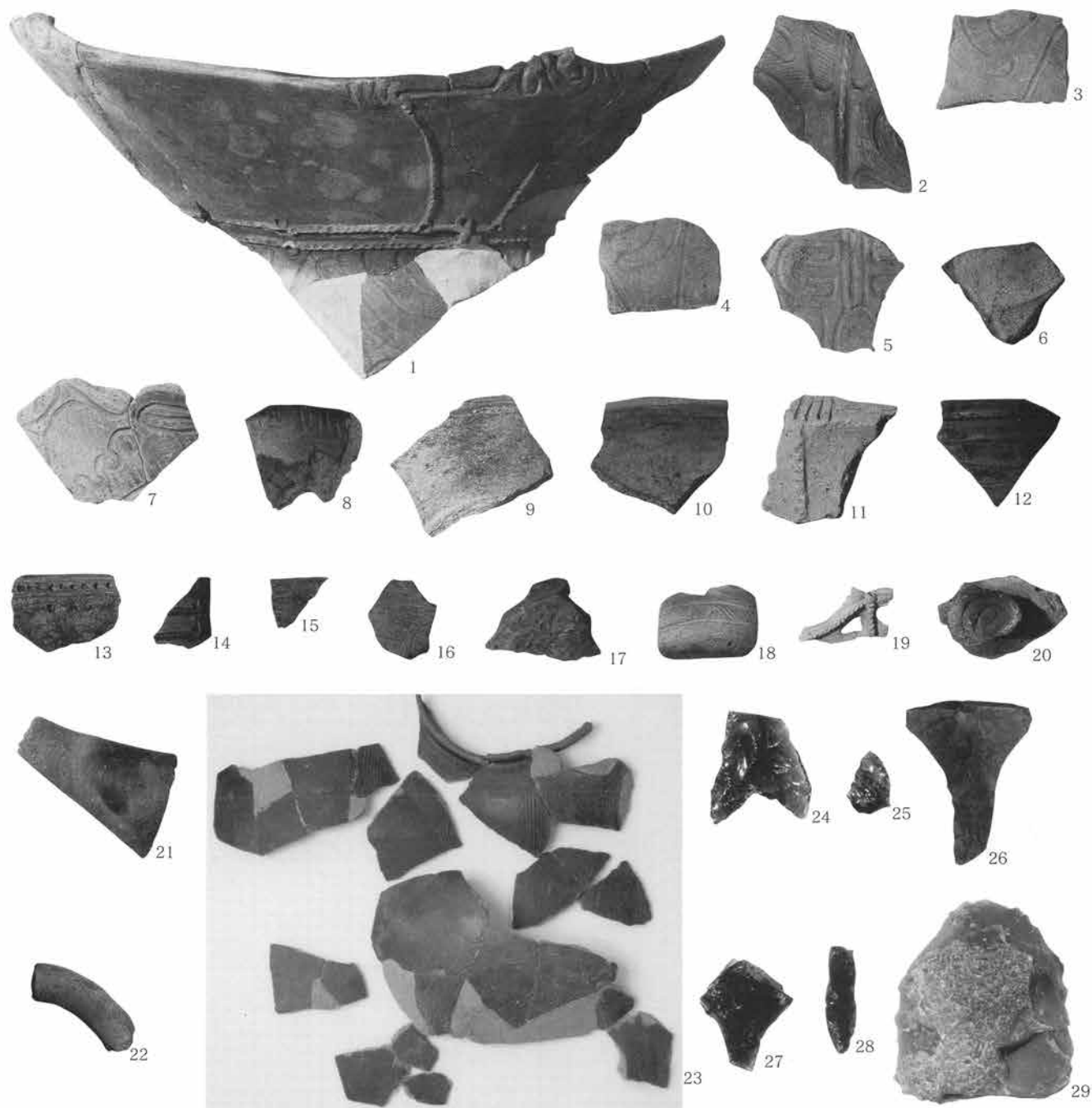
5-32号住居跡遺物出土状態 (南より)



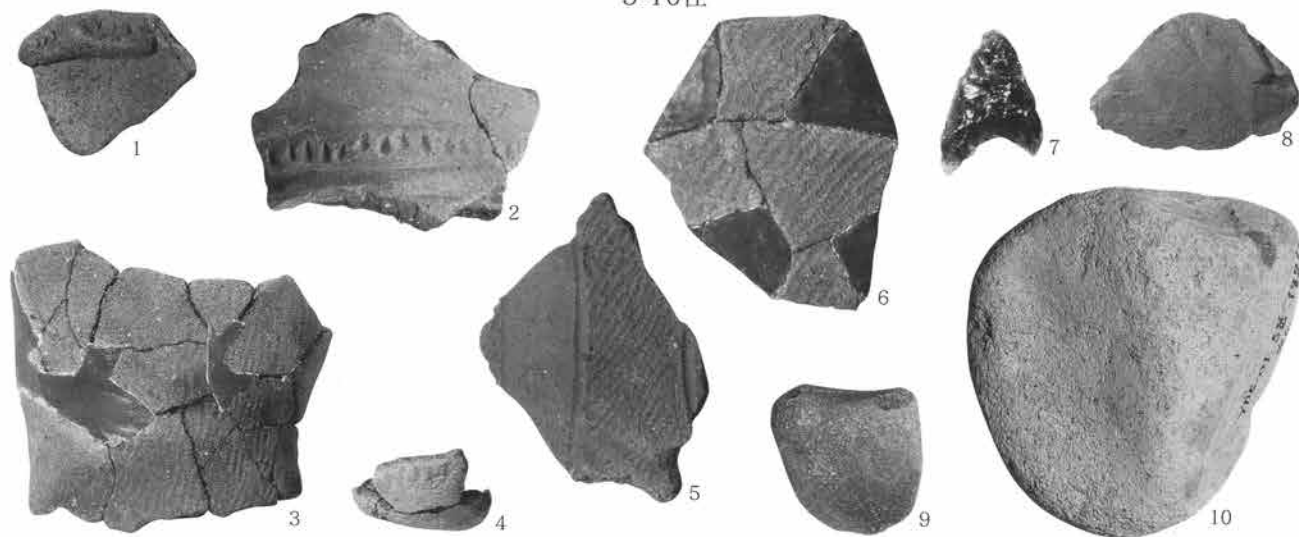
5-490号土坑遺物出土状態 (南より)



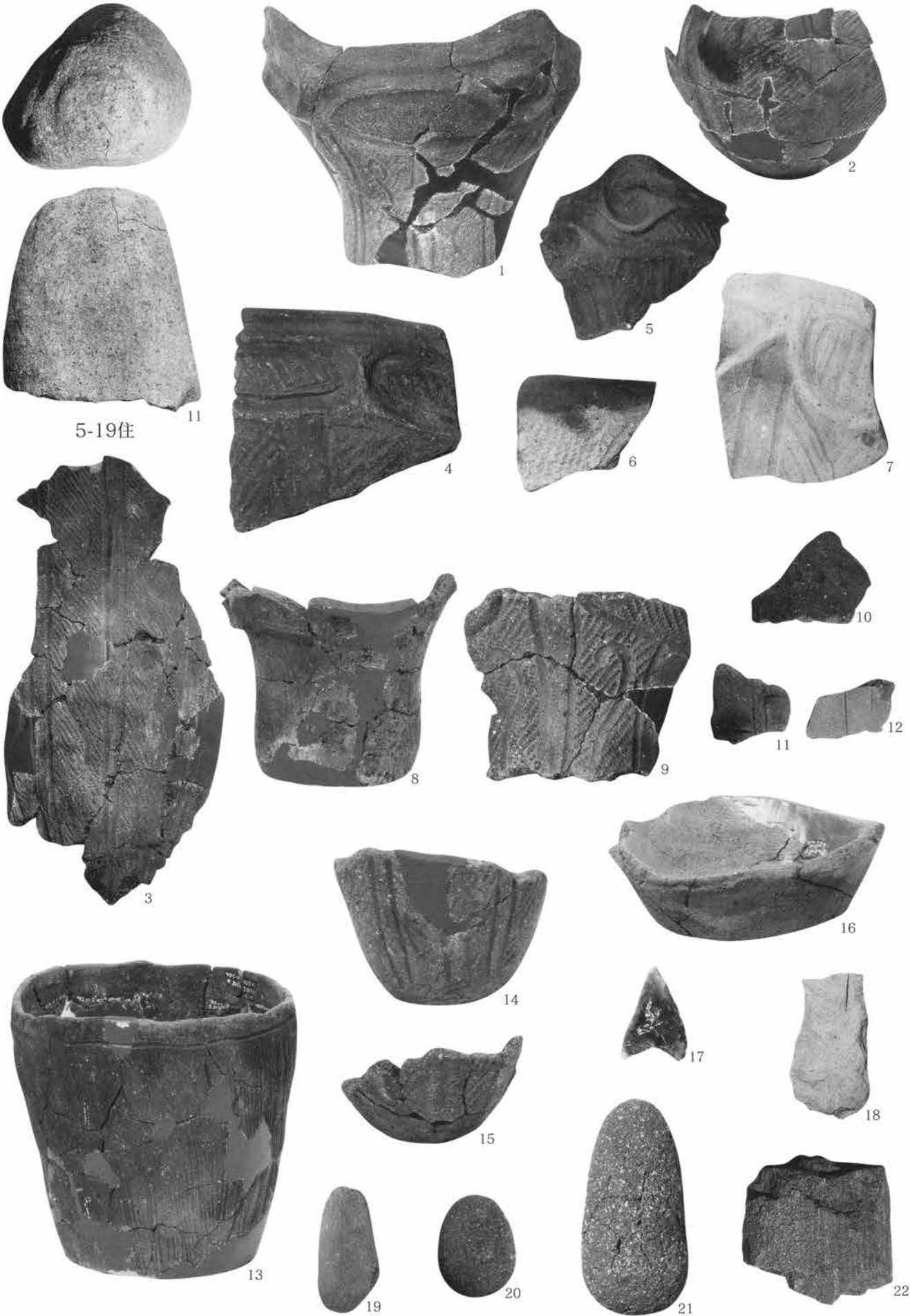
5-491号土坑全景 (南より)



5-10住



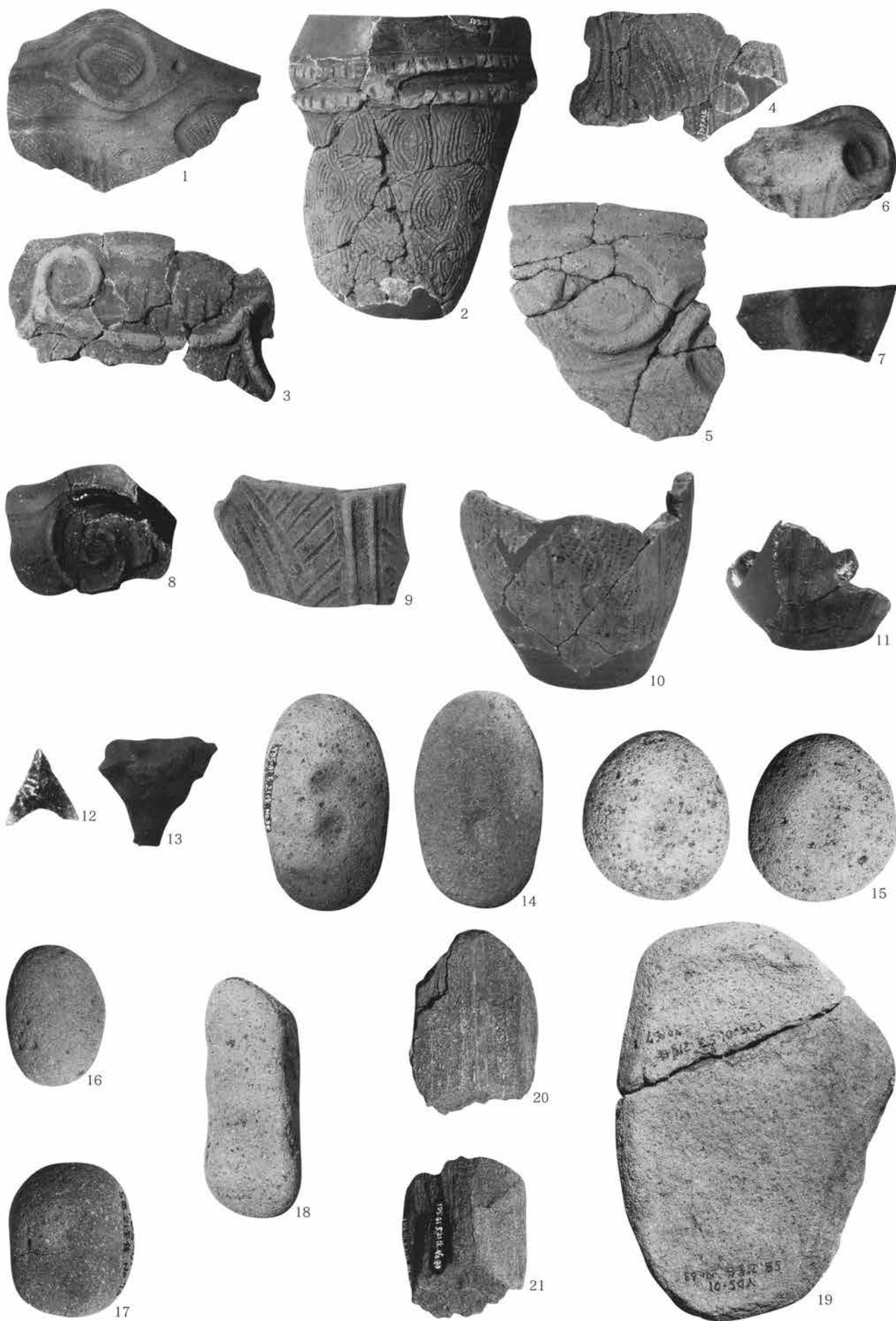
5-19住



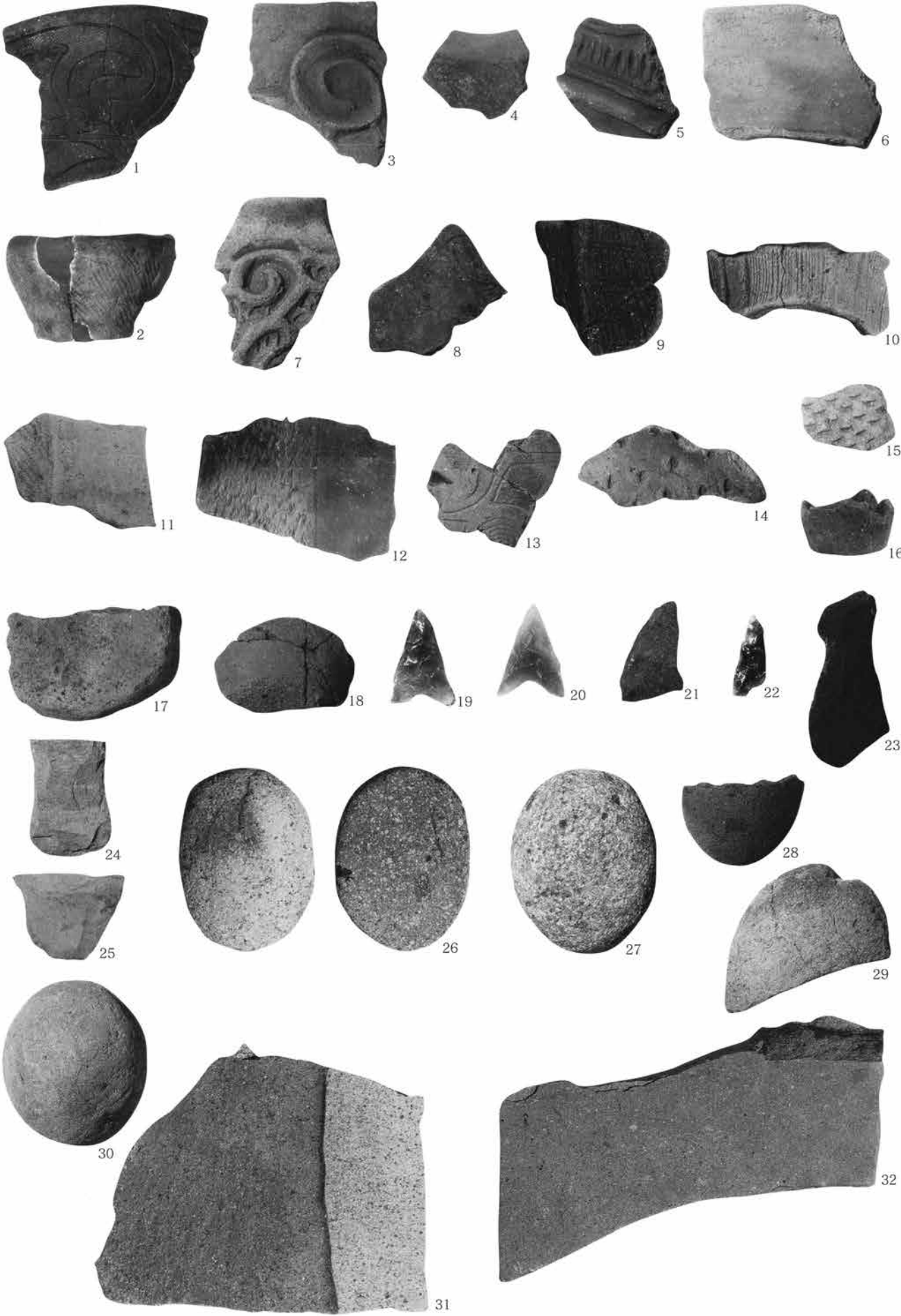
5-19住

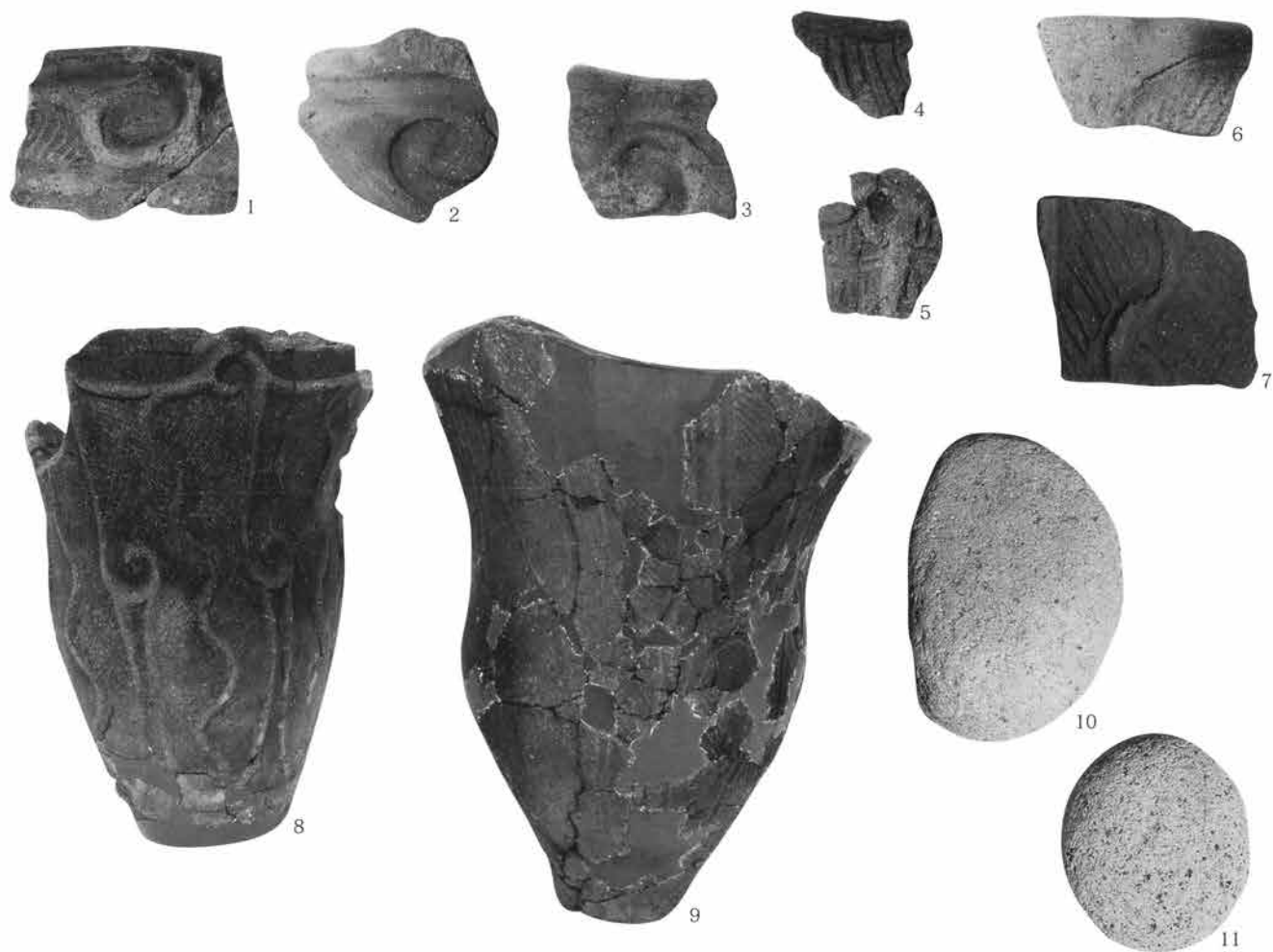
5-20住









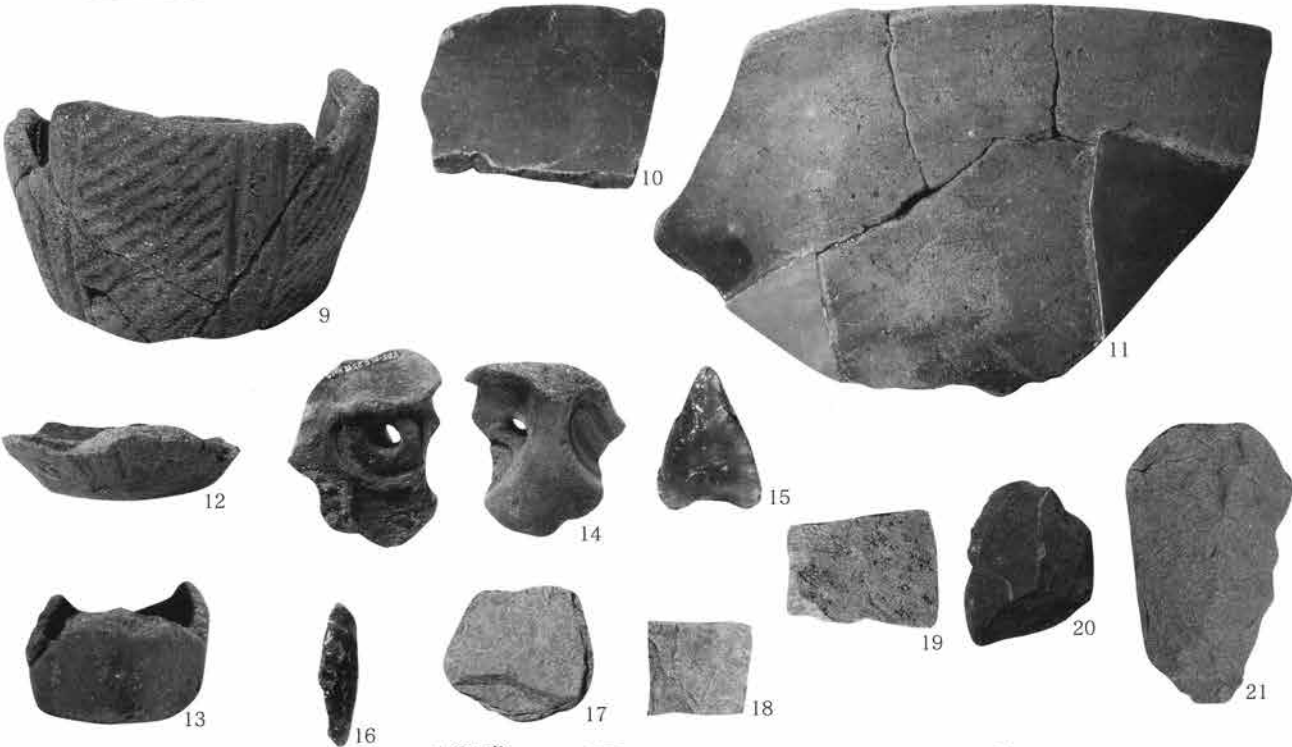
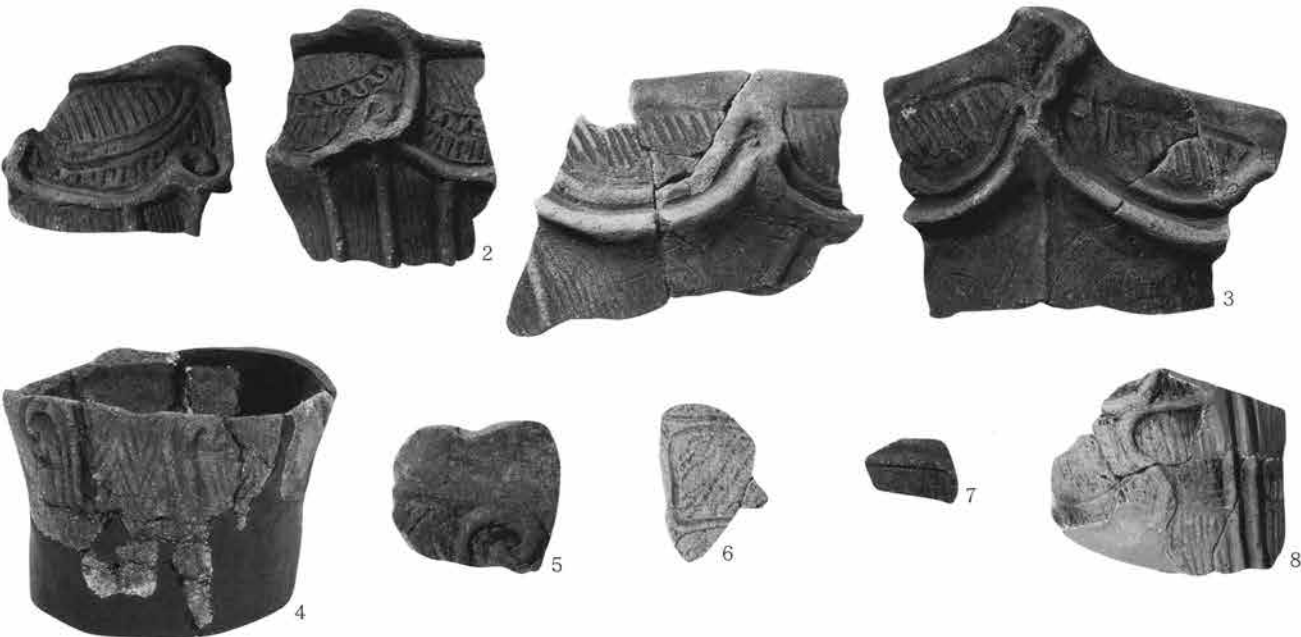


5-23住



5-24住

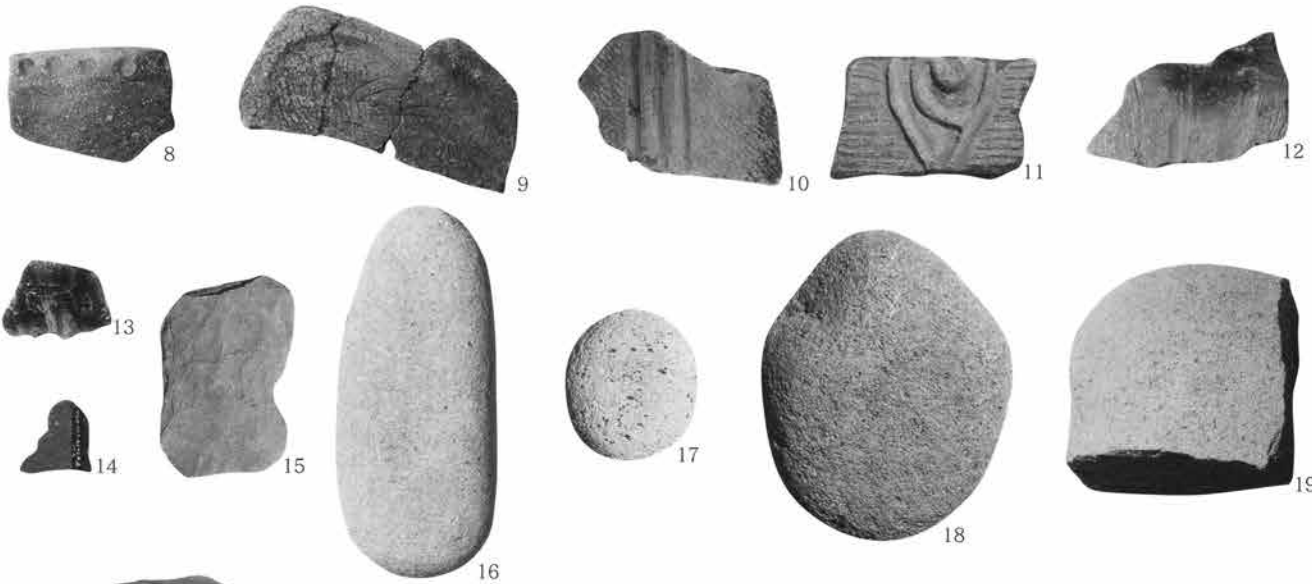
5-25住



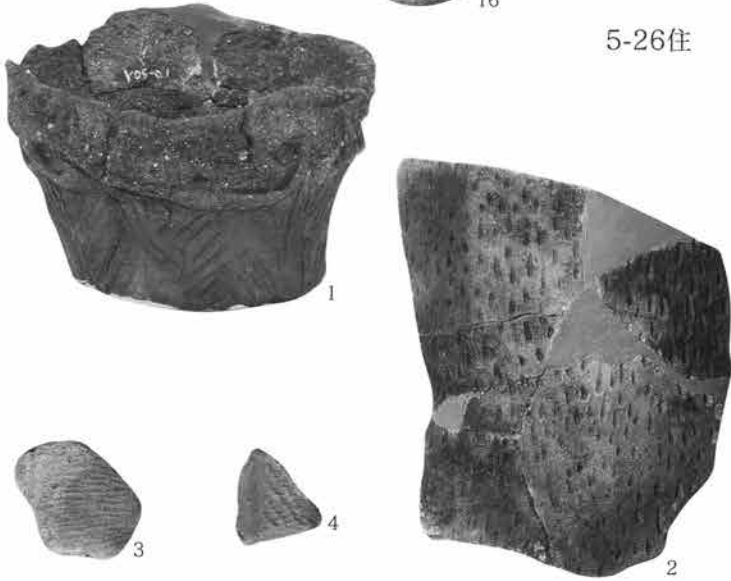
5-25住



5-26住



5-26住



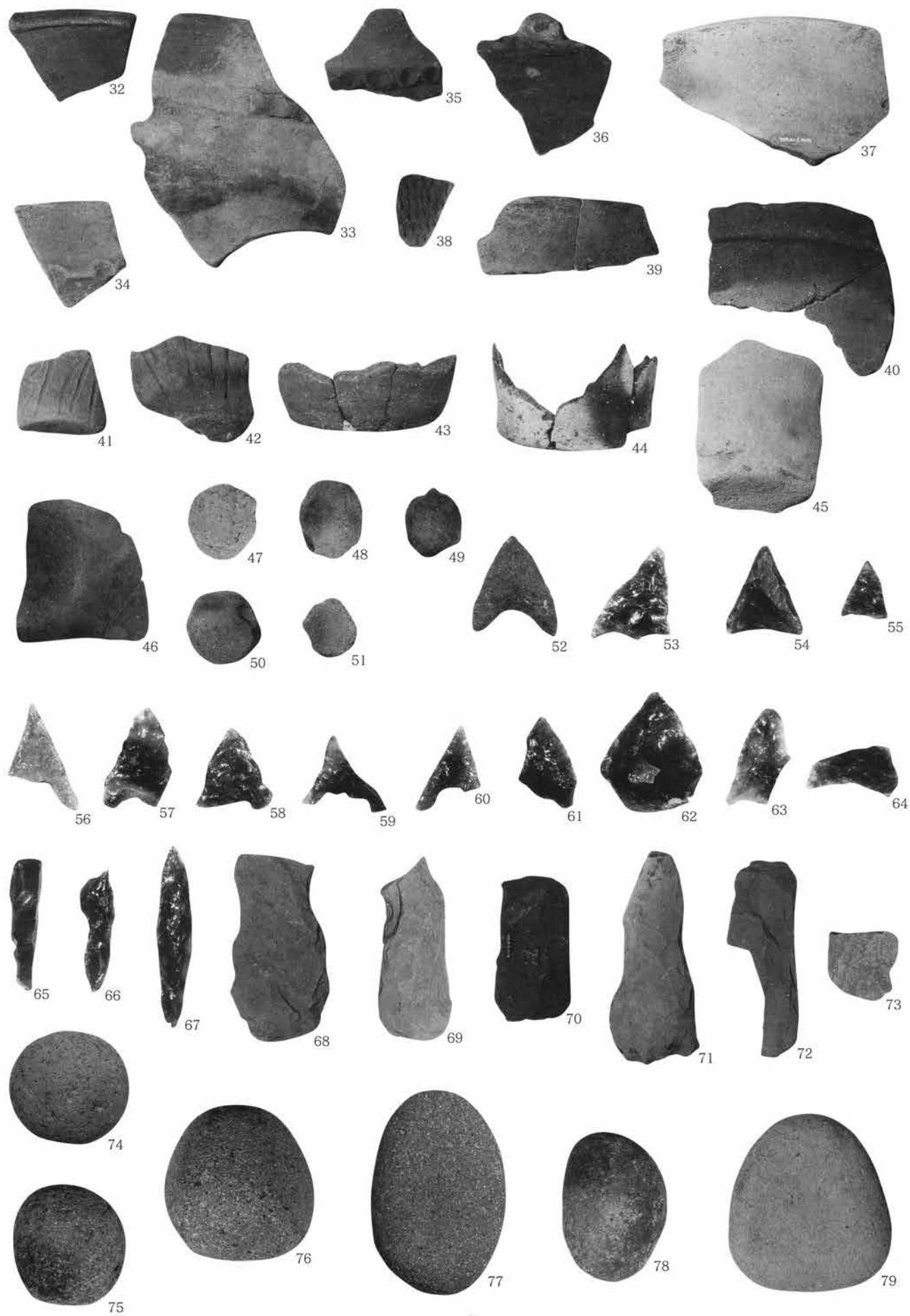
5-27住



5-30住

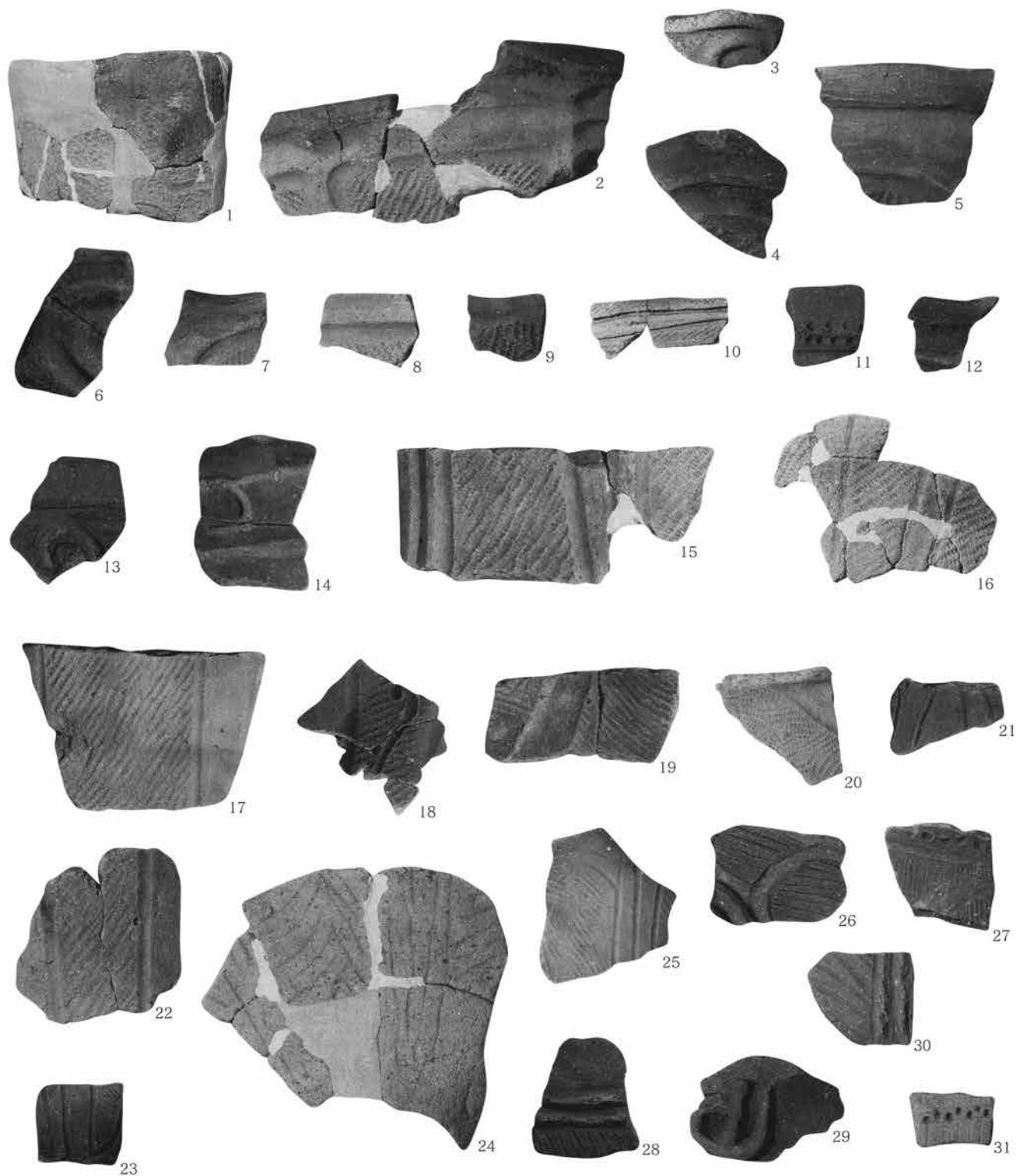




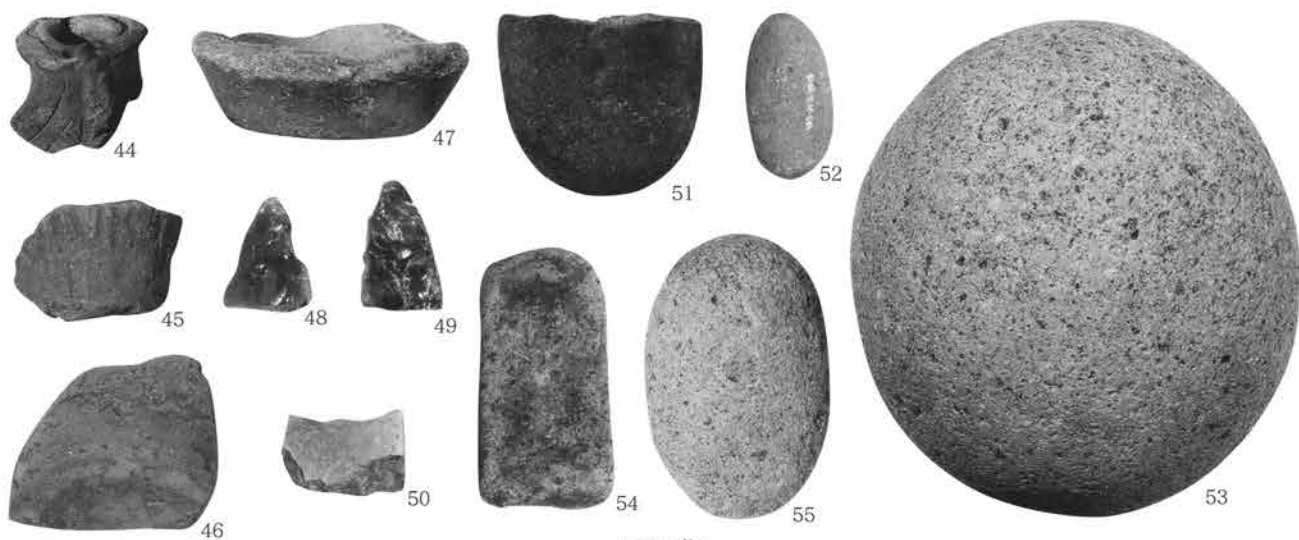
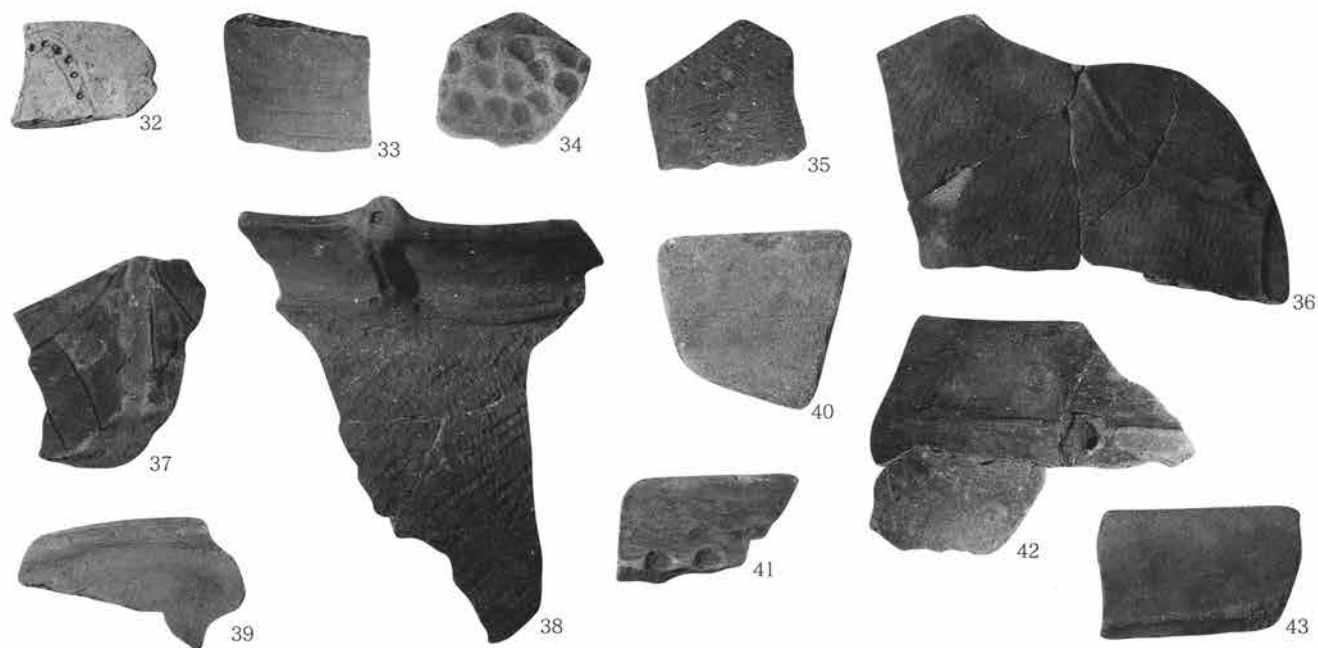




5-30住



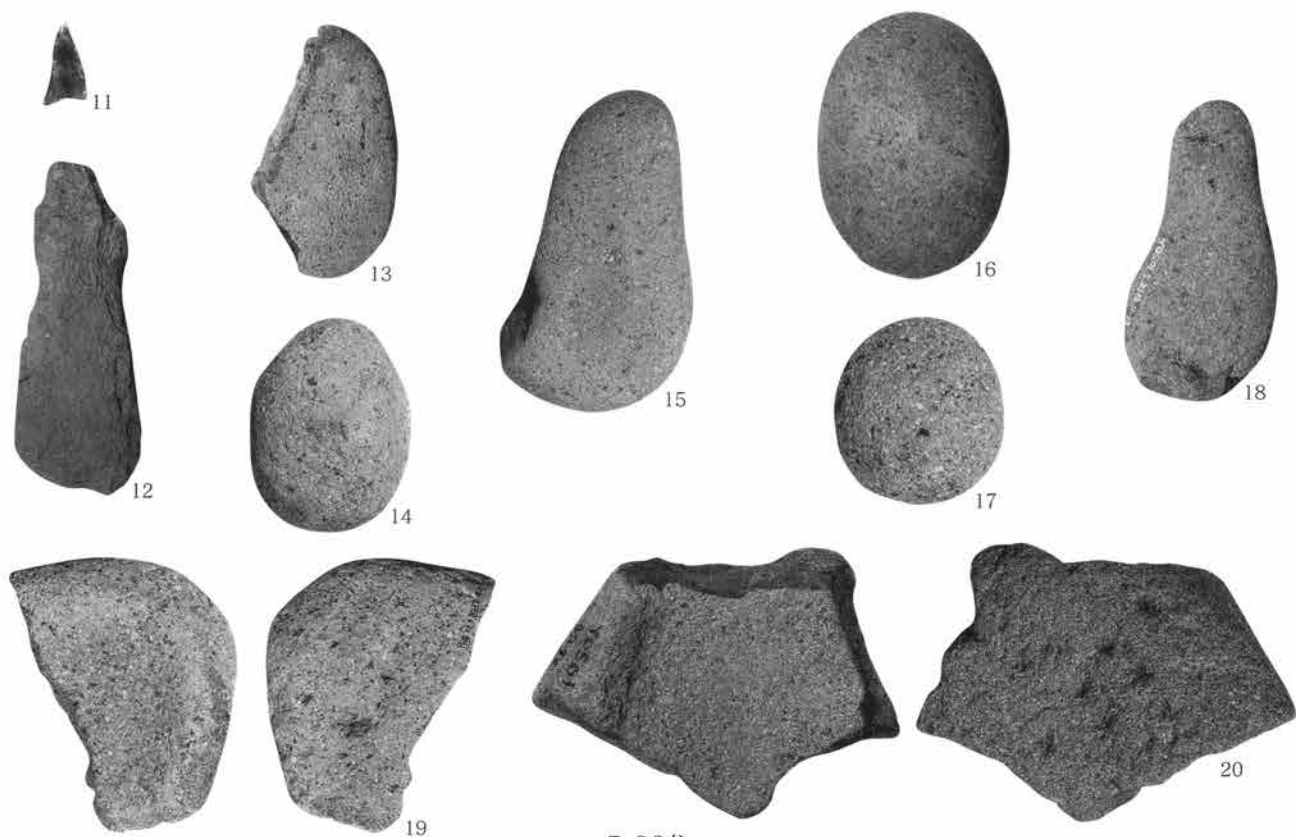
5-31住



5-31住



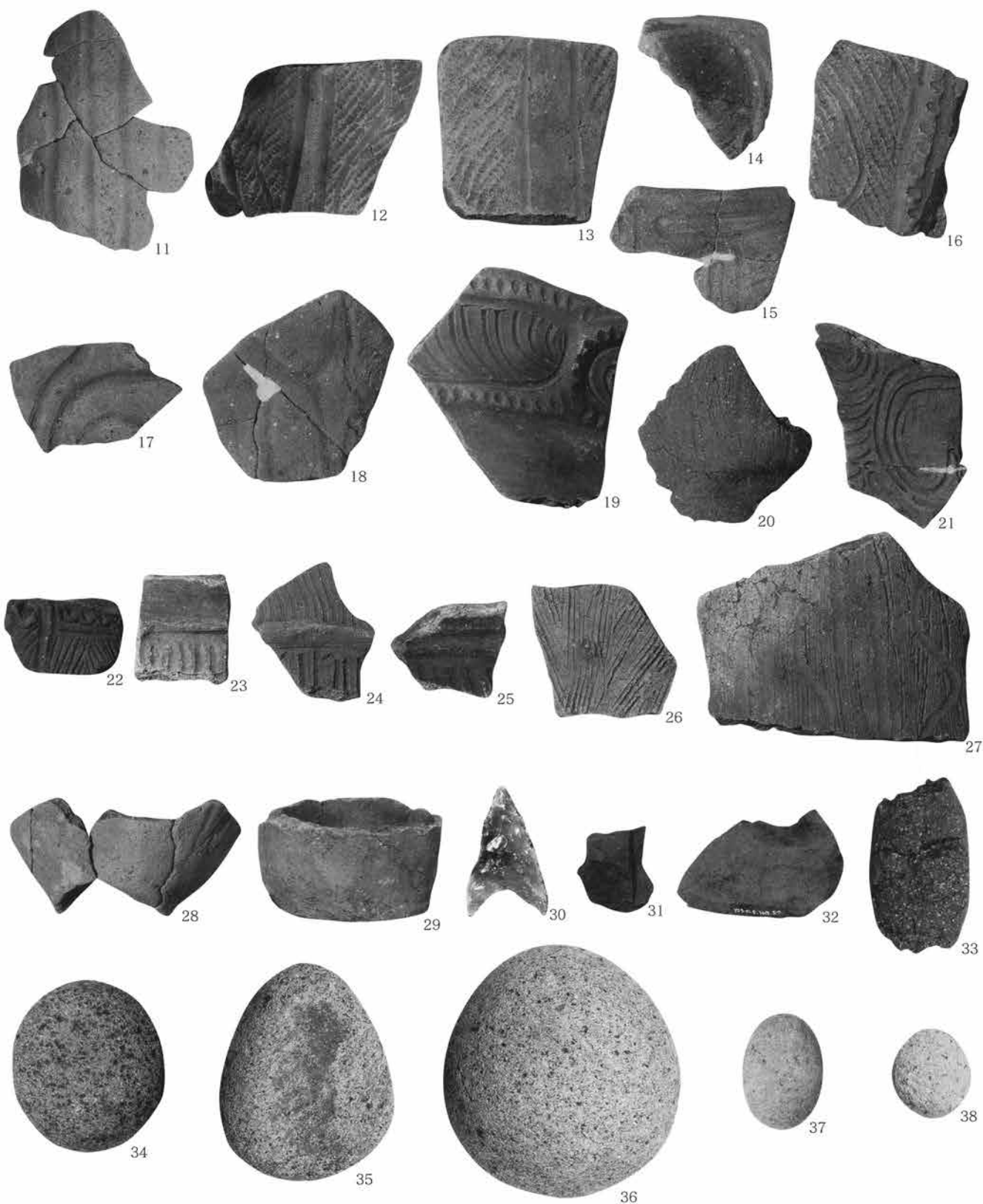
5-33住



5-33住



5-34住

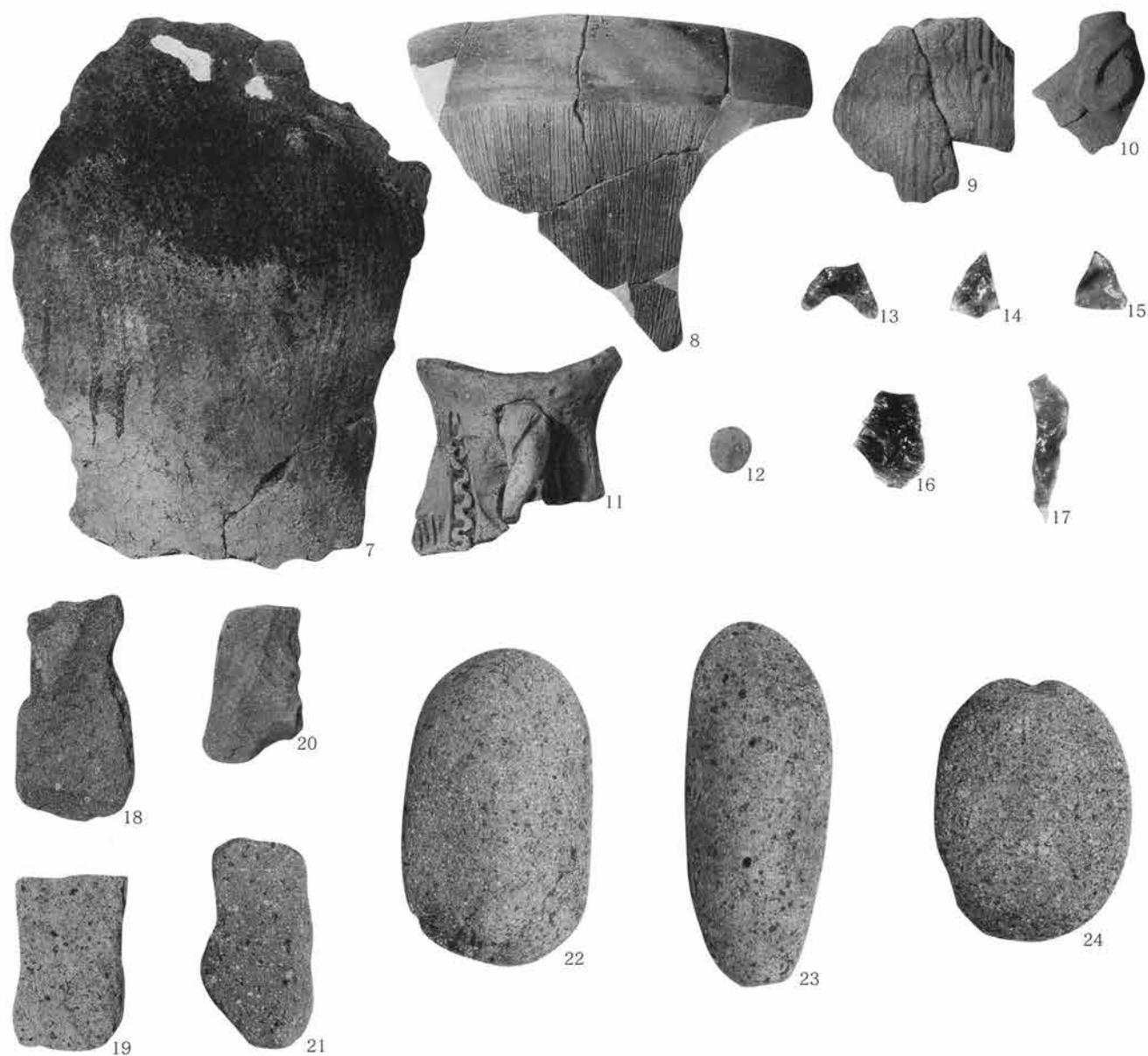


5-34住



5-35住





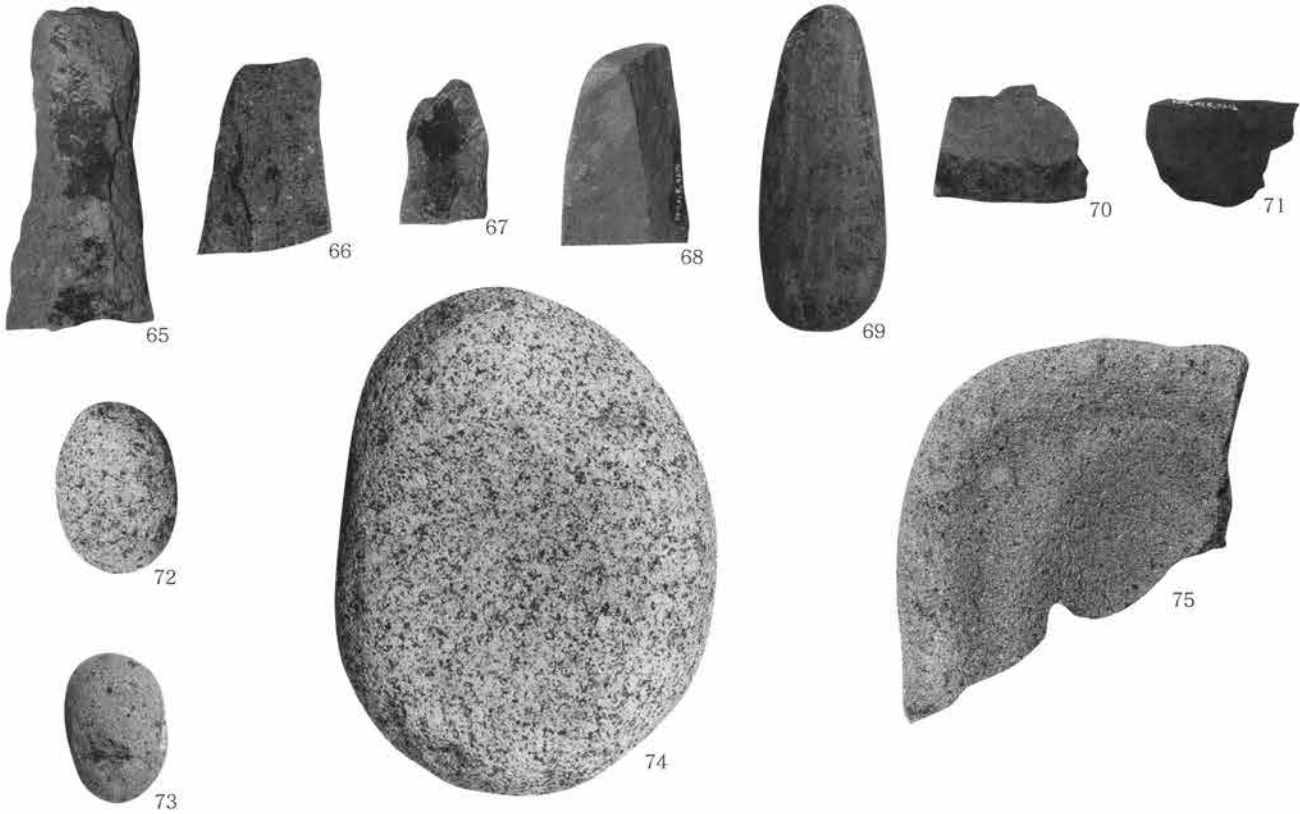
5-35住



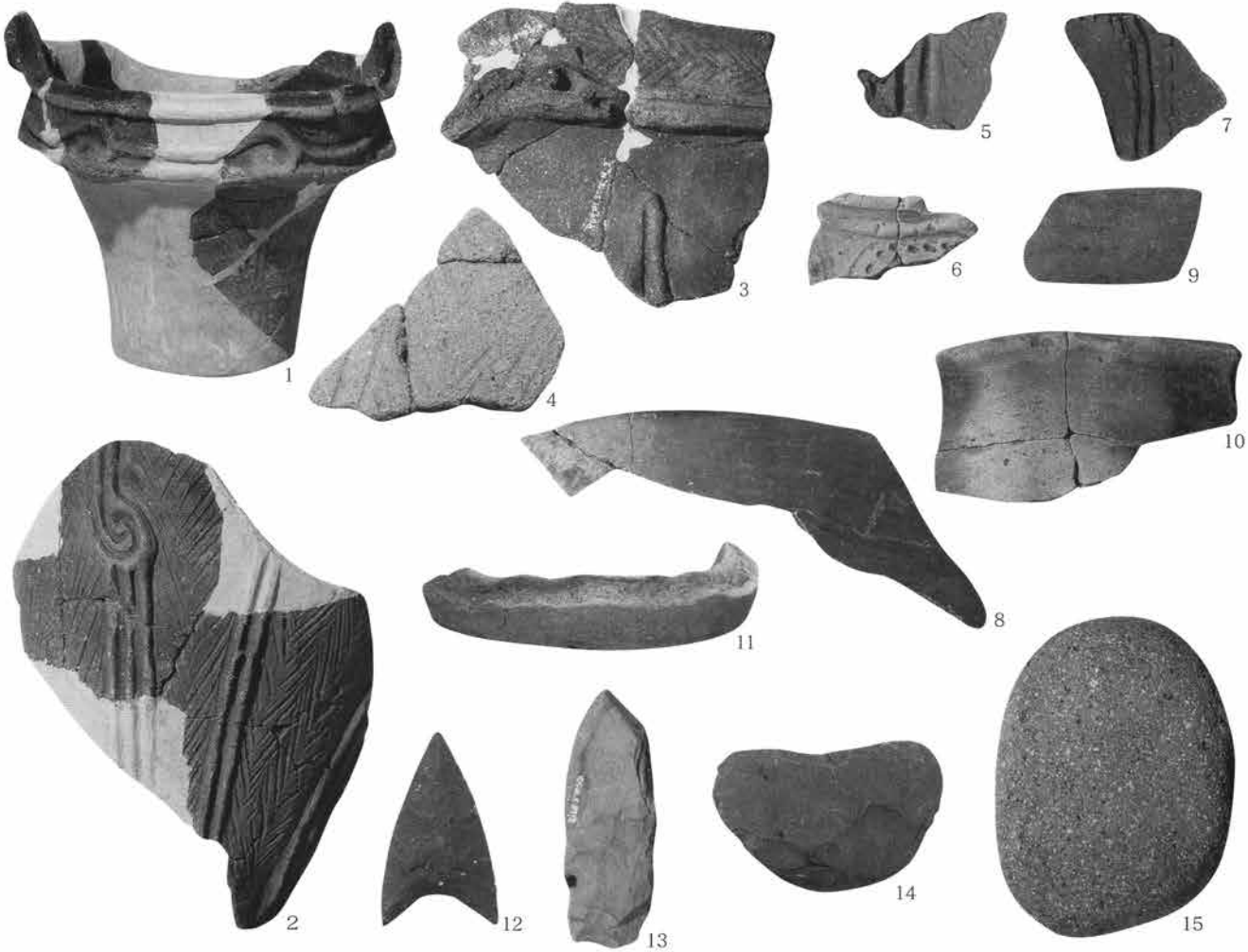
5-36住



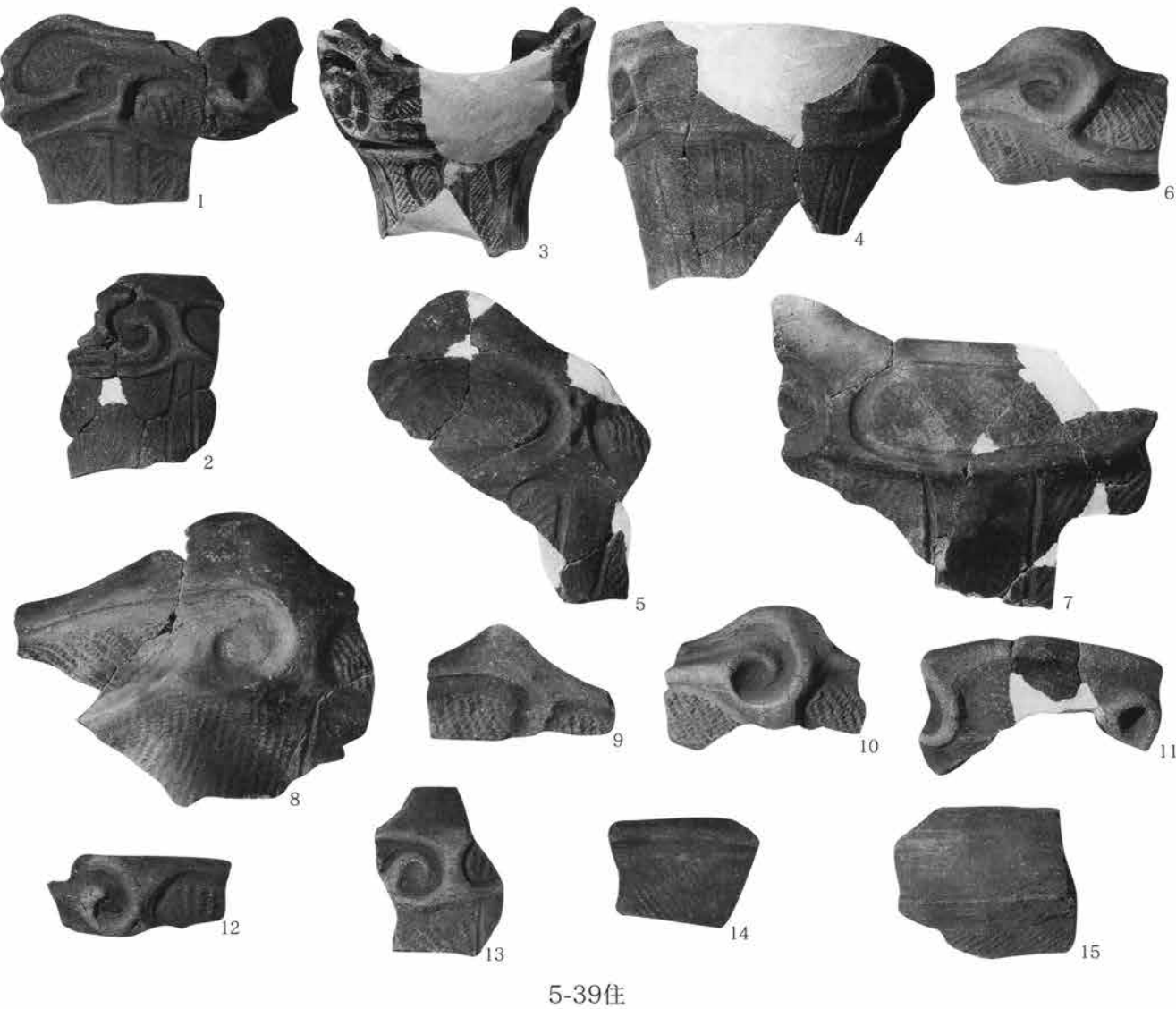
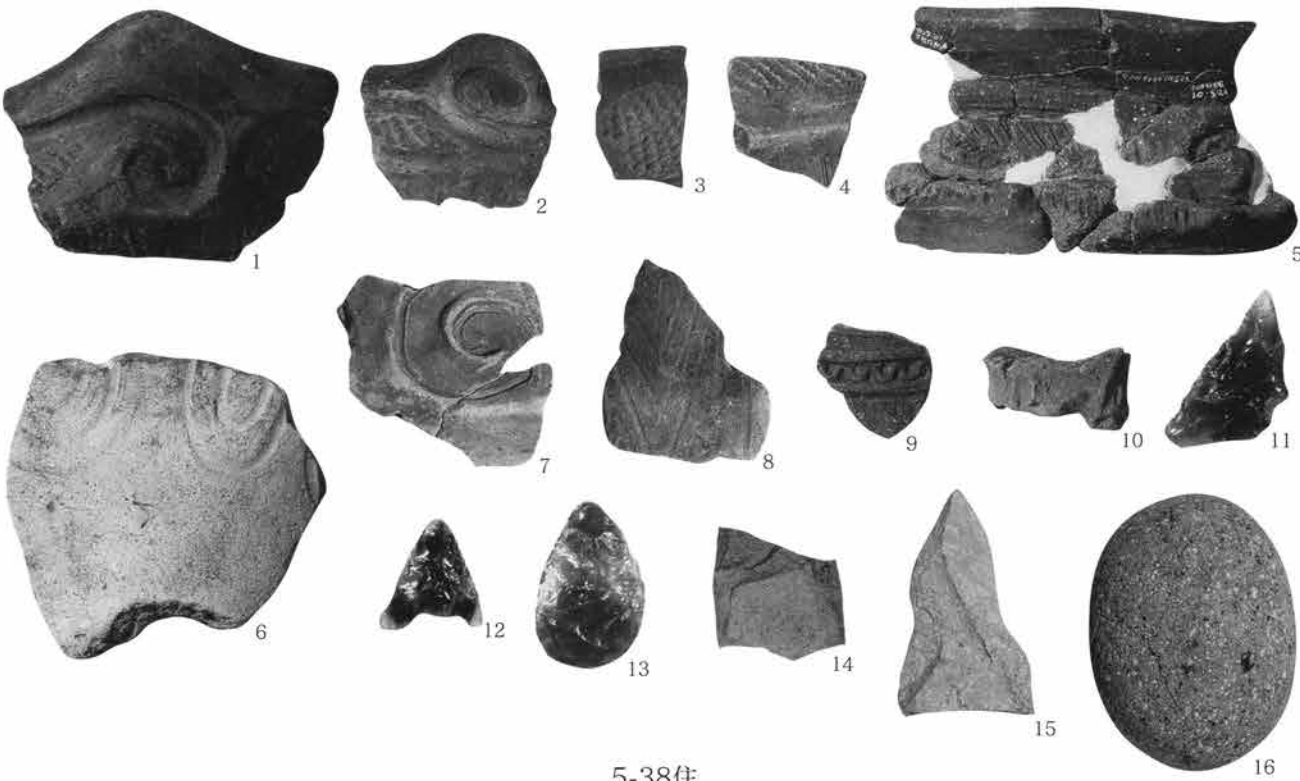




5-36住



5-37住







16



17



18



21



19



20



22



23



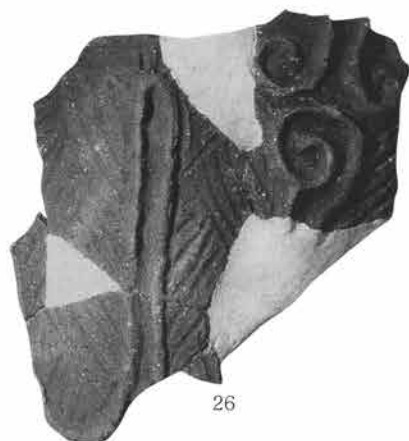
24



25



28



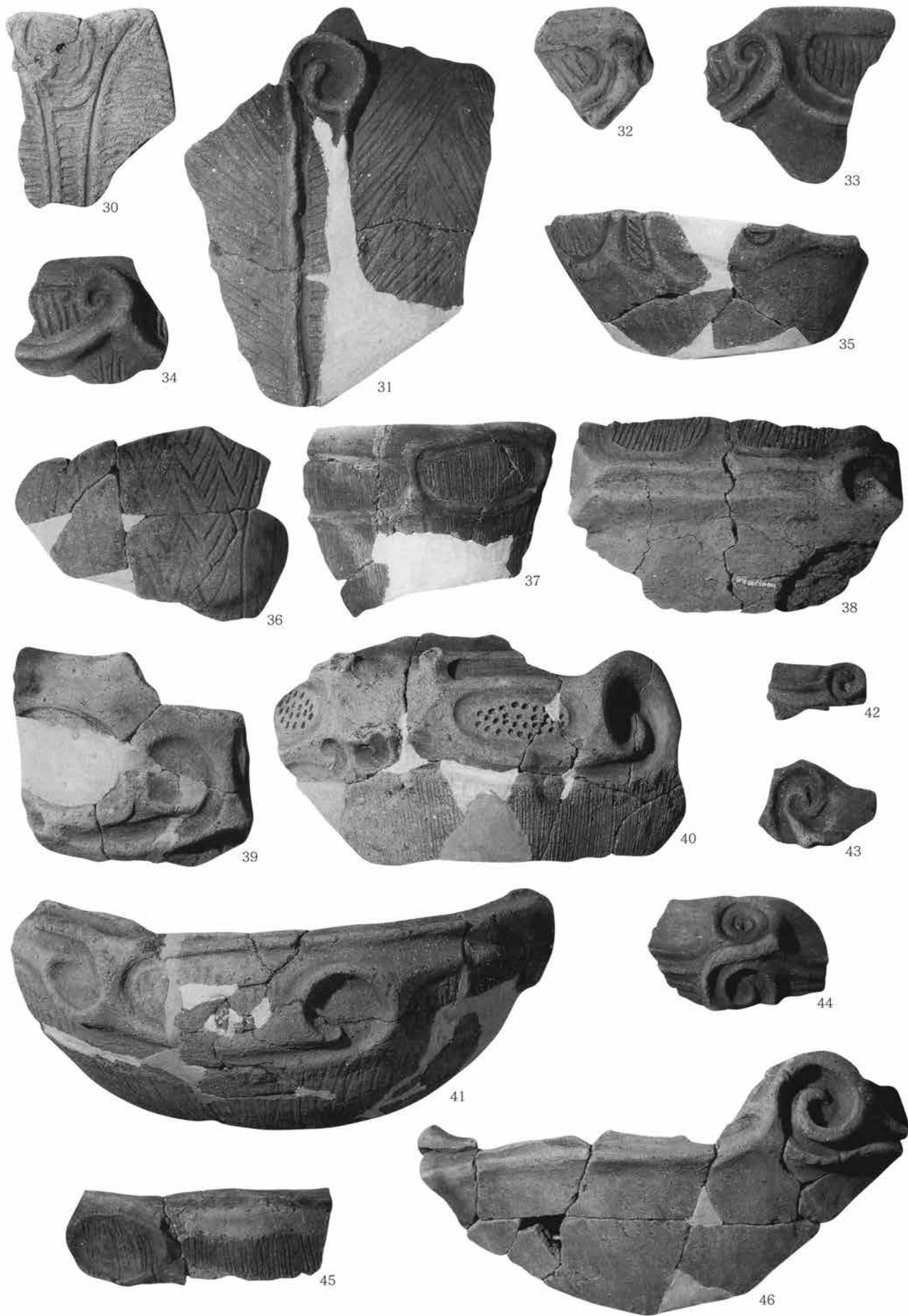
26

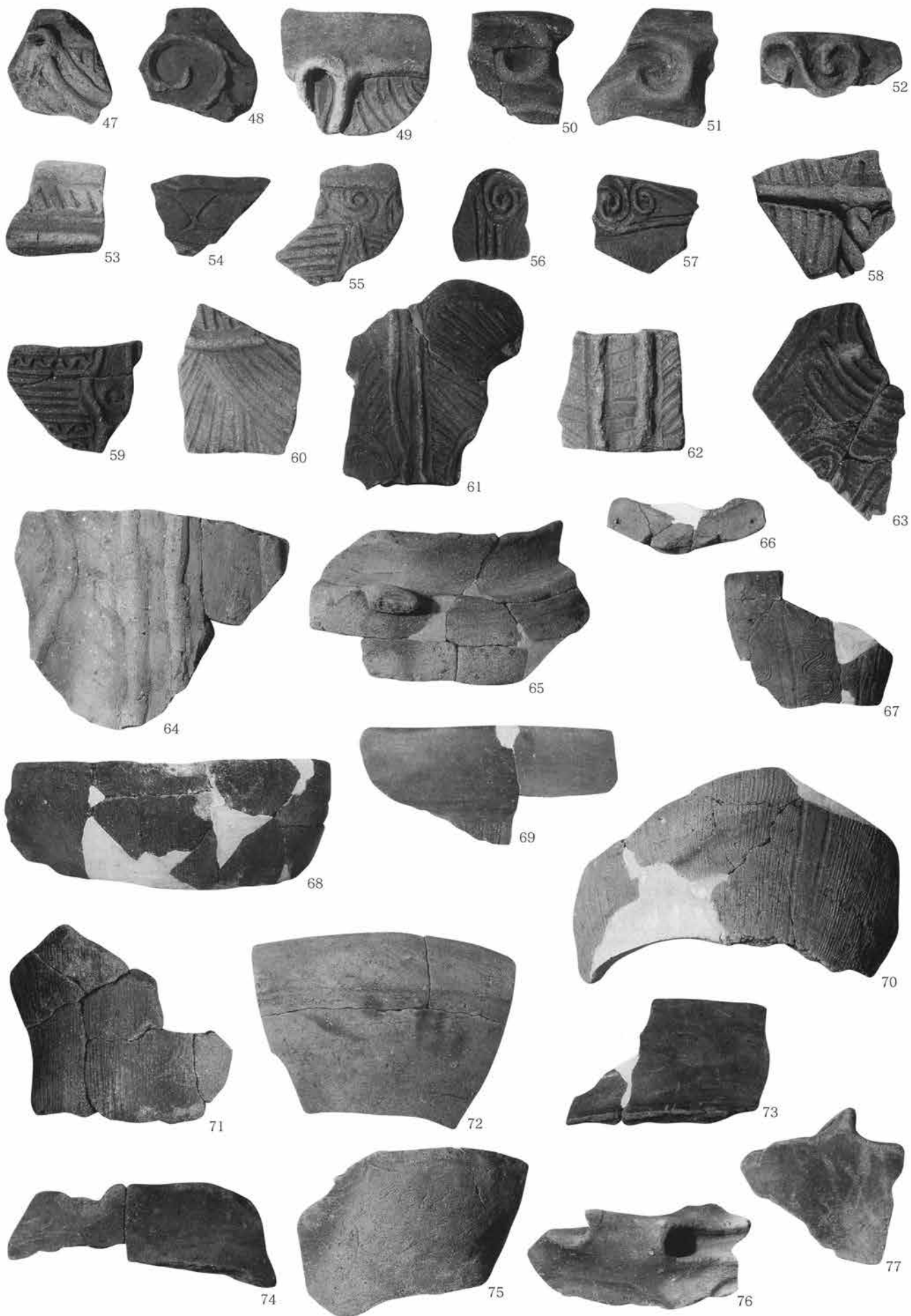


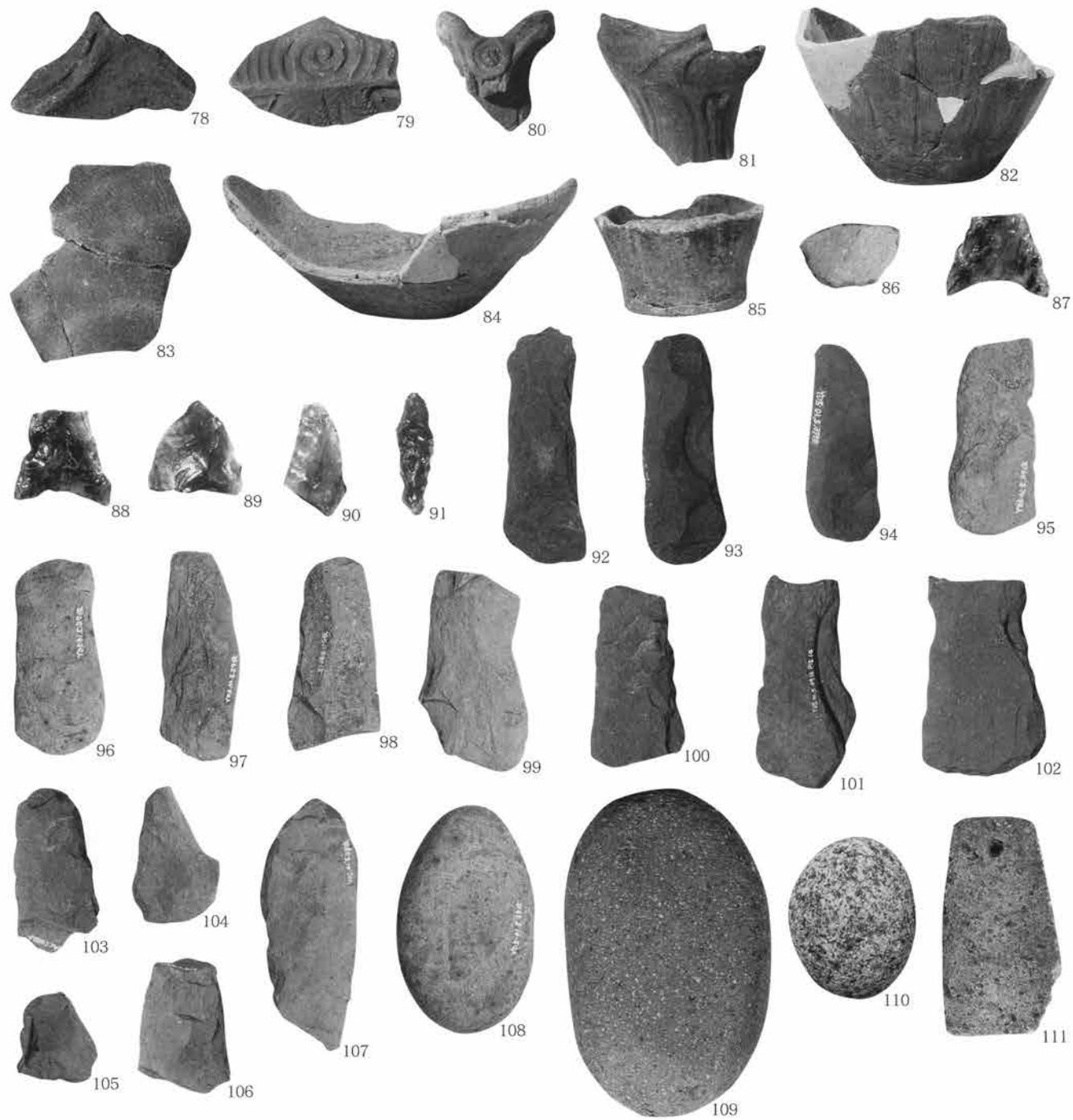
27



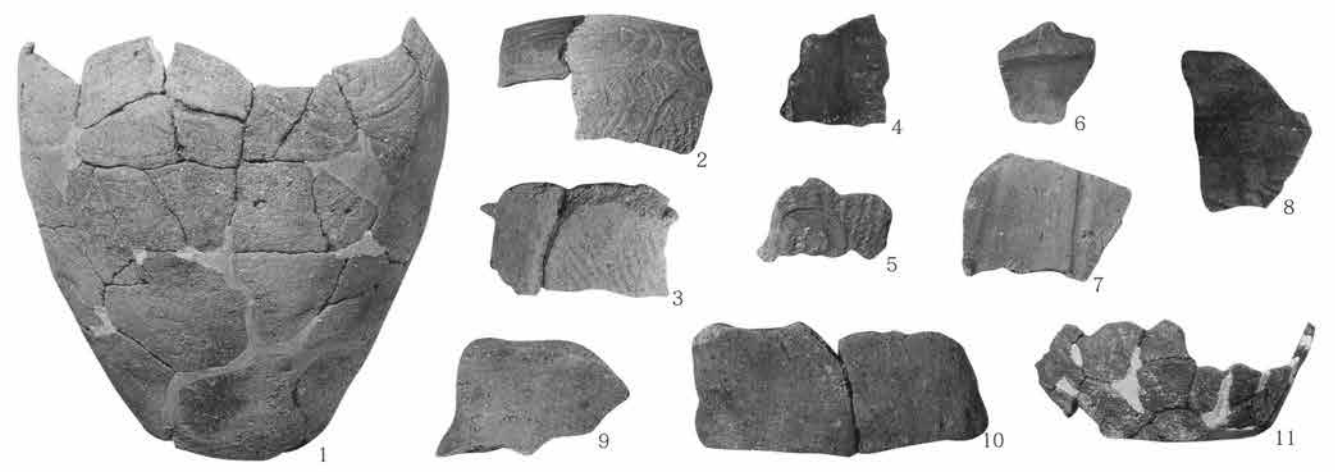
29



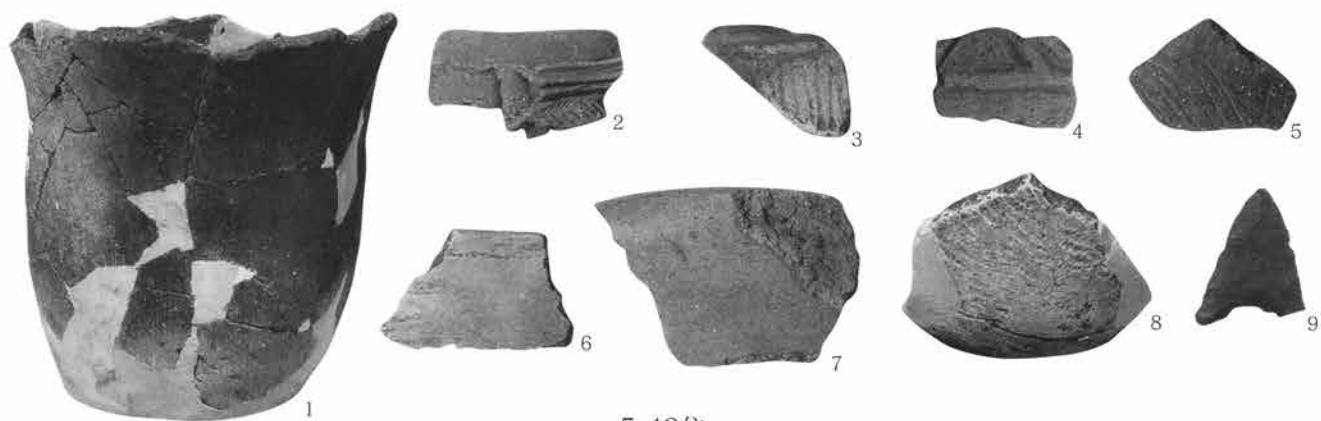




5-39住



5-41住

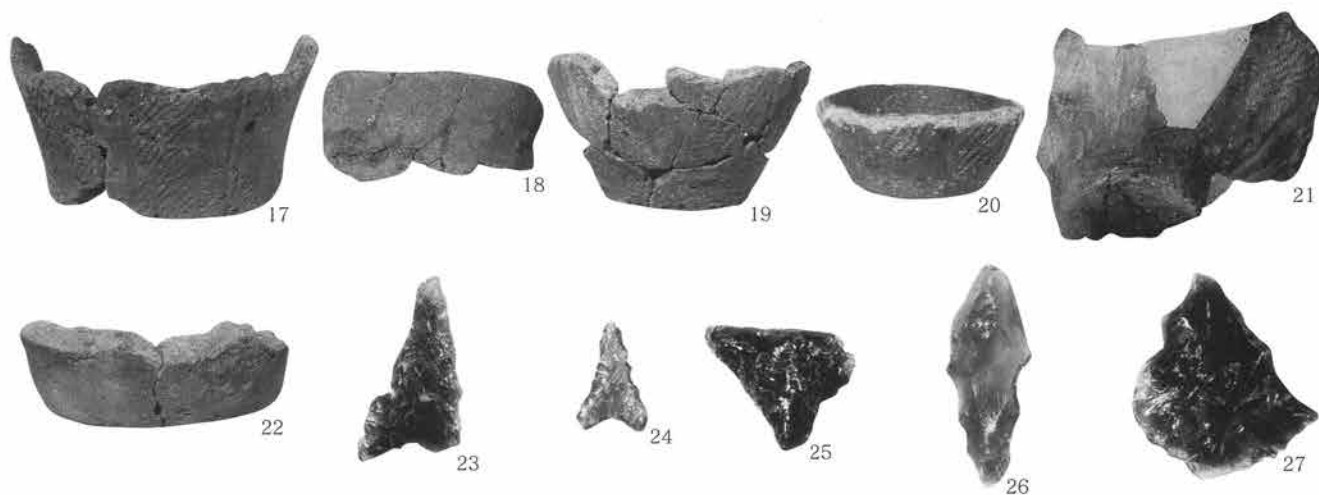
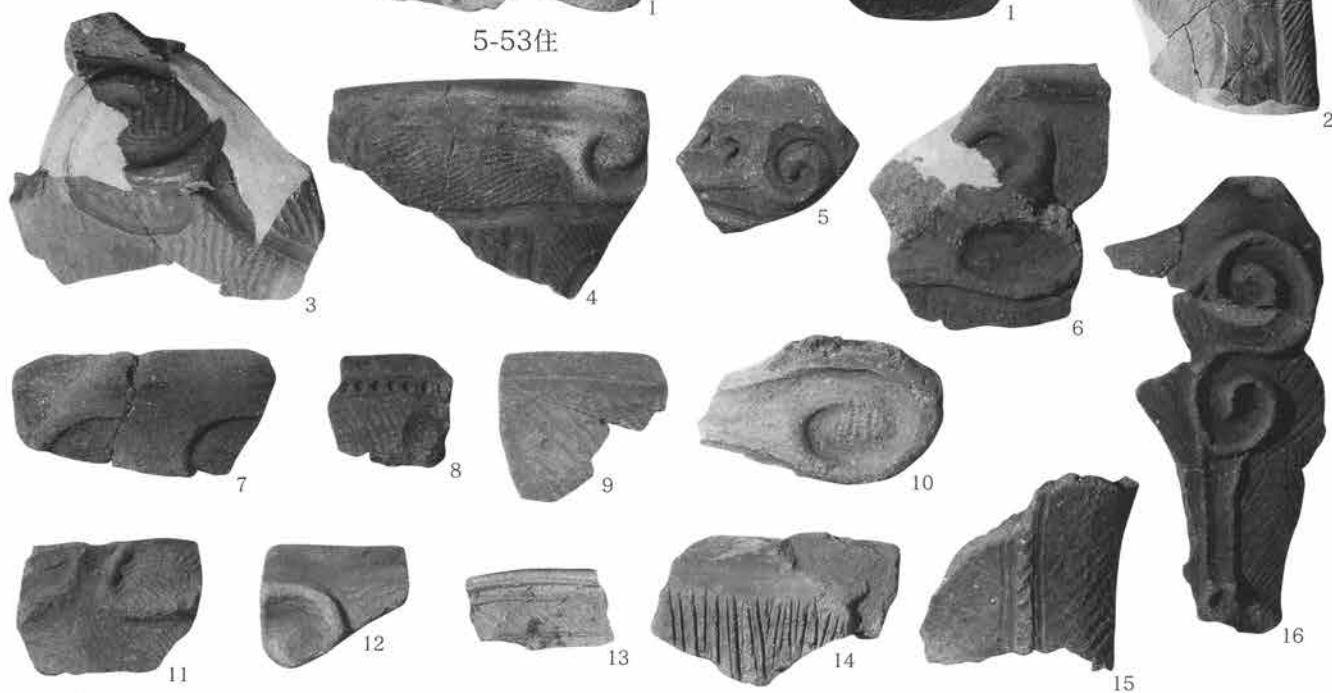


5-43住



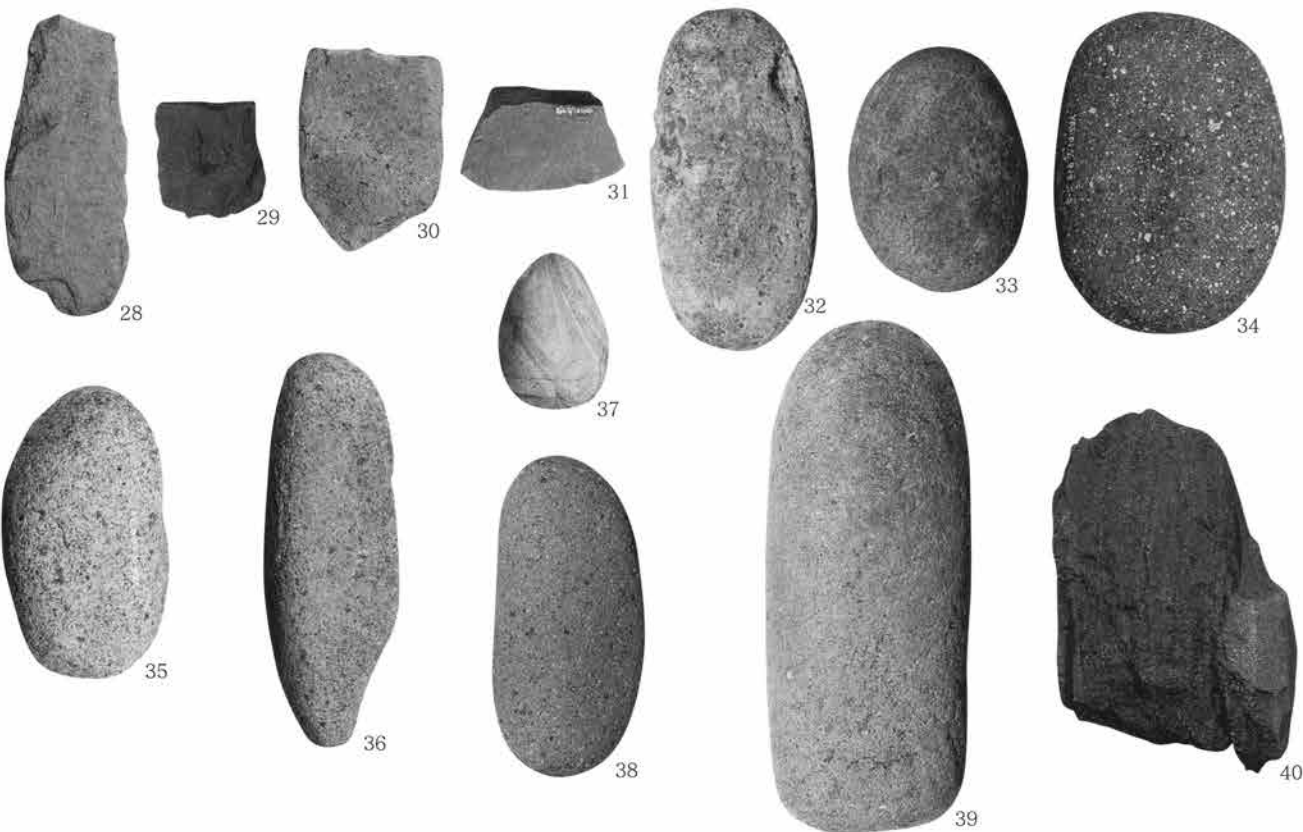
5-44住

5-53住



6-9住





6-9住



5-1埋甕1



5-1埋甕2



5-6埋甕1



96-1埋甕1



96-1埋甕2



96-1埋甕3



4-1炉1



4-1炉2



5-4炉1



5-4炉2



4-34土



1



2



2



1



1



2



5



4



5



6



8



3



4

5-382土



9



10



11



1



2



3



4



5



1



2

5-381土



6



7



8

5-383土



3



4

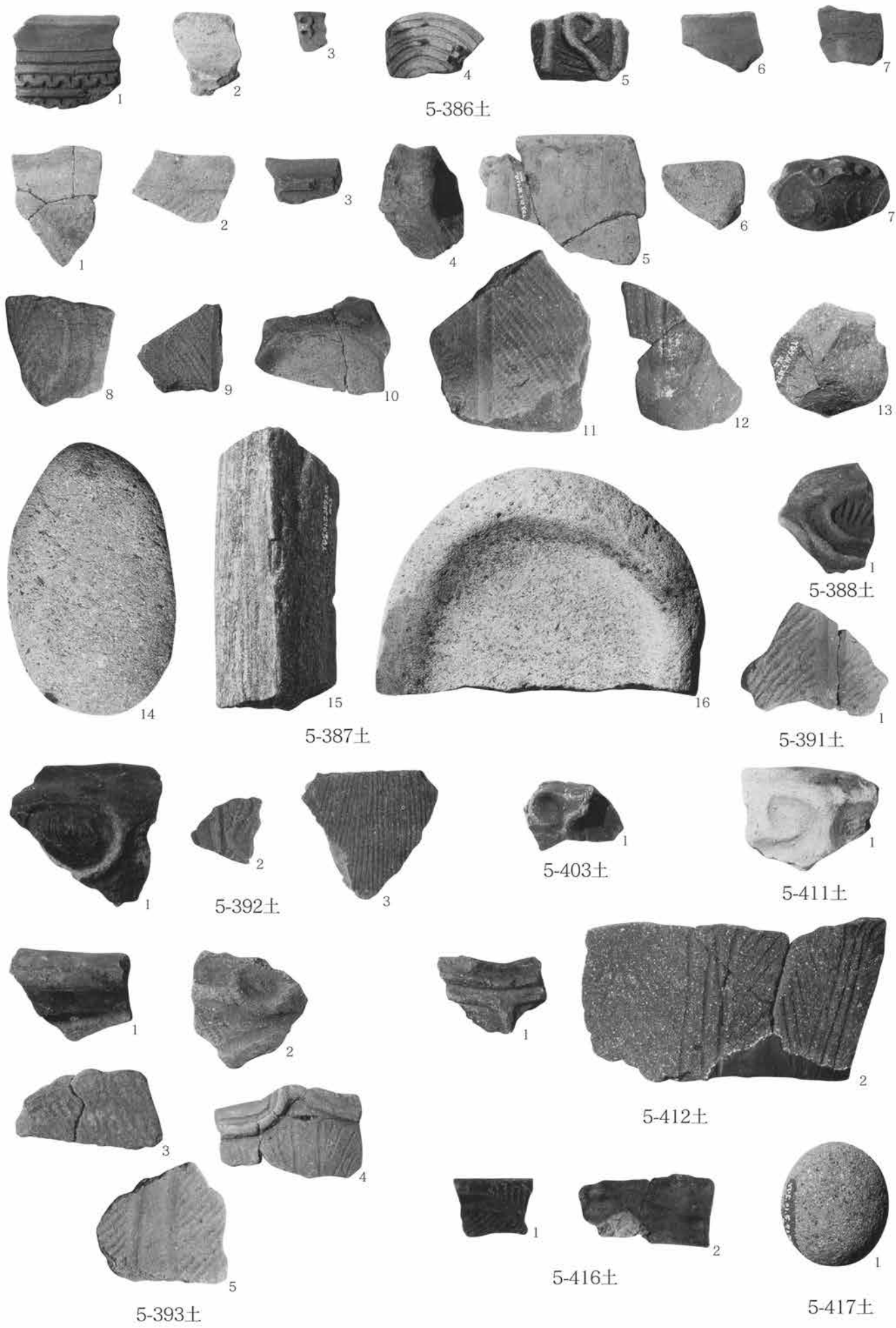


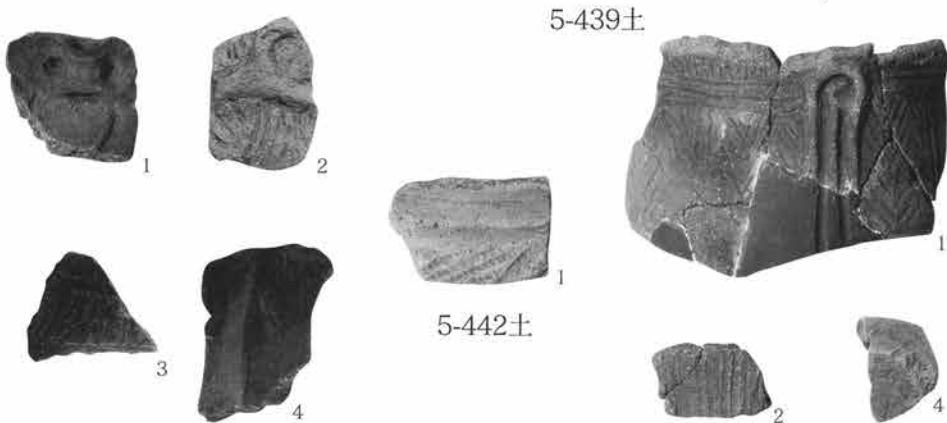
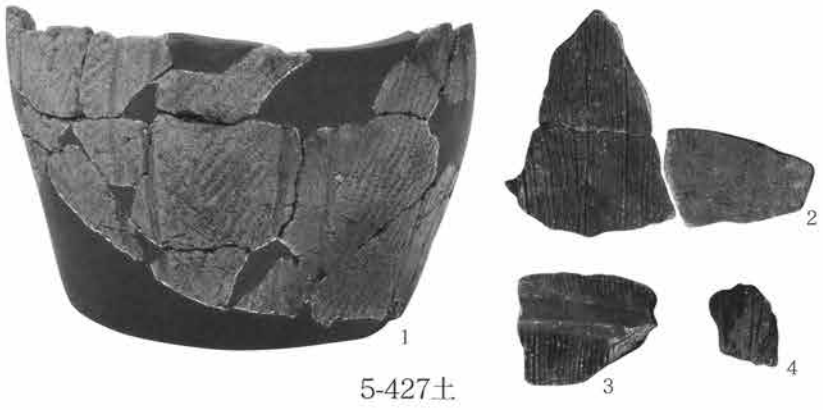
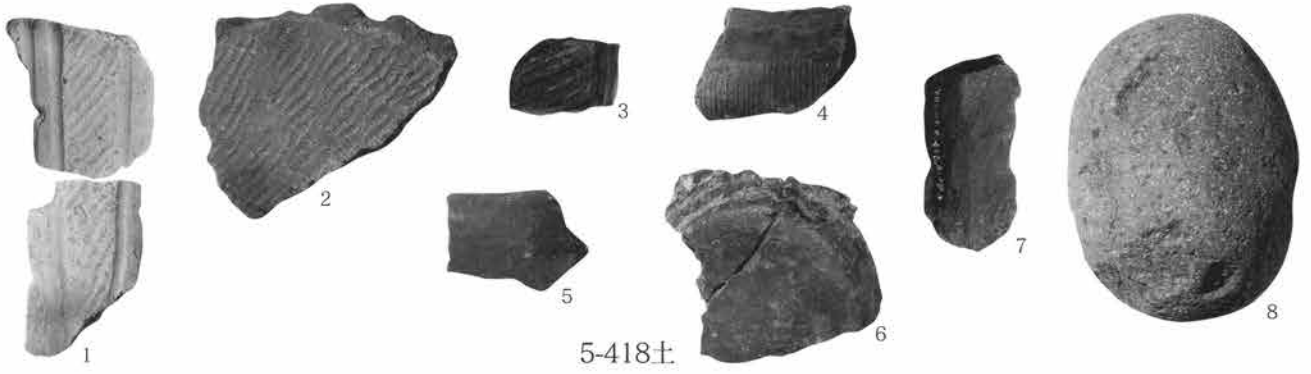
5



6

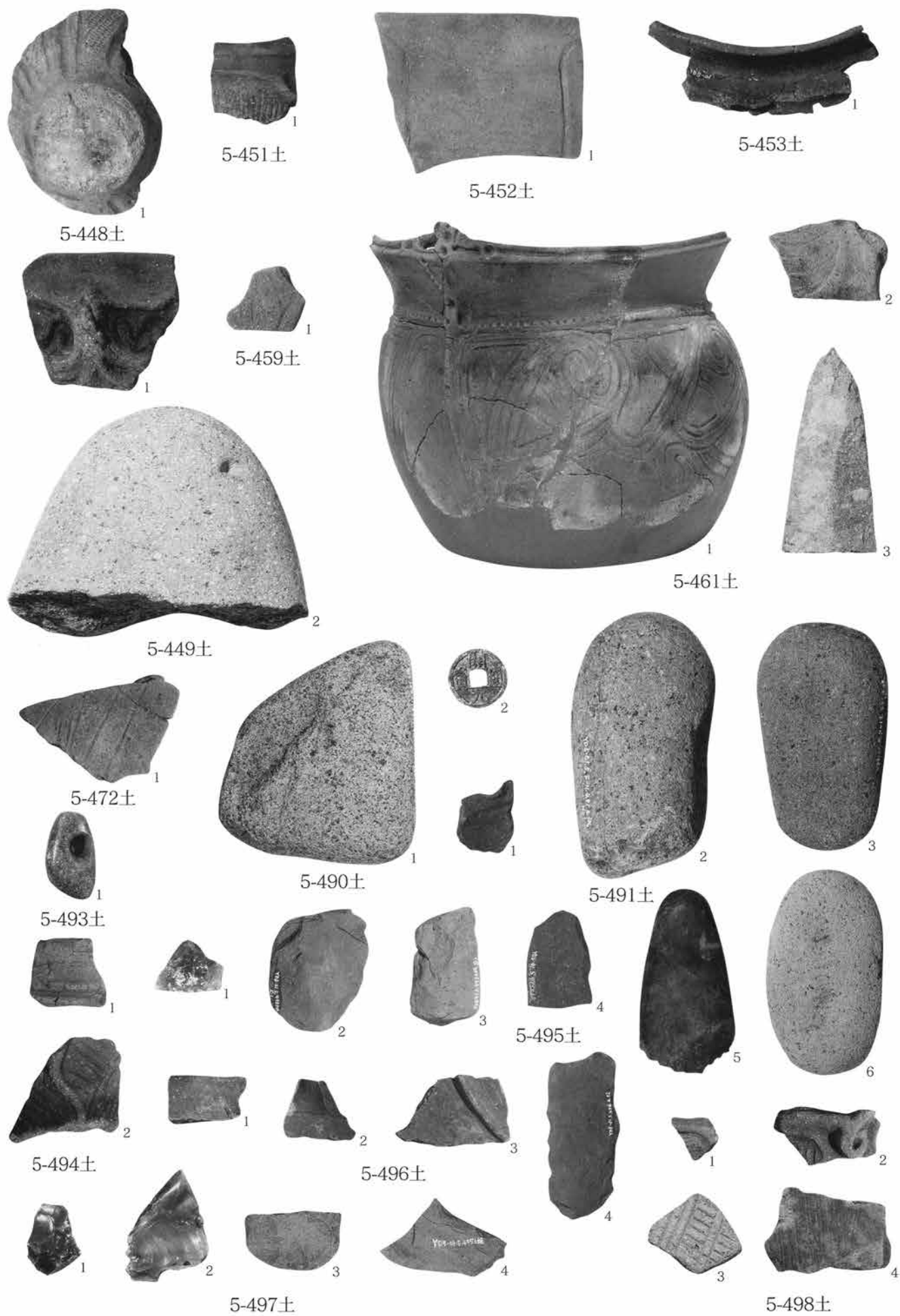
5-384土



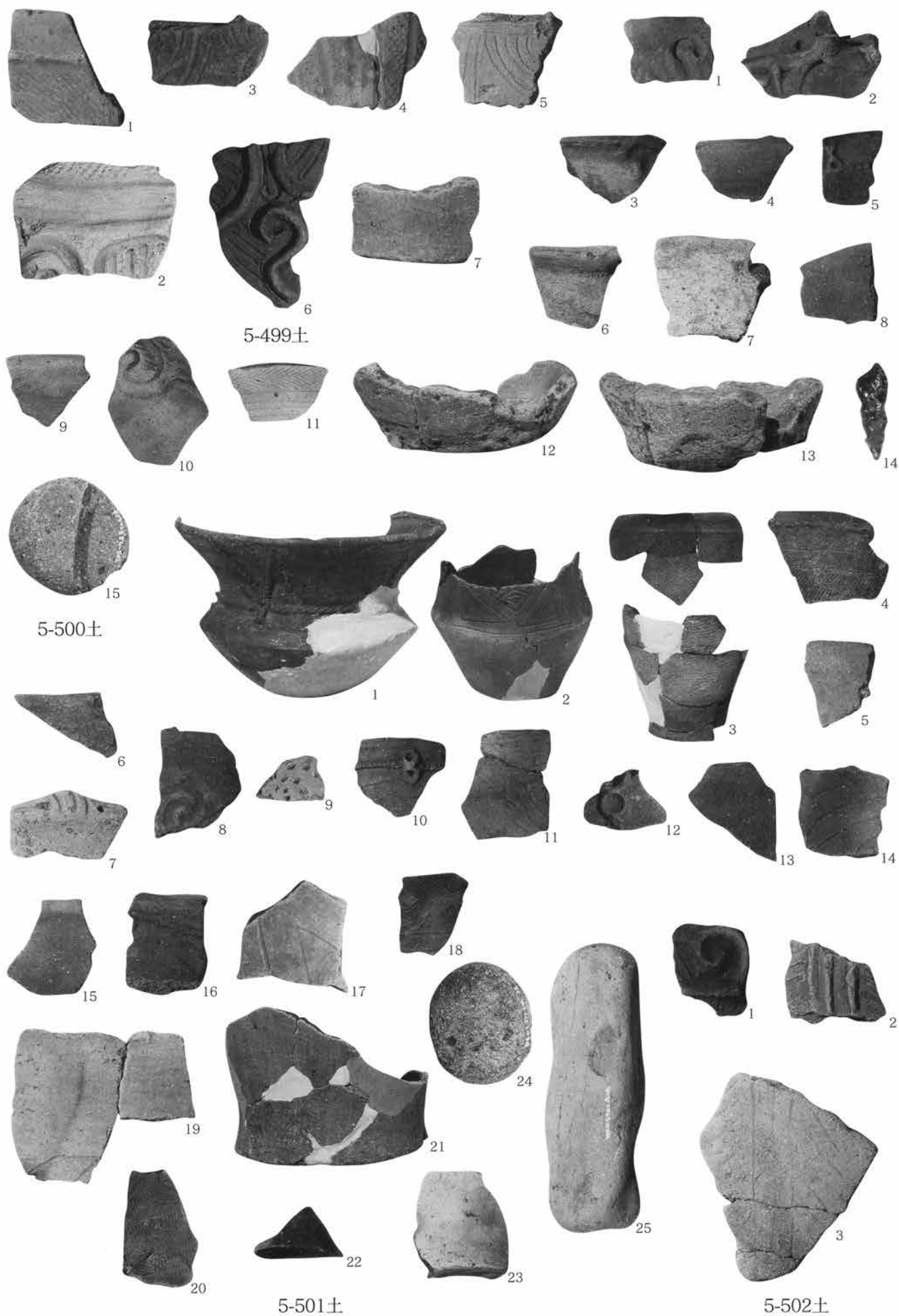


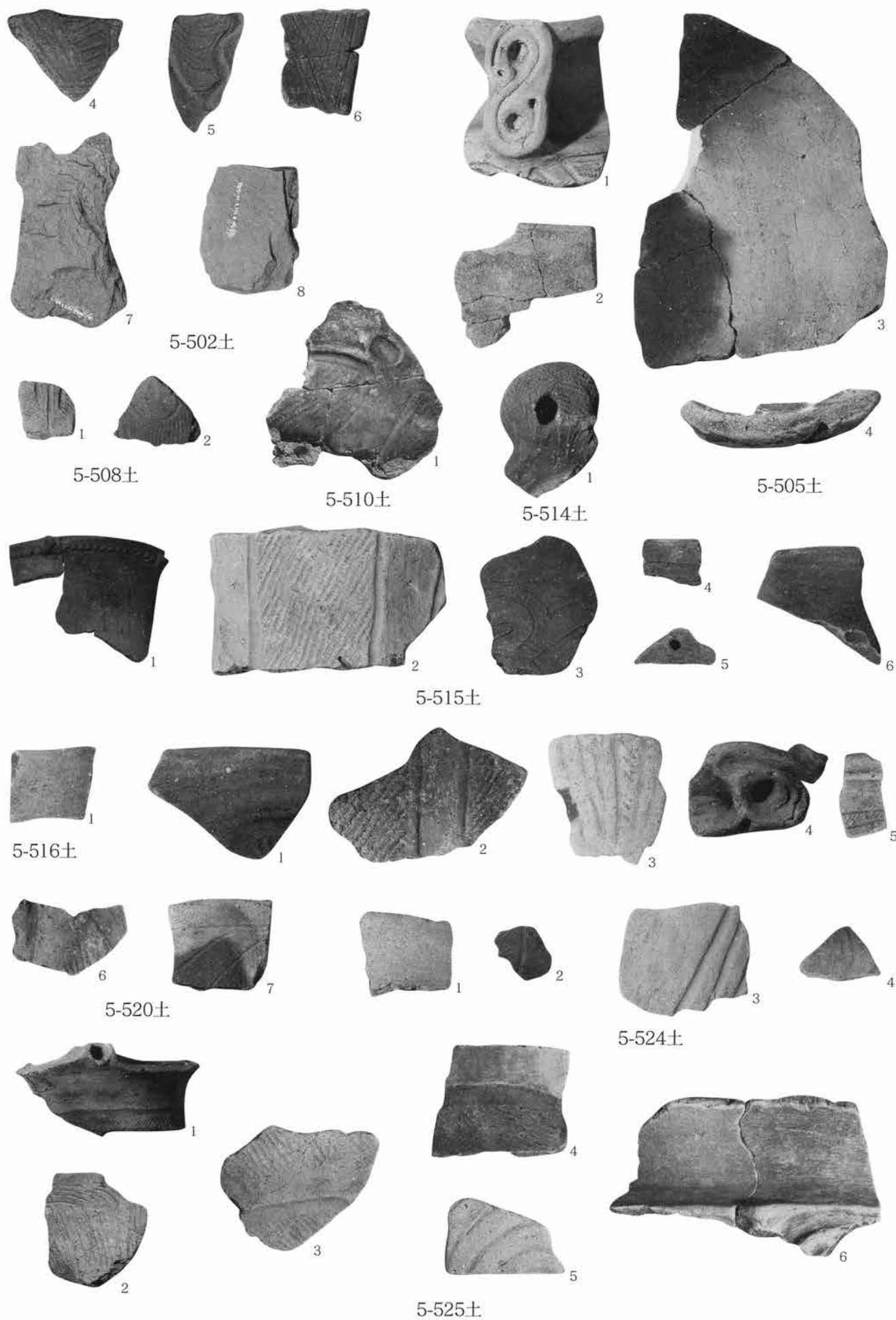
5-441土

5-447土











5-526土



5-527土

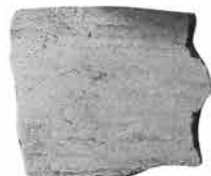
5-529土



5-533土



5-534土



5-539土



5-542土



5-547土



5-543土



5-549土



5-550土



5-555土



5-556土



5-554土



5-559土



5-572土



5-578土



5-585土



5-587土



5-599土



5-589土



5-566土



5-566土



3



1



2



5-564土



3



2

5-562土



2



1



3



1



2



3



4

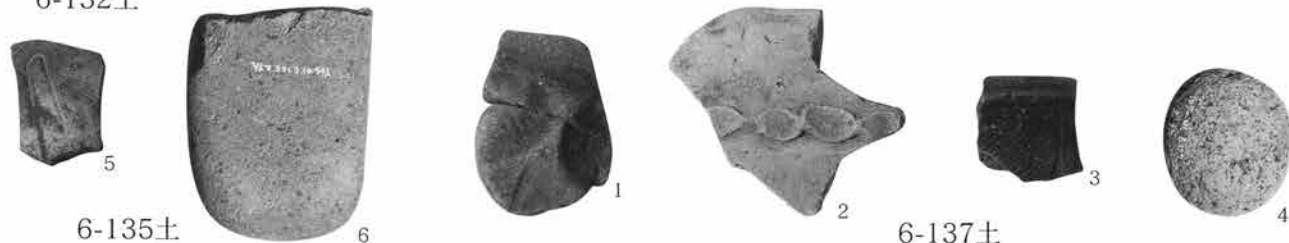


5

6-131土

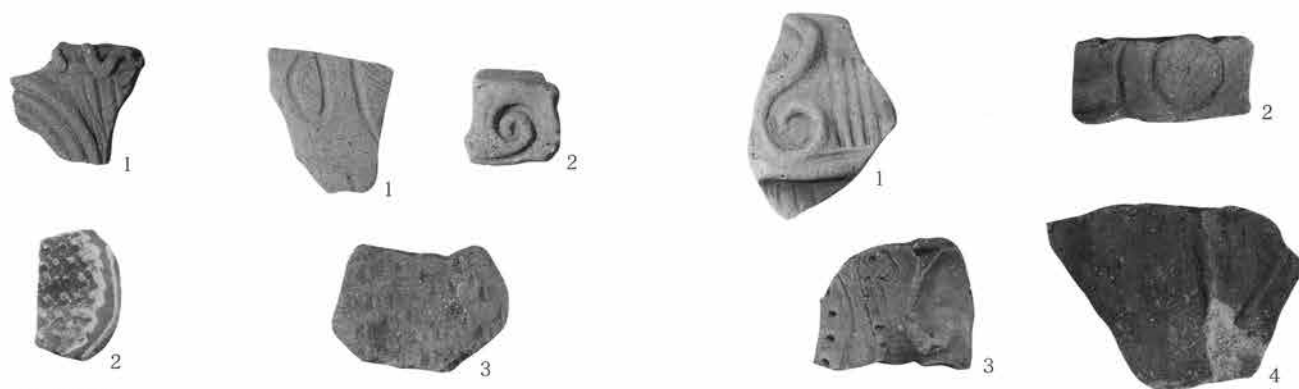


6-132土



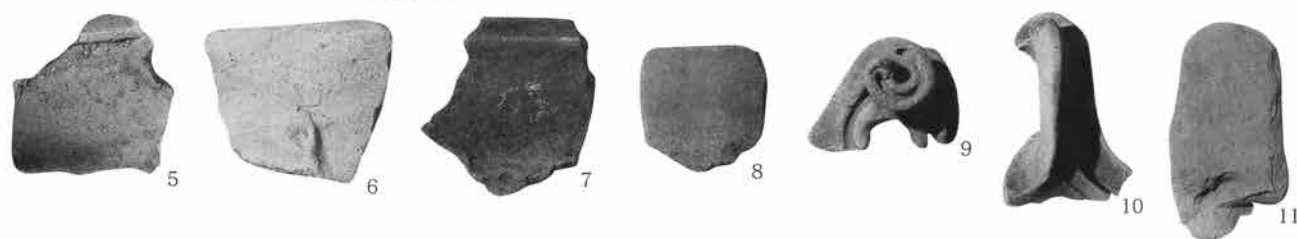
6-135土

6-137土



6-138土

6-139土



12



1



13

6-140土

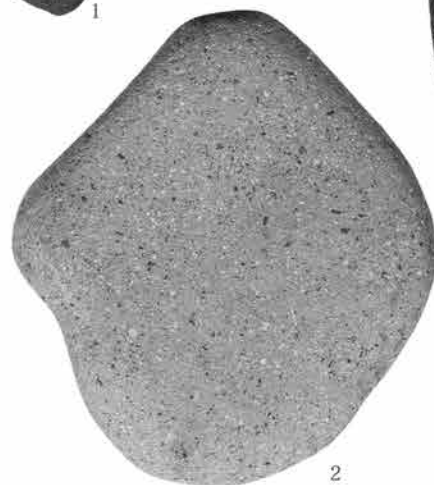


1

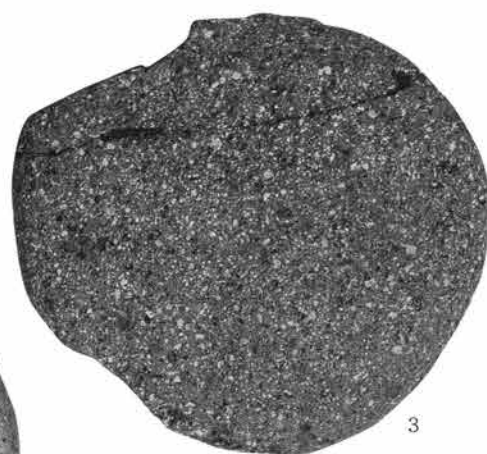


2

6-144土



2



3

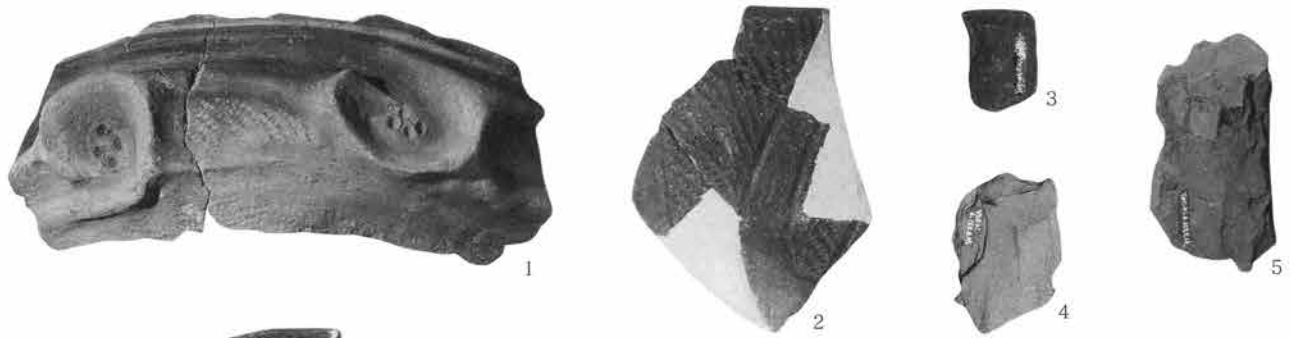
6-150土



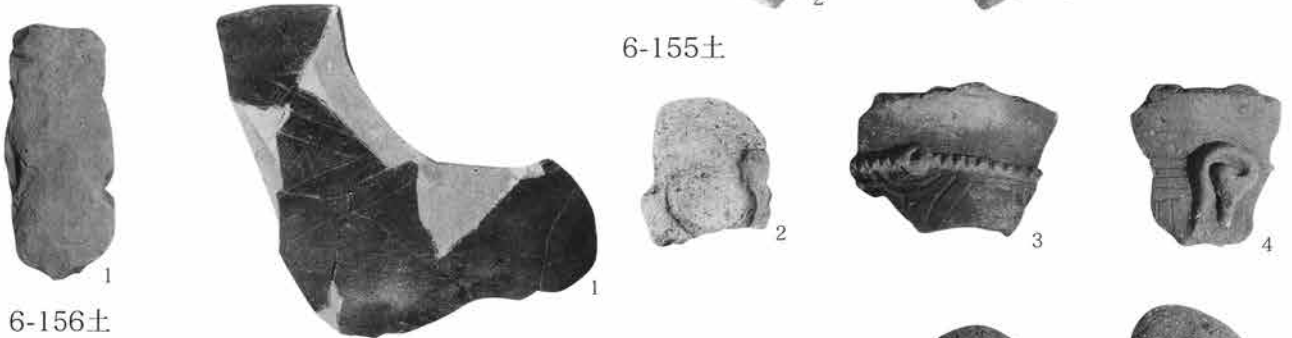
1

6-151土





6-155土



6-156土



6-157土

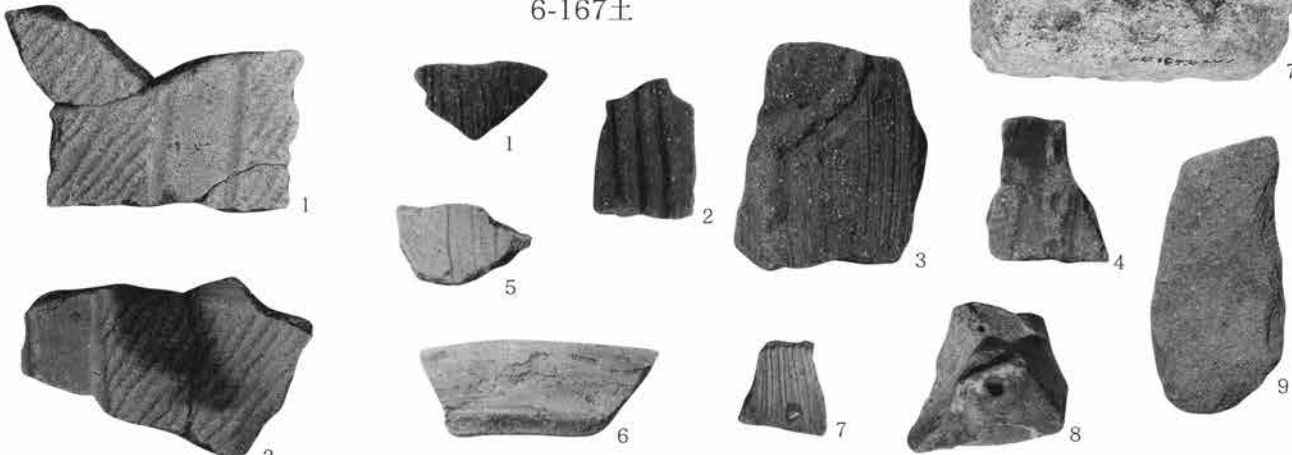
6-159土



6-162土



6-167土

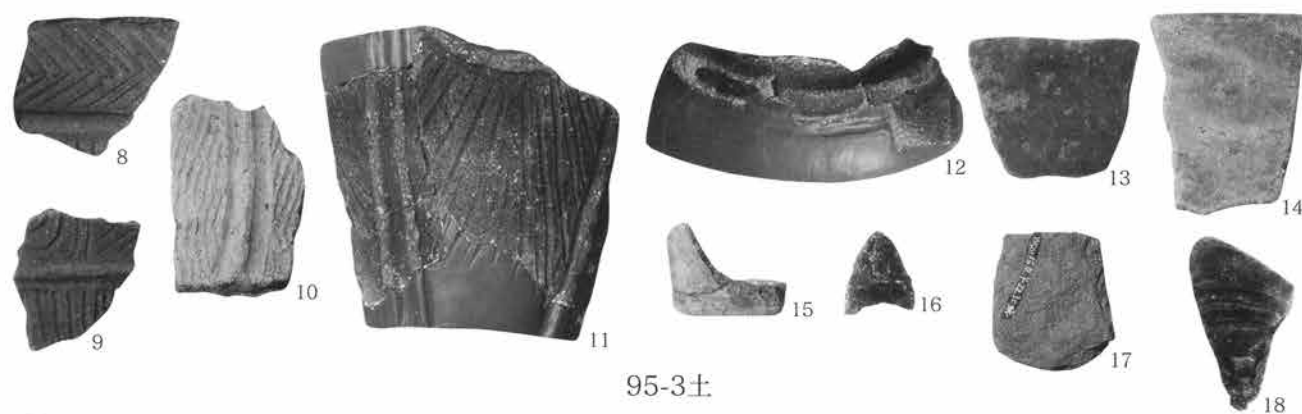


6-177土

95-1土



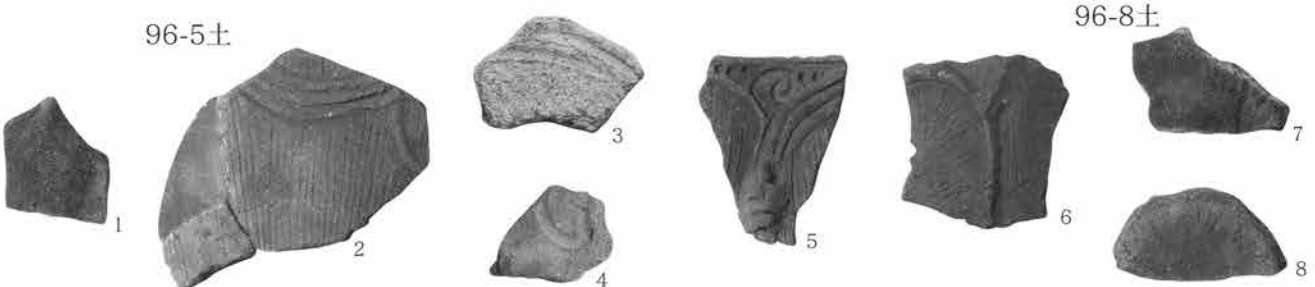
95-2土



95-3土



96-5土



96-6土

96-8土

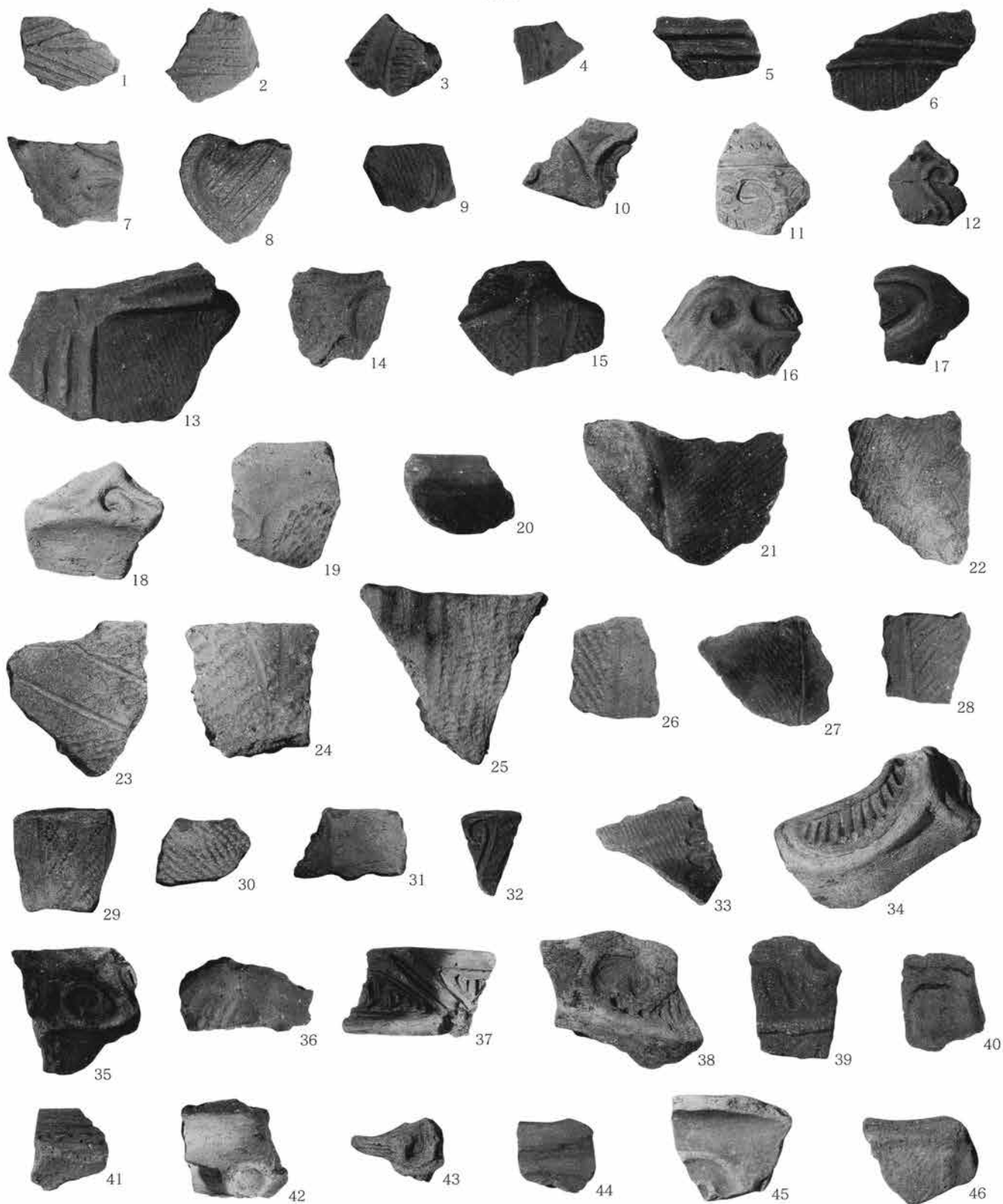


96-9土

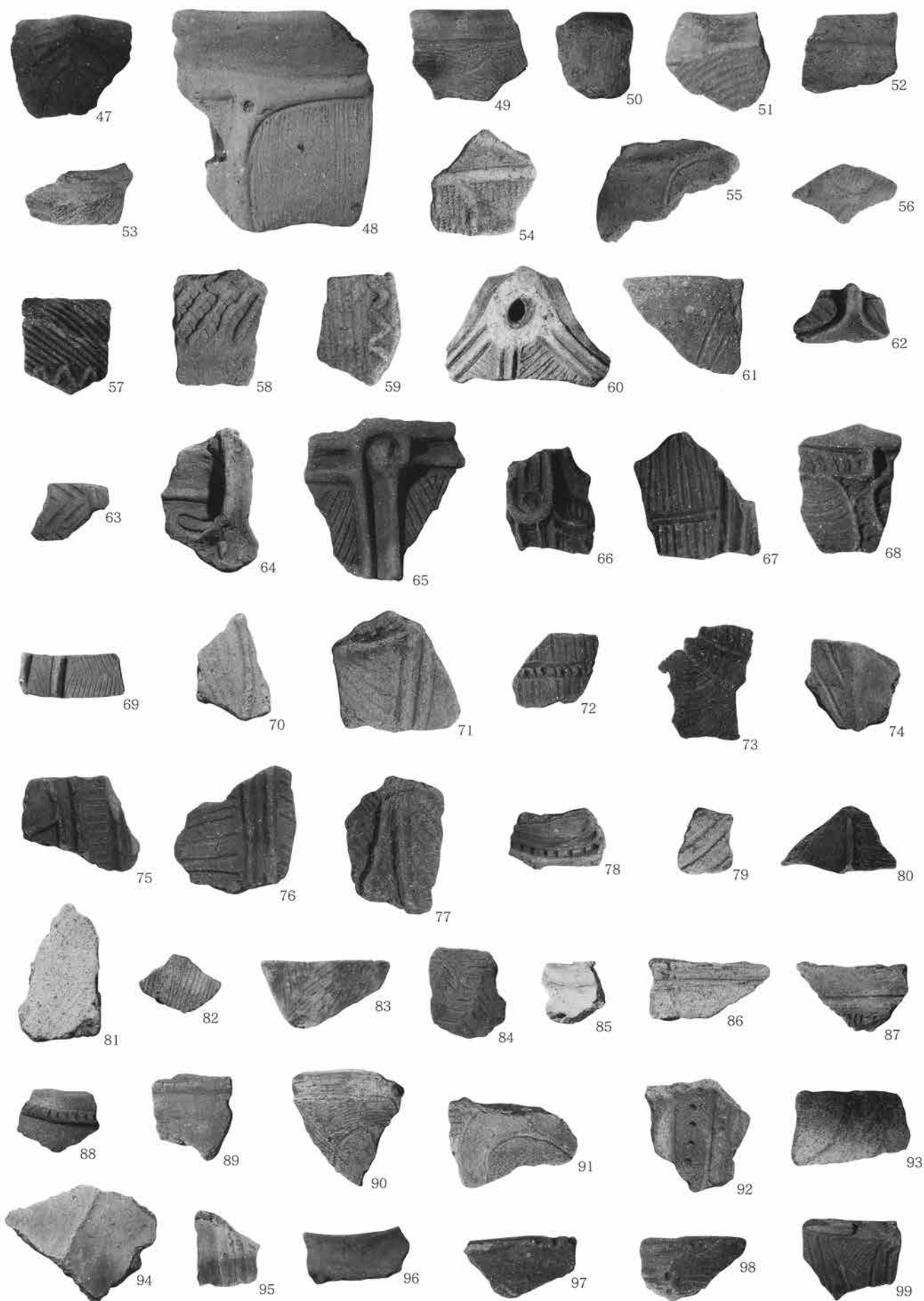
96-10土

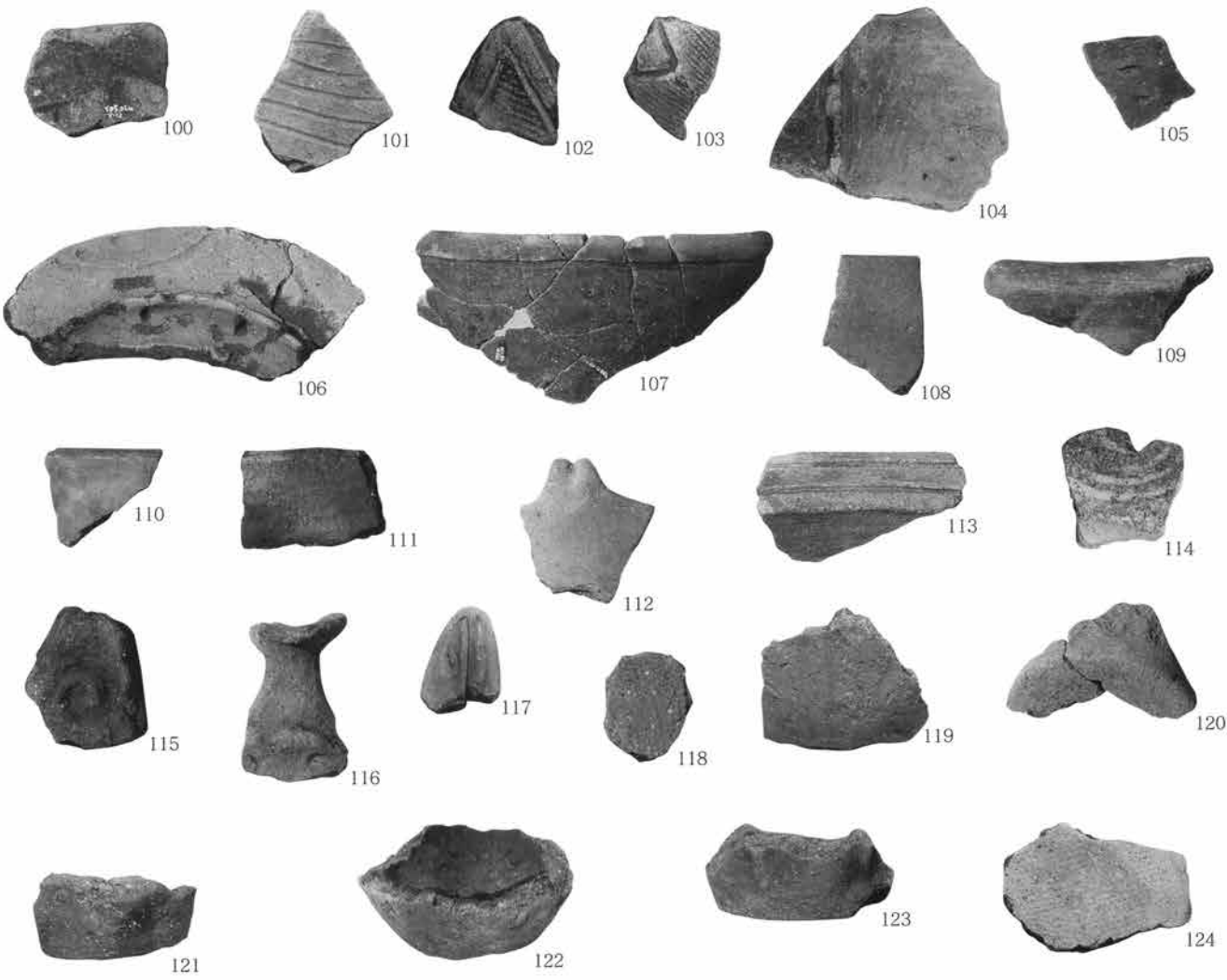


3区

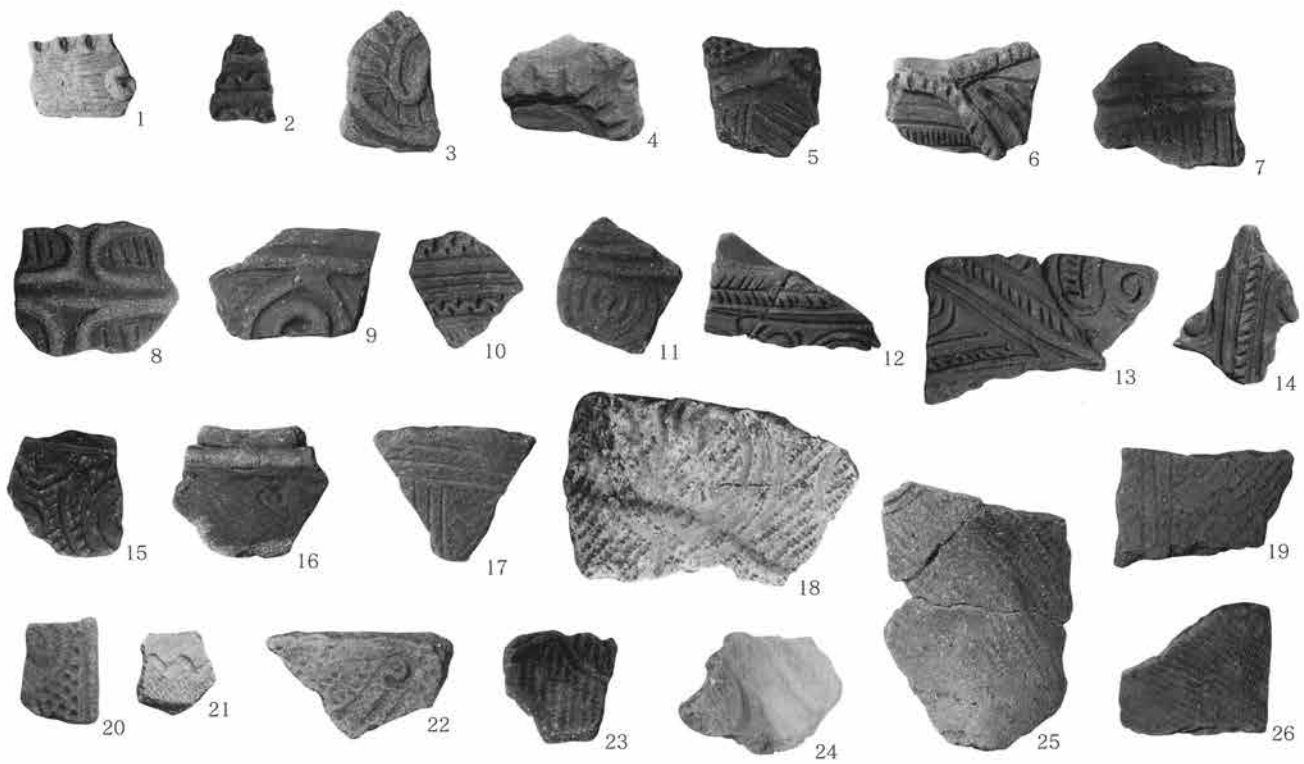


4区



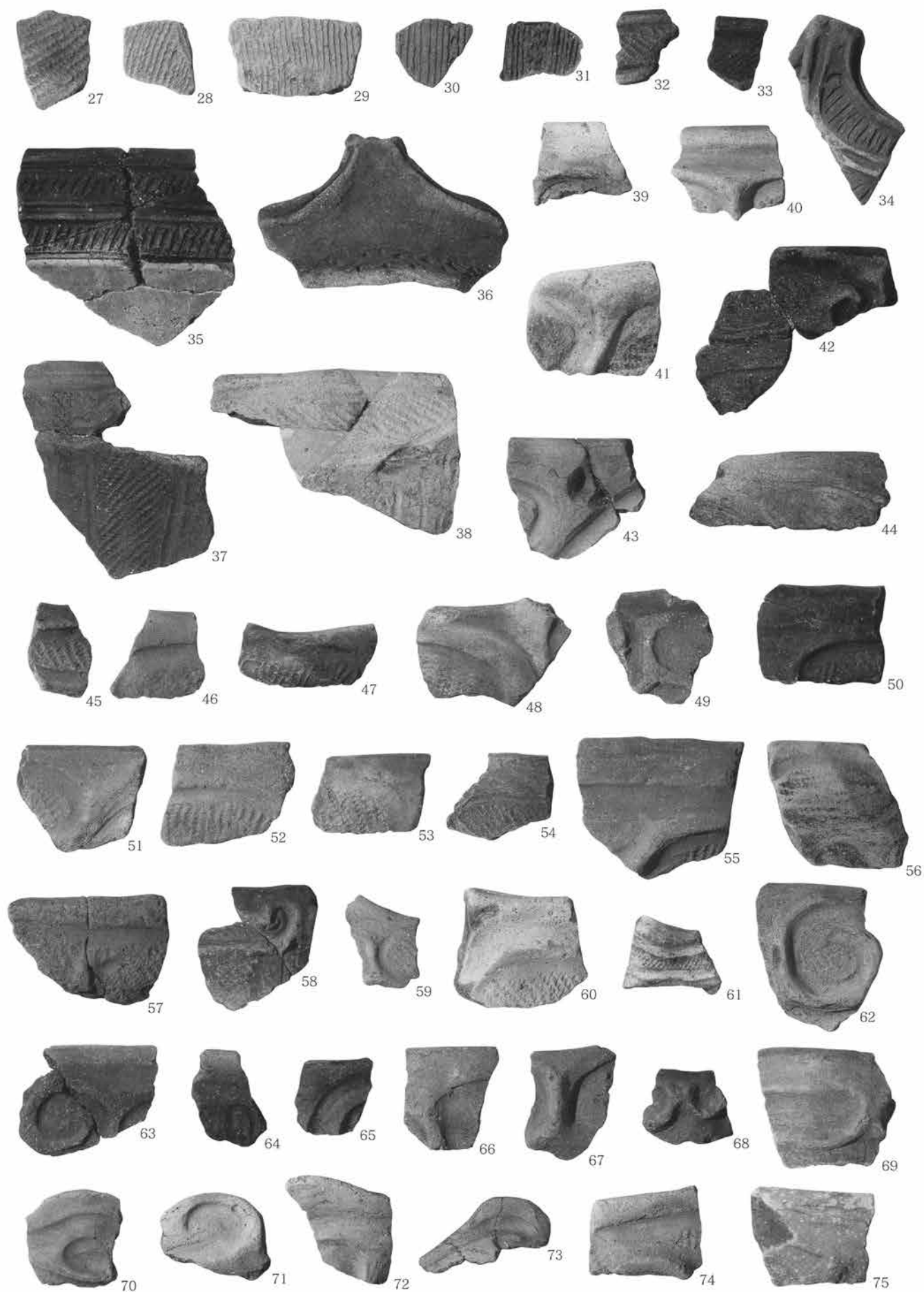


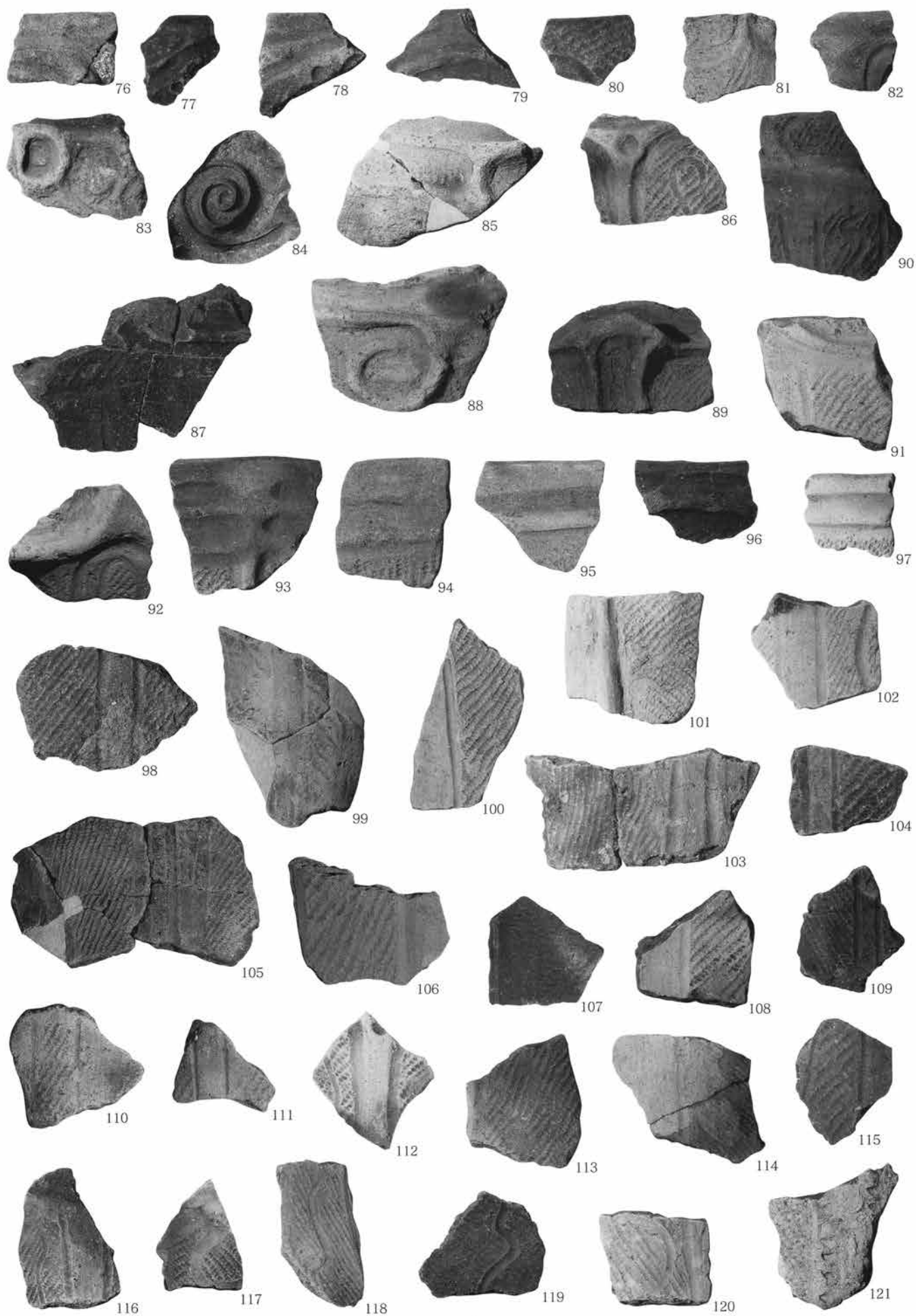
4区



5区

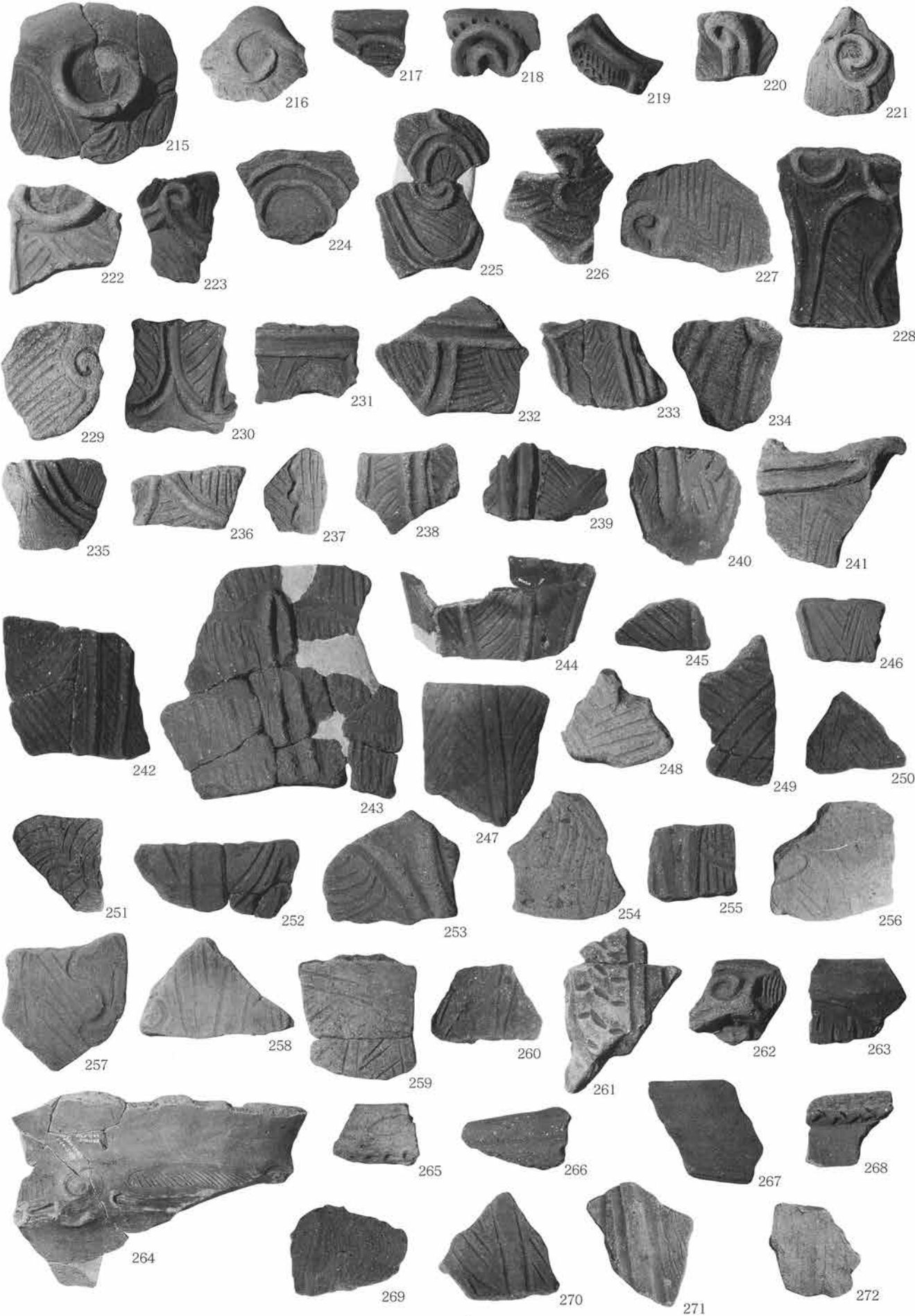




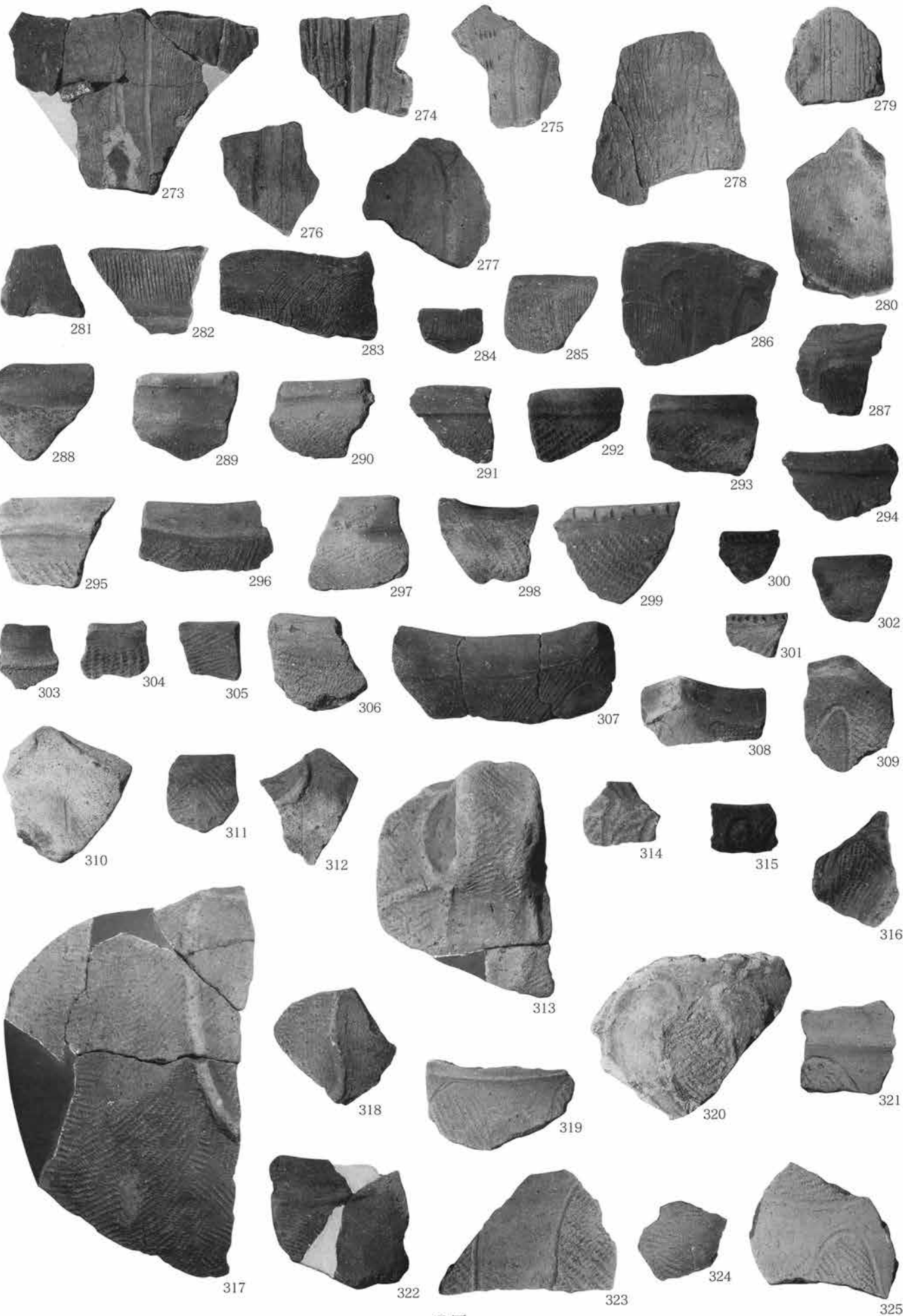


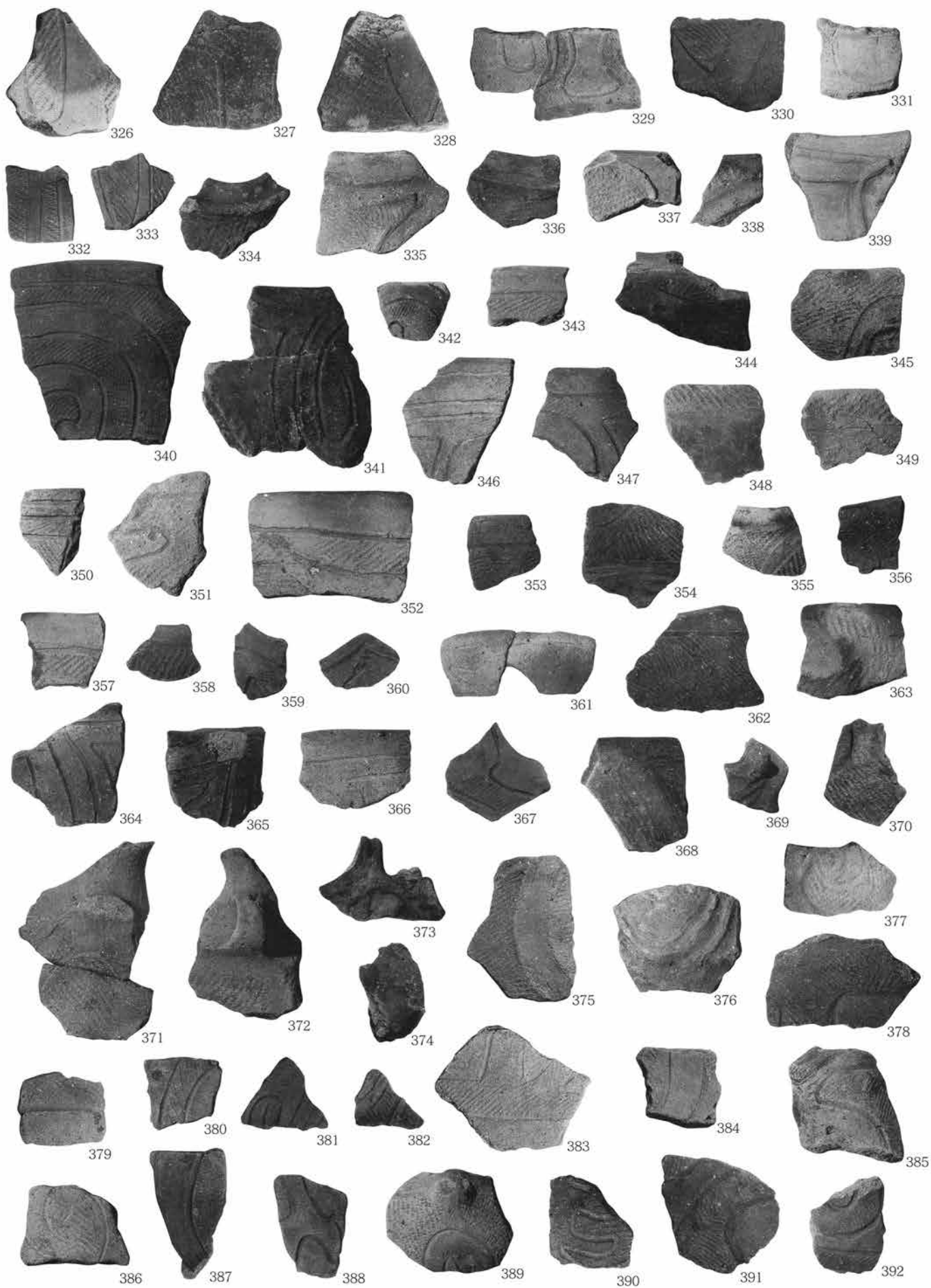




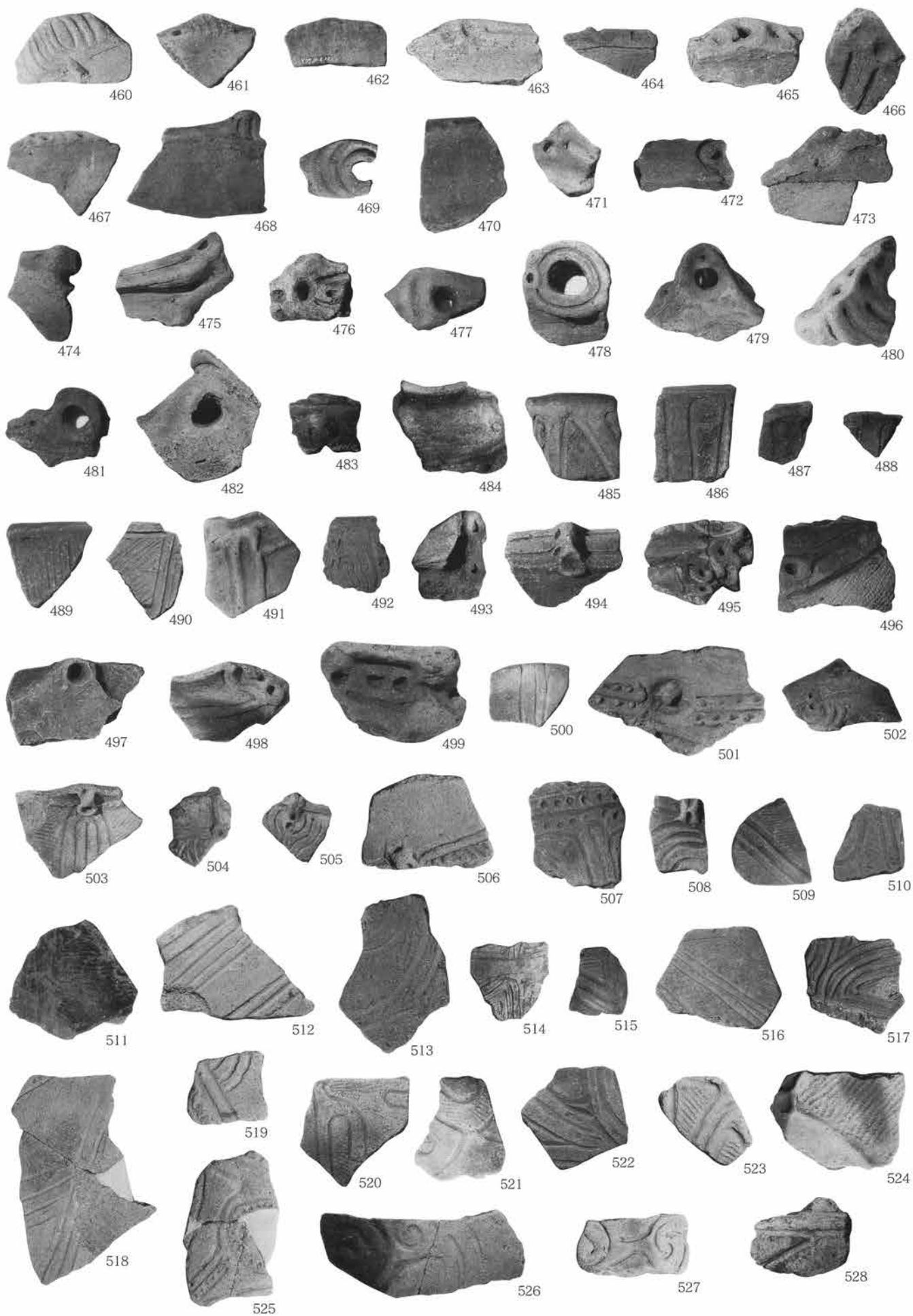


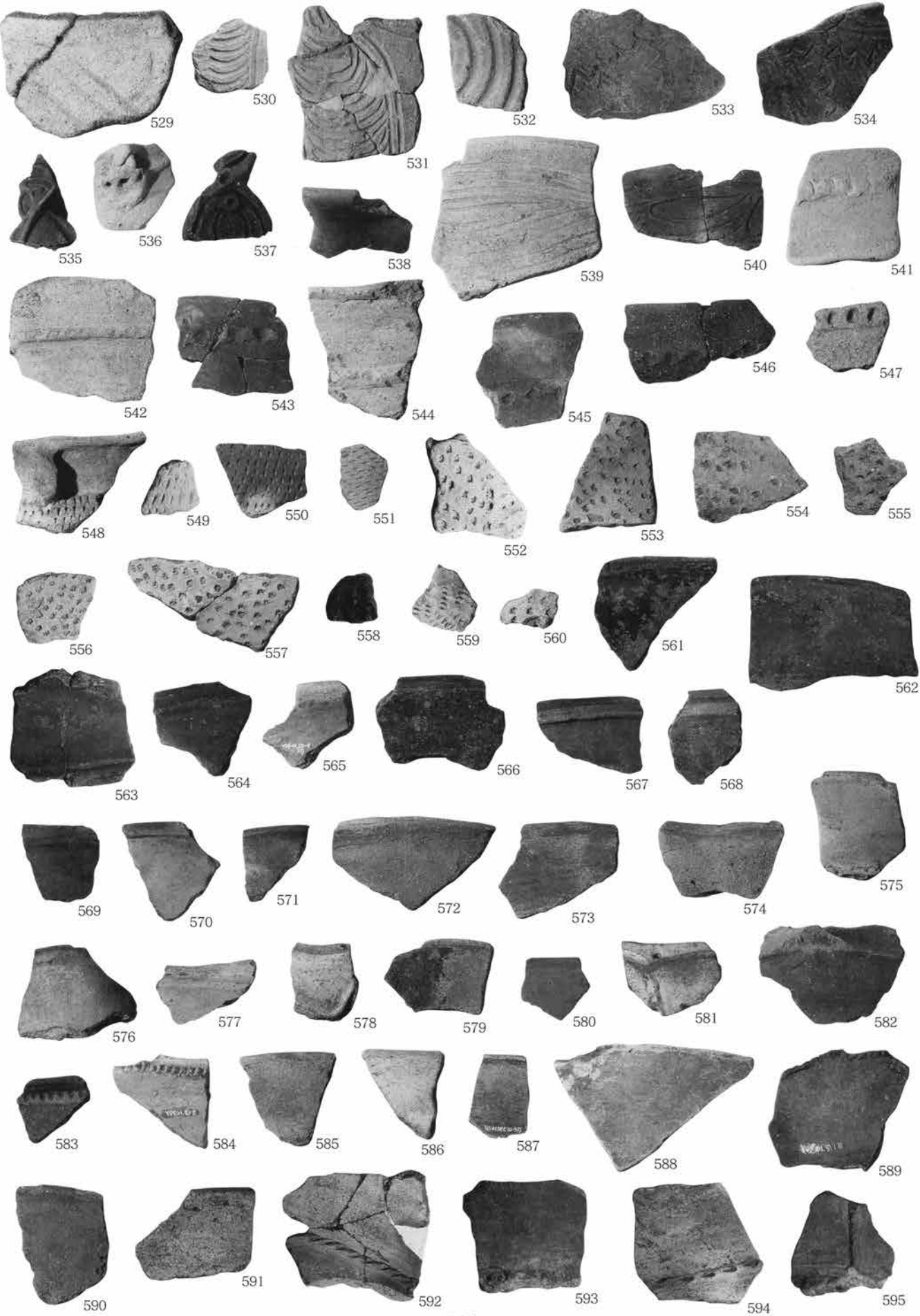




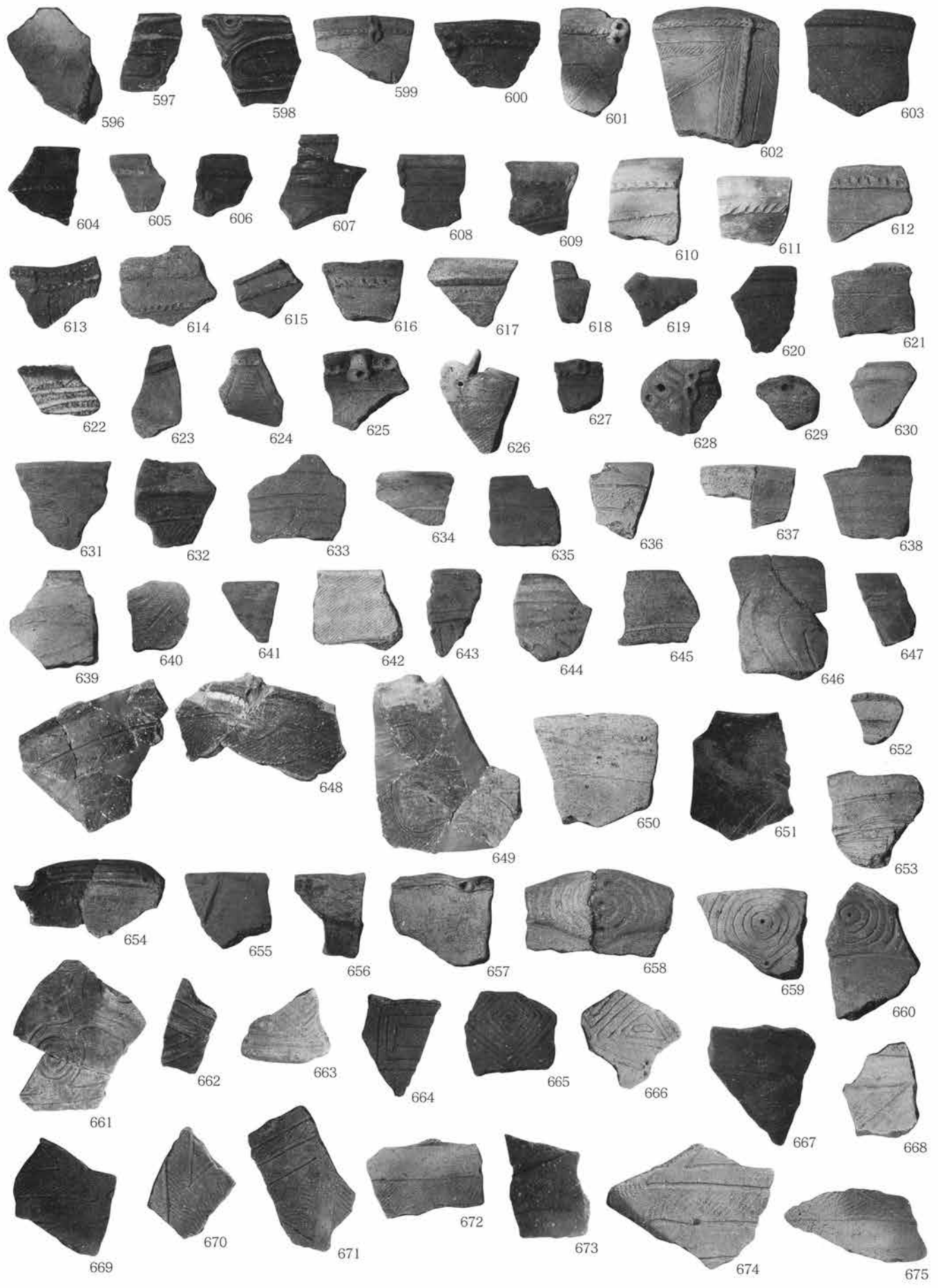


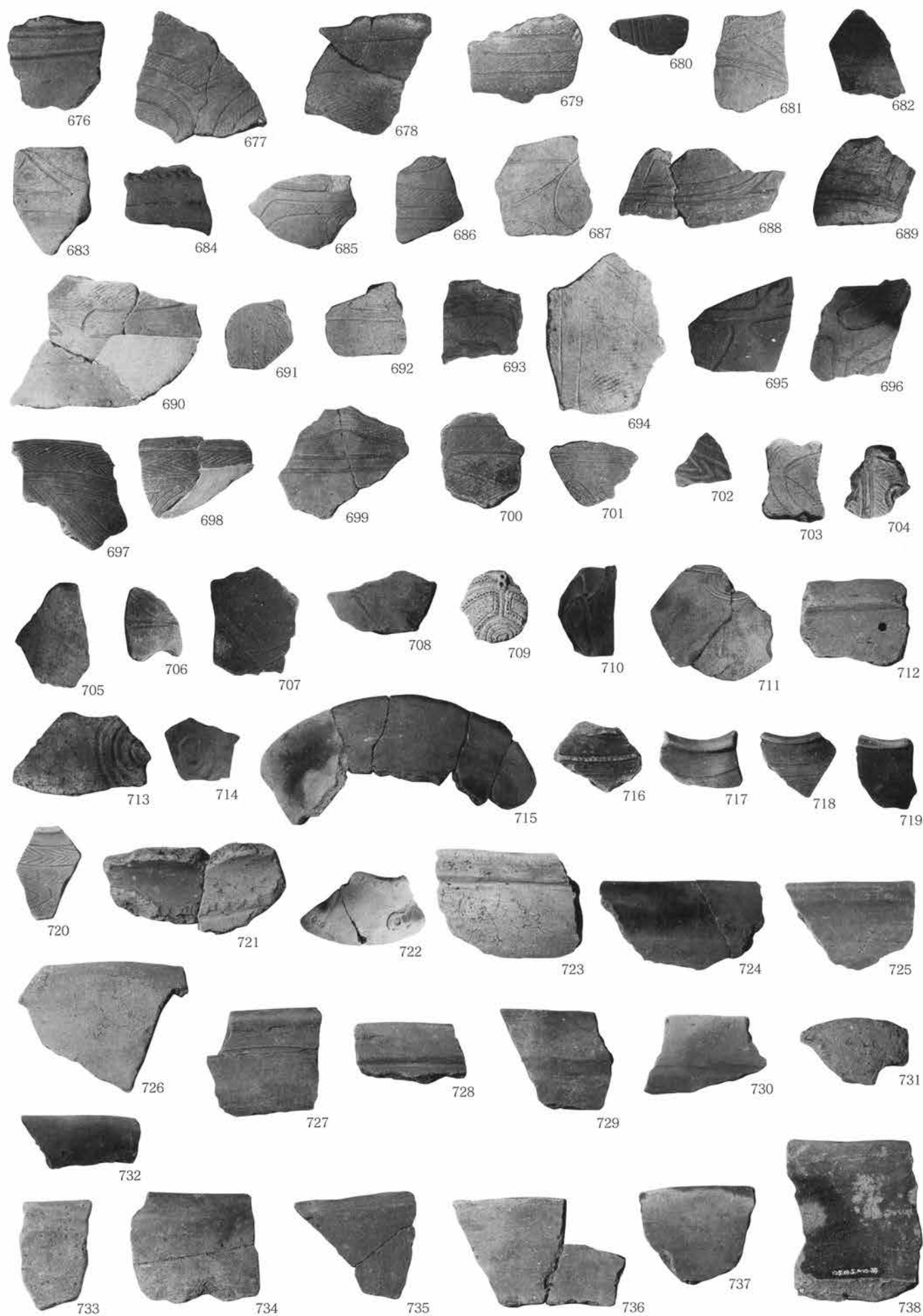


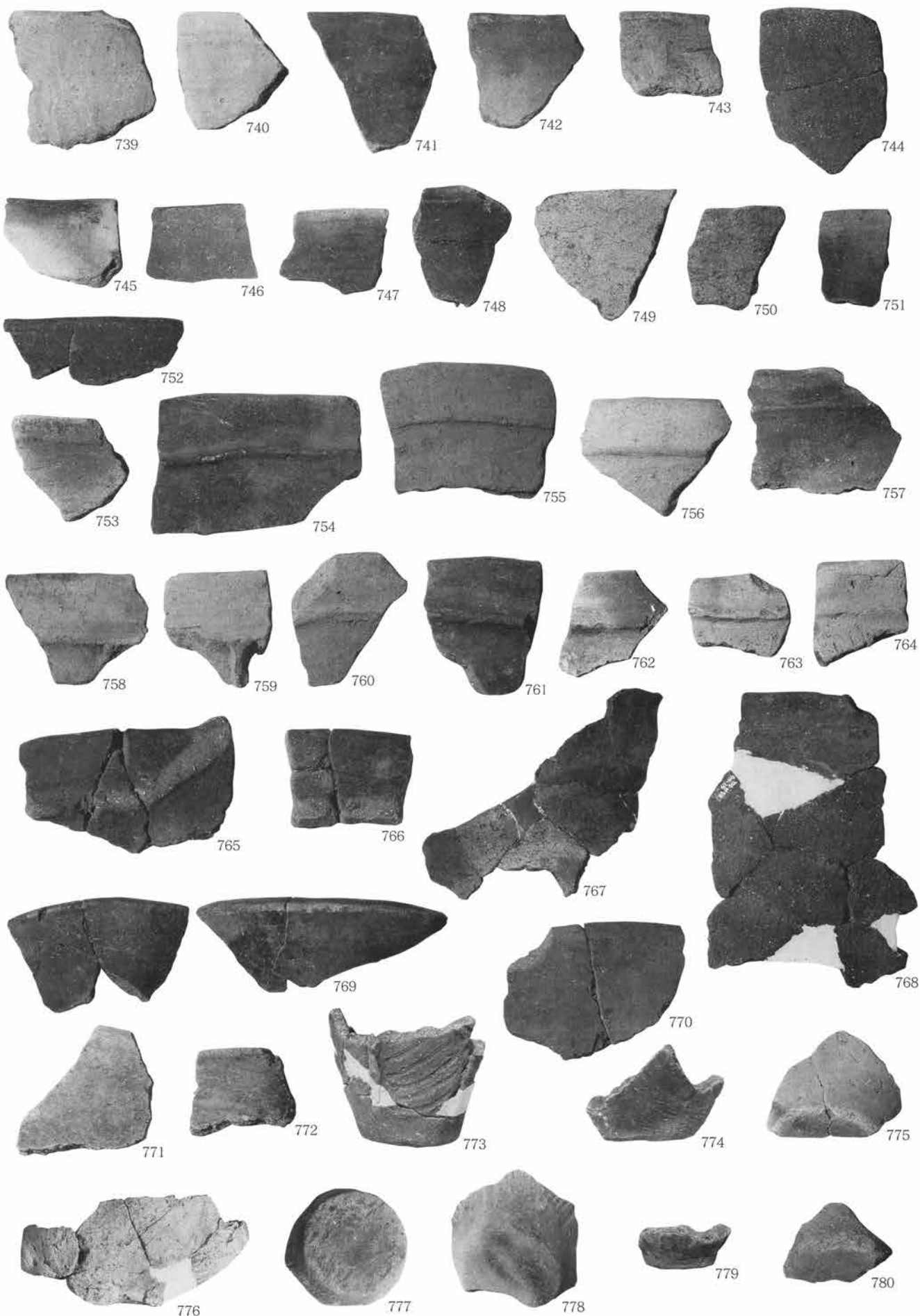




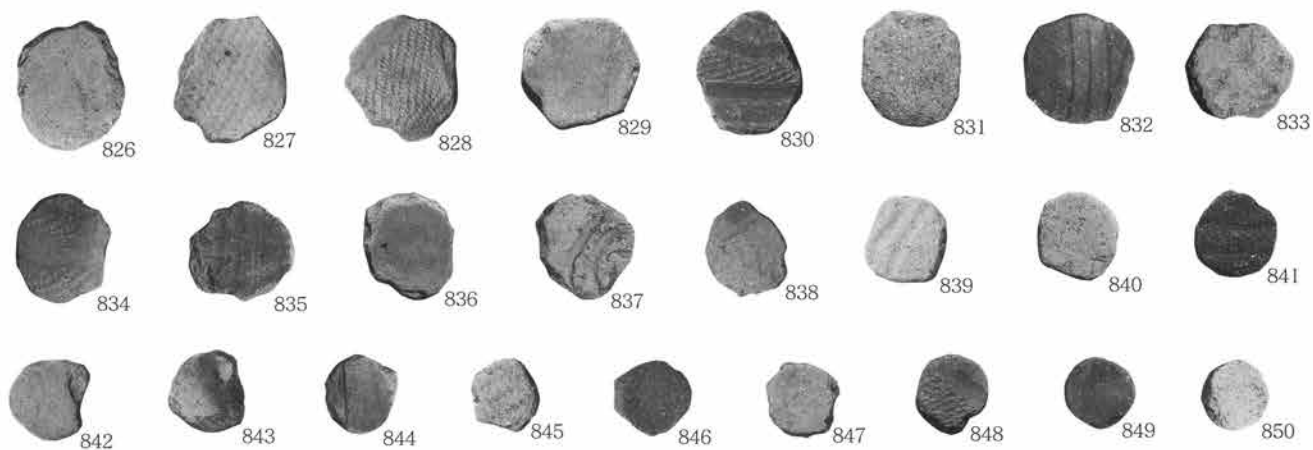




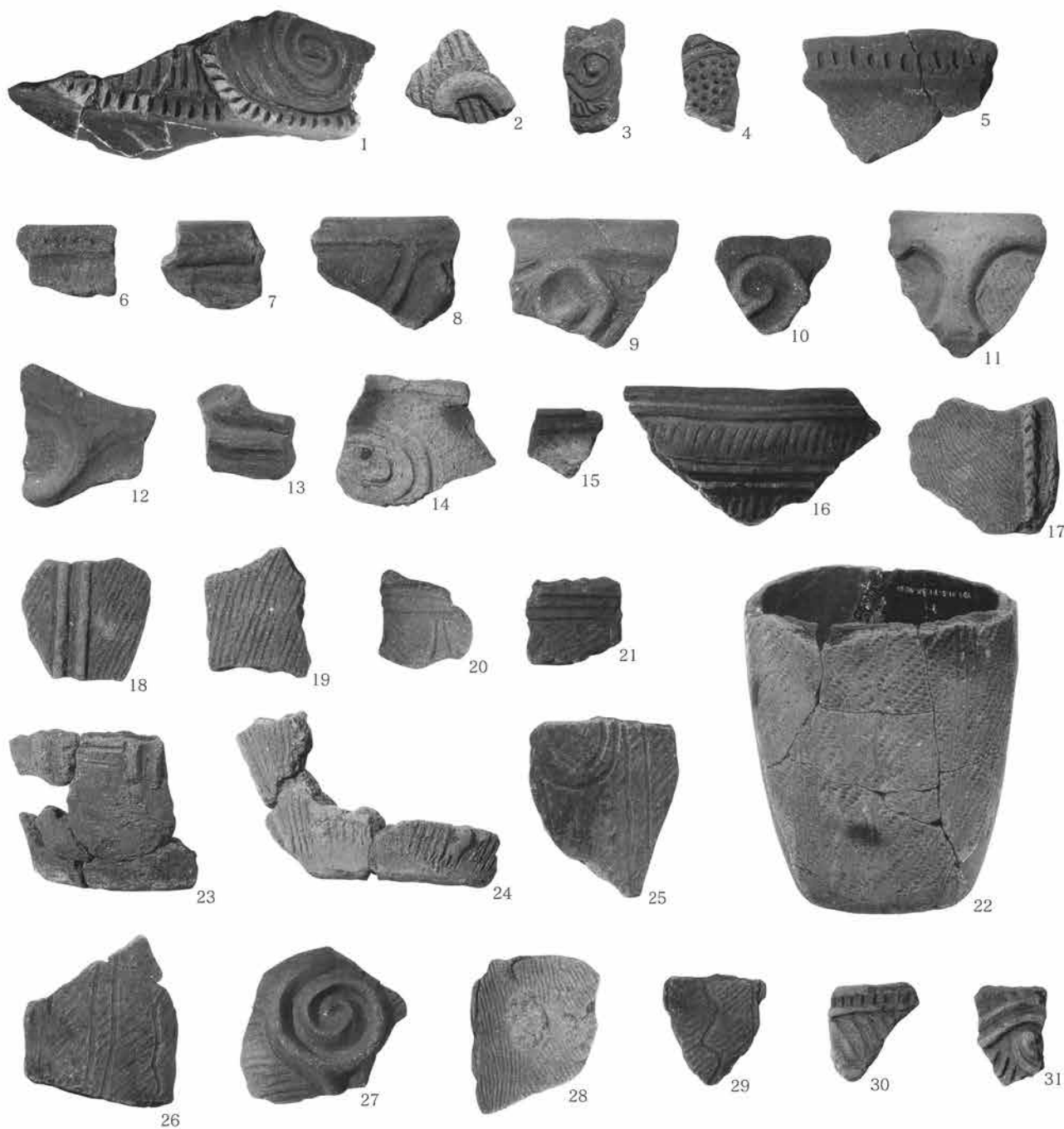






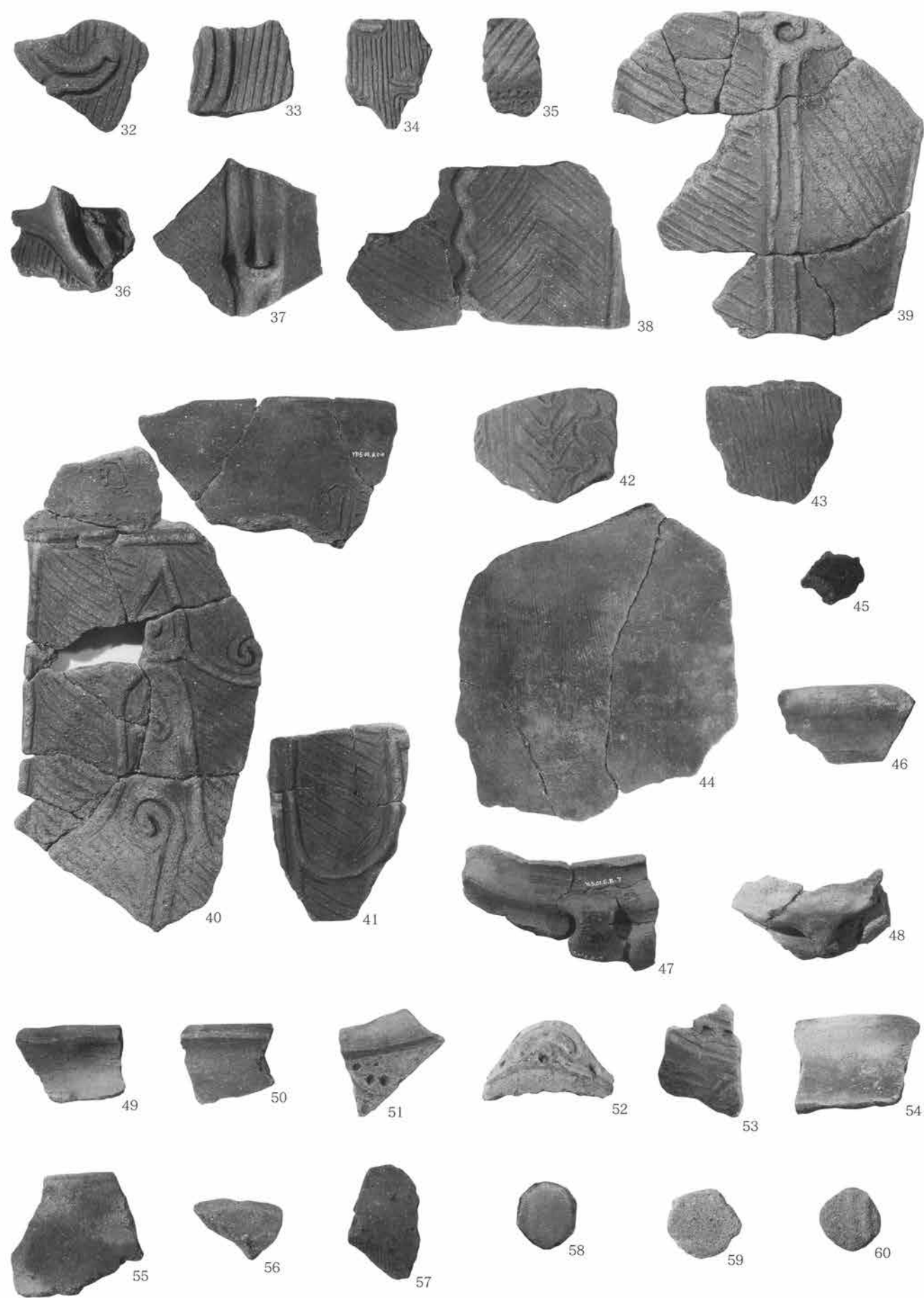


5区



6区









10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



24



23



25



26



27



28



29



30



31



32



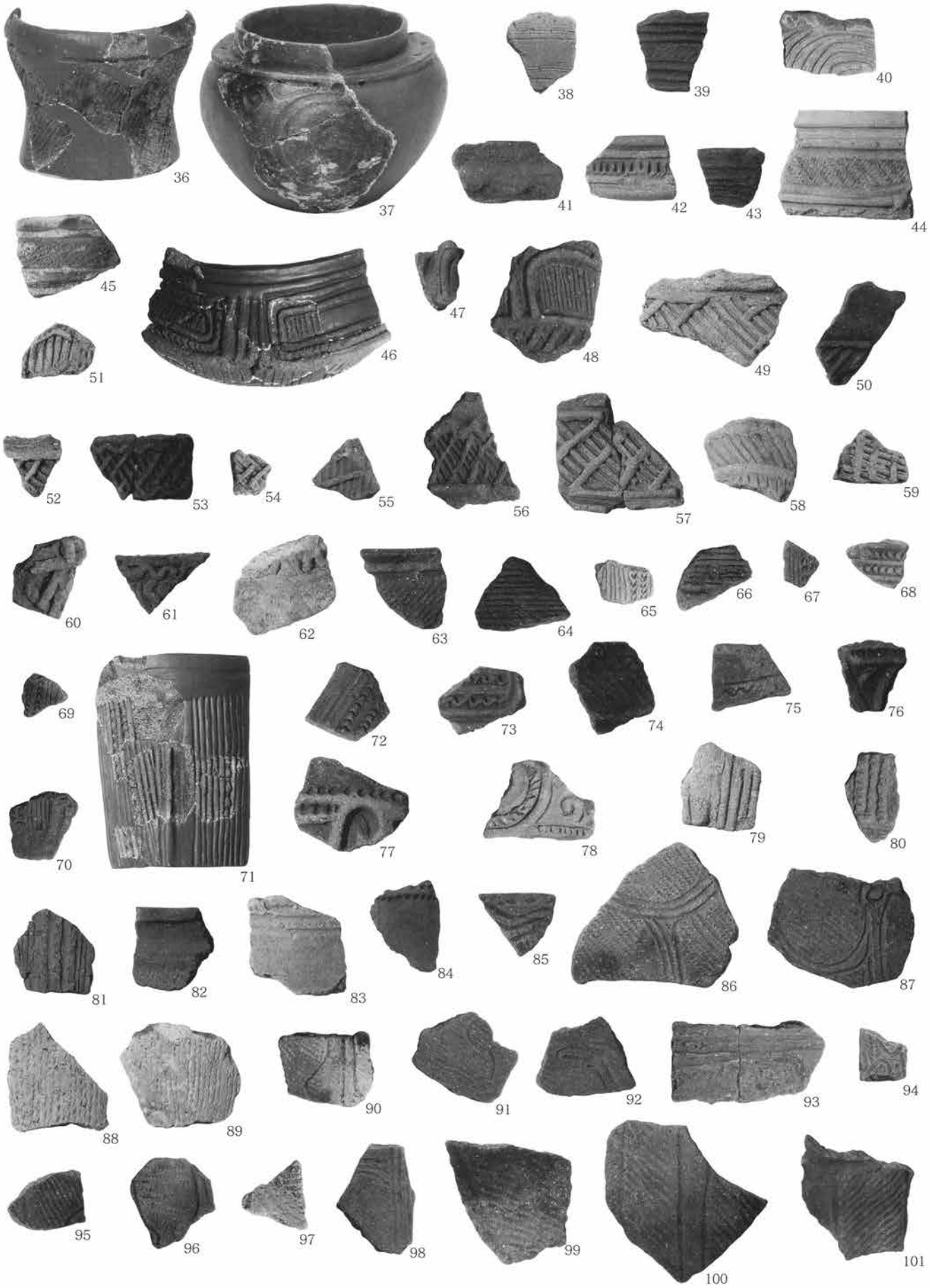
33



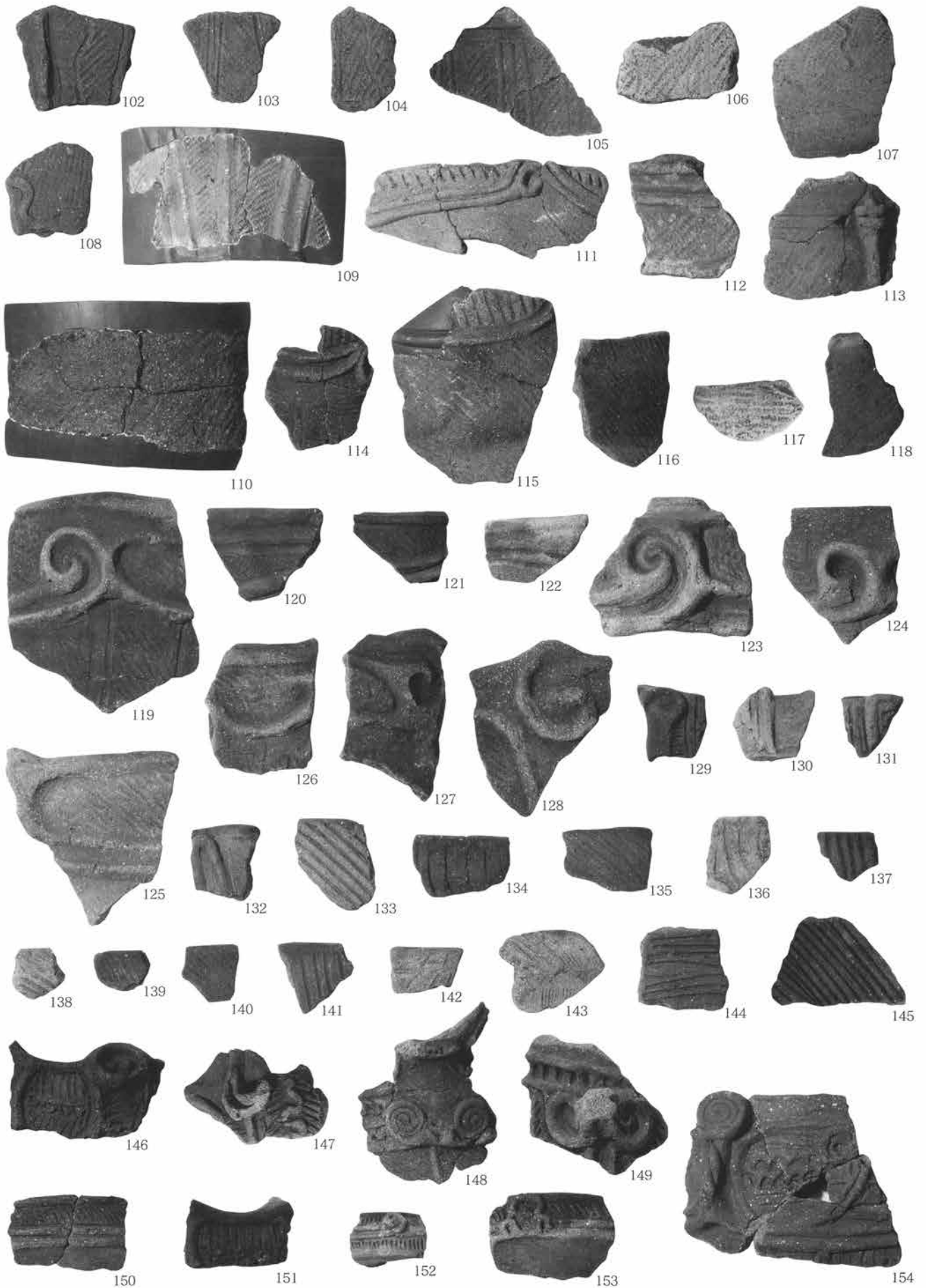
34



35

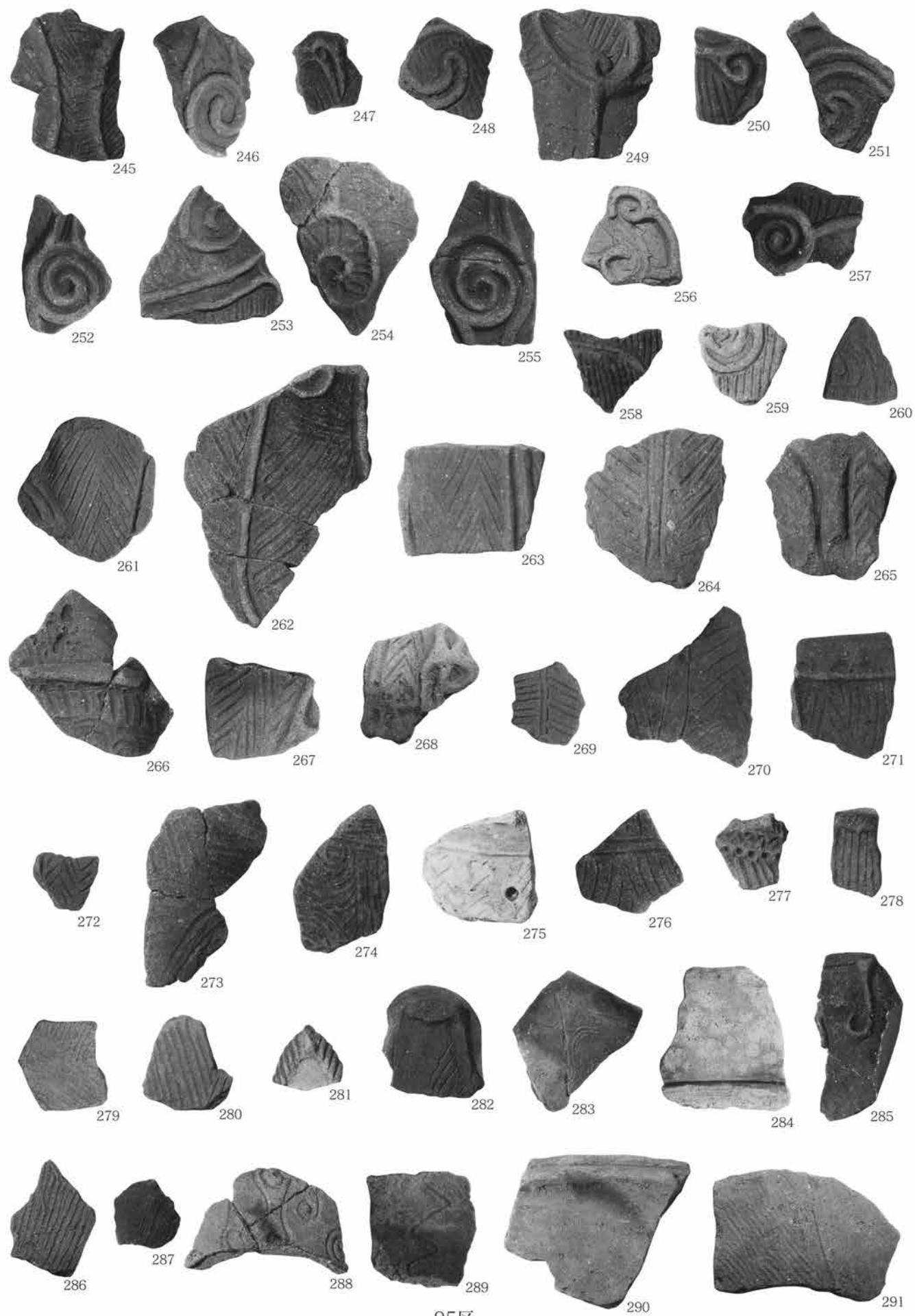


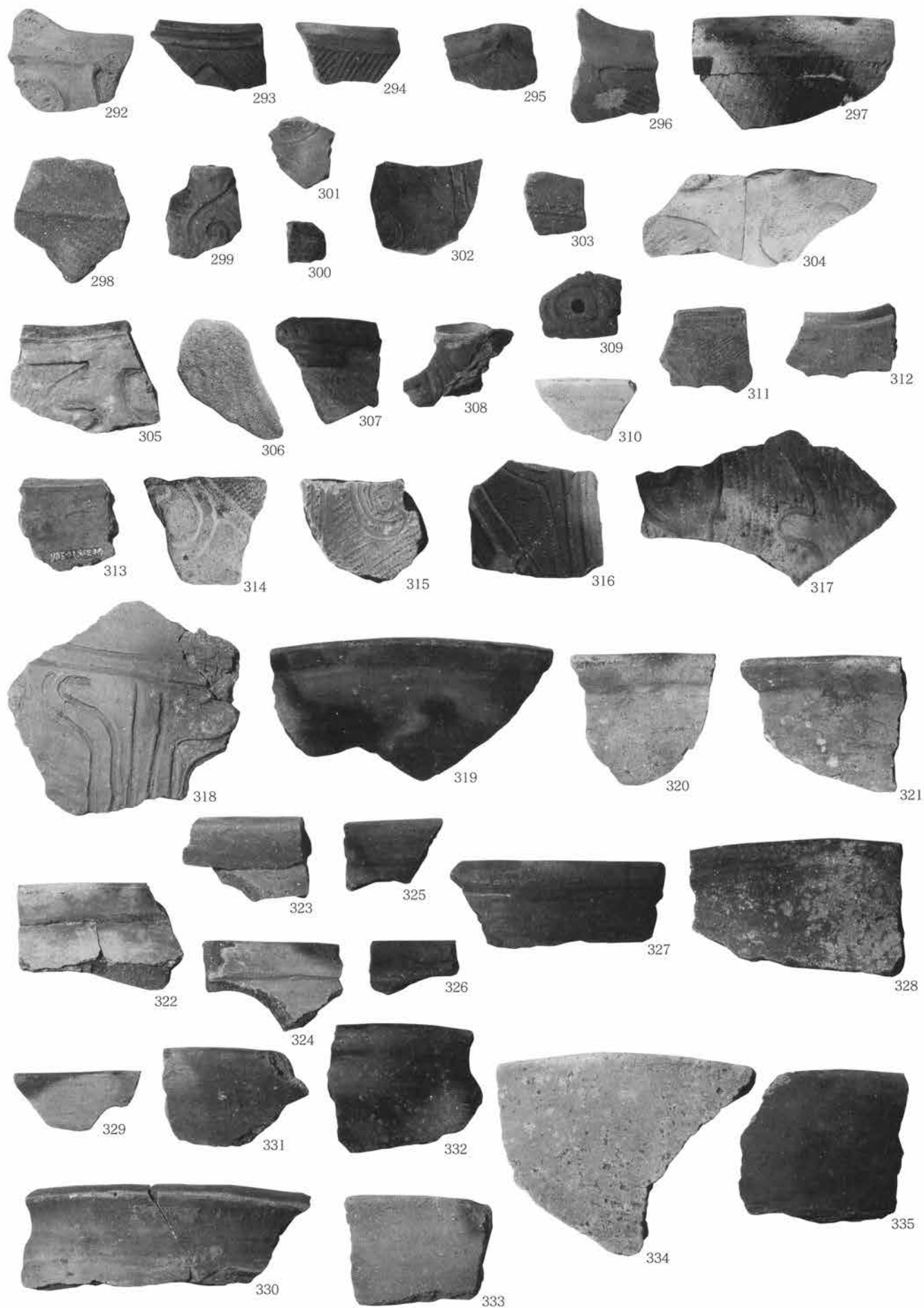












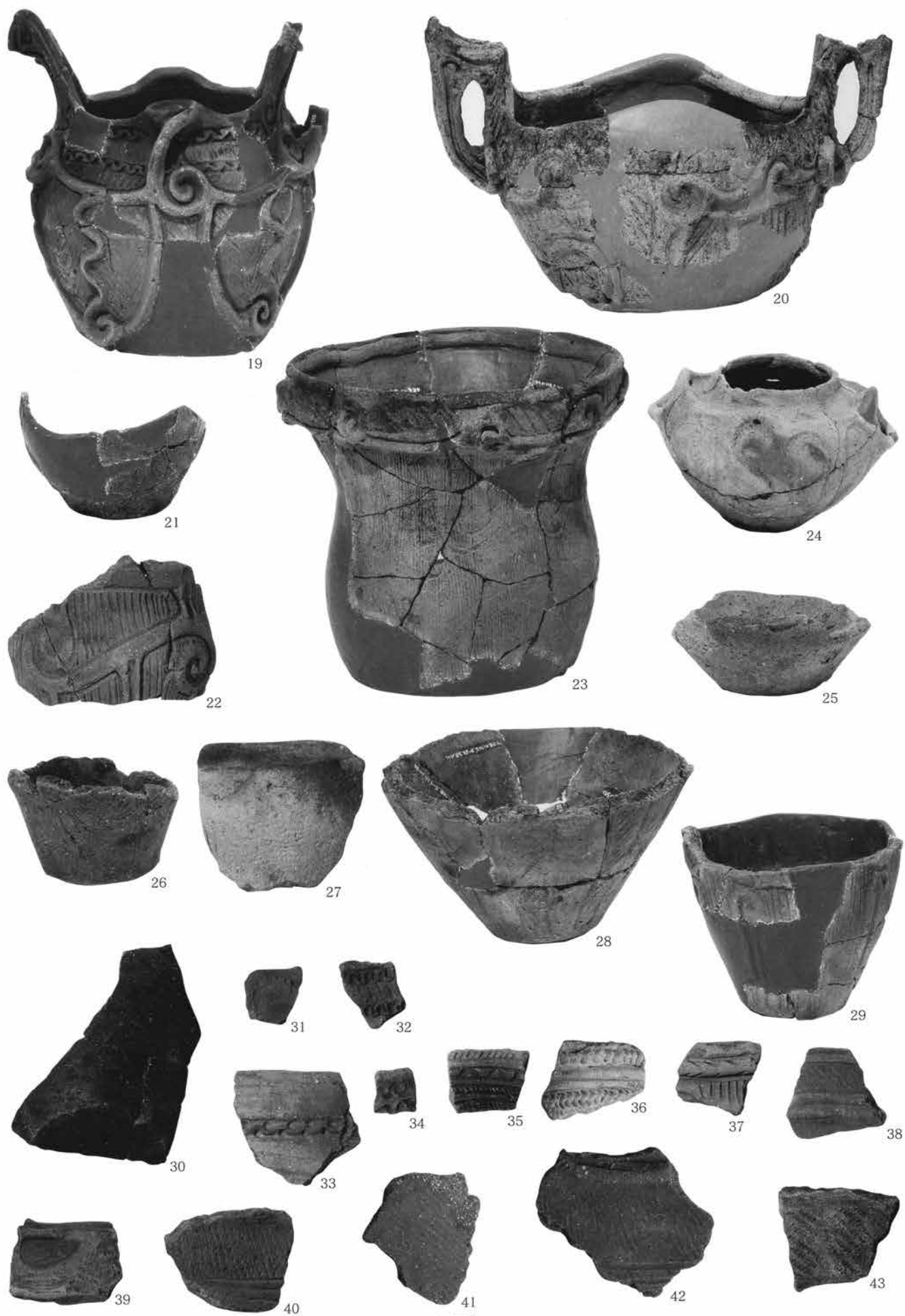




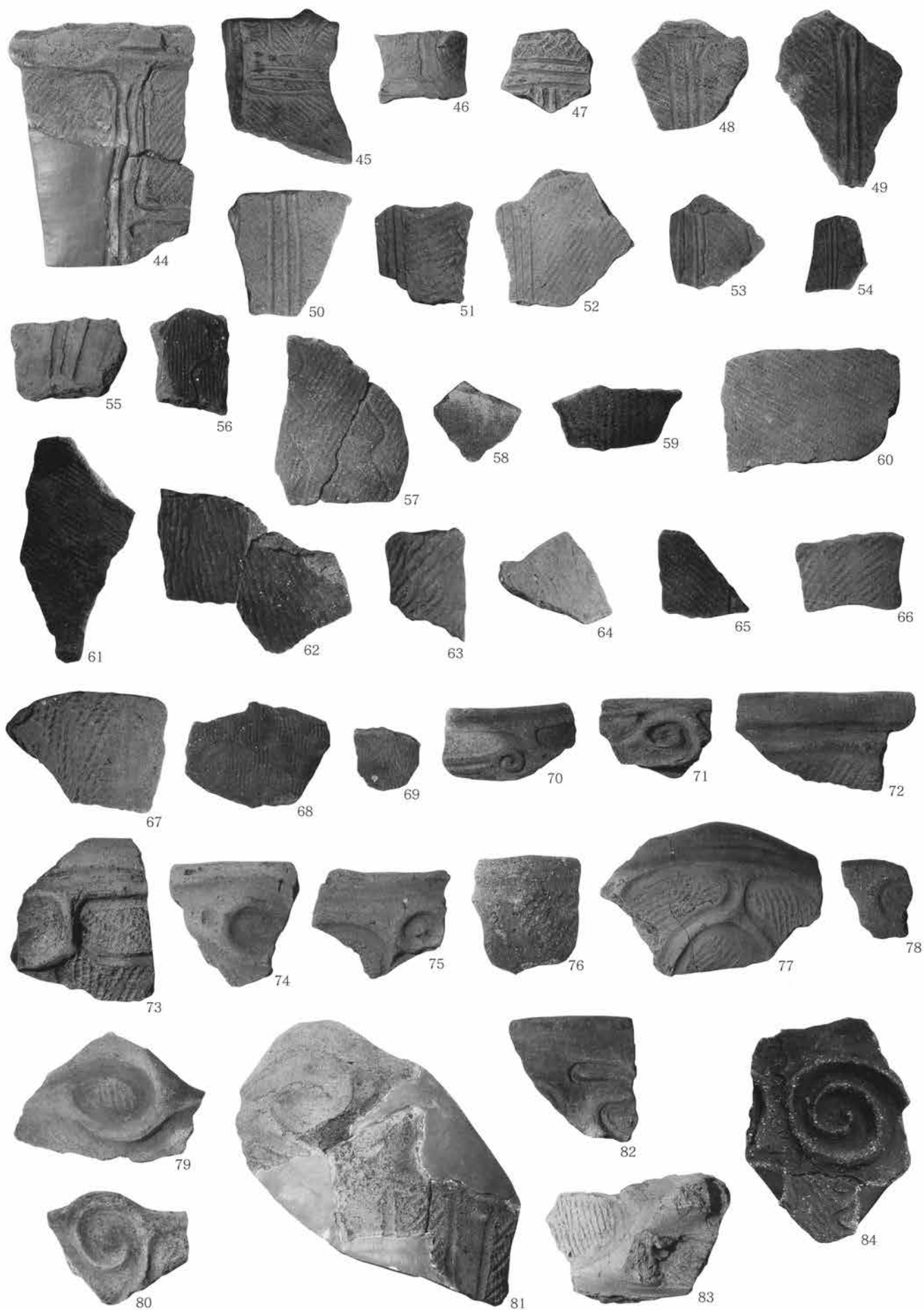


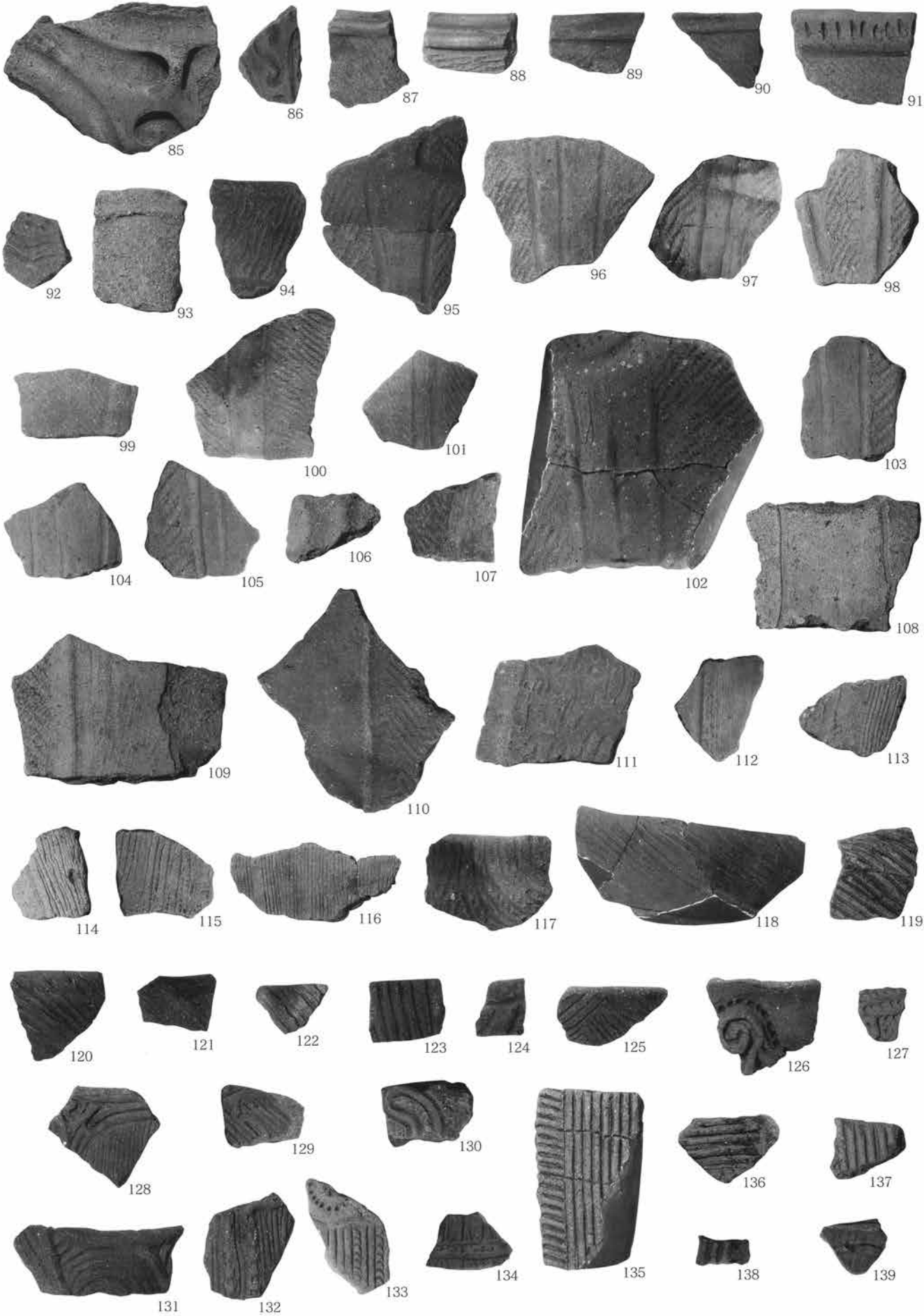




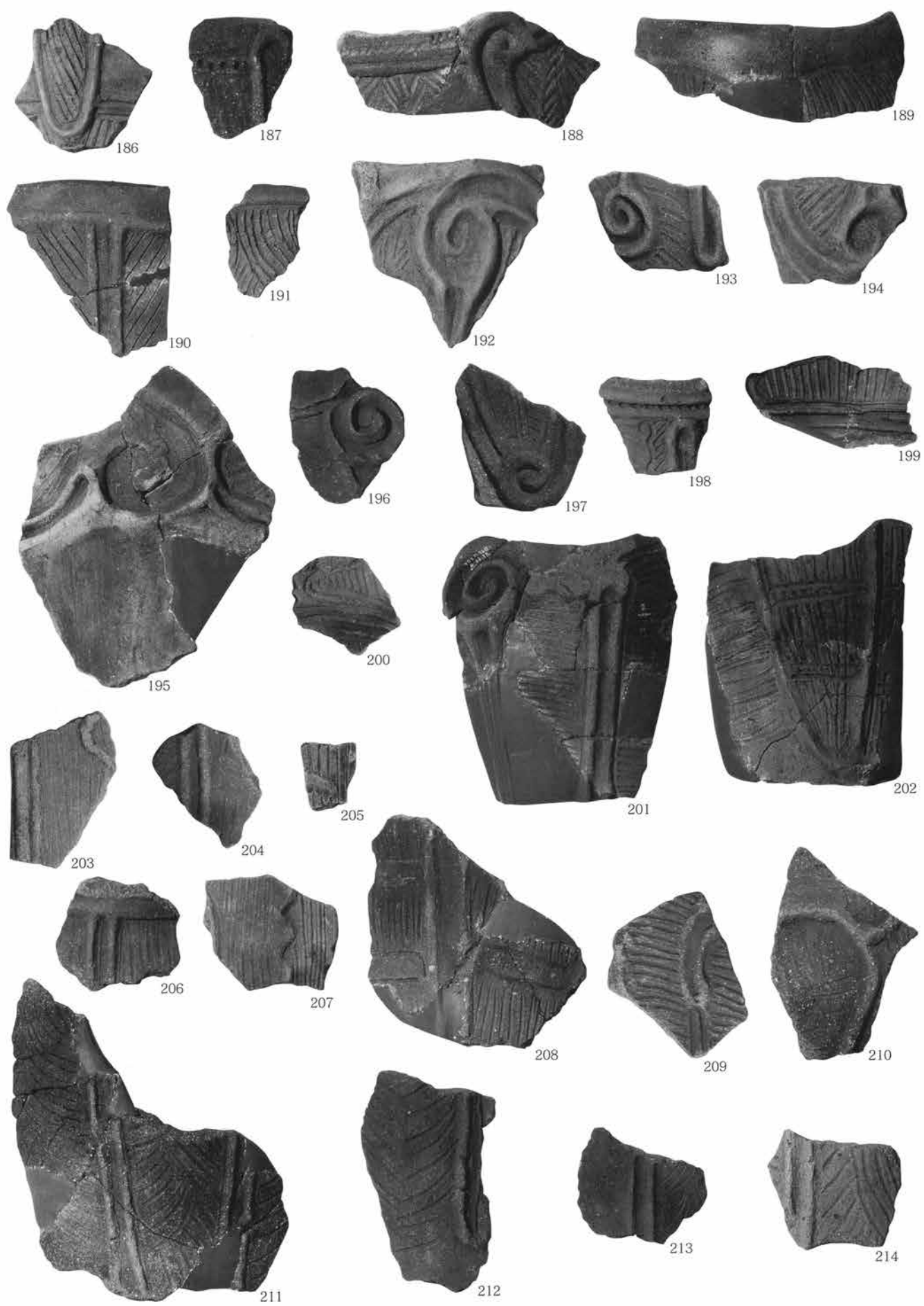


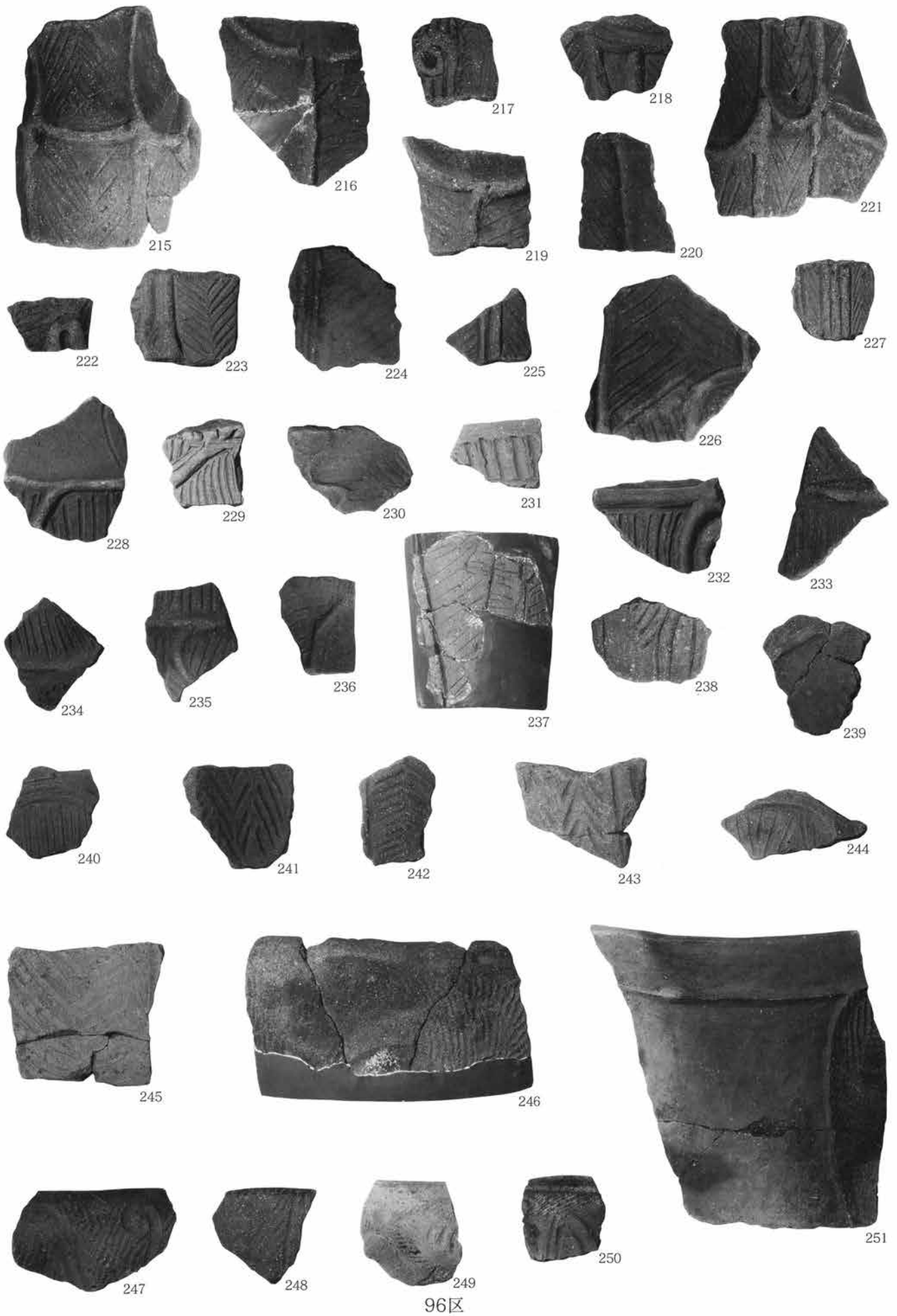




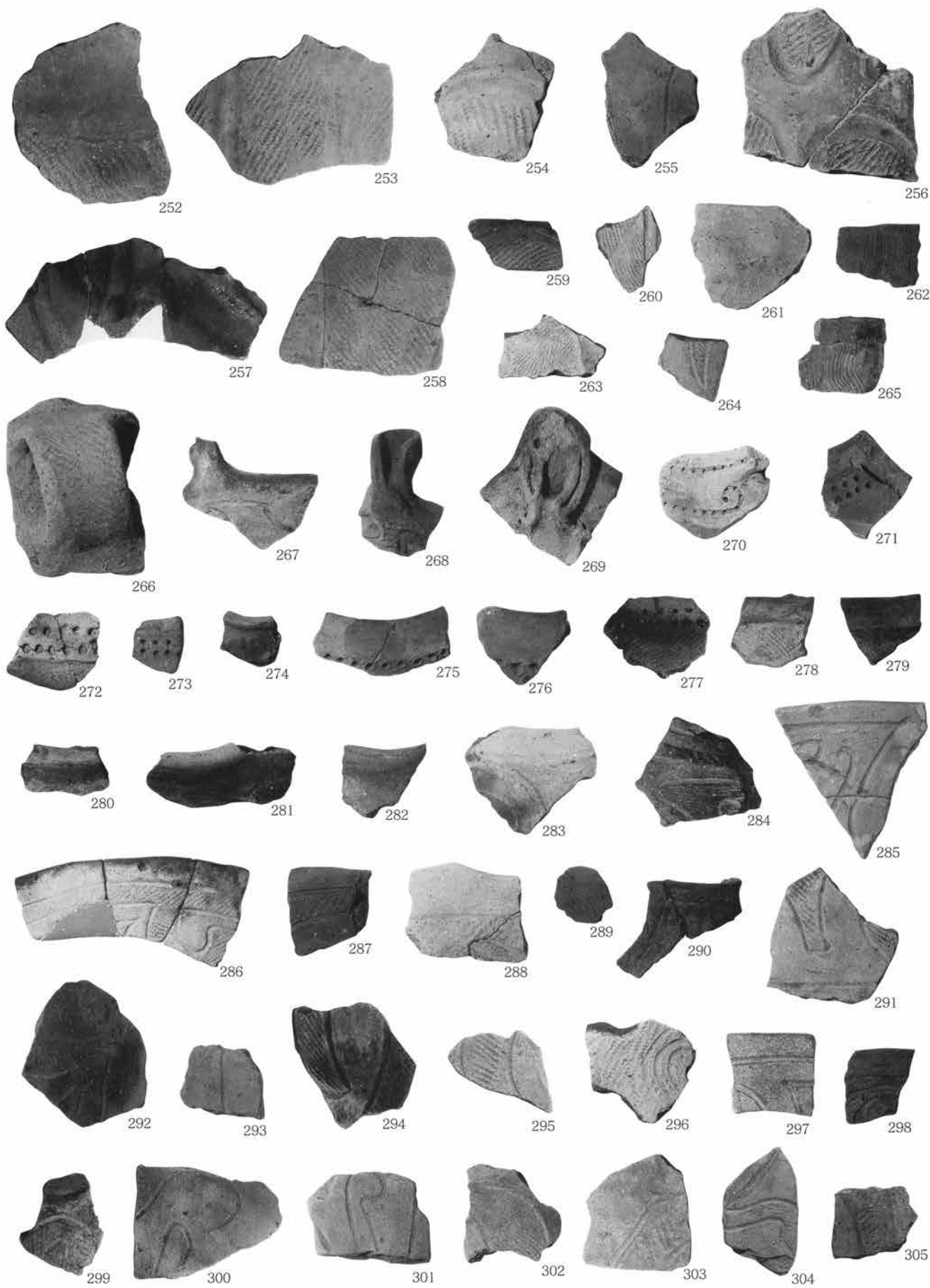


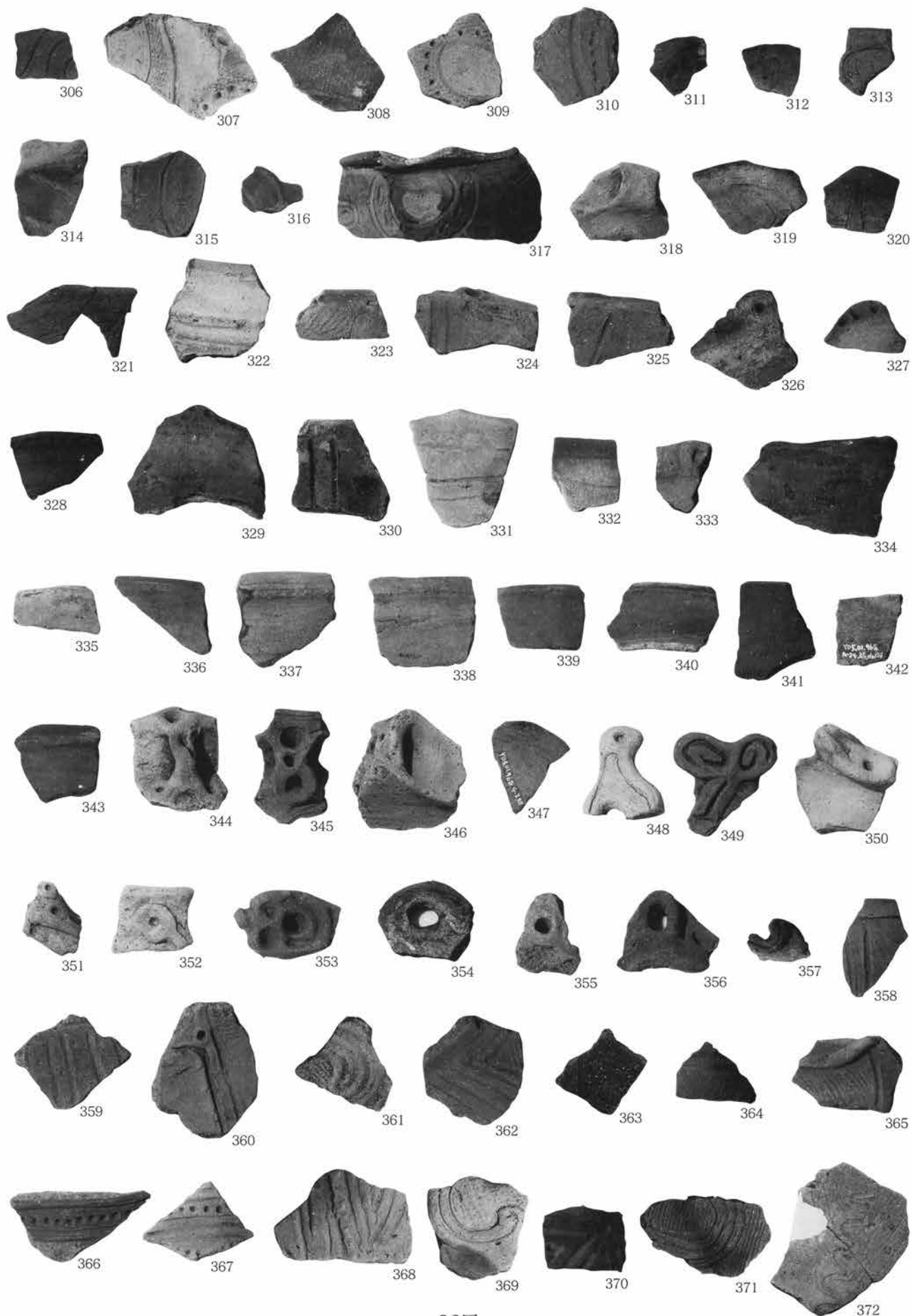


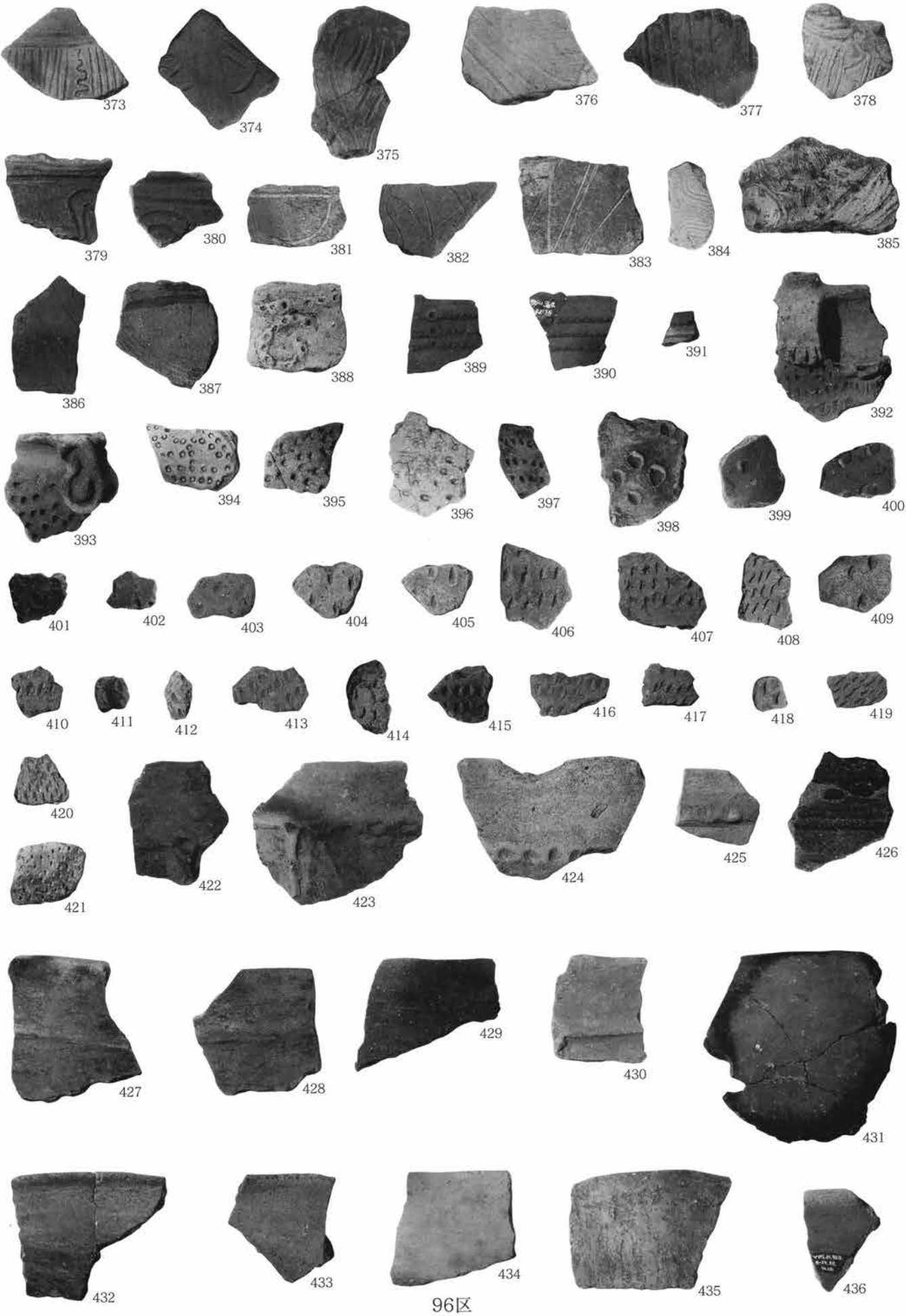


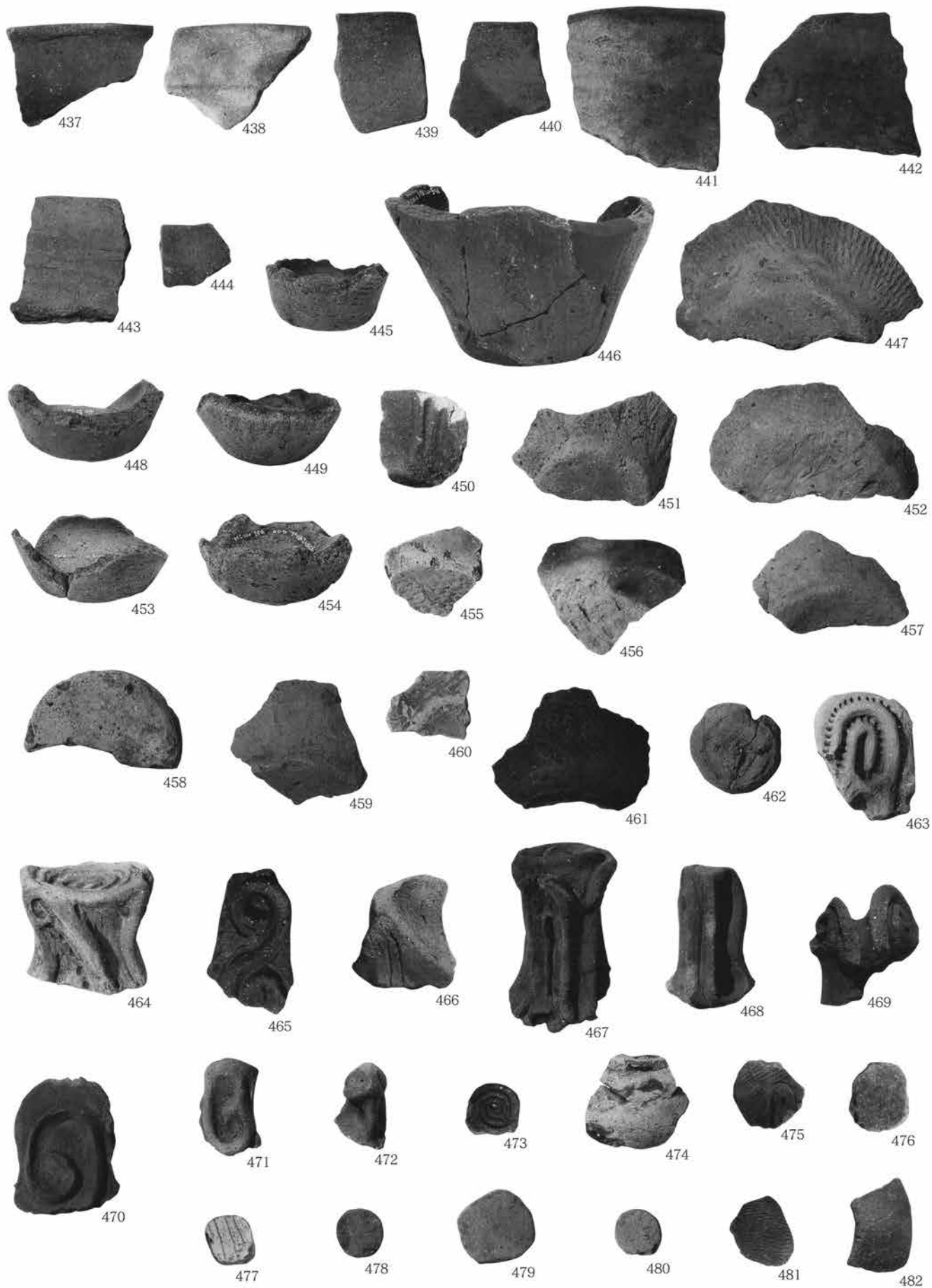


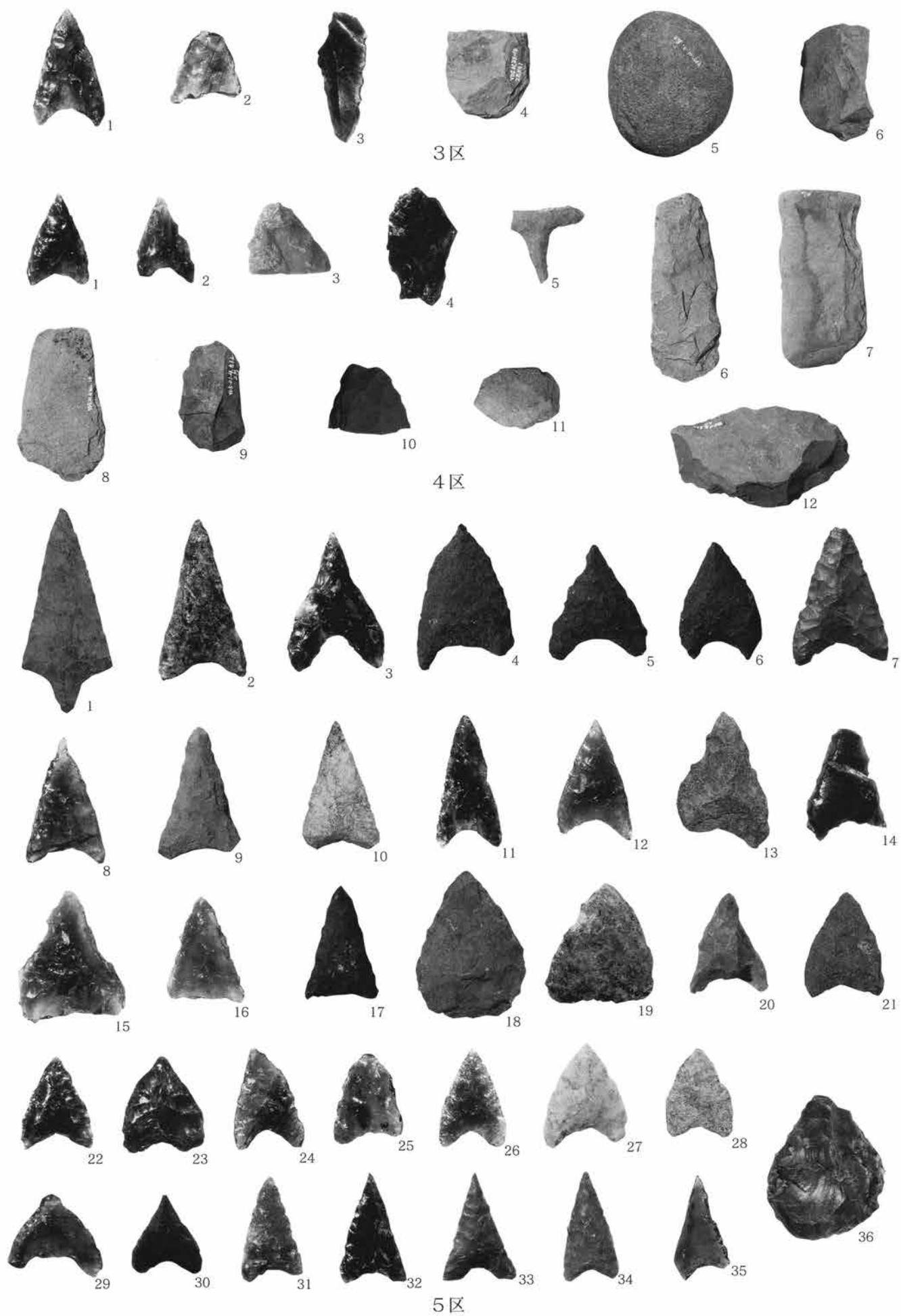




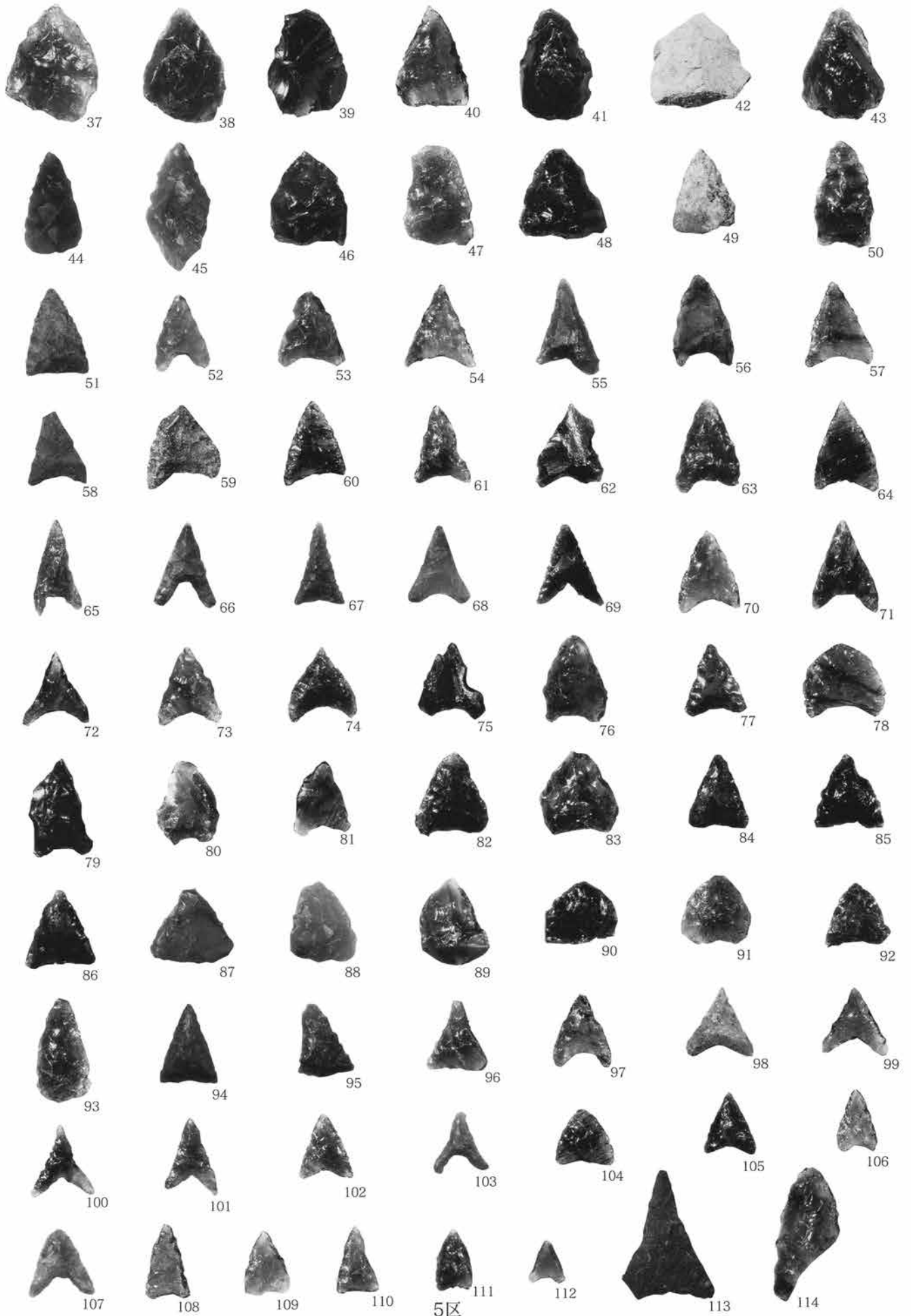




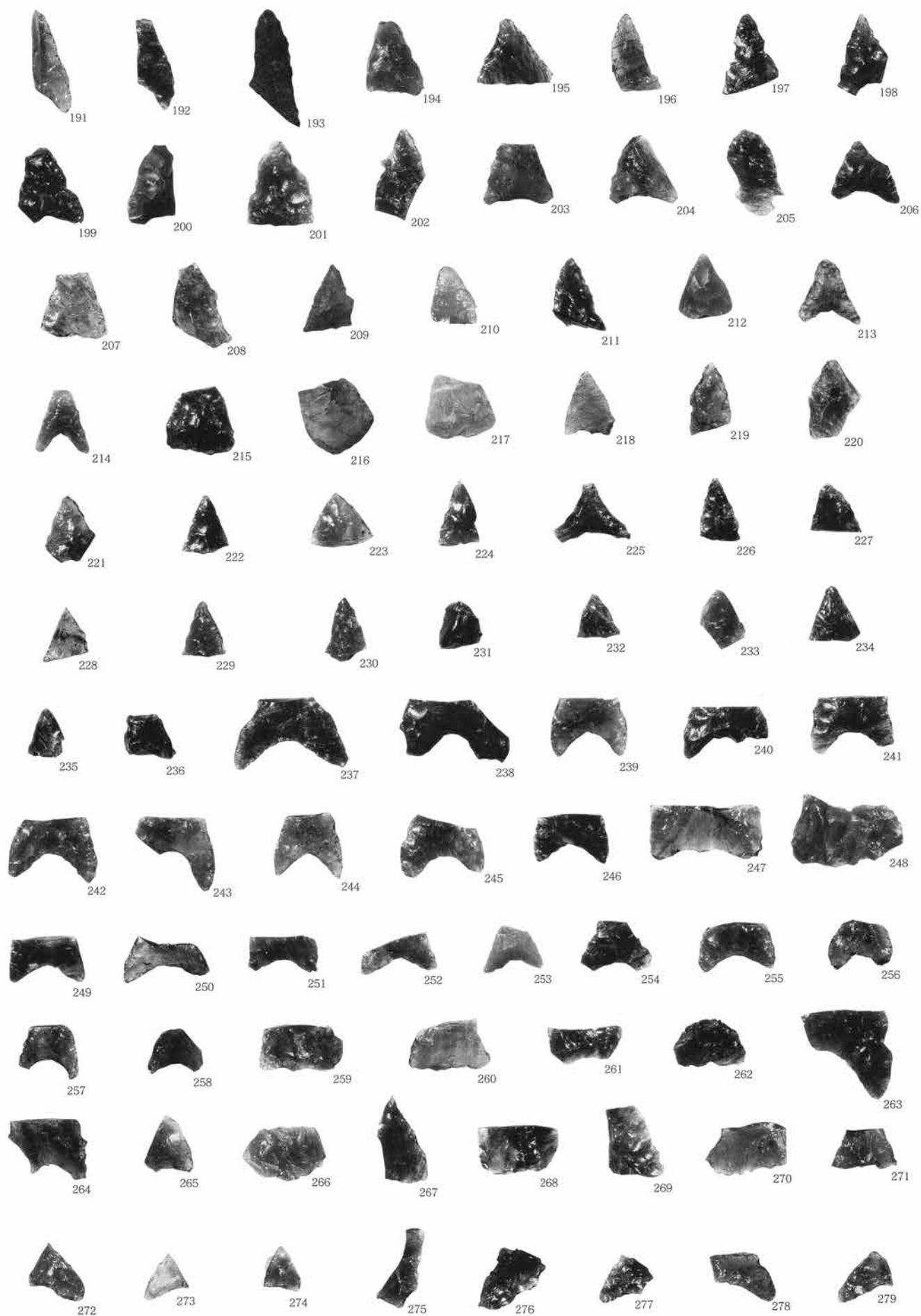




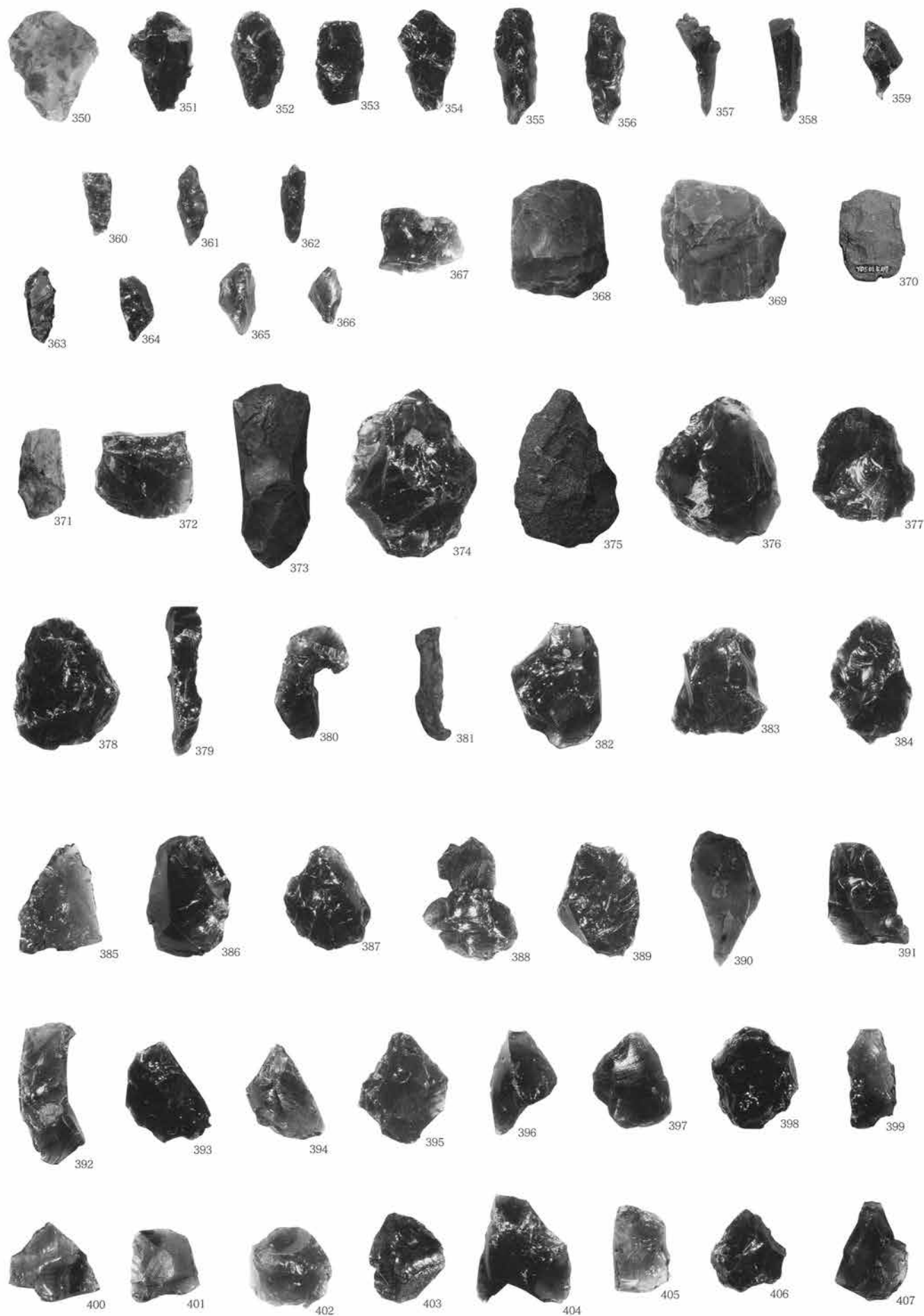






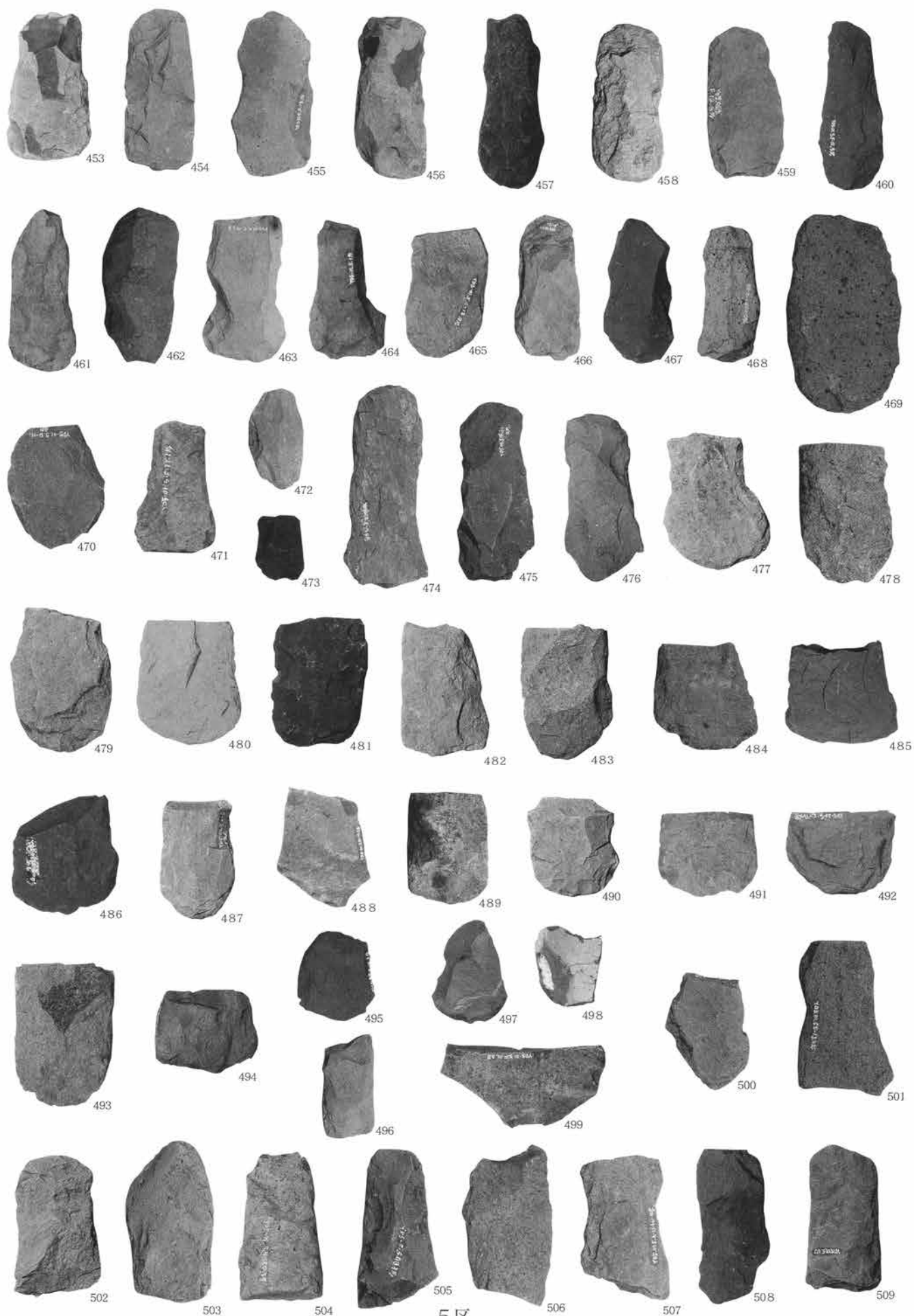


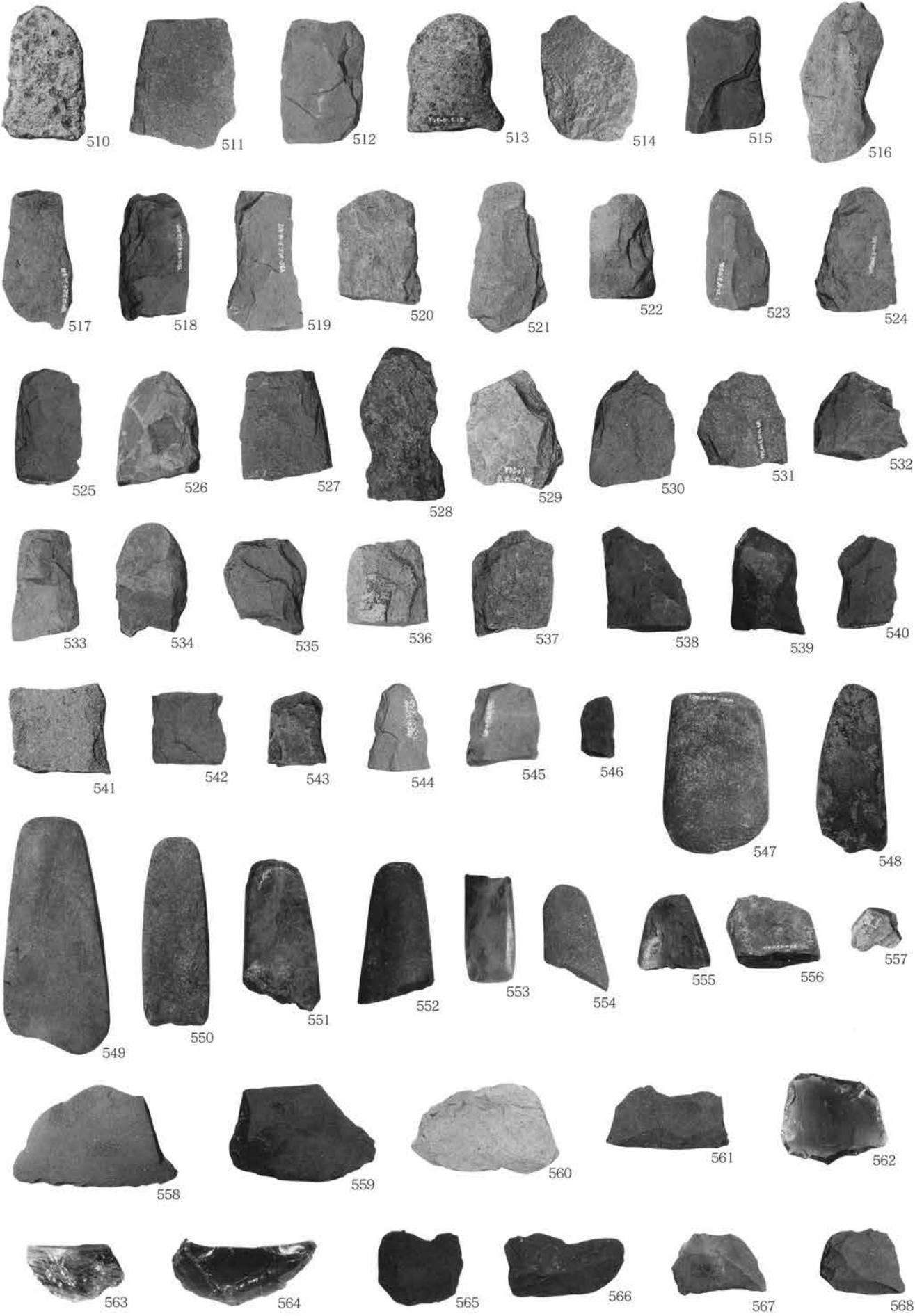














569



570



571



572



573



574



575



576



577



578



579



580



581



582



583



584



585



586



587



588



589



590



591



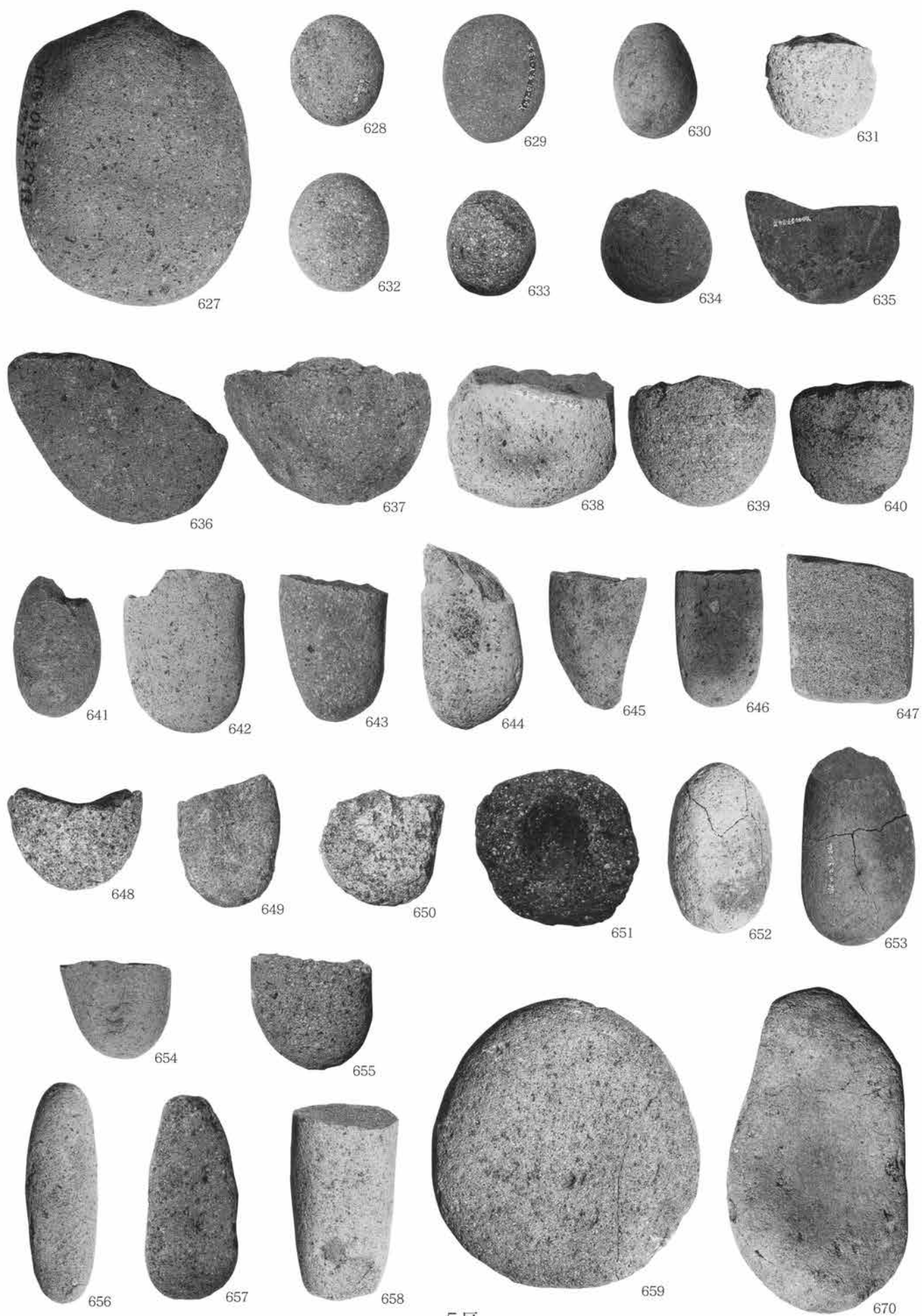
592

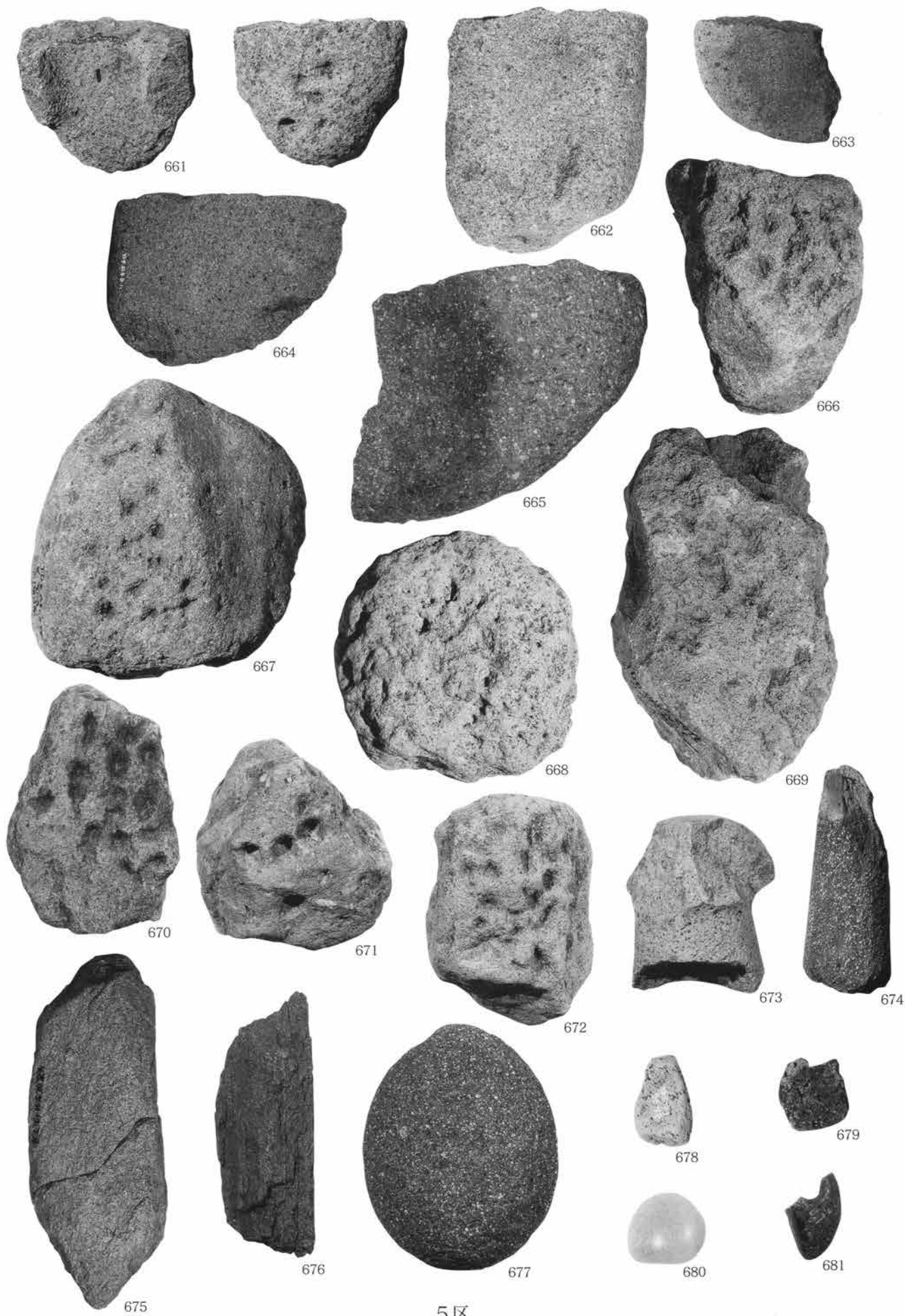


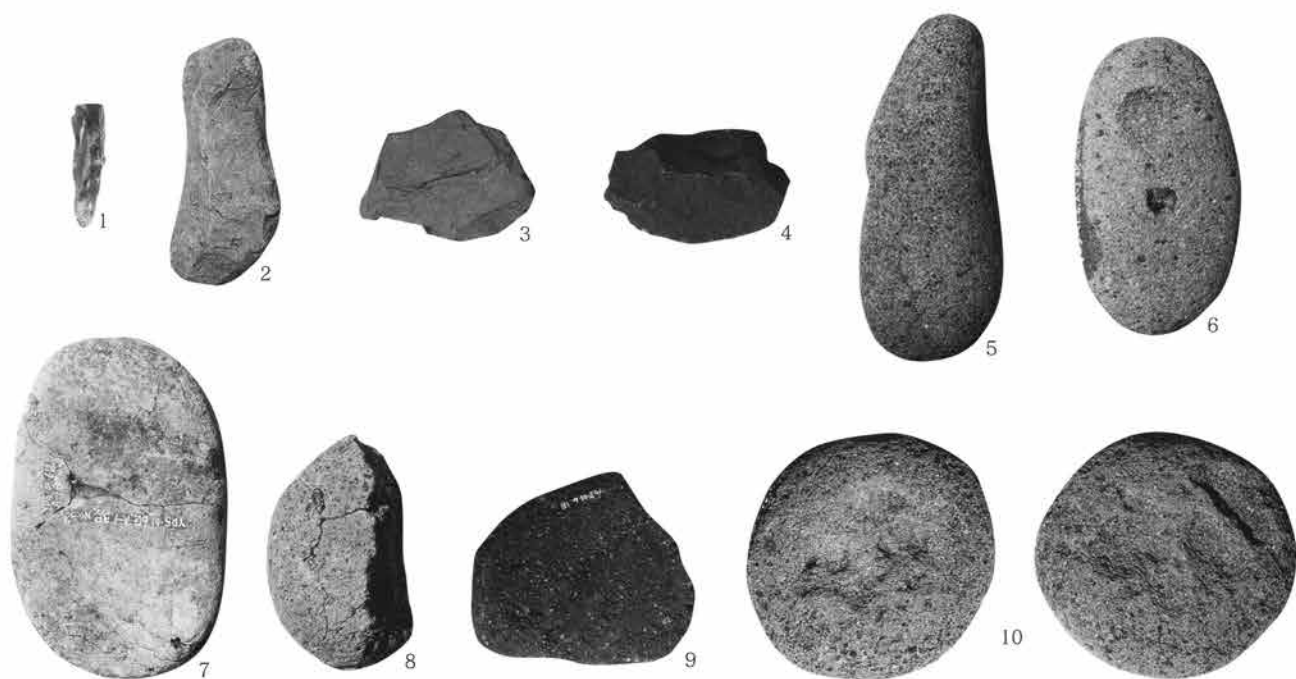
593



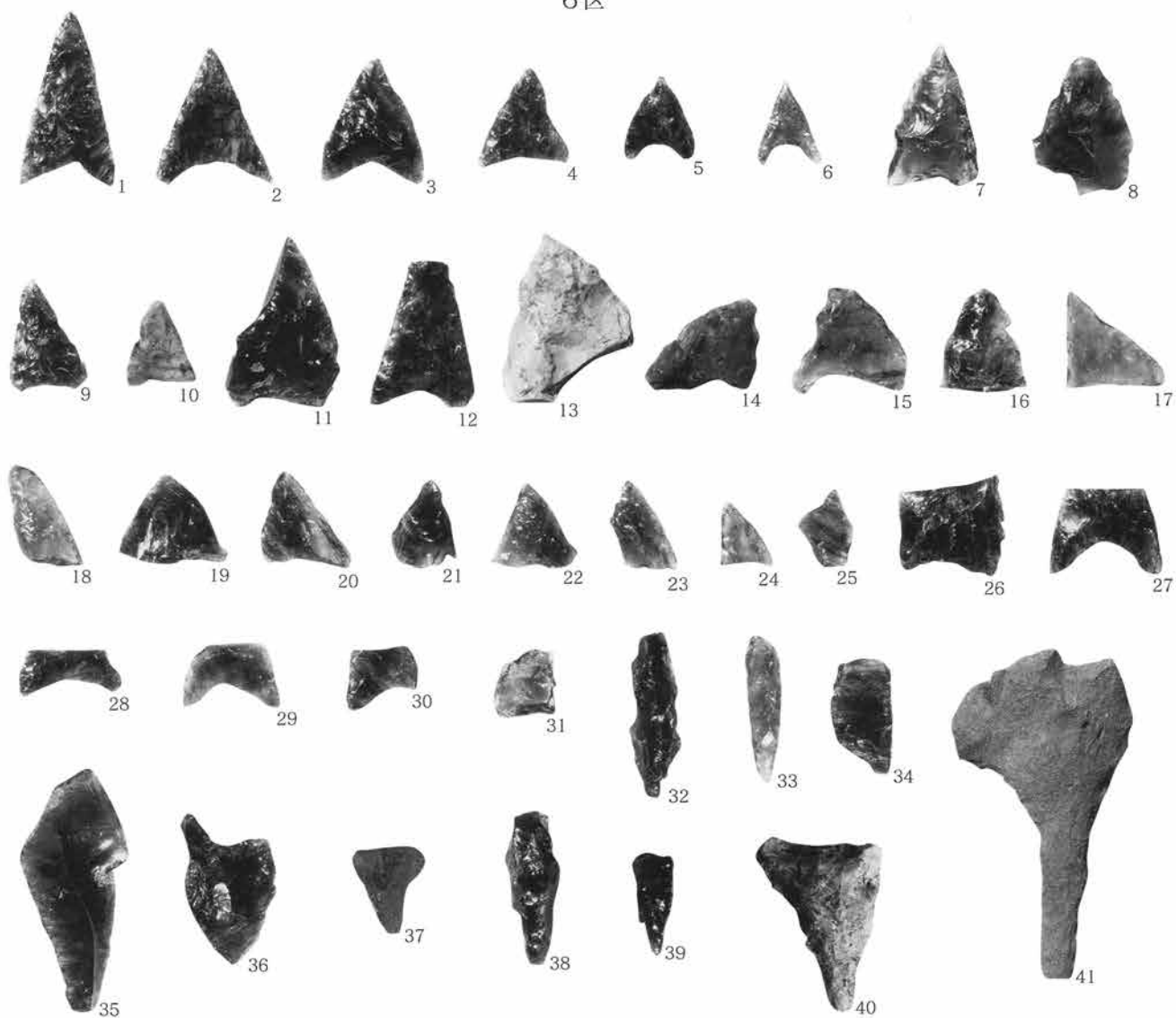




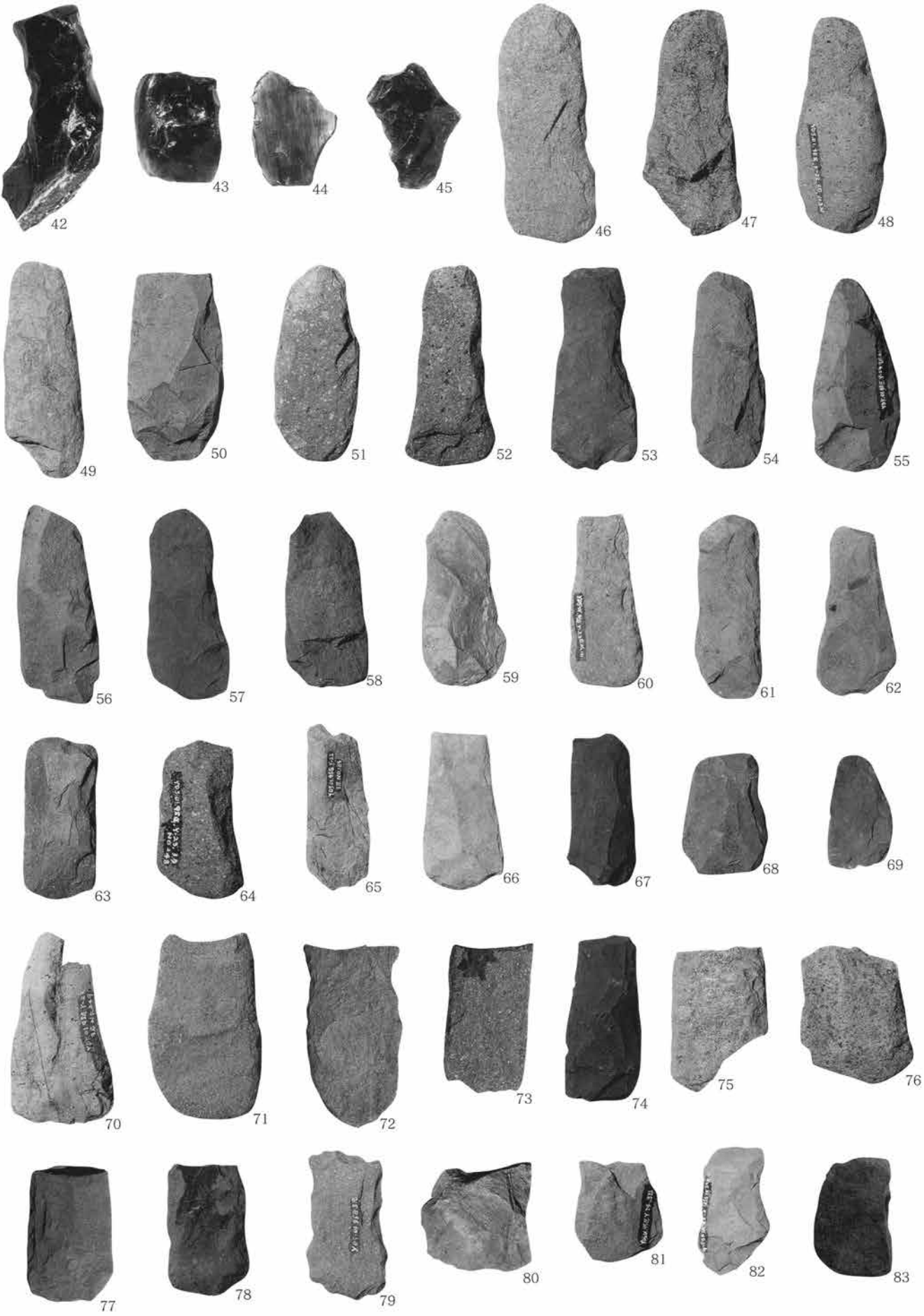


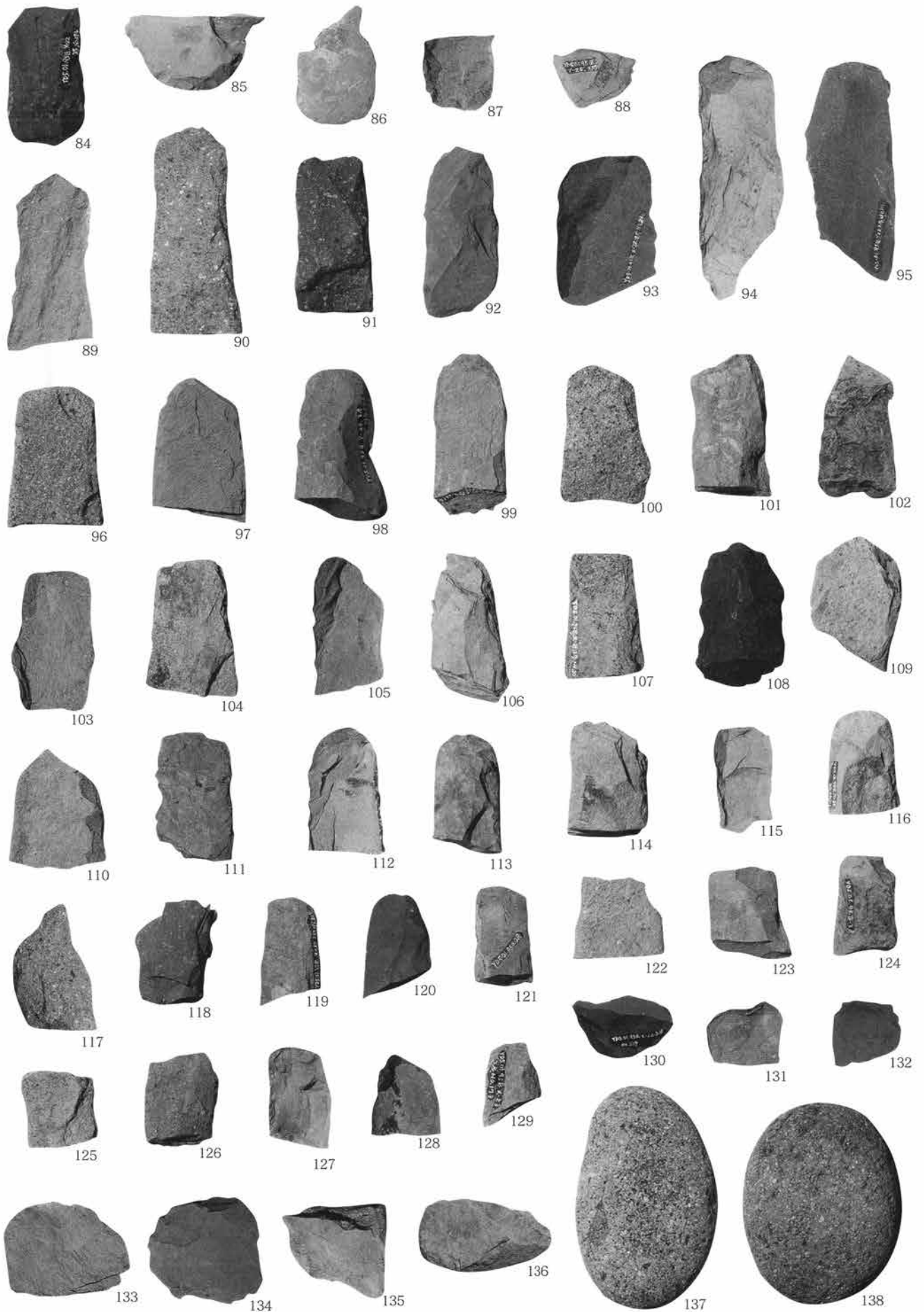


6区

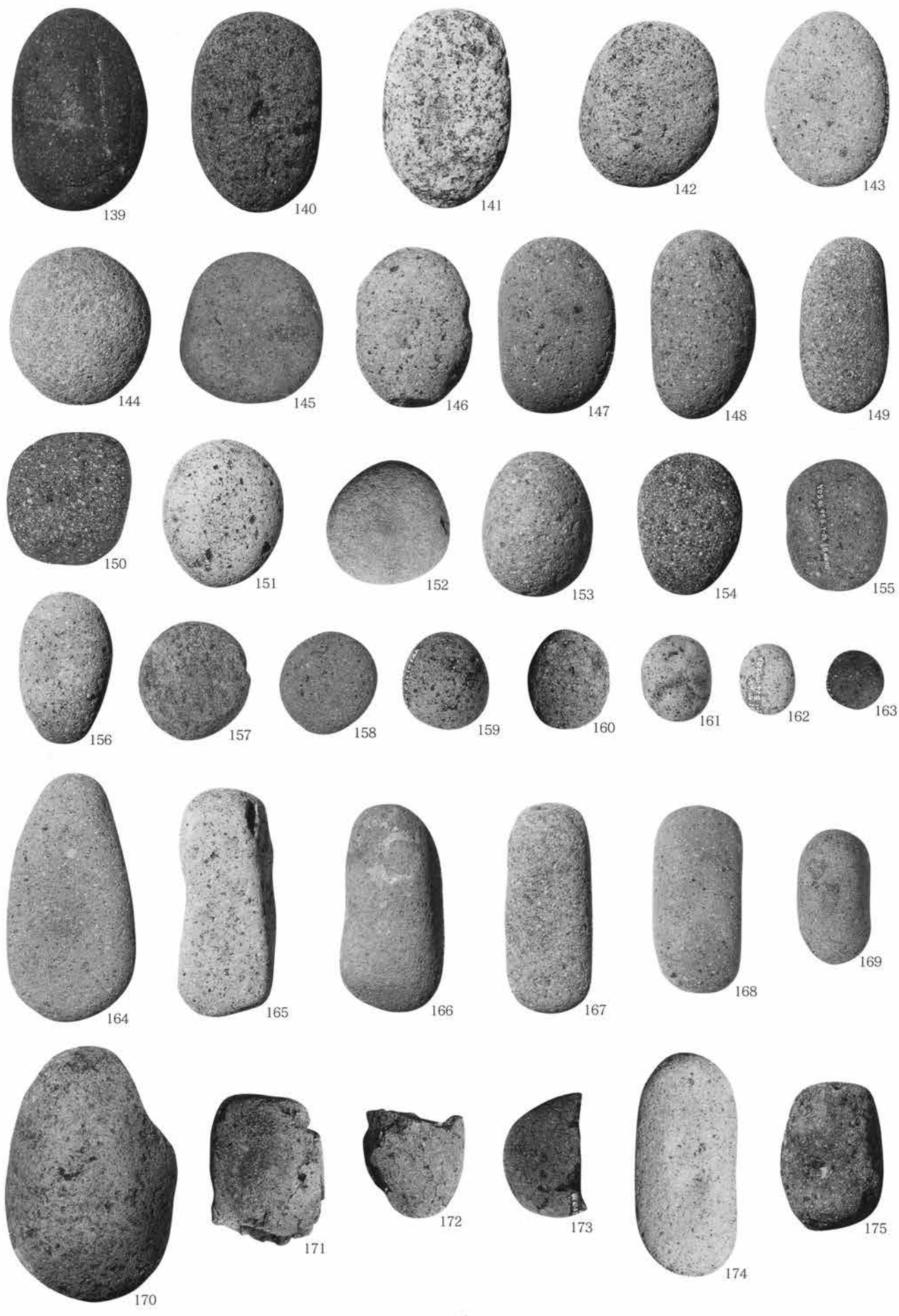


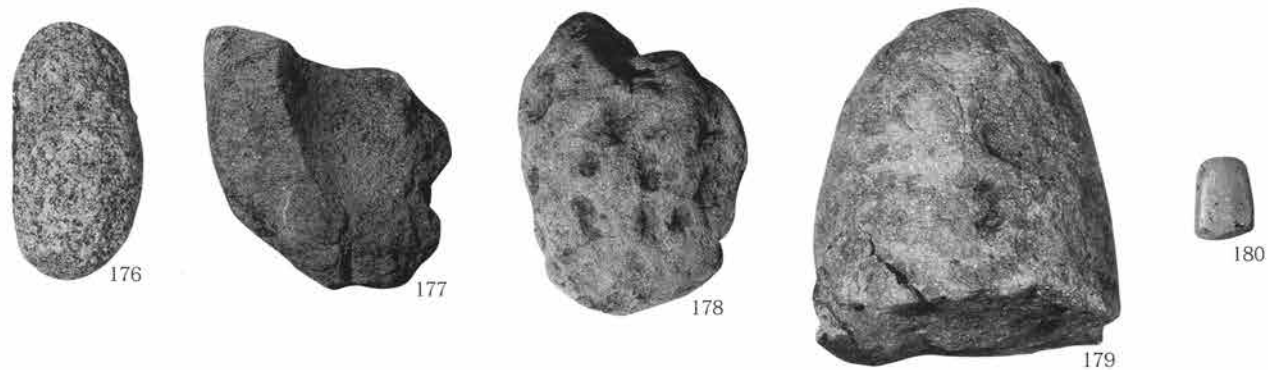
95区



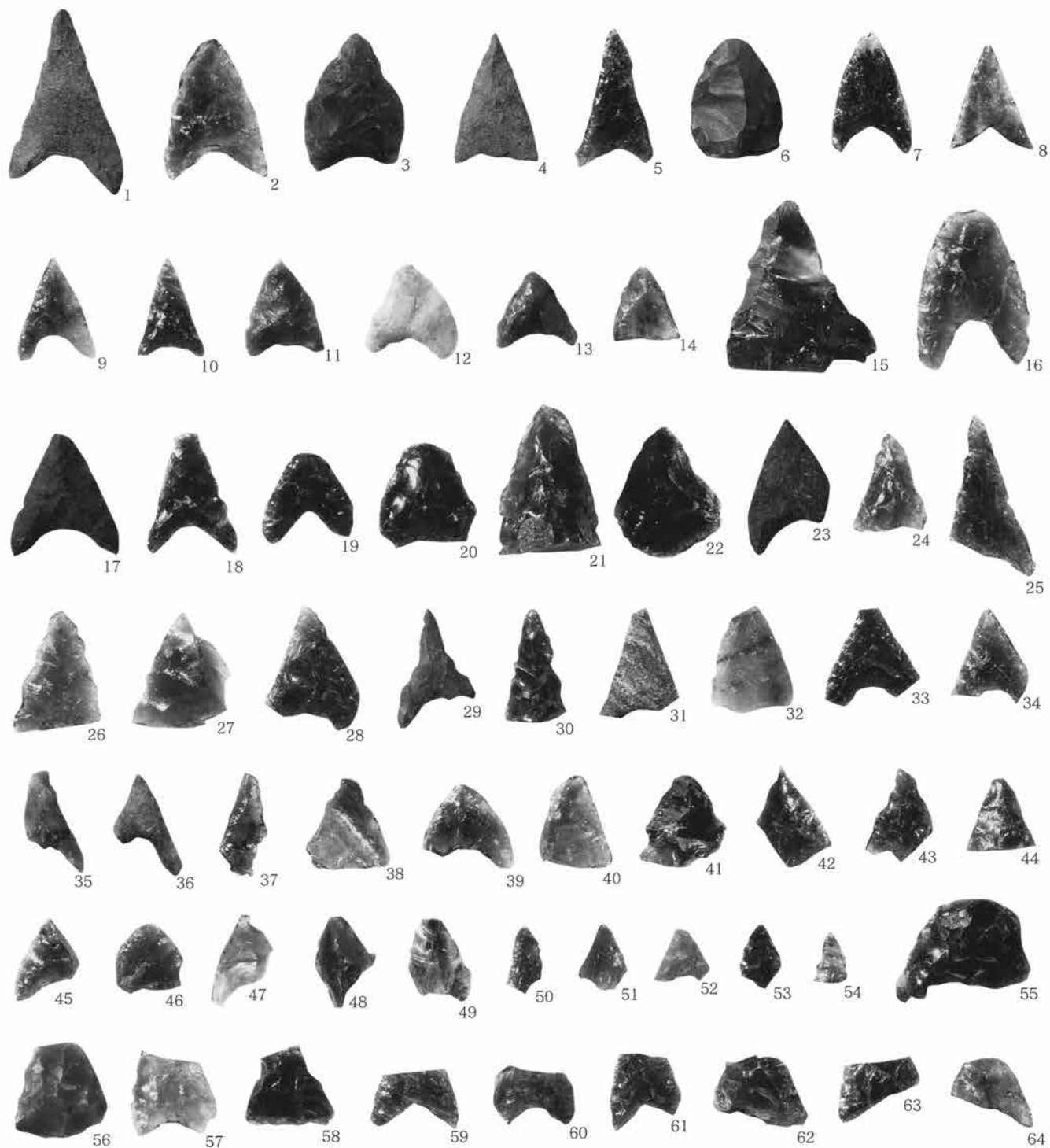




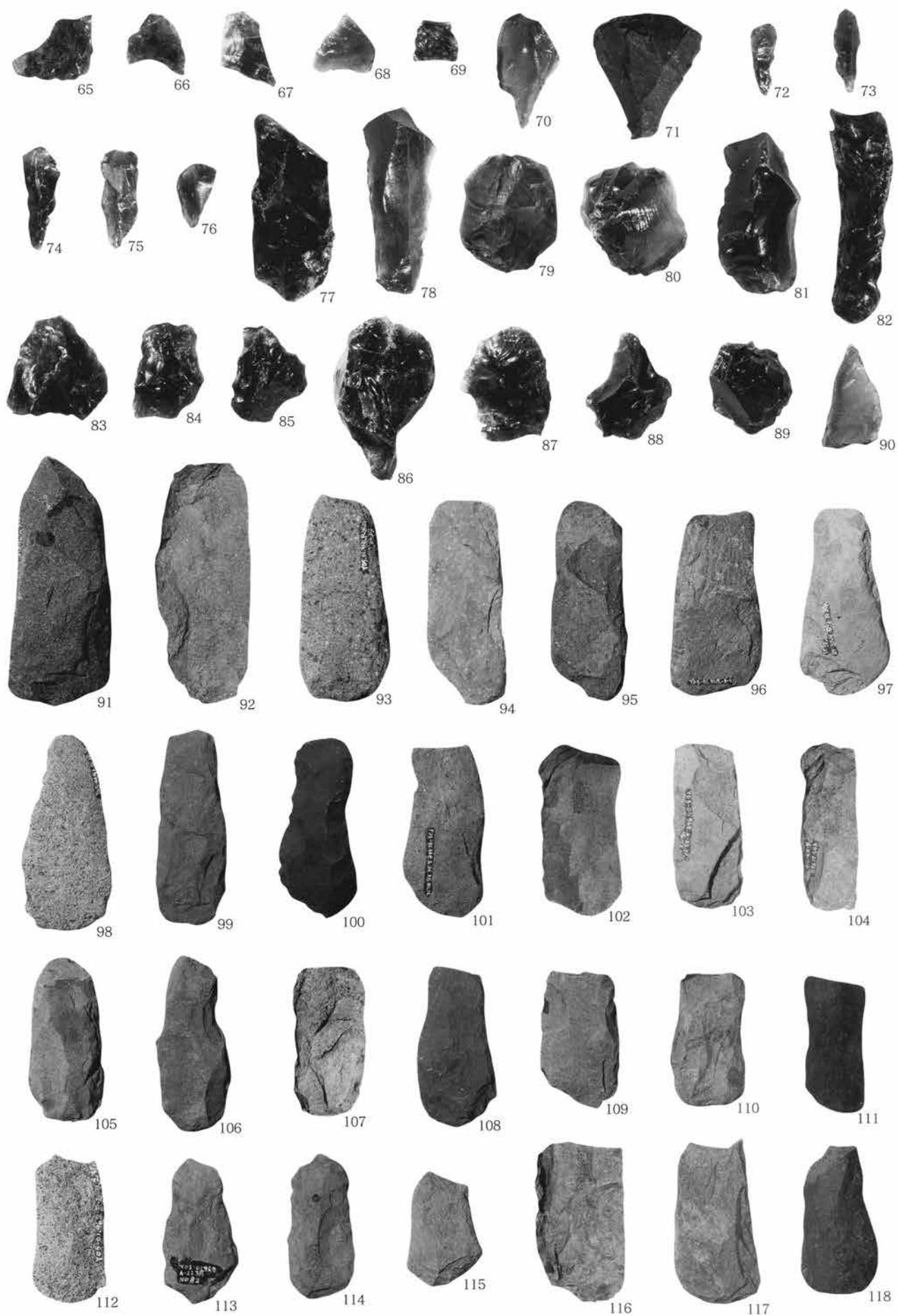


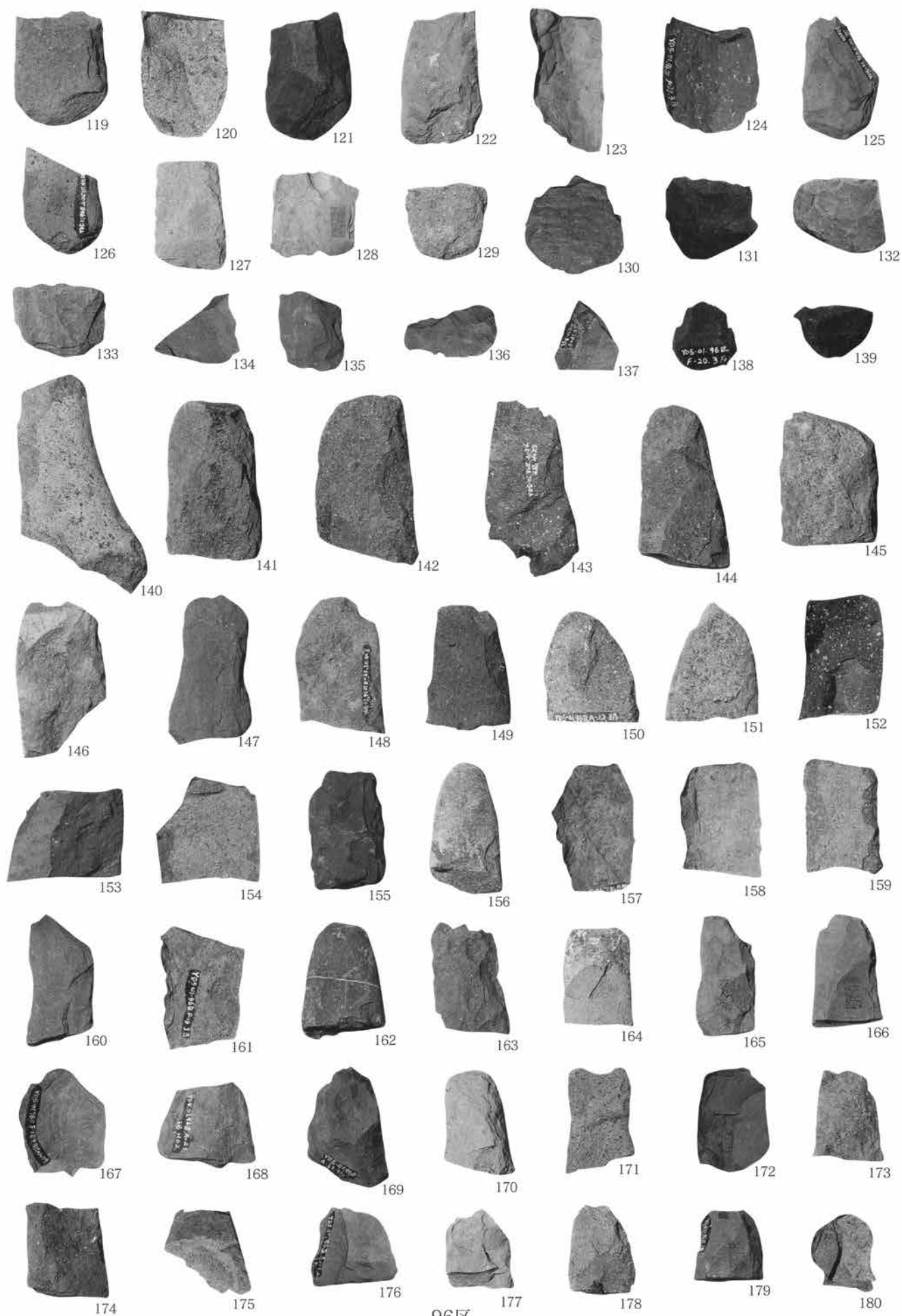


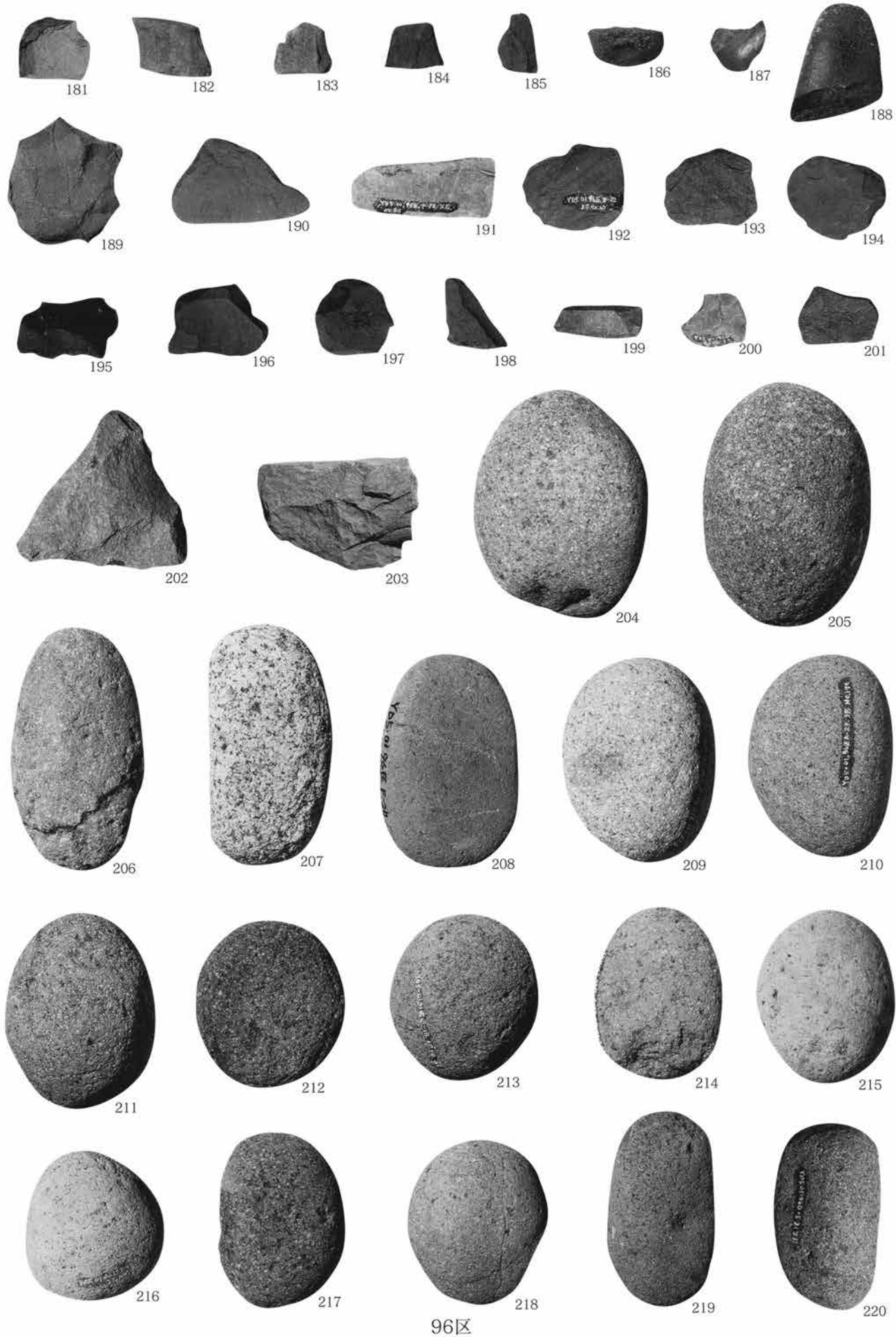
95区



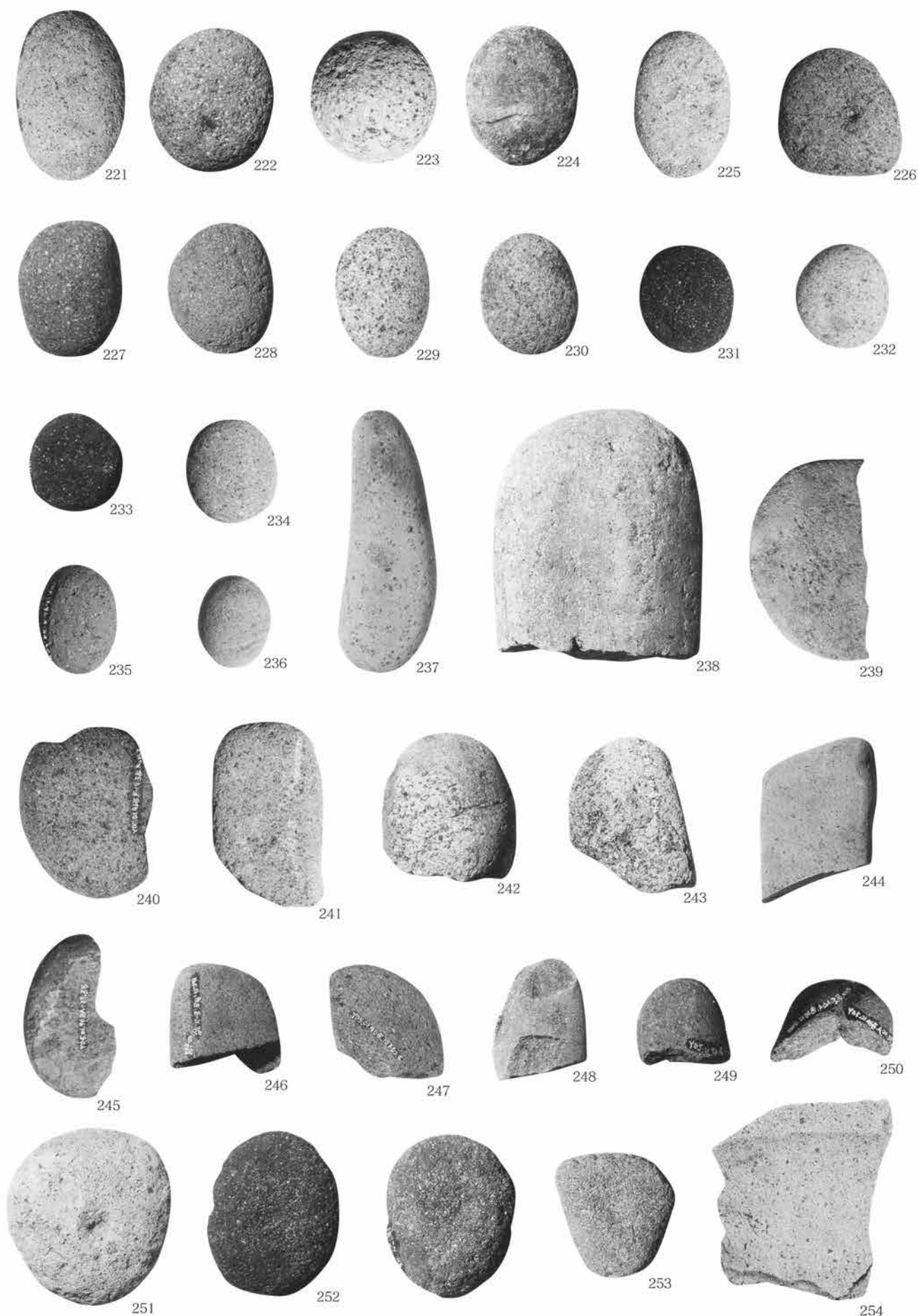
96区

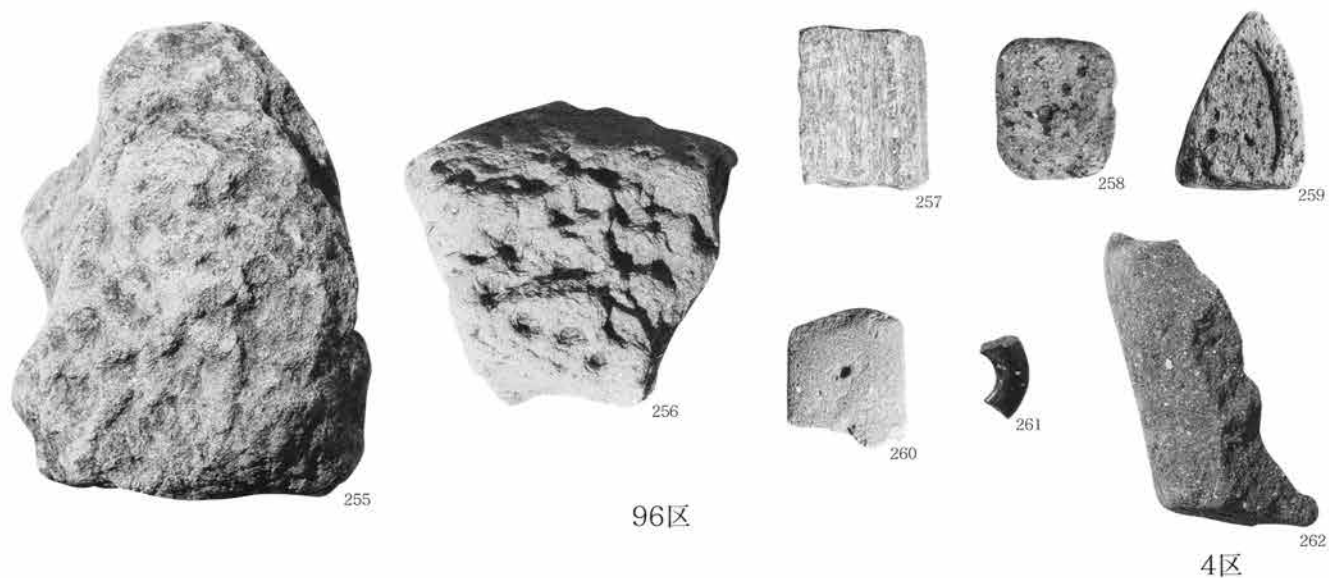




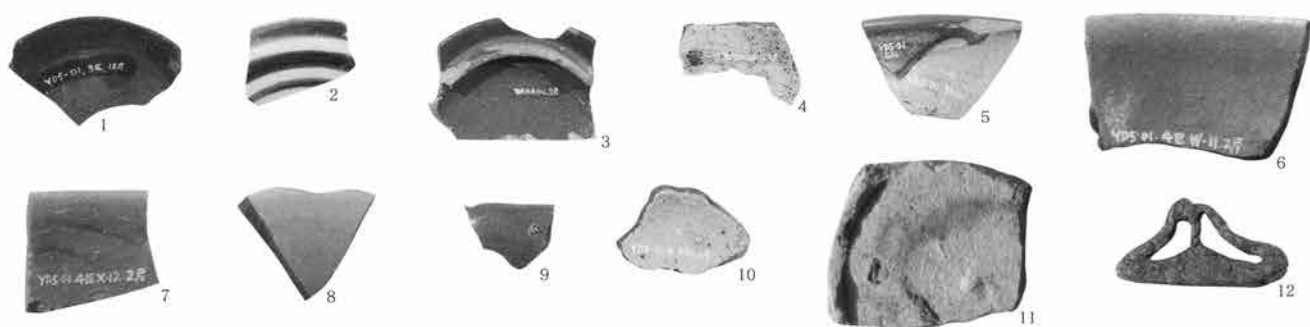








弥生・古墳時代出土遺物





財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第408集

## 長野原一本松遺跡(2)

ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第15集

---

平成19年3月23日印刷

平成19年3月28日発行

編集・発行／財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町大字下箱田784-2

電話 0279-52-2511 (代表)

URL <http://www.gunmaibun.org>

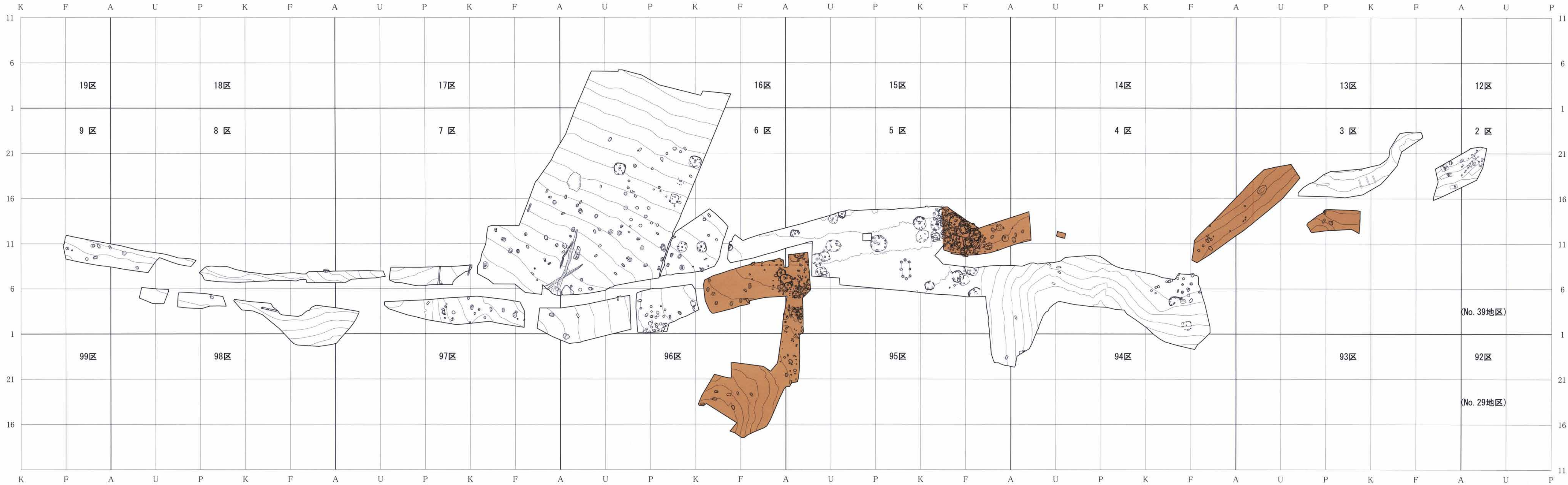
印刷／株式会社開文社印刷所

---



01-380  
15  
(5)

群埋文



付図1 長野原一本松遺跡全体図